

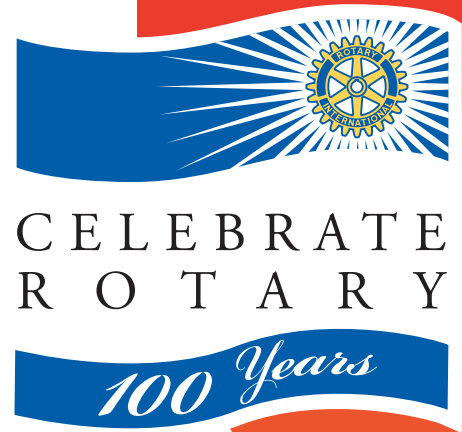
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F  
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512  
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



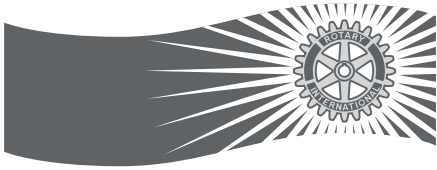
DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

遠藤秀雄ガバナーご挨拶 地区目標 .....	3
2004～2005年度グレンE. エステスSr. RI会長メッセージ .....	4
佐藤秀雄直前ガバナー激励文と遠藤秀雄ガバナー謝辞 ..	6
塚原房樹ガバナーエレクトご挨拶 .....	7
伊藤長英地区研修リーダーご挨拶 .....	8
7月は識字率向上月間です .....	9
ガバナー補佐ご挨拶 .....	10
2004～2005年度ガバナー補佐連絡先一覧表 .....	13
ガバナー公式訪問日程表 .....	14
2004～2005年度地区カレンダー(予定表) .....	15
2004～2005年度地区予算表 .....	16
2004～2005年度地区組織図 .....	17
第2510地区クラブ一覧表 .....	18
ロータリー文庫通信/ガバナー事務所からのお願い ..	19
RI定期報告関係一覧表 .....	20
定期報告先所在地・連絡先 .....	21
わが街・わがRC 歴史散歩 .....	22
各ガバナー補佐のグループ紹介および100周年に ちなんだ地域・クラブ紹介に関する寄稿のお願い .....	23
地区幹事・財務委員紹介 .....	24
地区大会ご案内プログラム一部内容紹介 .....	25

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.1  
2004.7



CELEBRATE  
ROTARY

*100 Years*

# 100年を祝おう





## ロータリーに関心を

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄

グレン・E・エステスRI会長は、Celebrate Rotary 「ロータリーを祝おう」をテーマに選びました。1905年2月23日、最初のロータリーの例会が持たれて丁度100周年にちなんでいます。これまでの輝かしい歴史を、希望のある次世紀に向かって挑戦するために、過去・現在・未来を称えるテーマであります。そのために、社会奉仕活動を実践し、世界的な親睦の強化を奨励しています。

1985年に始まった、ポリオ・プラスも撲滅までもう一息のところまで来ています。この世界的大事業には、我々も含め全世界のロータリアンが参加しています。この活動が達成された暁には、どんなに喜びが大きいことでしょうか。我が国でも、エイズがひそかに蔓延していますし、幼児虐待も10年で10倍に増えています。今、その啓蒙に力を入れないと将来が危ぶまれる問題だと思えます。その他にも我々の身近に、保健や環境、あるいは教育的プログラム等、関心を持ち挑戦する心があれば、取り組むべき問題は沢山あります。地区としても、なるべく無駄をなくし、各クラブのお役に立てるよう努力して参りますのでご支援とご協力をお願い致します。

100周年に、ロータリアンである幸運なめぐり合わせを感じ、その記念事業として、各クラブが足跡を残そうではありませんか。ロータリアンで良かったと思えるように。

### 国際ロータリー第2510地区 2004～2005年度 地区目標

- ロータリアンとして資質を高める努力をしましょう
  - 少なくとも月に1度はロータリーに関する情報に目を通しましょう
  - ロータリーに関する情報を家族と分かち合いましょう
- クラブ運営に協力しましょう
  - ICによる情報をみんなで共有しましょう
  - クラブにおける活動を広く地域社会に知ってもらい、賛同者を増やしましょう
  - 会員増強と退会防止に努めましょう（地区の会員目標数3,400名）
- クラブの活性化に努めましょう
  - 出席率を高め、楽しい例会にしましょう
  - クラブ活動計画は全員熟知しましょう
  - 親睦を大切にしましょう
  - RI 100周年にちなんだ活動をしましょう
- 地区活動へ協力しましょう
  - GSE受け入れに協力しましょう
  - ポリオプラスに協力しましょう
    - ポリオ撲滅運動募金最後の年です。3年間で150ドル達成に努力しましょう
  - ロータリー財団及び米山記念奨学会への協力をお願いします

#### 遠藤秀雄ガバナー略歴

- 経歴
 

生年月日	1933(昭和8)年7月24日
勤務先・役職	医療法人友愛会恵愛病院理事長
- 学歴
 

1961年3月	北海道大学医学部卒業
1962年3月	北海道大学付属病院にてインターン終了
1962年4月	北海道大学精神医学教室入局
1975年12月	学位取得
- 職歴
 

1968年3月	恵愛病院院長に就任
1976年12月	医療法人友愛会理事長に就任
	日本精神科病院協会北海道支部常任理事
	北海道精神病院協会会長
	北海道精神保健協会副会長
	室蘭地区精神保健協会会長
- ロータリー歴
 

1969年12月	登別ロータリークラブ入会 (チャーターメンバー)
1972～1973年	登別ロータリークラブ幹事
1980～1981年	登別ロータリークラブ会長
1993～1994年	第9分区代理
2003～2004年	ガバナー・エレクト ポール・ハリス・フェロー 米山功労者





〈国際ロータリー2004～2005年度会長メッセージ〉

## 親愛なる同僚ロータリアンの皆さま

100年に及ぶロータリーの親睦と奉仕には、祝うに足る十分な理由があり、100周年にあたる私たちの2004-05年度に、私は、全ロータリアンに向かってご一緒に**ロータリーを祝おう**とお願いしたいのです。私たちは、世界の子供たちや今後生まれてくるすべての子供たちへの贈り物として、ポリオのない世界を実現するという大きな成功を祝うことになります。世界166カ国で120万人の会員が奉仕するという一世紀にわたる成長と拡大を祝い、そして、私たちを奉仕へと駆り立てて献身しようと絶えず奮い立たせる、ロータリアンの心温まる親睦を祝うのです。

私は、ロータリアンの皆さまに、過去の成功の自己満足ではなく、現在の困難への新たな危機感を持って、**ロータリーを祝おう**と呼びかけております。何十年にもわたる奉仕によって、私たちは、自然災害と新たな恐ろしい病や残忍な紛争に取り巻かれた世界において、人類が必要とすることの重大さを知らされました。私たちは何百万もの読み書きのできない人々や技能を備えていない人々が、容赦ない貧困の悪循環に掛かって抜け出せないでいることを知っています。私たちは、医師や病院があまりにも少なすぎる場所に、苦しむ人々が存在するのを目にしてきました。また、食料や水などの基本的な必需品に手が届かない人々が、あまりに多くいることを認識しています。**ロータリーを祝う**最善の方途の一つは、私たちの100年の経験の重みを十分に生かして、それらの莫大な人道的需要に取り組むことでしょう。まず第一に、超我の奉仕を据えることで、**ロータリーを祝おう**ではありませんか。

国際親善奨学生、ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、GSEチーム・メンバー、その他私たちの人道的活動によって生活が改善された何千もの人々など、私は、皆さまがこの祝賀の心を、ロータリー家族全体とロータリーによって感動を与えられたすべての人々と分かち合われるよう望みます。また、私たちが奉仕する地域社会に、私たちと共に祝ってもらうよう呼びかけましょう。100周年社会奉仕プロジェクトは、ロータリー100周年を地元で広報し、世界中の何千もの地域社会で、100周年を末永く記憶に残るものとするまたとない機会です。

ロータリー100周年にまつわる前向きな広報は、間違いなく会員候補者の間でロータリーに対する認識と関心を高め、2004-05年度を会員を増強するに最適なものとするでしょう。また、私たちは、ここ数年来の退会防止活動を継続するのに、クラブ・プロジェクトに現在の会員を積極的に巻き込み、「ロータリー家族」委員会を維持し続け、クラブ内に気配りと思いやりのある環境を推進しなければなりません。私たちは、ロータリーの最初の100年の奉仕によって、安定した成長を続ける会員組織がいかに重要であるか、目にしてきました。活動的で献身的なロータリ



2004-05年度 国際ロータリー会長  
**グレンE. エステス・シニア**  
米国アラバマ州シェイズバレーRC

### 略 歴

2003-04年度国際ロータリー会長エレクト  
1993-96年度ロータリー財団管理委員  
1991-92年度国際ロータリー副会長  
1990-92年度国際ロータリー理事  
1979-80年度第6860地区ガバナー

グレンE. エステスSr.氏は、グレン・エステス・アソシエイツ社を引退された最高経営責任者です。米国ミシシッピ州のバイク郡に生まれ、物理学および化学を専攻され、ルイジアナ州ニューオーリンズのチュレイン大学から学位を取得されました。エステス氏は、5人兄弟の1人で、全員がロータリアンです。一時期、兄弟のうち4人がそれぞれのクラブの会長を務めました。

エステス氏は、アラバマ州バーミングハムに本部を置く、およそ10,000人の職員を擁する11の病院の連携保健看護体制である、バプチスト保健機構の元管理委員会委員長です。アラバマ州中部商事改善協会の理事およびアラバマ州労災補償信託企業審議会の管理委員を務められました。またフロリダ州における初期の頃、YMCA、米国化学協会、関節炎財団の委員長を歴任され、また米国の人事問題顧問評議会の評議員も務められました。

エステス氏は、1960年以降のロータリアンで、最初、(米国)フロリダ州ジャックソンビルのクラブ#41、その後、ニュージャージー州ウエインのクラブ会員でした。同氏は、1997年国際大会委員会のアドバイザー、また1987-88年度にはポリオ・プラス国別コーディネーターを務められました。同氏は、管理委員会委員の任期を通じ、財団財務委員会委員長および財団プログラム委員会副委員長を歴任されました。1999年には、国際協議会委員長および議長を務められました。

同氏は、以前、国際ロータリー監査運営審査委員会委員を4年、そのうち1年は同委員会委員長を務められました。これはロータリーで唯一の6年任期の委員会です。この委員会は、理事会に対し諮問の役割を果たします。またエステス氏は、2002-03年度を通じ、会員増強および退会防止委員会の委員長を務められました。

エステス氏は、ロータリー財団の大口寄付者、ポール・ハリス・フェロー、およびベネファクターです。同氏はまた、ロータリー財団功労表彰状およびロータリー財団特別功労賞を受賞されておられます。

グレンおよびメアリー・エステスご夫妻には、3人のお子さんと8人のお孫さんがおられます。ご家族の16人が、ポール・ハリス・フェローです。

エステス氏は、国際ロータリー創立百周年記念にあたる2004-05年度に会長を務められました。





アンの退会を防止し、その数を増やして、私たちの将来を安定したものにすため、あらゆる努力をしましょう。

100年は重要な礎石であり、そこに到達した団体はほとんどありません。このことは、ロータリーが正しい行いをしていること、ロータリー奉仕に対する需要がまだまだ大きいことを示しています。私たちの成功には、数多くの「秘密」があります。それは、週例会に由来する親睦と共通の大義、それに世界中に向けて扉と心を開く国際性であり、私たちの誰もが、自分ひとりで行うよりはるかに多くの事柄を達成させてくれる構造です。しかしながら、最大の強みは、ロータリアンが新しい挑戦事項に取り組むにあたって抱き、最後に問題が解決されるまで持続する熱意なのです。私たちは、ポリオ撲滅において、また、私たちが奉仕する各地域社会において、他の何千もの方法でそれを実践しています。

シカゴの鋳山技師の事務所です1905年に始まったロータリーですが、初期の頃には、将来の見通しはほとんど立っていませんでした。凍てついた2月の夜、そこに集った4人の男性のうち誰一人として、100年後に31,000ものクラブが会合を開くとはもちろんのこと、その会合が定期的に行われることになるとは、予想だにしていなかった。ポール・ハリス、シルベスター・シール、ガスターバス・ローア、ハイラム・ショーレーは、明らかに、自分たちが最初の奉仕クラブを形成し、20世紀を通して他のこれほど多くの人々の心と魂を掴むことになる運動に着手しているとは、思いもしていませんでした。初期の創立者たちのように、ロータリアンは、自分たちの行動がどれほど建設的な影響を与えるのか、いつもわきまえているわけではありません。しかし、100年にわたる奉仕は、私たちが世界で善行をなす計り知れない可能性を明確に示してきました。

今日、国際ロータリーは、世界で最も影響力と行動力を有する非政府団体の1つとして、奉仕の第二世紀に入る用意が整っています。私たちのポリオ・プラス・プログラム、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター、国際人道的活動、そして世界中で数え切れないほどの卓越したクラブと地区のプロジェクトは、より良いより平和な世界を達成するためのロータリーの貢献を示しています。ロータリーの可能性に対する認識を高め、新しい挑戦事項に取り組み、それらが達成されるまでやりぬく心構えをして、奉仕の第二世紀に入ろうではありませんか。私たちのクラブで、職業で、地域社会で、そして私たちの世界で、新たに奉仕に献身して、**ロータリーを祝おう**ではありませんか。



## あなたのクラブで、 ロータリーを祝おう。

私たちのクラブは、ロータリーの心臓です。ここでは、私たちがまずロータリーの親睦を楽しみ、やがてロータリーの理想に献身するようになる場です。多くのクラブに100周年に称えるべき豊かな歴史があり、最も新しいクラブにさえ、ロータリーを祝う理由があります。クラブ会員に思いやりと気配りの精神を奨励して、ロータリーを祝おうではありませんか。会員の退会防止活動を支援するロータリー家族委員会を継続し、熱意にあふれた新会員を入会させて、前途に横たわる挑戦事項を克服するための新たなエネルギーをクラブに吹き込みましょう。

## あなたの職場で、 ロータリーを祝おう。

ロータリーが創設されたのは、私たちの時代とさほど変わらないような、ビジネスの世界における腐敗と醜聞の時期でした。この団体の創立以来、道徳的水準はロータリアンの代名詞になっていますが、100周年は、事業および専門職務における立派な行いに関する私たちの誓いを新たにす理想的な機会です。職場における良心、そして社員、顧客、専門職務に携わる同僚に対する清廉の手本として振舞い、ロータリーを祝おうではありませんか。

## あなたの地域社会で、 ロータリーを祝おう。

ロータリーの優れた達成事項の多くは、各クラブが識字率の向上、貧困および飢餓の緩和、若い人々の指導と彼らを取り巻く環境の美化といった広範囲のプロジェクト—世界31,000以上の地域社会において実施されている活動のごく一部をあげましたが—に取り組む草の根レベルでのものです。2004-05年度には、あなたのクラブの100周年記念社会奉仕プロジェクト、その他の特別式典を通して、100周年の祝賀に地域社会を参加させてください。クラブの奉仕の歴史を地域社会に広報し、将来の野心的な計画に着手して、ロータリーを祝いましょう。

## 私たちの世界で、 ロータリーを祝おう。

ロータリーの国際性のおかげで、ロータリアンは国境を越え、地球を半周して、奉仕のパートナーを形成し、文化交流を実施することができます。2004-05年度に双子クラブ・プログラムに参加し、100周年記念の研究グループ交換やロータリー・ボランティアを支援し、青少年交換学生を派遣しもしくは受入れて、ロータリーを祝いましょう。シカゴで開かれる国際ロータリー年次大会に出席し、世界の沢山の国々から集うロータリアンに加わって、ロータリーとその100周年を祝う計画を立てましょう。



## 遠藤秀雄ガバナーに心からエール！

国際ロータリー第2510地区

直前ガバナー 佐藤 秀雄

札幌以外から連続して2人のガバナーが輩出したのは異例のことかもしれない。遠藤ガバナーはそれだけ信頼が厚かったということである。温厚で英知に長けた人で言葉は柔らかいが、これだと決めるときには梃子でも動かない、信念を通す人である。この方なら第2510地区会員に素晴らしいリーダーシップを発揮され指導してくれるものと確信している。

国際ロータリー、地区、クラブそれぞれが会員の減少により厳しい状況下にある。顧みればこの1年間公式訪問では、ポリオと年次寄付に終始したように思えてならない。それで成果が上がったかと言うとノーである。遠藤年度はポリオ募金3年間の最終年であるが地区目標に到達するのが非常に厳しい状況になったことを申し訳なく思っている。私は最近のロータリーは奉仕にのみ目が向き、「ロータリーの心」の方がなおざりになっているのではないかと危惧してならない。遠藤ガバナーは精神科のお医者さんだし精神論はお手のものだと思うから「ロータリーの心」を中心に指導力を発揮していただければ、きっと素晴らしい地区運営ができるのではないかと思っている。

国際ロータリーもようやく最近になってクラブ指導者のロータリーの知識不足を認識し「ロータリー概要」を発刊した。これは従前の「ロータリアン必携」をもとに日本的に補完し解りやすく平易にロータリーを解説したものである。こういうものをクラブ会長・幹事が理解を示し会員卓話で年に数回取り上げ、且つガバナーが何等かの機会を捉えてお話をすれば、飛躍的にロータリーの理解を増すこと疑い無しである。21世紀初頭はロータリアンの精神面の充実を図る時期かもしれない。

いずれにしろエレクト時代を含め2年間は長丁場である。海外を含めた会議は相当数に上る。これに公式訪問、地区の最大行事である地区大会、これが終わると各グループにおけるロータリー勉強会、更には各クラブの周年行事が入る。その内にストレスが溜まる。早い時期に発散し、何よりも大切な健康に留意され、楽しい地区運営が出来ますことを心からお祈りしエールを送ります。

## 佐藤秀雄直前ガバナーへ謝辞

ガバナー 遠藤 秀雄

佐藤秀雄ガバナー、この1年間大変ご苦勞様でした。エレクト年度から地区スタッフの皆様と綿密に企画され、対話を重視されて、そのお人柄と相まって、ご自分の主張も無駄なく述べられ、常に先頭に立ってロータリーの王道を歩まれました。大変な勉強家で運営手続きを熟知しておられ、教えて頂く事が沢山ありました。特に情報ネットワーク作りに並々ならぬ努力をされ、各クラブに浸透してきたことはお見事でした。一時期困難な問題に直面したこともありましたが、沈着冷静に処理をされ、見事に軌道修復を果たされました。手を貸す努力の1年であったと思います。御苦勞様でした。これからはパスト・ガバナーとしてご協力を賜りますようお願い致します。



## ご 挨拶

国際ロータリー第2510地区

ガバナーエレクト 塚原 房 樹

このたび、ガバナーエレクトにご指名を頂きまして大変光栄に存じております。歴代ガバナーに比べロータリー経験の浅い私が、次年度、ガバナーの大任を大過なく果たせるかどうか大変危惧しております。

しかしガバナー就任まで1年間ありますので、遠藤ガバナーをはじめパストガバナー、会員の皆様方のご指導を頂きながら準備をしてみたいと存じます。

私がガバナーに就任いたします2005-06年度は、上半期はロータリー100周年という輝かしい記念すべき年であり、後半はその基礎の上に更により光輝ある歴史の一步を踏み出すロータリーの新世紀元年に当たります。

今、世界の潮流を大きな目で見ますと21世紀の世界は、政治も経済も文化も、巨大統合が進み、一方で分裂・細分化が進みます。ロータリーの世界もこの流れに逆らえません。また価値観の多様さによりロータリー運動は変貌しています。会員も減少の一途をたどり、かつてのロータリーの栄光に影が見えます。

このような時こそ、我々はロータリー100年を栄光に導き支えてきたものは何かを、今一度謙虚に思いいたすべきであります。それはロータリアンと地域社会の人々へ「ベネフィット」を与えてきた、職業分類と例会出席に裏打ちされた「職業奉仕」で、これがロータリーの魅力の源泉でした。

次年度ロータリー101年目に新しい船出にあたり温故知新の言葉のとおり、先人の心を訪ね、その心を今に活かしてみたいものです。そしてこのロータリーの普遍の理念を踏まえて、積極的に新しい時代のニーズに適応して行く心構えが必要であります。

ガバナーエレクトとしてのこの一年間、改めてロータリアンの皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げご挨拶といたします。

### 塚原房樹（札幌東RC）経歴

生年月日・出身地 昭和10（1935）年10月7日・東京  
 自宅住所 〒064-0953 札幌市中央区宮の森3条13丁目5-23  
 職業分類 食肉加工  
 勤務先 ㈱ホクビー 顧問  
 (有)青樹社 代表取締役

#### 【学歴】

1959年3月 早稲田大学第一法学部卒業

#### 【職歴】

1959年4月 (有)青樹社設立 専務取締役  
 1971年4月 ㈱ホクビー設立 代表取締役社長  
 1985年5月 " 代表取締役会長  
 2003年5月 " 顧問  
 2003年6月 (有)青樹社 代表取締役

#### 【ロータリー歴・クラブ】

1977年1月 札幌東ロータリークラブ入会  
 1983-84年 同クラブ幹事  
 1997-98年 同クラブ会長

#### 【ロータリー歴・地区】主なもの

1988-89年 地区幹事  
 1990-91年 地区社会奉仕委員長  
 1992-93年 地区幹事・地区リーダーシップ養成副議長  
 1996-97年 地区情報委員長・地区史編纂委員長  
 1998-99年 地区職業奉仕委員長  
 2000-01年 地区文献資料室室長  
 2002-03年 地区文献資料室室長・ロータリー100周年記念委員

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
 ベネファクター  
 米山功労者





## 新年度を迎えて

地区研修リーダー

伊藤 長 英 (苫小牧北・PDG)

各クラブの会長・幹事さんをはじめ全会員の皆様！ 愈々遠藤秀雄年度を迎えました。この日のためにいろいろと準備を重ねてこられた皆様のこれからのご活躍を期待し、心からお喜び申し上げます。私は、地区研修リーダーという立場で、これまで2月の地区チーム研修セミナー、3月の会長エレクト研修セミナー（PETS）および4月に行われた地区協議会においていろいろお話を申し上げて参りました。地区研修リーダーの役割は、ガバナーおよびガバナー・エレクトを補佐して、クラブや地区指導者の研修にあたる責任があるからであります。

今年度のRI会長のテーマは、「ロータリーを祝おう」という簡単な言葉ですが、強調事項として識字率向上・ロータリー家族・保健・水という具体的なことを示されています。又、遠藤秀雄ガバナーも地区の目標として具体的に4項目を示されていますし、ガバナー要望事項も6項目にわたって明示されておりますのでその実現に向けて努力されますようお願い致します。

今年度のロータリー財団管理委員長であるジェイムスL・レイシーさんは、私のガバナー年度のRI会長であり、「ロータリーの夢を追い続けよう」というテーマでした。レイシーさんの講演の中から印象に残っている言葉をご紹介します。ロータリーとは何でしょうか。単なる奉仕団体ではありません。それは精神であり命なのです。何故ロータリアンになったのですかの問いに、私はロータリーには思いやりの心があるからですと「思いやり」を強調しました。ロータリーが他の団体と違う点は、助けを求めている人々に、何を捧げることが出来るかを常に考えていることです。愛はロータリーにとって中心になる言葉です。心の中に愛を持っているならば、助けを求めている人々に手を差し伸べることが出来るでしょう。愛するの次に大切なのが助けるということです。ロータリアンは、ポリオ撲滅という夢を見ました。私たちはこれを実現させ、さらにより良い世界と平和を夢見ましょう。私たちの究極の目的は平和です。ロータリーは沢山のプログラムを持っています。この中で私は、特に恵まれない子供たちに焦点を当てたいと思っています。インターアクト・ローターアクトでは、分かち合う心を育てたいと思います。そのためには、家庭教育から始めなければなりません。子供たちの心にお互いに助け合う心を育てたいと思います。ロータリーのいろいろな会合に参加すれば進歩があります。ロータリーを改善、発展させるために、協力を行動で見せてください。優しいロータリーの心をもって。

## 7月は識字率向上月間です

### 識字向上へのご理解とご支援のお願い

識字向上タスクホース第一ゾーンコーディネーター

2800地区パストガバナー 藤川 享胤

RIは、非識字こそ貧困をはじめとする諸悪の根源であると考え1997年のRI理事会で7月を識字率向上月間に指定しました。その後、識字問題は2005年までのRI強調事項となりビチャイ・ラタクルRI元会長、ジョナサン・マジアベ直前会長、そしてグレン・エステス会長も識字率向上のために世界120万のロータリアンに絶大な支援を要請されました。今や識字率向上運動はポリオ・プラス計画の後を継ぐRIの重要なプログラムになりました。

現在の文明社会において、文字文化から隔絶されて生活するということは社会から置き去りにされることを意味します。非識字者は正当な職に就けず、それに帰因する貧困は更にその子供たちの就学の機会を奪い、途上国において非識字と貧困は悲惨な悪循環を生み出しています。

世界には約10億の非識字者がいます。私たちには想像できない数字であります。これは15歳以上の大人の4分の1に当たります。その4分の3はアジア人であるといわれ、また非識字者の3分の2は女性であります。

一方、世界で1億3千万の就学年齢児が学校に行けません。ユネスコや我々の努力にも拘わらずこの数があまり減少していません。途上国の子供が年々増え続けているので学校に行けない子供が増加する恐れもあります。また、折角入学した子供も3分の1は小学校を卒業していません。このままでは南北間の貧富の差は益々広がり、地球規模の社会不安は一層増大するでしょう。ニューヨークでの同時多発テロの原因も結局は、貧富の差に根ざしていると言われます。これは我々に強い危機感を与えます。

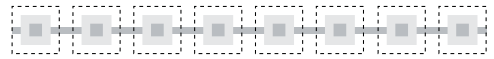
先進国ではメチア・イリテカシー（メディア音痴）という言葉さえ聞かれます。「メディア音痴」とはインターネットを始めとする情報技術に乗り遅れることを意味し、これではメディアを使いこなす人に決定的な差をつけられることを覚悟しなければなりません。こうした情報化社会の時代に文字さえ知らないということは何を意味するのでしょうか？このままでは世界人口の5分の1に過ぎない先進国の情報技術が益々進歩し、南北国家間の文明格差は増すばかりであります。このままでは私たちは到底平穏な世界を次の世代に残すことはできないでしょう。

現在、世界の人口は60億に達しました。更に年間約1億人即ち毎年メキシコの人口に匹敵する人口増加が続いています。このまま人口が増え続けてゆくなればこの地球の将来は暗いでしょう。しかも、人口増加の99%は途上国の人口です。我々は折角予防接種で救った子供たちを飢え死にさせてはなりません。また彼らに生きがいを持たせる教育と職業を与えなければなりません。

人口増加抑制の最大のポイントは母親たちの教育です。途上国の少女が中等教育を受けるだけで出生率が低下し、先進国並みになることが知られています。従って教育、特に女性教育こそ我々宇宙船地球号が生き延びてゆく上での、最も効果的な手段であると言えるでしょう。

これが私たちの進めようとしている識字率向上運動の今日的意義であり、正に「情けは人のためならず」であります。確かに私たちは長引く不況のさ中にいます。しかし、今直ぐに識字率向上運動を推進しなければ手遅れになるでしょう。RIの識字委員会は各途上国の委員からの確実な情報に基づき、地区レベルあるいはクラブレベルでご協力いただく最も有意義な援助プロジェクトを決定し、いずれそのリストを提供させていただきます。諸般厳しい状況下にあります。何卒識字プロジェクトの重要性をご理解賜り、RIの識字率向上運動にご協力下さいませようお願い申し上げます。

## ガバナー補佐ご挨拶



### 奉仕の輪を広げたい

第1グループガバナー補佐

山本 三次郎

第1グループ担当のガバナー補佐を委嘱され、まさにその大役に身の引き締る思いです。

2004～2005年度、RIエステス会長テーマ、第2510地区、遠藤秀雄ガバナーの要望を踏まえ、更に四項目の地区目標達成を念頭に、第1グループ内、5クラブを訪問し理解と協力を賜り、そして当グループ内、各クラブの親睦と活性化を図り、奉仕の輪を広げるべく微力ではございますが努力を致します。

この1年間、各クラブ会員皆様のご指導とご協力を賜り、ガバナー補佐の使命を全うする所存でございますので宜しくお願い申し上げます。

(羽幌RC)



### 好意と友情を いただいて

第2グループガバナー補佐

鈴木 忠男

ガバナー補佐として、これから1年、各クラブの会員皆様の好意と友情をいただきながら、RI会長および遠藤秀雄ガバナーの活動方針を正確に伝え、また当グループ内での各クラブの親睦・活性化を図り、奉仕の輪を広げるべく、微力ではございますが、全力を尽くして努力してまいりたいと思っております。

本年度、第2グループの行事と致しましては、「ガバナー公式訪問」、「地区親睦野球大会」、「ロータリー100周年記念・4クラブ合同例会」などを行います。

皆様のご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。

(滝川RC)



### 職業奉仕に 哲学的な思考を

第3グループガバナー補佐

土谷 茂樹

29年ぶりにガバナー補佐に任命されました。今様浦島の心境です。29年前に(分区代理と呼称)くらべて補佐の仕事は複雑になってきました。ロータリーも昔と変わらないのは会員増強と寄付金集めの2点です。RIの統率力が増すのに反比例して、ロータリーの魅力が失われていくのは残念なことです。もう少しロータリーの原点である職業奉仕に哲学的な思考を加えたら良いかなと思いますが・・・。

RI会長は「ロータリーを祝おう」と提唱されました。ロータリー100年の歴史は、各種の奉仕活動と親睦の歯車が織りなしてきた100年の歴史なので、私も遠藤ガバナーとグループ内の皆さんと100年をお祝いし、ロータリーライフを楽しみたいと思います。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

(江別西RC)



### 楽しいクラブを

第4グループガバナー補佐

小山 秀昭

「ロータリーを祝おう」100年を迎える記念の年度にガバナー補佐を務めることになり、気の引き締まる思いです。

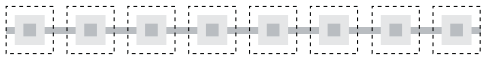
今年度のRI「4つの強調事項」地区の「4つの目標」の実現に向かって努力いたします。

私はロータリーは楽しくなくては・・・と思っております。

年間4度以上各クラブをお邪魔いたします。皆様のご協力ご支援をよろしくお願い申し上げます。

(札幌手稲RC)





## 魅力ある ロータリーを

第5グループガバナー補佐

丸山 淳士

第5グループのガバナー補佐をお引き受け致すことになり、一言ご挨拶を申し上げます。

1999年に札幌真駒内ロータリークラブに入会し、まだ8年目という浅い経験しかございません。長い伝統と歴史の重みを感じながら、皆様のご意見に耳を傾け、お教えをいただきながら役務を遂行する覚悟でございます。

最近の経済の落ち込みや社会体制の変化に伴い、会員の減少に歯止めがかからない状態が続いております。

伝統や風格も大事とは思いますが、経験の浅さを武器に、社会にまだまだ活躍しておられる、ロータリー精神を発揮できる人格者がおられることを念頭に置き、これらの人々をいかにして私どもの仲間に入らせるかを第一重点項目としたいと考えております。

会員を増強し、友人をより多く増やすことがロータリー精神を発揮する原動力となります。

魅力あるロータリーを目指し、輝ける100年を心から祝える年度にしたいものです。  
(札幌真駒内RC)



## ロータリーを 祝おう

第6グループガバナー補佐

関 幸吉

今年度、第6グループのガバナー補佐に任命されました関でございます。宜しくお願ひ申し上げます。本年度は、ロータリーが創立されて100周年と言う記念すべき年であります。まずこの100年と言う永い歴史に対しまして、私はロータリアンの一人として、その発展に敬意を称するとともに、大きな喜びを感じている次第です。このような記念すべき年度に、ガバナー補佐と言う大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。RI会長はロータリーを祝おうと提言されております。その主旨を良く理解して、会員皆んなでロータリーを祝おうではありませんか。当年度一年間、私はガバナーの要望事項を良く把握し、各クラブに正確に伝え、クラブの活性化に努めると共に、またグループ内クラブの親睦を深め、各クラブ間の意志疎通を図り、好意と友情を深める事に微力ではありますが努力して参りたいと思います。この一年間、会員皆様の温いご指導とご協力を宜しくお願ひ致します。  
(倶知安RC)



## 有意義な1年に

第7グループガバナー補佐

大谷 恵一

ロータリー100周年のこの年に、ガバナー補佐という大役を務めることとなり、責任を感じると同時に、分区代理とは違うその責務に気付き、胃の痛くなる毎日です。

非力ながらロータリーを勉強しなおし、第7グループにとってそして自分自身にとって有意義な1年にすべく、努力する所存です。

今年のテーマは「100年を祝おう」です。100周年の歴史のあるロータリーを尊敬し、その会員であることに誇りを持ちましょう。そして、心から盛大に100周年を祝いたいと思っています。

会員皆様の好意と友情を宜しくお願ひいたします。

(北広島RC)



## 原点に戻ろう

第8グループガバナー補佐

蘇田 又栄

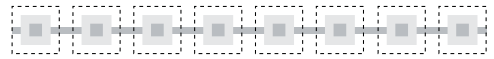
ロータリー創立100年の意義ある年に、ガバナー補佐の大役を拝命し身の引き締まる思いで一杯です。微力ではありますが遠藤ガバナー並びにグループ皆様のご協力のもと、努めさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。

いま、ロータリーは100年の歴史を歩みながら、時代の変化に即応したロータリーの姿を求め、変革の兆しが見られつつあるのではないのでしょうか。

今こそ私達ロータリアンもロータリーの歴史を振り返り、ロータリーの可能性に対する認識を高め、新しい挑戦に取り組むときと考えます。

本来のRI会長のテーマは「100年を祝おう」です。この節目の年を機会に私達もロータリーの原点に戻り、奉仕の精神に基づき世界の平和を願ひ、地域社会に親しまれるロータリー活動に邁進しようではありませんか。

(浦河RC)



## 連絡役に徹する

第9グループガバナー補佐

鈴木久雄

第9グループのガバナー補佐を務めることになりました鈴木でございます。

2月の地区チーム研修セミナーを最初に、地区協議会・会長エレクト研修セミナー・ロータリー財団・米山記念奨学金セミナーと次々にロータリーならではの徹底した事前の教育を受けて参りました。

これからの1年間は、ガバナー活動方針に沿ってグループ内の各クラブとの連絡役に徹するつもりでおります。

会員皆様のご協力をいただきながら、重責を果たして参りたいと思っております。

宜しく願い申し上げます。

(室蘭東RC)



## 地区と各クラブの パイプ役として

第10グループガバナー補佐

加藤直樹

地区リーダーシッププランのもと、第10グループ内のローテーションにより、2004～2005年度のガバナー補佐をお引き受けすることになりました。どうか、皆様には、格別のご指導、ご協力をいただけますよう、心より、お願い申し上げます。

私のガバナー補佐としての本年度は、遠藤秀雄ガバナーと第10グループ内ロータリークラブのパイプ役に徹したいと考えております。

会員皆様が、ロータリーの歯車のお一人として、心にもっておられる、思いやりの気持ちや、やさしい気持ちを、倫理的に活動につなげていただけるよう、少しでもお役にたつことができればと思います。

会員皆様の、ご健康とご活躍をお祈りします。

(七飯RC)



## 友愛の心通じて パイプ役に

第11グループガバナー補佐

吉川達也

第11グループ・ガバナー補佐の大役を務める事になり身の引き締まる思いと同時に不安と緊張の念で一杯です。今年度遠藤ガバナーは四つの地区目標を掲げており、その目標達成に、微力ながらグループ内会長、幹事さんの力をお借りして活動を進めて行きたいと思っております。

昨今、ロータリーに対し、いろいろな考えが生れ改革されております。こういう厳しい変革の時代こそ、クラブ創立時に思いを馳せ奉仕活動の目標を定めていく必要があるのではないのでしょうか？ロータリーの心を訴えながらロータリーの本質である友情と親睦、すなわち友愛の心を通してガバナーと各クラブのパイプ役ができればと考えております。幸い、知識・情熱・実行力豊かな会長、幹事さんに囲まれての事、心強いかぎりです。

私自身は浅学非才ではありますが、この1年間、11グループ会長、幹事、さらに会員の皆様には宜しくご支援ご協力の程、お願い申し上げます。(函館東RC)



## ロータリー力の 発揮へ

第12グループガバナー補佐

藤澤正昭

今年は、ロータリークラブが誕生してから百年目の年にあたります。この記念すべき年に巡り合えたことをたいへん幸運に感じている次第であります。ロータリークラブの創設の時代背景を考えてみるのに、またとない機会でもあります。創始者たち、ポール・ハリスと3名の仲間はいかにして困難な時代を乗り越えるか、大いに議論したものと推察いたします。

ロータリークラブは、途中、二つの世界大戦、世界大恐慌といった世界の大事件を経て今日至っております。この百年の月日は苦難の時代であったともいえます。

『数は力なり』やはり会員増強は欠くことのできない大目標であります。また『継続は力なり』といいますが組織が百年続くことは至難の事と思っております。数と継続により、なお一層の『ロータリー力』を発揮できることを願っております。皆さまの絶大な御協力をよろしくお願い致します。

(苫小牧RC)

# 2004～2005年度 ガバナー補佐連絡先一覧表



グループ	氏名／RC	職業分類	勤務先・役職/勤務先住所/TEL/FAX/E-mail	自宅住所/TEL/FAX/E-mail
1	やまもと さん じろう 山本 三次郎 (羽幌)	旅館	セールス会館 代表 〒078-4101 苫前郡羽幌町南1条1丁目 TEL01646-2-2022 FAX01646-2-2245	〒078-4101 苫前郡羽幌町南1条1丁目 TEL01646-2-2022 FAX01646-2-2245
2	すずき ただお 鈴木 忠男 (滝川)	内科	(医)鈴木内科クリニック 理事長・院長 〒073-0011 滝川市黄金町西3丁目1-30 TEL0125-23-2753 FAX0125-23-3022	〒073-0011 滝川市黄金町西3丁目1-30 TEL0125-23-2753 FAX0125-23-3022
3	つちや しげき 土谷 茂樹 (江別西)	内科医	土谷医院 院長 〒069-0853 江別市大麻高町16-18 TEL011-386-4860 FAX011-386-4860	〒061-1374 恵庭市恵み野北2丁目11-4 TEL0123-36-6953
4	こやま ひであき 小山 秀昭 (札幌手稲)	燃料小売	しなねん商事(株) 代表取締役 〒063-0823 札幌市西区発寒3条1丁目6-6 TEL011-662-7347 FAX011-665-4166 E-mail:sinanen@poppy.ocn.ne.jp	〒063-0823 札幌市西区発寒3条1丁目6-5 TEL011-662-6148 E-mail:h-koyama@nifty.com
5	まるやま じゅんじ 丸山 淳士 (札幌真駒内)	産婦人科医	(医)五輪橋産科婦人科小児科病院 理事長 〒005-0802 札幌市南区川沿2条1丁目2-55 TEL011-571-3110 FAX011-571-1989 E-mail:gorin1@seagreen.ocn.ne.jp	〒064-0802 札幌市中央区南2条西28丁目3-15 TEL011-631-1816 FAX011-611-7638 E-mail:doctor-m@bamboo.plala.or.jp
6	せき こうきち 関 幸吉 (倶知安)	家具販売	侑俱知安家具センター 代表取締役 〒044-0032 虻田郡倶知安町南2条西1丁目34 TEL0136-22-0368 FAX0136-22-6040 E-mail:ja8ymz@vesta.ocn.ne.jp	〒044-0032 虻田郡倶知安町南2条西1丁目34 TEL0136-22-0368 FAX0136-22-6040
7	おおたに けいいち 大谷 恵一 (北広島)	不動産賃貸	侑大谷商事 代表取締役 〒061-1121 北広島市中央3-3-1しんこうビル2F TEL011-373-2466 FAX011-373-2466	〒061-1132 北広島市北進町1-5-1 S102 TEL011-373-7386
8	そだ またえ 蘇田 又栄 (浦河)	肥料・飼料販売	株式会社ホクチク 代表取締役 〒057-0002 浦河郡浦河町西幌別273 TEL01462-8-1011 FAX01462-8-1100	〒057-0034 浦河郡浦河町堺町西3丁目15-1 TEL01462-2-4245
9	すずき ひさお 鈴木 久雄 (室蘭東)	皮膚泌尿器科医	鈴木皮膚科医院 院長 〒050-0085 室蘭市輪西町2丁目3-17 TEL0143-44-2593 FAX0143-43-4145	〒050-0072 室蘭市高砂町5丁目25-5 TEL0143-47-4667
10	かとう なおき 加藤 直樹 (七飯)	事務用機器販売	(株)加藤栄好堂 代表取締役 〒041-0806 函館市美原町3丁目3-13-15 TEL0138-47-8800 FAX0138-47-8822	〒041-1111 亀田郡七飯町本町437 TEL0138-65-8921 FAX0138-65-7921
11	よしかわ たつや 吉川 達也 (函館東)	建築材料販売	侑吉川金属工業 代表取締役 〒040-0074 函館市松川町46-8 TEL0138-41-0238 FAX0138-45-0900	〒040-0074 函館市松川町46-8 TEL0138-43-7867
12	ふじさわ まさあき 藤澤 正昭 (苫小牧)	産婦人科医	藤澤産婦人科 院長 〒053-0806 苫小牧市大成町2-5-8 TEL0144-72-5301 FAX0144-72-5302	〒053-0806 苫小牧市大成町2-5-6 TEL0144-72-5301





No.	月 日	クラブ名	例 会		会長・幹事懇談会	担当ガバナー補佐	No.	月 日	クラブ名	例 会		会長・幹事懇談会	担当ガバナー補佐										
			時間	会 場						時間	会 場												
1	7/7(木)	倶知安	12:30	倶知安ホテル第一会館	9:30	⑥関 幸吉	14	8/19(木)	美 唄	12:30	美 唄ホテルスエヒロ	10:15	③土谷茂樹										
		岩 内			10:15				岩 見 沢			11:00											
		蘭 越			11:00				岩 見 沢 東			11:45											
		余 市			11:45																		
2	7/9(金)	苫小牧	12:30	苫小牧グランドホテルニュー王子	9:30	⑩藤澤正昭	16	8/24(火)	江 別	12:30	江 別 市 民 会 館	10:15	③土谷茂樹										
		苫小牧北			10:15				江 別 西			11:00											
		苫小牧東			11:00				当 別			11:45											
		白 老			11:45																		
3	7/15(木)	小樽銭函	12:30	小 樽グランドホテル	10:15	⑥関 幸吉	17	9/7(火)	栗 山	12:30	栗 山パラダイスヒルズホテル	11:00											
		小 樽			11:00				栗 沢			11:45											
		小 樽 南			11:45																		
4	7/20(火)	札幌西	12:30	三越札幌店	11:45	④小山秀昭	18	9/14(火)	函館東	12:30	国際ホテル	10:15	⑪吉川達也										
5	7/22(木)	札幌西北	12:30	三越札幌店	10:15				函館五稜郭			11:00											
		札幌あけぼの			11:00				函館北			11:45											
6	7/26(日)	札幌はまなす	18:30	札幌センチュリーロイヤルホテル	16:15	④小山秀昭	19	9/14(火)	上 磯	18:30	国際ホテル	16:15											
		札幌モーニング			17:00				江 差			17:00											
7	7/29(木)	札幌東	12:30	札幌ロイヤルホテル	10:15	④小山秀昭	20	9/15(水)	函 館	12:30	函 館ホテルオークランド	11:00	⑩加藤直樹										
		新札幌			11:00				函館亀田			11:45											
		札幌セントラル			11:45				七 飯			16:15											
8	7/30(金)	札幌真駒内	12:30	札幌ルネッサンスホテル	9:30	⑤丸山淳士	21	9/15(水)	森	18:30	大 沼プリンスホテル	17:00											
		札幌清田			10:15				長 万 部			17:45											
		札幌幌南			11:00				伊 達			11:00											
		札幌大通公園			11:45				洞 爺 湖			11:45											
9	8/3(火)	深 川	12:30	深 川プラザホテル板倉	11:00	①山本三次郎	22	9/21(火)	浦 河	12:30	浦 河ウエリントンホテル	10:15	⑨鈴木久雄										
		妹背牛			11:45				えりも			11:00											
10	8/4(木)	札幌	12:30	札幌グランドホテル	11:45	④小山秀昭	23	9/28(火)	様 似	12:30	ホテル日航千歳	11:45	⑧蘇田又栄										
		11			8/5(木)				羽 幌			12:15		羽幌サンセットプラザホテル	10:00	①山本三次郎	24	9/29(水)	静 内	12:30	静 内ウエリントンホテル	11:00	
									小 平						10:45				三 石			11:45	
12	8/5(木)	留 萌	18:30	滝 川ホテルスエヒロ	17:00	②鈴木忠男	25	10/4(日)	北 広 島	12:30	北 広 島プリンスホテル	9:30	⑦大谷恵一										
		滝 川			17:45				恵 庭			10:15											
13	8/10(火)	赤 平	18:00	赤平交流センター未来	16:30	②鈴木忠男	26	10/5(火)	千 歳	12:30	ホテル日航千歳	11:00											
		芦 別			17:15				長 沼			11:00											
14	8/10(火)	室 蘭	18:30	室 蘭 中 嶋 社 蓬 棘 殿	15:30	②鈴木忠男	27	10/6(水)	室 蘭 北	18:30	室 蘭 中 嶋 社 蓬 棘 殿	16:15	⑨鈴木久雄										
		室 蘭 東			17:00																		
		登 別			17:45																		

※ガバナー補佐氏名に付いている番号はグループ番号

# 地区カレンダー (予定表)

年	ロータリー月間強調事項	月	日(曜日)	地区の行事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事 クラブ周年行事
2004 (平成16年)	識字率向上月間	7	17(土) 31(土) 31(土)・8/1(日)	各クラブ半期報告、人頭分担金送金 (7/31迄) 03-04アメリカ、カナダ、メキシコ受入学生送別会 04-05受入学生関係者オリエンテーション 04-05派遣学生最終オリエンテーション・壮行会 04短期受入・派遣学生歓迎会 ロータリーの社会奉仕活動に関する意見交換会 (第7・8・9・12グループ/宮城グランドホテルニュー王子) ロータリーの社会奉仕活動に関する意見交換会 (第10・11グループ/カンフレンド) ロータリーアクト地区キャンプ (岩内)	5(月) 11(日)	第1回ガバナー会 ガバナー・元・次期ガバナー懇談会 全国青少年交換委員長会議	
	会員増強および拡大月間	8	7(土) 21(土)	インターアクト海外研修(韓国ソウル市、予定) 03-04派遣学生帰国報告会 04-05受入学生歓迎会 ロータリーの社会奉仕活動に関する意見交換会 (第1・2・3グループ/滝川ホテルスエヒロ) ロータリーの社会奉仕活動に関する意見交換会 (第4・5・6グループ/札幌IAV) ロータリーアクト地区協議会 (函館、予定)	8(日)	ロータリー財団地域セミナー	
	新世代のための月間	9	3(金)・4(土)	地区親睦野球大会 05-06国際親善奨学生申請書送付 青少年交換委員会秋季キャンプ 05-06派遣候補学生オリエンテーション ライラセミナー(予定)	7月 12(日)	米山委員長会議 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー 地区研修リーダーのための研修会	
	職業奉仕月間 米山月間	10	4(月)~3(日) 11(月) 15(金) 16(土)・17(日)	第3350地区GSEチーム受入 地区大会記念開基大会 (札幌・日本棋院北海道本部開基会館) 地区大会記念ゴルフ大会 (登録カントリー倶楽部) 地区大会 (登録グランドホテル・日本工学院北海道専門学校・第一港本館)	25(月)		函館RC創立70周年記念式典
	ロータリー財団月間 世界インターアクト週間 (11/5を含む1週間)	11		05-06オーストラリア受入オリエンテーション 米山学友会定時総会 (予定) 第3回北海道ロータリーアクト交流会 (北見)	25(木) 26(金) 27(土)・28(日)	ROTARY-NO-TOMO発行 ロータリー財団地域セミナー 第2回ガバナー・エレクト研修セミナー 第2回ガバナー会 第32回ロータリー研究会(広島)	
		12		04-05オーストラリア受入学生送別会			
	ロータリー理解推進月間 追悼記念週間 (1/27を含む1週間)	1		各クラブ半期報告、人頭分担金送金 (1/31迄) ガバナー補佐会議 (予定) 06-07国際親善奨学生募集開始 05-06オーストラリア受入学生歓迎会 05短期派遣候補学生選考試験	22(土)		札幌札幌南RC創立40周年記念式典
	世界理解月間 家族週間(第2週) ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日(2/23) 世界理解と平和週間 (2/23~3/1)	2	6(日)	札幌国際スキーマラソン参加 (新世代委員会) ロータリーアクト海外研修 (予定)	23(水) 18(金)~25(金)	米山奨学生選考試験 国際協議会(米国・アナハイム) 米山奨学生歓迎会	R創立100周年記念行事(各クラブ・グループ)
	世界ロータリーアクト週間 (3/13を含む1週間)	3	6(日) 26(土) 27(日)	地区チーム研修セミナー (札幌ロイヤルホテル) 青少年交換委員会冬季キャンプ 地区R財団・米山記念奨学会セミナー (札幌ロイヤルホテル) 会長エレクト研修セミナー(札幌ロイヤルホテル)	6(日)・7(月)	全国ロータリーアクト研修会 (広島)	恵庭RC創立35周年記念式典 (予定)
	ロータリー雑誌月間	4	10(日)	地区協議会(札幌パークホテル) 06-07国際親善奨学生各クラブでの受付締切	30(土)	ROTARY-NO-TOMO発行 青少年交換研究会 R100周年記念・R9会長主催祝賀会議 (東京)	
		5	28(土)・29(日)	ロータリーアクト地区大会 (千歳) 06-07国際親善奨学生G事務所への提出締切		米山奨学生オリエンテーション	北広島RC創立25周年記念式典 (予定)
	R1国際大会 ロータリー親睦活動月間	6		新日ガバナー補佐、地区委員長会議 インターアクト地区年次大会 (静内、予定) 06-07国際親善奨学生選考試験 06-07長期派遣候補学生選考試験	4(土) 19(日)~22(水)	米山記念奨学会、理事会・評議員会 国際大会 (米国・シカゴ)	倶知安RC創立40周年記念式典
		9		遠藤年度地区要覧発行			

\*特記事項および注記 地区内クラブの周年記念行事の日程は担当ガバナー補佐を通じて、早めにガバナー事務所までご連絡下さい。  
詳細未定の会合は、現在のところ予定で掲載しております。

## 2004-2005年度 ガバナー公式訪問に関するお願い

本年度の公式訪問は、前頁日程のとおり行います。貴クラブへの訪問を有意義なものとするため、下記の事項についてお手配とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 公式訪問に必要な書類** ※下記の書類は7月1日までにガバナー補佐を通じて、ガバナーエレクト事務所へご提出下さい。
  - ①効果的なロータリークラブを計画するための指針 クラブ会長要覧 (P.76~P.81) に綴じ込まれているものをコピーし、ご記入の上、ガバナー補佐の署名を得てガバナーエレクト事務所へお送りください。※下記の書類は貴クラブ訪問日の2週間前までにガバナーエレクト事務所へお送り下さい。
  - ②クラブ定款と細則
  - ③今年度(2004-2005)クラブ活動計画書と前年度(2003-2004)活動報告書 注)公式訪問が7月のクラブで未決定の場合は、前年度分で代用可能です。
  - ④充填・未充填職業分類表
  - ⑤会員名簿
  - ⑥クラブ会報(最近の4~5回分)
  - ⑦過去5年間の年度別会員入退会数および退会者のクラブ在籍年数
  - ⑧貴クラブの特徴(クラブの自慢、良い事業等)をご紹介下さい。
- 会長・幹事懇談会**
  - ①会長・幹事の他に会長エレクトも必ずご出席下さい。
- クラブ例会**
  - ①和やかで楽しい例会を行うためにも、より多くの会員に出席を奨励して下さい。
  - ②ご連絡頂いた地元公共機関への御挨拶は喜んで訪問させていただきます。
  - ③訪問時のお心遣いは、お気持ちだけ頂き固くご辞退致します。

一般地区資金

収入の部

科 目	2003-2004年度 予 算	2004-2005年度 予 算 案	摘 要
1. 前期繰越金	14,000,000	14,000,000	
2. 一般地区資金 上期@4,730	16,082,000	15,609,000	03-04年度3,400人(@4,730)
同 上 下期@4,730	16,082,000	15,609,000	04-05年度3,300人(@4,730)
3. R I助成金	3,000,000	2,800,000	
4. ガバナー月信購読料	2,520,000	2,520,000	10部×72RC×@3,500
5. 雑収入	100,000	100,000	
収入合計	51,784,000	50,638,000	

支出の部

科 目	2003-2004年度 予 算	2004-2005年度 予 算 案	摘 要
A. 地区大会			
1. 地区表彰費	500,000	500,000	
2. ガバナー記念費	300,000	100,000	
Aの部 小 計	800,000	600,000	
B. 助成金			
1. 地区協議費	800,000	800,000	
2. 都市連合会 (IM)	0	0	休止
3. 会長エレクト研修セミナー(PETS)	400,000	400,000	
4. 地区リーダーシップセミナー	0	0	
5. 分地区協議会(グループ協議会)	350,000	350,000	地区チーム研修セミナー
Bの部 小 計	1,550,000	1,550,000	
C. 負担金			
1. ガバナー会	680,000	660,000	(上)3,300人+(下)3,300×@100
2. 日本ロータリー文庫	1,020,000	990,000	(上)3,300人+(下)3,300×@150
Cの部 小 計	1,700,000	1,650,000	
D. 会議費			
1. 地区ガバナー指名委員会	300,000	200,000	
2. 地区ガバナー諮問委員会	500,000	500,000	
3. 地区ガバナー補佐会議	800,000	800,000	
4. 地区委員長会議	400,000	400,000	
5. 地区研修リーダー会議	30,000	30,000	
6. 地区クラブ奉仕委員会	50,000	50,000	
7. 地区広報委員会	150,000	150,000	
8. 地区情報委員会 地区情報・IC委員会	150,000	150,000	2004-05年度より統合
9. 地区IC委員会	30,000	30,000	
10. 地区ロータリーの友委員会	30,000	30,000	
11. 地区拡大委員会	30,000	30,000	
12. 地区会員増強委員会	50,000	50,000	
13. 地区職業奉仕委員	50,000	50,000	
14. 地区社会奉仕委員会	120,000		
15. 地区家庭奉仕委員会	120,000	540,000	
16. 地区子ども奉仕委員会	300,000		
17. 地区新世代委員会	100,000		
18. 地区ライラ委員会	30,000	130,000	
19. 地区インターアクト委員会	150,000	150,000	
20. 地区ロータリーアクト委員会	150,000	150,000	
21. 地区青少年交換委員会	400,000	400,000	
22. 地区国際奉仕委員会	100,000		
23. 地区世界社会奉仕委員会	150,000	270,000	
24. 地区視察活動委員会	20,000		
25. 地区友情交換委員会	30,000	0	2004-05年度より廃止
26. 地区ロータリー財団委員会	30,000		
27. 地区財団増進委員会	30,000	60,000	2004-05年度より統合
28. 地区国際親善奨学金委員会	50,000	50,000	
29. 地区GSE委員会	50,000	50,000	
30. 地区財団学友委員会	50,000	50,000	
31. 地区補助金委員会	20,000	20,000	
32. 地区米山記念奨学金委員会	30,000	30,000	
33. 地区米山学友委員会	30,000	30,000	
34. 地区財務委員会	20,000	20,000	
35. 地区オン・ツー・シカゴ委員会	50,000	50,000	
36. 地区100周年記念委員会	50,000	50,000	
37. 地区意義ある業績賞選考委員会	20,000	20,000	
38. その他委員会	100,000	100,000	
39. 予備費	150,000	150,000	
Dの部 小 計	4,920,000	4,760,000	
E. 旅費			
1. ガバナー会	150,000	150,000	2回
2. バストガバナー会	500,000	500,000	7月、東京
3. ロータリー研究会	1,000,000	1,400,000	11月、広島
4. ガバナーエレクト国際協議会	700,000	700,000	
5. 全国ガバナーエレクト会議	150,000	150,000	2回
6. 全国地区連絡会議	400,000	400,000	I C 1回, 青少年2回 他
7. その他会議	300,000	168,800	
Eの部 小 計	3,200,000	3,468,800	
F. ガバナー事務所費	14,300,000	13,000,000	
G. ガバナーエレクト事務所費	4,800,000	4,800,000	
H. ガバナー月信発行費	3,500,000	3,800,000	13回発行
I. ガバナー公式訪問費	1,000,000	1,136,000	
J. 地区文庫資料室費	1,050,000	1,050,000	
K. 地区IC活動費	730,000	530,000	地区ホームページ
L. 総予備費	234,000	873,000	
M. 臨時支出金	0	0	
支出合計	37,784,000	37,217,800	
次期繰越金	14,000,000	13,420,200	
総 計	51,784,000	50,638,000	

特別地区資金

収入の部

科 目	2003-2004年度 予 算	2004-2005年度 予 算 案	摘 要
1. 前期繰越金	6,000,000	6,500,000	
2. 特別地区資金 上期@3,820	12,988,000	12,606,000	03-04年度3,400人(@3,820)
同 上 下期@3,820	12,988,000	12,606,000	04-05年度3,300人(@3,820)
3. 雑収入			
収入合計	31,976,000	31,712,000	

支出の部

科 目	2003-2004年度 予 算	2004-2005年度 予 算 案	摘 要
A. 負担金			
1. 地区大会	6,120,000	5,940,000	@1800
2. 地区協議会	3,400,000	3,300,000	@1000
Aの部 小 計	9,520,000	9,240,000	
B. 事業費			
1. 地区インターアクト事業費	1,700,000	1,650,000	@500
2. 地区ロータリーアクト事業費	2,312,000	2,244,000	@680
3. 地区新世代活動事業費	1,190,000	1,155,000	@350
4. 地区青少年交換事業費	5,440,000	5,280,000	@1600
5. 地区子ども奉仕委員会事業費	544,000	528,000	@160
6. 地区世界社会奉仕事業費	2,142,000	2,079,000	@630
7. 地区財団奨学生事業費	816,000	792,000	@240
8. 地区G S E 事業費	782,000	3,589,000	@330 ※
9. 地区財団学友事業費	170,000	165,000	@50
10. その他の事業費	680,000	660,000	@200
11. 世界平和奨学金事業費	34,000	33,000	@10
12. 予備費	510,000	297,000	@90
Bの部 小 計	16,320,000	18,472,000	
C. 規定審議会代議員費	450,000	0	
D. 臨時支出金	0	0	
支出合計	26,290,000	27,712,000	
次期繰越金			
繰越金内訳			
G S E 事業費	5,686,000	4,000,000	
規定審議会代議員費			
その他の事業費			
総 計	31,976,000	31,712,000	

※GSE事業費は受入年度に伴う支出が増えるため、予算額1,089,000円  
のほかに繰越金より2,500,000円を加えています。

ガバナー事務所費の内訳明細

科 目	2003-2004年度 予 算	2004-2005年度 予 算 案	摘 要
1. 給与手当	4,125,000	3,710,000	
2. 家賃・光熱費	975,000	700,000	
3. リース料	480,000	280,000	@20,000×14ヶ月
4. 事務用品費	700,000	550,000	
5. 印刷費	1,000,000	1,000,000	便箋、封筒、コピー代
6. 登録料など負担金	50,000	170,000	
7. 会議費	700,000	600,000	地区幹事会 @1,000×12名×50回
8. 通信費	800,000	770,000	電話、郵便料
9. 旅費交通費	420,000	450,000	
10. 渉外費	900,000	900,000	
11. 資料費	800,000	700,000	地区役員名簿作成費他
12. 備品費	600,000	300,000	プリンター、電話機、本棚、看板他
13. 地区要覧費	700,000	496,000	@1,600×310冊
14. ガバナー補佐事務所費	1,200,000	1,200,000	@100,000×12人
15. 雑費	600,000	924,000	
16. 予備費	250,000	250,000	
合 計	14,300,000	13,000,000	

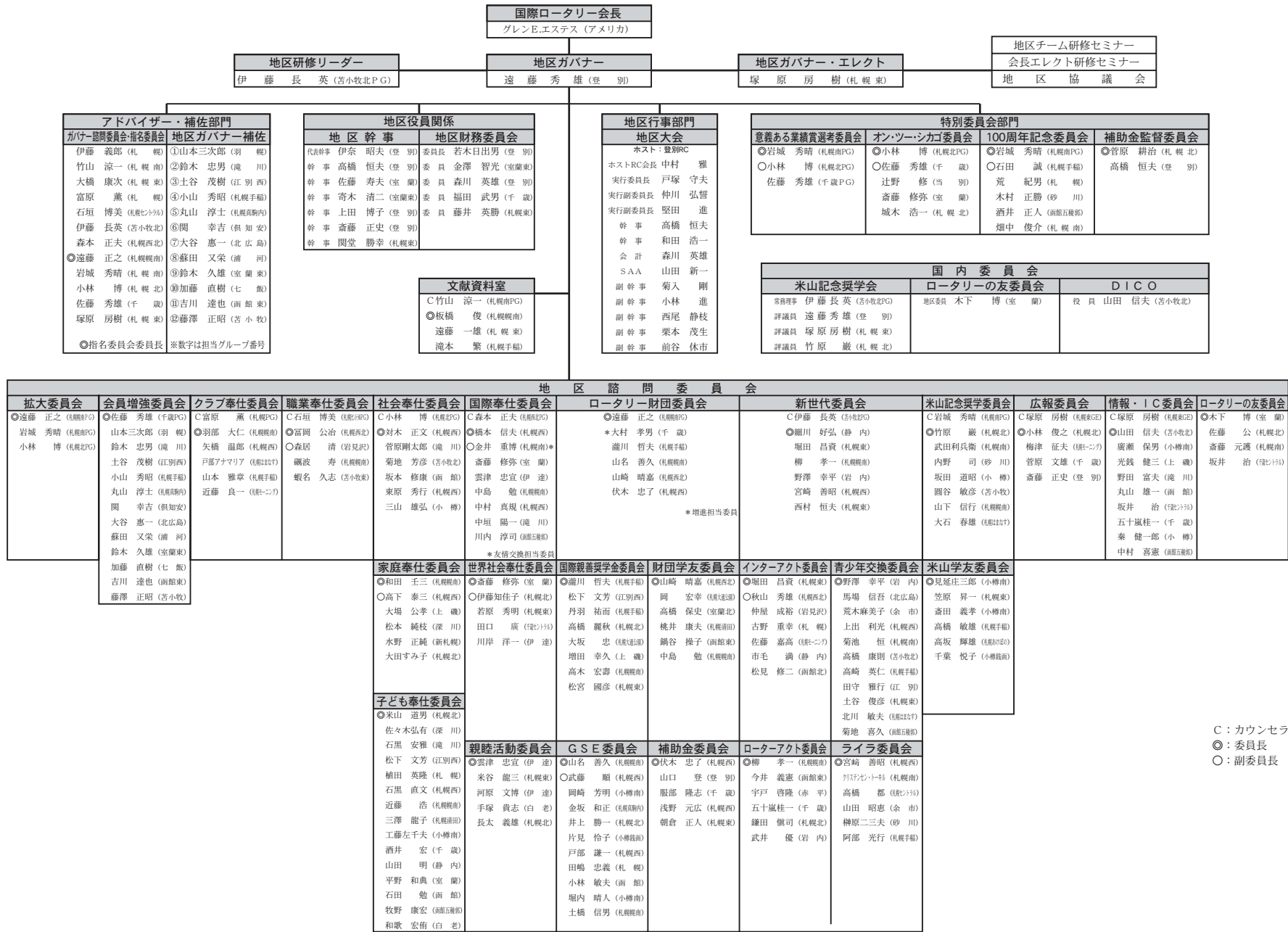
2004～2005年度地区予算について

会員の減少が続いており、地区の運営費及び事業費の節減に努める必要があります。1 会員当たり地区負担金17,100円(一般地区資金4,730円×2、特別地区資金3,820円×2)は昨年度と同額と致します。

2004～2005年度の地区予算の留意点

1. 会員の減少はとどまらず、2004～2005年度は上・下期を3,300名と想定する。
2. ガバナー月信は、各クラブ最低10部を購入(昨年度同様)いただき、それ以上の部数購読に努める。
3. 一般地区資金について、効果的な運用を図るため小委員会会議費を親委員会会議費に併せる。
4. 一般地区資金のガバナー記念費、会議費の広報・情報委員会費を削減する。
5. ガバナー事務所費の削減を計る。
6. 地方にガバナー事務所が置かれたので、旅費等に増加の傾向がある。
7. 地区協議会、地区大会の負担金は、会員減少に伴い削減する。
8. 特別地区資金のうち、地区G S E 事業費は今年度は受け入れ年度のため、繰越金を使用し増額となる。
9. 一般地区資金の運営費及び特別地区資金の事業費を予算以内に遂行しても、次年度への繰越金減額が予想される。
10. 委員会及び事業は報告書とともに、領収書を添付し提出いただく。

# 2004-2005年度 国際ロータリー第2510地区 地区組織図



C : カウンセラー  
 ◎ : 委員長  
 ○ : 副委員長



G	クラブ名	会 長 幹 事	クラブ事務所 所在地	事 務 所 TEL/FAX	G	クラブ名	会 長 幹 事	クラブ事務所 所在地	事 務 所 TEL/FAX
1	深 川	山田圭二 松本佳巳	074-0003 深川市3条6番7号 プラザホテル板倉内	T(0164)23-2121 F(0164)23-2125	6	小 樽 南	成瀬校男 村田達哉	047-0032 小樽市稲穂1-4-1 小樽グランドホテル内	T(0134)25-1515 F(0134)23-4196
	羽 幌	松橋 守 忠津 章	078-4108 苫前郡羽幌町南大通2丁目 (向)大栄印刷内	T(01646)2-3222 F(01646)2-3222		小 樽 銭 函	江刺家俊輔 藤中博文	047-0261 小樽市銭函3丁目298番地 (医)ひまわり会礼拝院内	T(0134)62-4676 F(0134)62-4676
	妹 背 牛	長田宗正 真鍋 剛	079-0501 雨竜郡妹背牛町364番地21 妹背牛商工会館内	T(0164)32-2025 F(0164)32-2003		蘭 越	金子一憲 佐藤義久	048-1301 磯谷郡蘭越町蘭越町8-2 ふれあいプラザ21内	T(0136)57-5437 F(0136)57-5576
	小 平	東海林孝一郎 空橋 仁	078-3301 留萌郡小平町小平町356-2 小平町文化交流センター内	T(0164)56-9500 F(0164)56-9555		余 市	目黒幸隆 本多宏行	046-0003 余市郡余市町黒川町3丁目141	T(0135)21-4171 F(0135)21-4172
2	留 萌	清水 隆 中川勝美	077-0044 留萌市錦町1丁目 留萌産業会館内	T(0164)42-8877 F(0164)42-9000	千 歳	服部隆志 藤本敏廣	066-0036 千歳市北栄2丁目2-1 千歳全日空ホテル3階	T(0123)23-4470 F(0123)23-4600	
	赤 平	早坂弘幸 田中隆志	079-1136 赤平市本町2丁目1 西沢税理士事務所内	T(0125)32-2200 F(0125)32-3988	千 歳 セ ン ト ラ ル	波田信夫 深見 浩	066-8520 千歳市本町4丁目4 ホテル日航千歳1階	T(0123)26-5788 F(0123)26-5788	
	芦 別	坪坂周二 桜井 祝	075-0031 芦別市南1条東1丁目11番地 芦別商工会議所内	T(01242)2-3444 F(01242)2-2345	恵 庭	三浦孝治 山澤興治	061-1441 恵庭市住吉町80-1 弘中税理士事務所2階	T(0123)32-2388 F(0123)32-6066	
	砂 川	杉本 勉 西川悦郎	073-0152 砂川市東2条北3丁目 砂川パークホテル内	T(0125)52-3989 F(0125)52-4572	北 広 島	斎藤 潤 鈴木政夫	061-1134 北広島市広葉町5丁目6-8	T(011)373-8892 F(011)373-8892	
3	滝 川	篠島 弘 続木伸一	073-0032 滝川市明神町2丁目2-16 ホテルスエヒロ7階	T(0125)22-3344 F(0125)24-2755	長 沼	池内昌之 吉川大之	069-1342 夕張郡長沼町旭町南1丁目1-2 KSインターナショナル内	T(01238)8-0801 F(01238)8-0801	
	美 唄	米森正夫 北野保孝	072-0025 美唄市西2条南2丁目2-3 美唄ホテルスエヒロ内	T(01286)2-2501 F(01286)3-4942	由 仁	吉田弘幸 市川由紀男	069-1203 夕張郡由仁町東栄78 株式会社後藤組内	T(01238)3-2634 F(01238)3-2564	
	江 別	加藤正勝 野村昌人	067-0074 江別市高砂町10番地15	T(011)382-0939 F(011)382-0936	え り も	新松 隆 西川一雄	058-0204 幌泉郡えりも町字本町170-1 日高信用金庫えりも支店内	T(01466)2-2311 F(01466)2-2314	
	江 別 西	石黒良平 上光一博	069-0812 江別市幸町10番地7	T(011)382-0081 F(011)382-0081	三 石	斉藤順閣 小島安彦	059-3107 三石郡三石町字旭町132-28 小島安彦方	T(01463)2-3647 F(01463)2-3647	
	岩 見 沢	千田一彦 山本公彦	068-0004 岩見沢市4条東1丁目6-1 三井グリーンランドホテルサンプラザ4F	T(0126)24-0700 F(0126)24-0020	様 似	橋坂兼雄 久野俊昭	058-0014 様似郡様似町大通2丁目35-2 日高信用金庫大通支店内	T(01463)6-2341 F(01463)6-4584	
	岩 見 沢 東	渡辺博人 坂口堅一	068-0006 岩見沢市6条東1丁目 平安ビル2F	T(0126)23-0945 F(0126)23-0945	静 内	中山弘三郎 福岡商人	056-0017 静内郡静内町御幸町2丁目1-9 商業協同組合日専連静内会3階	T(01464)3-2481 F(01464)3-2495	
	栗 沢	宮森俊一 川崎 直	068-0127 空知郡栗沢町本町11番地 栗沢町商工会館内	T(0126)45-2002 F(0126)45-4655	浦 河	砂原 肇 福土幹紀	057-0013 浦河郡浦河町大通3丁目40-1 浦河ウエリントンホテル内	T(01462)2-8888 F(01462)2-8525	
	栗 山	太田ヒロ子 関吉一郎	069-1511 夕張郡栗山町中央2丁目1番地 くりやまカルチャーE&K1内	T(01237)2-1278 F(01237)2-4001	伊 達	菅 俊治 小松幸雄	052-0021 伊達市末永町33-3 ローヤル内	T(0142)23-0512 F(0142)23-0516	
	当 別	島 義慈 六角英一	061-0223 石狩郡当別町弥生1091 鶴田西会館内	T(01332)2-0575 F(01332)2-0575	室 蘭	進藤勝哉 内山 博	051-0022 室蘭市海岸町2-3-2 室蘭産業会館4階	T(0143)22-7545 F(0143)22-7545	
	4	札 幌	松本脩三 中山 茂	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	室 蘭 東	芝垣美男 小林 進	050-0073 室蘭市宮の森町1丁目1-64 逢峯殿内	T(0143)43-7400 F(0143)43-7400
札 幌 あ け ぼ		久住 博 安田淳司	063-0032 札幌市西区西野2条2丁目8-13	T(011)671-6589 F(011)671-6590	室 蘭 北	川本康裕 西尾静枝	050-0074 室蘭市中島町2丁目28-6 ホテル・サンルート室蘭内	T(0143)45-6569 F(0143)45-6569	
札 幌 は ま な す		坂田文正 松尾浩之	001-0908 札幌市北区新琴似8条1丁目1-45 坂田ビル3階	T(011)736-6616 F(011)736-8322	登 別	中村 雅 和田浩一	059-0012 登別市中央町5丁目6-1 登別商工会議所会館内	T(0143)85-4111 F(0143)85-2438	
札 幌 北		深浦信吾 樋口正明	060-0807 札幌市北区北7条西5丁目6 ストークマンション札幌906	T(011)700-4511 F(011)700-4512	洞 爺 湖	三浦昭三 阿部信昭	049-5605 虻田郡虻田町字高砂町159-2 （株）エムズみうら業局内	T(0142)74-3333 F(0142)74-3334	
札 幌 モ ー ニ ン グ		大熊慈教 石田幹二	060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第1道通ビル1階	T(011)242-3360 F(011)219-1308	函 館	渡邊兼一 今 初弘	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251	
札 幌 西		矢橋隆郎 石丸修太郎	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	函 館 亀 田	木下 裕 出口秀光	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251	
札 幌 西 北		新宮喜信 田中光久	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	森	野田 剛 吉田 好	049-2313 茅部郡森町字森町296-16 （株）電気工業所内	T(01374)2-2174 F(01374)2-0484	
札 幌 手 稲		岡田幸四郎 肘井博行	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-6724	七 飯	柴田晴史 伊藤一彦	041-1104 亀田郡七飯町上藤城137-6 （株）七飯石材	T(01378)65-2123 F(01378)65-8450	
札 幌 東		小田切房之 清水 哲	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	長 万 部	高森治光 井上正範	049-3521 山越郡長万部町本町107 長万部商工会館内	T(01377)2-2270 F(01377)2-5257	
札 幌 清 田		高橋宣充 中島永昭	060-0004 札幌市中央区北4条西15丁目1-14 サンビル4F	T(011)632-5303 F(011)632-5308	江 差	深見秀治 松原富郎	043-0064 松山郡江差町字柏町38 （株）江差観光振興公社内	T(01395)2-4190 F(01395)2-6078	
5	札 幌 幌 南	土谷 洋 鎌田 亨	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	函 館 五 稜 郭	光銭裕二 田嶋英人	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251	
	札 幌 真 駒 内	藤井久弥 斎藤康嗣	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	函 館 東	鍋谷操子 門脇雅夫	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251	
	札 幌 南	須田義雄 服部信吾	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	函 館 北	南木哲雄 大谷賀津雄	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251	
	新 札 幌	有田京史 石黒光男	004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目4-35 新札幌駅前ハイッソ202号	T(011)801-1311 F(011)801-1312	上 磯	木下康昭 張江征司	049-0111 上磯町七重浜8-4-1	T(0138)49-4411 F(0138)49-2288	
	札 幌 大 通 公 園	長谷川美奈子 金森森樹	062-0931 札幌市豊平区平岸1条18丁目1-6 ルヴズイール天神山1F	T(011)811-5160 F(011)811-5160	松 前	長岡武久 本間靖夫	049-1514 松前郡松前町字豊岡56番地 本間靖夫方	T(01394)2-2250 F(01394)6-2048	
	札 幌 セ ン ト ラ ル	上野 史 日色無人	062-0062 札幌市中央区南2条西10丁目5-1 ジムテル210ビル449	T(011)272-2390 F(011)533-1306	白 老	門別紀一 坂田孝次	059-0902 白老郡白老町若草町2丁目3-1 白老観光センター2F	T(0144)85-2736 F(0144)85-2988	
	岩 内	小川 進 斉藤 徹	045-0003 岩内郡岩内町字万代1-4 （株）ホテルうきよ内	T(0135)62-1201 F(0135)62-2822	苫 小 牧	板谷 剛 君嶋基弘	053-0022 苫小牧市表町1丁目1-13 苫小牧経済センタービル内	T(0144)36-2688 F(0144)33-3159	
	倶 知 安	尾形智彦 高橋秀樹	004-0033 虻田郡倶知安町南3条西2丁目 ホテル第一会館内	T(0136)22-1158 F(0136)23-2258	苫 小 牧 東	佐藤正孝 中野孝一	053-0006 苫小牧市新中野町3丁目1-12 川端ビル内	T(0144)35-3344 F(0144)33-7744	
	小 樽	熊澤隆樹 金久兵衛士郎	047-0032 小樽市稲穂1-4-1 小樽グランドホテル内	T(0134)25-1515 F(0134)23-4196	苫 小 牧 北	高橋 寛 山田信夫	053-0006 苫小牧市新中野町3丁目1-12 川端ビル内	T(0144)33-0112 F(0144)33-7744	



ロータリー  
文庫通信  
(201号)

**ロータリー文庫**

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には、堂々方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、34年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお待ちしております。

**☆利用方法☆**

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合わせも承ります。

お問合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

**(文庫資料をご希望の場合は)**

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・絶版のものは実費（1枚20円+送料）でコピーサービスを致します。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ビデオテープは実費（1巻800円+送料）でダビング致します。

**(貸出し)**

- ・視聴覚資料（スライド・フィルム）は予約制（申し込み用紙有）で貸出し致します。

**(登録資料の紹介)**

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考なるような資料の紹介を致します。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

**(ご寄贈)**

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせていただきます。

**ガバナー事務所からのお願い**

- ①クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはE-mail)
- ②変更等のご報告について  
新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。  
新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願ひます。
- ③クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。
- ④各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。
- ⑤ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願ひればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

報 告 事 項	報告書式・方法およびその時期	報 告 先
半期報告	書類はR I日本事務局から直接次期幹事へ送付されます。 a.半期報告 b.会員リスト 2004年7月1日、2005年1月1日付で送付して下さい。	R I日本事務局 写：ガバナー事務所
国際ロータリー取扱分・送金 明細書 (人頭分担金・比例人頭分担 金・資料代)	人頭分担金・資料代： 2004年 7月1日付で作成 (半期報告書) 2005年 1月1日付で作成 比例人頭分担金・資料代：2004年10月1日付で作成 (四半期報告書) 2005年 4月1日付で作成	R I日本事務局 写：ガバナー事務所
新会員報告	書式見本は「幹事要覧(P.37)」に掲載 新会員入会の都度報告します。用紙は、R I日本事務局から無料で入 手できます。	R I日本事務局 写：ガバナー事務所
会員退会届	書式見本は「幹事要覧(P.37)」に掲載 会員が退会した時に報告します。用紙はR I日本事務局から無料で入 手できます。	R I日本事務局 写：ガバナー事務所
会員の資料変更*	書式見本は「幹事要覧(P.37)」に掲載 会員の記載事項が変更になった時報告します。用紙はR I日本事務局 から無料で入手できます。	R I日本事務局 写：ガバナー事務所
月次出席報告	毎月、最終例会終了後15日以内に報告して下さい。 書式は添付の「会員数及び出席報告」をコピーしてご使用下さい。	ガバナー事務所
役員または例会情報の変更*	クラブ会長、幹事の氏名及び住所並びに例会場・例会時刻等の変更が あった場合、直ちに報告が必要です。 グループ担当ガバナー補佐へのご連絡もお願い致します。	R I日本事務局 写：ガバナー事務所 写：グループ内クラブ 写：担当ガバナー補佐
公式名簿記載資料*	R Iから次年度クラブ役員の公式名簿記載資料が、10～11月頃送付 されます。次年度クラブ役員をもれなく記載し、12月末迄に各々ご 送付下さい。	R I日本事務局 写：ガバナー事務所 写：ガバナー・エレクト事務所
全日本会員名簿	ロータリーの友委員会から名簿調査票が送付されます。 変更、追加、修正を行って返送して下さい。	ロータリー全国名簿編集室
地区大会選挙人指名、信任状 証明書	信任状委員会が発行する信任状に記載します。 信任状は選挙人が地区大会に持参することになります。	地区大会信任状委員会
R I国際大会 代議員の選任、委任状による 代理者の指定、信任状	R Iから信任状が送付されてきます。 会員数、代議員数、代議員の選定日を記入し会長、幹事の署名をし ます。代議員に関してはクラブで代議員を定めるか、慣例的に代理者を ガバナー・エレクトに指定することが多くなっています。	国際大会信任状委員会
ロータリー財団	寄付を实践した場合、「ロータリー財団への寄付・送金明細書」に記入 し提出して下さい。 寄付金の振込口座は次頁をご覧ください。	R I日本事務局 写：ガバナー事務所
米山記念奨学会	寄付を实践した場合、各クラブへ送付されている振込用紙に記入し提 出して下さい。 寄付金の振込口座は次頁をご覧ください。	(財)米山記念奨学会 写：ガバナー事務所

\*印の報告書は、R Iウェブサイト (www.rotary.org) にある「ロータリー・ビジネス・ポータル」からR Iに提出することも出来ます。

定期報告先所在地・連絡先と  
送金の振込口座一覧表

名 称	所 在 地	T E L	F A X	送金の目的・種別	銀行振込口座	
国 際 ロ ー タ リ ー	Rotary International One Rotary Center 1560 Sherman Avenue Evanston, Illinois 60201 U.S.A.	1-847-866-3000	1-847-328-8554 または 1-847-328-8281	特記事項 1. ロータリーレートはRIより連絡があります。円に換算時の端数は送金合計金額で切り上げて処理して下さい。 2. 振込手数料は各クラブでご負担をお願い致します。 3. 送金期限を厳守願います。		
ロ ー タ リ ー 財 団	The Rotary Foundation One Rotary Center 1560 Sherman Avenue Evanston, Illinois 60201-3698 U.S.A.	寄付増進関係 1-847-866-3222 人道的プログラム 1-847-866-3304	1-847-328-5260  1-847-866-1894			
国際ロータリー 日本事務局	〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階	奉仕室 03-3903-3161  財団室 03-3903-3192  経理室 03-3903-3183  資料室 03-3903-3194	03-3903-3781 (各室共通)	国際ロータリー (人頭分担金・資料代等)	三井住友銀行 新宿御苑前支店 普通預金 6733244 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎	
				ロ ー タ リ ー 財 団 寄 付	税制上の優遇措置扱分 (一口30万円以上の教育的分野、恒久基金と年次プログラム基金への寄付)	三井住友銀行 本店営業部 普通預金 8719834 国際ロータリー日本事務局 日本ロータリー奨学金委員会 所長 大島四郎
				10万円以上30万円未満	東京三菱銀行 赤羽支店 普通預金 1568210 特定非営利活動法人 ロータリー日本財団 岩井 敏	
				10万円未満とクラブ寄付	東京三菱銀行 本店 普通預金 1528228 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎	
				米ドル建の振込	三井住友銀行 新宿御苑前支店 普通預金 0000167 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎	
第2510地区 ガバナー事務所	〒059-0034 登別市鷺別町2丁目31-1 (医)友愛会 恵愛病院2階	0143-82-2510	0143-82-2512	一般地区資金 特別地区資金 ガバナー月信購読料・フ ァイル代	室蘭信用金庫 幌別支店 普通預金 5176584 国際ロータリー2510地区 2004~2005年度 ガバナー事務所 遠藤秀雄	
ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 a b c 会館8階	03-3436-6651	03-3436-5956	ロータリーの友購読料	三井住友銀行 浜松町支店 普通預金 6326314 ロータリーの友事務所	
(財)ロータリー米山記念 奨学会		03-3434-8681	03-3578-8281	普通寄付 特別寄付	三井住友銀行 京橋支店 普通預金 0920373 (財)ロータリー米山記念奨学会	



100周年にちなんだ地域・クラブ紹介

# わが街・我がRC

# 歴史散歩

～地域と共に歩んで～



クラブ創立30周年と市制施行30周年に合わせて設置された幌別駅前モニュメント



## 登別ロータリークラブ

日本を代表する温泉リゾートが地元の当クラブは1969年、遠藤ガバナーをはじめ、24名のチャーターメンバーで発足されました。当時の登別は町制であり、前年の1968年に町開基100年、翌70年に市昇格となり、若い市の発展と共に歩んできたクラブです。現在会員は40名ほどで決して大きなクラブではありませんが、これまで数多くの奉仕活動を行ってきました。創立10周年記念事業では幌別野球場の造営、市内11ヶ所に建立された「登別市民憲章」の看板は20周年時の中心事業であり、30周年記念事業では、市制施行30周年に合わせて市中心部・幌別駅前に設置されたモニュメント《未来、はじまる》（東京芸大副学長・伊藤隆道氏制作）に関する企画提案や資金の寄付を行いました。（写真上）

「明るいクラブ」「楽しいクラブ」は、歴史を重ねる当クラブの会員すべてに通じる潜在意識となり、顕在意識として「職業奉仕」「社会奉仕」の精神が日々実践されていると自負するところでもあります。

さて100年前の登別温泉はというと、すでに温泉開発功労者である滝本金蔵氏が私費で開削、客馬車も運行し（1891年）、1905年には当時の陸軍省が傷病兵の療養所に指定しました。傷病兵の中には九州出身者も多く、見舞いに駆けつけた家族らの宿のために一般住宅や商店等がにわかにならぬ民宿を営み始めるなど、ちょっとした温泉ブームを呼んでにぎわったといえます。その滝本金蔵氏が建てたのが現「第一滝本館」の前身であり、今年10月の地区大会会場になっています。また初日の会場である登別グランドホテルは皇室ご用達のお宿としても有名。地区大会には多くのロータリアンの参加を心からお待ちしています。

100周年記念行事として当クラブでは2005年2月23日を中心にしてイベントを計画しております。今年度はホストクラブとして地区大会を成功させなければならないという大任を控えており、具体的な計画はこれからですが、1世紀という歴史の重さを心に刻む記念すべき年となるよう、そしてロータリー2世紀を迎える感動を仲間と共に分かち合いたいと思っています。



▲明治後期 八子旅館、地獄谷にて餅屋を営む



明治後期 第一滝本館全景▶  
(一部2階に改築)



▲昭和時代 終戦直後の開市  
(神社附近)



▼滝湯

「写真でみる登別温泉史」（登別青年会議所編集）より

## ガバナー月信に原稿をお寄せ下さい

### 各ガバナー補佐のグループ紹介企画記事など

2004-2005年度の遠藤ガバナー月信では、第2510地区内の各クラブ会員が、月信を通じて互いの地域についてもっと知り合い、情報交換しながら相互の活動の資質を向上させていこうと、新ガバナー補佐の下、各グループの紹介記事を掲載していきたいと思います。ガバナー補佐が自分たちのグループや地域の特色(産業や街づくり、景観・観光、伝統的な気質・雰囲気等)、グループ内クラブにおける活発な活動、ユニークな取り組み等を語ってもらい、紙面で紹介します。自分たちのいるグループ、地域の素晴らしいところを積極的にアピールしてください。

原稿は400字詰め原稿用紙で1枚半から2枚程度(600~800字)で、地域を象徴する写真(観光名所や祭り等も可)、クラブの地域での奉仕活動や合同例会等の写真などを掲載しますので、3~4枚程度原稿と合わせてお送りください。

投稿の締め切りは毎月10日必着とし、メールによる投稿、写真の添付も歓迎します。なお写真を郵送していただいた場合には後日返却いたします。

### 100周年にちなんだ地域・クラブ紹介企画記事など

20世紀初頭のアメリカ・シカゴにおいて、青年弁護士ポール・ハリスとその友人3人は、お互いに信頼できる公正な取引をし、仕事上の付き合いが親友関係にまで発展するような仲間を増やしていこうと、1905年2月23日、ロータリークラブという会合を開きました。これが今、世界166カ国、3万1561クラブ、約123万人が登録している国際ロータリークラブの始まりです。2005年には創立100周年を迎え、「ロータリーを祝おう」のテーマの下、各クラブでさまざまな記念イベントを予定されていることでしょう。

これを記念し、第2510地区遠藤ガバナー月信では100年の歩みを地域やクラブの歴史・発展と照らし合わせて振り返り、これからのクラブ活動のあり方を見つめなおす機会にしてもらおうと、「わが街・我がRC歴史散歩~地域と共に歩んで」の寄稿記事を連載していきます。100周年関連記念事業の内容と合わせて紹介いたしますので各クラブからの投稿を募集します。

地域の歴史(1905年当時など)を織り交ぜながら、クラブ設立当時のエピソードやこれまでの活動、100周年記念事業計画について、400字詰め原稿用紙2枚程度(600~800字)にまとめ、ガバナー事務所まで投稿してください。メールでの投稿も歓迎します。合わせてクラブの活動や地域の歴史がわかる古い写真(2~3枚可)なども同封(添付)願います。

## あ て 先

国際ロータリー第2510地区 2004-2005年度ガバナー事務所

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2階

電話:(0143)82-2510 FAX:(0143)82-2512

E-mail: keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

地区代表担当幹事・担当部署紹介



地区代表幹事 **伊奈 昭夫**

- ・特定地区役員関係
- ・地区幹事
- ・地区大会

所属クラブ 登別RC



地区幹事 **高橋 恒夫**

- ・ロータリー財団
- ・米山・会長エレクト研修セミナー

所属クラブ 登別RC



地区幹事 **佐藤 寿夫**

- ・職業奉仕
- ・国際奉仕
- ・地区チーム研修セミナー

所属クラブ 室蘭RC



地区幹事 **寄木 清二**

- ・拡大、増強、クラブ奉仕
- ・社会奉仕
- ・地区協議会

所属クラブ 室蘭東RC



地区幹事 **上田 博子**

- ・新世代
- ・公式訪問
- ・地区大会

所属クラブ 登別RC



地区幹事 **斎藤 正史**

- ・ガバナー月信
- ・広報・情報・IC
- ・地区大会

所属クラブ 登別RC



地区幹事 **関堂 勝幸**

- ・次年度業務

所属クラブ 札幌東RC



地区財務委員長 **若木日出男**

- ・地区資金
- ・予算

所属クラブ 登別RC



地区財務委員 **金澤 智光**

- ・地区資金
- ・予算

所属クラブ 室蘭東RC



地区財務委員 **森川 英雄**

- ・地区資金
- ・会計

所属クラブ 登別RC



地区財務委員 **福田 武男**

- ・地区資金会計

所属クラブ 千歳RC



地区財務委員 **藤井 英勝**

- ・地区資金予算・会計

所属クラブ 札幌東RC

ガバナー事務所執務時間

9:30~17:30 (土・日・祝祭日休み)

事務局：阿部智子

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2階

電話：(0143)82-2510 FAX:(0143)82-2512

E-mail: keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



地区大会のご案内

**国際ロータリー  
第2510地区  
地区大会**

会期: 2004年  
10月16日(土)～17日(日)  
会場: 祝いの宿 登別グランドホテル  
日本工学院北海道専門学校  
第一滝本館

**第1日目 2004年10月16日(土)**

祝いの宿 登別グランドホテル

9:30 登録開始  
10:30～11:20 会長・幹事会  
12:30～13:20 本会議 第1日目  
14:45～16:20 記念フォーラム  
18:00～19:45 RI会長代理ご夫妻を迎えて歓迎晩餐会

**第2日目 2004年10月17日(日)**

●本会議 日本工学院北海道専門学校  
●懇親会 登別第一滝本館

8:30 登録開始  
9:00～12:30 本会議第2日目  
11:10～12:10 《記念講演 松島トモ子氏》  
13:30～15:00 記念懇親会

**2004年10月15日(金)**

記念ゴルフ大会/  
登別カントリー倶楽部

**2004年10月11日(月)**

記念囲碁大会/  
日本棋院北海道本部囲碁会館  
(アスティ45)

**登録料**

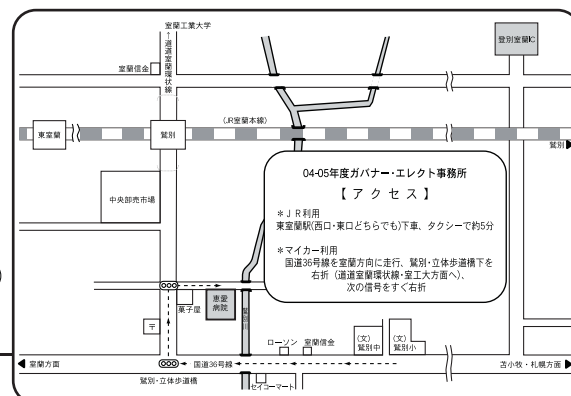
会員登録料	13,000円
家族	10,000円
新世代	5,000円
歓迎晩餐会	10,000円
ゴルフ	5,000円
囲碁	4,500円

お問い合わせ

地区大会事務局

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F(ガバナー事務所)  
TEL:(0143)82-2510 FAX:(0143)82-2512  
e-mail: keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

ホストクラブ 登別ロータリークラブ







[www.rotary.info](http://www.rotary.info)

# ROTARY

1.2 Million Volunteers  
165 Countries  
100 Years



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

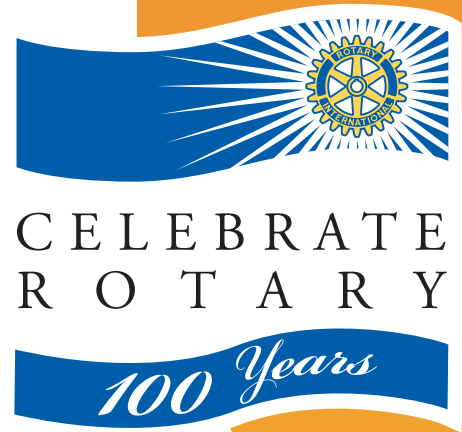
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F  
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512  
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

地区大会ご案内	2
ガバナーs LETTER	3
ガバナー日記	4
8月は会員増強および拡大月間です ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い	6
地区委員会委員長および活動計画	7
ロータリー文庫通信	20
地区委員会活動報告	21
ガバナー事務所からのお知らせ	23
ハイライトよねやま53	24
こんにちは! 第9グループです	26
函館ロータリークラブ創立70周年記念式典・祝賀会開催のご案内 2005年 RI会長主催祝賀会議へのご案内	27
受入留学生「ホスト・ファミリー」サポーターRC募集 掲示板	28
「虹と雪のバラード」の詩碑が建ちます ポリオ撲滅キャンペーン・ポロシャツのご案内 寄付の振込口座について	29
8・9月地区カレンダー	30
ロータリーウェブサイトのご案内	31

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.2 8  
2004.8



ロータリーを祝おう



奉仕の第二世紀へ

## 8月より登録開始!

2004~2005年度  
国際ロータリー第2510地区

# 地区大会

10月16日(土)17日(日)

場所 / 祝いの宿 登別グランドホテル  
日本工学院北海道専門学校  
記念懇親会 / 第一滝本館

記念囲碁大会 / 10月11日(月)  
日本棋院北海道本部囲碁会館  
(アスティ45 7F)

記念ゴルフ大会 / 10月15日(金)  
登別カントリー倶楽部

### 第1日目 10月16日(土)

#### 会長幹事会

祝いの宿 登別グランドホテル  
9:30 登録開始  
10:30 点鐘・開会の挨拶  
11:20 閉会

#### 本会議1日目

祝いの宿 登別グランドホテル  
11:30 登録開始  
12:30 点鐘・開会の挨拶  
12:50 大会運営委員会報告  
13:10 大会決議案上程・採択  
13:20 各委員会活動報告  
14:45 記念フォーラム  
16:30 点鐘・終了

#### RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

祝いの宿 登別グランドホテル  
18:00 ウェルカムドリンク  
18:15 着席・開演  
19:45 閉会

### 第2日目 10月17日(日)

#### 本会議2日目

日本工学院北海道専門学校  
8:30 登録開始  
9:00 点鐘・開会  
ガバナー挨拶  
RI会長代理ご夫妻と来賓紹介  
9:15 RI会長代理挨拶  
9:50 参加者紹介  
10:40 表彰  
11:10 記念講演会  
12:15 RI会長代理所感  
12:30 点鐘・終了

#### 記念懇親会

第一滝本館  
13:30 開会  
15:00 閉会

### 記念フォーラム 「私たちの異文化体験と国際親善」

#### 基調報告 R財団学友

#### R財団学友によるフォーラム

元財団国際親善奨学生・元GSEチームメンバー

第3350地区(タイ・バンコク地区)  
GSEチーム紹介と報告

パネラー・コーディネーターは都合により変更となる場合があります。

### 記念講演 「多くの人たちとの出会いのなかで」



松島トモ子氏

ホストクラブ 登別ロータリークラブ

# Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

## クラブでロータリーを祝おう

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



ロータリー例会を楽しんでいますか？ 例会が楽しくないと出席者は減ってしまいます。我々はそれぞれ職業倫理を身につけ、しかも職業分類に基づいて選ばれて会員になっているわけですから、例会を楽しむ権利

を持っていますが、忙しいから出席出来ない、例会が面白くない、話し相手がいない、敷居が高い等々の不満を小耳にすることがあります。まだロータリーを良く理解されていない方、余り関心が持てていない方に多いのではないのでしょうか。

ロータリーの仕組みや規則は解っても、「親睦と奉仕」の理念を理解するには時間がかかることも事実であります。また年齢差や会社の大小による遠慮があると聞きますが、ロータリーにとっては大きな障害にならないと思います。むしろ、相手を理解しようとする心、気軽に声を掛けられる仲間意識、ロータリーに対する熱意が重要です。私自身も頭の中で解っているながら実行に移せない場面が多く、悔やまれてなりません。

中年以上のロータリアンは祖父母、両親、兄弟、姉妹の家庭環境で育ち、切磋琢磨する人生道場がありましたが、少子化時代に入り、今や10人中7人が一人っ子なのです。人生土壌の変化の中で育った若者がやがてロータリアンとして各クラブに入会してくるのです。戸惑うことなく思いやりと寛容の心で受入れるこ

とが大切です。そこに友情が育まれるのだと思います。

ロータリーも100才になりますと、毎年クラブ役員が交代してもクラブ活動内容が前年を踏襲したのになると、いつの間にかマンネリ化して活性化を失ってしまいます。地域に信頼され、必要とされるロータリークラブであれば、それぞれの地域にあった奉仕活動の場は必ずあると思います。アイデアと汗をかく努力が必要だと思います。

日本は平和で豊かな国です。エステスRI会長の強調事項も余り切実に感じない会員が意外と多いのではないのでしょうか。国際社会の中で日本は頼られている国であり、逆に国際社会からないがしろにされると生き残れない国でもあります。その社会の中で紛争が続く、貧困で苦しんでいる人達が想像を超える程大勢います。病魔に襲われ死を迎える人達も大勢います。世界平和を願うロータリアンとしては放置できない問題です。個人として、1クラブとしてはそれ程多くない寄付であっても、120万人、31,000クラブとなると大きな力を発揮します。ロータリー財団の人道援助活動の力は大きいのです。教育的プログラムでも、もうロータリーの役目は終わったのではないかと聞かれることがあります。未開発国の教育の普及、ロータリーを理解する若者や世界平和に貢献する若者を育てるためにロータリーの援助が必要なのです。

親睦と奉仕こそがロータリークラブを活性化します。そして新しい仲間が増えることを期待して、ロータリーを祝おう。



## ガバナー日記

ガバナーに就任して、公式の初仕事は7月5日東京プリンスホテルで開催されたガバナー会である。今年度の議長には仲田順和D.2750ガバナーが選出され、顧問には田中作次、南園義一両R I理事が委嘱された。両理事のご挨拶の中で、地区研修リーダーのための研修会（次年度地区研修リーダー）が9月12日と11月26日開催予定、また今回のR I規定審議会では、日本の委員の発言が大きな力になっていたと報告された。今年度の予算は2,997万円で会員の減少する分減ってきている。ガバナー会青少年交換委員会北川晶夫委員長と青少年育成委員会前川昭一委員長から活動報告があり、「ロータリーの友」委員会委員長に渡辺隆パストガバナーが委嘱された。更に「ロータリー文庫」運営委員長長島洋三委員長の挨拶、R J W成川守彦委員長から規約変更の説明があった。

次いで案件が3項目あり、「2005年スペシャルオリンピックス長野」でも1人1,000円の寄付が考えられており、各地区で任意募金をすることとなった。100周年記念広報については結論が出なかった。「モンゴル緑化協力」は、ゴビ砂漠に植林することによって黄砂及び砂漠化を防止する計画で、韓国では積極的に取り組んでいるが、もう少し資料を集め検討してゆくことになった。

まだまだ不況の続く中、会員の減少も歯止めのかからない当地区としては、いずれも大規模予算を伴う事業だけに頭の痛い案件ばかりであった。

7月7日、最初のガバナー公式訪問を行った。第6グループ関幸吉ガバナー補佐とご一緒に倶知安、岩内、蘭越、余市クラブの順に会長・幹事懇談会、そして4クラブ合同例会が行われた。各クラブ共大変まとまりがあり活気があるが、共通する悩みは会員数の減少と新会員加入の難さであったが、懸命に努力しておられる様子がかみ取れた。



No. 2  
Date 04. 8. 1

7月9日、伊奈昭夫地区代表幹事、第12グループ藤澤正昭ガバナー補佐とご一緒に苫小牧、白老、苫小牧北、苫小牧東の順番に会長・幹事・会長エレクトの皆さんと懇談。会員増強と女性会員、ロータリー財団、米山記念奨学会等R Iの方針とはいえ、お願いすることが多く、心苦しい思いであったが、ご理解いただけたことが嬉しい。伊奈幹事から地区大会へのお誘いをしてもらう。4クラブ合同例会終了後、ここでも全員で記念写真。一生の思い出になるであろう。

7月10日、札幌アークシティホテルで青少年交換派遣、受入学生歓送迎会が行われた。オーストラリア受入学生4名、アメリカ、カナダから短期受入学生3名の歓迎会、短期・長期派遣学生11名の激励会、前年度受入学生5名の送別会で、ホストファミリー、カウンセラー、教職員、地区委員、ホストクラブの皆さん大勢が参加され、若者の熱気、笑い、笑顔、そして涙。これでまた地域に、そして各国にロータリーの輪が広がり、ロータリアンが感謝される喜びとロータリアン以外の関係者の皆さんのご努力、ご協力に感謝し、この1週間の疲れが飛んで行ってしまった思いである。



## 8月は会員増強および拡大月間です

### 会員増強に協力を！

地区会員増強委員会

委員長 佐藤 秀雄 (千歳・PG)

今月は会員増強月間である。当地区も1996年～97年の約4,300人をピークに会員の減少が著しい。6月末に東京で開催された第1ゾーンの会員増強委員長会議においても各地区増強委員長からは会員の減少に歯止めがかからない旨の報告があった。多分、日本のロータリアンは今年度末には10万人の大台を割ることになるかも知れない。原因は経済不況という外的要因と、ロータリー内部に潜む内的要因に分けることが出来よう。外的要因については我々ロータリアンとして如何ともしがたく回復を待つのみである。しかし、内的要因については大いに改革の必要性が有るのではなからうかと思う。第1次的にはRI、地区の体制の問題、クラブにあっては例会の持ち方や年会費の軽減、地域社会へ奉仕の取り組み方等々が考えられよう。第2次要因としてクラブ会員に「ロータリーの心」を理解してもらうことに有ると私は思う。これは大変重要なことであろうと思うがRIは近年これを疎かにしていたように思えてならない。ここに来てようやく田中RI理事を筆頭に「ロータリー概要」、「4大奉仕」、「ロータリー財団」の3つを日本のロータリアンに解り易く書いたものを2003-04年度末にネットで流した。しかしネットで流しただけでは読んでくれるのはごくごく僅かなロータリアンでしかない。そこで1冊の本にして会員に有料で購読してもらうことになった。このことは大変重要だと思うのだが、もう少し考え方を進めて無料で全会員に配付し、これを

テキストにして研修リーダーが解説を行なう。クラブ会員のレベルが一定の水準に達したとき、その後は1年に数度新会員に対して研修を行なう。このような研修体制を敷かない限り会員のロータリー理解度の底上げは期待できない。「奉仕の喜びを知る」ということは、ロータリーを理解し、ロータリー運動の何たるかを知って初めて、奉仕の喜びを知ってもらえるものだと思う。入会間もない会員、入会してもロータリーの何たるかを知ろうとしない会員は地域社会の奉仕活動は義務だと思い込み、俺の年度はこれをやった、あれもやったと主張し胸を張る。これが奉仕の喜びなのだろうか、私は疑問に思う。横道にそれだがロータリーの研修を重ねることにより、よりロータリーの良さを理解することにより友人、知人を取り込んでくれるものと思う。確かに気の遠い話かもしれないが会員増強はこれしかないと思っている。

昨年度、この厳しい会員減少にもかかわらず増強に転じたクラブが地区内において数クラブ存在する。詳細に分析してみるとクラブ会長が先頭になって汗をかき、同じ人の所に何回も、何回も足を運び頭を下げて入会して貰った事実が窺い知ることができる。要はクラブリーダーが熱意を持って行動しているかにかかっている部分も多分にあることも事実だということを忘れてはいけない。

2006～2007年度

ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 遠藤 秀雄  
地区ガバナー指名委員長 遠藤 正之

2006～2007年度地区ガバナー・ノミネー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、10月3日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもってご推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミネー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～6項及び第8節の資格条件に適合していることを要します。

参考

- ・国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）
- ・国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定（1998～1999年度地区年次大会決議第9号）

## 地区委員会委員長および活動計画



### ロータリーを祝おう

ロータリー100周年記念委員会  
委員長 岩城秀晴  
(札幌南P G)

委員 石田 誠(札幌手稲) 荒 紀男(札幌)  
木村 正勝(砂川) 酒井 正人(函館五稜郭)  
畑中 俊介(札幌南)

遂にロータリーが誕生100周年を迎えるに至りました。私たちロータリアンの喜びはひとしおの感であります。

さて、私は何をさしおいても、ロータリーの親睦を楽しみ、ロータリーの理想に献身するようになる場面が来たからです。この地区12のクラブには100周年に構えるべき豊かな歴史があり、最も新しいクラブでさえ、ロータリーを祝う理由があります。どうかクラブ会員に思いやりと気配りの精神を奨励してロータリーを祝おうではありませんか。そして会員の退会防止活動を支援するロータリー家族委員会を継続して、熱意にあふれた新会員を入会させて、前途にいろいろな困難事項を克服する新しいエネルギーを吹き込みましょう。

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていた。そのころ、青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかねて、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をして、仕事上の付き合いが親友関係にまでに発展するような仲間を増やしたいという趣旨で、ロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持廻りで順番に開くことからいわれております。

こうして、1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生したのです。以後は志を同じくするクラブがつぎつぎに各地に生まれ、今では世界166ヶ国の地域に広がり、クラブ数31,561、会員総数1,227,545人(2003年12月31日現在)に達しておりますがR Iでは150万人を目標にしております。そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリー(R I)と称します。このように、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりになったのです。職場における良

心、そして社員、顧客、専門職務に携わる同僚に対する良心、そして清廉の手本としての行動をしてそのロータリーを祝いましょう。

一方、ロータリーの優れた達成事項としては各クラブが識字率の向上、貧困および飢餓の緩和、若い人々への指導と彼らを取り巻く環境の整備、美化といった広範囲のプロジェクトを世界31,000以上の地域社会においての活動のごとく、草の根のレベルの奉仕活動です。2004年-05年には、あなたのクラブの100周年記念社会奉仕プロジェクト、100周年の祝賀に地域社会を参加させて、クラブの奉仕の歴史を地域社会に広報して、将来のロータリーのために、ロータリー100周年を祝いましょうではありませんか。

他方、ロータリーの国際性のおかげで、ロータリアンは国境を越え地球を周って奉仕のパートナーを形成し文化交流を実施することができるのです。04-05年に双子クラブプログラムに参加し、100周年記念を研究グループ交換や、ロータリー・ボランティアを支援し、青少年交換学生を派遣し、もしくは受入れて、ロータリーを祝いましょう。

シカゴで開かれる国際ロータリー年次大会に出席し、世界の国々から集まるロータリアンに加わって、ロータリーとその100周年を祝う計画を立てましょう。

以上、ロータリーの実施してきました事を大雑把に申し上げましたが、今までのロータリーの歴史を考える時に、ロータリアンはこれからの感ずるべき使命を使命として、限りなき理想に向かって、より一層の精進を果たすべきものと考えられます。

どうか、それぞれ会員の方においても、その想いを果たす道を迷わずに遂行しようではありませんか。以下計画を述べます。

#### ・R Iの計画

(1)全世界の会員数の150万人に増強 (2)ポリオ撲滅運動の展開 (3)地域社会での奉仕プロジェクト (4)会員一人当たり100ドルのロータリー財団への寄付 (5)100周年記念国際大会への参加

#### ・地区内の計画

(1)100周年記念事業委員会の設置 (2)05年2月23日のロータリー創立記念日として例会を開催し、その歴史と未来について研修 (3)バツツにおいて、ガバナー補佐、会長エレクトに100周年の研修 (4)地区協議会において、会



長、幹事、四大奉仕委員への研修（5）05年の地区グループでは100周年を迎えたテーマとしたシンポジウムを開催する（6）地域社会に奉仕活動と広報活動（7）他国地区との姉妹締結の実施（8）ロータリー100周年記念国際大会への積極的参加（9）当地区内のロータリー文庫による資料整備



### ロータリー発祥の地で ロータリーを祝おう

オン・ツー・シカゴ委員会  
委員長 小林 博  
(札幌北PG)

委員 佐藤 秀雄(千歳PG) 辻野 修(当別)  
斎藤 修弥(室蘭) 城木 浩一(札幌北)

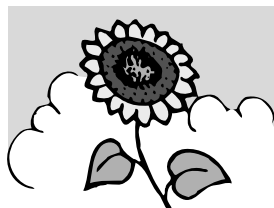
ロータリーの100周年を記念しての国際大会がロータリー発祥の地のシカゴにて行われる。予定は2005年(平成17年)6月19日(日)から6月22日(水)までの4日間である。

この記念すべきシカゴの国際大会に、2510地区ロータリアンの出来るだけ沢山の参加が望ましいところである。大会中には国際色豊かな衣装でミシガン湖沿いのパレードのほかマラソン、ウォーキングなど100年にふさわしい企画があるとのことである。

登録とホテルの予約は各クラブ単位で希望者取りまとめのうえ出来るだけ早目に行ってください。ホテルは申し込み順とすることで遅くなると希望のホテルが取れなくなるとか何かと不便になります。

なお、登録申込書式、ホテル予約書式は近く当委員会から各クラブ宛お送り致しますが、追加分はガバナー事務所にありますのでお申し出下さい。また、案内、宣伝のビデオ(英語、5.57分)もガバナー事務所にあります。

さ、みんなでシカゴに行きましょう!!



### 資料をご活用下さい

文献資料室委員会  
委員長 板橋 俊  
(札幌幌南)

委員 遠藤 一雄(札幌東) 滝本 繁(札幌手稲)

当委員会はロータリーの情報源であります、貴重な文献資料の整理保管収集が任務ですので、例年に倣い、務めて参りたいと思います。

文献資料は前年度迄に大分整理されて来ておりますが、情報化時代故にR.I、国内のロータリークラブ等の情報がたえず増加して来ております。I.C委員会と連携をとり、新しい資料の収集を行い、貸出し文献を増やして地区内各クラブの多数の会員の皆様方にご利用いただけるよう、活動を行っていきたく思っております。



### 楽しいクラブ例会と プログラムの実践を!

クラブ奉仕委員会  
委員長 羽部 大仁  
(札幌幌南)

委員 矢橋 温郎(札幌西) 戸部アナマリア(札幌はまなす)  
山本 雅章(札幌手稲) 近藤 良一(札幌モニング)

遠藤ガバナー年度の地区クラブ奉仕委員会を仰せつかりました。札幌幌南ロータリークラブの羽部で御座います。佐藤直前ガバナー年度から地区クラブ奉仕委員会のお手伝いをさせて頂いております。2年目になります。前年度初めて取り組んだ事業は、地区のホームページにクラブ奉仕委員会を紹介させて頂きました。早い時期に委員会を開催して各委員のご意見を聞きながら、ホームページの更新をしたいと考えています。(各クラブで興味深いプログラムや特筆すべき会員増強、楽しい親睦例会などを委員会へお知らせ下さい)

又我が委員会最大の任務は、地区協議会でクラブ奉仕部門を担当することです。今年度の協議会は4月17日で室蘭市で開催され、第3分科会を担当し、各クラブ次期クラブ奉仕委員長が参加され、熱心にクラブ奉仕の重要性について話し合いが出来

たと存じます。ロータリーを取り巻く環境はこの数年とても厳しいものがあります。会員増強どころか、クラブ会員の減少(退会による)に各クラブは深刻に悩んでいる状況にあります。この状況からの脱却は、クラブ奉仕の実践しか道がないように感じています。楽しいクラブ例会、興味のあるプログラム、暖かな人間関係(会員相互の理解)が必ずロータリーは真の輝きを取り戻すに違いないと考えています。

どうぞ地区ロータリアンの皆さんには、各クラブにおいて親睦を通じて思いやりのある奉仕活動をお続け戴きたいと思います。クラブ例会における卓話の要請が御座いましたら、地区ガバナー事務所或いは下記にご連絡下さい。

(ガバナー事務所TEL(0143)82-2510 羽部TEL(011)811-7465) 一年間宜敷くお願い致します。



## 理念を守り抜き、活動を

職業奉仕委員会  
委員長 富岡 公治  
(札幌西北)

委員 森居 清(岩見沢) 礪波 寿(札幌幌南)  
蝦名 久志(苫小牧東)

1. 地区職業奉仕委員会は、今年度ロータリー創立百周年を迎えるにあたり、ロータリー創立者ポール・ハリス、「Service Above Self」の標語を作ったフランク・コリンズ、「He profits most who serves best」の標語を作ったシェルドン、そして四つのテストを作ったハーバード・J・テラー等のロータリーの創立指導者達の理念を確固として守り抜き、地区内にロータリー職業奉仕理念と活動の重要性を普及強調することを最重要課題と致しました。

2. そして、10月の職業奉仕月間には、ロータリー職業奉仕理念の普及と強調に努めることとします。

そして、特に地区内各クラブから地区職業奉仕委員を卓話者として派遣してほしいという要請があった場合、出来る限りその要請に応えたいと考えます。

3. 又、地区職業奉仕委員会の本年度の具体的活動として次の通りの要領にて第4回ロータリー職業奉仕市民講座を開催する予定です。

記

- 1 講師 室蘭東RC会長 芝垣 美男
- 2 演題 「誰にでも身近で大切な法律知識」
- 3 日時 平成16年11月頃(具体的日時を検討中です)
- 4 講師について

ユーモアと法律専門知識で全道に著名な芝垣美男弁護士の市民講座の開催が、多くの市民と道民に楽しく有益なロータリー市民講座になるものと期待しております。



## 地域のニーズに答えた 社会奉仕活動を

社会奉仕委員会  
委員長 対木 正文  
(札幌西)

委員 菅原剛太郎(滝川) 菊地 芳彦(苫小牧北)  
坂本 修康(函館) 東原 秀行(札幌西)  
三山 雄弘(小樽)

地域のニーズに答えた社会奉仕活動は、ロータリークラブが実施できる最もやりがいのある活動の一つです。地区委員会は各クラブが職業の専門知識や熱意をもって効果的な社会奉仕活動に取り組めるよう支援いたします。それがクラブと地域社会との関係を強くし、ロータリーのイメージアップに貢献すると考えます。

今年度は、2003-2004年度に各クラブで実施された「社会奉仕活動一覧」を写真入りで作成します。この冊子は各クラブがより地域に密着したプロジェクト選択に役立つと共に、ロータリー活動の一部を広く社会に知ってもらい、会員増強の一助にもなります。

また、8月末日迄に社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同の、クラブ社会奉仕委員長さんを対象とした「社会奉仕に関する意見交換会」を地区内4カ所で開催します。この意見交換会を通し、他のクラブの奉仕活動を知り地域社会が真に求めている奉仕活動をより幅広く模索し、活動のマンネリ化を防ぐと共にクラブが抱える諸問題について広く意見を交換します。

さらに、社会の成熟化、社会の不安定化と共に増加、潜在化している、「児童虐待」の問題を各クラブと共に考えたいと思えます。この問題は1999年国際ロータリー理事会が決定した、クラブおよび地区に考慮を促す奉仕の機会に関する項目9つの中で最初に出ています。この問題にロータリーがどのようにかか

わり、どのような奉仕活動が地域社会と一体となることができるかを考えたいと思います。

新設まもない小委員会、「家庭奉仕委員会」と「子ども奉仕委員会」の設立主旨をお互いに共有し活動したいものです。今年度も各クラブが地域のニーズに合った実りある社会奉仕活動をしていただくために、クラブと同じ目線で地区委員会も努力して参りますのでよろしくお願いいたします。



### 家族への奉仕と一言！

家庭奉仕委員会  
委員長 和田 壬三  
(札幌南)

委員 高下 泰三(札幌西) 大場 公孝(上磯)  
松本 純枝(深川) 水野 正純(新札幌)  
大田すみ子(札幌北)

わが国における家庭の問題は、諸外国に比して深刻です。(財)日本青少年研究所が全世界の中高生に、自分の両親の元に生まれて非常に満足していますかと質問したところ、たくさんの国は、80%以上が満足していると答え、50%以下の国は無いのに日本だけは25%です。同じ傾向は、この5年間に実施した他の質問からも認められるのです。また、東洋大学の中里教授が、日本とトルコ、アメリカにおいて実施した中高生対象の調査でも同様な結果が認められます。

ここまで、子供を追い込んでいる家庭の問題は、放置できない深刻な状態にあります。

今生じている児童虐待、低年齢児の凶悪な非行、いじめ、不登校、引きこもり、育児放棄、離婚率の急激な上昇、婚姻しない若者の急増、など家庭を巡る様々な社会現象は、わが国における家庭の状況が無視し得ない深刻な状態にあることを物語っていると共にそれは、他人事ではなく私共の身の回りでも程度の差はあっても同様な事態になっていることに思いを馳せていただくよう訴えて、以下の活動を各クラブに呼びかけます。

1. ワークショップをグループ単位や複数のクラブの共同で是非実施していただく。
2. クラブフォーラムや卓話、インフォーマルミーティングのテーマとして頂く。

これらの会のテーマとしては、例えば、私の今朝した妻への一言、又は家族への奉仕。日頃心がけている家庭奉仕、又は私

のしている家庭奉仕。家庭は密室でよいのか。家庭教育はどうあるべきか。老老看護の時代の家庭のあり方。家庭のコミュニケーションのあり方。若者はなぜ結婚しないのか。引きこもり不登校は、どうして起こるのか。などなどテーマは問いません。



### 協力会員名簿の 有効活用を！

子ども奉仕委員会  
委員長 米山 道男  
(札幌北)

委員 佐々木弘有(深川) 石黒 安雅(滝川)  
松下 文芳(江別西) 植田 英隆(札幌)  
石黒 直文(札幌西) 近藤 浩(札幌南)  
三澤 龍子(札幌清田) 工藤左千夫(小樽南)  
酒井 宏(千歳) 山田 明(静内)  
平野 和典(室蘭) 石田 勉(函館)  
牧野 康宏(函館五稜郭) 和歌 宏侑(白老)

#### 1. 活動方針

「会員が小中学校に向いて授業をする」、「小中学生が会員の職場で職業体験をする」、この2つの活動を円滑に進めるために、前年度に引き続き努力します。この活動は、会員が職業を通じて子どもの教育に関わる活動であり、ロータリアンに相応しい極めて有意義な奉仕活動であると考えています。

#### 2. 活動計画

- a. 会員への広報 今年度同様、地区社会奉仕委員会および家庭奉仕委員会と合同で、各クラブの会長・幹事・社会奉仕委員会委員長・会員有志の皆さんとの意見交換会を開催します。7月17日(土)苫小牧、31日(土)函館、8月7日(土)滝川、21日(土)札幌の予定です。このような機会や地区の集会、クラブの例会卓話、ガバナー月信などを通じて、会員に対して、本委員会の活動への御理解と御協力を要請します。
- b. 協力会員名簿の作成 現在作成中の「協力会員名簿」(第1冊)を、近々発行します(登録会員:授業協力144名、職業体験協力92名、合計延べ236名)。第1冊発行後も、将来の第2冊発行に備え、引き続き会員に対して協力会員の登録を要請し続けます。
- c. 教育委員会と小中学校への広報 各クラブと一緒に、各地の教育委員会と小中学校に対して、本委員会の活動への

御理解と御協力を要請します。

d. 会員の授業と小中学生の職業体験の実施 小中学校からの要請に基づき、各登録会員に授業や職場提供をしていただきます。

### 3. コメント

本委員会の仕事には、大きい山が二つある、と思います。一つは、「会員の御理解と御協力を得て、充実した協力会員名簿を作成すること」、もう一つは、「各地の教育委員会と小中学校とに理解していただいて、作成した名簿を有効に活用していただくこと」です。

昨年度は、新設委員会として、「協力会員名簿」作りに専念しました。今年度は、それを小中学校で有効に活用していただくように、会員各位および各グループから1名ずつ（第4・第5グループは2名ずつ）選出されている委員の皆さんと御一緒に努力したいと思います。御協力をお願い申し上げます。



## 新企画を創出できるよう支援する

国際奉仕委員会

委員長 橋本信夫  
(札幌西)

委員 金井重博(札幌南) 斎藤修弥(室蘭)  
雲津忠宣(伊達) 中島勉(札幌南)  
中村真規(札幌西) 中垣陽一(滝川)  
川内淳司(函館五稜郭) \*友情交換担当委員

本委員会にはこれまで、世界社会奉仕(WCS)親睦活動と友情交換の3つの委員会が置かれていた。今年度は、友情交換委員会を親委員会に移して活動を強化するとともに親委員数を倍増し、長期展望のもとに各国の親善交流プログラムの要請に応えられるよう相手地区の調査と受け入れ環境の整備に努める。

さらに本委員会では、RI本部、地区の財団や各委員会の国際関連事業に対して各クラブの理解が深められるよう情報交換ネットワークを整備し、国際交流プログラムが円滑に実施できるよう調整する。またWCSと親睦活動の事業内容を見直し、新企画を創出できるよう支援する。

1 友情交換活動：国境を越えたロータリアン同士の友情を確立するために、地区や各クラブの国際交流実績を活かしつつ、より広い視点から各国のロータリーを結び友好親善プログラムの維持と新企画創出のための調査を行う。

2 WCS：主にアジア諸国を対象にし、各国の人的支援要請についての情報収集とプログラム内容の検討に努める。また各クラブがWCSプログラムに積極的に参加できるようPR活動を強化する。

3 親睦活動：レクリエーション活動を主催するロータリアンの親睦グループがそれぞれの趣味活動を通じて国際交流と奉仕活動に貢献できるように支援する。また各同好会が国内活動や国際大会などに参加するよう促すとともに地区の各種国際親善プログラムに趣味グループが積極的に取り組めるようガイドする。



## Lets begin

世界社会奉仕委員会

委員長 斎藤修弥  
(室蘭)

委員 伊藤知佳子(札幌北) 若原秀明(札幌東)  
田口廣(千歳ソラル) 川岸洋一(伊達)

1967年に発足した世界社会奉仕活動(WCS)は2つの国のロータリアンが力を合わせ、援助を必要としている人々に手を差し伸べるものです。WCSにはさまざまな活動がありますが、その基準は次の3つに決められています。1. プロジェクトが人道的性質のものであること。2. 2カ国以上のロータリアンが参加していること。3. 参加国の1つがプロジェクト実施国であること。私たちはこの基本に従ってWCSプロジェクトを通じて国際理解を推進し、国際親善に貢献するため、具体的に次のような活動を展開します。1. 地区内ロータリークラブに対し、世界社会奉仕プロジェクト(WCS)をさらに理解し、積極的に参加してもらうようセミナーをはじめ、各種啓蒙活動を実施します。2. WCSプロジェクトを通して援助を必要とするクラブと、物質的、技術的、専門的援助を提供したいクラブとを結びつけます。3. WCS事業活性化のためロータリー財団委員会との連携を深めます。4. WCS事業促進のため、書き損じ葉書や未使用テレカ回収キャンペーンを継続します。今こそ皆さん方のクラブが、援助を必要としている人に手を差し伸べ、他国のクラブと連携して遠く離れた土地の風習や文化に接し、「希望の静かなる革命」を実現するため世界社会奉仕プロジェクトを実施するときです。

「Lets Begin」





## クラブ親睦活動委員会とは 違います！

親睦活動委員会  
委員長 雲 津 忠 宣  
(伊 達)

委員 米谷 龍三(札幌東) 河原 文博(伊 達)  
手塚 貴志(白 老) 長太 義雄(札幌北)

1993年10月RI理事会は、世界親睦活動(World Fellowship Activities)と国際職業連絡グループを統合し、「趣味・職業別親睦活動」(Rotary Recreational and Vocational Fellowships)という、新しい国際奉仕の一部門に名称変更しました。

この親睦活動は趣味やレクリエーションに共通の関心を持つロータリアンが世界的な親睦グループを作って交友を図る事や、同じ職業に就いている共通の専門職ロータリアンが国際奉仕に貢献することです。

この委員会はクラブ単位の親睦活動委員会が、会員相互の親睦の為やクラブ活性化の為に盛んに行うのとは少し違い、同じ趣味や職業人相互の理解を深め、世界的な親睦グループへの参加を奨励することにあります。

現在この親睦グループは世界中に沢山あります。ヨット、無線、PC、ゴルフ、囲碁、登山などの趣味の分野から、同じ職業人が集まり、例えば医療従事者のグループ、弁護士のグループは紛争解決親睦グループを作り、アイルランドと米国の若者を討論させます。

今世界ではこの親睦グループは80を越えています。先日の大阪国際大会にも多くのブースが出展し、更に仲間を増やしていました。

100年前PHは「親睦活動は素晴らしいものです。人生の道を照らし、いい気分をひろめるもので、高い値段をつけるに値するものです」とロータリー活動の恩恵について賞賛しました。正しく、共通の趣味を分かち合うロータリアンが親睦活動の中に、楽しみ、友好、知識の拡大、世界理解、国際奉仕を見出してきたのです。

2510地区においては、まだまだ認知されていない委員会です。しかし、共通の趣味のグループは着々とその仲間を増やしております。

この活動の認定基準は少なくとも3ヶ国を代表し、同ガバナーの承認が必要です。

世界社会奉仕のため、この委員会を有機的に運用できることを

主眼としております。

2510地区のロータリアンの皆様の深いご理解を賜りたいと思います、本年度は4名の委員 米谷隆三(札幌東)、長太義雄(札幌北)、手塚貴志(白老)、河原文博(伊達)と共に活動を開始しますので宜しくお願いします。



「財団活動に協力すること  
-これが本当のCelebrate Rotary 100years-」  
毎年あなたも100ドルを

ロータリー財団委員会  
委員長 遠 藤 正 之  
(札幌南PG)

委員 大村 孝男(千 歳) 瀧川 哲夫(札幌手稲)  
山名 善久(札幌南) 山崎 晴嘉(札幌西北)  
伏木 忠了(札幌西) \*増進担当委員

森本委員長のあとの重責をおひきうけ致すことになってしまいました。会員皆様の御協力と御指導をおねがい致します。

100周年という節目年度、全ロータリアンが「100周年を祝おう」と沸いている年度、しかし乍ら不況という社会状況、社会構造の変化、それに起因すると思われる会員の減少等極めて不確定因子の多い年度でもあります。ロータリー財団も時代に対応する財団プログラムを2003年7月から実施しております。地区ロータリー財団委員会としての活動

・国際親善奨学金委員会、財団学友委員会、GSE委員会、補助金委員会等財団プログラムのより効果的な活動をはかるため、連絡を密にする。

・ポリオ・プラスに協力  
地区財団委員会としてお願い

“Every Rotarian Every Year 100\$”

財団の多様なプログラムを支えている寄付は大別して次の3種です。

1. 年次寄付
2. 恒久基金寄付
3. 使途指定寄付

皆様をお願いしたいのは、先づ年次寄付です。これは財団プログラムの燃料とも云えるものです。この寄付は使い道を指定することなく、ロータリー財団に寄付するもので、寄付して年後に、地区の年次寄付の60%(2003~04寄付年度で、2006~07プログラム年度から50%)については、地区がその使い道を決定することが出来る寄付なのです。

以上のような寄付なので、巷間耳にする“寄付をとられる”という考えを是非改めて、財団に寄付することによって、財団という組織を通して、自分がロータリーの奉仕活動、又3年後には地区の奉仕活動に参加しているという考えをもって欲しいと思います。ポール・ハリス準フェローがなくなり「財団の友」が誕生しました。これは100\$を寄付した方に与えられます。又クラブ会員が財団の友になると、そのクラブには特別な認証バナーが贈られます。

どうか会員一同が、100\$を寄付し72クラブ全クラブで100\$突破をすること、これが2510地区で100周年を祝うことになるのではないかと思います。御協力をおねがいします。



### 学友組織の充実を 支援する

国際親善奨学金委員会  
委員長 瀧川 哲夫  
(札幌手稲)

委員 松下 文芳(江別西) 丹羽 祐而(札幌手稲)  
高橋 麗秋(札幌北) 大坂 忠(札幌大通公園)  
増田 幸久(上磯) 高木 宏壽(札幌幌南)  
松宮 國彦(札幌東)

下記の事業のため、5～7回程度の委員会を開催する。

- 2005-06年度国際親善奨学生のオリエンテーション  
2005年7月以降に派遣される奨学生(候補者)に対して、3～5回のオリエンテーションを実施する。
- 2006-07年度国際親善奨学生の募集ならびに選考  
奨学生を公募し、応募者について書類選考および面接を行い、候補者を決定する。これらの候補者を米国財団奨学金委員会に9月末までに推薦する。また、世界平和奨学金奨学生の募集も同時に行い、応募者があれば1名を推薦する。  
募集開始 2005年1月  
各クラブでの受付締め切り 4月  
各クラブからガバナー事務所へ提出締め切り 5月  
書類選考・面接選考・合格者決定 6月
- 5010地区 ロシア からの3ヶ月文化研修奨学生の受け入れ  
9月から3ヶ月間、5010地区(ロシア)からの国際親善奨学生(文化研修)2名を受け入れる。

#### 4. その他

奨学生および学友(留学経験者)にロータリー・プログラムへの参加を要請し、奨学生の意識を高め、学友組織の充実を支援する。また、当地区での国際親善奨学金の今後のあり方について議論する。



### アジアの地区との 交換プログラム

研究グループ交換委員会(GSE)  
委員長 山名 善久  
(札幌幌南)

委員 武藤 順(札幌西) 岡崎 芳明(小樽南)  
金坂 和正(札幌真駒内) 井上 勝一(札幌北)  
片見 怜子(小樽銭函) 戸部 謙一(札幌西)  
田嶋 忠義(札幌) 小林 敏夫(函館)  
堀内 晴人(小樽南) 土橋 信男(札幌幌南)

いよいよ遠藤ガバナー年度が始まりました。当GSE委員会は前プログラムからアジアの地区と交換プログラムを実施してきました。

今年度アジア(タイ)3350地区との交換プログラムを実施するため、遠藤ガバナーがアナハイムに於いて交換の調印をしました。これを受けて今年の10月4日から31日までの4週間(28日間)3350地区からGSEチームが我が地区を訪問します。

受入グループ・世話クラブは第1グループ留萌RC、第5グループ札幌幌南RC、第6グループ倶知安RC、第11グループ上磯RCに各々ご依頼をしました。快く引き受けていただきこの誌面を借りてお礼申し上げます。

タイのGSEチームを受け入れることにより、訪問するチームメンバーはもちろんのこと、我々2510地区の多くのロータリークラブ会員の方々が大きな感動・感激を得よう心から期待します。

アジアの地区と交換プログラムを実施するのは良いのですが、私達は注意をしなければいけないことがあります。それは、日本が過去に起こした問題です。私達はともすれば過去の歴史を忘れがちになります。しかし、アジアの国々の人々は、今でも過去の歴史が心の中で生きています。私達のためにも、日本のためにも、その問題を払拭しなければなりません。GSEプログラムは地道な活動ですが、まちがいなく親善と相互理解を促進させる大きな力を持っています。その力を現実のものにする

ためには、多くの皆様のご理解とご協力が必要です。皆様から強力な力をいただき、GSEプログラムを一層有益なものにしたいと思います。

今年1年よろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



## 学友会の現況を把握する

財団学友委員会  
委員長 山崎晴嘉  
(札幌西北)

委員 岡 宏幸(札幌大通公園) 高橋 保史(室蘭北)  
桃井 康夫(札幌清田) 鍋谷 操子(函館東)  
中島 勉(札幌幌南)

### 1. 活動方針

- 1) 財団学友会の活動に対する助言と支援。
- 2) 財団学友のロータリー活動への参加促進とクラブの財団学友への理解推進。
- 3) 財団学友会の広報。
- 4) 他地区の財団学友会との連携。

### 2. 委員会活動計画

- 1) 委員会の開催  
年間4回の委員会を開催し、活動計画の具体的な検討を行う。
- 2) 財団学友のクラブ例会での卓話機会の増進。  
クラブの要望に応じて学友が卓話を行う機会を増進し、ロータリー財団の事業への理解を深めるように交流を図りたい。特に11月の財団月間には積極的な卓話斡旋を行う。
- 3) 財団学友会総会への参加。  
今年度は財団学友会総会を地区大会時に開催する計画としたい。財団関係ロータリアンの参加により学友会を支援する。(会場確保を考えなければならない。)
- 4) 財団学友会賛助会員の賛助金拠出を推進。  
改訂版地区R財団学友名簿を各クラブへ送付しましたが、財団学友の存在意義を深め、学友を活用すると共に賛助会員としてのご支援を御願います。学友会の活動資金として、クラブの賛助金は大きなウエイトを占めています。
- 5) 学友会活動状況を報告している学友ニュースレター発行の支援。

学友会設立以来、毎年発行している学友ニュースレターは学友が学友会に興味と理解を深めていくと共に、ロータリアンのロータリー財団事業への理解を深めることに役立っています。

### 6) 財団学友の地区大会への参加推進。

スポンサークラブから積極的な働きかけをお願いすることが重要です。加えて、学友会総会を地区大会時に開催することで、多くの学友が参加する機会を得ると共に国際ロータリーへの理解を深める機会を与えることが出来る。

### 7) 帰国学友報告会の開催。

ロータリアンから寄せられた貴重な浄財を活用して、外国に留学した財団親善奨学生とGSE団員が帰国後にどのような感想を得て、今後どのような活動を考えているのかロータリアンへ報告する機会を計画する。

### 8) 将来の学友会発展のために、他地区の学友会の現況を把握する調査を開始する。



## 地域に根ざしたP・Rを

補助金委員会  
委員長 伏木忠了  
(札幌西)

委員 山口 登(登別) 服部 隆志(千歳)  
浅野 元広(札幌西) 朝倉 正人(札幌東)

### 1. 活動方針

ロータリー財団への寄付は、3年後に60%は地区財団活動資金(D・D・F)に、40%は国際財団活動資金(W・F)に配分され、教育的プログラムと人道的プログラムに使われます。国際的潮流は人道的プログラムに使われる比率が高いのが現状ですが、当2510地区は教育的プログラムに偏っており、地区補助金の利用は03~04年度が初めてです。

各クラブが、地域に根ざした社会奉仕に積極的に利用される様、P・Rを致します。

地区社会奉仕委員会、地区国際奉仕委員会、地区世界社会奉仕委員会との連携をすることにより効果が上がります。

### 2. 活動計画

地区補助金(D・D・F)

地域に恩恵を与え、また経済的に恵まれない人々の生活を向上させるために提供されます。

R I 2510地区の裁量で使える補助金は、12,000ドル  
2004～05年度は、12,000ドル（遠藤ガバナー年度）

但し2003～04年度（佐藤ガバナー年度）で、約  
10,000ドルが繰越分として、既に審査を終えたプロジェ  
クト事業は次年度に継続事業として引継ぎいたしました。  
個人向け補助金（W・F）

ロータリー国において最長60日間の期間、有資格の国際  
的な人道奉仕活動のための旅費を補助するために個人向け  
補助金を提供しています。資金は、将来の人道的プロジェ  
クト或いは地域社会に恩恵を与える直接的な奉仕活動を計  
画するために提供されます。

マッチング・グラント（W・F）

海外で人道的プロジェクトを実施するために、プロジェ  
クト実施国とプロジェクト支援国の2つのロータリー・ク  
ラブ或いは2つの地区が協力して行うプロジェクトに提供  
されます。

ロータリー財団個人向け補助金に関する説明

<http://www.rotary.org/languages/japanese/downloads/>



## ロータリーの熱意を届けよう。 新世代のために！

新世代委員会

委員長 細川好弘  
（静内）

委員 堀田昌資（札幌東） 柳孝一（札幌南）  
野澤幸平（岩内） 宮崎善昭（札幌西）  
西村恒夫（札幌東）

「未来は遠くにあり、出会うのを待っているというものでは  
ありません。未来は今ここでつくられるのを待っているのです。  
今、ロータリアンは奉仕の理想を来たるべき世代につなぐこと  
によって、よき先達として行動することが出来るのです」

ロータリーの新世代元年とも言うべき1996 - 97年度ジア  
R I 会長の新世代にかける言葉です。

私達の委員会は前途洋々たる0歳から30歳代の新世代に未来  
を託すロータリーの建設的なシグナルを届ける奉仕として、地  
区青少年交換委員会、インターアクト委員会、ロータリーア  
クト委員会、ライラ委員会が取り組んでおります。

更に家庭奉仕、子ども奉仕、財団学友、米山学友等の委員会  
とも手を取りあってR I 100周年に相応しい「ロータリーの熱

意をロータリー家族でもある新世代に届けられるよう」ご理  
解とご助言をお願いいたします。

新世代が世界に通用する指導力を培う機会に恵まれますよう、  
地区内の72クラブロータリアンと、ロータリーの過去・現在・  
未来を称える楽しいプログラムを新世代と共に創りませんか。



## 学ぶ機会を与えて

インターアクト委員会

委員長 堀田昌資  
（札幌東）

委員 秋山秀雄（札幌西北） 仲屋成裕（岩見沢）  
古野重幸（札幌） 佐藤嘉高（札幌モニング）  
市毛満（静内） 松見修二（函館北）

）活動方針

ロータリーと新世代の交流は奉仕プロジェクトを共有しな  
がら世界平和を目指すロータリーに尊い学ぶ機会を与えてく  
れます。地区内10スポンサークラブ、インターアクト委員会  
と連携を密にして新世代活動に積極的に取り組む1年とします。

）活動計画

1．海外研修 - 国際理解を深めるために（隣国の歴史・文化・  
言語を学ぶ）

期 間：2004年8月2日（月）～6日（金）

韓国（木浦）共生園（日本統治時代に多くの孤  
児を救った日本人・田中千鶴子の生涯を描いた  
映画「愛の目次録」の舞台となった孤児院）の  
施設訪問と同世代交流。ソウル市内見学。

事前研修を開催（衣料品収集、交流参加行事な  
ど）

研修報告書を編集・発行

2．インターアクト年次大会 - 独創的なアイデアを活用して

期 日：2005年6月予定

会 場：静内町

・ホスト：静内高校・静内ロータリークラブ

静内インターアクトクラブ10周年記念

3．世界インターアクト週間祝賀行事・祝賀表彰の奨励

新世代のボランティアを学ぼう

期 間：2004年11月5日を含む週

4．地区委員会開催 - 顧問教師と共に連携を。



顧問会議 随時開催。

2004～2005年度第2510地区インターアクトクラブ地区代表  
静内高校インターアクトクラブ会長 村田 広恵



### 100年の記念事業にローターアクトクラブを提唱しませんか。

ローターアクト委員会  
委員長 柳 孝一  
(札幌幌南)

委員 今井 義憲(函館東) 宇戸 啓隆(赤平)  
五十嵐桂一(千歳) 鎌田 慎司(札幌北)  
武井 優(岩内)

#### 1. 活動方針

提唱ロータリークラブの会長・幹事、ローターアクト委員会、会員の皆さまと連帯を保ち、地区内ローターアクトクラブの活発な奉仕活動と、会員増強推進を目標に、提唱クラブだけではなく、広く地区内ロータリークラブにローターアクトクラブの活動を理解していただき、新しい事業を展開することを目標にいたします。そのためには、地区内ロータリアンを含む地域社会に広くローターアクトクラブを知って頂く、広報活動に努めます。

付きましては、未提唱のクラブにロータリー100周年の記念事業に、ローターアクトクラブを提唱することをお勧めします。詳しくは、地区委員会またはガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

#### 2. 具体的な活動計画

##### 【地区行事への参加と協力】

- ローターアクト地区大会の実施の協力と参加
- ローターアクト地区協議会の実施の協力と参加
- アクトクラブ主催地区セミナーの実施の協力と参加
- 新世代委員会行事への参加
- 海外研修の実施の協力と参加
- 2510地区地区大会への参加とローターアクト会員の参加推進

##### 【クラブ運営に関する要望と協力】

- クラブの会員増強と体制強化、例会運営の協力
- 提唱クラブ ローターアクト委員会の指導力強化
- ロータリークラブとローターアクトクラブの合同例会、合同事業の実施
- ローターアクト週間(3月13日を含む週)のPR

(最初に誕生したローターアクトクラブがR Iに正式に加盟認証された日でローターアクトクラブと提唱クラブが合同で事業を行うものです。)

#### 【その他】

- 第3回北海道ローターアクト交流会(2500地区で開催)の全面協力とロータリアンの登録推進
- 全国研修会への登録、参加
- 休止中のクラブへの再開の働きかけ
- 未提唱クラブへ新クラブ設立の働きかけと共同提唱の提案
- 提唱クラブ委員長会議を年2回程度開催(例年1回)
- 地区主催のアクトキャンプへの協力と参加
- ライラセミナーへの運営協力と参加推進
- (ローターアクト地区代表への指導と協力)各クラブの活動計画書と活動報告書の作成要請



### 奉仕の精神を受け継ぐ

青少年交換委員会  
委員長 野 澤 幸平  
(岩内)

委員 馬場 信吾(北広島) 荒木麻美子(余市)  
上出 利光(札幌西) 菊池 恒(札幌南)  
高橋 康則(苫小牧北) 高崎 英仁(札幌手稲)  
田守 雅行(江別) 土谷 俊彦(札幌東)  
北川 敏夫(札幌はまなす) 菊地 喜久(函館五稜郭)

本年度もロータリークラブ、ロータリアンのご協力を頂き派遣学生、受入学生が国際親善大使としてより実りある留学体験ができる様応援する所存です。

また、帰国され素晴らしい経験されたROTEXの皆さん方によるオリエンテーションで講師役として派遣候補学生、保護者への貴重な体験談スピーチを。

スポンサーRCさんだけの卓話でなく夏季、冬季休暇間でのスポンサーRCさんを通してROTEX、派遣候補学生また受入学生の卓話依頼。是非、卓話プログラムに加えて下さい。彼らからの“生の声”が当委員会活動を理解して頂く最大の手段でありまた、今後彼らが自分の意見を発表する場、時を通し今後より幅広くボランティア活動へのきっかけともなります。ロータリーの心、奉仕の精神を受け継ぐことと思います。

本年度、長期派遣募集8名前後、短期交換派遣3名前後を準

備致しております。

事業計画は例年実施しております歓迎会、秋・春キャンプ、短期&長期派遣学生へのオリエンテーション実施をまた、細川地区新世代委員長さんのご指導の元、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、ライラ委員会そして当委員会が共に協力しあいより活気ある委員会となりますよう頑張る所存です。

そしてホストファミリー、ホストRCへの「短期サポーター」支援プログラム、オリエンテーション使用各手引書の更新、作成。ROTEXによる事業プログラムの実施等を行う予定です。どうぞご指導の程、宜しく願い申し上げます。

皆様方のご意見、ご要望が次への手引書項目ともなります。どうぞご意見、気軽にお寄せ下さい。



## 新世代に様々な動機付けを

ライラ委員会

委員長 宮 崎 善 昭  
(札幌西)

委員 クリスチャン・キム(札幌南) 高橋 都(札幌セントラル)  
山田 昭恵(余 市) 榎原二三夫(砂 川)  
阿部 光行(札幌手稲)

世界中のロータリーは、新世代の若い人々に対して人々に奉仕し、貢献できる人間として成長することを望んでいます。その為に多くの新世代プログラムを持っており、時間も使っています。

他者に奉仕し貢献をするために必要なことは、まず、個人の自立、自律、自信であると思います。ライラ・セミナーはこれを目指し、新世代に様々な動機付けをしようとするものです。自立を促す為には、自分の思想、価値観が必要ですし、社会的な視野で見ると個人のアイデンティティーも必要であります。

ライラセミナーは、それ自体が目的はありません。新世代の自立、自律、自信、アイデンティティー確立の為の手段であると考えています。ライラ・プログラムは、意図的にこの方向性に向けて実施されています。私たち大人のできうることは、方向性を示すことで、ある意味で「型」を示すことなのだと思います。歩み始めるのはあくまでも新世代自身であります。人間は自立し、自律し、自信を持ち、自分自身のアイデンティティーを明確化することができて初めて他者との関係の中で、差異を認識しそれを容認することが可能になり、自己を主張するこ

とができるのです。このバランス感覚と習慣を身につけることが大切なのです。

セミナーは一泊二日で行われます。時間的な制約の為に、内容を深めていくプロセスまでなかなか到達しませんが、参加者にとって大きな動機付けの機会であることには違いありません。

今年度、セミナーのテーマは、「人権について」で、様々な視点で考えようと思っています。18歳以上のシニアクラスを9/11~12、18歳以下のジュニアクラスを9/18~19の新世代月間に実施する予定です。

各クラブ会長、新世代委員宛ての参加案内を7月下旬にはいたしますので、多くの新世代をセミナーに派遣して下さいますようお願い申し上げます。

また、来年の2月に行われる第25回札幌国際スキーマラソンにも参加します。



## 理解のなかから奉仕を

米山記念奨学委員会

委員長 竹 原 巖  
(札幌北)

委員 武田利兵衛(札幌南) 内野 司(砂 川)  
坂田 道昭(小 樽) 圓谷 敏彦(苫小牧)  
山下 信行(札幌南) 大石 春雄(札幌はまなす)

米山記念奨学委員会の本年度の活動方針は、「米山記念奨学制度の目的と意義を、多くの会員の方々に理解を深めていただくことにより、留学生にさらに多くの援助の手を差し伸べることが出来るよう努力し、奨学生との交流や相互理解に役立ち親善の輪を広げて行くようにする。」と掲げました。そして、具体的な活動計画として次の7項目を実施する予定です。

米山記念奨学制度について、会員の皆さんに理解を深めていただくため、奨学生並びに委員がクラブ例会やその他の機会、出来るだけ多くの卓話する。

奨学生を地区行事・委員会活動・クラブ行事・地域行事に積極的に参加していただき、ロータリアンや地域の方々との相互理解を深めるため協力する。

世話クラブ・カウンセラー・指導教官との交流と親睦を図り、留学生が安心して快適な留学生活と研究学問に打ち込めるようサポートする。

奨学生がロータリーへの理解を深めるため、オリエンテ-

ションや親睦会を開催する。

米山学友会及び米山学友委員会と連携を図り、活動をより充実させ密度あるものとする。

普通寄付金一人当たりを全国平均並みの4200円に引き上げるよう努力する。

特別寄付金の増進に努力する。

会員各位の理解と協力により、出来るだけ多くの奨学生に援助の手を差し伸べることが出来るよう願っております。



### 新設以来3年度目を 迎える米山学友委員会

米山学友委員会  
委員長 見延 庄三郎  
(小樽南)

委員 笠原 昇一(札幌東) 斎田 義孝(小樽南)  
高橋 敏雄(札幌手稲) 高坂 輝雄(札幌あけぼの)  
千葉 悦子(小樽銭函)

#### 1. 活動方針

これまでの2年間は、学友会活動の復活を図るため「学友会の活動計画とその推進」に当って委員会が先導的立場で復活支援活動を行ってきた。

3年目の今年は米山学友会の正会員である「学友自身が活動の中心であり主体である」との本来の基本に立ち、我々委員はその体制作りとその活動支援にウエイトを移していきたい。

去る6月5～6日登別で開催された米山学友会家族懇親会は、2人の地元米山学友が中心となり、これを第9グループ5クラブロータリアンの全面支援によって素晴らしい感動的な親睦交流の場となった。これぞ正に米山学友活動の理想像であったし、今後更に此の精神を発展させたい。

#### 2. 活動計画

学友会名簿の作成

- (1) 米山学友会(北海道)の名簿の補追
- (2) 道内スポンサークラブ毎の全米山学友(道外転出者も含む)の名簿作成

転居先等、不明箇所はスポンサークラブの情報を得て補正したい

米山学友会役員と学友委員との合同会議開催

情報意見交換及び活動計画の策定推進

活動の主体は学友、ロータリーの学友委員はサポート役として支援に徹する

学友のロータリー活動への参加推進

ライラセミナー、地区大会、米山奨学委員会や財団学友委員会等、関連委員会との共催事業への参加推進

学友会定時総会(11月)・家族懇親会(6月頃)

機関誌「学友会だより(北海道)」の発行(6月頃)

研修会の開催(札幌コンサートホール KITARA)の視察研修等

一般ロータリアンに米山学友会への賛助会員として参画して頂き、「学友こそ米山記念奨学制度の目的達成者である」との認識のもと支援の輪を拡げたい。



### 外部広報に重点を置いて

広報委員会  
委員長 小林 俊之  
(札幌北)

委員 梅津 征夫(札幌モーニング) 菅原 文雄(千歳)  
斎藤 正史(登別)

丸山前委員長が三年務められると伺っておりましたところ、一年でガバナー補佐に就任され、思いがけず委員長を務めることになり、経験の浅さで身の引き締る思いで一杯です。

日本の経済のバブルがはじけて三～四年以来十年以上にわたりロータリーの会員数は減少を続けております。

昨年の地区協で黒田組織コーディネーターさんは暗に会員減少が長く続くと予見してか、「地区は無くなっても単一クラブは残る」と辛辣なお話をされましたが、地区に於いても個々のクラブに於いても早期に組織をはじめ、ひいては会員増強につながるような思い切った種々の検討がなされる事を願っています。

広報は1923年の決議等による制約もありますが、RI・地区の方針に添って評される範囲内で積極的にロータリーの内外にロータリーの活動をPRします。

内部広報はガバナー月信やIC委員会のインターネット上での配信で十分伝えられると思うので外部広報に重点を置いて活動したい。

活動計画

- 1. 記念すべき百周年の地区の行事等を、関連する方々又関連委員会と協調し報道機関に取り上げて頂く事を最重点に

活動したい。

2. 個々のクラブに於かれては、地域に根ざした良き百周年記念事業を計画し実行しているクラブも多いと思う。そこで成功裡に進行又は完了した奉仕プロジェクトを一般の方々にも広く知って頂く為、各クラブ会長、幹事、広報委員長に積極的に地域の報道機関に働きかけて頂くような方策を考えたい。
  3. 各クラブの良きプロジェクトを単年度的なもの、継続的なものに分類してCDにまとめ各クラブに送り、今後の奉仕活動の参考にして頂く。これは昨年度も行っている。
  4. 報道機関の代表的地位の方にも会員になって頂くよう尚一層努力をしたい。
  5. 昨年度末丸山委員長により広報活動の基本的姿勢について、15分卓話用スライド原稿をCDに作成し各クラブ広報委員長宛発送したので例会の卓話に組み入れて頂く。
  6. 地区で新しい試みとして力を入れている子供奉仕、家庭奉仕委員会の取り組みについても広報したい。
- 以上ですが皆様の好意と友情でよろしくお願い致します。



## 更なる情報の活用を目指し

情報・IC委員会  
委員長 山田 信夫  
(苫小牧北)

委員 廣瀬 保男(小樽南) 光銭 健三(上磯)  
野田 富夫(滝川) 丸山 雄一(函館)  
坂井 治(千歳セントラル) 五十嵐桂一(千歳)  
秦 健一郎(小樽) 中村 喜恵(函館五稜郭)

前年度、佐藤直前ガバナー自らIC(インターネット・コミュニケーション)を積極的に推進されたことで、地区内クラブのEメールアドレスの取得や、クラブホームページの新設および2510メールマガジンの読者登録件数も飛躍的に増え、さながらIC元年といった様相でした。

今年度は情報委員会を統合し、更なる情報交換の充実に努めたいと思います。

ただ、情報はICが前提ではありませんので、ガバナー月信など従前の紙媒体なども活用しながら地区内クラブの会員の皆さんに情報の提供やコミュニケーションに努めてまいります。

さて、情報に関しては、2004年規定審議会の結果を受けて、

地区内クラブに有用な情報提供をすること、ICに関してはインターネットを介して流通するロータリー関係の情報伝達と、情報交換の一手段であるインターネット活用の地区内普及に努めることを方針に掲げ、具体的な活動計画を次のように設定しました。

### 活動計画

#### 1. 情報に関して

2004年規定審議会における改訂項目の提示および解説、クラブ定款・細則見直しのための資料および情報を提供する。

#### 2. ICに関して

##### (1) メールマガジンの配信

RI、RJW(ロータリー・ジャパン・ウェブ)、ロータリーの友 などからインターネットを介して流通する情報および地区内の情報を、速やかにガバナーはじめ地区内のみなさんに電子メールで配信する。

##### (2) 地区ホームページの作成

地区から発信する情報および地区内のグループ、クラブからいただいた情報を分かりやすく掲載する。

##### (3) インターネット活用の普及促進

経済性、迅速性、便利性などに優れた情報交換の一手段としてのインターネットの理解と普及に努める。

実務的には、特にロータリー情報の解釈など奥深い内容に関しては、遠藤秀雄ガバナー及び当委員会のカウンセラー塚原樹ガバナーエレクトのご指導をいただきながら進めてまいります。

また、インターネットについては、その経済性、迅速性、便利性などは活用していただいている方を中心に理解者が増えてきています。ぜひRI、RJW、地区ホームページなどの閲覧、またメールマガジンを受信されることで、皆さんの課題、疑問に答える情報を見つけてください。

### ホームページ

2510地区：<http://www.ri2510.gr.jp/>

RI：<http://www.rotary.org/>

RJW：<http://www.rotary.or.jp/>

全国ロータリアンインターネット協議会：<http://www.jric.gr.jp/>  
(国内のロータリアンが主にメーリングリストで情報交換をする任意団体)

### Eメールアドレス

遠藤秀雄ガバナー事務所：[keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp](mailto:keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp)

地区情報・IC委員会(山田)：[kye00213@nifty.ne.jp](mailto:kye00213@nifty.ne.jp)





## 『友』誌を身近に

ロータリーの友委員会  
委員長 木下 博  
(室 蘭)

委員 佐藤 公(札幌北) 斎藤 元護(札幌南)  
坂井 治(千歳セントラル)

一昨年、『ロータリーの友』は創刊50周年を前に刷新され、大変読みやすくなりました。2004 - 2005年度はロータリー100周年にちなんでの年間テーマ、新企画などの編集方針が発表されております。より身近なものとして、お読みいただきたい。

1. 2510地区は雑誌委員会からロータリーの友委員会へと名称を変更しました。各クラブでも名称の変更をご検討いただきたい。
2. RIの公式雑誌である面と会員相互の交流と情報交換を目的とする面を持つ『友』について、その存在意識、内容、編集方針などに対する批評、意見を広くお聞きしたい。そのため友(雑誌)委員長、関連委員会との合同会議の開催をはかりたい。収集し得た意見は中央の委員会、会議などで報告、発表する。また、会員の『友』への投稿もお願いしたい。
3. 雑誌月間を中心に、委員はクラブ卓話に出向き、『友』に関する情報、『友』の刊行物など紹介する。
4. 100周年にちなんだ各クラブの取り組み、イベントなど、この地区のユニークな情報を紹介する。
5. 「地区のたより」を年1回編集、「わがまち わが地区」の原稿を年1回書く。

## ロータリー 文庫通信 (202号)

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館 = 午前10時 ~ 午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ロータリーに関するいろいろ

- 「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」 デイビッド C. フォワード著；日本語訳監修 菅野多利雄 2003 331p  
[申込先：R.I.日本事務局 TEL(03)3903-3194]
- 「選ばれたる人」 佐藤千壽 2003 37p  
[申込先：呉R.C. FAX(0823)21-5692]
- 「RIの方針とプログラム等について考える」 2004 8p  
(第32回ロータリー・ゾーン研究会報告書 オープン・フォーラム)
- 「変えたいロータリー」 2004 13p  
(D.2690地区大会 ガバナー補佐座談会)
- 「ロータリーの魅力」 深川純一 2004 12p  
(D.2690地区大会 講演)
- 「夢をかたちに...行動するロータリー」 2004 16p  
(D.2730地区大会 シンポジウム)
- 「21世紀の人間のニーズを満たすものとは」 今井鎮雄  
2004 4p (D.2580地区大会 RI会長代理挨拶)
- 「あなたへのロータリーからの贈り物」 開場慶博  
2004 6p (D.2500地区大会 特別講演)
- 「ロータリー財団の最新情報」 片岡暎子 2004 7p  
(D.2500地区大会 講演)
- 「ロータリーとボランティア」 相原次男 2004 19p  
(D.2710地区大会 基調講演)  
[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

## 地区委員会

## 活動報告

### 提唱ロータリークラブ委員長会議 ローターアクト会長幹事会開催

ローターアクト委員会  
委員長 柳 孝一（札幌幌南）

日 時 7月10日（土）

場 所 札幌テレビ塔会議室

地区委員会（14時～15時）

出席者 地区担当幹事 上田 博子（登別）  
委員長 柳 孝一（札幌幌南）  
委員 今井 義憲（函館東）、宇戸 啓  
隆（赤平）、五十嵐桂一（千歳）、  
鎌田 慎司（札幌北）、武井 優  
（岩内）

上田地区幹事に出席頂き、遠藤年度初めの地区委員会が地区委員全員出席して、今年度の委員会の運営方針、年間スケジュール、予算等の議題、主にはローターアクターの会員増強をテーマに時間を費やしました。インターアクト、青少年交換等新世代委員会、横のつながりを密に、さらには地区内ロータリアンにローターアクトを認知してもらう重要性、公式な案内文等はガバナーと委員会の連名で対応することなどを確認し、委員会を終了しました。

提唱ロータリークラブ委員長会議（15時～16時30分）

上記出席者に加え 赤平RC佐々木重昭、岩見沢RC北市宗三、札幌北RC八木政明、札幌幌南RC佐藤泰寛、岩内RC武井 優（地区委員兼務）、千歳RC

五十嵐桂一（地区委員兼務）、恵庭RC山田邦昭、室蘭北RC斉藤 崇、函館RC石塚龍弥

敬称略

年度初めの提唱クラブの委員長さんが一堂に会し、忌憚のない意見交換の場として、毎年開催しています。自己紹介後、今年度の活動状況や今年度の予定の報告のあと、会員増強について時間をかけ話し合いをしました。

クラブ内外のロータリアンに協力を求める。提唱クラブ以外のクラブに募集する。インターアクトやROTEXへの訴求、等の具体案から、30才卒業の手続要覧はどうにかならないものかという事柄までの意見に対しそれぞれ確認をしました。

参加者から「ローターアクトに必要なことは？」

地区委員会として「ロータリー100周年の記念事業にローターアクトクラブを作りませんか」という今年度の活動計画の説明をいたしました。これは地区協議会でも提案しましたが、RIが36年前から行っているプログラムではありますが、地区内で10年以上新しいクラブは誕生していません。それどころか休止するクラブは増えているくらいです。ローターアクトクラブの提唱には15名前後の18才から30才までの青年男女会員と、わずかな資金で設立する事が出来ることを説明、さらに今後地区内で提案していく旨を話しました。

その後行われた、ローターアクトクラブ会長幹事会にオブザーバー参加。最初の会長幹事会ということもあり、斉藤地区代表から、今年の地区ターゲット「Boys and girls, be ambitious」の説明あり、役員紹介、クラブ紹介等があり、その後議案の各クラブ会員





状況、クラブテーマ、活動抱負の発言、地区代表から地区運営方針の発表がありました。

最後に地区代表提案で「アクトクラブに入ってよかったこと」「アクトクラブに入って成長したこと」の2つのテーマで考える勉強会が行われ、参加アクトから「アクトクラブに入って、いろいろな人と友達になれた」「ボランティア活動に参加できた」「行事の計画から、実行まで普段の日常では出来ないことが出来た」「自分の意見をちゃんと発言できるようになった」等の発言がありました。ロータリークラブという言葉がなかなか出てこなかったのが心配でしたが、直前地区代表から「ロータリークラブの活動を知ったこと、ロータリアンの方々を知ったこと」という発言にほっとしました。

ローターアクト今後の地区レベルの行事

7月31日、8月1日 地区キャンプ 岩内

8月28日、29日 地区セミナー 留萌

お近くのロータリアンで参加希望の方は、地区委員会までお問い合わせ下さい。

2004-2005年度RI2510地区ローターアクト  
地区ターゲット 「Boys and girls, be ambitious」

RI 2510 地区ローターアクト地区代表 齋藤 心

アメリカの教育者、クラーク博士が札幌農学校初代教頭として来日していた時に残して行った「Boys, be ambitious」の言葉をもとに現代風書き換えて作り

ました。この伝統ある言葉を使うことで、今まで築き上げてきたローターアクトの歴史を大切に北海道の地から大きく羽ばたいていこう、そして同じく彼の出身国アメリカの地で創設されたロータリークラブが今年度100周年記念を迎えるにあたってその誕生の原点を見つめなおそうとの意味がこめられています。またこの言葉を叫んだといわれる恵庭・島松沢（千歳）での地区大会開催地とのつながりも含まれています。

## 好意と友情、喜びと感動につつまれた 米山学友・家族懇親会登別で開催

米山学友委員会

委員長 見延庄三郎（小樽南）

米山学友・家族懇親会は、学友会の年間活動計画の中でも、会員のみんなが一番楽しみにしている最大イベントである。

昨年は5月に学友委員（ロータリアン）のお膳立てで、学友ロータリアン総勢43名の参加のもと、小樽で野外バーベキュー・パーティを行った。

今年は6月5～6日（土・日）登別グランドホテルを会場とし、一泊で落ち着いて行った。しかも室蘭在住の二人の米山学友が、計画から事前準備・当日の司会進行を含むすべてを取り仕切ってくれたこと、そして彼等二人を室蘭東RCを始め地区第9グループの全ロータリークラブが相談ごとから経済的支援迄、実に親身に支援して下さいました。いわば第9グループ挙げての交流会であった。

イベントの立役者はンケアン君（マレーシア出身）とギリラム君（ネパール出身）のお二人で、全参加者は学友18名その家族7名、ロータリアン30名（うち地元ロータリアン22名）の構成であった。

6月5日17時半から「第1部顔合わせ会」を開始。陳学友会長、伊藤米山奨学会常任理事、第9グループ宮武ガバナー補佐の御挨拶の後、室蘭東RCの松田会員より学友との出会いと学友による祖国への教育支援



活動の紹介等、心に響く卓話があった。その後参加者55名全員の自己紹介でなごやかながら内容の濃い交流を行った。

次いで19時頃から「第2部懇親食事会」。遠藤ガバナーエレクトの御挨拶後竹原米山奨学委員長の乾杯の音頭で開演。登別グランドホテル木村社長の御好意で特別サービスメニューでの会食、ンケアン君やギリラム君による民族舞踊や歌の披露等があり、楽しい食事会もあつと云う間にタイムアップ。

引続き「第3部二次会」。二人の司会と地元ロータリアンの差入れ物資により深夜に及ぶゲームやカラオケ。朝5時迄の学友も居たとか。翌6日札幌へ帰る学友とロータリアンを乗せたバスの発車10時には遠藤GE始め地元学友・ロータリアン多数が見送って下さり、思い出多い登別を後にした。

私の感想 米山記念奨学事業は単なる奨学金の支給事業にとどまらず、究極の目的はロータリアンの理想とする国際理解と親善交流を深め国籍を超えて真のパートナーとなることを目指しているものと思う。

そうした意味で松田会員のスピーチを始め学友やロータリアンの言動から多くの感動や思い出を心に刻む事が出来たことは最高の成果であったと思うし、今回の家族懇親会を今後の学友活動の新たな出発としてほ

しいものと思う。

学友と家族の皆さんが本当に楽しかったと満足し喜んでくれたのは何よりであった。これも地元学友とロータリアンの皆さんのお蔭と心から感謝に耐えない。

米山梅吉氏の伝記を読んで感動しまだ学生の身にもかかわらず、祖国への教育支援活動を続けているギリラム君の真摯な努力に感銘を深めたと同時に、この支援活動の輪をもっと広めるよう我々もバックアップをしていきたいと思う。

来年以降の家族会も開催地を替え、その地区の学友とロータリーのグループの支援で今年のように開催出来れば、学友と支援ロータリアンの裾野を広げる意味でも素晴らしいと思う。

## ガバナー事務所からのお知らせ

ガバナー月信の「ファイル」をお送り致します。R Iテーマの色調をベースとしたブルーを配置し、100年の虹色（希望）を入れました。ご活用下さい。

今年度のガバナー月信の表紙は、1号から13号まで基本デザインは変わりませんがレインボーカラー（虹色）の赤系から橙色、黄、緑、紫、青のグラデーションで発行予定ですので、13号までをファイリングして頂き、再度必要時にお読み下さい。なお、裏表紙は今日的话题の項目を掲載します。

2004年4月17日開催しました、地区協議会報告書をCD盤にて今月配信します。

協議記録や資料など豊富な情報が網羅されていますので、各クラブの活動にご利用下さい。



(財)ロータリー米山記念奨学会 2004年7月12日発行

ハイライトよねやま 53

1. 寄付金速報～2003-2004年度寄付結果報告、ご協力感謝いたします！

2003-2004年度の寄付金は約15億2百万円、前年度と比べ5.9%減、約9千5百万円の減少となりました。普通寄付金が3.3%減、特別寄付金が7.0%減です。16億円の目標は達成できませんでしたが、会員数減少の中、寄付増進にご尽力賜りましてありがとうございました。第2590地区【神奈川県横浜市・川崎市】が一人当たり平均寄付額のトップ(25,772円)を維持しました。今年度も引き続き、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

2. 理事会・評議員会報告～奨学金額と採用数の縮減が決定～

新年度の事業計画と予算を決める2003年度第3回理事会・評議員会が、6月23日に東京・新高輪プリンスホテルで開催されました。全地区から102名の理事・監事・評議員が出席して、2004年度の事業計画、収支予算および奨学生募集人員と募集要項などを審議決定しました。

<主な決議事項>

1. 奨学金額と奨学生採用数の見直し

寄付金収入の減少を受け、2005学年度の奨学金額と採用数は、右の表の通り、それぞれ縮減されます。

2. 地区および学友会補助費の改定

2005年7月より、地区活動補助費は、奨学生人数によるスライド式に改定されます。学友会運営補助費・設立準備金は、2004年7月より廃止されます。

3. 予算

寄付金収入予算は15億1千万円、奨学金支出予算は15億8千万円です。奨学資金特別積立金の取り崩しは3億円で、これを執行すると、特別積立金は25億5千万円となります。

2005学年度(4月～3月)の米山奨学金制度

	種別	月額	採用数
米山奨学金	学部(YU)	10万円	741名
	修士(YM)	14万円	
	博士(YD)	14万円	
クラブ米山(CY)奨学生		14万円	59名
特別米山(SY)奨学金	SY-A	18万円	
	SY-S	18万円	
	SY-1	10万円	
合計			800名

2003年度の寄付総額が16億円を下回ったことにより、奨学金額と採用数を縮減する厳しい会合となりました。慎重な審議を重ねた結果、奨学金額を平均7%、採用数を20%減とする案が採択されました。98年以来、1,000名を超える奨学生を支援してきたロータリー米山奨学金ですが、この数年ロータリー会員の退会、寄付金減少に歯止めがかからず、ついに大幅な削減を余儀なくされました。原因は、単に経済的なものだけではありません。ロータリーの「奉仕」とは何か、奨学事業の「使命」とは何か、そして「なぜ今、留学生支援なのか」といった事業の本質が見えにくくなっている現状への批判も大きいと思われる。

理事会・評議員会後に開かれたフォーラムでは、米山奨学事業を見直すために昨年実施した「第2期基礎調査報告」をたたき台として、「みんなで考えよう...私たちの米山奨学事業」の議論を行いました。財政危機の現実を直視しながらも、決して後ろ向きにならずに、日本のロータリアンが築き上げてきた奨学事業を前進させようとする意気込みを感じさせられたフォーラムでした。なお、このフォーラムは、2006年度制度改編に向けてシリーズで開かれます。

(常務理事・事務局長宮崎幸雄)

### 3. フォーラム開催報告

理事会・評議員会合同会議の終了後、1時間半にわたるフォーラムが開催されました。高野副理事長、宮崎事務局長による基礎調査結果のプレゼンテーションの後、グループディスカッションが行われ、参加した理事・評議員から活発な意見が交わされました。

寄付については、「会長や幹事に対し、重点的に理解の浸透をはかる」「普通寄付を増額し、財源の安定化を」といった提案が多く寄せられ、関心の高さが伺われました。

表彰制度の改定については、寄付増進に有効であるとしながらも、「10万円が目標ではなく、2回3回と続けてもらえるような動機づけが必要」との意見がありました。

「日本に来ている学生だけでなく、アジアの大学に日本語学科をつくり、招致するような全面的支援をしたい」など、今後の奨学事業の可能性に関することや、当日決議された奨学生数縮減と奨学金減額に関する意見、交流のあり方などが議論されました。今回のフォーラムの詳細は、後日、増刊号としてまとめる予定です。ご期待ください。



### 4. 指定校選定の期限、迫る！

2005学年度の指定校決定報告が、各地区から続々と届いています。今年、各地区にお送りした『大学情報』では、4月に独立法人化した国立大学の動きや、国際競争力のある研究拠点をつくるために文部科学省が始めた21世紀COE (Center of Excellence) プログラム、特色ある大学教育支援プログラムなど、大学を取り巻く環境についての情報も紹介しています。

昨年の「第2期米山奨学事業基礎調査」では、過半数のロータリアンが現行の指定校・大学推薦制度を支持しながらも、4人に1人が改善の必要ありと答えており、その改善要望のトップが「地域密着型大学や特徴のある大学を指定校に」でした。これは、現行制度の中でも地区の裁量で実現できるアイデアです。ぜひ、さまざまな情報を参考に、今年の指定校をお選びください。

指定校報告の締め切りは、7月14日(水)です。

### 5. 米山学友の活躍～外務省の「ASEAN 留学生の意識調査」を手がけた林保順さん～

マレーシア出身の米山学友、林保順さん【1991-93 / 千葉大学 / 千葉西RC】は、(株)三菱総合研究所の研究者として、ビジネスの第一線で活躍中です。

林さんが最近手がけたのは、外務省委託の『我が国とASEANの留学生交流のあり方に関する研究』。その研究報告を兼ねたセミナー「我が国大学の国際化と留学生誘致戦略」が、6月22日に三菱総研本社ビルで開催されました。大学、留学生団体をはじめ、外務省、文科省、厚労省など、留学生に関わる教育・行政の関係者らが多数参加した中、林さんは、ASEAN 留学生の意識調査結果とともに、優秀で意欲的な留学生をASEAN 諸国から誘致するための戦略モデルを発表しました。自らもASEAN 出身の留学生だった経験を存分に生かす報告であり、国際化する日本のビジネスシーンの中で、活躍の幅を広げる米山学友の姿を物語るものでした。

林保順さんは、8月の理事会・評議員会の昼食の席で、スピーチを行う予定です。

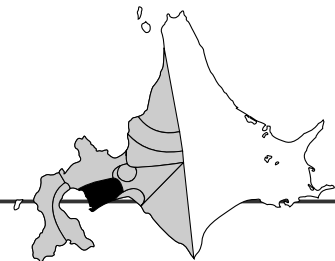


(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯・野津・大庭  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル 8階  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281  
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。  
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

こんにちは！

第9グループです



第9グループ ガバナー補佐 鈴木久雄

道南の噴火湾から太平洋岸沿いに細長く横たわる胆振管内のうち、第9グループには、室蘭、登別、伊達の3市と洞爺湖周辺の町において室蘭、室蘭北、室蘭東、伊達、洞爺湖、登別の6グループが活動しています。このうち1935年に創立（承認1936年）された室蘭RCは道内で6番目、第2510地区内でも札幌、小樽、函館に次いで古く、歴史と伝統あるクラブであります。また、洞爺湖RCの会員は減少しているものの、ロータリーの灯を消してはならないと、10名の会員が全力で頑張って活動を続けています。

さて西胆振と呼ばれる同グループの地域は、支笏湖洞爺国立公園を有し、洞爺湖や登別などの温泉地をはじめ、身近に火山体験に触れられる有珠山、昭和新山と、全国でも名の知られた観光地であることが特色であり、自慢です。胆振全体の観光入込・宿泊客数は有珠山噴火（平成12年）の影響からほぼ回復し、道全体の1割強を占め、近年では韓国や台湾などからの外国人客が増えています。また、かつて鉄の街が代名詞だった室蘭はイルカ・クジラウォッチングと「焼き鳥」



白鳥大橋と風力発電

が有名となり、人口1万人当たりの焼き鳥専門店の店舗数が全道一として今や売り出し中です。伊達市では、北の湘南と呼ばれる温暖な気候の恩恵でキャベツや白菜の収穫量が全道一なのだそうです（平成14年度）。こちらに来られる際には、登別、洞爺の温泉で心身を癒し、東日本最大のつり橋「白鳥大橋」を利用して（通行料は無料）、その景観と自慢の焼き鳥をぜひ味わってほしいと思います。

第9グループでは各々地域に根ざした活動を展開し、学生支援のための奨学金への寄付や地元図書館への書籍の寄贈、小・中学校への出張授業や職業体験活動といった文化・教育振興をはじめ、環境美化活動に一役買った花苗プランターの整備や植樹、室蘭工業大学留学生との交流、奨学生やインターアクト会員を家庭に招くホームビジットなどで国際理解と親善にも力を入れ、地道に活動を続けています。

第9グループのモットーは明るく元気なロータリー運動の展開です。会員交流会には近隣の白老RC会員を招き、グループ内にとどまらず地区内の友情と親睦



洞爺湖中島展望

も深め、チームワークを一層強化しています。

本年度は、第9グループにとりまして、1987 - 1988年度の富田嘉市ガバナー以来になる遠藤秀雄ガバナー就任の記念すべき年度であります。遠藤秀雄ガバナー応援の象徴として、10月16・17日の地区大会は第9グループ全員登録を目指しています。そして2005年2月23日(水) グレンE・エステス・シニアRI会長の呼びかけに応え、第9グループの6クラブが一堂に会して、100周年記念祝賀会を行います。



40年間継続しているイタンキ浜の清掃奉仕

### 函館ロータリークラブ 創立70周年記念式典・祝賀会開催のご案内

『函館ロータリークラブ』は昭和9年10月25日、小樽ロータリークラブをスポンサークラブとして誕生いたしました。今年70周年を迎える事となりました。

これも偏に皆様方のご指導とご支援の賜と心よりお礼申し上げます。

つきましては、右記日程にて記念式典と祝賀会を開催する事となりましたのでお知らせ申し上げます。

記  
日 時 平成16年10月25日(月)  
場 所 函館国際ホテル 函館市大手町5-10  
TEL 0138-23-5151  
記念式典 17時~18時  
祝 賀 会 18時~20時  
登 録 料 会員12,000円 家族10,000円

函館ロータリークラブ 会長 渡邊 兼一  
創立70周年記念行事 実行委員長 小原 幸男

### 2005年 RI 会長主催祝賀会議へのご案内

日本のロータリアンのみなさん  
グレン・エステス会長とともに100周年を祝いましょう

実行委員長：RI理事 田中作次  
副実行委員長：RI理事 南園義一

と き：2005年4月30日(土) 9:00~10:00 登録  
ところ：新高輪プリンスホテル 国際館バミール  
登録料：10,000円(昼食、休憩時のコーヒー代含む)  
参加者：すべてのロータリアン(1,500名予定)

この祝賀会議はロータリーの100周年を記念して、2004~2005年度内に世界の8カ国で開催されるRI会長主催の会議です。エステスRI会長とともに100周年を

祝い、そしてロータリーの夢を語り合い、その夢の具現化に向けて討議し、それによってロータリーの2世紀の進むべき道を見いだしていただくことを目的としています。そのために実行委員会では次の5つのワークショップを用意しています。

ワークショップ1：職業倫理	
ワークショップ2：公共的イメージの高揚	10年後の夢
ワークショップ3：ロータリーの基本の理解	10年後の夢
ワークショップ4：会員の退会防止と増強	10年後の夢
ワークショップ5：魅力あるクラブづくり	10年後の夢

詳細問合せ先(実行委員会事務局 担当：川部)  
電話(048)997-7621 FAX(048)995-9756

受入留学生

『ホスト・ファミリー』サポーターRC募集

青少年交換委員会

委員長 野澤幸平  
(岩内)

青少年交換事業担当者の皆様方には留学生交換プログラムにご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。今年度派遣募集は長期約8名、短期約3名を予定しております。

交換プログラム、受入留学生は1年間滞在の間に4家族(1家族約3ヶ月)にホームステイをします。その間、受入家族の急な都合、また家族だけの計画等もあるかと思えます。

その様な時、ホストRCさんよりご依頼がありましたら「サポーターRC」さんにご紹介、ご協力を頂く募集案内です。ホスト・ファミリーさん、ホストRCさんへの支援プログラムです。

是非、担当委員会にてご協議、貴クラブ会員さんにお声掛けを。そして受入の準備をして頂きたくお願い申し上げます。この「サポーター」プログラムにご協力、ご賛同得られるRCさんは地区委員会にご連絡頂ければ幸いです。締め切りはございません。いつでもお受け致します。

この様な機会を通し「サポーターRC」さんが交換プログラムに触れて頂ける事、知って頂ける事は当委員会事業にとって今後大きな支えともなります。

サポーターRCプログラム内容

週末ホスト・ファミリー

ホスト・ファミリーさんに休暇応援

留学生「夏休み&冬休み」間の1週間程度のホスト・ファミリー

いつでも1週間程度ホスト・ファミリー

\* 留学生、学業ある場合は通学距離が条件となります。

受入される場合、担当委員さんは前もって「ホスト・ファミリー、ホストクラブ」手引書(地区協議会:新世代委員会グループにて全RCさんに配布)を必ずお読み下さい。

初めての支援事業プログラムです。皆さん方のご意見、ご要望等お聞かせ下さい。

【お問い合わせ】・Tel: 0135-61-4728 ・Fax: 0135-61-4832

掲 示 板

例会場及び事務所の移転

静内RC(7月1日より)

056-0018 静内郡静内町吉野町3丁目1-1

静内ウエリントンホテル

会場電話 01464-3-3811

事務所電話 01464-3-2481

同FAX 01464-3-2495

例会時間 毎週水曜日 午後12時30分より

札幌大通公園RC(8月9日(月)より例会場変更)

新会場 大通藤井ビル(旧エスコビル)3階

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4

(地下鉄東西線西11丁目駅直結)

公式訪問・例会場・例会時間の変更について

8月19日(木)美唄RC、岩見沢RC、岩見沢東RC

例会時間 12:30 12:15に変更

9月21日(火)伊達RC・洞爺湖RC

会場:伊達ローヤル 洞爺湖万世閣

会長幹事会:11:00~洞爺湖RC、11:45~伊達RC

例会の変更について

岩見沢東RC

8月10日(火)休会(8月6日(金)岩見沢RCとの合同納涼夜間例会に振替)

8月24日(火)休会(8月19日(木)ガバナー公式訪問合同例会に振替)

小樽RC

8月3日(火)例会時間変更 17:45~

苫小牧北RC

8月10日(火)移動例会 12:30~ 場所:勇払マリナー見学

8月17日(火)休会

室蘭東RC

8月11日(水)休会

8月18日(水)夜間例会「納涼ピヤパーティー」18:30~

苫小牧東RC

8月12日(木)夜間移動例会「ビールパーティー」18:00~

場所:苫小牧ビール園

(苫小牧市表町2-2-22 電話0144-34-5220)

苫小牧RC

8月13日(金)休会

8月20日(金)夜間例会「会員・家族の夕べ」18:00~

江別RC

8月12日(木)休会

8月26日(木) 8月24日(火)12:30~ 場所:江別市民会館

ガバナー公式訪問合同例会(当別・江別西RCとの3クラブ合同)に変更

\* 定款第5条第1節による休会

7月号について ご訂正願います。

p13 ガバナー補佐連絡先一覧表 第4グループ・小山秀昭ガバナー補佐自宅E-mailアドレス

正) h\_koyama@nifty.com

p17 組織図 社会奉仕委員会・菅原剛太郎委員「副委員長」

(印を付記下さい)

p18 クラブ一覧表 札幌手稲RC・FAX番号

正) 011-231-6724



## 「虹と雪のバラード」の 詩碑が建ちます

R I 第2510地区ガバナー 遠藤 秀雄  
札幌西ロータリークラブ会長 矢橋 温郎

虹の地平を歩み出て  
影たちが近づく手を取りあって  
街ができる 美しい街が  
あふれる旗、叫びそして歌  
ぼくらは呼ぶ あふれる夢に  
あの星たちの間に  
眠っている 北の空に  
君の名を呼ぶ オリンピックと

この名曲の作詞者が、故河邨文一郎パスト・ガバナーであることは余りにも有名であります。32年前に開催された札幌冬季オリンピックのテーマ曲でありましたが、今でも世代を越えて親しまれております。この曲を聴きながら目を閉じると、当時のさまざまな競技が思い浮かべられますが、三本の日の丸の旗が立った大倉山シャンツェに詩碑が建つことになりました。

道民から広く建立費を募金することになりました。故河邨文一郎氏は、札幌西ロータリークラブの会員でありましたし、1984～1985年度第2510地区ガバナーをお務めになりました。御専門分野とはいえ、ポリオ・プラスには殊の外情熱を傾け努力された方でもありました。河邨パスト・ガバナーの多方面に亘る御活躍と御遺徳を偲び、詩碑建立の趣旨に御賛同いただける会員の御協力が得られれば幸いに存じます。

尚、リーフレットおよび振込用紙は各クラブ宛に別途お送り致します。

### ポリオ撲滅 キャンペーン・ ポロシャツのご案内

大阪国際大会でポリオのポロシャツが販売されていたのをご存知でしょうか。

ロータリー財団で作製したポリオ撲滅キャンペーンの半袖ポロシャツ（前面：R Iのロゴとマザーテレサがワクチン投与している写真、背面：Polio Plusのロゴ、色：黄・紺の2種、サイズ：アメリカサイズのM・Lの2種）が日本事務局に届いています。

クラブの屋外活動時などに着用されればロータリーの広報にも役立つものと思われます。数に限りがありますので販売は先着順、一地区50枚までとなっています（1着20ドル）。ご希望のクラブは、ガバナー事務所までご連絡をお願いいたします。

尚、支払われた金額は財団寄付となります。

## 寄付の振込口座について

特別活動法人 ロータリー日本財団が7月1日よりスタートし、寄付の口座が煩雑になりました。送金の際には下表を参考にし、お間違えのないようご注意ください。

種別	金額	ロータリー	法人	クラブ	地区
年次寄付と 恒久基金寄付	30万円以上	斜線	斜線	斜線	斜線
	10万円以上 30万円未満	格子	格子	斜線	斜線
	10万円未満	斜線	斜線	斜線	斜線
ポリオ・プラス	10万円以上	格子	格子	斜線	斜線
	10万円未満	斜線	斜線	斜線	斜線
ポリオ・プラス以外の 用途指定寄付 (マッチング・グラント)	金額にかかわらず	斜線	斜線	斜線	斜線

横線 免税（30万円以上の教育的分野への寄付、恒久基金と年次プログラム基金の区別は問わない）の振込先

三井住友銀行 本店営業部 普通預金 8719834

名義 国際ロータリー日本事務局

日本ロータリー奨学委員会 所長 大島四郎

格子 10万円から30万円未満

東京三菱銀行 赤羽支店 普通預金 1568210

特定非営利活動法人ロータリー日本財団理事 岩井敏

斜線 10万円未満とクラブ寄付と地区寄付

東京三菱銀行 本店 普通預金 1528228

国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎

三井住友銀行 本店営業部 普通預金 0968049

国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎

8月・9月

地区カレンダー

8 月 会員増強および拡大月間		9 月 新世代のための月間	
1 (日)		1 (水)	
2 (月)	インターアクト海外研修 (韓国ソウル市) ~ 6日	2 (木)	
3 (火)	公式訪問/深川・妹背牛RC (12:30,深川ブラザホテル板倉)	3 (金)	地区親睦野球大会・前夜祭
4 (水)	公式訪問/札幌RC (12:30,札幌グランドホテル)	4 (土)	地区親睦野球大会 (滝川)
5 (木)	公式訪問/羽幌・小平・留萌RC (12:15,羽幌サンセットブラザホテル) 公式訪問/滝川・砂川RC (18:30,滝川ホテルスエヒロ)	5 (日)	
		6 (月)	
6 (金)		7 (火)	公式訪問/栗山・栗沢RC (12:30,栗山パラダイスヒルズホテル)
7 (土)	第1・2・3グループロータリーの社会奉仕に関する意見交換会 (14:00~17:00,滝川ホテルスエヒロ)	8 (水)	
8 (日)	ロータリー財団地域セミナー (東京)	9 (木)	北広島RC創立25周年記念式典・ゴルフ大会 (北広島プリンスホテル)
9 (月)		10 (金)	
10 (火)	公式訪問/赤平・芦別RC (18:00,赤平交流センター未来)	11 (土)	トライセミナー・シニアクラス (札幌・JR研修センター)
11 (水)		12 (日)	
12 (木)		13 (月)	
13 (金)		14 (火)	公式訪問/函館東・函館五稜郭・函館北RC (12:30,函館国際ホテル) 公式訪問/上磯・江差・松前RC (18:30,同上)
14 (土)			
15 (日)		15 (水)	公式訪問/函館・函館亀田RC (12:30,函館・ホテルオーランド) 公式訪問/七飯・森・長万部RC (18:30,大沼プリンスホテル)
16 (月)			
17 (火)	第2800地区インターアクトクラブとの交流会 (札幌)	16 (木)	
18 (水)		17 (金)	
19 (木)	公式訪問/美唄・岩見沢・岩見沢東RC (12:15,美唄ホテルスエヒロ)	18 (土)	トライセミナー・ジュニアクラス (札幌・NTTセミナーセンター)
20 (金)	地区大会登録締切日	19 (日)	
21 (土)	第4・5・6グループロータリーの社会奉仕に関する意見交換会 (14:00~16:30,札幌IAY) 地区会員増強委員長会議 (13:00~17:00,札幌・北海道医師会館)	20 (月)	敬老の日
		21 (火)	公式訪問/伊達・洞爺湖RC (12:30,洞爺湖・ホテル万世閣)
22 (日)		22 (水)	
23 (月)	公式訪問/札幌南RC (12:30,札幌パークホテル)	23 (木)	秋分の日
24 (火)	公式訪問/江別・江別西・当別RC (12:30,江別市民会館)	24 (金)	
25 (水)		25 (土)	
26 (木)		26 (日)	
27 (金)		27 (月)	
28 (土)		28 (火)	公式訪問/浦河・えりも・様似RC (12:30,浦河ウエリントンホテル)
29 (日)		29 (水)	公式訪問/静内・三石RC (12:30,静内ウエリントンホテル)
30 (月)	第1回米山評議員会 (東京)	30 (木)	
31 (火)			

## ロータリーウェブサイトの案内

何といても、ホームページの目玉は、ロータリーに関する資料・情報を得ることが出来ます。インターネットなら、時間を気にしなくても、いつでも都合のいい時間に情報を探すことができます。下記ホームページとメールアドレスを参考に是非一度アクセスしてみてください。



## 国際ロータリー・地区委員

- ROTARY INTERNATIONALホームページ <http://www.rotary.org>
- ROTARY JAPAN WEBリンク集 <http://www.rotary.or.jp/link.html>
- Jonathan B. Majiyabe 2003-04RI会長 <http://www.rotary.org/president/estess/index.html>
- 100周年記念ウェブサイト (日本語版) <http://www.rotary.org/languages/japanese/centennial/index.html>
- ROTARY JAPAN WEB(RJW) <http://www.rotary.or.jp/index.php3>
- ポリオ (日本語版) <http://www.rotary.org/languages/japanese/index.html>
- 第2500地区 (北海道東部) <http://www.rotary2500.net/>
- ガバナー事務所のメール [keiai.hp.rc@tritron.ocn.ne.jp](mailto:keiai.hp.rc@tritron.ocn.ne.jp)
- GSE委員会 <http://www.ri2510.gr.jp/GSE/framepage.html>
- 文献資料室 <http://www.ri2510.gr.jp/bunken/>
- IC委員会 <http://homepage2.nifty.com/north5/mmindex.html>
- ローターアクト委員会 <http://www.ktw.co.jp/rac/>
- クラブ奉仕委員会 <http://www.ri2510.gr.jp/club/>
- 第2510地区 (北海道西部) <http://www.ri2510.gr.jp>

## 地区内クラブ

- 倶知安RC <http://www.hirafu.com/rotary/>
- 札幌幌南RC <http://www.ktw.co.jp/2510-KONAN-RC/>
- 函館東RC <http://www.hakodate-east.org/>
- 室蘭東RC <http://business3.plala.or.jp/m-east/>
- 上磯RC <http://kamiiso-rc.m78.com/>
- 室蘭北RC <http://www4.ocn.ne.jp/~mur-n.rc/>
- 余市RC <http://www5.ocn.ne.jp/~yoichi-r/>
- 函館RC <http://www.hakodate-rc.com/>
- 滝川RC <http://www.rotary.gr.jp/>
- 札幌大通公園RC <http://www.rotary21.com/>
- 砂川RC <http://www.sunagawa-rc.jp/>
- 松前RC <http://www.webport.ne.jp/rotary2510/11g/matumae/>
- 美唄RC <http://homepage1.nifty.com/bibai2501/>
- 札幌モーニングRC (私設) <http://www.kitala.ne.jp/smrc/>
- 函館北RC <http://www.hakodate-north.org/>
- 当別RC <http://www.rc-toubetsu.jp/>
- 苫小牧北RC <http://www2.ocn.ne.jp/~ntoma/>
- 千歳セントラルRC <http://www.h5.dion.ne.jp/~ccrc/top.htm>
- 深川RC <http://www11.plala.or.jp/fuka-rc/>
- 千歳RC <http://www.phoenix-c.or.jp/~c-rotary/>
- 函館五稜郭RC <http://www.goryokaku.org/>
- 函館亀田RC <http://www2.hbf.ne.jp/rotary/>
- 江差RC <http://www.webport.ne.jp/rotary2510/11g/esashi/>
- ロータリー用語便覧2002 <http://www.asahi-net.or.jp/~ej7y-skb/>
- ガバナー会 青少年交換委員会 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
- ロータリー友 <http://www.rotary-no-tomo.jp/>
- 米山記念奨学会 <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>





2004  
2005



奉仕の第二世紀へ

国際ロータリー第2510地区

# 地区大会

ホストクラブ 登別ロータリークラブ



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

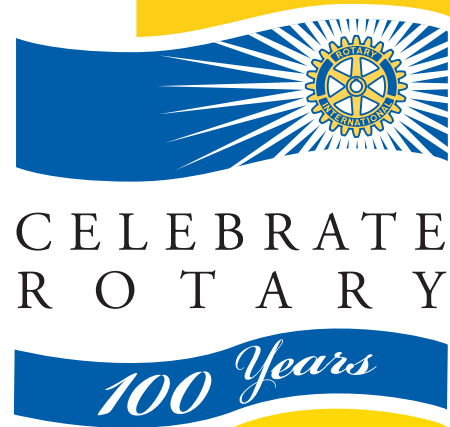
# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 患愛病院2F

TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512

e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ロータリー発祥の地でロータリーを祝おう	2
ガバナー's LETTER	3
ガバナー日記	4
9月は新世代のための月間です	9
ライラセミナーのご案内	10
地区委員会活動報告	
・交換学生歓送迎会&長期派遣候補生面接	11
・インターアクト研修旅行報告	13
ロータリー財団地域セミナー報告	14
ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い	15
地区大会プログラム詳細	16
第13回GSE派遣団員募集	18
第3350地区(タイ)派遣GSEチームメンバー紹介	19
2004年規定審議会リポート	20
ロータリー文庫通信/RI会長代理決定	23
ハイライトよねやま54	24
10月は米山月間です	25
我が街・わがRC 歴史散歩	26
こんにちは! 第5グループです 遠藤ガバナーメジャードナーになりました	27
掲示板/ガバナー事務所からのお願い	28
7月会員増減数・出席率報告	29
新入会員のご紹介/訃報	30
9・10月地区カレンダー	31

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.3  
2004.9



## ロータリー発祥の地でロータリーを祝おう



オン・ツー・シカゴ委員会

委員長 小林

博(札幌北PG)



ロータリーの100年を記念しての国際大会がロータリー発祥の地のシカゴにて行われる。予定は2005年(平成17年)6月19日(日)から6月22日(水)までの4日間である。

この記念すべきシカゴの国際大会に、2510地区ロータリアンの出来るだけ沢山の参加

が望ましい。大会中には国際色豊かな衣装でミシガン湖沿いのパレードのほかマラソン、ウォーキングなど100年にふさわしい企画があるとのことである。

登録とホテルの予約締切は2004年12月末日となっている。各クラブ単位で希望者取りまとめのうえ出来るだけ早目にJTB札幌三越前支店 担当柴田勝浩氏宛に行っていただきたい。ホテル名は未定であるが一括の予約を予定している。

登録申込書式、ホテル予約書式はガバナー事務所にある。地区としての行程表(案)は右記のとおり(成田での前泊要)一案のみ用意した。北海道ナイトは2005年6月18日(土)夕刻を予定。閉会式(6月22日)の出席を希望される方は1泊追加が必要であるが、そのご希望はJTB宛にしていきたい。宿泊費その他の詳細は決定次第改めてお知らせする。

行程表 国際ロータリー国際大会 シカゴ 5泊7日

日次	月日 曜	地 名	現地時間	交通機関	旅 程
1	2005年 6/17 (金)	新千歳空港発 羽田空港着		航空機 JL	夜便にて東京へ(前泊) 成田前泊 約25分間接続時間が不足している為前泊必要 成田泊
2	6/18 (土)	成田空港発 シカゴ着	11:45 09:05	航空機 JL010	一路シカゴへ直行便利用 空港より車で約40分 北海道ナイト予定 シカゴ泊
3	6/19 (日)	シカゴ			シカゴ泊
4	6/20 (月)	シカゴ			シカゴ泊
5	6/21 (火)	シカゴ			シカゴ泊
6	6/22 (水)	シカゴ発	11:35	航空機 JL009	ホテルより空港へ 車で約40分 一路日本へ
7	6/23 (木)	成田空港着 成田空港発 新千歳空港着	14:40 18:30 20:05	航空機 JL3047	入国手続後国内線で北海道へ 無事到着おつかれ様でした。



# Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

## 新世代月間を祝おう

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



昔、私の中学・高校時代には上級生が下級生に暴力を振るったり運動部員の制裁行為があったが、相手に重症を負わせたり死に至らしめる事件は記憶にない。「引きこもり」や「家庭内暴力」が紙面をにぎわして以降、

若者の重大犯罪が放置されるようになって来た。これら犯罪行為は次第に低年齢化し近年は小学生が殺人犯のケースまである。最近は見知らぬ子供をゲームセンターに誘った上、駐車場の屋上から突き落とししたり、いらいらするからと道を歩いている人を刺したり、卒業アルバムを見ていたら学生時代いじめにあった事を思い出し、相手不在のため身代わりにその母親を刺し殺したりする事件が放置されている。

犯罪者の生い立ちや事件に至るまでの深層心理は闇の中であるが表面的には非常に短絡的に思われるし事件によって自分が法的にも社会的にも、どう扱われるかは全く眼中に無いように思われる。世の評論家諸君も家庭教育だ、学校教育だ、世相のせいだと当たり前のことを言うが決め手になるような解決法は誰にも判らない。

一方、アテネでオリンピックが開かれている。メダルを目指して懸命に努力して、また成果をグランドやプールやマットの上で披露し表彰台の上で見せる笑顔の美しさ、また高校野球で厳しい辛い練習を耐え抜いて来た球児達の甲子園で見せる涙や拳を突き上げる雄

叫びに感動してしまう。

若者からひたむきさとほとばしるエネルギーを貰ったようで勇気づけられる。

我々ロータリアンとして今月は新世代月間である。

奉仕の心と国際理解に貢献する心を持つ若い人の育成を支援するために用意されたプログラムである。現在世界にはインターアクトクラブは9,661あり、会員数は22万人以上で日本には526クラブあり5番目に多い。

ローターアクトクラブは7,663で約176,000人、日本は408クラブで4番目に多い国でこれら若い人達の育成には最も力を注いでいる国の1つである。今月はRYLAセミナーが行われる「人権」をテーマにどんな発言があるのか大変楽しみでもある。若者に限らず目的を持って懸命に努力している人はイキイキとして美しい。我々も常に美しい姿で若い人達も接してゆきたいものである。その成果はやがて各々の地域で花開くことであろう。



## ガバナー日記

7月15日(木) 第6グループ関幸吉ガバナー補佐に同伴して頂き、小樽、小樽南、小樽銭函RCの3クラブに公式訪問させて頂いた。歴史の異なる3クラブはそれぞれクラブ運営に特徴があり、適度な緊張の中で仲良く活動している感じが感じ取れた。小樽銭函RCは会員数は少ないが年々増員しているのは立派である。例会後に小樽RC熊澤会長他の御案内で「ロータリーの杜」や水飲み場など社会奉仕活動の一端を拝見し、地域に溶け込んでいる活動に感銘を受けた。



7月17日(土) 地区社会奉仕委員会による「ロータリーの社会奉仕活動に関する意見交換会」が第7,8,9,12グループを対象に苫小牧市で開催された。地区委員、各クラブ社会奉仕委員長の皆さんが活動報告と活動計画を述べ合い、多岐に亘る活動内容をお聞かせ頂いた。地区子ども奉仕委員会の米山道男委員長(札幌北RC)からは、ボランティアとして登録される会員がもっと増えて、地区全体の子ども達の役に立てもらえればとの希望が、また地区家庭奉仕委員会の大場公孝委員(上磯RC)からは、設立主旨を互いに共有して活動し、輪が広がることを期待する意見が述べられた。地区社会奉仕委員会対木正文委員長(札

幌西RC)から、クラブ社会奉仕委員会をサポートし、合同意見交換会をこの後滝川、函館、札幌で開催する予定が示された。

7月20日(火) 第4グループ小山秀昭ガバナー補佐と一緒に札幌西RCを公式訪問させて頂いた。矢橋会長、石丸幹事と会員増強、クラブ運営、地区大会出席のお願い等懇談した。例会には、これから出発される奨学生2名が出席され、希望に満ちた挨拶を頂いた。例会冒頭に音楽委員会の皆さんを先頭に札幌西RCの歌を全員で元気に歌われ楽しい例会であった。



7月22日(木) 今日の公式訪問は、小山ガバナー補佐と一緒に札幌西北RC、札幌あけぼのRC、札幌手稲RCで3クラブの会長、幹事さんと順番に懇談した。会員増強と青少年問題に熱心に取り組んでおられた。中でも札幌手稲RCは大幅に会員を減らしている中で地区内7高校に各1名の奨学金制度を続けておられる。大変な負担であると思われるが、これら学生の進路を毎年調査してコンタクトを得られるとクラブの大きな財産になるであろうと考える。合同例会は、和やかな雰囲気での楽しい時間を過ごさせて頂いた。特にオーストラリアに派遣される交換学生の進藤沙也加さんが私の話を熱心に聞いておられた姿が印象的であった。

18:30から地区GSE委員会が行われた。今年はタイ第3350地区から団長以下5名のチームを10月にお迎えすることになっているが、8月中旬にならないと団長以外の4名の団員は決まらないそうで、さすがタイ国、悠久の流れを

No. 4

Date 04. 9. 1

感ずる一方、受入れ側の当地区では委員会で既にきっちりしたスケジュールが出来ている。11月には明年度第3350地区に派遣するメンバーの選考が始まるが、団長には土橋信男委員（札幌南RC）が決定されている。これでまた国際交流の場が広がっていく。



7月24日（土）午後4時から補助金・補助金監査委員会とロータリー財団委員会、100周年委員会が別々の場所で開催され、掛け持ち出席となってしまった。まず補助金委員会では冒頭、私の誕生日ということで、思いがけない美味しいケーキを皆で一緒に頂戴し感激した。2003～04年度の活動報告と会計報告、監査報告が行われ、年度をまたぐ継続事業も進行中であること、新年度の活動計画、新規補助金の申込み審査が行われた。

私は中途退場し、100周年委員会に出席、計画事業として韓国第3700地区との親善交流問題や雪まつの期間、ロータリアン、留学生、学友によるボランティア活動など100周年にちなんだ活動等について話し合われた。

その後、ロータリー財団委員会に合流した。国際親善奨学金委員会、研究グループ交換（GSE）委員会、財団学友委員会、補助金委員会から活動計画が示され、大村孝男委員（千歳RC）から財団増進についてこれまでの報告があり、財団委員皆で協力して増進にあたることを確認した。04～05年度年次プログラム寄付申告額一覧を見ると、72クラブ中18クラブが1人100ドルを割っている。「every Rotarian, every year 100\$」を目指して努力してゆきたい。

7月26日（月）第4グループ小山ガバナー補佐とご一緒に公式訪問。札幌はまなすRCは、会員数が減少する中全員が石狩市ボランティア協会に所属し、一緒に地域活動に汗を流しておられる。また、米山奨学生、交換留学生や財団奨学生の受け入れに積極的でアットホームな雰囲気の中で明るく活動しておられる。札幌モーニングRCは12の同好会を持って会員相互の親睦を図っておられる。「カミネッコン」というボール紙の箱形容器に苗木を入れて、小学生、PTA、森林ボランティアと一緒に植樹のお手伝いをする大変ユニークな奉仕活動をおられる。札幌北RCは、一時大勢の退会者が出る不幸に見舞われたが、全員でこれからの新しい方向性を見出そうとする熱意が感じられた。深浦会長はじめ会員の皆さんにエールを送りたい。3クラブ合同例会は大変和やかで同級生はじめ友人の皆さんからガバナー歓迎のニコニコ募金をして下さったことが大変嬉しかった。



7月29日（木）丸山淳士第5グループガバナー補佐、伊奈昭夫地区代表幹事とご一緒に、札幌ロイヤルホテルで公式訪問。札幌東RCは地区内で1,2を競う会員数を誇るが、インナーホイールクラブやイーストハーモニー合唱団の活動で親睦をはかり、一緒に地域奉仕活動も活発である。一例としては余市銀山学園の慰問である。新札幌RCは資源リサイクル活動を軌道に乗せるべく継続しているが、新世代や子ども奉仕にも力を入れようとしている。会員増強に対しては危機感を持って取り組んでおられる。札幌セントラルRCは会員数19名と少なく、一時クラブ内で混雑が



あったが、融和がはかられ出席率も良くなってきて、これから再び奉仕活動を推進するが、まずは親睦をはかられることが必要。合同例会には、94歳の宇佐美定男名誉会員（新札幌RC）もお元気に出席され、改めて健康と奉仕の関係を認識させられた。



18:00から今年度第1回目のガバナー諮問委員会を開催。伊藤義郎PGと森本正夫PGが出張のため欠席された以外は全員の出席を頂いた。

本年度開始に当たって 地区大会については私から説明しご理解、ご理解をいただいた。100周年記念委員会の報告を岩城秀晴委員長にお願いし、会員には明年2月23日に全クラブが例会を持つこと。IMIに代えて各グループでシンポジウムを開いてもらいたい。ポリオ撲滅キャンペーンへの協力、雪まつりへのロータリー独自の活動協力。例えば、交換留学生、財団学友、米山学友と一緒に外国人に対するガイド、来日中の交換留学生の雪像作りが考えられている。また、第3700地区（韓国）との友情交換について色々な意見が出された、友好と姉妹との関係、目的、費用負担等、これから煮詰めていくが慎重にやってゆく方向で考える。100周年に因んで、日経新聞に全国版で広報記事を載せることがガバナー会で検討されているが、2億数千万円の費用とその効果から問題にならず、隣の第2500地区では北海道新聞に広報活動を行うという情報があるが、効果の割に費用が疑問視されることから当地区ではこのような広告活動は行わないことで了解された。新潟、福井災害義援金、「虹と雪のパラード」詩碑建立の寄付、長野県で開催されるスペシャルオリンピック及びト

ーチラン・ホストタウン・プランニングに対する寄付などがあるが、いずれも任意の浄財を寄付していただきたいとのことで合意が得られた。ロータリーの任意団体である「ロータリー歴史と伝統を守る会」が中心となって、かつてのポール・ハリスの住宅であったカムリーバンクを買い取ってRIに寄贈し、維持管理を任せる件ではRIとの間で最後のつめが行われている段階で、決定され次第広く寄付をお願いする要請があった。オン・ツー・シカゴ委員長の小林博PGから、シカゴ大会の旅程の原案が示されたが、一部修正し具体化される予定。佐藤秀雄直前ガバナーからの2510地区「ロータリーの友委員会『年報』(03~04)」を頂戴した。「ロータリーの友」に関するアンケート集計結果が出ている。

7月30日（金）昨日に引き続き丸山ガバナー補佐のご協力を得て、公式訪問。札幌真駒内RCは会員増強と共に、山鼻地区の青少年の音楽活動の支援やポートランド、台湾との交流を予定している。札幌清田RCは若さと協調性を利点として地域社会における奉仕活動を広報して会員獲得に力を入れている。ふれあい事業として児童施設の訪問が計画されている。札幌幌南RCからは難しい2つの質問をいただいた。1つ目は女性会員の入会問題。地区内でも女性会員が段々増えてクラブ数も半分を越えたこと。東京恵比寿RCでは100名近い会員で男女比が殆どないこと。外国では女性のガバナーやパストガバナーが目につくことなどから、私は賛成であると申し上げた。2つ目は札幌北RCからも同じ質問をいただいたが、1つのクラブから大勢の地区委員を出していることに偏りを感じるし、会員数が





No. 6

Date 04. 9. 1

減少している今、クラブ活動にも影響が出るとのご意見であった。私も常に気になっていた問題であり、多少修整したつもりであるが、地区委員3年制及び専門性も加わる問題もあり一気に修整とはいかない面もあるので、もうしばらく時間をいただきたいと申し上げた。札幌大通公園RCは創立4年目であるが、低額の入会金、会費で集まりやすい夜間例会、平均年齢49歳と若く、英語例会、電車例会、今年はお座敷列車例会などユニークな例会で親睦を重視しておられる。また、ポリオ・プラス街頭募金活動や財団留学生の受入にも積極的に期待される。

8月3日(火) 第1グループ山本三次郎ガバナー補佐と一緒に、深川RCと妹背牛RCの順に会長、会長エレクト、幹事の懇談会を行った。深川RCは新年度早々2名の入会があり、下半期にも2名を予定しているとの嬉しい報告があった。また、ロータリー財団、米山奨学会への寄付では例年模範的のクラブであるが、今年も気を抜かず頑張りたいと力強いお話を頂いた。8月に財団奨学生の小橋麻美さんが帰国するので、リサイクルを開いて市民にアピールしたいとのことであった。妹背牛RCは会員数10名の小さなクラブで厳しいクラブ運営を強いられているが、会員が各々子ども奉仕をしておられる。妹背牛には国際大会も開けるカーリング場があり、その役員である長田宗正会長も子ども達の指導に当たっておられる由で、是非地区子ども奉仕委員会に登録をしてクラブの事業とすることをお勧めした。その後の合同例会は和やかな雰囲気、どの例会場でも必ず知人、友人にお会いでき無事を確認できることは嬉しいもので、ロータリアン冥利につきる。

8月4日(水) 小山ガバナー補佐と一緒に札幌RCを公式訪問。何と言っても日本で8番目のクラブであり、当地区としても重みは大きい。型通り会員増強、R財団、ポリオ・プラス、米山奨学会に対してのご支援をお願いした。松本会長からすべて了解しているし、準備も整えているとの力強いお言葉を頂き大変嬉しかった。例会は落ち着いた和やかな雰囲気、余り緊張せずに過ごせたことに感謝をしている。また例会前に久しぶりに元RI理事伊藤義郎PGと短時間ではあったが懇談でき、大変有意義であった。

小山ガバナー補佐には4回の例会にご同行願ひ、事前に適切な各クラブの特徴をアドバイス頂き中身の濃い懇談が出来たことに感謝を申し上げる。

例会後、明日の目的地羽幌に向かった。道中は長く留萌から北へ更に60Km近くあるのに驚いた。改めて北海道の広さを実感したが、小平の鯨番屋を眺め昔日の面影を忍び、苫前の風車群の壮大さに見取れているうちに到着。山本三次郎ガバナー補佐、松橋守会長(羽幌RC)のお出迎えを頂き、羽幌RC役員の皆さんとの楽しい会食にご招待を頂いた。打ち解けた雰囲気、ロータリーの夢を語り合った。そして、久しぶりに和風旅館で疲れを癒した。



8月5日(木) 朝、羽幌町長を表敬訪問。人口1万人弱であるが、天売島、焼尻島の観光に力を入れ、立派な体育館や海鳥センターがあり、多種類のバラが咲き誇るバラ園で目の保養をして会場に入る。羽幌RCは地域経済の影響で業種が少なくなってきた、多業種からの新入会員獲得が難しくなっているが、親睦は密である。小平RCは創立30

周年になるが、途中不幸な出来事があり会員数を大幅に減らした。現在14名で運営しているが、何としてもロータリーの火は消さないようにと全員一丸になって頑張っている。留萌RCは、一時から見ると大幅会員数を減らしたが、昼食を自分たちでセットするなど、なるべく会費を下けている。同好会も7つあり親睦を重視し会員増に努力している。また、100周年委員会を作り、第1グループで少年剣道大会を準備。2年計画で植樹も考えている。韓国からの高校生4名とGSEの受入も進めており活動も活発である。合同例会も楽しく、3クラブの親密度が窺えた。

例会後、次の訪問地滝川へ直行した。予定時間よりだいぶ早く着いてしまったが、すぐに鈴木忠男第2グループガバナー補佐が駆けつけて下さった。16:45から滝川RCの会長・会長エレクト・幹事さんと懇談。106名の会員を維持されて平均年齢も58才と若く在籍10年以上の会員が6割を占めている。今年のクラブのテーマは「和」で、寛容の心と自らを律する心構えでクラブの活性化に向かって努力をしておられる。砂川RCは、筏下りや農業で小学生体験交流会、ゴミ分別啓蒙など環境保全、ポリオ撲滅街頭募金を計画しておられる。両クラブとも活動計画書、活動報告書は立派に出来ており、これまでの会員の役員歴や入・退会者歴、会員数と出席率の関係が示されている。夜間合同例会は、アルコールあり、くじ引きありで大変盛り上がった。楽しい思い出を作っていたいただいた。



8月8日(日)10:00~16:30、ロータリー財団地域セミナーが高輪プリンスホテルで行われた。南園義一RI理事のご挨拶後、玉村文夫R財団管理委員からは「毎年あなたも100ドル」の意味は大口寄付やポール・ハリス・フェローとは別に会員1人1人が100ドルずつ寄付することで、間違いのないように念を押され、またロータリークレジットカード(特にゴールドカード)が財団に寄与するので、多くの会員の加入をと奨励された。その後のポリオ、恒久基金、世界平和奨学生、(特活)ロータリー日本財団、シェア・システム及び「Every Rotarian, Every Year 100\$」のパネルディスカッションについては遠藤正之地区財団委員長の報告にゆずりたい。私事ではあるが、先月ロータリー財団へ大口寄付をさせて頂いた。今日バッチとクリスタルグラスが日本事務局に届いたとのことで、皆さんの前でお披露目をしていただき、大変面はゆい気持ちであった。東京は大変蒸し暑かった。

8月10日(火) 今年も北海道も久しぶりに暑い夏が続いているが、ここ2~3日は夜が涼しくなり寝苦しさはなくなって来たように思う。今日も鈴木第2グループガバナー補佐のお手伝いを頂き、赤平、芦別RCの合同例会に出席した。会場は赤平交流センター未来で、赤平駅と一緒に立派な建物であった。それに先立つ赤平RCとの懇談では、入会5年未満の会員が34名中5名と少なく、若い会員の維持と会員減少に歯止めを掛ける努力をしておられた。また、ローターアクトクラブへの支援には熱心で、今年度もローターアクター18名はロータリアンと一緒に障害者の支援活動を計画している。芦別RCは昨年度新入会員がなく、54名中5年未満の会員が10名と会員増強には苦慮しておられる。クラブ内に野球部を持ち、甲子園を目指し、またIT同好会を作って親睦活動に熱心に取り組んでいる。地域社会に対しては、「ロータリーの森」の植樹や整備をして環境保全に努めている。今回も夜間例会でアルコールの力も借り、大勢の会員の方々との出会いを楽しむことが出来た。感謝。

公式訪問も丁度半分を終えることが出来た。お盆を過ぎると朝、夕は涼しくなる。元気を出してご縁を求める旅をしたい。

## 9月は新世代のための月間です



### 新世代..... 未来を今ここで創ろう!!

新世代委員会

委員長 細川好弘(静岡県)

9月は「新世代のための月間」ですが、前途洋々たる0才から30才代の新世代に未来を託する心からのロータリー奉仕は、年間を通じて理解を求め合う家族としてのプログラムに地区内全クラブが着手されるよう奨励いたします。

2510地区では1996年7月(野口ガバナー年度)種まきの時代・「新世代のためのロータリー会議」を持つことになってから～石垣ガバナー年度は模索の時代・伊藤ガバナー年度は花ひらいた時代、森本ガバナー年度は新世代が認知された時代・遠藤ガバナー時代はライラセミナー復活の記念すべき時代・岩城ガバナー年度は成熟した発展の時代・小林ガバナー年度は移行の難しさを味わった時代、佐藤ガバナー年度は定着した安定飛行の時代と、前奥貫一之委員長は振り返っております。

「未来は遠くにあり、出会うのを待っているというものではありません。未来は今ここでつくられるのを待っているのです。今ロータリアンは奉仕の理想

を来たるべき世代につなぐことによって、よき先達として行動することが出来るのです。」当地区新世代元年とも言うべき1996～7年度ジアイRI会長の言葉が歴代新世代関連委員長を中心に実践され、尽力された功績は2510地区奉仕の財産であります。

9月はライラセミナー(青少年指導者養成)が実施されます。ライラ委員会、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会ははじめ家庭奉仕、子ども奉仕、財団学友、米山学友等関連委員会の呼び掛けに快く応えて下さい。

地区ガバナー補佐、全クラブ会長のご理解とご助言を賜りながら、地区新世代奉仕を楽しみロータリーを祝いませんか。よろしく願いいたします。

## ライラセミナーのご案内

皆様に於かれましては益々、各地域での奉仕活動に精励されていることと存じ、お慶び申し上げます。

毎年9月の新世代に実施して参りましたライラセミナーを開催したくご案内申し上げます。今年度のテーマは「人権について考える」としました。観念的な部分もありますが、現実問題として身近な社会の様々なところで人権に関する問題は発生しています。中には問題として取り上げなければ無意識の内に過ごしてしまう事柄もあり、この機会に考えてみたいと思います。

### プログラム (概略)

#### シニアクラス (18歳～30歳)

日 時	2004年9月11日(土)～12日(日)
	9/11 14:30 集合
	9/12 13:30 解散
場 所	JR研修センター 札幌市東区北5条東10丁目
参 加 者	ローターアクト、財団奨学生、財団学友、米山奨学金、米山学友、20歳以上の交換留学生、ROTEX、一般、ロータリアン
登 録 費	2,000円(新世代) 3,000円(ロータリアン)
宿 泊 費	3,000円(新世代) 4,000円(ロータリアン)
プログラム	9/11
	14:30 受付
	15:00 インフォメーション
	15:15 点鐘、挨拶
	15:30 講演
	17:00 質疑、応答
	17:30 コメント
	18:00 移動
	18:30 夕食懇親会
	9/12
	9:00 インフォメーション
	9:10 点鐘、挨拶
	9:20 意見発表
	10:30 休憩
	10:45 グループ・ディスカッション
	12:00 グループ発表
	12:30 食事
	13:15 点鐘、講評、謝辞、アワード授与
	13:30 記念撮影、解散

#### ジュニアクラス (14歳～18歳 = 高校生)

日 時	2004年9月18日(土)～19日(日)
	9/18 13:30 集合
	9/19 13:00 解散
場 所	NTTセミナーセンター 札幌市中央区南21条西7丁目
参 加 者	インターアクト、18歳以下交換留学生、一般高校生、インターアクト顧問教師、ロータリアン
登 録 費	2,000円(新世代) 3,000円(ロータリアン)
宿 泊 費	3,000円(新世代) 4,000円(ロータリアン)
プログラム	9/18
	14:00 インフォメーション
	14:10 挨拶
	14:20 出席者紹介
	14:30 エンカウンター、交流ゲーム
	16:30 休憩
	16:40 交流プログラム
	18:00 夕食
	19:00 フリータイム
	20:30 軽スポーツ、レクリエーション
	22:00 就寝
	9/19
	8:00 朝食
	9:00 点鐘、挨拶
	9:15 お話し
	10:15 ベトナムワーク
	10:45 グループ発表
	11:30 点鐘、講評、挨拶、謝辞、アワード授与、記念撮影
	12:00 昼食、解散



昨年度報告(ガバナー月信11月号)より

## 地区委員会

## 活動報告

### 2004 - 5年度交換学生歓送迎会 & 2005 - 6年度長期派遣候補生面接



青少年交換委員会

委員長 野澤 幸平(岩内)

1年の締めくくりともいえる、派遣、受入学生の歓送迎会が7月10日新札幌のアーキシティーホテルにて約60名の参加で開催された。遠藤ガバナーより暖かいねぎらいのお言葉を頂き、1年間の思いと決意を語った。



アメリカ5100地区【伊藤克己委員長】に帰国するケイ、グリーンとお世話になった、札幌東ロータリークラブの松宮国際奉仕委員長、ホストファミリー、塚原房樹ガバナーエレクト、同地区に派遣の森本真奈さんご両親。

このたびの帰国組は、計5名でカナダへ帰国したキャシー、ブコブスキーは函館五稜郭RCにお世話になり、遺愛女子高でバレーボールクラブに所属し双子の妹キャロリーナも来日し最後の日本を満喫していた。(余市RC受入れのクリスティーナ、派遣の川村奈津美



と。カナダの父に見せる為のすすきのの写真を撮っているところ。)すすきのはどうやら世界的に有名ようだ。カナダへ帰国後はカルガリーの大学へ進学する予定だが、帰りたくない、日本の大学へ通いたいと話していた。

上磯RC受入れでメキシコのリンダ、ゴメスは初めてのスキーを楽しみ、ホストファミリーのおいしい食事に12キロ増加!! 明るい笑顔で皆を楽しませ、新留学生の心のケアもしてくれる優しい心の持ち主であった。まったく話せなかった日本語の上達も早かった。又、函館東RC受入れのカリフォルニアのステイブン、ウオルフはホームページを駆使し、日本の文化を世界に発信した。



馬場地区委員  
リンダ、ブンチャン



高崎地区委員  
エバンと仲良く!



帰国生、派遣生、受入生  
世界のためにガンバロー!



アメリカニューヨーク州からのエバン・トーマスはとにかくにぎやか、ムードメーカーであった。日本の男の子は総じてシャイ、エバンを見習っても良いかも。「じゃね。」と、空港から去ったそうである。すっかり、日本人！札幌東RCの皆様、お世話になりました。多くの皆様の善意と奉仕の精神で皆幸せいっぱいの笑顔での日本と日本人が大好きになって帰って行きました。心より感謝申し上げます。

派遣生たちも、フィンランドの野村菜由さん（江別RC）を始め、全員が元気に出発した。1年後の帰国が楽しみだ。

7月25日（日）野澤委員長の札幌のオフィスを会場（奉仕の精神で提供）として、7名の学生が2005 6年



度の長期派遣の面接試験を受けた。スピーチ、英語のヒアリング、個別面談でヒアリング以外は保護者、クラブ関係者の皆様にも聞いていただき、のびのびとした雰意気のなか、行われた。個別面談では、一人一人の考えや性格をうまく引き出すよう、各委員が時間をかけて行っていた。それぞれの個性ある回答に、「素

晴らしい子供たちばかりだ。」と、各委員は感動していた。推薦者の皆様ありがとうございます。後日発表。

#### 青少年交換委員会トピックスコーナー 余市RC

第6グループ、久々の留学生受入れで多いに盛り上がる！余市RCでは、約20年ぶりに短期ではあるが、交換留学生を受け入れ、新聞に掲載されたり町長に表敬訪問したり街をあげての歓迎となった。次は長期に挑戦！！



## 2004～2005国際ロータリー第2510地区 インターアクト研修旅行報告



インターアクト委員会  
委員長 堀田昌資(札幌東)

RI 2510地区インターアクト委員会では年間5つ程の主要な行事を行っていますが、その中で年度が一番初めに来るのがこの研修旅行です。今年は8月2～6日(4泊5日)の日程で韓国の木浦、ソウルへ行きました。主要な目的は木浦にある子供の施設「共生園」での園生との交流と木浦、ソウルにある韓国の歴史遺産などの見学です。参加者はインターアクト9校から生徒17名(男子5、女子12名)と各校の引率教師9名、インターアクト地区委員2名添乗員1名の29名です。



「木浦(モッポ)共生園」前で(最後列左端は共生園の創始者尹致浩氏の胸像)

8月2日(月)14:25新千歳空港を離陸して16:53仁川空港着。バスで高速道路を南下して午前0:00木浦の「新安ビーチホテル」着。3日(火)は10:10～木浦市内のユダルサン公園、ノジョンボン記念碑、朴花城文芸館、木浦魚市場などを見学して16:10「共生園」着。木浦共生園は1928年に尹致浩氏が設立し氏が韓国動乱で行方不明となった後は氏の妻田内千鶴子(高知県出身)女史があらゆる困難を乗り越えて孤児達を育て続け今日に至っております。園では鄭愛羅園長の歓迎挨拶、堀田昌資団長の訪問挨拶、インタ

ーアクト代表平井聖奈、濱野ひとみさん(いずれも札幌第一高校)の韓国語での挨拶、田内緑名誉園長による園の歴史の説明がありました。その後園の子供達とインターアクトメンバーが浜辺へ行って語らうなどの交流を行った後食堂で夕食会、韓国伝統楽器の演奏、幼児のダンス、インターアクトメンバーの歌の交歓を行いました。



歓迎のこぼを話される共生園 訪問のあいさつをしている団長の 訪問のこぼを述べているインターアクト代表の  
園長 鄭 愛羅さん 堀田昌資インターアクト委員長 濱野ひとみさん(右)と平井聖奈さん(左)札幌第一高校

4日(水)は木浦からソウルへ移動してソウル市内の西大門歴史資料博物館、東大門市場などを見学して夕食は韓定食その後民族舞踊を楽しみました。5日(木)は午前中ソウル市内の景福宮、国立民族博物館、南大門市場などを見学して午後は皆それぞれ日本へのお土産を買うためLOTTEデパートで買い物。

6日(金)6:30にホリディ・イン・ソウルを発って仁川空港へ。10:10に離陸して12:45新千歳空港着。皆自分の国へ帰ってきたという安堵感でほっとした笑みがこぼれて出迎いの家族と韓国での出来事などを話しながら帰宅の途に着きました。

今回の研修旅行にあたり色々お世話いただきましたRI 2510地区役員、各RC関係者、各高校の教師の皆様へ厚くお礼申し上げます。



韓国伝統の民族楽器を演奏して下さった園生とその友人、中央の女兒はヴォーカル左から2番目は指導の先生(近所の方)

## ロータリー財団地域セミナー報告

### ロータリー財団地域セミナーに参加して



ロータリー財団委員会  
委員長 遠藤 正之(札幌南 PG)

本年度のロータリー財団地域セミナーは、去る8月8日(日)東京高輪プリンスホテルで、田中作次、南園義一両RI理事、ジョン・スティルマンロータリー財団(TRF)企画管理部長、玉村文夫TRF管理委員の他、国内の地区ガバナー、財団委員、財団に関与する地区役員約250名が参加して行われました。

最初に、南園理事がロータリーにとって財団の力は極めて大きく、その基盤をより高める時が来ており、人道的プログラムと教育的プログラムの配分割合が再検討されることが必要で、皆様の意識の高まりが大切と挨拶された。次いで、玉村TRF管理委員が現在の財団資金について触れ、本年度の運用益が昨年の10倍近く出ているので、スティルマンRI会長エレクトは3Hプログラムの復活も考えているとの報告があった。その後、「Every Rotarian, Every Year 100\$ - 毎年あなたも100ドル」について、会員と役員との間に理解の解離がないように説明をして欲しいとの進言をいただいた。又、ロータリーカード(オリコカード)の普及については、カード担当委員を設けてその普及に努めて欲しいとの要望があった(会員が1万人に達するとカード使用額の0.3%が財団に自動的に寄付される)。

次いで、西村二郎ポリオ撲滅募金キャンペーン委員から活動の進行状況の報告があった。1985年にポリオ・プラス・プログラムが設けられ、12,000万ドルを集めるという声明を発表、5年間毎年1億人の新生児にワクチンを投与する計画でスタート。2年以内で24,700万ドルが集まり1988年で終了したが、日本は募金目標が40億円と巨額であり、5年間で49億円を集め1991年に終了した。1995年規定審議会で2000年

までにポリオを一掃し、2005年までにポリオの撲滅を証明することが採択された。そのためには国連(WHO, UNICEF)では4億ドルが必要とのことで、RIが8,000万ドルを受け持ち、2002年4月から募金キャンペーンがスタート。日本では誓約で3年間に1,600万ドルを目標とした。2年間で10,580,249.45ドルが集まっている。その成果はポリオ発生圏が125カ国から6カ国に減少、症例数は99%以上に減少している。あと一息のところまで来ている。

恒久基金については、渡辺好政副委員長から明日へのプログラムを安定したものにするために重要な基金であり、寄付の元金は決して使われず、投資して得た収益を財団プログラムの支援に使っている。2004年4月30日現在、恒久基金の累計額は13,590万ドル、予測額(収益や誓約)は26,710万ドルで総額40,300万ドルとなる。2005年までに5億ドルと設定しているとの説明があった。

午前中の最後に世界平和奨学生とロータリー・センターについて田中作次連絡理事、岩井敏ホスト・エリア・リエイゾン、中村孝第2750地区直前委員長から説明があった。世界平和奨学生は紛争の解決と平和における国際問題研究を目的として、世界を枠とする競争制によって世界から70名が選ばれるが、辞退者がいて実際は70名に達したことはない。この奨学金のための資金は世界的規模で調達する必要があり、金額を問わずDDFを配分するよう全地区にお願いしている。2004年規定審議会で、開発途上国から奨学生を選ぶことを要請する決議が採択されたが、これまでの3期生のうち約1/3がそれらの国から選ばれている。この奨学生は7校あるロータリーセンターのいずれか1校に留学するが、3年間で日本から選ばれた奨学生は8名で、日本の国際基督教大学に受け入れたのは23名である。ホストエリアは大学周辺の6地区で支えている。各地区から出るカウンセラーが重要な役割を果たしている。明年から奨学生の募集期限が10月から7月に変更になる等であった。

特別非営利活動法人ロータリー日本財団について、岩井敏理事長から2003年4月に登記したが、日本で

集めた寄付金を本部に全額送金することについて、本部の疑念を払拭することに思わぬ時間がかかったが、ようやく2004年7月より実質的に発足することになった。当面の間、30万円以上の教育目的寄付は、引き続き独立行政法人国際交流基金の特定寄付金を申し込み、10～30万円をロータリー日本財団の扱い、10万円未満は日本事務局の扱いとする。すべての寄付が税制上の優遇措置を受けられるのにはもうしばらく時間が必要との説明があった。

シェア・システムについては、TRFジョン・スタイルマン氏の説明が通訳つきで行われ、シェア・システムの変更、人道的プログラムに力を入れて欲しいとの説明がされた。この項については、伏木補助金委員長が触れると思うので省略する。

最後に「ロータリー財団プログラムとプログラムを支えるEvery Rotarian, Every Year 100\$」について、宮崎茂和パスト・ガバナーの司会で、上野 孝、片岡信彦、片岡瑛子氏の3人のパネラーで行われ、財団プログラムが如何に大切であるかが説明され、地区ガバナーと地区財団委員長との関係と、その責務についての説明があった。又、ポール・ハリス・フェローの寄付について、準フェローというのがあったが、これが「財団の友」という名称に変わり、財団の友についての説明が行われた。

その後、質疑応答があり、熱いセミナーは午後4時30分に終了した。

#### ロータリー財団セミナーに出席して



補助金委員会

委員長 伏木 忠了(札幌西)

ロータリーは今年100年の節目を迎えました。

ロータリー財団に対する理解も進んでいますが、人道的プログラムにも力を入れることにより、更に財団への寄付を増やすことを目的としたセミナーでした。

地球は一つ、世界中の貧困や飢餓が減らない限り、真の平和はあり得ない。

そのための奉仕活動には資金が必要です。奉仕活動と資金集めは車の両輪です。

今年の規定審議会04-157には

Every Rotarian, Every Year 100\$=毎年あなたも100ドルをと採択されました。

(大口寄付やポール・ハリス・フェロー等の寄付は別にして各人が年100ドル=月1000円)

ロータリー財団への寄付の内、

50%がDDF (District Designated Fund) = 地区財団活動資金、

残りの50%がW.F (World Fund) = 国際財団活動資金

に振り分けられ、3年後に使える制度になっています。

寄付するだけでなく、皆さんもこの制度を利用して奉仕活動に取り組んでいただければ幸いです。

#### 2006～2007年度

### ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 遠藤 秀雄

地区ガバナー指名委員長 遠藤 正之

2006～2007年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、10月3日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～6項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

#### 参考

・国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)

・国際ロータリー-第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定(1998～1999年度地区年次大会決議第9号)





2004～2005年度  
国際ロータリー第2510地区

# 地区大会

## ごあいさつ



2004～2005年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー

遠藤 秀雄

地区大会にあたり一言ご挨拶申し上げます。  
本年度のグレン E・エステス・シニアRI会長はCelebrate Rotary「ロータリーを祝おう」をテーマに選びました。最初のロータリー例会が開かれてから丁度100周年を記念して、これまでの輝かしい歴史をふまえ、希望のある次世代へ挑戦するためのテーマであります。

この記念すべき年度の地区大会を担当することになり、その重責をひしひしと感じております。地方の小都市ではありますが、地区大会の目的に向かって成果を上げるべく関係者一同準備しております。

記念フォーラムは、100周年にあたりロータリー財団の学友を中心にその過去・現在から未来についての展望を試みることになりました。活発なご討論を期待しております。また記念講演はロータリアンでもある松島トモ子様に100周年の感慨を込めてお話をいただきます。

この100周年の節目にロータリアンとして奉仕できる幸運をかみしめロータリーを祝おうではありませんか。

多くの会員のご参加を心よりお待ちしております。



2004～2005年度  
国際ロータリー第2510地区  
地区大会実行委員長

戸塚 守夫

### ● PROGRAM プログラム

#### 第1日目 10月16日(土)

##### 会長幹事会

祝いの宿 登別グランドホテル  
9:30 登録開始  
10:30 点鐘・開会の挨拶  
11:20 閉会

##### 本会議1日目

祝いの宿 登別グランドホテル  
11:30 登録開始  
12:30 点鐘・開会の挨拶  
12:50 大会運営委員会報告  
13:10 大会決議案上程・採択  
13:20 各委員会活動報告  
14:45 記念フォーラム  
16:30 点鐘・終了

##### RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

祝いの宿 登別グランドホテル  
18:00 ウェルカムドリンク  
18:15 着席・開演  
19:45 閉会

#### 第2日目 10月17日(日)

##### 本会議2日目

日本工学院北海道専門学校  
8:30 登録開始  
9:00 点鐘・開会  
ガバナー挨拶  
RI会長代理ご夫妻と来賓紹介  
9:15 RI会長代理挨拶  
9:50 参加者紹介  
10:40 表彰  
11:10 記念講演会  
12:15 RI会長代理所感  
12:30 点鐘・終了

##### 記念懇親会

###### 第一滝本館

13:30 開会  
15:00 閉会



記念フォーラム 「私たちの異文化体験と国際親善」

10月16日(土)14:45~

●基調報告 R財団学友

●R財団学友によるフォーラム

元財団国際親善奨学生・元GSEチームメンバー

●第3350地区(タイ・バンコク地区)  
GSEチーム紹介と報告

記念囲碁大会 10月11日(月)  
受付/11:00

会場/日本棋院北海道本部囲碁会館  
(アスティ45 7F)

記念ゴルフ大会 10月15日(金)  
受付/8:00

会場/登別カントリー倶楽部

※パネラー・コーディネーターは都合により変更となる場合があります。

記念講演 「多くの人たちとの出会いのなかで」

松島トモ子氏

10月17日(日)11:10~



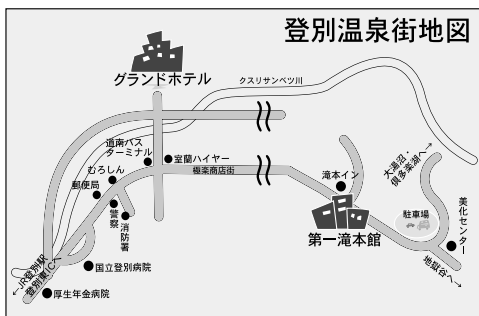
松島トモ子氏

略歴

1945年旧満州(現中国東北部)生まれ  
母に抱かれて日本に引き揚げ、3歳からバレエを学びそれがきっかけとなり1950年映画「獅子の罌」  
でデビュー。  
以後「鞍馬天狗」「丹下左膳」などで子役として80本以上の映画に主演。  
雑誌「少女」の表紙を10年間一人で務める。日本コロムビアより童謡、ポピュラー等のレコードも出し、  
歌謡曲の歌手としても活躍。  
1964年、ニューヨークのザ・マスタースクールに留学。その留学日記「ニューヨークひとりぼっち」がベ  
ストセラーになる。現在テレビ、舞台、講演などで活躍中。

書籍

- 「ニューヨークひとりぼっち」 / 集英社
- 「ともだちの詩」 / ルックス社
- 「母と娘の旅路」 / 文藝春秋
- 「車いすでシャル・ウィ・ダンス」 / 海竜社
- 「ホームレスさんこんにちは」 / めろくぼる



登録料

- 会員 …… 13,000 円
- 家族 …… 10,000 円
- 新世代 …… 5,000 円  
(学友等を含む)
- RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会  
…… 10,000 円
- ゴルフ …… 5,000 円
- プレー代 …… 8,240 円
- 囲碁 …… 4,500 円

2004~2005年度  
国際ロータリー 第2510地区

地区大会 事務局

e-mail keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

〒059-0034  
北海道登別市鷺別町2-31-1  
医療法人社団 友愛会 恵愛病院2F  
TEL(0143)82-2510  
FAX(0143)82-2512

ホストクラブ 登別ロータリークラブ



## 2005年～2006年度RI2510地区 第13回GSE派遣団員募集

### GSE (Group Study Exchange) の目的

ロータリー財団の研究グループ交換 (GSE) プログラムは、地区内の若い職業人を海外に派遣し、そこでの生活体験を通じて職業、文化、親善など様々な分野の国際理解を促すとともに、得られた異文化体験を広く地域社会に還元できるよう支援するものです。

- 募集人員** 4名 ・2006年3月(予定)の出発時年齢が満25歳以上40歳未満であること。  
・性別、学歴、職歴は問いません。
- 費用** 渡航費と滞在費はロータリー財団が負担します。
- 派遣先と派遣期間** 期間：2006年3月(予定)の4週間(28日間)  
派遣先：RI3350地区  
・タイ バンコクを中心とした地域
- 団員募集要項**
1. 所属団体や職場の了解を得られる人。
  2. 英会話に堪能である事は必ずしも必要としませんが、英語の基礎的な理解力を持ち、英語学習や異文化体験に意欲的な人。
  3. アジアの国々に興味のある人。
- 募集方法** RI2510地区ガバナー事務所、GSE委員会、又は各ロータリークラブに備えてある申込書に所定の事項を記入の上、必ず推薦クラブを経由して、地区GSE委員長宛(下記)に提出して下さい。
- 応募締め切り日** 2004年10月末日必着
- 選考と決定** 2004年11月中旬に面接と選考試験を行い、12月初旬までに決定します。
- その他** 応募に関する御不明な点は、地区GSE委員会、又はGSE委員長にお問い合わせ下さい。

応募書類の提出先 (郵送) 〒063-0830  
札幌市西区発寒10条2丁目10-21  
(株)アートクリエイト内  
RI2510地区 GSE委員長  
山名 善久  
TEL : 011-662-5334  
FAX : 011-662-5325

GSEプログラムの概要、活動内容につきましては、  
GSEのホームページをご覧ください。

ホームページアドレス  
<http://www.ri2510.gr.jp/GSE/framepage.html>

又、お問い合わせや御不明の点等ございましたら、  
下記までお問い合わせ下さい。

E-mailアドレス [gse@ri2510.gr.jp](mailto:gse@ri2510.gr.jp)

## 第3350地区(タイ) GSEチームメンバー紹介

受入期間：2004年10月4日～31日



GSE委員会  
委員長 山名善久(札幌幌南)



リーダー  
氏名：Mr. Somboon Bunyasiri  
所属：Bangkok Klongtoey RC  
職業：Yellow Ribbon Hills-Executive Mansion (不動産賃貸会社) 社長  
誕生日：1942年4月4日 62歳  
身長/体重：178cm/77kg  
宗教：仏教、ビーフは食べない  
言語：タイ語、英語、日本語(多少)

### メンバー

氏名 1.スポンサーRC 2.年齢 婚姻 3.学歴 4.現職  
5.趣味 6.モットー 7.関心事 8.GSEへの意見



Dr. Parichat Tirawat  
1. Praramasuan Lopburi RC  
2. 34歳, 未婚  
3. 90-95年タイのプリンス・オブ・ソングクラ大学医学部卒業, 99-01年タイのマヒドル大学麻酔学部卒業  
4. 麻酔学部麻酔学主任

5. 料理、エアロビクス、ジョギング 6. 正直である事  
7. 病院での苦痛管理, 小児科麻酔, 日本の生活様式と文化の勉強  
8. 私の仕事での経験を生かして、他人にも分け与えたい。



Ms. Sunun Trongtorsak  
1. Lumpinee RC  
2. 34歳, 未婚  
3. 93年にスリナックハリンウイロット大学で教育学士授与、現在ラムクハムハンク大学で経済学修士取得のため勉学中  
4. シーミコ証券会社PCLで副支配人

5. 読書、料理、ラジオを聴くこと  
6. 正直、勤勉、忍耐&親善  
7. 私の仕事：金融市場、日本での株式市場及び銀行業務  
教育：東京大学、北海道大学、博物館、科学公園 地方訪問：京都の寺院、大阪、鎌倉、奈良、神戸、ディズニーランド、ディズニーシー 日本の文化：茶道、生け花、ラッピング、食べ物、着物の着付け  
8. 知識と経験を持ち帰って、私の仕事と更に私の国のために改善致します。そして、ロータリーの世界的な使命を増進する研究チームの教育的な経験を分かち合います。



Ms. Nongkran Wongsr

1. Bang Rak RC  
2. 40歳, 未婚  
3. 84-87年図書館学士をタイのスリナクハリンウイロット大学で授与、89-92年成人教育学修士を同上大学から授与、01-04年教育心理学博士をオーストラリアの

ニューキャッスル大学から授与  
4. 聖路加大学心理学講師  
5. 読書、ジャーナル、研究レポート、インターネット及び電子ジャーナルから学問的な情報収集、同僚及び他人とでアイデア、知識及び経験を分かち合う、日々の運動のために徒歩及びフィットボールエアロビクス  
6. 自分自身のため、職場のため、社会のため、そして国のために最善の努力をする事  
7. 国内及び海外でのクラスを自己流の学習スタイルで講義する事。自己流の学習を異文化比較の分野で研究する事  
8. GSEは現在の職業人に文化的職業的交換の機会を提供してくれる素晴らしい交換プログラムであります。



Ms. Wedarat Navicha

1. Suan Luang RC  
2. 29歳, 未婚  
3. 97年にチアングマイ大学で教育学士授与、現在ラムクハムハンク大学で人的資源開発分野教育学修士の勉学中  
4. 英語-日本語教員及び学生奉仕のリーダー

及びテプリーラ高校で相互交流プログラムのコーディネーター  
5. 旅行、水泳、読書及び絵を描く事  
6. 正直、勤勉、奉仕の心を持った友情的な人間  
7. 相互交流プログラムのため：日本の高校で相互交流プログラムについてもっと勉強する事 私の学校のため：日本のクラスの授業方法を実際の目で見る事及び外国人に關した日本の授業方法を研究する事。私の学校の学生と北海道の学生との交換プログラムを作る事  
8. 私の学校で日本語のクラスと相互交流プログラムをはっきりと改善して開発するために知識と経験を持ち帰ります。そして私はタイと日本の人々の間の良きコーディネーターになれると信じております。

訳：武藤 順 委員(札幌西)

ご覧の通りチームメンバーは全員女性であります。チームリーダーを含めて全員喫煙はしないそうです。来日の飛行機のスケジュールは問い合わせ中であります。取りあえず4名のメンバーが決まってほっとしております。どうぞ今後とも宜しく願い申し上げます。

## 2004年規定審議会レポート



2004年規定審議会  
代議員 石垣博美 (札幌セントラルPG)

### 〔1〕地獄の5日間

去る6月12日(土)から同20日(日)まで、シカゴの「規定審議会」に行き参りました。13日夜、全員参加のオリエンテーションがあり、14日から18日までの5日間、朝8時から夕方6時まで1日10時間(ランチタイム1時間、コーヒープレイク午前・午後各30分)の会議が続いた。全世界136ヶ国にまたがる地区の代表者、529人の投票権を有する審議会議員が集っている。しかし、このほかRI理事、財団管理委員、RIパスト会長、RI事務局職員など、投票権を持たない者も一堂に会している。さらに代表議員のスパウスが傍聴席に座っている。

「地獄」のような50時間であった。冷気が頭上からおちてくるマリOTTホテルの会議場には、その上、英語ばかりでなく、フランス、スペイン、ポルトガル、韓国、日本、そしてエスペラントなど多数言語が飛び交っている。まことに「マン・カインド(人類愛)」を高唱せんとするロータリアンにとっては、シリアスなビジネスだ。ロータリーの必死の姿の一面を見る思いがつのる。とくに「多言語空間」に慣れていない日本人には物心両面で苛酷なテストとなる。そうした国際舞台で私も日本の代表団は悪戦苦闘した。そして、大奮闘をして大成果をあげた。



### 〔2〕制定案

すでにインターネットなどで審議結果はご承知の向きも多いと思う。そこで、ここでは2004年規定審議会において日本に関係の深い主な採決制定案及び決議案について述べる。



- (1) 半期人頭分担金を2004-05年度\$ 19.50, 2005-06年度\$ 21.50, 2006-07年度\$ 23.50に増額する
- (2) MU(メイクアップ)規定の中に、「クラブのウェブサイトを通して、30分間の相互参加活動を行った場合」を追加する。E-クラブのホームページに30分参加すればMUとみなす。
- (3) MU(メイクアップ)規定の中に、「ロータリー親睦活動の例会に出席した場合」を追加する。正式にRIから承認された「歴史と伝統の会」、「ロータリー囲碁同好会」、「アマチュア無線」等の会合に参加した場合、MUと認められる。
- (4) 現行5年のニューモデルクラブによる試験的プロジェクトを6年に延長する。
- (5) 地区が30クラブ、1000名未満の場合、RI理事会は地区境界の変更や合併を行うことができる。
- (6) RI理事会の承認なしに、地区の境界外で地区大会を行うことができる。
- (7) RIの長期計画の詳細が決定。
- (8) 事務総長を報酬を受ける唯一の役員とする。(RI会長、RI会長エレクト、RI会長ノミニーに対する謝礼は禁止。)
- (9) 会長、会長エレクト、会長ノミニー、並びに会長室に弁済された全ての経費を公開する。
- (10) 規定審議会に提出するクラブ提出の立法案は地区の承認が必要となる。
- (11) 財団管理委員長および次期委員長に弁済されたすべての経費を公開する。
- (12) ガバナー・ノミニーの資格条件中、創立会長に限り6ヶ月以上就任とする(その他の会長は全期間就任とする)。

## 〔3〕決議案

上の制定案は、2004年7月1日から発効する。が、決議案は、R I理事会に対し善処方を要請するものが殆どである。したがって、採択された決議案を実行に移すかどうかはR I理事会の裁量に委ねられているので直ちに実施されるとは限らない。主な採択案は以下の通り。

- (1) スポンサークラブとして拡大をする場合、現在最低会員数25名必要だが、これを20名に変更する。
- (2) クラブ奉仕部門に沿革史 / 資料保存委員会を設置する。
- (3) 新クラブの結成の際、1つの職業分類につき2名の会員を認める。
- (4) 被災地のカバナーから救援要請があった場合のみ、救援が可能となる。
- (5) 高所得国は低所得国の候補者に国際親善奨学金を寄贈する。
- (6) 開発途上国から奨学生に国際平和奨学金を優先的に与える。
- (7) エイズ孤児ケアのための孤児院建設費用にマッチンググラントが使用できるようにする。
- (8) ウェブ上での財団の決済を可能にする。
- (9) 2005年までに一人100ドルを達成するために「毎年、すべてのロータリアンが」のスローガンを正式に支持する。
- (10) 最低40クラブあれば地区を形成できる。
- (11) 地区番号に地理的表示を付記する。(例：2510北海道西)
- (12) 地区大会に会長代理の出席が必要か否かを地区が決める。
- (13) 地区大会の要項を改正して、1～4日、6時間とする。
- (14) 2004年にゾーンの再編成を実施する。
- (15) 中国語をR I公式言語とする。
- (16) 修正案によって、He profits most who serves best が They profit most who serve best に変更された。また、第2 motto を廃止しようという提案が否決にされた。また、ロータリーにとって歴史的に重要な声明や文書は原文のまま保存することが認められた。
- (17) すべての標記はROTARY INTERNATIONAL と大文字を使う。
- (18) 2005年2月23日には、R I 代表団が平和メッセージを携えて各国元首を訪問する。
- (19) 国際大会を見直して登録料を安くする。
- (20) テレビを使って規定審議会を開催する可能性を検討する。

以上は規定審議会のレポートの抜粋である。世界のおよそ140ヶ国や地区から約800点の提案があった。欠陥のあるもの凡そ200点を削りおとし、残り600点について審議された。そのうち100有余の取り下げがあり、凡そ500の提案につき投票の結果、制定49件、審議案51件が採択された。提案の8割強のものが否決された。

## 〔4〕シカゴ心景

## (1) 存在感

以下は私見を交えて雰囲気をお伝えしたい。シカゴの今は、美しい。ウォーター・パワー・ハウスの展望階から見渡すミシガン湖のたたずまいも、100年前の青年ポール・ハリスの目に映じた光景を想像すると、ただごとでない壮麗さに輝いていた。

規定審議会は、ロータリー世界のオリンピックである。今回の日本代表団は、ひるむことなく日本語と英語で活躍をして、日本のロータリアンの存在感を世界に示した。こんなに頑張ったことはなかったらしいと言われる。田中毅(芦屋川)黒田正宏(八戸南)ご二人(いずれもPG)のご指導によるところが大きい。例えば、あの第2 motto の存廃の件である。イギリス、アメリカ、豪州の人たちに、あれは廃止すべきだとの声が強い。確かに経済学の教科書から見ると、あのF・A・シエリダンの格言は理解不能である。しかしながら、日本のロータリアンはあれが好きだ。あれがないと日本のロータリーは成り立たない。そこで、みんな頑張って支持のスピーチをやった。結果は大差で私どもの主張が通った。世界のロータリー会議で、日本人の外交力、説得力、そしてゲーム感覚のレトリックも素晴らしいと思った。元R I会長の中にも親日派がいる。例えば、ピーター・ドラッカーといえは経済界の神様の存在だが、大の親日家で、そのドラッカーのような親日派がいるのだ。が、そればかりではない。傍聴席にいた私のアメリカの友人の奥さんが、私の下手くそなサポート・スピーチのあと「あなたの言うことはよくわかるわ」と囁いてくれたことに私はひどく感動した。彼女は「After all, ROTARY is not money」と言ってくれた。

## (2) 危機感

第2の世紀を迎えるロータリーの行方はいつにかかってこの規定審議会の在り方にかかってくると思われる。ロータリーを小さな「共和国」に例えるなら、その国の立法院だ。2004年の審議会で特徴的な現象は、採択された提案の多くが「規約緩和」の方向に大きく傾いていることであった。どうもロータリー改革の方向が、ロータリーの厳しさの量的緩和に







向かって無原則的に走っているのではないかと危惧される。例えば 地区大会のプログラム中、ロータリー関係の時間限定を9時間から6時間にする。パイロット・クラブの実施期間を5年から6年にする。新クラブの職業分類項目の1人を2人にする。新クラブ最低会員数を25名から20名とする。サイバー・クラブの扱いなどが、それだ。特に地区大会にRI会長の特別代表を呼ぶかどうかは地区が決める、などはRI会長の存在をないがしろにするものではないか。今後はこの傾向が続くとすれば由々しい一大事である。

### (3) 期待感

しかしながら、この規定審議会という制度があればこそ、ロータリーが生き延びてきたと見ることもできる。この3年間に1度の儀式を「金輪物語」(D.ニコル,1985)は、この会議は世界中のロータリアンがそれぞれの国や地域を代表して、相互理解、交流友情を深める最良のプログラムと評している。とすれば、この趣意を生かし、建設的な提案のみを十分に討論できるような空間を用意すべきと思われる。国連組織の運

営実践を参考にしながらより効率的な、そして民主的な審議会の在り方を我々は提案すべきではないだろうか。

さらに、日本の立場を主張する発信力を高めることが大切だと思う(この6月で任期を終えた菅生元理事は、この発信力を強調した)。今回の審議会に出場する機会を与えられ、私はロータリーという組織の正体成功の秘密を垣間見たように感じた。文学的にいえば、谷崎潤一郎「小さな世界」(1917)、菊地寛「入れ札」(1919)(別稿参照)に例えられるような世界である。

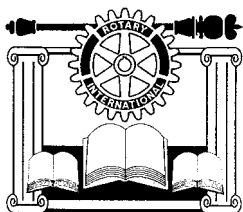
これだけでは説明不足であるが、大正デモクラシーの時代の上述の文学者たちは驚くべきことに、早くもギリシア、ローマ時代の「民主主義の政治」の日本化を説いているのである。

この会議に出席してみて、日本のロータリーが「NO」と発信すべき場面や提案は山ほどあるのではないかと思った。すぐに思いつく提案のうち2つあげてみよう。第1は、代表者の日本人は34名、日本のロータリアンは11万人余、世界中の総数は約130万人だとすると、およそ10%だ。したがって、代表者は10%に見合う50名は会場にいて良い勘定だ。一人当たりの代表者格差の問題である。日本の地区人口の平均は3,300人、世界平均は2,200人という(田中毅P.G調べによる)。もう一つ。地政学的に言って、北海道ゾーンにサハリン、カムチャッカ、千島列島を入れるべきであろう。これらの地域は自然地理学的にも同一性に富む(ブラツキストンを考えて欲しい)。自然地理的な一致の原理にもかなうデマケーション(地区領域の限定)と思われる。

結びとして一言。世界のロータリアンの中で日本のその果たすべき役割は大きい。われわれは、日本が世界のモデルロータリー国になることを願わざるを得ない。

## 重要

各クラブに国際ロータリー2004年規定審議会決議報告書が送付されています。



規定審議会

本報告書の末尾に「立法案反対表明書式」が収められています。RI 8.140.3項に準拠し、クラブは採択制定案または採択決議案のいずれに対しても、本書式を用いて反対を表明することができます。漏れなく記入した書式は、2004年10月18日までにエバンストンの世界本部に到着しなければなりません。もしその時点までに、投票権のある全クラブの10パーセントもしくはそれ以上の数のクラブが、審議会が採択した立法案のいずれかに反対の表明をした場合、この立法案は「一時保留」とみなされます。投票用紙が用意され、一時保留から1カ月以内に各クラブに配布されます。投票は、一時保留とされた立法案について審議会決定の賛否の問題を提起するものとして、投票はRI細則8.140.5、8.140.6、8.140.7の各規定

に則って実施されます。投票の結果に基づき、一時保留の立法案は無効となるかまたは復権するかが決まります。

各クラブは審議会の決議のいずれかに反対する場合にのみ、本報告書の巻末の書式に記入し、返送くださるようお願いいたします。クラブが2004年規定審議会の決議に反対しない場合には、何も提出される必要はありません。

尚、近日中にガバナー事務所より、上記詳細のご案内をお送りする予定です。

ロータリー  
文庫通信  
(203号)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から

- |   |  |
|---|--|
| 「出来ることからボランティア」 福岡政行 2004 13p<br>(D.2760)           | 「わがくに國の三大隣国 - 米・中・露 - について考える」<br>古川 清 2004 13p            |
| 「スポーツが地球を救う！～21世紀のスポーツの役割」<br>水野正人 2004 8p (D.2620) | 「地球環境と経営調和 - 1秒でこんなに変化する世界の中で -」<br>山本良一 2004 12p (D.2560) |
| 「何のために事業をするのか - 人に愛を -」 岡田卓也<br>2004 10p (D.2630)   | 「勝者の思考法」 二宮清純 2004 16p (D.2690)                            |
| 「カビと環境」 宮治 誠 2004 2p (D.2790)                       | 「動物園で暮らしています」 小菅正夫 2004 4p<br>(D.2500)                     |
| 「人間再発見」 藤本義一 2004 2p (D.2790)                       |  |
| 「文化財赤十字構想について」 平山郁夫 2004 9p<br>(D.2580)             |  |

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

RI 会長代理決定



今年度、地区大会にご臨席いただく国際ロータリー会長代理は、第2770地区石井治パスト・ガバナー(春日部RC)に決定いたしました。ご略歴等につきましては、次号のガバナー月信にて改めてご紹介させていただきます。

(財)ロータリー米山記念奨学会 2004年8月12日発行

# ハイライトよねやま 54

## 1. 寄付金速報～2004-05年度厳しいスタート

2004-05 年度が始まりました。7月の寄付金は約2億8百万円で、前年度に比べて6.7%減、約1千5百万円の減少となりました。普通寄付金が2.9%減、特別寄付金が19.1%減と、かなり厳しいスタートです。今年度は15億1千万円の予算目標を立てています。2005年4月から奨学生数は800人に縮減、奨学金額は7%の減額が決定しました。今後、少しでも支援の輪が広がるよう、引き続き米山奨学金にご協力ください。よろしくお願い申し上げます。

## 2. 2005学年度の指定校371校が決定～ホームページで公開中

いよいよ2005学年度の指定校が、各地区の選考委員会によって決定されました。2005学年度は奨学生の採用数が減少することもあり、指定校は昨年より30校少ない371校となりました。米山奨学金(学部・修士・博士課程)の募集要項については、奨学金額の減額(学部課程は12万円 10万円、修士・博士課程は15万円 14万円)、小論文テーマの変更などの改定点があります。ロータリー米山記念奨学会のホームページにおいて、指定校および募集要項を掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

ロータリー米山記念奨学会ホームページ<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

## 3. 地区米山奨学委員長からの便り《パート1》

～米山奨学生による中国伝統楽器・二胡のミニコンサート卓話が大人気～(第2630地区【岐阜県・三重県】)

二胡という楽器をご存知でしょうか。最近、日本でも人気急上昇中の中国伝統楽器です。第2630地区の藤田委員長が、米山奨学生による二胡ミニコンサートについて投稿してくださいました。

米山奨学生の梁<sup>リョウ</sup>天任<sup>テンニン</sup>君【中国出身/世話クラブ伊勢南RC】は、三重大学教育学部修士課程に在籍し、中国伝統音楽の研究をしています。そこで2630地区米山奨学委員会では「梁天任・二胡ミニコンサート卓話」を企画しました。7月28日夕方、不破の関RC主催の二胡コンサートを垂井文化会館(岐阜県垂井町)で開催しました。ロータリアンだけではなく、一般の人も含めた約80名の聴衆は、梁天任君が演奏する二胡のやさしい音色に酔いしれました。すばらしい1時間でした。この企画は大変な人気で、申し込みが殺到しています。

「ロータリーの皆さまに、中国伝統楽器である二胡の良さを知っていただく機会ができて、僕も大変うれしいです。がんばって演奏します」と梁君は語っています。二胡を肩にかけて、彼の卓話行脚が当分続きます。



二胡について語る梁 天任さん

## 4. 地区米山奨学委員長からの便り《パート2》

～開業50周年を記念して、特別寄付～(第2730地区【宮崎県・鹿児島県】)

第2730地区の函師委員長から、「医院の開院50周年を記念して」と、特別寄付を頂きました。函師委員長は、今回の寄付について、次のようなメッセージを寄せてくださいました。

2730地区では毎年7～8クラブの創立記念祝賀会が開催されています。私は2002年度より、クラブ創立記念事業の一環として米山奨学会に対する特別寄付を強くお願いしていましたが、昨年度は、ほとんどのクラブから創立経過年数に応じた寄付を頂きました。

今年、私は開院50周年を迎えました。日本のロータリアンとして改めて米山奨学事業の意義を再認識するとともに、過ぎた50年を振り返り、お世話になった多くの方々への感謝の意を込めて、特別寄付をさせていただきました。

ロータリアン自身の経営される会社や事業についても、クラブ創立記念寄付と同じ趣旨での特別寄付は如何なものでしょうか。

私は今年度も寄付増進の一助として、これを推進して参りたいと思っています。

#### 5. 米山学友の活躍～アーカンソー大学ロースクール教授ロバート・B・レフラーさん～



アメリカ合衆国出身の米山学友、ロバート・B・レフラーさん【1973-74 / 東京大学大学院 / 東京神田RC】は、アーカンソー大学ロースクールの教授で、「医療と法」の日米比較研究の第一人者です。

『ロータリーの友』2004年2月号のよねやまだよりにおいて、「世界に飛躍する米山学友」の一人として紹介したこのレフラーさんが、東京大学との夏期共同研究のために来日。7月末にロータリー米山記念奨学会事務局を訪れてくれました。30年前の米山奨学生時代に思いを馳せ、ロータリアンとの交流の思い出話を流暢な日本語で語る姿が印象的でした。

ハーバード大学在学中に、故ライシャワー博士の授業を聴講して、日本に興味を抱いたのが留学のきっかけだったといえます。2002年には勤草書房から「日本の医療と法 - インフォームドコンセント・ルネッサンス」を出版。日本の医療界の変遷を10年にわたって丹念に追いかけたこの本は、「医療関係の過去の事例、裁判の判例、また関連する法律等もとてもよく調べてあり、素晴らしい」と、Amazon（オンライン書店）の読者レビューでも高く評価されています。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。  
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：<sup>みな</sup>峯・<sup>のづ</sup>野津・<sup>おおぼ</sup>大庭

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : [highlight@rotary-yoneyama.or.jp](mailto:highlight@rotary-yoneyama.or.jp)

URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

## 10月は米山月間です

来月、10月は米山月間です。ロータリー米山記念奨学事業について、会員の皆様にご理解とご協力を頂けるよう、特別なプログラムを实践するよう要請されております。各クラブにおいて米山記念奨学生の卓話等を例会に取り入れていただき、奨学会活動により一層のご理解を深められることを希望いたします。

奨学事業、卓話等のお問い合わせは右記にお願いいたします。

「遠藤ガバナー事務所」

Tel 0143-82-2510 Fax 0143-82-2512

E-mail : [keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp](mailto:keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp)

「地区米山記念奨学委員会」 委員長 竹原 巖

Tel 011-781-2671 Fax 011-781-2673

携帯 090-8370-0737

E-mail : [iwao@takehara-iron.jp](mailto:iwao@takehara-iron.jp)

100周年にちなんだ地域・クラブ紹介

# わが街・我がRC

# 歴史散歩

～地域と共に歩んで～



創立30周年記念  
苫小牧駅前にソーラー式時計塔を寄贈

ソーラー時計の除幕式

## 苫小牧ロータリークラブ



発会1周年記念 1958.124 於富士館



姉妹クラブの歓迎交流会



奨学制度



植樹行事

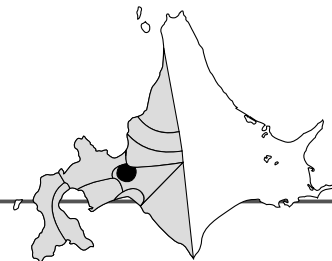
苫小牧ロータリークラブは、1956年8月に室蘭RC会長、小林秀光氏の勧誘を受け、室蘭RCをスポンサーとして、24名のチャーターメンバーをもって創設された。全国では200番目、北海道では13番目のクラブの誕生である。1957年6月8日のチャーターナイトには、伊東文吉ガバナー（新潟RC）はじめ、全国より150名を超える多くの方々が列席し、盛大に開催された。初代会長には早川昇氏。副会長に岩倉巻次氏、幹事に宮本義勝氏が就任し、歴史ある当クラブの一頁を飾るにふさわしい任務を發揮された。

1961年9月10日（特別代表 中村清一郎）には浦河RC、1970年1月20日（特別代表 蔦森春明）に苫小牧北ロータリークラブが当クラブのスポンサーによって誕生した。同年11月27日には、相模原RCと姉妹クラブの締結を行った。1981～82年度当地区ガバナーとして当クラブより佐久間三八氏を選出。苫小牧から初めて地区ガバナーを輩出した。

苫小牧の街と共に成長してきた当クラブも今年で47年を迎え、名実ともにRCとしての一任を果たすと共に数多くの奉仕活動を行ってきた。クラブ創設以来の事業であるクラブ奨学金制度は、1958年から続いており、苫小牧市育英会より推薦された高校生3名（3年生まで9名）に毎月授業料を贈呈している。1961年、当クラブ、苫小牧民報社、市社会福祉協議会共同でのナナカマドの植樹を市民運動として提唱、植樹を行ってきた。1970年以降はクラブの独自事業として移行、継続している奉仕活動である。

1905年（100年前）の苫小牧というと3年前の1902年に二級町村制が施行され、周辺村の合併により新たな苫小牧村が誕生し、4年後の1909年の樽前山の大噴火、1910年の王子製紙苫小牧工場の操業開始と、歴史・経済が未来に向けて大きく動き始めた時代だったのではないのでしょうか。（大森 記）





こんにちは！

第5グループです

第5グループ ガバナー補佐 丸山 淳士  
(札幌真駒内RC)

私たちのグループは札幌市内のクラブで、札幌東、札幌南、札幌幌南、札幌清田、新札幌、札幌真駒内、札幌大通、札幌セントラルの各クラブで構成されています。伝統有るクラブと新生のクラブとが一緒になっています。

会員数第一位を独走している札幌東クラブは、他のクラブが会員数を減らしている中、強力な増強活動により新会員を増やしております。また、次年度はガバナーのクラブとなります。

幌南クラブは2510地区に最多の17名に及ぶ役員を送り出し、地区の活動に多大な貢献を続けております。

札幌南クラブはその伝統を守りながら堅実な活動を続けております。

真駒内クラブも昨年30周年を迎えて中堅クラブとして地域に根付いた活動をしております。新札幌クラブは少数精鋭で個性あふれた奉仕活動をしております。

清田クラブは女性会員も多く、さらなる会員増強に頑張っております。新しい大通りクラブは街頭でポリ



オ募金を行ったり活気あふれた若々しい活動をしております。

セントラルクラブが一番新しいだけにクラブ内部の親睦を深め、新会員の掘り起こしに頑張っております。

今年度はグループ内でのクラブ交流に重点を置き、お互いに情報交換しながら共栄していく道を探っていきたいと思っています。

## 遠藤ガバナーがメジャードナーになりました

この度、遠藤秀雄ガバナー（登別RC）がロータリー財団のメジャードナー（大口寄付者）となりました。

8月8日に東京で行われた「ロータリー財団地域セミナー」の席で玉村文夫同財団管理委員（東京RC,D2580PG）より表彰を受けました。尚、地区での表彰は10月の地区大会時に行われる予定です。



R財団より贈られたクリスタル製の賞物とダイヤモンド・ピン

## 掲 示 板

### ロータリーレートについて

8月1日から1ドル108円となっております。

### 例会の変更について

#### 余市RC

9月1日(水) 6:00~ 於:余市河口港親水公園  
8日(水) 11日(土) 4クラブ合同例会に振替  
17:00~ 於:いわない  
高原ホテル  
9月29日(水) 18:30~ 於:海幸そーらん

#### 滝川RC

9月2日(木) 4日(土) 7:30~例会,  
8:00~野球大会に振替  
3日(金) 地区親睦野球大会(前夜祭)  
18:00~ 於:松尾ジギスカン  
16日(木) 12日(日) 移動例会に振替  
「井原正巳のサッカー教室  
2004」  
9:00~ 於:空知川河川  
敷サッカー場

23日(木) 休会

#### 岩見沢東RC

9月7日(火) 移動例会に振替  
「家族親睦キャンプ」  
18:00~ 於:美流渡

#### 蘭越RC

9月7日(火) 蘭越八幡神社祭りのため休会

#### 砂川RC

9月8日(水) 移動例会 12:30~

於:ホール西願寺  
(砂川市東1条南5丁目)

10月14日(木) 職場訪問移動例会 12:30~

於:砂川自動車学校  
(砂川市東5条北8丁目)

#### 江別西RC

9月14日(火) 社団法人 江別青年会議所との合同例会  
18:30~ 於:江別市民会館37号室

#### 苫小牧RC

9月23日(木) 休会(法定休日)

### ご訂正願います。

7月27日付にてご依頼いたしました「2005年スペシャルオリンピックス冬期世界大会協賛について」中の振込先が、名義人: NPO法人スペシャルオリンピックス日本理事長細川佳代子 とありますが、NPOを特定非営利活動にご訂正下さい。

## ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願ひます。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願ひればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

## 7月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			04.7.1	04.7.31	増減	内女性	
1	深川	4	40	42	2	1	87.82
	羽幌	4	47	47	0	1	70.11
	妹背牛	4	10	10	0	0	95.00
	小平	5	14	14	0	0	71.43
	留萌	4	59	59	0	0	91.00
	小計		170	172	2	2	83.07
2	赤平	4	36	34	-2	2	87.26
	芦別	5	54	54	0	0	87.14
	砂川	4	54	54	0	0	95.23
	滝川	5	109	109	0	2	75.00
	小計		253	251	-2	4	86.16
3	美唄	5	42	42	0	0	90.00
	江別	5	43	43	0	1	89.26
	江別西	5	37	37	0	3	89.72
	岩見沢	5	94	94	0	0	89.11
	岩見沢東	4	37	38	1	3	82.48
	栗沢	4	26	26	0	1	98.23
	栗山	4	29	29	0	2	96.84
	当別	4	38	38	0	1	87.57
	小計		346	347	1	11	90.40
4	札幌	4	123	128	5	0	98.64
	札幌あけぼの	5	16	17	1	1	100.00
	札幌はなます	4	24	24	0	4	82.61
	札幌北	3	49	49	0	5	95.92
	札幌モーニング	4	54	56	2	0	74.80
	札幌西	4	69	69	0	3	90.16
	札幌西北	5	48	48	0	2	95.42
	札幌手稲	5	39	40	1	1	100.00
		小計		422	431	9	16
5	札幌東	5	125	128	3	0	99.16
	札幌清田	4	26	27	1	5	100.00
	札幌幌南	5	69	72	3	0	100.00
	札幌真駒内	4	44	44	0	2	91.23
	札幌南	3	91	94	3	0	97.50
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	68.41
	札幌セントラル	4	19	19	0	8	63.00
	新札幌	4	36	37	1	2	88.41
	小計		429	440	11	19	88.46
6	岩内	5	33	33	0	0	80.00
	倶知安	4	54	54	0	3	78.00
	小樽	4	74	75	1	0	85.24
	小樽南	5	86	85	-1	0	84.80
	小樽銭函	5	23	23	0	2	83.00
	蘭越	4	14	14	0	0	71.40
	余市	4	43	43	0	4	92.44
	小計		327	327	0	3	80.36

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,138人  
 当月末会員数(女性) 3,180(88)人  
 増加会員数 42人  
 当月平均出席率 84.45%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			04.7.1	04.7.31	増減	内女性	
7	千歳	4	65	68	3	2	75.50
	千歳セントラル	4	30	30	0	0	81.70
	恵庭	4	51	51	0	0	86.82
	北広島	3	19	19	0	2	88.24
	長沼	3	18	18	0	3	91.20
	由仁	4	15	15	0	0	86.67
	小計		198	201	3	7	87.31
8	えりも	5	24	24	0	0	82.50
	三石	3	17	17	0	1	82.30
	様似	4	19	19	0	2	80.92
	静内	4	67	69	2	0	83.40
	浦河	4	40	40	0	1	100.00
	小計		167	169	2	4	85.60
9	伊達	4	56	59	3	0	84.35
	室蘭	5	51	52	1	0	93.27
	室蘭東	4	43	43	0	0	90.00
	室蘭北	4	37	37	0	2	100.00
	登別	4	39	39	0	2	84.62
	洞爺湖	5	10	10	0	0	80.00
	小計		236	240	4	4	83.52
10	函館	5	101	102	1	0	80.66
	函館亀田	3	42	42	0	1	88.89
	森	4	43	43	0	0	74.00
	七飯	4	24	24	0	0	70.80
	長万部	3	13	13	0	0	79.40
	小計		223	224	1	1	75.04
11	江差	4	16	16	0	0	74.00
	函館五稜郭	5	68	68	0	0	89.62
	函館東	4	50	58	8	7	82.09
	函館北	4	37	39	2	0	84.11
	上磯	5	29	29	0	3	64.80
	松前	4	9	9	0	1	55.56
	小計		209	219	10	11	75.97
12	白老	4	29	29	0	1	76.00
	苫小牧	5	56	57	1	0	75.52
	苫小牧東	5	32	32	0	3	84.87
	苫小牧北	4	41	41	0	2	86.53
		小計		158	159	1	6
	合計		3,138	3,180	42	88	84.45

## 新入会員のご紹介



大林 強  
滝川RC  
7月1日入会



小原 正邦  
滝川RC  
7月1日入会



富樫 悟  
滝川RC  
7月1日入会



米田 輝満  
滝川RC  
7月1日入会



榊原 明彦  
苫小牧RC  
7月2日入会



西田 啓一  
苫小牧RC  
7月2日入会

## 訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、  
心からご冥福をお祈りいたします。

坪谷 六郎 会員(滝川RC)  
2004年5月30日ご逝去(享年84歳)

### 【ロータリー歴】

1963年12月15日入会  
1980～81年度 会長  
1985～86年度 第2分区代理  
1978～79年度(PHF)  
2002～03年度(MPHF)  
2002～03年度(ベネファクター)  
1997～98年度(米山功労者)



谷田 涼一 会員(栗山RC)  
2004年8月14日ご逝去(享年84歳)

### 【ロータリー歴等】

1970年1月16日 入会(チャーターメンバー)  
1971～1972年度 第2代会長  
1978～1979年度 第2分区代理  
1991～1992年度 会場監督  
1995年03月11日 創立25周年式典総務委員長  
1995～1996年度 職業分類委員長  
1998～1999年度 ロータリー財団委員長  
1998年11月14日 IM運営委員長  
2003～2004年度 ロータリー財団委員長  
ポール・ハリス・フェロー



渡辺 寿昭 会員(札幌西RC)  
2004年7月2日ご逝去(享年69歳)

### 【ロータリー歴等】

1982年8月31日入会  
2001～02年度 幹事  
親睦活動、出席、SAA、会計、職業分類各委員会委員長を務められました。



**9月10月 地区カレンダー**

9 月 新世代のための月間		10 月 職業奉仕月間 / 米山月間	
1 (水)		1 (金)	
2 (木)		2 (土)	
3 (金)	地区親睦野球大会・前夜祭	3 (日)	ガバナー・ノミニー候補者推薦締切日
4 (土)	地区親睦野球大会 (滝川)	4 (月)	公式訪問/北広島・恵庭・長沼・由仁RC (12:30,北広島プリンスホテル) 第3350地区GSEメンバー来日
5 (日)		5 (火)	公式訪問/千歳・千歳セントラルRC (12:30,ホテル日航千歳)
6 (月)		6 (水)	公式訪問/室蘭・室蘭東・室蘭北・登別RC (18:30,蓬嶽殿)
7 (火)	公式訪問/栗山・栗沢RC (12:30,栗山パラダイスヒルズホテル)	7 (木)	
8 (水)		8 (金)	
9 (木)	北広島RC創立25周年記念式典・ゴルフ大会 (北広島プリンスホテル)	9 (土)	
10 (金)		10 (日)	
11 (土)	ライセミナー・シニアクラス (札幌, JR研修センター)	11 (月)	地区大会記念囲碁大会 (札幌, 日本棋院北海道本部)
12 (日)	第1回GETS及び地区研修リーダーのための研修会 (東京)	12 (火)	
13 (月)		13 (水)	
14 (火)	公式訪問/函館東・函館五稜郭・函館北RC (12:30,函館国際ホテル) 公式訪問/上磯・江差・松前RC (18:30,同上)	14 (木)	
15 (水)	公式訪問/函館・函館亀田RC (12:30,函館・ホテルオークランド) 公式訪問/七飯・森・長万部RC (18:30,大沼プリンスホテル)	15 (金)	地区大会記念ゴルフ大会 (登別カントリー倶楽部)
16 (木)		16 (土)	地区大会第1日目 (祝いの宿登別グランドホテル)
17 (金)		17 (日)	地区大会第2日目 (日本工学院北海道専門学校, 第一滝本館)
18 (土)	ライセミナー・ジュニアクラス (札幌, NTTセミナーセンター)	18 (月)	
19 (日)		19 (火)	
20 (月)	敬老の日	20 (水)	
21 (火)	公式訪問/洞爺湖・伊達RC (12:30,洞爺湖・万世閣)	21 (木)	
22 (水)		22 (金)	
23 (木)	秋分の日	23 (土)	
24 (金)		24 (日)	
25 (土)		25 (月)	函館RC創立70周年記念式典 (17:00,函館国際ホテル)
26 (日)		26 (火)	
27 (月)		27 (水)	
28 (火)	公式訪問/浦河・えりも・様似RC (12:30,浦河ウエリントンホテル)	28 (木)	
29 (水)	公式訪問/静内・三石RC (12:30,静内ウエリントンホテル)	29 (金)	
30 (木)		30 (土)	
		31 (日)	第3350地区GSEメンバー帰国





**1905-2005**  
**100 Years**  
**Serving humanity**  
**ROTARY**



[www.rotary.info](http://www.rotary.info)



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

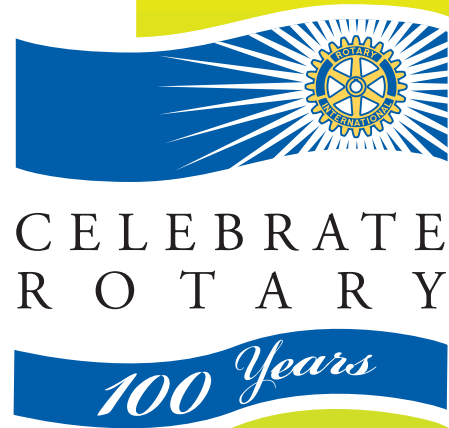
# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F

TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512

e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

地区大会が間近になってきました!	2
ガバナー's LETTER	3
ガバナー日記	4
地区会員増強研修セミナー報告	6
10月は職業奉仕月間です	7
「職業奉仕」よ、永遠なれ。	8
10月は米山月間です	10
11月はロータリー財団月間です	11
米山奨学生学友会(北海道)のこと	12
地区委員会活動報告	
・「社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕活動に関する 3委員会合同の意見交換会」開催	13
・第2800地区インターアクトクラブと交流	15
家庭奉仕事業の紹介	
子ども家庭奉仕委員長を拝命して	16
米山評議員会に参加して	18
国際奉仕委員会からのご案内	19
第1回補助金委員会報告	20
ハイライトよねやま55	22
会員投稿	
・ある財団学友の結婚	24
ロータリー文庫通信	
地区世界社会奉仕委員会からのお知らせ	25
こんにちは! 第2グループです	26
こんにちは! 第7グループです	
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます	27
掲示板/ガバナー事務所からのお願い	28
8月会員増減数・出席率報告	29
新入会員のご紹介/訃報	30
10・11月地区カレンダー	31

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.4  
2004.10

# 地区大会が間近になってきました！

年に一度、地区内ロータリアンが集います。  
あなたの10月16日・17日は実りある2日間となります。

本年度の地区大会は10月16日(土)17日(日)に開催されます。地区大会は地区における最大の行事で、地区内のすべてのロータリアンとその家族と共に旧交を温め、新しい友人を作る絶好の機会といえます。グレン・E・エステスR I会長の『ロータリーを祝おう』のテーマのもと、地区大会テーマに『奉仕の第二世紀へ』を掲げました。

地区内ロータリアン多数が参加され、創立100年を迎え、ロータリーとこれからのロータリーについて、皆さんとともに今一度考える場にしたいと思っております。

また、昨年と同様に、本会議を2日間に分けました。遠隔地のクラブの要望を聞き、2日目の懇親会は従来の夕食会でなく昼食会とし、すべての日程を午後3時で終了するようプログラムを組みました。

これにより、時間的には若干タイトになりましたが、プログラム内容をコンパクトにし、ロータリーを深く考える機会にいたしました。

## 本会議 1日目 13:20~14:40 地区委員会活動報告

地区の28委員会より活動の報告や計画の発表があり、地区活動への理解を深める絶好の機会と思われる。

## 記念フォーラム 14:45~16:30

フォーラムのテーマは「私たちの異文化体験と国際親善」です。第3350地区(タイ・バンコク地区)G S Eチームの紹介と報告に加え、ロータリー財団の学友を中心にその過去、現在から未来についての展望を真剣に討論していただきます。また、会場からもご意見を頂きたいと思っております。

## R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 18:00~19:45

R I 会長代理として、石井治第2770地区バスターガバナー(春日部RC)ご夫妻をお迎えして、歓迎晩餐会が開かれます。大勢の会員の方々の参加をお待ちしております。

## 本会議 2日目 9:00~10:40

石井治R I 会長代理からのR I の現況と、遠藤秀雄ガバナーより第2510地区の現況を詳細に報告して頂きます。現状を把握するまたとない機会です。様々な奉仕活動に大きく貢献した、個人・団体などへの表彰が行われます。活動への大きな励みになると思われ。

## 記念講演会 11:10~12:15

女優としてテレビや舞台で活躍中で、多くの講演も行っている、松島トモ子氏に「多くの人たちとの出会いのなかで」と題して100周年の感慨も込めてお話しして頂きます。ロータリアンでもある彼女の豊かで貴重な体験を通じた講演により、私たちのロータリーライフに何らかの示唆を与えてくれるものと信じております。

## 記念懇親会(第一滝本館) 13:30~15:00

すべての行事を終えゆったりとした気持ちで、日ごろお会いできない遠方の方々と懇親を深めて頂きたいと思っております。

## 地区大会プログラム

### 第1日目 10月16日(土)

#### 会長幹事会

祝いの宿 登別グランドホテル  
9:30 登録開始  
10:30 点鐘・開会の挨拶  
11:20 閉会

#### 本会議 1日目

祝いの宿 登別グランドホテル  
11:30 登録開始  
12:30 点鐘・開会の挨拶  
12:50 大会運営委員会報告  
13:10 大会決議案上程・採択  
13:20 各委員会活動報告  
14:45 記念フォーラム  
16:30 点鐘・終了

#### R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

祝いの宿 登別グランドホテル  
18:00 ウェルカムドリンク  
18:15 着席・開演  
19:45 閉会

### 第2日目 10月17日(日)

#### 本会議 2日目

日本工学院北海道専門学校  
8:30 登録開始  
9:00 点鐘・開会  
ガバナー挨拶  
R I 会長代理ご夫妻と来賓紹介  
R I 会長代理挨拶  
9:50 参加者紹介  
10:40 表彰  
11:10 記念講演会  
12:15 R I 会長代理所感  
12:30 点鐘・終了

#### 記念懇親会

第一滝本館  
13:30 開会  
15:00 閉会



# Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

## 米山月間によせて

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



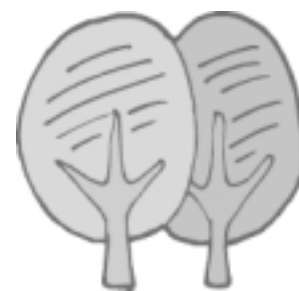
今月は職業奉仕月間と米山月間です。職業奉仕については公式訪問の卓話で強調してお話を申し上げているので、今回は米山奨学事業について考えてみたいと思います。

1953年、東京ロータリークラブが米山梅吉氏のロータリー活動に対する功績を記念し、「米山基金」として募金を始めたことに端を発しています。1957年に国内全クラブの合同事業となり、1967年に財団法人ロータリー米山記念奨学会として今日までに活動を続けています。

年間の奨学金支給額が約16億円で、これまで101ヶ国12,200人以上の奨学生を支援し、民間では最大の留学生奨学団体となっています。その目的は、国際理解に努め世界平和の創造と維持に貢献することにあります。この事業の特長は、経済的支援だけでなく、世話クラブとカウンセラー制度によるロータリーならではの心の通った支援にあります。これまで、ロータリアンはもとより、個人や法人からも支持されて順調に活動してきました。奨学生を終えた米山学友の人達も増えて、米山奨学会学友会も日本に22団体、韓国・台湾に各1団体が組織され活動をしています。また、学友がロータリアンとなって活躍している喜ばしい例も見られます。しかし、長び

く不況によるロータリー会員減少からか、寄付金が減ってきています。そのため希望者の多いなか、2005年度から奨学金の減額と採用数の20%減を余儀なくされました。国際親善の楔となるこの事業に対する御理解となお一層の御支援をお願いを申し上げます。

今後の課題として考えなければならないのは、地域別・出身国別留学生数であります。アジア地域からの留学生の比率が93%、その中でも、中国・韓国・台湾出身者が83%を占めていますが、近年中国からの留学生が大幅に増加して、全体の約半数に達しています。それだけ優秀な学生が多いことには違いはないと思いますが、この事業の主旨から考えると、感情論は抜きにして国籍のバランスと優秀な留学生の採用方針の折り合いをどうつけてゆくのかと言う問題が残ります。ロータリアンの叡智が必要な時だと思えます。



## ガバナー日記

8月18日(水) 昨日から第2800地区14名のインターアクターが藤川享胤 P.G.を団長として、池田徳博新世代委員会委員長、佐藤重勝インターアクト小委員会委員長、顧問教員の皆さんの引率のもと当地区を訪問され、堀田昌資委員長はじめインターアクト委員会の御世話で北海高校インターアクトクラブの皆さんと交流会を持たれた。大変活発に交流されたようで皆さん喜んでおられた。今日は登別温泉に宿泊されるので伊奈代表幹事、上田担当幹事と一緒に挨拶に伺った。かけ足で北海道の短い夏を楽しまれたようだった。

8月19日(木) 今日美唄におじゃまして土谷茂樹第3グループガバナー補佐と御一緒に公式訪問。美唄RCは退会防止に悩んでいる。高い会費や財団等に対する寄付と関係はありはしないか委員会が多くて消化出来ないでいる。RIの方針が財団重視に偏寄ってはいないか等ロータリーの現状について疑問が寄せられ時間が足りない位意見の交換が出来た。岩見沢RCは現在98名の会員数で100名を目標に努力をしておられる。会員数が多く委員会活動がセクショナリズムにおち入らない様に理事会で各委員会活動を集約し会員に周知しておられるとのことで参考になった。最近ローターアクターの入会が少なく活気がないことで悩んでおられる。岩見沢東RCは退会防止に悩んでおられる。経験豊かな情報委員の活用をお願いした。また会員候補者に対して月4回の例会がネックになっているのではないかと疑問があり、また引き合いに出されるライオンズクラブも最近会員数を減らしている現状から親睦と奉仕活動の調和とクラブ内の「和」について意見交換ができました。合同例会では今日も職業奉仕と倫理の向上について意見を述べさせて頂いた。熱心に聞いて下さったことに感謝。



8月21日(土) 地区会員増強研修セミナーが開催された。RI会員組織コーディネーター高橋文夫氏(D2800・パストガバナー)は御講演で、「世界中における会員組織の増大と1本化」を含む「長期計画目標」が6月の規定審議会で圧倒的多数で承認された。このことは会員組織の退化がロータリー活動にとって重視されていることが窺える。今こそ原点に戻って「超我の奉仕」を皆で実践し地域社会のニーズを重視した活動・女性・青壮年と会話が深まる活力あるクラブ作りが求められる。今、国内で地域経済が低迷していることから会員数を減らしているが、この厳しさをクリアして組織強化をはかることがロータリーとして真価を発揮する所似だと思ふ。熱意を持って実践することが解決につながると求められ興味を持って拝聴した。その後の討議でも活発な発言があり参加者の真摯な態度に感謝したい。



8月23日(月) 丸山淳士ガバナー補佐と御一緒に札幌南クラブを訪問、須田会長から伝統的な「なごやぎの精神」でクラブが運営されている。ひまわり委員会があり献身的なボランティア活動をしていて陽の当たらない奉仕団体に対して支援をしている。今年度は次世代の育成を促すような交流を考えているとの御説明を頂いた。例会はパークホテルの内装が一新された気持ちのよい会場でなごやかに終了した。

8月24日(火) 今日土谷茂樹ガバナー補佐と御一緒に江別市民会館で江別クラブ・江別南クラブ・当別クラブの順に会長・会長エレクト・幹事さんと懇談をした。江別RCは家族に理解されるクラブ活動として家族と一緒に菓子造りや料理教室を楽しみ、青少年交換留学生の受け入れ



No. 9  
Date 04.10.1

にも役立っている。また識字率の向上を目的に「ネパール・日本友情学校」の整備に協力して現在400～500人が通学している。社会奉仕活動にも積極的であった。江別南RCは創立記念例会に、やむなく退会した旧会員を招き旧交を温め会員増強の道作りをしたり、社会奉仕に積極的で友愛夏祭りに出店、スノーフェスティバルの雪像作り、雪解け時の市内清掃、幼稚園バザー参加に汗を流しておられた。当別RCは近隣のロータリークラブのないエリアで移動例会を開いて理解を深めたり、スウェーデン交流センターとの交流を深め国際親善に努めている。そして地域密着形のクラブ運営を目指している。



8月29日(日) 青少年交換学生帰国報告会及び歓迎会がアークシティーホテルで開かれた。帰国学生16名と受け入れ学生4名、ホストファミリーの皆さん、教員、日本語講師、ローテックス野沢委員長始め青少年交換委員、見延米山学友委員長、奥貫新世代パスト委員長等、大勢の御出席があった。帰国学生のスピーチは短期、長期を含め成長のあとが感じられ頼もしくロータリーとの絆が深まった。学生達やローテックスのパフォーマンスも若さが強調され大変楽しいもので和気藹々のうちに終了した。



8月30日(月) 財団法人ロータリー米山記念奨学会2004年度第1回評議員会が11:30～15:00ホテルパシフィック東京で開かれた。台風の日本縦断のため九州・四国・中国地方の評議員で出席出来なかった方々もいらした。15:00からのフォーラムも中止となった。

会議は2003年度事業報告及び収支決算書の承認、2004年度収支予算一部修正案と寄付行為一部変更を承認した。また林 保順(マレーシア、現三菱総研勤務)米山学友のスピーチがあり日本・アセアンの学友意識調査の結果から、魅力として日本の学術レベルが高い・留学生活に満足・職場で日本語が役立っているを上げているが、しかし英語圏はもっと魅力がある。従ってPRとサポートが必要で大学の国際競争力の強化と卒後の就職支援の問題をあげていた。

9月7日(火) 第3グループガバナー補佐の土谷茂樹さんと御一緒に栗山RCと栗沢RCの公式訪問で、栗山パラダイスヒルズホテルにお伺いをした。栗山クラブは7月に2回例会後全員で交通安全啓蒙運動と道路清掃活動を展開。8月には2日間に亘り、地元は元より近隣の中学校に呼び掛け野球大会を盛大に開催する等、地道な活動で地域社会に貢献しておられる。栗沢クラブは5月に40周年記念式典を終えたばかりで一息ついたところであるが、会員数の減少に悩みつつ高齢者や福祉関係に強い関心を持って、交流及び援助を行っている。

合同例会後、道立福祉村で記念植樹をさせて頂いた。施設長の本庄会員の御案内で施設の様子を見学させて頂いたが、脳性麻痺による障害者の方々の手厚く介護されて障害と戦っていることに感動した。



## 地区会員増強研修セミナー報告



会員増強委員会

委員長 佐藤 秀雄(千歳PG)

平成16年8月21日(土)12時から16時30分まで北海道医師会館に於、地区会員増強研修セミナーを開催した。出席者は、RI会員組織コーディネーターの高橋文夫氏(98-99年度のPG、山形RC)、遠藤秀雄ガバナー、伊藤長英地区研修リーダー、地区増強委員の各ガバナー補佐、各クラブから会員増強委員長が参加し総勢80名のセミナーとなった。

高橋コーディネーターからは世界的にも会員が減少傾向にある。昨年RIの退会者約8千人であり、その内、実に4千人が日本のロータリアンで占められていると報告された。日本では女性会員が増えているが、もっと女性会員を増やす努力をすべきだと云われた。何故なら女性会員は入会したら余程でない限り退会しない、だから女性会員を増やすべきだと強調された。日本のロータリアンは1996-97年度をピークに会員数を減らしてきた。多い年度は1年間で5千人もの会員が退会をしている。昨年度は3千強の退会を見ている。私は最大の原因は経済不況だと思う。何故ならば一昨年まで毎年5千人近くの会員が退会していたが、昨

年は本州において会員減少に歯止めがかかったように思う。景気が回復してきたからである。北海道経済は未だ真っ暗なトンネルから抜け出していない。従って会員の減少に歯止めがかからない。不況だからと言って会員増強を疎かには出来ない。さすれば増強に如何なる手立てがあるのか。増強はこれだ、こうすべきだと言う強力な方法は存在しない。ただ云える事は時のリーダー達が熱意と情熱をもって新会員を発掘するに有る。それに入会された会員を徹底的に教育することである。勿論クラブのレベルアップの為に全会員のロータリー研修は必須である。

最後に質疑応答に入り会場から各クラブを法人化し責任の所在を明らかにすべきだとの意見、ついで世代間のコミュニケーションが阻害されている、例えば長老といわれる人達と若い世代との調和が上手くいかない。又、増強と同等に退会防止も重要だ、RCは誰のために存在しているかを認識しなければならない、週1回の例会を月2回にすべきだ、年会費軽減も必要との意見。新しく入会してもらうべく勧誘に行ったが断れたとの意見。RC創立12年目にして創立時勧誘し断られた新人が入会してくれた、少人数のクラブだが男女の差なく活動している等々の意見があった。

熱心にそして真摯にセミナーに参加していただいた方々に感謝申し上げ報告とする。



## 10月は職業奉仕月間です



### 職業奉仕月間にちなんで

#### 職業奉仕委員会

委員長 富岡 公治 (札幌西北)

1. ロータリー創立の原点であり基礎的根幹である職業奉仕  
ロータリーの創業者であるポール・ハリスのロータリー  
創立の動機は、異なる業種の実業家と職業人の交際と  
相互扶助の輪を形成することでした。

2. ロータリーにおける職業奉仕 (Vocational Service)  
ロータリーにおける職業奉仕とは、ロータリアン以外  
の人たちに“ロータリーの心”を分かちつことであると  
言われています。

つまり自らの職業を通じて地域社会の人々や世界  
の人々との間に善意と友情溢れた関係を創ろうと言うのが  
ロータリーの職業奉仕と解釈されています。

次にロータリーは実践運動であると言われていま  
す。ロータリーの哲学は単に主観的なものであつてはな  
らず、それを客観的な行動に移さなければならないと提  
唱されています。

3. 職業奉仕の理念の誕生

「ロータリーは決して宗教でもなければその代用物  
でもない。それは古くから存在する一道德観念の現代生  
活における、ことに実業職業生活における実践に他なら  
ないのである」これはポール・ハリスの『ロータリーの理  
想と友愛』の一節であります。

初期のロータリーは相互扶助をいう会員同士の知己  
の追及であったことは否定できません。が、時をおくこ  
となく、相互扶助の制度に反省が起こります。

ハリスは「相互扶助の観念は一般的奉仕の観念に世  
を譲った」と表現しています。

この相互扶助の制度にロータリーの奉仕の原点、な  
かなく、職業奉仕の原点があると考えます。

4. ロータリーにおける職業倫理

1905年ロータリー創立以来、ロータリーは常に高い  
職業倫理による職業奉仕理念を根幹としてきました。

「ロータリーの綱領」では、事業及び専門職務の道  
徳的水準を高めること、あらゆる有用な業務は尊重され  
べきであるという認識を深めること、そしてロータリア  
ン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務  
を品位あらしめることを呼びかけています。

1910年に開催された第1回ロータリー連合大会では、

シエルドンが作成したロータリーの標語の「最もよく奉  
仕する者、最も多く報いられる」が提唱され、後にロー  
タリー標語として定められ最も良く知られているロータ  
リー標語です。

1943年国際ロータリー理事会はハーバトテラの作  
成した「四つのテスト」を職業奉仕の理念の公式要素と  
定めることを決議し、これによってロータリアンは職業  
奉仕の目標に達するための基礎基盤を得たといえます。

「四つのテスト」は個人や企業の行為が真実、公平さ、  
親善、品位あるものかを評価する際の指標をロータリア  
ンに提供しています。

5. ロータリーの公式標語「He Profits Most Who Serves  
Best」「最もよく奉仕する者、最もよく報いられる」の  
最近の動向

平成15年4月25日札幌RC、札幌南RC、札幌南  
RC、札幌あけぼのRC、4クラブ共催の例会にて、時の  
ラタクルRI会長は、板橋RI理事をはじめ、アジアの  
諸理事のRI理事会における献身的な努力で上記標語が  
残るに至ったことを明白かつ切実に卓話で話をしており  
ます。

ポール・ハリスをはじめとするロータリー創始者の理  
念は確固として永遠に守り抜かなければなりません。

6. 今年度の遠藤秀雄ガバナーは各クラブ公式訪問スピー  
チにおいて、本年度のアナハイムのガバナー研修におい  
てラタクルRI元会長とグレン・E・エステス現RI会  
長がロータリー創立100周年の今年こそロータリー創立  
の原点に立ち返り、職業奉仕の理念をロータリーの根幹  
として高く掲げなければならないと強調している旨語ら  
れました。

第2510地区の当地区においても各クラブの会員数減  
少が重大問題となっていますが、職業奉仕の理念を高く  
掲げることによってロータリーの活動を広く宣伝し、ロ  
ータリーの活力をより大きくすべきものと考えます。

7. 10月ロータリー職業奉仕月間

10月はロータリーの職業奉仕強調月間です。

地区内各クラブが職業奉仕について語り合い強調してい  
ただくことを心より希望致します。



## 「職業奉仕」よ、永遠なれ。

職業奉仕委員会

カウンセラー 石垣博美(札幌セントラル, P G)



### (1) モットーの論争

ロータリーには2つの大きな公式標語がある。

1つは「Service above the self」(超我の奉仕)であり、もう1つは「He profits most who serves best」(最もよくサービスするものは、最も多く報われる)というものである。2つともロータリーの蒼創記に生まれた格言であり、それぞれに美しい。

ところでこの第1のモットーは、一見して明らかに利己主義よりも利他主義を強調しているのが明快である。しかし、もう1つの方は反対に、自分にとって最も多くのProfitをもたらすものとする精神的利己主義がある。なぜならば、物質的・金銭的に利他的行為を提供し、その見返りに他者の喜ぶ姿をみて自己が投入したコストを顧みることなく、自己の精神的ダンディズムをみたすことは、「社会的動物」としての基本的欲望の1つであろう。

その意味から、上述の2つの標語が唱えているポイントは、人間の利己・利他の衝動の「自己統一」のかたちとして「補完的關係」と見ることができるといえる。

私は、このような「2面性」「両義性」の展開のなかに、ロータリー哲学の「柔層性」があり、この哲学体形の根幹を示すものと信じているが、この点の詳細については別稿にゆずる。

### (2) なぜ今、職業奉仕か

ところで今、日米のロータリーが争っている論点は、こうしたロータリー哲学の基本の問題ではない。第2の「Profit」についてである。というのも、ロータリー草創記以来この人間集団の「金看板」(道下俊一 P G のディスカッションペーパー、これを以下 D P と書く、2003年)として愛唱されたこのモットーが1950年(デトロイト)の世界大会で正式標語となったのに、それ以後今日までのおよそ半世紀は「国際奉仕」の華やかさに圧倒され、論ぜられることが少なくなった。

(橋本讓 P G・倉敷の D P、2004年)

のみならず、3年毎の「規定審議会」ではここ20年間くらいは、回を重ねるごとにこの第2モットーを廃止せんとする動きが強くなってきた。それを受けて日本のロータリーは、職業奉仕の復権をめざして、昨年11月のゾーン研究会では道下俊一が D P を発表し、ついで今年5月大阪世界大会では橋本讓が「Let's think better of our Motto」の D P を読んだ。6月にシカゴで開かれた「ロータリー憲法改正会議」も我々日本からの代表団は、田中毅(兵庫)黒田正宏(八戸南)の用意周到なインストラクションが、この会議での日本チームの活発な発言を引き出した。今までにはみられなかった日本代表議員たちの発言力に、アメリカ人もびっくりしたのではな

かったかと思う。

ともあれ、今回の規定審議会で、日本は我々の立場を強く訴え、あの第2モットーを廃絶させようとする欧米の動きに歯止めをかけることに大成功をおさめた。ひとえに菅生 R I 理事および日本ロータリー上層部の方々による指導的オリエンテーションの賜であった。といて、一言いわせていただければ、3年後の同会議(たぶんシカゴで開催される)に向けての準備を新規の戦略戦術に重点をおいたオリエンテーションを含めて進める必要がある。

(ガバナー月信9月号、2004、拙稿シカゴ・レポート参照)

### (3) シェルドンか、コリンズか。

我々地区代表議員がシカゴへ出かける前の、オリエンテーションのある席上で、菅生 R I 理事は、「シェルドンの言葉のほうを第1標語にしたほうがよい」と熱っぽく述べたことがある。これは大変すぐれた見識ではなからうか。久しぶりに心に響く言葉を聞いた気がした。そこで以下に現在までのところ私の到達した一つの仮説を述べる。ただし、あくまで私個人の体験にもとづく感覚的な意見であることをご承知いただきたい。

1912年頃ベン・コリンズは最初「Service not self」という標語を提案したらしい。後に「Service above self」に改められ、今日まで日本では「超我の奉仕」の訳で「第1モットー」とされてきた。確かに、この言葉は堂々たる博愛主義の表現であり、時空を超えるもので、普遍的である。したがって古今東西、ほとんどの道徳的教訓でうたわれており、人々に称賛されてきた。それはひたすら私利私欲を排し、世のため、人々のため、さらには国家のため、人類のために奉仕する人間像をすずめる。しかしながら、このような行為は万人が真似のできる行為ではない。具体的イメージとしてたとえば「雨ニモマケズ」の詩人、宮沢賢治のような人々を考えてみよう。「ソウユウモノニワタシハナリタイ」とされている人間とは、私欲物欲をはなれ、他人の身の上を心配し、奉仕を生きがいとする人間のことである。このような人間になることは、至難の業である。といっても勿論、我々ロータリアンはこの様な杓子定規の端落の解釈でこの命題を受け取っているのではない。高い理想として愛誦しているものであろう。ただこのような教えは、ロータリーに限らないのであって、その点、第2スローガンと決定的に違うのである。

標語の第1が「ギブ」(奉仕によって他に与えるもの)を中心に考えているのに対して、第2のそれは「テイク」(受けとるもの)が中心だ。受けとる「プロフィット」が問題だ。その中身は金銭的・物質的なものか。それとも精神的なものか。それが問題だ。しかし、ここでシェルドンがこの標語にどのよ

うな意味をこめていたのかの詮索はやらないことにしよう。なぜなら、もともとこの命題は多義的であって、あいまいだ。したがって、イギリス人がいうように、「このグローバリティの時代にこんな悠長なことはいっておれない」と昨今の世界的なビジネス界の厳しさからの反対も十分理解できるだろう。また、経済学の理論モデルの「効用や利潤の最大化モデル」からみても理解不能である。

だがしかし、上の「プロフィット」(利潤)を広義に拡大解釈して「精神的なもの」をも含めて考えてみると、この命題は美しく甦ってくる。

ポール・ハリスは述べている。「人が漠然と考えていたことを、Sheldonは明確にしたのである。すなわち、ビジネスの成功は非情冷酷な貪欲や私利私欲の根性によるものではなく、サービスの法則が適用されることの結果である。...1908年のある夕方、行きつけの床屋から出てきたシェルドンの頭の中には、“He profits most who serves the best”という言葉が浮んでいた。これはあまりに通俗的ではないかと難ずる人がいる。また、ここで“profit”といっているのは物質的なものか、精神的なものか、問題にする人も多い。が、しかし私は、シェルドンは精神的なものに主眼をおいていたと信じている。」

シェルドンはミシガン大学卒業後、シカゴのビジネスを体験し、「サービス」という言葉で表現される企業行動に着目し、それが成功の鍵だと結論づけたといわれる。曰く、「価格を安くするだけがサービスではない。店主や従業員の顧客への態度や気配り、商品や業務にたいする責任、顧客に与える満足度と公平感など、これらのすべてがサービスである。これこそが企業の持続性・発展の唯一の方法である。」シェルドン・モデルの方が「サービス=奉仕」の精神的な報酬を尊重するもので、ロータリーに独特である。「超我」のコリンス・モデルはこれに比して、一般的であり、強力なアピール性はあるが、ユニークさが足りない。この点、シェルドン・モデルはきわめてロータリーならではの教訓だ。菅生説を支持する所以である。

#### (4)「ロータリー時代の再生」

ポール・ハリスは「ロータリーの時代」という本を書いた。それからおよそ100年たった今、再び「ロータリーの時代」が強力によみがえってきたと思われる。

具体的にそれは今後予想される職業イメージの変化から生じてくるようにみえる。明白なことは、これまで100年続いた工場労働、それに伴う組織的な事務労働が大幅にリストラされる新時代に入ったことである。代わって一方には知的職業、他方にはサービスにつながる技能的・技芸的な職業が増大するだろう。いずれも本質的に階層的組織(伝統的なピラミッド型の職務構造)には、なじまない。年功序列にはもろろん、労働時間の長さでは評価できないような仕事である。具体的にいえば、科学・技術やそれを支える基礎科学、法務や金融、デザインからなる知的職業については将来の繁栄がすでに予告されている。注目すべきは対人サービスの分野であって、余暇や娯楽、介護や看護、流通や運輸など、膨大な

領域にまたがる職業も成長を約束されている。さらに、医療や教育、各種の顧問、相談室など知的職業の一部もサービスの性格を帯びるだろう。

こうみえてくると、明らかにこれからの日本社会では(アメリカもそうだが)「プロフェッショナリズム」が尊重される時代へと変わってゆくのである。IT革命とグローバリティ化の波がじかに家庭の茶の間に入りこんできた。21世紀の混沌が社会生活のすべてに変化をもたらしている。このようなポスト工業化社会になると、ボランティアとしてのサービス、たとえばロータリーが贈与として行うサービスが、どんどん産業化される。またはNPO化されたりする。そうしたサービスの社会的需要はボランティア側からも、産業としての生産面から開発されるが、私の個人的体験では前者がより大きな比重をしめるのではないかと思われる。いずれにせよ、産業的サービスと奉仕としてのサービスの中間的な営みの増大が、現在かなり広範な職業分野で起きているのではなからうか。

さてこうなると、サービス産業のサービスの分野でも単なる等価交換にとどまらず、消費者への一層の気配りが要望されるようになり、いわば贈与の性格が加味されるようになる。その見返りは評価であり、名誉であり、そして友情であろう。とするとそれは、昔、「天職」として敬われた近代以前の医療や教職に似た仕事であるだろう。そしてそれは、ロータリーの求める質の高い、そして品格を向上させる職業奉仕の姿にちがいない。高齢少子化と女性の社会進出と相俟って、こうした「天職」の領域は益々、広まってゆくのではないだろうか。いよいよ21世紀はロータリーの出番の時代になってきた。

#### (5)ロータリー-日米戦争

以上の結びとして、私はこれまでのところ第2のスローガンは第1とすべきだと考えている。職業倫理において精神的なるものを強調する方がロータリー奉仕の精神にふさわしいからだ。アメリカのロータリアンはそのシェルドンの言葉は、アメリカの科学主義、合理主義からみて受け入れられないという。ひと昔前まで続いていた「日米貿易摩擦」に似ている。

しかし今度の「審議会」で、たまたまアリゾナのPG、フィリップ・シルバースと一緒にあった。永年の友人なので、私たちの立場に同調してくれた。奥さんのカサリンも、“Rotary is not all about money”といってくれた。また、これまた偶然のことだが、オーストラリアのメルボルンから来ていたIan Knightも同調してくれた。さらにまた、ロータリーの会長の標語には、精神をうたうものが多い。カリフォルニアのR・キングは、数年まえ、“Mankind is our business”といった。私だけだろうか。これにはしびれた。なぜなら、このことばのなかの“ビジネス”には精神の高さを競えといわんばかりの勢いを感じたからである。アングロサクソンのロータリアンのなかに我々日本ロータリアンの「エトス」を理解してくれる人が少なくない。

「職業奉仕」よ。永遠なれ。職業倫理とは何ぞや。職業奉仕とは何ぞや。大いなる論争が地区内のクラブでわきおこることを期待する。

(2004, 9月)



## 10月は米山月間です



### 米山月間によせて

米山記念奨学委員会

委員長 竹原 巖 (札幌北)

10月はロータリーの職業奉仕に関する特別月間であると同時に、米山に関する月間でもあります。日本ロータリーの独自の奉仕活動である米山奨学事業について、より多くのロータリアンの方々に理解を深めて頂くために、1998年より10月を米山月間と定められました。各クラブにおいても米山に関する活動をこの期間に集中的に実施することが多いと思われます。地区委員会としてもこの機会に、会員多くの皆様に奨学事業の意義や目的についてご理解を頂き、更なるご協力をいただきたいと思います。

(財)ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究を志して日本に留学している外国人に対し、国際理解と親善を深めるために、日本の全ロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給援助する事業規模と採用数において最大の奨学団体です。

#### (1) 沿革と変遷

1952年12月 日本ロータリーの創始者である米山梅吉氏の功績を記して、東京ロータリークラブの当時の会長である古沢丈作氏の発案により、1952年に米山奨学制度を設定、1953年より募金を開始し「米山基金」をスタートさせる。東京RC会員並びに関係会社より募金された260万円によって、海外から大学院過程の学生2名に2年間奨学金を支給し、勉学と国際理解の促進に寄与することとする。

1953年9月 奨学生の第1号であるタイ国出身のソムチャード君が来日する。

1956年10月 第60地区および第62地区の年次大会で、米山基金を地区ないクラブの共同事業として取り上げることにした。

1957年9月 国内全クラブの合同事業として「ロータリー米山奨学委員会」が結成され、

全国的な組織となる。その後“月に煙草一箱を節約して”という合言葉によって、会員一人あたり月額50円の寄付金を募る運動がスタートする。

1958年4月 「ロータリー米山奨学委員会」として、全国の大学より8名の奨学生を採用する。

1959年2月 世話クラブ制度を決定する。

1960年1月 会の名称を「ロータリー米山記念奨学会」と改称する。

1967年7月 財団法人ロータリー米山記念奨学会(基本金3千万円)の設立が許可される。  
奨学生 6カ国 59名

1971年2月 米山カウンセラー制度が導入される。

1975年8月 米山週間を4月22日より28日までとする。

1978年10月 米山奨学会への寄付金に対して免税措置の認可が下りる。

1983年8月 10月を米山月間とする。関東に元米山奨学生が組織する「米山校友会」が設立される。

1998年10月 米山奨学生の出身地をロータリークラブ所在国にかかわらず、すべての国・地域に拡大。1999年4月採用からロータリークラブの所在有無による国籍別の資格制限がなくなる。

2001年10月 指定校・大学推薦制度で奨学生募集を開始する。

2001年11月 留学生受け入れ制度100年の記念にあたり、日本政府から留学生交流功労団体として表彰を受ける。

2004年7月 2004学年度 奨学生46カ国 1002名  
累計奨学生101カ国 12206名

## (2) 目的および意義

米山奨学会は、世界中の国・地域より勉学または研究のために来日している外国人留学生に対して奨学金を支給し、彼らの留学の目的を援助するとともに、国際理解と親善に寄与することを目的としております。

政府の奨学金を受給できる国費留学生は限られており、残りの大部分は私費留学生です。これら前途有為の学生に対して援助の手を差し伸べるのが当奨学会の任務です。

在日の留学生援助団体は政府のほか、地方自治体、民間の団体など200を超えるものがあるが、そのなかであって最大の規模と、実績と信頼を受けているのがロータリー米山記念奨学会です。

## (3) 特色～世話クラブとカウンセラー制度

米山奨学金には、奨学金による経済的支援だけでなく、ロータリー・クラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

## 世話クラブ

日本には約2,300のロータリークラブがあります。そのなかのいくつかのクラブが奨学生の世話クラブ

となります。米山奨学生は世話クラブの例会に出席し、ロータリアンとの心のふれあいを通して、国際文化交流および相互理解を深め、ロータリーの奉仕の心をともに学びます。このような点から米山奨学生は、世話クラブの例会に出席し積極的にロータリアンとの交流を深める努力が必要とされます。

## カウンセラー制度

世話クラブのロータリアンのなかから、奨学生のカウンセラーとして最も適任と思われる方を選任していただき、心の通ったお世話をさせていただきます。カウンセラーは奨学生の個人的なケアにあたり、心と行動を通じて奨学生に接していただきますが、米山奨学事業の成否はカウンセラーの役割にかかっているといわれるほど責任は重大です。

寄付金の実情と財政状況・寄付金の使途・減員となる次年度の奨学生採用・表彰制度変更等々、まだまだお知らせしたい項目がたくさんありますが、限られた紙面ですので、次の機会を与えていただきお伝えいたします。

## 11月はロータリー財団月間です

来月、11月はロータリー財団月間です。ロータリー財団のプログラムについて、会員皆様のご理解とご協力をより一層いただけるよう、各クラブにおいて地区委員や財団学友等の卓話を例会に取り入れていただけることを希望しております。

ロータリー財団プログラムへのご質問や卓話希望については、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。

## ガバナー事務所

Tel 0143-82-2510 Fax 0143-82-2512

E-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

## ロータリー財団委員会

委員長 遠藤 正之

Tel 011-821-4011 Fax 011-821-9936

増進担当 大村 孝男

Tel 0123-28-8180 Fax 0123-28-8150

E-mail:ohmura.takao@mf.m-pharma.co.jp

国際親善奨学金委員会 瀧川 哲夫

Tel&Fax 011-706-4151

E-mail : takigawa@let.hokudai.ac.jp

G S E 委員会 山名 善久

Tel 011-662-5334 Fax 011-662-5325

E-mail : y7yamana@coral.ocn.ne.jp

財団学友委員会 山崎 晴嘉

Tel 011-709-7008 Fax 011-709-7009

E-mail : as-yama@jeans.ocn.ne.jp

中島 勉

Tel 011-833-0541 Fax 011-833-0544

E-mail : nakacorp@tky2.3web.ne.jp

補助金委員会 伏木 忠了

Tel 011-272-3777 Fax 011-272-3912

E-mail : kdsk-212@vega.ocn.ne.jp



## 米山奨学生学友会（北海道）のこと

米山学友会（北海道）

会長 陳 省 仁

米山奨学生学友会（北海道）は1998年12月14日設立され、「元・現奨学生間並びにロータリアン間の親睦を深め、財団法人ロータリー米山記念奨学会の事業の発展に寄与し、もって国際親善及び世界の平和に寄与する」ことを目的とした会である。米山奨学生学友会（北海道）において、今年もたくさんの学友やロータリアンの方と交流し学習できた。個人として、色々学ばせて頂き感謝しております。

2003年度の活動は2003年12月初旬札幌ロイヤルホテルで開催した定期総会で始まった。総会後の懇親会は学友18名とロータリアン9名のご参加で和やかな雰囲気の中で交流を楽しみました。総会と懇親会の中で、室蘭地区からの学友ギリ・ラムさん及び、ン・ケアンエンさんから家族懇親会を是非室蘭や登別で開催したい旨の申し入れがありました。

このご提案に対して、役員一同と学友委員会の皆様も賛成して下さったのでほとんどその場で決定いたしました。その後、両氏及び室蘭地区のロータリアンの皆様の奔走と多大な努力によって、2004年6月5日、登別グランドホテルで盛大な家族懇親会を開くことができました。学友及びその御家族25名とロータリアン30名のご参加でした。当日、学友のお二人はもとより、室蘭東RCを始め、第9グループ5クラブのみなさん22名のご参加とご支援のお陰で、とても有意義な親善と国際交流ができました。

他の学友会の活動として、ライラ・セミナーや地区研修セミナーなどの参加と学友会便りの発行である。これからも、ロータリアンの皆様のご指導とご協力を得ながら、素晴らしい交流ができるように願っています。

## 地区委員会

## 活動報告

2004 - 2005年度 R I第2510地区第7.8.9.12グループ  
「社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕活動に  
関する3委員会合同の意見交換会」開催



第7.8.9.12グループ担当 社会奉仕委員会  
委員 菊地 芳彦(苫小牧北)

表記「意見交換会」が一昨年、昨年に引き続き本年度も地区社会奉仕委員所属の苫小牧北RCをホストとして7月17日(土)PM2時~5時苫小牧グランドホテル・ニュー王子に於いて開催されました。当日は公式訪問中ご多忙の遠藤秀雄地区ガバナーをはじめとして伊藤長英PG、第8.9.12グループガバナー補佐、地区3委員会委員長及び委員、そして今回参加対象の第7.8.9.12グループ合計21RCのうち20RCの社会奉仕委員長及び関連委員会委員、会長、幹事の方々総数44名の出席でした。尚、この内27名の方々が「意見交換会」終了後の懇親会に出席されました。

この「意見交換会」は年度はじめにロータリーの社会奉仕活動、特に新設されてまもない地区家庭奉仕委員会と子ども奉仕委員会に関し、地区委員会より意義及び活動状況を説明し、各クラブよりは昨年度までの活動報告と本年度の活動方針を発表することにより各クラブとの十分な質疑応答によって意志疎通を図るために、きわめて有意義な研修プログラムと考えられます。本年度の「意見交換会」開催予定は7月17日第7.8.9.12グループ苫小牧、7月31日第10.11グループ函館、8月7日第1.2.3グループ滝川、8月21日

第4.5.6グループ札幌となっており、今回が本年度シリーズの第1回目となっています。

今回の「意見交換会」の進行は地区社会奉仕委員である菊地が担当し、まずはじめに地区社会奉仕委員会対木正文委員長、2004 - 2005年度第2510地区遠藤秀雄ガバナー、第12グループ藤澤正昭ガバナー補佐、第8グループ蘇田又栄ガバナー補佐よりそれぞれ挨拶と各クラブへの協力の依頼が述べられました。尚、蘇田第8グループガバナー補佐は「近年のローテーションの子供達の悲惨な事件、家庭における親子関係の断絶と虐待という大きな社会問題をRCがいかに切り開いていくかという状況においてこの意見交換会がまことに時宜をえたものである」と述べられました。



次に地区委員会報告に移りました。

(1) 対木地区社会奉仕委員長より、効果的なロータリーの社会奉仕プロジェクトを生み出す要件とプロジェクトの例が述べられましたが、地区委員会の立場からはプロジェクトを考案できないが、個々のクラブの英知から生み出されたプロジェクトを成功に導くお手伝いをする事は可能である事を述べられました。最後に前述の「意見交換会」シリーズの日程 各クラブより提出された2003 - 2004年度実施の社会奉仕報告は約半数のクラブが写真を添付されており、「地区社会奉仕活動一覧表」として、まもなく完成、配布予定であること 各クラブで教育問題を取り上げること をすすめ、その場合は地区より積極的に支援したい事 新設されてまもない家庭奉仕委員会と子ども奉仕委員会活動はようやく各クラブの理解を得て、少しずつ活動が始まっているが、更なる努力を期待したい事を



述べられました。

(2) 地区子ども奉仕委員会米山道男委員長より、地区子ども奉仕委員会発足の経緯、小林ガバナー年度の札幌における予備的活動、佐藤ガバナー年度以降の状況について述べられました。以前の計画では佐藤ガバナー年度に於いて協力会員名簿完成と考えていましたがこれが大幅に遅れているため今年度は更に新規登録の受付、写真も付けてなるだけ良い物を作ろうと考えている事が述べられました。

具体的にはA票(授業協力)、B票(職業体験協力)として、72クラブ中1人以上の登録があるクラブ27、残り45クラブが未登録、現在登録ゼロクラブについては登録数を会員数の10%(A票5%B票5%)を目標として頂きたい。今後の活動計画は

1. 活動方針 会員が小中学校に出向いて授業をする  
小中学生が会員の職場で職業体験をする

2. 活動計画 (a) 3委員会合同意見交換会」における会員への広報

- (b) 協力会員名簿作成：第1冊を近日発行(現在登録会員：授業協力144名、職業体験協力92名、合計236名)グループ別登録数第7グループ27名、第8グループ13名、第9グループ41名、第12グループ20名

第1冊発行後も将来の第2回発行に備え、引き続き登録要請

- (c) 教育委員会と小中学校への広報

- (d) 会員の授業と小中学生への職業体験実施

尚、実際に総合学習時間へのカリキュラム編入のためには、学校行事編成の関係上、本年12月までに担当委員が協力会員名簿を持参して、各地の教育委員会及び該当学校を訪問する。

### 3. 地区家庭奉仕委員会

大場公孝委員より、以下の要旨が述べられました。当地区には3年前に家庭奉仕委員会が日本で初めて発足しました。現代日本は社会的にも家庭的にも混乱のきわみにあり、児童虐待、家庭内暴力、不登校、ひきこもり、小中学生の犯罪が毎日のように報道されています。この状況において「家庭は社会の最小構成単位、家庭の平和なくして社会の平和なし」との基本概念に対して「ロータリアンは家庭から」みつめ直すべきであるという事が端緒となっています。当委員会発足後、勉強会、フォーラム等を重ねてきた結果、以下の実践メニューが推奨されました。

例会卓話：自分達の家庭奉仕を見直すために  
クラブフォーラム：2月第2週の家族週間又は例会フォーラムで、家庭奉仕を取り上げて頂きたい

2003年2月28日、第4・5グループI Mパネルディスカッション「慈愛の種は家庭から - 家庭生活を豊かにする方法について」編集ビデオ(25分間)の活用 地区家庭奉仕委員会勉強会(今年度2回予定)

地区の各グループでワークショップ、シンポジウム実施

親業訓練セミナー開催(有料)

「家族奉仕」に関連して:(a) 家族参加例会、家族親睦会企画 (b) 社会奉仕事業に家族参加呼びかけ

尚、家族奉仕とはロータリアンは皆1つの家族であり、ロータリー関係者の家族を大事にしようという事、親睦委員会が対応、家庭奉仕は社会奉仕委員会が対応

以上の地区3委員会報告後、出席クラブよりそれぞれ前年度までの活動報告と本年度活動方針が報告されましたが、近日中に発行予定の「地区社会奉仕活動一覧表」に大部分記載されているため割愛します。なお、地区子ども奉仕委員会活動をすでに室蘭RC、登別RCで積極的に行なわれていますが、その他のクラブが



らも今年度の活動着手が表明されました。質疑応答では室蘭北RCで提唱のRACが実務担当会員の不在、4年生大学、2年生短大の2つの大学の学生が会員のため活動の一貫性が途切れるなどでRAC会員数激減に対し、伊藤PGより地区ローターアクト委員会への直接相談がすすめられました。これに関連して、米山委員長からRAC会員の30歳年齢制限に関わる問題点についても伊藤PGに質問がありました。

最後に米山子ども奉仕委員長と伊藤PGより、地区の新委員会活動に対しクラブで新委員会を作る必要はなく、既設の委員会で実際の活動をする事でよい事が述べられました。

## 第2800地区 インターアクトクラブと交流



インターアクト委員会  
委員長 堀田昌資(札幌東)

第2800地区(山形県)のインターアクター14名は藤川享胤新世代委員会カウンセラーを団長として顧問教師7名、池田徳博新世代委員長、佐藤重勝インターアクト委員長と共に8月17日に札幌をおとずれ、当



交流会のーコマ、ケーキと飲み物で話がはずむ

2510地区のインターアクターと交流会を行いました。

当インターアクト委員会では夏休み期間になるため、北海高校のインターアクトクラブが中心となって準備を整えインターアクター33名、顧問教師2名、インターアクト委員長、副委員長2名が出席しました。15時30分頃から17時頃まで2800地区各校のインターアクトクラブの活動状況の紹介やその後の質疑応答も活発に行われアツと言う間の90分でした。2800地区では地域のお祭りでのボランティア、阪神淡路大震災慰霊用のろうそく造り、老人ホームの訪問などの地道な活動が紹介されました。2510地区からは北海高校が5年程前から続けている韓国木浦市にある「木浦共生園」との交流状況をスライドにより説明し、2800地区インターアクターの関心を集めていました。

また、お互いの質疑応答も活発に行われそれぞれの活動をさらに理解しあったり、方言についての質問が出て会場がドット沸くなどなごやかで楽しい交流会となりました。

2800地区のインターアクターは18日、札幌、小樽市内を見学後登別で宿泊されたため、当2510地区の遠藤秀雄ガバナー、伊奈昭夫代表幹事、上田博子幹事がホテルにメンバーを訪ね、歓迎の挨拶を交わされました。



登別グランドホテルに宿泊されたR12800地区の皆さんを、当地区遠藤秀雄ガバナー、伊奈昭夫、上田博子幹事が訪ねて親しく交流しました

## 家庭奉仕事業の紹介



家庭奉仕委員会  
委員長 和田 壬三(札幌南)

家庭奉仕委員会が、当地区に設置されてから三年目です。現在、我国の家族の関係が諸外国との対比において極めて異常であることは、日本教育研究所の数年間の数次にわたる各種アンケートの結果や、東洋大学の中里至正教授のアメリカ合衆国、トルコ共和国と日本の中高生に対するアンケート結果や、我国の離婚率の増加、100万人とも言われる膨大な数の引きこもり成人の存在、小中学校における12～13万人の登校拒否児の存在、幼少児の異常な犯罪行為の増加などといった社会現象に端的に表れている。

そんな中で、地区内各クラブ並に各グループ内で、如何にこの問題に取り組んでいただくかが当委員会の本年度の最大のテーマで、名案はないかと悩まされてきたところです。

社会奉仕連絡会や、地区協議会に於いて、問題提起をさせていただきましたが、順調に家庭経営をされてきたロータリアン各氏には、危機感が伝わり難かったようで、反応は今一つでした。

この度、新札幌ロータリークラブの子ども家庭奉仕委員長から、右記の活動方針をしめされて、こういった切り口でこの問題に取り組んでいただけることを知り、勇気づけられました。ご参考までにご照会申し上げます。

## 子ども家庭奉仕委員長を拝命して



子ども家庭奉仕委員会  
委員長 清水 昭子(新札幌)

ソクラテス、アリストテレス、プラトンの時代の教育とは、字の通り教え育てる教育であったようである、と教育者のお話を伺ったことがある。教育は子どもにある個性、能力を引き出し、伸ばし、将来の方向性を示し、生きる目的、人生の意味、価値、喜び、希望、勇気、人に対する信頼の仕方、神様の存在等を教えるはずのものだったと記憶している。

毎日のように報道されている子供たちを囲む教育状況が、いかに難しい問題を抱えているか。現代の教育には「育」が無いのかも知れない。子供の心を育み、子供の前途に本当に光を与えるには如何したら良いのか。今ここでもっと良く子供を見つめて、基礎的な躰を何とかしなければ大変なことになるであろう。私たち子供や孫を持つものにとって、今すぐ実行しなければならぬ事を検証する年に行きたい。

偏った方向に走り続けている現代の幼児教育をもう一度問い直す必要があるのではないか。このような現状の中でも神様が与えてくださった一人ひとりの個性を生かし、その子らしく育てることを教育目標にしている札幌で最も歴史と伝統のある幼稚園で考察させて頂きたい。一年を通じてどのように育っていくかを共に学び遊ぶ機会を作りたい。

フランソワーズ・サガン女史は子供の上手な育て方というエッセーの中で、子供は愛されなければなりません、そこには信頼と自由が生まれるのですから、でも「愛する事」とは難しいことです。と書いていた気がする。私が長女を出産したとき、実家の母が親は過

去、わが身は現世、子は未来、後生大事にわが子を育てよ。子育ては2つ叱って3つ褒め5つ教えて人にせよ。と初孫の顔を見ながら教えてくれたことをすっかり忘れていた。その後子育てに翻弄されている私に、母は上記のことを話してくれ、今度は忘れないようにと注意された。しかしまた長い年月忘れていた。このたびのテーマに出会い、今は亡き母の言葉を改めて思い出し反省もしている。

この委員会は初めてスタートする委員会です。何故今、子ども家庭奉仕と命名しなければいけなかったかを私なりに考えてみることにする。自分の軸足をしっかりしておくためにも。スタート前の整理である。

私の家庭を振り返ったとき、主人にも子供達にも懺悔の気持ちでいっぱいである。子育ても妻としても精一杯頑張ってきたような気がするが、自己満足ではなかったのかと、自問自答することがある。主婦も母親も大好きで、私には向いていたと思う。しかし開業医の妻として、経営者として仕事をするようになった段階で、子どもも主人も24時間家庭に奉仕してくれる人がいなくなったことになる。いかに睡眠時間を短くして頑張っても所詮専業主婦にはかなわない。

開業の準備を始めてからは、中学3年、高校1年の子どもたちにとってそれまでとはあまりにも格差のある家庭生活に馴染むのは大変だったに違いない。学校から帰ると、手作りのおやつを食べながら子どもたちから幼稚園や学校での出来事を話してもらって時間が私にとって至福のときで、それが私たち親子の慣習だったのだから。

年齢的にも精神的にも若かった私は、三年間幼稚園に通わせるのが忍びなくて一年間だけ通園させた。とにかく子どもたちと一緒に過ごしたかった。今振り返ってみると十分に親を楽しませてくれた。あの時の数年間で一生分を味わわせてくれたのかもしれない、と最近思えるようになった(随分色々なことを子供たちと楽しんだように思う)。

息子が長じて医学生だったころ、うちの母親はきつ

い、一度も何々をしてあげるから医者になって、と言ってくれたことも無い、合格したらこれを買ってあげると言われた事も無い、成りたいなら力を貸してあげるというくらいで、友達の親のように鼻先に人参をぶら下げてくれたことは一度も無かったと、友達に言ったそうである。この程度の甘ったれの息子が今は2児の父親である。自分が幼い頃やってもらえなかった数々のこと、例えばボール投げ、公園の散歩等々を最大努力して息子たちに「させて」もらっている。

しかし最近の世の中の傾向として過保護と盲愛がまかり通っているのも事実である。勿論両極端の場合もあるが、我々の周囲で一番目に付きやすいのが過保護と盲愛かもしれない。私を含めての話である。

わが子の時には「育」を忘れてはならないと念じ続けてきたが、孫となると冷静に子供の心を育み子どもの前途に光を与えるにはどうしたらよいかと、私自身思い続けているであろうかと自問する日々である。

アーチャマ(私のこと)の子になりたいと事あるごとに訴える孫は確かに可愛い。目に入れても痛くないとはこのことなのだと気付いた。しかし母親にとってそのことがどんなに辛く悲しいことかも汲み取ってあげなければとも思っている。盲愛しない掟も作っている。

ひとつ、何事も初体験は親と体験してもらおう

ひとつ、子どもだけでお泊りさせない

ひとつ、M・Sまで送っていても必ず玄関で別れる

ひとつ、帰るときは姿が見えなくなるまで見送る

ひとつ、親の教育方針には口を出さない

しかし、4歳を迎えようとしている彼は悪いと分かかって悪さをすることがある。それを見つけたときは絶対に許さない。体罰は与えたことは無いが、膝に抱いて理由を聞くことにしている。泣いても許さないことにしている。一度だけ私から逃げようとした彼に、悪いことをしても怒らないアーチャマのほうがよいのか聞いたことがあった。孫は即座に、イヤ、怒ったほう

がいいと言って、自分から私の膝の上に戻ってきた。4歳未満であっても、事の善悪を理解していると確信している。

彼との最後の約束は決してうそを言わないということ（いつの日か破られるときがあるに違いない。しかし今の彼は「アーチャマは絶対うそは言わないんだ」と病院の職員や親類の人達に話したことがあったそうだ）

彼は最近内緒の意味を覚えたようである。これ内緒なのと前置きしたときは、私のほうからそのお話は聞かないよ、ということにしている。半年前には「内緒ってなあに」～こんな疑問を連発する子だったのに、いつの間にか成長しているようである。

「アーチャマは内緒も嫌なの？」と孫。「そーよ」と私。聞きたい気もするが我慢して「内緒なんでしょ、言っては駄目よ」「ウン、わかった」といって首に抱きついてくる孫が可愛い。

人間の成長とは面白いものである。わが息子も小さなときトランプのウソを姉に教えられ、僕出来ないよと泣き出した子であったが、今は生きる知恵として少しのウソを立派に使いこなしているようである。

なんと大変な委員会だろうと思っていたが、私こそが今一度教育を考える必要があったのかもしれない。とにかく頑張ってみることにした。

#### <選考基準>

下記の選考基準で幼稚園を選ぶことにする。

- 1、札幌で一番古く歴史と伝統がある
- 2、創設以来キリスト教精神に基づく保育をしている
- 3、異年齢のクラス編成により少子化の現代において貴重な体験をさせている
- 4、新札幌R・Cと至近距離にあり交流しやすい

以上の理由から北光幼稚園で検証をし、園児と共に学び、遊びの中から何かを見い出して行きたい。

#### <活動基本方針>

- 1、幼稚園の先生にR・Cテーブルスピーチをしていただきたい。テーマは例えば「最近の幼稚園児について」「神の存在を子共の中に育むには」など。
- 2、私たちが園を訪問し園児と交流する。園児から歌を習い、私たちのロータリーソング（「手に手を」）を教えることから交流を深める。
- 3、小学生になったらエコノートの活用を依頼する（担当者から話す）
- 4、クリスマスには子供たちの好きな歌のCDかヒーリングのCDを送る。

#### <予算>

幼稚園の先生に対してのテーブルスピーチのお礼（10,000円）クリスマスプレゼント（30,000円）訪問時のお土産代（二回で10,000円）の合計50,000円。

## 米山評議員会に参加して



米山記念奨学委員会

委員長 竹原 巖（札幌北）

2004年度第1回目の米山理事会並びに評議員会が8月30日(月)に東京で開催されました。2510地区からは伊藤長英米山常務理事・遠藤秀雄ガバナー・塚原房樹ガバナーエレクト並びに地区委員長の竹原巖が出席いたしました。当日は台風の影響で九州や四国地区の委員の欠席が数人見られましたが、全国34地区から100名を越す方が集合し米山奨学事業に関する各議案の討議と承認がなされました。



米山評議員会は年度末の6月と新しい年度に入った8月の2回、国内34地区のガバナー・エレクト・委員長の102名が集合し開催されるものです。会議内容は年度の事業計画や予算について審議・承認が行われます。8月30日の評議員会は昼食後、会議に先立ち米山学友の林保順氏(2790地区学友会会長・(株)三菱総合研究所勤務)が奨学期間ならびに学友会を通じての活動とロータリーとの関わりについてのスピーチがありました。その後の会議では報告事項として 常務理事会で審議された10の案件 専門委員会(財務、学務・学友、広報)の委員の委嘱の件 文部科学省への事業計画・収支予算書提出の件 外部監査の件に関して報告がなされ、議案の審議では 評議員委嘱の件 2003年度第2回評議員会議事録承認の件 欠員となっていた理事選任の件 2003年度事業報告案承認の件 2003年度収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表および財産目録承認の件 2004年度収支予算一部修正案の件 寄付行為一部変更の件が上程され質疑応答ののち承認されました。

質疑応答では、現行奨学金制度の抜本的見直し、募集選考における地区裁量枠設定への賛否について、大

学推薦制度における大学との連携強化、ロータリーの目的・使命を再確認して目標達成に一層の努力をするなど、地区の問題や事例を交えてさまざまのご意見が出されました。また、8月に中国で開催されたサッカーのアジアカップを発火点とする日中の市民感情問題に関しては、このような時だからこそ“ロータリーの寛容と信頼感”の精神で、米山奨学事業を推進することが大切であるとの声が会場から盛り上がりました。

会議終了後、米山事業「第2期米山奨学事業基礎調査～基礎調査から見てきたもの～」のフォーラムが予定されており、「みんなで考えよう...私たちの米山奨学事業」とのテーマでプレゼンテーションがあり、その後Aテーマ「事業使命・選考基準・奨学金額」、Bテーマ「地区裁量枠の可能性」、Cテーマ「世話クラブ・カウンセラー制度」、Dテーマ「米山奨学事業の運営」と4つのグループに分かれてディスカッションが行われた後、全体フォーラムがある予定でしたが、台風により交通機関に影響がでておりましたのでフォーラムを中止し早めの切り上げとなり私たち北海道から参加した4名も早めの飛行機に乗り換え無事帰ることが出来ました。

#### 国際奉仕委員会からのご案内

### 求む！台湾 R I 3480地区台北北新ロータリー・クラブとの親善交流！

R I 3480地区台北北新 R C から当地区に下記のような友好クラブの斡旋要請が届きました。国際交流に関心をお持ちのクラブはガバナー事務所か地区国際奉仕委員会にご連絡ください。

#### 記

趣旨：台北北新扶輪社（ロータリー・クラブ）は2002年5月に設立された会員数約30名（全員男性）の新しいクラブです。同クラブでは第2510地区の同規模のクラブとの友好・親善交流を切に希望しております。

国際奉仕委員会  
委員長 橋本 信夫（札幌西）

会長：王友増氏  
事務所：台北市中山北路2段26巷15号3F  
Fax：(886)2-25813286  
Tel：(886)2-25813019  
例会日：毎週水曜12時15分～2時  
例会場：台北市長安東路2段131之1号5F  
台北水苺楼（レストラン）  
要請者：第3480地区台北城北ロータリー・クラブ前会長  
許廷璋氏  
（台北北新 R C 創設責任者で親クラブ前会長）  
Fax：(886)2-25147866  
Tel：(886)2-26147584



## 第 1 回 補助金委員会報告

補助金委員会

委員長 伏木 忠了(札幌西)

と き : 2004年7月24日(土)

と ころ : 北電力設備工事 3F 会議室

出席者 : 遠藤 秀雄 2004 - 2005ガバナー

遠藤 正之 財団委員長

塚原 房樹 2005 - 2006ガバナーエレクト

菅原 耕治 地区補助金監督委員長

高橋 恒夫 地区補助金監督委員

服部 隆志 補助金副委員長

浅野 元広 補助金委員

山口 登 補助金委員

朝倉 正人 補助金委員

伏木 忠了 補助金委員長

03 - 04年度活動報告

委員会の開催

下記の通り開催済み

開催日	出席人数	開催日	出席人数
第1回 H15.6.24	7人	第4回 H16.3.5	8人
第2回 H15.7.29	6人	第5回 H16.6.1	6人
第3回 H15.11.18	4人		

人道的補助金プログラム

1) 地区補助金

年度内に補助金を承認完了したプログラムは下記の通り

クラブ名	プロジェクトの内容	補助金	支払日
1・札幌西RC	ロータリアン及びその家族が1日里親となり、札幌育児園児約50名を札幌市円山公園に招待する。	139,200円	2003.10.30
2・白老RC	創立記念事業として「全員のオルガニスト大島彰コンサート」を開催し、中学生、高校生、一般市民、障害者を招待する。	550,000円	2003.10.30
3・恵庭RC	恵庭相撲協会とクラブが共催して秋祭りに相撲大会を実施する。	300,000円	2003.10.30
4・苫小牧東RC	苫小牧少年少女合唱団と苫小牧市民管弦楽団、苫小牧ウィンドアンサンブルの競演に障害者の方々を招待する。	500,000円	2004.01.27
5・苫小牧北RC	北海道ペアーズ(下肢に障害を持つ人達のアイスホッケーチーム)支援活動。	200,000円	2004.03.12
6・札幌手稲RC	青少年の健全な育成の一助として中学校スポーツ大会を実施。	150,000円	2004.04.30
7・七飯RC	健康について親子が知識を深めるため親子で栄養・健康指導を受ける機会を提供。	149,000円	2004.05.19
8・新札幌RC	タイ国パベナ財団パベナ・ホンサクン氏を招き子供を取り巻く環境悪化に対する基調講演を行い市民と共にフォーラムを実施。	250,000円	2004.05.19
9・札幌清田RC	言語障害児のための「ことば学級」を私立清田小学校に開級し、教材の寄贈とロータリアンが職業に関連した様々な活動。	100,000円	2004.05.19
10・長沼RC	クラブ主催による長沼国際交流フェスティバルの実施。	200,000円	2004.06.28
11・札幌モーニングRC	バイオブロック植樹の地域運動に市民と共に参加し、新しい植樹法の普及に努める。	500,000円	2004.06.30
合 計 11件		3,038,200円	

2) 個人向け補助金

補助金申請の前提となるボランティア登録4名済み

3) 同額補助金 (MG)

2ヶ国以上にあるロータリークラブが協力しあって行う人道的プロジェクト

Project ID MG0451098

タイの少年の家にベッド、シーツ、カヤ等を援助

受領国 R1 . 3340 khon kaen RC	100ドル
援助国 R1 . 2620 長泉RC	2,300ドル
R1 . 2510 千歳セントラルRC	1,600ドル
計	4,000ドル
ロータリー財団補助金 (W・F) より	2,000ドル
計	6,000ドル

Project ID MG0451403

トルコのkuvayi Milliye小学校に教室設備等に援助

受領国 R1 . 2420 Istanbul-TaksimRC	3,000ドル
援助国 R1 . 2510 札幌セントラルRC	2,000ドル
(地区W・C・S委員会補助1600ドル札幌セントラルRC400ドル)	
計	5,000ドル
ロータリー財団補助金 (W・F) より	2,500ドル
計	7,500ドル

会計報告及び監査報告

地区補助金監督委員長 菅原 耕治氏より監査報告

04 - 05年度活動計画

継続事業について (補助金申請の審査)

1・砂川RC	砂川市の障害学級の子供たちと保護者を対象にふれあい体験学習実施。	100,000円
2・江別西RC	北海道友愛会 (老人ホーム) の夏祭り実施・あけぼの幼稚園のバザー参加。	100,000円
3・岩見沢東RC	地元小学校のサッカー協会応援としてノート、ドリンク、優勝旗、トロフィーなどの協力。	76,800円
4・千歳セントラルRC	パークゴルフ大会事業。野球大会ボランティア事業。	150,000円
5・北広島RC	地元青少年の為の管弦楽コンサート開催。 札幌フィルハーモニーによる「きたひろコンサート」実施。	100,000円
6・函館五稜郭RC	函館市内小学校に対する花壇整備用具の寄贈。	200,000円
7・札幌東RC	余市・銀山学園 (知的障害者施設) への支援。 コーラスグループ「イーストハーモニー」が慰問し、コーラスと演奏を行う。	200,000円
8・静内RC	子供と老人に対する交通安全教室を開催、交通安全啓蒙看板を設置。	150,000円
合計		1,076,800円

新規補助金の申込審査基準について

- 1、3年前、各クラブからの年次寄付の額を参考に。
- 2、地区会員の3分の2以上から賛同を得られるプロジェクト。
- 3、クラブ負担・補助金の割合・会員の奉仕度合。
- 4、クラブの周年事業も (内容により) 加える。
- 5、継続事業か、単年事業かも参考に。
- 6、補助金の対象には (寄付行為・賞品の提供などは不可)
- 7、不適格プロジェクトは以下
  - 役所や他団体に現金を寄贈し請け負ってもらう事業。 講師への謝礼。
  - 優勝の賞金などは不可。 入場料をとる事業は不可。
  - ロータリアンの弁当などは不可。

その他

各クラブより財団についての卓話の要請のあった場合財団委員長に報告、誰が担当するか指示を受ける。

(財)ロータリー米山記念奨学会 2004年9月9日発行

# ハイライトよねやま 55

## 1. 寄付金速報～10月の米山月間に向けて

8月までの寄付金は、前年同期と比べ3.5%減、約1千百万円の減少でした。普通寄付金が0.5%減、特別寄付金が9.4%減です。今月の傾向として、ガバナー公式訪問記念寄付【2590地区・2750地区】とクラブ米山奨学金の寄付金納入件数が増えたことなどから、前月の特別寄付金の落ち込み（前年同期比19.1%減）は少し回復しましたが、まだ楽観はできない状況です。

特別寄付金は、例年10月から12月にかけてピークを迎えます。ぜひ10月の米山月間には、新しい資料を活用し、事業への理解を深めていただきますようよろしくお願いいたします。

## 2. 2004年度第1回理事会・評議員会報告～真摯な議論で今後の米山奨学事業の在り方を問う

2004年度最初の理事会・評議員会合同会議が、8月30日に東京・品川のホテルパシフィック東京で開かれました。台風17号の影響が心配されましたが、陪席者1名を含む97名の出席を得て、予定通り理事会・評議員会を開くことができました。主な議事は、2003年度事業・決算報告、2004年度予算一部修正、評議員の委嘱、寄付行為の一部変更などでした。

理事会・評議員会後に予定していた第2回フォーラムは、残念ながら台風接近のため中止となりましたが、質疑応答の時間を利用して、米山奨学事業全般に関する自由な意見交換と討議を行いました。各地区の理事・評議員からは、現行奨学金制度の抜本的見直し、募集・選考における地区裁量枠設定への賛否、大学推薦制度における大学との連携強化、ロータリーの目的・使命を再確認して目標達成に一層の努力をすることなど、地区の問題意識や事例を交えてさまざまな意見が挙げられました。また、8月に中国で開かれたアジア杯サッカーを発火点とする日中間の市民感情問題に対する意見では、このような時だからこそ“寛容と信頼感”をもって米山奨学事業を推進することの大切さを説く声が上がリ、米山奨学事業の意義を再確認する機会となりました。

開会の挨拶をする島津久厚理事長



(常務理事・事務局長 宮崎 幸雄)

## 3. 今年の目玉は「米山奨学事業・豆辞典」！～米山月間資料のご案内

ロータリー米山記念奨学会では、今年も各クラブでの米山月間プログラム用に、全国のロータリー・クラブに資料を配布いたします（9月中旬発送）。



今年の目玉は、全会員に配られる「米山奨学事業・豆辞典」。その名の通りのかわいいポケットサイズながら、財政状況・寄付金の使途、学友の活躍、制度改編における課題など、米山奨学事業の最新情報を満載しています。アンケート付きですので、皆さまの自由なご意見をぜひお聞かせください。なお、豆辞典の内容に合わせたプレゼンテーション用のパワーポイント（約10分）もご用意しています。ご希望の際には、米山奨学会事務局までご連絡ください。

## 4. 二胡の演奏と奨学生の人柄に心動かされて～第2630地区【岐阜・三重】寄付事例

先月の54号で紹介した第2630地区の二胡ミニコンサート卓話の続報が、藤田米山奨学委員長から寄せられました。岐阜南RCの例会で、米山奨学生・梁天任さんの演奏する二胡ミニコンサート卓話を行ったところ、終了後に寄付金を手渡してくださった方がいたそうです。藤田委員長も感激し、「感動させる演奏ができて、私の心も充足しています」と梁さんも感謝していたとのこと。早速、今回のご寄付をくださった尾木信蔵氏（岐阜南RC）にお話を伺いました。

## 寄付者の声

異国に来て一生懸命にあれだけの演奏してくれたことに心を動かされました。何よりも梁さんの真面目な人柄とひたむきさが伝わりました。良い奨学生を見つけきて、このような企画を実施した地区米山奨学委員会のご苦労も大変なものだと思います。国際親善は実は難しいことであって、人と人とのつながりは機会をとらえなければなりません。今回の卓話はその機会になりました。梁さんには、日中友好に大いに役立つことですので、今後もぜひ頑張ってもらいたいと思います。また会いましょう。いつでもクラブで歓迎します。

## 5. 米山月間に奨学生の卓話をどうぞ～各地区の創意工夫をご紹介します

米山奨学生とロータリアンを結ぶ重要な接点が「卓話」です。米山月間には、多くのクラブで奨学生や学友の卓話が行われます。米山奨学生にとっては、自国の文化を日本に紹介する貴重な機会であり、同時に、米山奨学生だからこそできる貢献の一つの形でもあります。地区でも米山奨学生の卓話を奨励・推進していますが、今回は、そのさまざまな工夫点をご紹介します。

## 全クラブに事前アンケートを実施：

地区によっては、米山月間のプログラムについて、事前にクラブにアンケートを取るなどして、希望を聞くところもあります。近隣に大学がなく世話クラブを受けられないなど、奨学生との接触が少ないクラブでも、奨学生や学友の卓話を地区に依頼することができます。

## 学友会との連携：

地区の学友会と連携して、卓話者を手配するケースもあります。学友会によっては、会長をはじめ、卓話ができる会員をリストアップして、米山月間の卓話の依頼に対応しています。

## クラブ委員長や地区委員のプレゼンテーションに奨学生の卓話を組み合わせる：

多くのロータリアンの前に出て日本語で30分近くスピーチするのは、奨学生にとっても大変なことです。誰もが上手にできるとは限りません。そこで、まず、クラブ米山委員長や地区の米山委員が、月間用資料などを利用して米山奨学事業全般について説明し、その後、米山奨学生が身近な話題や研究テーマについて短めにスピーチするという方法もあります。

米山月間のプログラムをご検討中のクラブは、ぜひ一度、地区米山奨学委員会に相談してみたいかがでしょうか。ロータリー米山記念奨学会事務局でも、可能な限りの情報や資料をご提供できるよう努力いたしますので、お困りのことがあれば、ご遠慮なくお問い合わせください。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。  
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯・野津・大庭  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階  
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281  
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

会員投稿

## ある財団学友の結婚

於：ザルツブルグ

奥貫一之(札幌東)

2000年8月、シドニーオリンピックで高橋尚子が優勝したその日に藤兼裕子さんは財団奨学生としてイギリスへ出発しました。行く先はロンドン大学教育研究所(日本での大学院)で比較教育学の教室に籍を置き、世界各国から集った留学生達と共に学ぶことになりました。

そんな彼女を支えて下さったのが札幌東RCの顧問ロータリアン南部春生会員と、エドモントンロータリークラブの皆様で、例会出席をはじめ家庭への招待、小旅行へ連れて行って下さる等、親身のお世話にあずかり、彼女もロータリーの有難さを実感した様でした。彼女が「今の時代に生きた証」として高橋選手のオリンピックでの夢同様求めたのが「修士(MA)の資格をとりたい、出来ればPHDも」という夢でした。



2000年 - 2002年 財団奨学生 藤兼裕子さんと夫君阿部氏

主任教授の親切な御指導のおかげでほどなくしてMAは取得出来たのですが、PHDへの道は険しく財団奨学生の資格がある2年間を過ぎても見透しさ

え立たない中、彼女は自費で勉強を続ける決心をし、在留邦人への語学教師等、働きながら学びを継続いたしました。そんな中で知り合ったのが同じ志を持つ阿部真紀氏でお互いに励まし合って何とか夢を達成したいという誓いが今回の結婚につながりました。

(2004年8月10日挙式)

エドモントンRCの皆様はジェームス会長をはじめ家族も含めて9名がわざわざロンドンから来て下さり、彼女を祝福して下さいました。奨学生の資格がなくなってから2年が経つのに今尚、面倒を見て下さるロータリー魂への敬意と共に、彼女の努力、人徳を感じて感激いたしました。ロータリアン同志は初対面でもすぐに打ちとけ合い、10年の知己の様にされる幸せも体験しました。

これからも果てしなく広がる「新世代の皆さんの夢」にエールを送りつづけようという思いをあらたにしたひとときでした。



彼女をホストしたロンドン エドモントンRCのジェームス会長・ご家族の皆様





## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館 = 午前10時 ~ 午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 青少年委員会活動の実例

- |   |  |
|---|--|
| 「インターアクトの翼に寄せて」 D.2830 2004 47p<br>[申込先：ロータリー文庫]                            | 「青少年問題について」 今井鎮雄 2004 2p<br>(D.2680 地区協議会報告)   |
| 「青少年に慈愛の種を播きましょう」 D.2650 2004<br>17p (IMパネルディスカッション)<br>[申込先：ロータリー文庫 (コピー)] | 「われわれは次の世代のために何ができるのか」<br>ジョイスS.津野田 2004 12p (D.2740地区大会ロー<br>タリーセミナー) [申込先：ロータリー文庫 (コピー)] |
| 「ロータリアン学校評議員 講師派遣 職場体験受入企業<br>リスト」 D.2530 2003 19p<br>[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]   | 「感性ということ 座談会 - 新世代の人作り - 」<br>佐藤千壽 2001 51p<br>[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]                         |
| 「第9回ロータリー青少年指導者養成プログラム記録誌」<br>D.2830 [2004] 28p [申込先：ロータリー文庫]               | 「子供に夢と感動を与えよう」 鳴海淳郎 1999 20p<br>[申込先：ロータリー文庫]  |
| 「二〇〇四年鈴鹿市児童詩コンクール作品選集」<br>鈴鹿西R.C. 2004 58p [申込先：ロータリー文庫]                    |  |

### 地区世界社会奉仕委員会からのお知らせ

## 地区世界社会奉仕事業申請書について

世界社会奉仕委員会  
委員長 斎藤修弥(室蘭)

この度委員会事業の充実と円滑化を図るため、地区世界社会奉仕事業申請書を作成しました。各クラブには既に送付いたしております。

ご承知のように、地区世界社会奉仕事業は、原則として二つの国のロータリークラブの合意と共同作業により奉仕活動を行う事になっております。それだけにともすれば事業の進め方、申請方法につき不慣れな向きもあつたのではと拝察しております。

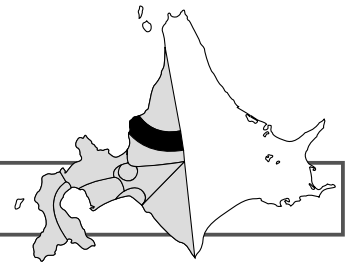
どうか事業を計画される各クラブにおかれましては、この申請書を活用していただき、判る範囲で結構ですので申請書にご記入の上、当委員会にお送りいただきたいと存じます。

皆様方のご協力により、世界各地に向けた事業を積極的に展開していきたいと思っておりますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

#### 【申請書送付先】

地区世界社会奉仕委員会  
(2004~2005年度ガバナー事務所気付)  
〒059-0034 登別市鷺別町2丁目31番地1  
医療法人社団友愛会 患愛病院2階  
TEL (0143) 82-2510 FAX (0143) 82-2512  
E-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

こんにちは！  
第2グループです



第2グループ ガバナー補佐 鈴木忠男  
(滝川)

駒大苫小牧につづけ！めざせ甲子園！

～ロータリー100周年 全国ロータリー野球大会地区予選～

2004 - 2005第2510地区親睦野球大会  
ホスト滝川RC 大会実行委員会  
委員長 中川一郎(滝川)

8月22日、甲子園球場で北海道代表の駒大苫小牧が愛媛代表済美高校を13 - 10で下して初優勝し、深紅の大優勝旗がはじめて津軽海峡を越え、私達の興奮もまだ覚めやらぬ秋晴れの9月4日、国際ロータリー創立100周年記念第24回全国ロータリークラブ野球大会地区予選「第2510地区親睦野球大会」が滝川市営球場と滝の川球場にて開催されました。

72クラブが所属する2510地区で野球同好会があるのは、8クラブ(伊達、静内、札幌幌南、札幌手稲、岩見沢、芦別、赤平、滝川)だけです。今年は持ち回りの順番で滝川クラブが主管、ホストクラブを努めました。



左から伊達、岩見沢、赤平、芦別、静内、滝川

往年の野球少年達も、なにせ平均年齢50才を越え、随所に珍プレイ、好プレイが続出の中、怪我などのトラブルも心配されましたが、待機した医師団にはとうとう声がかからず、カットバン3枚だけで無事終了しました。

決勝戦は芦別クラブと岩見沢クラブで戦われ、接戦

の末、6 - 4で岩見沢クラブが優勝し、甲子園への切符を手にしました。ここ2510地区は、甲子園での全国ロータリークラブ野球大会では、これまで決勝までは進んだ経験がありますが優勝はありません。今年は是非、岩見沢クラブには駒大苫小牧に続き、この北海道、第2510地区に優勝旗をと夢が広がります。

前夜祭は、参加チームとその応援団を囲んでゲームとPR合戦で大いに盛り上がり、近隣クラブとの友情と親睦を深める、すばらしい懇親会となりました。

4時間もかけて道南からご参加頂いた静内、伊達両チームに心より感謝申し上げますとともに、今回、諸般の事情で参加できなかった札幌手稲、札幌幌南チームには、ぜひ来年参加していただき、全8チームの大会となってほしいものと願っております。

岩見沢クラブの甲子園での善戦を祈って、また来年、元気で芦別でお会いしましょう。

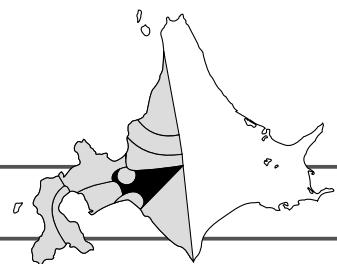


駒大苫小牧につづけ！



選手宣誓 滝川クラブ小林一磨主将

こんにちは！  
第7グループです



第7グループ ガバナー補佐 大谷 恵一  
(北広島)

第7グループに所属する6クラブを紹介いたします。当グループは千歳市・恵庭市・北広島市・長沼町・由仁町からなり、千歳市には2つのクラブがあります。

創立37年・会員数68名の千歳クラブは、昨年当グループから初めての佐藤秀雄ガバナーを輩出し、名実ともにリーダークラブとしての力を確かなものになりました。その活動は環境保全（ロータリーの森・地域の清掃）・青少年育成（ローターアクト・写生大会）等多岐に渡り、5年ごとの記念事業も目を見張るものばかりです。

千歳セントラルクラブは千歳クラブをスポンサークラブとして誕生し、創立14年・会員数30名です。米山梅吉翁を尊仰し、創立以来毎年米山家墓所をお詣りすると同時に、米山記念館新館に企画・賛同し、その維持に対し支援を続けています。



白樹の滝

恵庭クラブは創立35年・会員数51名で、青少年育成に力を入れてきました。小学生の相撲大会（参加者400名）、中学生の野球大会（参加26チーム）さらに



新千歳空港

交換留学生・財団奨学生・米山功労者もほぼ毎年出しています。青少年育成資金として積み立てている「歯車基金」も、もうすぐ活動をはじめましょう。

道内初の女性創立会長で話題をよんだ長沼クラブは、恵庭クラブをスポンサークラブに創立13年・会員数18名です。創立以来続いている長沼国際フェスティバルは、近隣町村の外国人英語教師・交換留学生・米山奨学生等の協力を得て500名以上の町民が参加しています。

日本一のハーブガーデンが有名な由仁クラブも恵庭クラブがスポンサーで創立12年・会員数15名です。今年も交換留学生を受け入れ米山功労クラブでもあります。

北広島クラブは創立25年・会員数19名です。札幌フィル管弦楽団によるコンサートがここ数年のメイン事業。中学・高校のプラスバンド部を招待し、楽団員による指導や合同演奏も行っています。

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌東RC	村山 富夫	会員	8月13日
札幌手稲RC	久末 満三	会員	8月13日
札幌西北RC	森本 正夫	会員	8月27日
札幌西北RC	西岡 憲廣	会員	8月27日
札幌西北RC	新谷 喜信	会員	8月27日
札幌真駒内RC	吉村 洋吉	会員	8月27日

ポール・ハリス・フェロー

余市RC	安田 亘	会員	8月6日
千歳セントラルRC	汲田 信夫	会員	8月13日
札幌手稲RC	網干 要	会員	8月13日

## 掲 示 板

### ロータリーレートについて

10月のロータリー・レートは、引き続き108円です。

### 例会の変更について

#### 倶知安 R C

10月6日(水) 「観楓会・G S E ウェルカムパーティー」  
18:30 ~ 於：ホテル第一会館

#### 室蘭東 R C

10月6日(水) ガバナー公式訪問 4 R C 合同例会  
18:30 ~ 於：逢峯殿

10月13日(水) 振替休日(10月17日)

10月20日(水) 職場訪問例会 於：NTT室蘭支店

10月27日(水) 夜間例会 18:30 ~ 於：味処 さつき

#### 岩見沢東 R C

10月12日(火) 地区大会の振替休会

#### 岩見沢 R C

10月15日(金) 休会\*

10月22日(金) 観楓夜間例会  
18:00 ~ 於：酔月

10月29日(金) 職場訪問例会  
12:30 ~ 於：ハマナスの丘  
(岩見沢公園)

#### 赤平 R C

10月19日(火) 休会\*

10月26日(火) 夜間例会・観楓会  
18:30 ~ 会場未定

#### 江別西 R C

10月19日(火) 休会\*

10月21日(木) 江別・江別西ロータリークラブ合同例会  
18:30 ~ 江別市民会館37号室

10月26日(火) 21日振替の為休会

#### 江別 R C

10月21日(木) 江別・江別西ロータリークラブ合同例会  
18:30 ~ 江別市民会館37号室

#### 当別 R C

10月26日(火) R & L 合同交流例会  
18:00 ~ 於：田西会館

注) \*定款第5条第1節に基づく休会

### 式典及び祝賀会日時の変更について

ガバナー月信2004 No.8月号27P「函館 R C 創立70  
周年記念式典・祝賀会開催のご案内」について

日時が 平成16年10月25日(月)

時間が 記念式典 17時~18時 16時~17時

祝賀会 18時~20時 17時30分~19時30分  
の通り変更になりました。

### 事務局移転について

#### 札幌清田 R C

(新住所) 札幌市中央区北4条西15丁目1番14号  
コアレックスビル5階  
電話・FAXは同じです

## ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願ひます。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願ひればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。



## 8月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率	
			04.7.1	04.8.31	増減	内女性		
1	深川	3	40	42	2	1	90.60	
	羽幌	4	47	47	0	1	87.50	
	妹背牛	4	10	10	0	0	87.00	
	小平	3	14	14	0	0	76.19	
	留萌	4	59	59	0	0	98.50	
	小計			170	172	2	2	87.96
2	赤平	3	34	33	-1	2	73.40	
	芦別	4	54	54	0	0	81.77	
	砂川	3	54	54	0	0	96.15	
	滝川	4	109	109	0	2	76.00	
	小計			251	250	-1	4	81.83
3	美唄	4	42	42	0	0	83.55	
	江別	5	43	43	0	1	90.24	
	江別西	3	37	37	0	3	85.58	
	岩見沢	3	94	96	2	0	87.04	
	岩見沢東	5	37	39	2	3	81.46	
	栗沢	4	26	26	0	1	95.19	
	栗山	4	29	29	0	2	96.15	
	当別	4	38	39	1	1	82.05	
	小計			346	351	5	11	87.66
	4	札幌	3	123	130	7	0	98.19
札幌あけぼの		3	16	17	1	1	100.00	
札幌はなます		4	24	24	0	4	70.57	
札幌北		4	49	49	0	5	93.32	
札幌モーニング		3	54	57	3	0	67.88	
札幌西		4	69	70	1	3	92.74	
札幌西北		3	48	48	0	2	90.47	
札幌手稲		3	39	42	3	1	100.00	
小計				422	437	15	16	89.15
5	札幌東	5	125	128	3	0	98.62	
	札幌清田	4	26	28	2	5	100.00	
	札幌幌南	3	69	72	3	0	100.00	
	札幌真駒内	3	44	44	0	2	91.61	
	札幌南	4	91	94	3	0	96.56	
	札幌大通公園	4	19	19	0	4	71.04	
	札幌セントラル	4	19	19	0	8	65.00	
	新札幌	3	36	35	-1	2	89.81	
小計			429	439	10	19	89.08	
6	岩内	3	33	33	0	0	71.60	
	倶知安	5	54	54	0	3	71.00	
	小樽	4	74	77	3	0	89.93	
	小樽南	3	86	86	0	0	83.75	
	小樽銭函	3	23	23	0	3	86.80	
	蘭越	5	14	14	0	0	68.30	
	余市	3	43	43	0	4	89.10	
小計			327	330	3	10	80.07	

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,136人  
 当月末会員数(女性) 3,188(95)人  
 増加会員数 52人  
 当月平均出席率 82.94%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			04.7.1	04.8.31	増減	内女性	
7	千歳	4	65	69	4	2	68.40
	千歳セントラル	4	30	30	0	0	76.70
	恵庭	4	51	51	0	0	81.25
	北広島	4	19	19	0	2	88.88
	長沼	4	18	18	0	3	91.88
	由仁	4	15	15	0	0	75.00
	小計			198	202	4	7
8	えりも	4	24	23	-1	0	69.50
	三石	4	17	17	0	1	86.70
	様似	5	19	19	0	2	65.79
	静内	4	67	69	2	0	82.08
	浦河	4	40	40	0	1	89.02
	小計			167	168	1	4
9	伊達	4	56	59	3	0	77.54
	室蘭	3	51	53	2	0	90.19
	室蘭東	3	43	43	0	0	92.50
	室蘭北	4	37	37	0	2	100.00
	登別	4	39	39	0	2	84.62
	洞爺湖	3	10	10	0	0	80.00
	小計			236	241	5	4
10	函館	3	101	100	-1	0	77.64
	函館亀田	4	42	43	1	1	81.17
	森	4	43	42	-1	0	76.10
	七飯	4	24	24	0	0	80.20
	長万部	4	13	13	0	0	61.50
小計			223	222	-1	1	75.32
11	江差	3	16	15	-1	0	78.50
	函館五稜郭	3	68	67	-1	0	88.75
	函館東	4	50	59	9	7	82.05
	函館北	4	37	39	2	0	81.58
	上磯	3	29	29	0	3	67.80
	松前	4	9	8	-1	1	75.00
小計			209	217	8	11	78.95
12	白老	4	29	29	0	1	65.00
	苫小牧	3	56	57	1	0	75.19
	苫小牧東	4	32	32	0	3	85.94
	苫小牧北	4	41	41	0	2	89.11
小計			158	159	1	6	78.81
合計			3,136	3,188	52	95	82.94

期首会員数が修正されました。



## 新入会員のご紹介



佐藤 洋之  
札幌清田RC  
7月6日入会



伊藤 福蔵  
函館東RC  
7月6日入会



上林 嘉和  
函館東RC  
7月6日入会



松葉 陽子  
函館東RC  
7月6日入会



三山 良哲  
函館東RC  
7月6日入会



野崎 均  
函館東RC  
7月6日入会



坂下 賢二  
函館東RC  
7月6日入会



佐藤 健治  
函館東RC  
7月6日入会



三浦 栄治  
函館東RC  
7月20日入会



佐藤 俊一  
函館東RC  
7月20日入会



渡辺 直樹  
岩見沢東RC  
7月27日入会



若林 成治  
札幌清田RC  
8月10日入会



青木 進  
函館東RC  
8月10日入会



大和 力  
岩見沢東RC  
8月31日入会



東野 雅司  
札幌北RC  
9月6日入会



小山 進  
滝川RC  
9月9日入会



笹見 孝夫  
滝川RC  
9月9日入会

## 訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、  
心からご冥福をお祈りいたします。

山中 謙治 会員(江差RC)  
2004年8月11日ご逝去(享年76歳)

### 【ロータリー歴】

1963年7月入会(会歴 42年)  
(現) 新世代委員会  
出席奨励副委員長  
会長 2回歴任  
分区代理 1回歴任  
全委員長を歴任



10月・11月 地区カレンダー

10 月 職業奉仕月間 / 米山月間		11 月 ロータリー財団月間 / 世界インターアクト週間(11/5を含む1週間)	
1 (金)		1 (月)	
2 (土)		2 (火)	
3 (日)	ガバナー・ノミネー候補者推薦締切日	3 (水)	
4 (月)	公式訪問/北広島・恵庭・長沼・由仁RC (12:30,北広島プリンスホテル) 第3350地区GSEメンバー来日	4 (木)	
5 (火)	公式訪問/千歳・千歳セントラルRC (12:30,ホテル日航千歳)	5 (金)	
6 (水)	公式訪問/室蘭・室蘭東・室蘭北・登別RC (18:30,蓬岫殿)	6 (土)	
7 (木)	第1回G指名委員会及び第2回G諮問委員会	7 (日)	
8 (金)		8 (月)	
9 (土)		9 (火)	
10 (日)		10 (水)	
11 (月)	地区大会記念囲碁大会 (札幌,日本棋院北海道本部) 臨時ガバナー会 (新高輪プリンスホテル)	11 (木)	
12 (火)		12 (金)	
13 (水)		13 (土)	
14 (木)		14 (日)	
15 (金)	地区大会記念ゴルフ大会 (登別カントリー倶楽部)	15 (月)	
16 (土)	地区大会第1日目 (祝いの宿登別グランドホテル)	16 (火)	
17 (日)	地区大会第2日目 (日本工学院北海道専門学校,第一滝本館)	17 (水)	
18 (月)		18 (木)	
19 (火)		19 (金)	
20 (水)		20 (土)	
21 (木)		21 (日)	
22 (金)		22 (月)	
23 (土)		23 (火)	
24 (日)		24 (水)	
25 (月)	函館RC創立70周年記念式典 (17:00,函館国際ホテル)	25 (木)	ロータリー財団地域セミナー (広島)
26 (火)		26 (金)	第2回ガバナー・エレクト研修セミナー (同)
27 (水)		27 (土)	第32回ロータリーゾーン研究会(同)
28 (木)		28 (日)	第23回ロータリー研究会(同)
29 (金)	第3350地区GSEメンバー・さよならパーティー	29 (月)	
30 (土)		30 (火)	
31 (日)	第3350地区GSEメンバー帰国		



**ROTARY**  
Expert volunteers for 100 years

[www.rotary.info](http://www.rotary.info)



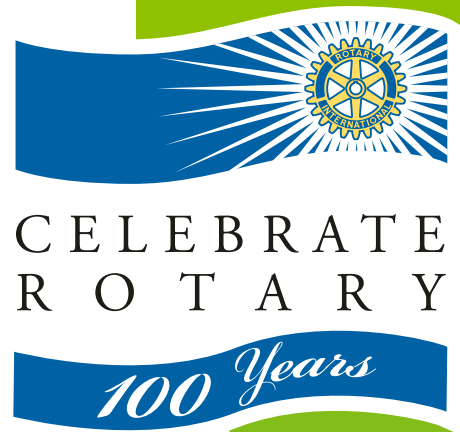
DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2510地区  
2004-2005年度

# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F  
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512  
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナーs LETTER .....	3
ガバナー日記 .....	4
11月はロータリー財団月間です .....	10
ロータリー財団国際親善奨学金委員会から3つのお知らせです .....	11
財団学友会の活動 .....	13
研究グループ交換(GSE)プログラム .....	14
人道的補助金プログラム .....	15
RJW全体会議報告 .....	17
新潟・福井災害義援金報告 地区世界社会奉仕委員会からのお願い .....	18
米山記念奨学生紹介 .....	19
RI 100年記念国際大会 .....	20
ハイライトよねやま56 .....	22
ロータリー文庫通信 ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます .....	24
会員投稿 ・ポリオ撲滅の問題点 .....	25
・「RC 100年記念海外野外例会韓国旅行」 .....	26
こんにちは! 第10グループです .....	27
掲示板 国際ロータリー為替レート通知についてのご連絡 ガバナー事務所からのお願い .....	28
9月会員増減数・出席率報告 .....	29
新入会員のご紹介/訃報 .....	30
11・12月地区カレンダー .....	31

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.5 11  
2004.

国際ロータリー第2510地区 2004-2005年度

## 会員の皆様、地区大会へ各地域からのご参加 感謝申し上げます。



地区大会は天候にも恵まれて10月16日～17日の2日間、登別市の祝いの宿 登別グランドホテルと日本工学院北海道専門学校そして第一滝本館の3会場で総計1,644名が集まり、開催された。

R Iの「ロータリーを祝おう」のテーマのもと、地区大会テーマに「奉仕の第二世紀へ」を掲げ、ロータリーを見つめ直す機会ともなった。



地区大会特集は12月号に掲載！！



# Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

## ロータリー財団月間に考えること

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



ロータリー財団は、我々が加盟参加している国際ロータリーの奉仕活動の大きな1本の柱をなしています。その資金は、会員等の寄付金でまかなわれています。2002～03年度には、13,300万ドル以上の寄付を受

け、クラブや地区が実施する人道的及び教育的プログラムを支援するために9,400万ドル以上を支給しました。

私達の地区でも、人道的プログラムとして、識字率の向上、医療や福祉、水問題その他に援助をしています。教育的プログラムは国際理解を推進することを目的として、国際親善奨学生や世界平和奨学生を援助していますし、研究グループ交換(GSE)の実施も継続しています。これらを経験した人達で組織された財団学友会がありますが、10月16日に行われた地区大会第1日に学友の皆さんによる記念フォーラムが当日参加されたロータリアンの皆さんに感銘と御理解を得られたと思います。

カルロ・ラビッツアロータリー財団管理委員会委員長のお話では、今日、世界で40億人もの人々が1日2ドル未満で生活を余儀なくされており、推定6億～10億の人達が栄養失調で毎日2万人が餓死している。世界人口の6分の1、ほぼ10億がスラム街に住んでいる。推定8億8,000万人の成人が読み書きが出来ず、その3分の2は女性である。安全な水が飲めない人が10億人

いるため、発展途上国の人口の半数が汚染水による病気を患っている。また、現在、世界では20件以上の武力紛争が続いており30万人もの子供が犠牲になっていると報告されました。ポリオ根絶も大詰めを迎えています。1985年以来20億人以上の子どもたちがポリオの予防接種を受け、ポリオの発生が99%以上低下しました。患者数も700人弱となっていますが、ワクチン投与に手を抜くとたちまち汚染国は広がってしまう危険性ははらんでいます。

これら多くの諸問題に何故ロータリーが手を借す必要があるのでしょうか。統治能力を失った国、発展途上国に問題解決の力がないとすれば、166ヶ国、120万人以上の会員を持つ世界最大の奉仕団体が、国連や世界各国と協力して手を借すべきだと思います。我々ロータリアンは、世界理解と平和を達成しようと努力する国際ロータリーの一員だからです。

私も秋の夜長を静かにロータリアンであることを噛みしめたいと思います。



## ガバナー日記

9月9日(水) 北広島RC創立25周年記念式典及び祝賀会にお招きを頂いた。午前中に行われる予定であった記念ゴルフコンペは台風18号のためコース内倒木により中止となったと伺った。参加予定の皆さんは、さぞ残念のことと拝察申しあげる。6:30pmから式典が行われ、斎藤潤会長から25周年の素晴らしい活動実績が報告された。会員数は少ないが纏りと活動力のあるクラブで感心した。

引き続き行われた記念コンサートはピアノ土肥睦子さん、独唱板垣恵さん、共々道産子で北広島市と縁があり、張りのある、そしてまろやかなソプラノと繊細な音色に聞きほれてしまった。その後祝賀会が行われたが、スポンサークラブの札幌幌南RCからは遠藤正之PGをはじめ11名、第7グループからは佐藤秀雄PGをはじめ約90名のご参加があり、和やかで楽しい雰囲気うちに終了した。北広島プリンスホテルの最上階から眺める広大な夜景も大変素晴らしかった。

9月11日(土)~12日(日) RYLAセミナー・シニアクラスがR研修センターで行われた。今年のテーマは「人権について考える」。第1日目は私は出席出来なかったが、高橋剛先生の「ハンセン病を知り偏見や差別をなくそう」で、長い隔離政策による被害に参加者はショックを受けた様であった。第2日目は意見発表、グループディスカッション及び発表が行われた。障害者人権、偏見、外国人の就労問題(サービス残業、賃金の未払い)、社会保障の

権利、外国の実情等幅広い討議が行われた。参加者はロータリーアクト、国際親善奨学生、米山奨学生、学友21名、ロータリアンを含め54名であった。

9月14日(火) 6:30amに自宅を発って函館に向う。2日間で11クラブの会長、幹事、会長エレクトの皆さんと懇談し、4回の合同例会に出席することを考えると緊張してしまう。函館国際ホテルで吉川達也第11グループガバナー補佐の御出向えを頂き予定通り10:15am、函館東RCから始める。鍋谷会長はグループ内初の女性会長で、今春まで地区財団学友委員長を務めておられたので久知の間柄で緊張がほぐれた。「広めよう奉仕心」をテーマに会員増強に力を入れられておられる。7月6日に7名の新入会員が入会されたと聞いて驚いた。国内3クラブと友好関係にあり、ロータリーアクトを育てている。また、「いさり火」護岸壁の壁画が8年経過し、傷んで来たので書き換えを計画しておられる。

函館五稜郭RCはインターアクトクラブを育て、函館東RCと同様、独自の奨学金制度で学生を支援しておられる。地域に対しては市民と一緒に野外劇や五稜郭パレードに参加し、とけ込んでおられる。函館北RCは社会奉仕に力を入れ、ガーデニングコンテスト、イルミネーションコンテストを行ったり、会員によるハワイアンバンドで老人ホームを慰問、洞爺丸慰霊碑清掃奉仕を続けたり、月2回食費を切りつめて奉仕活動に廻すなど考えた活動を行っておられる。3クラブ合同例会後、吉川ガバナー補佐、鍋谷会長のご案内で数100メートルの壁画を見せて頂いた。子どもらしい自然の風景や魚が明るく、のびやかに書かれてあり美しかった。

4:15pmから再び吉川ガバナー補佐と御一緒に上磯RCから会長・幹事会を行う。カナダと交換学生による交流、GSEチームの受け入れと活躍。地域に対しては薬物乱用防止のため中学生と一緒に募金活動が続けておられる。会



No. 11

Date 04. 11. 1

長テーマは「楽しい例会にしましょう」で、出席率の向上に努められておられる。

江差RCは平成14年6月に創立40周年を迎えた伝統のあるクラブであるが、過疎化により会員数の減少に悩んでおられる。しかし、古い歴史のある町であり先人の残した文芸遺産に対し、菅江真澄調査事業を松前RCと長万部RCと交流しながら進め、町の発展に寄与したいと考えておられる。

松前RCは会員数9名に減少しクラブ運営に苦慮しているが、出席し易いように夜間例会を実施しておられる。松前町の名所である桜の木の保存に力を入れ、またゴローニン幽閉の地慰霊碑建立計画を持っておられ、地域に根ざした活動を行っている。3クラブ合同例会後、函館東RCの幹事の皆さんと素晴らしい夜景を楽しみながら美味しいワインをご馳走になりロータリー談義に花が咲いた。函館泊。



9月15日(日)、今日は第10グループの公式訪問である。加藤直樹ガバナー補佐と御一緒に11:00 a mから函館ホテルオークランドで函館RCから会長・幹事会を始める。道内3番目に誕生したクラブで、今年10月25日に70周年記念式典を予定しておられる。会員数も99名で地区内4番目に多いクラブで安定した奉仕活動しておられる。クラブ奨学生制度は40年で150名余の奨学生を排出し、1名はロータリーアンになっておられる。70周年記念事業として別荘で10名位3年間世話をする奨学生を育てる計画を持ち、口

ロータリーアクトクラブと共に青少年の健全育成に力を入れておられる。また、小・中学生、女子の参加チームとロータリーアンを含むタグラクビー大会も盛大に主催しておられるし、「エゾヒキガエル」の保護や「パードサンクチュアリー事業」を市民参加で実施、更に福祉施設のご老人と一緒に競馬観戦を楽しみ地域社会に貢献しておられる。

函館亀田RCは9年間エリア内の小学生チームのサッカー大会を支援、子供奉仕委員会の支援等、子どもの健全育成に力を入れている。地域社会に対しては会員夫人の良き指導と涙ぐましい努力により亀田RC亀琴社中を立ちあげ各所に慰問披露しておられる。国際奉仕としては、北海道国際交流センターに国内留学生が研修に来るが、会員その他に2週間のホームステイを呼びかけて協力しておられる。2クラブ合同例会後は台風の影響で函館山の樹々が変色していて心配したが、道内でも最も私の好きな風景である、七飯の松並木を堪能して次の訪問地大沼プリンスホテルに向った。

4:00 p mから再び加藤ガバナー補佐と御一緒に七飯RCから公式訪問を始める。最近の5年間で12名の会員減で現在24名。クラブ運営に苦慮しておられるが、例会は夜間で楽しい例会を心掛けておられる。目下大沼小学校開校100周年をひかえ、有効な奉仕活動を計画しておられる。



森RCは家族を含めた親睦活動に重点を置いている。創立40周年記念事業として砂原町に大型テントを、森町にはソーラ時計を寄贈。また、交通安全ホタテ祭りを実施し、平成16年3月20日には40周年記念式典を行っておられる。今年度は親睦活動を重点に会員増強に力を入れており、交換留学生の受け入れにも協力していただいている。

長万部RCは地域経済の低迷から会員数13名の小さなクラブであるが、会員の親睦と社会奉仕に努力している。高齢者や独居老人のために月1回温泉入浴送迎奉仕を12年も続けて感謝されている。3クラブ合同例会はごちんまりとした和やかな例会であった。2日間とも日中は上着の必要ない気温であったが、帰路静狩峠付近では気温8の標示がありびっくりした。

9月18日(土)~19日(日) NTTセミナーセンターでRYLAセミナージュニアコースが実施された。参加者はインターアクト交換留学生等41名、顧問教員、ロータリアンを含めると74名であった。私は第2日目だけ参加させて頂いた。テーマはシニアコースと同じ「人権について考える」で、講演は教育大学の戸田まり子先生で人権と児童虐待についてお話し頂いたが、これは家庭内の人権問題でありネグレクトが最も多く、次いで身体的虐待が多い。また実母の虐待が63%もあり、虐待を受けた子供への影響は大きいし深刻である。また誰でも悪条件が重なれば、虐待する大人になり得るのであり、特異な人があるのではない事を強調された。インターアクターや交換学生の意見発表は、難民問題(日本は受け入れに協力していない)、いじめの問題、子どもの人権問題、社会的性差の問題など多岐に亘って活発に発表されていた。

9月21日(火) 第9グループ鈴木久雄ガバナー補佐と御一緒に洞爺湖万世閣で公式訪問、伊達RCは道内では取り分け温暖で古い歴史と伝統の町にあり国際奉仕、社会奉仕、

クラブ奉仕に安定した活動をしている。地区野球大会への常連クラブで過去2回全国RC野球大会に駒を進めている。伊達市は火の山有珠山をかかえているため、クラブ内に防災ボランティアリストが組織されている。活動の場のないことを祈るのみであるが、備えあれば憂いなしということであろう。

洞爺湖RCは2度の有珠山噴火で大きな被害を受け人口減によって会員数も10名にまで減少してしまった。三浦会長も3回目の会長職で御苦労なことである。僻地校である花和小学校と長い交流を持ち、イモ作り、収穫祭を子供達と一緒にいき一部は「ねむの木学園」に送られている。また有珠山の火口群を展望する場所に鳥瞰図を設置する計画がある。合同例会は私と同じグループの会員同士で気安さもある反面気恥ずかしさもあり複雑な心境であった。



9月27日(月) ロータリーの友委員会によるガバナー座談会が東京プリンスホテルで行われた。テーマは「日本のロータリアンの活路」。出席者はD2530山崎栄一、D2540田口幸正、D2820永井靖彦、D2780松宮剛、各ガバナーと私の5名で、司会は「友」顧問鈴木正二バスターガバナーであった。日本のロータリアンは、RIに大きく貢献しているが、その地位は決して高いとは言えない。100周年を機に、日本のロータリアンが発言することが期待される。その布石、活動について話し合った。「友」12月号に掲載される予定になっている。



No. 13

Date 04. 11. 1

9月28日(火) 6:30 a mに出発し、第8グループの公式訪問に向った。蘇田又栄ガバナー補佐と御一緒に浦河ウエリントンホテルで浦河RCから会長・幹事懇談が行われた。H8年に57名まで増えた会員が現在41名に減った。親睦と奉仕活動の活性化をはかり増強に努めたいと砂原会長は決意を述べられた。地域社会には無人駅周辺の草刈り障害者のリハビリ用に乗用馬を寄贈、施設児童をXmasの際バーベキューパーティに招待している。台湾中壢RCと3年毎に相互交流されている。



えりもRCは年1回パークゴルフと懇親会を通して様似RCと交流を持っている。地域に対しては春と秋にクリーン作戦を実施、新聞折り込みで周知し、一般の人達も70~80人参加するそうである。また地元の少年野球大会を行っているが、地区外の広尾町からも2チームの参加がある。更に少年サッカー大会も考慮中であると伺った。

様似RCは人口6,000人弱のエリアで会員増強には頭を痛めている。今年は社会奉仕と広報活動を重視し会員に戸外に出ようと呼びかけ合っている。移動例会を多くしアボイ樹木園で子供たちと木工作りをしたり、様似八景ウォーキングの清掃、伏木田光男美術館探訪を実施している。3クラブ合同例会後、JRA軽種馬育成調教センターを見学させて頂いた。広大な敷地の中に育成調教に必要な施設が完備されており、その上段にある2,400m走コースからの眺めは1幅の絵にふさわしく気持ちがいやされた。一部観光客にも開放されており好評のようである。夜は蘇田ガバ

ナー補佐をはじめ浦河RCの幹事の方々に会食ご馳走になり、ロータリーや馬の話で楽しい会であった。浦河泊。

9月29日(水) 静内ウエリントンホテルに移動。昨日に引き続き蘇田又栄ガバナー補佐のご協力を頂いた。静内RCは8月に新入会員が2名あり、71名になった。クラブ自慢は年齢差を越えた厚い友情と競走馬関連の会員が多くレース優勝でニコニコボックスが集り易いとのこと、またRC野球大会に熱心で4回甲子園出場果たしている。ロータリー財団、ポリオプラスの協力と積極的である。

細川好弘地区新世代委員長の出身クラブであり、インターアクトクラブの支援、桜舞サッカーフェスティバルや小学生バレーボール日胆大会を行っている。またカンボジア、ベトナムの子供達に学用品を贈るプロジェクトに参加しておられる。

昆布で有名な三石町の三石RCも人口の半減で会員数が20名を切ってしまったが、やっと落ち着きを取り戻し、クラブ例会も明るくなり活発になって来たとのこと。ロータリー文庫寄付や特養「蓬莱荘」周辺へ桜やムラサキツツジの植樹、少年野球大会の共催、子ども絵の会への支援等、地域社会への奉仕活動を地道に行っている。2クラブ合同例会後、インターアクトクラブがある静内高校(18名)と静内農業高校(8名)2校の校長先生と懇談したが、協力体制がよく出来上がっている。2校のIACを統合し静内IACとする計画を持っておられる。





10月1日（金）～3日（日）第2500地区大会が網走セントラルホテルと網走市民会館で盛大に行われた。R I会長代理関場慶博氏（D2830弘前RC）、ガバナー牧野了泰氏（美幌RC）、ホスト美幌RC、コ・ホスト網走RCで登録人数は1,470名であった。

大会第1日目、R I 100周年記念親睦ゴルフ大会、地区諮問委員会、ガバナー補佐会議、R I会長代理ご夫妻歓迎晩餐会。



大会第2日目、会長・幹事会・地区財団セミナー（R財団地域コーディネーター井岡俊彦氏講演）本会議1日目（記念講演「ロータリーの職業奉仕」D2750川尻政輝氏）、懇談会。

大会第3日目、本会議2日目（特別講演 一般市民開放「僕の野球人生」元読売巨人軍水野雄仁氏）、地区外の参加者は姉妹地区のD3590元東桂総裁他9名、私達夫妻とD2540地区幹事織山氏で私共の地区から参加者がなかったのが淋しかった。



10月4日（月）今日から2日間第7グループの公式訪問である。北広島プリンスホテルで大谷恵一ガバナー補佐のお出迎えを頂き、北広島RCから会長・幹事会を行う。9月9日に25周年の記念式典を終えたばかりで奉仕活動はこれからになる。継続事業の植樹や桜のメンテナンスは終了した。



恵庭RCはこの5年間大きな会員数の変動はない。新世代を対象にした社会奉仕活動に力を入れている。小学生の相撲大会、中学生の野球大会、高校生には交換留学生、また親善奨学生の派遣、米山奨学生の受入れ等積極的に行っている。これらの資金は独自に「歯車募金」（青少年育成資金）をご活用してられる。また日本赤十字の献血には家族も含め88名が参加している。

長沼RC、会員数は少ないがR財団や米山奨学基金に対する貢献度は非常に高く感謝を申し上げる。14年間国際交流フェスティバルを実施して町内にすっかり定着し、留学生のホストファミリーを町民が心よく引き受けてくれるまでになっている。

由仁RCは会員数15名であるが、新世代を中心に社会奉仕活動を行っている。青少年交換は取り組んで5年になるが今後も交換事業には力を注いで行いたいと考えてられる。景色の良い会場で4クラブ合同例会が行われた。2:30 p m、開設されたガバナーエレクト事務所を訪問しお祝いを申し上げる。8:30 p m千歳空港にG S Eチームのお迎え、今回はタイ国D3350からチームリーダー、ソンプ

No. 15

Date 04. 11. 1

ーン・パンヤシリ氏以下チコムさん、アップルさん、ナンさん、アンさんの4名が元気に到着された。札幌へ移動してロイトン札幌で10:30 p mから簡単なウエルカムパーティを開き心から歓迎の意を表した。

10月5日(火)、上田地区幹事と日航千歳に出向き、昨日に続き大谷ガバナー補佐とご一緒に公式訪問、千歳RCは2003~04年度佐藤秀雄ガバナーを支え奮闘されたが、今年度も「地域社会との共生」をテーマにクラブの活性化をはかり、市民納涼盆踊り大会に参加、ローターアクターの出店が人気を集めた。5ヘクタールの「ロータリーの森」の整備、市内小学生の写生大会及び展示。また紫明女子学院の学院行事に協力参加してきた事で札幌矯正管区長から表彰を受けられた。ローターアクトクラブは千歳と恵庭(合計22名)で一緒に活動している。千歳セントラルRCも昨年度はコ・ホストとしてガバナーを支え努力された。明年度創立15周年を迎えられるが記念事業として、わがまち再発見「千歳の四季」をテーマにまちフォト・コンテストを実施計画、第1回目は「秋」で11月に行われる。また米山記念館への奉仕活動はクラブ創立以来維持支援を続けている。2クラブ合同例会は和やかに終了した。



10月6日(水)、今回は27回目公式訪問の最期の日である。1:30 p m新宮室蘭市長を表敬訪問。ロータリーについて懇談し、奉仕活動の期待を膚で感ずる。3:30 p mから蓬

峽殿に於いて第9グループ鈴木久雄ガバナーとご一緒に室蘭RC、室蘭北RC、室蘭東RC、登別RCの順に会長・幹事会を行う。各クラブから今年度にかける熱い思いをお話しいただいた。この4クラブと伊達RC、洞爺湖RCは鈴木ガバナー補佐を中心に今年一年私を支えてくれる大切なクラブであり、クラブとしての奉仕活動にも期待をしている。公式訪問は最期の合同例会で、慰労の意味から夜間例会でしめて頂いた。感謝。



72クラブすべての公式訪問を終わりホッとしている。長引く不況の厳しい経済環境の中、確かに会員数は減少しているが、会員数の多いクラブ、少ないクラブが各々自分の身の丈に合った奉仕活動を熱意を持って行っておられる様子がよく判った。私もRI会長の基本方針である職業奉仕の重要性を訴え、三大目標のお願いに終始した。御協力頂いた各ガバナー補佐の皆さん、各クラブの会長・幹事・会長エレクトの皆さん、各クラブ会員の皆さんに感謝申し上げます。

10月7日(木)、第1回ガバナー指名委員会開催。ガバナー月信2号にわたりガバナーの公募を各クラブにお願いし10月3日締め切ったが、各クラブからの応募がなくこれから委員長を中心に適任者の発掘に動くことになった。

## 11月はロータリー財団月間です



### ロータリー財団月間を迎えて

「財団活動に協力すること　これが本当のCelebrate Rotary 100Years -」  
毎年あなたも100ドルを

ロータリー財団委員会

委員長 遠藤 正之 (札幌南PG)

11月はロータリー財団月間です。

この月間は、クラブが財団プログラムを支援推進参加する特別な月間です。

また、月間中にロータリー財団の活動を広く知ってもらうこと、ロータリー財団の寄付増進に会員の協力をお願いする月間でもあります。

財団の生い立ち、またその使命等、所謂総論については、会員の皆様は色々な機会を通じ見聞きしているのでご存知と思い今回は紙面の都合で割愛し「毎年あなたも100ドルを」についての制度の変更と認証という観点から述べてみます。

1. 「ポール・ハリス準フェロー」の名称がRotary Foundation Sustaining Memberに変更され、「財団の友」と訳されています。

制度の変更点は準フェローの時には最初に100ドル寄付をし、その後は50ドルでも60ドルでも1,000ドルに達するまで準フェローでした。

2002年10月の財団管理委員会で「財団の友」は毎年100ドル以上を寄付する人と定義されました。

誓約書の提出は省かれています。当然ですが毎年100ドルの年次寄付をして、累計が1,000ドルになりますと、ポール・ハリス・フェローとして認証されます。

「財団の友」に終わりはありませんが毎年、年次寄付をしなければならぬのか心配な人もいますが、任意の寄付ですから、ロータリー財団が取り立てるようなことはありません。

2. 「認証ポイント」の前の名称は「据え置きクレジット」です。現在の制度では「認証ポイント」が失効することがなくなりました。「ポール・ハリス・フェロー」の人が1,000ドルを寄付して1回目の

「マルチプル・ポール・ハリス・フェロー」になれば他の人に1,000ポイントの「認証ポイント」を与えて1人を「ポール・ハリス・フェロー」にする事が出来ます。

「認証ポイント」をもらって「ポール・ハリス・フェロー」になった場合は寄付累計が1,000ドルと表示されますが「認証ポイント」はつきません。

累計で3,000ドル以上を寄付しますと2,000ポイントの「認証ポイント」がつかます。

従って累計2,000ドル以上の時に「認証ポイント」を使わなかった場合は2人を「ポール・ハリス・フェロー」にする事、1人を「マルチプル・ポール・ハリス・フェロー」(寄付累計2,000ドル)にする事が出来ます。

また、他の人に500ポイントを与えて、「認証ポイント」を与えられた人が500ドルの年次寄付をする事と「ポール・ハリス・フェロー」になります。このケースを「マッチング・クレジット」と呼んでいます。

3. 個人の「認証ポイント」のほかに「クラブのポイント」というものもあります。

クラブ会長の署名で誰かに与えて、「ポール・ハリス・フェロー」にすることが出来ます。「地区のポイント」の場合は地区ガバナーが署名します。

4. 恒久基金に1,000ドル寄付しますと「ベネファクター」になります。

年次寄付、用途指定寄付、恒久基金などへの寄付合計額1万ドルに達しますと、「大口寄付者」となります。

「大口寄付者」の場合は「認証ポイント」による寄付は加算されません。

日本の「大口寄付者」は2003年7月現在441名です。



ロータリー財団国際親善奨学金委員会から3つのお知らせです

国際親善奨学金委員会

委員長 瀧川 哲夫 (札幌手稲)

1. 2005 - 06年度国際親善奨学生 (候補者) 9人が決まりました。

9月末にロータリー財団へ正式応募書類を送りました。正式決定は来年1月の予定です。みんな張り切ってオリエンテーション, ロータリー行事に参加しています。

文化研修生 (3ヵ月)

	名 前	かわにし けいこ 川西 景子
	性 別	女
	第一希望国	オーストリア
	スポンサークラブ	札幌大通公園RC

	名 前	みつはら みく 光原 未来
	性 別	女
	第一希望国	イングランド
	スポンサークラブ	札幌RC

	名 前	なかがわ つばさ 中川 翼
	性 別	女
	第一希望国	カナダ
	スポンサークラブ	札幌手稲RC

	名 前	さくま さなえ 佐久間早苗
	性 別	女
	第一希望国	カナダ
	スポンサークラブ	札幌南RC

文化研修生 (6ヵ月)

	名 前	いしくろ かなめ 石黒 要
	性 別	男
	第一希望国	インドネシア
	スポンサークラブ	札幌北RC

	名 前	おぐろ とみこ 小黒 智子
	性 別	女
	第一希望国	イタリア
	スポンサークラブ	札幌西RC

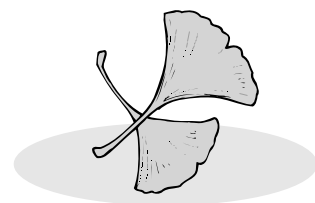
1 学年度奨学生

	名 前	ひえだ たけし 稗田 健志
	性 別	男
	第一希望国	アメリカ
	スポンサークラブ	札幌手稲 R C

	名 前	いまむら まきこ 今村真希子
	性 別	女
	第一希望国	アメリカ
	スポンサークラブ	新札幌 R C

マルチ（2年）奨学生

	名 前	うしやま たかし 牛山 喬史
	性 別	男
	第一希望国	アメリカ
	スポンサークラブ	札幌西北 R C



2 . ロシアからの3ヵ月文化研修生が滞在しています。

当地区が5010地区（アラスカ・ロシア東部）に寄贈したロータリー財団奨学金で、ロシア東部地域から2人の奨学生（3ヵ月文化研修生）が9月1日から当地区に滞在しています。2人とも女性で、札幌清田 R C がホストしているアンナ・シュミロワ（写真左）と、新札幌 R C がホストしているマリヤ・ペトロヴァ（写真右）です。アンナは6月にカムチャツカ教育大学を卒業したばかり、マリヤはウラジオストク国立経済サービス大学の4年生です。どちらも日本語は中上級で、日常会話には不自由しませんが、月曜から金曜までの午前中は札幌市中央区の I A Y で集中的に日本語を学び、その他、多くの地区内ロータリー活動に参加しています。この寄贈奨学金は今回が最終となります。



3 . 2006 - 07年度国際親善奨学生の募集を予定しています

2006-07年度もこれまでと同様、文化研修3ヵ月3名、文化研修6ヵ月3名、1学年度2名、マルチ（2年）1名程度の枠で募集します。募集要項は1月頃に公表・配布します。応募締め切りは4月、面接選考は6月を予定しています。





## 財団学友会の活動

財団学友委員会

委員長 山崎晴嘉（札幌西北）

当地区の学友は元国際親善奨学生と元研究グループ交換チーム・メンバーとリーダーですが、2004年6月末現在で元国際親善奨学生221名、元GSEチーム・メンバーとリーダー64名で合計275名に達しています。学友は大学教授、研究者、医師、地方行政官、教師、各種専門家などとして、多方面で活躍されておりますが、ロータリクラブの会員として活動されている学友も増えてきており、当地区でも2名が札幌大通公園RCの会員となっております。

遠藤正之ガバナー年度の2001年5月に当地区の「財団学友会」が発足し、学友の連帯を強め、ロータリーに協力するために積極的な活動を行っております。最近の主な活動内容をご紹介します。尚、この活動は地区財団学友委員会との協同活動も含まれています。

1. 帰国学友報告会の開催：国際親善奨学生が留学期間を終えて帰国されてもロータリーとしての受け入れと報告が明確でなかった反省から、帰国報告会を開催しています。この報告会は学友の再認識を含め大きな成果をあげつつあります。
2. 学友名簿の改訂版作成：スポンサークラブ別学友数を加えた2003年版の学友名簿を作成し、地区内各クラブへ配布した。
3. 学友会ニュースレター作成：毎年、学友会の活動を取りまとめて、各クラブへ発信しています。
4. 学友会総会・懇親会の開催：ガバナーをはじめとするロータリアンの参加を頂きながら、年次報告・役員選出と親睦を図っています。
5. 学友卓話：各クラブの要請に基づいて、主に財団月間に学友の卓話を行っている。
6. 世界大会での学友フォーラム参加：大阪で開催されたロータリー国際大会の学友フォーラムに3名の学友が参加し、数人の元RI会長をはじめとするR財団役員と交流を行った。
7. 地区大会フォーラム：遠藤ガバナーの要望で2004 - 2005年度地区大会に於いて、記念フォーラムを計画実行する。

上記以外にも派遣予定国際親善奨学生やGSEのオリエンテーションに参加して体験をアドバイスしています。賛助会員の各クラブには財団学友会へご支援・ご協力を頂き、感謝を致しておりますが、上記の諸活動には活動資金が不可欠です。尚一層のご支援・ご協力を御願いたします。



## 研究グループ交換(G S E)プログラム

G S E 委員会

委員長 山名善久(札幌圏南)

G S E プログラムはR財団プログラムの一つです。現在、世界中の地区でこのプログラムは活発に行われております。小林ガバナー年度(2002~03年度)からG S E プログラムは2年に跨り受け入れ・派遣を実施することになり、この年度は当地区で初めてアジアの地区とプログラムを交換しました。R I 3830地区(フィリピン)からチームを受け入れ、翌年の佐藤ガバナー年度(2003~04年度)には当地区からR I 3830地区へチームを派遣しました。これで一つのプログラムが終わったこととなります。

今年度はR I 3350地区(タイ)からG S E チームを先月(10月4日~31日)受け入れましたことは、皆様ご承知のことと思います。当地区は11回目までのプログラムは全てアメリカ、カナダ、オーストラリアの地区とのプログラムでしたが、これからはアジアの地区とのプログラムを重点におき12回目はフィリピン、13回目はタイ、14回目もアジアの地区を考えております。アジアの地区と交換プログラムを重ねることによって、アジアの人々が日本に対する理解を深めてくれる事を願っております。

次年度はR I 3350地区へメンバーを派遣しますが、今月中旬頃に派遣するG S E チームメンバー選考試験を行う予定です。選ばれたメンバーは1年間の研修後、2006年3月に派遣される予定です。

最後に、G S E プログラムが持っている力を最大限発揮するには、皆様のお力が必要です。皆様のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。



## 人道的補助金プログラム

補助金委員会

委員長 伏木 忠了 (札幌西)

2003～04年度から新しい補助金制度に変わり申請も簡素化された事により補助金の申請も増えました。ロータリー財団への理解も深まり財団増進につながればと思います。

### ・地区補助金 (District Simplified Grant)

社会奉仕事業に財団の補助金が地区の裁量で使えるようになりました。

03～04年度は11件3,038,200円補助金を支出しました。尚、8件1,076,800円を承認しており継続事業となり報告書が提出され次第支払う予定です。

補助金はどのような事業が該当するのか申しますと下記の通りです。

プロジェクトの内容	ふさわしいプロジェクト	不的確なプロジェクト
植 樹	ロータリアンが自ら植樹する場合	市役所や他団体に現金を寄贈し植樹を請け負ってもらう場合
車 椅子 の 寄 贈	病院、養護ホームなど不特定多数の人が利用できるような施設への寄贈	近所の足の悪い人など特定の人に贈る場合
災 害 救 援	被災地へ毛布など寄贈	金銭を贈る
識 字	辞書などを在日外国人組織やグループに寄贈、会場費	講師への謝礼
遊 具	お祭りや行事の一部がロータリーの主催であれば可	他団体の主催するものは不可
お祭りや行事への協賛	お祭りや行事の一部がロータリーの主催であれば可	他団体の主催するものは不可
ス ポ ー ツ 大 会	優勝旗、賞状、グラウンドの使用料、ユニフォームなどは適切	優勝の賞金は不可、ロータリアンが審判や会場の誘導などに参加しなければ不可
コ ン サ ー ト	会場費、プログラム、ちらしなどは適切、演奏者がプロの場合、出演料が認められる場合もある	入場料をとるのは不可
ゴ ミ 拾 い	ゴミを拾うためのビニール袋などは適切、拾った後、協力してくれた子供達にお弁当やジュースを出すのは可	同行したロータリアンのお弁当は不可

05年度6月末までに支出可能な枠は12,000ドルです。申込順に審査をしています。尚、05～06年度は37,000ドルが配分されております。

・個人向け補助金 (Individual Grant)

人道的活動を支援するために奉仕するロータリアンのボランティアに対し、旅費及び全般的な費用を補助するものです。

03～04年度、4名が申請のためのボランティアへ登録を終えましたが、04～05年度よりボランティア登録が不要となりました。

・マッチング・グラント (Matching Grant)

地区によっては世界社会奉仕とマッチング・グラントを同一の委員会が担当している場合もありますが、ロータリー・クラブが他国のロータリークラブを援助するのが世界社会奉仕であり、そのプロジェクトに補助金を申請しますとロータリー財団のプログラム、マッチング・グラントになります。

マッチング・グラントの名称通り、2カ国以上にあるロータリークラブが協力しあい、それを補うのがマッチング・グラントです。

03～04年度は2件申請され1件2,000ドルが補助され完了しています。

1件は5月2,500ドルが承認されました。7,500ドルのプロジェクトが継続事業となり10月に完了予定です。

・3種類の補助金の申請手順

地区補助金	マッチング・グラント	個人向け補助金
申請書を地区に提出	申請書をロータリー財団(日本事務局)に提出	申請書をロータリー財団(日本事務局)に提出
申請書が整っていれば審査	財団が受理番号を通知します。	財団が受理番号を通知します。
地区が補助金を振り込む	ロータリー財団がプロジェクトを承認	ロータリー財団がプロジェクトを承認
	申請クラブまたは地区が合意書 (agreement)などを提出	申請クラブまたは地区が合意書 (agreement)などを提出
	申請クラブまたは地区が提唱者側負担分を送金	
	ロータリー財団が補助金を送金	ロータリー財団が補助金を送金
プロジェクトの実施後最終報告を作成	プロジェクトの実施後最終報告を作成	プロジェクトの実施後最終報告を作成

補助金を支出してから2ヶ月以内に最終報告書を提出します。

この義務を怠ると補助金を全額返還した上、最高5年間補助金を受け取ることができなくなる恐れがあります。

## R J W 全 体 会 議 報 告



情報・IC委員会  
委員長 山田 信夫(苫小牧北)

あまり馴染みのない会議名ですが、この会議は昨年度に引き続き第2回目となります。

RJW\*とは、RIからの情報を日本語で公開しているサイトで、これを運営している組織がRJW委員会であり、私は当地区のRJW地区委員です。

2004年9月20日に高輪プリンスホテルで開催された会議には、成川守彦委員長はじめRJW委員13名、RJW地区委員19名が出席しました。

始めに河本前委員長から2003 - 04年度の報告として、運営資金は一昨年までガバナー会から200~300万円、昨年度はロータリーの友委員会から600万円の資金を受け運営してきたが、ロータリーの友委員会として公式地域雑誌を作る資金を継続してRJWに提供することは困難であることから、今後の資金確保に人頭分担金(総額約6,000万円)を求めたが、昨年度ガバナー会での判断は見送られた。資金確保が行き詰まる中「ロータリー情報センタージャパン」構想が立ち上がり、この構想の中で資金確保の道を模索していくとの報告があった。活動については1,500ページに及ぶロータリーに関する情報をホームページに掲載し、886クラブを始めとし地区などを含め1,200のリンクを貼るに至っている。また、大阪国際大会ではITコーナーを支援し4,000人の利用者を受け入れた。



成川委員長

次に、成川委員長から2004 - 05年度の方針が発表され、日本におけるロータリー諸機関との関係を

計り「ロータリー情報センタージャパン(仮称)」の設置に努める他、倫理性に対するルール作りなども提言された。

RJW地区委員からは、各地区のITやICの取り組みについて発表。やっと地区のホームページを立ち上げた地区から、ガバナー月信をネット配信のみとしている地区など様々で、地区によって考え方、取り組みについての温度差がかなりあることが浮き彫りになった。また、RJW地区委員を選任していないところが3地区ある。地区によってはRJWの運営資金を地区から30万円程度なら負担が可能と判断していて、各地区に要請してはどうかとの意見があった。

RJWは、ロータリアンがボランティアで運営していることもあり、委員会の方がご苦労されていることは事実である。また、無理をしていることもあり小さなミスもある。クラブの活動紹介のページを作ろうとしているなど、手を広げ過ぎ本来の活動に支障をきたしている側面もある。「ロータリー情報センタージャパン」構想の中で資金確保するにしても地区が負担金を支払うにしても原資は地区資金であり会員の皆さんからの会費です。まずは無駄を排除した現実的な見積りが提示され議論されるべきでしょう。

\* Rotary Japan Web  
(ロータリー・ジャパン・ウェブ)の略





## 新潟・福井災害義援金報告

新潟県及び福井県を見舞った水害への義援金は、地区総計1,992,792円となり、9月21日ガバナー会沖田順和議長宛に送金致しましたのでご報告申し上げます。

地区内各クラブ、会員皆様の温かいご協力に心より感謝申し上げます。

尚、各地区より集まりました義援金は、ガバナー会にて取りまとめられ、D2560横山ガバナー及びD2650神谷ガバナーに送金されます。

### ご協力戴いたクラブ

羽幌RC 妹背牛RC 留萌RC 滝川RC 江別RC 江別西RC  
 岩見沢RC 岩見沢東RC 栗沢RC 当別RC 札幌RC  
 札幌あけぼのRC 札幌北RC 札幌モーニングRC 札幌西北RC  
 札幌手稲RC 札幌東RC 札幌清田RC 札幌幌南RC 札幌真駒内RC  
 札幌南RC 札幌大通公園RC 新札幌RC 岩内RC 倶知安RC  
 小樽RC 小樽南RC 小樽銭函RC 蘭越RC 余市RC 千歳RC  
 千歳セントラルRC 北広島RC 長沼RC 由仁RC 三石RC  
 伊達RC 室蘭RC 室蘭東RC 登別RC 洞爺湖RC 函館RC  
 函館亀田RC 七飯RC 長万部RC 江差RC 函館五稜郭RC  
 函館東RC 上磯RC 白老RC 苫小牧RC 苫小牧北RC

ご協力ありがとうございました

新潟(D2560)・福井(D2650)  
 災害義援金募集決算報告書  
 2004年10月13日

地区	総金額
2500	1,000,000
2510	1,992,792
2520	1,961,185
2530	2,600,167
2540	1,005,000
2570	1,000,000
2580	4,039,169
2590	2,405,610
2600	1,000,000
2610	2,779,590
2620	1,336,629
2630	3,382,296
2640	3,001,131
2660	4,279,655
2670	2,500,000
2680	2,784,716
2690	2,714,763
2700	2,954,753
2710	3,075,699
2720	1,537,967
2730	1,583,291
2740	1,399,893
2750	5,720,704
2770	1,916,574
2780	2,271,048
2790	1,000,000
2800	157,000
2820	494,200
2830	710,300
総計	¥62,604,132

地区世界社会奉仕委員会からのお願い

### 「書き損じハガキ、未使用テレホンカード回収にご協力を」

世界社会奉仕委員会  
 委員長 斎藤修弥(室蘭)

これまで歴代の地区世界社会奉仕委員会が、アジアの恵まれない地域への支援を目的に、書き損じハガキ、未使用テレホンカード回収事業を行い、多大な成果をあげてまいりました。本年度地区世界社会奉仕委員会も同じ目的で、書き損じハガキ、未使用テレホンカードの回収を行い、種々の人道的な事業や厳しい環境の中で頑張っている子供たちを支援する事業を展開していきたいと思っております。当委員会はこのような奉仕活動こそ、必ずや21世紀における日本と近隣アジア諸国との相互理解や親善に大きく寄与するものと確信しております。今回新たにキャンペーン用のポスターと回収箱を作製し、クラブへお送りいたしました。どうか例会場などでご利用いた

き会員の方々と、一般の市民の啓蒙にも役立てていただきたいと思っております。ご協力宜しくお願いいたします。

記

実施期間 2004～2005年度  
 回収方法 回収箱を各クラブに設置  
 回収時期 2005年1月末、2005年5月末  
 現物送付先 051-0011

室蘭市中央町2-7-17 斎藤外科医院内  
 R I 第2510地区世界社会奉仕委員会宛  
 TEL 0143-23-1411  
 FAX 0143-24-3599

米山記念奨学生紹介

2004～2005年度

お名前 国籍 大学 課程・学年 専攻 奨学金種類 奨学期間 世話クラブ

	リ ショウ キョウフ 李 承強 君 中国 小樽商科大学 修士2年 経営管理 Y M奨学生 2004/4～2005/3 小樽 R C		ショウ ジル カ 尚 爾華 さん 中国 札幌医科大学 医博3年 地域医療人間総合医学 Y D奨学生 2004/4～2006/3 札幌セントラル R C		リョウ エン カ 劉 艶霞 さん 中国 札幌医療大学 博士3年 薬学 Y D奨学生 2004/4～2005/3 当別 R C
	ワン ショウ ヤン 王 朝陽 君 中国 室蘭工業大学 修士2年 電気電子工学 Y M奨学生 2004/4～2005/3 室蘭 R C		デマタビティヤ スムドウ 君 スリランカ 室蘭工業大学 修士1年 情報工学 Y M奨学生 2004/4～2006/3 室蘭東 R C		レン ビン 連 敏 さん 中国 北海道文教大学 修士2年 中国語コミュニケーション Y M奨学生 2004/4～2005/3 恵庭 R C
	チェン ヨン ジュ 千 永柱 さん 韓国 札幌大学 修士2年 文化学 Y M奨学生 2004/4～2005/3 札幌清田 R C		シーチャツスワン クワチ さん タイ 苫小牧駒澤大学 学部4年 国際文化学 Y U奨学生 2004/4～2005/3 苫小牧北 R C		ウ キョウ グン 于 曉軍 君 中国 北海道大学 博士2年 現代経済経営 Y D奨学生 2004/4～2006/3 札幌 R C
	シアリ レザ 君 イラン 北海道大学 医博4年 病態制御学 Y D奨学生 2004/4～2005/3 札幌大通公園 R C		ナハル ヌルン さん バングラデシュ 北海道大学 医博3年 病態制御学 Y D奨学生 2004/4～2006/3 札幌北 R C		ヨウ コウ ヨウ 君 楊 国勇 君 中国 北海道大学 修士2年 システム情報 Y M奨学生 2004/4～2005/3 札幌あけぼの R C
	チョウ ヘ キョウ 趙 慧卿 さん 韓国 北海道大学 博士3年 環境資源学 Y D奨学生 2004/4～2005/3 新札幌 R C		ジョン ジャ リオン 鄭 子龍 君 韓国 北海道大学 獣博4年 獣医学 Y D・C Y奨学生 2004/4～2005/3 札幌モーニング R C		チョウ ショウ レイ 張 秀玲 さん 台湾 北海道大学 獣博4年 寄生虫学 Y D奨学生 2004/4～2005/3 札幌東 R C
	シン ケン ニチ 申 鉉日 君 中国 北海道大学 博士2年 生命資源科学 Y D奨学生 2004/4～2006/3 函館 R C		カン ケン ユ 韓 建宇 君 中国 北海道大学 博士3年 大気海洋環境科学 Y D奨学生 2004/4～2005/3 札幌西北 R C		チェン コウ ファン 陳 光蔡 さん 台湾 北海道大学 修士2年 国際広報メディア Y M奨学生 2004/4～2005/3 札幌はまなす R C
	キム ヤン スク 金 良淑 さん 韓国 北海道大学 博士3年 国際広報メディア Y D奨学生 2003/4～2005/3 札幌南 R C		リン ヨウ ハ 林 永波 君 中国 北海道大学 博士3年 物質環境科学 Y D奨学生 2003/4～2005/3 札幌西 R C		リョウ ショウ ジュ 劉 淑如 さん 台湾 北海道大学 博士3年 歴史地域文化学 Y D奨学生 2003/4～2005/3 札幌手稲 R C
	キョウ レイ チン 邱 麗珍 さん 台湾 北海道大学 博士4年 法政治学 C Y奨学生 2003/4～2004/9 札幌真駒内 R C		イ ヨン エ 李 英愛 さん 韓国 北海道大学 博士4年 日本文化 C Y奨学生 2002/4～2005/3 札幌南 R C		シン ドウ ファン 申 東煥 君 韓国 北海道大学 博士4年 生命資源科学 C Y奨学生 2003/4～2004/6 函館五稜郭 R C

## R I 100年記念国際大会

2005年6月18日(土)～22日(水)

### オン・ツー・シカゴ委員会

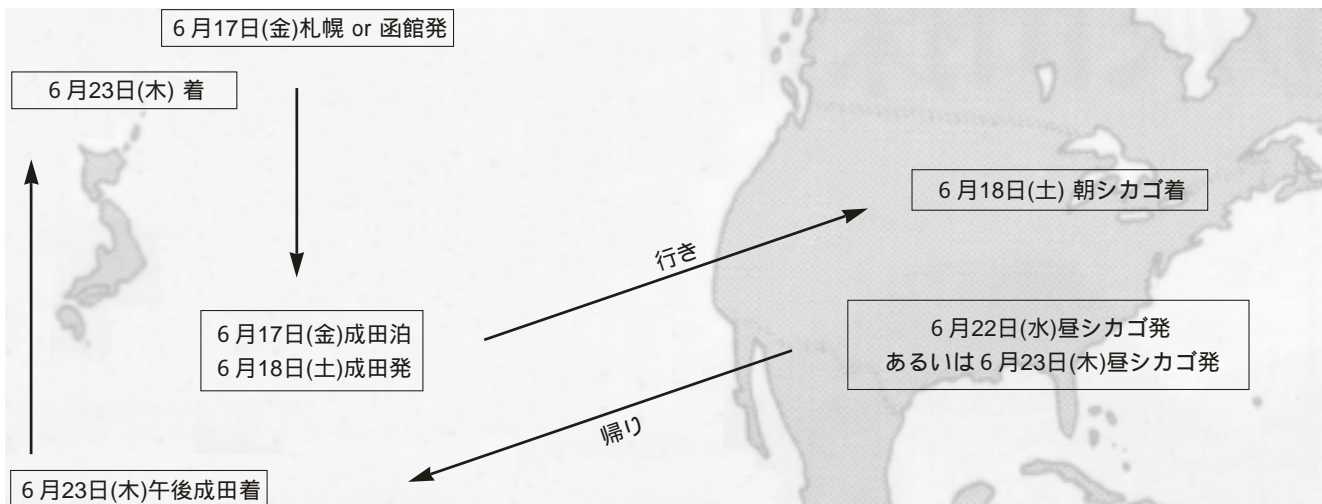
100年記念のR Iの国際大会がシカゴで明2005年6月中旬に行なわれます。折角の機会でありますので当地区から出来るだけ多数の参加を期待しております。

地区として1本だけ下記のような行程表を作ってみました。飛行機のこともありますが、頭の痛いのは宿舎のことです。また会期中訪ねたいところもあります。そこでオプションツアーを2つ用意してみました。オン・ツー・シカゴ委員会の皆さんとJTBの協力で作った素案が下記のものです。

どのような行程で行かれても個々人全く自由であります。ただ、地区としての行程表ですと比較的安くす

むかと考えております。小人数ではあまりメリットもありませんのでお隣りの2500地区にも声をかけております。2500地区のみなさんとは北海道ナイトだけでなく、オプションツアーも一緒になれる機会かと考えております。

なお、大会登録、ホテル予約は申込書を参考にして記載して下さい。大会登録は参加者全員が直接R I宛に、飛行機・ホテル予約は出来ればJTBに行ってください。その他詳細は申込書の記載事項を参考にして下さい。



#### 主な行事

パレード	6月18日(土)午前中
北海道ナイト	6月18日(土)夕刻
開会式	6月19日(日)
閉会式	6月22日(水)

#### 宿泊費

ホテル名はいまのところ未定

成田	1泊(6月17日)	1万円
シカゴ	4泊(6月18,19,20,21日)	8万円～
	5泊(6月18,19,20,21,22日)	10万円～

#### 交通費

日本航空(往復)(旅程は21ページ)およそ12万円

交通・宿泊の合計

21万～23万円以上

オプション

- (1) シカゴ市内一日観光(市内観光に次いでポール・ハリス足跡の旅として住家カムリバンク、墓地マウントホープなど) ... 6月20日予定
- (2) 五大湖、ナイアガラ泊観光... 6月21日、22日予定

その他

- (1) 上記費用はすべておよその概算で、食費を含め詳細は年明け以降に確定。オプションの料金は申込人数によって確定しますので、現時点では未定です。
- (2) 大会登録はe-mailかFAXでR Iに直接行って下さい。登録費は12月31日まで400ドルですがそれ以降は高くなります。登録方法など詳細は申込書式を参考下さい。JTBに登録を代行依頼のときは一人6,300円必要です。

- (3) 航空機ならびに宿泊の申し込みは出来ればJTB札幌三越前支店(担当 宮崎氏、柴田氏宛)に行ってください。

宿泊予約にはR Iに予約金の前納、お一人当たり175ドル(2万円)が必要です。R Iの締切は12月15日ですので早目の決断がお得となります。詳細はホテル予約書式をご覧ください。

- (4) 宿泊数は4泊、5泊の2案を用意しました。5泊の方は追加1泊分を除けば料金は4泊の方と同じです。5泊の方は閉会式の参加が可能です。
- (5) 登録申込書式、ホテル予約書式の必要な方はオン・ツー・シカゴ委員会(TEL:011-222-1506)にご連絡下さい。

上記以外で不明なことはJTB札幌三越前支店(TEL:011-232-7878、011-232-4343 担当 宮崎氏、柴田氏)にお尋ね下さい。

国際ロータリー国際大会(シカゴ) 行程表

旅行期間 2005年6月17日(金)~2005年6月23日(木) 5泊7日(旅館・ホテル5泊)

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	旅程	食事
1	2005年 6/17 (金)	新千歳空港発 成田空港着	14:25 15:55	JL3042	夜便にて東京へ(前泊) 成田前泊 約25分間接続時間が不足している為前泊必要 函館発着希望の方 函館14:00頃 航空機JAL 15:30頃羽田 ...成田へ各自移動(リムジンバス代金3,000円) <成田泊>	
2	6/18 (土)	成田空港発 シカゴ着	11:45 09:05	JL010	一路シカゴへ直行便利用 空港より車で約40分 <シカゴ泊>	
3	6/19 (日)	シカゴ			別途オプション予定あり。 <シカゴ泊>	
4	6/20 (月)	シカゴ			別途オプション予定あり。 <シカゴ泊>	
5	6/21 (火)	シカゴ			別途オプション予定あり。 <シカゴ泊>	
6	6/22 (水)	シカゴ発	11:35	JL009	ホテルより空港へ 車で約40分 一路日本へ	
7	6/23 (木)	成田空港着 成田空港発 新千歳空港着	14:40 18:30 20:05	JL3047	入国手続後国内線で北海道へ 無事到着おつかれ様でした。 函館発着希望の方 ...成田へ各自移動(リムジンバス代金3,000円) 17:00頃羽田 航空機JAL 函館18:30頃 正式時間によっては接続が出来ない場合もございます。	

ご注意: 発着時間、交通機関などは変更になる場合がございます。利用予定航空会社 J L 日本航空 復路現地 6月23日(木)希望の方は事前にご相談くださいませ。ビジネスクラスのご希望についても承ります。



(財)ロータリー米山記念奨学会 2004年10月13日発行

# ハイライトよねやま 56

## <10月は米山月間>

### 1. 寄付金速報～10月は米山月間です

9月までの寄付金は、前年同期と比べ0.03%減少でした。普通寄付金が0.9%減、特別寄付金が1.3%増です。9月の特別寄付金が前年同期と比べて増加しましたが、これは、今年度からクラブ米山(CY)奨学金【注】の半期毎の分納が可能となったことで、この奨学金に関連する世話クラブからの寄付金が、一部この時期に入るようになったことが要因と考えられます。10月は米山月間です。クラブ・地区で米山奨学事業に関わる皆さまには、引き続き卓話など広報活動にご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

#### 【注】クラブ米山(CY)奨学金：

博士課程最終学年に在籍し、1年以内に学位取得の見込みのある奨学生に対して、世話クラブからの申込みによって奨学期間を延長できる制度(最長1年)、延長期間(6ヶ月または12ヶ月)の奨学金の半額を世話クラブが寄付金として負担することが条件となる。

### 2. 今月のロータリーの友“よねやまだより”は.....

米山月間・特別座談会：『ロータリアンになった米山学友が語る米山奨学事業のこれから』  
(友10月号P.17～)

『ロータリーの友』10月号の“よねやまだより”では、米山月間特集として、恒例の特別座談会を掲載しています。今年は、現在ロータリアンとなっている4人の米山学友に、自らの経験を踏まえて米山奨学事業について思うところを語ってもらいました。支援する側・される側、双方の気持ちをよく知る彼らならではの視点が魅力です。そのほか、ロータリー米山記念奨学会の寄付金や財政、奨学生数などの諸データを2ページにわたって掲載しています。ぜひ一読ください。



### 3. 第3回フォーラムに向けて皆さまの声をお寄せください

2004年12月11日(土) 新高輪プリンスホテルにて第3回米山奨学事業フォーラムが開催されます。このフォーラムは、ガバナー・エレクトとその推薦者2名の計3名を地区代表とし、2006年度の制度改編に向けた議論のために集う場となります。以下は具体的な論点です。

- (1) 米山の“使命”とは？またその選考基準は？
- (2) 事業の目的と奨学金額
- (3) 指定校・大学推薦制度の拡充
- (4) 世話クラブ・カウンセラー制度の拡充
- (5) 新しいプログラムへの取り組み【参考資料：『米山奨学事業豆辞典』(p.11～)】

フォーラムに出席いただく3名は、地区の意見を代表して参加されます。皆さまの声をぜひ地区にお届けください。なお、フォーラムで協議された内容については、来年の『ロータリーの友』“よねやまだより”にて報告する予定です。



## 4. 国際ロータリー理事・南園義一氏より、米山奨学事業に寄せる言葉

8月30日の理事会・評議員会では、台風16号の影響でやむなく欠席となった方々もいました。来賓の国際ロータリー理事・南園義一氏も、予定の飛行機が欠航のため欠席されましたが、代わりにメッセージを寄せてくださいました。当日の会議で高野副理事長によって代読されたこのメッセージには、米山奨学事業のこれからの課題の核心を突く内容が込められており、出席した理事・評議員の皆さんも静かに耳を傾け、受け止めておられるようでした。

米山奨学事業について思いをめぐらせていただく米山月間において、南園 R I 理事からの今回のメッセージは、きっとご参考になることと思います。全文を当会ホームページに掲載していますので、ぜひアクセスしてご覧ください。

## 南園 R I 理事の言葉（一部抜粋）

今、ロータリーの奉仕活動も変わりつつあります。人道的奉仕と教育的奉仕活動の割合が変化し、人道的プログラムが増え、従来多かった教育的奨学生プログラムが減少傾向にあります。限られた寄付金のなかでの奉仕活動の比率はとても重要です。地区やクラブが個性的な活動目標と理念をしっかりとって行動すべき時代になったということでしょう。そして、今や、時代の変遷や社会構造、また社会意識の変化などによって米山奨学事業もまさに変革期にあるといわれています。この変革期を乗り切るためには、私たちは、米山記念奨学会の事業目的は何かという根本問題を再認識する必要があるように思います。

全文はこちら <[http://www.rotary-yoneyama.or.jp/r\\_member/message0830.html](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/r_member/message0830.html)>

## 5. 私は元米山奨学生の教え子～米山奨学生の卓話レポート～

「私は“一期一会”という言葉がとても好きです」と語る米山奨学生、楊 琇 媚さん【台湾/広島大学大学院/D-2710 広島東南RC】。台湾の大学の日本語学科で、心から尊敬できる恩師に出会い、努力の果てにつかんだ日本留学。彼女が師と仰ぐその人は元米山奨学生で、「日本語を教えるだけではなく、常に感謝の気持ちを持つことや、世の中の役に立つ人間になることを教えてくれました」。現在、広島大学で博士号取得を目指す楊さんですが、ここに至る道のりは試練の連続でした。甘い認識で選んだ文学研究への迷い、先行研究の論文が理解できない、アルバイト先で怒鳴られる……壁にぶつかるたびに悩み立ち止まりますが、「何も得ないままで台湾に帰ることはできない」「このくらいでやめたらこの先何もできない」と、再び歩き出す等身大の若者の姿に、「クラブ会員一同寂として声無く聴き入りました」(同クラブ会員・2710 地区 仁田理事)



全文はこちら <[http://www.rotary-yoneyama.or.jp/r\\_member/takuwa.html](http://www.rotary-yoneyama.or.jp/r_member/takuwa.html)>

## 6. 続々と反響！『米山奨学事業豆辞典』アンケート

先月の55号でお知らせした『米山奨学事業豆辞典』の巻末にはアンケートが付いています。米山月間資料として、各クラブで会員各位に配布されてから、次々に回答が寄せられています。日頃、米山奨学事業について感じていることを、ぜひこのアンケートにご記入いただき、FAXでロータリー米山記念奨学会事務局までお送りください。皆さまのご協力をお願いいたします。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよなやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。  
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯・野津・大庭  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル 8階  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281  
E-mail : [highlight@rotary-yoneyama.or.jp](mailto:highlight@rotary-yoneyama.or.jp)  
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

ロータリー  
文庫通信  
(205号)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「ロータリーの奉仕」について

- |  |  |
|--|--|
| 「知行合一」 佐藤千壽 平城京RC 2003 40p<br>[申込先:ロータリー文庫(コピー)]                     | 「おもしろおかしくロータリー」 堀場雅夫 2004 10p<br>(D.2650地区大会講話)                              |
| 「『クラブ奉仕の願望』」 深川純一 2004 6p<br>(D.2680 ガバナー月信)<br>[申込先:ロータリー文庫(コピー)]   | [申込先:ロータリー文庫(コピー)]   |
| 「『ロータリー運動の主役はクラブ』」 田中毅 2004 5p (D.2680 ガバナー月信)<br>[申込先:ロータリー文庫(コピー)] | 「ロータリー物語」 鳴海淳郎 別府中央RC 2004 39p<br>[申込先:ロータリー文庫]                              |
| 「ロータリーの心を尋ねて」 松田尊文 大牟田RC 2004 49p<br>[申込先:大牟田RC FAX(0944)57-7220]    | 「私のロータリー観」 田中克憲 2004 116p<br>[申込先:田中克憲 FAX(095)822-4699]                     |
| 「21世紀のロータリー」 千 玄室 2004 4p<br>(D.2650地区大会基調講演)<br>[申込先:ロータリー文庫(コピー)]  | 「ロータリーは知・好(行)・楽 - ロータリー情報の菜 - 」 八尾RC 2002 81p<br>[申込先:八尾RC FAX(0729)24-0010] |
|  | 「『ロータリーを考える』」 菅生浩三 1993 27p<br>(「ロータリー随想」より)<br>[申込先:ロータリー文庫(コピー)]           |

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌北RC	小林 俊之	会員	8月12日
札幌北RC	深浦 信吾	会員	8月12日
札幌東RC	小田切房之	会員	9月3日
室蘭北RC	川本 康裕	会員	9月3日
函館北RC	今井 定一	会員	9月17日
滝川RC	篠島 弘	会員	9月24日
札幌東RC	吉山 八郎	会員	10月1日
小樽RC	河辺 由清	会員	10月1日
小樽RC	熊澤 隆樹	会員	10月1日
小樽RC	島口 義昭	会員	10月1日

ポール・ハリス・フェロー

登別RC	遠藤 征子	様	8月12日
室蘭北RC	西尾 静枝	会員	9月3日
登別RC	高橋 恒夫	会員	9月3日
小樽RC	金久保兵士郎	会員	10月1日
小樽RC	三山 雄弘	会員	10月1日
森RC	渡辺 英明	会員	10月1日

## 会員投稿

## ポリオ撲滅の問題点

青木 功喜(札幌東)

ポリオ＝財団寄付のイメージが先行し勝ちである。40年前エチオピアでトラコ・マワクチンの野外実験を世界保健機構(WHO)のスタッフとして従事した経験からポリオ撲滅の問題点を述べてみたい。

ポリオウイルスの治療薬がない今、これを予防するしかない。人口の30%以上が感染すると抗体保有者がバリアになる。流行を防ぐためにはウイルスを人工的に感染させ抗体保有者を増やすためにワクチン投与が行なわれる。

ポリオの流行は1960年北海道の夕張を中心に5,000人を越す流行阻止のためそれまで投与されていた不活化ポリオワクチンを経口弱毒生ワクチン投与に切り替えて奏功し、1970年以降は激減した。

ワクチンには弱毒化した生のウイルスと不活化した死んだウイルスが使われる。その投与方法にも経口や注射がある。前者は病原性が強いだけ高い抗体価を残す。後者は安全だが、十分な効果が期待できないことがある。ポリオの場合1990年以前に生のワクチンが精力的に投与され、我が国では1980年代の初期には野生ポリオウイルスが根絶されたが、そのためには20年余の歳月が必要であった。この世界のレベルの撲滅をWHOは、1988年の総会で2000年までの12年間で全世界からポリオを撲滅しようと宣言したが、2004年の現在撲滅に至っていない。

この12年間でWHOは、野生のポリオウイルスが常在国125カ国で30万人にワクチンの全国一斉投与を開始し、2003年にはアフガニスタン、エジプト、インド、ニジェール、ナイジェリア、パキスタンの国の682人にまで減少できた。経口的に投与されるワクチンは自然の感染経路と同じ様に免疫を与え、投与を受けた子供からは多量にウイ

ルスから数週間排泄され、ワクチン投与を受けなかった周囲の子供にも感染し、免疫を与える事ができ、流行阻止には大変効果的であった。

しかし安く、手軽にできる経口生ワクチンは、これを投与した患者にワクチンによるポリオ類似の急性弛緩性麻痺患者が、ワクチンを飲んだ子や環境に排泄され200万人に1人の割合で感染すると云う欠点も判った。急性弛緩性麻痺患者の便からウイルス分離、野生株かワクチン由来株かの鑑別を行なうサーベイランスが各国で始められた。我がクラブでもミャンマーのサーベイランス事業に45周年事業として参画した。

ワクチン由来株による感受性者が増え、周囲の衛生環境が悪いと接触する頻度が高い子供達に新たな流行が起こる。事実ドミニカ、ハイチ、エジプト、マダガスカルではこの流行が報告されている。この傾向は2000年代に明らかになり、これ以上生ワクチン投与を続けるべきかどうかが大きな問題になり、従来の野生株由来のものからワクチン由来株に切り替える必要が出て来ている。

WHOは2004年1月にGlobal Polio Eradication Initiative Strategic Plan 2004～2008. を発表した。2004～2005年に常在国の生ワクチン投与をして野生ポリオの伝播を遮断し、2006～2008年にはその根絶を確認する。2009年以降の経口生ワクチン投与の中止に備え、経口投与の生ワクチンの備蓄、不活化ワクチンの製造、研究室などの野生株の封じ込めなどである。ロータリ-財団のポリオ撲滅運動はこのWHOの方針に沿った線で進められている。今後はこれらの情報に関心を寄せ展望の開けた運動をすべきであろう。

会員投稿

家族同伴野外例会  
「RC100年記念海外野外例会韓国旅行」

9月23日(木)~26日(日)

芝垣美男(室蘭東)

今年度の目玉事業のひとつとなる、「RC100年記念海外野外例会韓国旅行」が9月23日(木)~26日(日)の日程で行われました。

例年の野外例会はバスでの日帰り旅行なのですが、RC100年を記念して海外旅行に“格上げ”。また、野外例会とは別に、これまでもクラブ事業として上海やシンガポール、香港、モンゴルなどの旅行を企画しており、これらを通じて楽しく和やかなクラブの伝統を育んできました。

今回は、国際奉仕委員長(村木一夫氏)を団長に、夫婦同伴が5組、親子同伴が1組の総勢18名で釜山、慶州、ソウルの観光を楽しみました。

旅の思い出に花を添えたのは、3日目の25日、ソウルに向かう高速鉄道列車内での出来事。パスト会長矢萩富士雄氏が、この日、古希の誕生日だと知ってからです。

当クラブでは毎例会、その週の誕生日会員にハッピーバースディソングを歌い、お祝いを贈っています。ラッキーなことに、乗った車両は当クラブの貸し切り状態で、他の乗客が一人もいません。おまけに親睦委員の上田康夫氏はロータリーソングと件のハッピーバースディソングを録音したミニスピーカー付きCDプレーヤーを持ち合わせていたとあって、芝垣会長が急きょ、列車内での例会開催を宣言(もちろん正式ではありません)。全員で矢萩氏の古希の誕生日を祝ったのです。矢萩氏も「生涯忘れられない誕生日となりました」と感激していました。

その日の夕食も、バースディケーキを調達し、旅の疲れも見せず、韓国最後の夜をいっそう盛り上げて楽しんだことは言うまでもありません。

(寄稿 幹事 小林 進)



釜山港



南大門市場の雑踏



光化門エリアにて



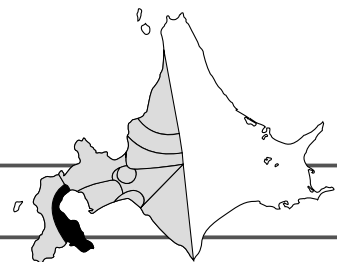
韓国の伝統舞踊



KTX韓国高速鉄道列車内での例会



こんにちは！  
第10グループです



第10グループ ガバナー補佐 加藤 直樹  
(七飯)

第10グループは噴火湾西岸沿いに南北120kmに渡り、函館、函館亀田、七飯、森、長万部の5RCから成り立っています。このうち函館RCは1934年（昭和9年）10月25日、日本国内15番目、道内3番目のRCとして創立し、歴史と伝統あるクラブであり、また10・11グループ11RCの生みの親でもあります。今年は創立70周年を迎えその意気なお軒昂、今後の更なる発展が期待できます。

さて、我が第10グループ各RCでは地域密着の活動から国際奉仕まで、幅広い活動を展開しております。一例としては、学生支援のための奨学金支給、高齢者の介護支援、ポリオ撲滅のための財団寄付等が挙げられます。また、京都大学研究室と連携したエゾヒキガエル（絶滅危惧種）保護活動の展開や、渡り鳥のための環境整備を主軸とした「バードサンクチュアリ事業」といった自然環境保護活動にも、積極的に取り組んでおります。

各RCの会員増強・士気の高揚に関しても、森の桜観会に七飯の観月会、亀田ボーリング大会など、グループ全体での奉仕・親睦を行い、交流を図ると共に



大沼から望む渡島駒ヶ岳

互いの友情を深めております。各RC間では多少、意識や活動実績に差異があるかもしれませんが、しかしそれが、各RCの特色ともなっております。交流会・勉強会等を積極的且つ継続的に行って互いに高めあうこと、これこそが今後の課題であると考えています。



桜舞う五稜郭

さて、当グループの活動地域である渡島地区は、温泉や湖沼、海岸、山岳等の自然観光資源は勿論のこと、五稜郭やヲシヤマンベ陣屋跡をはじめとする有形・無形の文化財が数多く点在し、特色ある観光圏を形成しております。観光産業に関しても、昨年こそ冷夏・SARS等の間接的影響により全道的にマイナス（入込客数対比）だったものの、東北新幹線の八戸延伸や函館羽田便の増便と当地域に関してはプラス要因も目立ちます。また、近く北海道新幹線開通も予定され、今後とも大きな期待が持たれます。



観光のみに留まらず、当地域はロシアやカナダといった国々との異文化交流も活発に行われております。これは来るべき国際化社会に向け、全国的にも大きなリードを保っているものと考えます。北海道の入り口として古来より栄えた渡島は、今後とも進取の精神溢れる活気ある土地として栄えることでしょう。

さて、先にも述べたように、本年は道南の雄・函館RC創立70周年の記念すべき年であり、また2005年2月はRI創立100周年という、節目の年であります。これに際し、我々第10グループ各RCに於いても、今一度自らの置かれた状況を見つめ、更なる飛躍の年となることを切に願って止みません。





## 掲 示 板

### ロータリーレートについて

11月のロータリー・レートは、引き続き108円です。

江別西 R C

11月23日(火) 法定休日のため休会

### 例会の変更について

倶知安 R C

11月3日(水) 法定休日のため休会

岩見沢東 R C

11月23日(火) 法定休日のため休会

室蘭東 R C

11月3日(水) 法定休日のため休会

26日(水) 夜間例会 18:30~

蘭亭(輪西町1-36-1)

千歳セントラル R C

11月16日(火) 創立記念例会(移動例会)

18:30~

エアポートホテル・アネックス

### ガバナー月信10月号の記載について

p4 「ガバナー日記」中、江別南 R C は江別西 R C の誤りです。お詫びして訂正致します。

p16 「子ども家庭奉仕委員会委員長を拝命して」の清水昭子会員は新札幌 R C の子ども家庭奉仕委員会委員長です。地区委員会の委員長ではありませんのでご注意願います。

## 国際ロータリー為替レート通知についてのご連絡

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、毎月の R I 為替レートを R I ウェブサイト上の P D F ファイルにて確認できるようになりました。また、翌月のレートにつきましては、中旬頃に載る予定です。

手順としては、以下のとおりになります。

R I ウェブサイト 日本語 ダウンロードセンター クラブ・地区支援 国際ロータリー為替レート  
<http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/index.html#support>

以前は、R I レート変更の際に、通知書を葉書にて各クラブ宛てに送付していましたが、今後は、R I ウェブサイト上でご確認していただくようになります。お手数をお掛けしますが、宜しく願い申し上げます。

国際ロータリー日本事務局 経理室

Tel : 03 - 3903 - 3183 Fax : 03 - 3903 - 3781

## ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願ひます。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願ひればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

## 9月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			04.7.1	04.9.30	増減	内女性	
1	深川	3	40	42	2	1	80.34
	羽幌	4	47	47	0	1	66.31
	妹背牛	4	10	10	0	0	75.00
	小平	4	14	14	0	0	62.50
	留萌	4	59	59	0	0	88.00
	小計		170	172	2	2	74.43
2	赤平	3	34	33	-1	2	78.50
	芦別	3	54	54	0	0	82.64
	砂川	4	54	54	0	0	90.38
	滝川	4	109	111	2	2	72.00
	小計		251	252	1	4	80.88
3	美唄	4	42	41	-1	0	89.85
	江別	4	43	43	0	1	90.24
	江別西	4	37	36	-1	3	88.88
	岩見沢	4	94	98	4	0	93.90
	岩見沢東	3	37	40	3	3	75.48
	栗沢	5	26	26	0	1	87.69
	栗山	4	29	30	1	2	95.44
	当別	3	38	39	1	1	78.63
		小計		346	353	7	11
4	札幌	5	123	130	7	0	97.84
	札幌あけぼの	4	16	17	1	1	100.00
	札幌はなます	4	24	24	0	4	76.10
	札幌北	3	49	50	1	5	96.60
	札幌モーニング	5	54	57	3	0	69.25
	札幌西	3	69	70	1	3	90.85
	札幌西北	4	48	50	2	2	92.69
	札幌手稲	4	39	42	3	1	99.41
		小計		422	440	18	16
5	札幌東	4	125	128	3	0	99.38
	札幌清田	4	26	28	2	5	100.00
	札幌幌南	4	69	72	3	0	100.00
	札幌真駒内	4	44	44	0	2	93.17
	札幌南	3	91	93	2	0	97.08
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	75.43
	札幌セントラル	4	19	19	0	8	66.00
	新札幌	4	36	35	-1	2	93.33
		小計		429	438	9	21
6	岩内	4	33	33	0	0	82.40
	倶知安	4	54	54	0	3	70.00
	小樽	4	74	76	2	0	84.81
	小樽南	4	86	85	-1	0	79.24
	小樽銭函	4	23	23	0	2	83.00
	蘭越	4	14	14	0	0	75.00
	余市	5	43	43	0	4	83.30
	小計		327	328	1	9	79.68

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,136人  
 当月末会員数(女性) 3,191(96)人  
 増加会員数 55人  
 当月平均出席率 81.68%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			04.7.1	04.9.30	増減	内女性	
7	千歳	4	65	68	3	2	72.40
	千歳セントラル	4	30	30	0	0	83.40
	恵庭	4	51	51	0	0	79.16
	北広島	4	19	19	0	2	93.06
	長沼	3	18	18	0	3	88.96
	由仁	4	15	15	0	0	78.33
		小計		198	201	3	7
8	えりも	4	24	23	-1	0	86.95
	三石	2	17	17	0	1	61.76
	様似	4	19	19	0	2	55.26
	静内	4	67	69	2	0	80.96
	浦河	4	40	40	0	1	85.63
		小計		167	168	1	4
9	伊達	4	56	59	3	0	78.43
	室蘭	4	51	53	2	0	94.23
	室蘭東	4	43	43	0	0	82.50
	室蘭北	4	37	37	0	2	100.00
	登別	5	39	39	0	2	84.62
	洞爺湖	4	10	10	0	0	80.00
		小計		236	241	5	4
10	函館	4	101	100	-1	0	78.44
	函館亀田	3	42	43	1	1	79.07
	森	4	43	42	-1	0	79.00
	七飯	4	24	24	0	0	81.20
	長万部	3	13	13	0	0	61.50
	小計		223	222	-1	1	75.84
11	江差	4	16	15	-1	0	87.40
	函館五稜郭	4	68	66	-2	0	91.85
	函館東	4	50	59	9	7	80.80
	函館北	4	37	38	1	0	83.11
	上磯	4	29	29	0	3	65.60
	小計		209	216	7	11	79.24
12	白老	4	29	29	0	1	72.00
	苫小牧	4	56	59	3	0	78.85
	苫小牧東	4	32	32	0	3	81.22
	苫小牧北	4	41	40	-1	2	81.58
	小計		158	160	2	6	78.41
	合計		3,136	3,191	55	96	81.68

## 新入会員のご紹介



野曾原 進  
岩見沢 R C  
8月27日入会



安田 俊明  
岩見沢 R C  
8月27日入会



金子 雅  
岩見沢 R C  
9月3日入会



中野 司  
岩見沢 R C  
9月3日入会



高橋 雅博  
苫小牧 R C  
9月17日入会



照井 孝二  
苫小牧 R C  
9月17日入会



高崎 英雄  
岩見沢東 R C  
9月21日入会

## 訃 報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、  
心からご冥福をお祈りいたします。

松下 勝芳 会員（江別 R C）  
2004年10月14日ご逝去（享年59歳）

### 【ロータリー歴】

1985年2月28日入会  
1989～90年度 幹事  
1999～00年度 会長  
2004～05年度 親睦活動委員長  
各委員会委員長を務められました。  
1992～93年度（P H F）  
1996～97年度（M P H F）  
2000～01年度 米山功労者



11月・12月 地区カレンダー

11 月 ロータリー財団月間/世界インターアクト週間(11/5を含む1週間)		12 月 家族月間	
1 (月)		1 (水)	
2 (火)		2 (木)	
3 (水)		3 (金)	
4 (木)		4 (土)	
5 (金)		5 (日)	
6 (土)		6 (月)	
7 (日)	米山記念奨学生交流会 (札幌市内)	7 (火)	
8 (月)		8 (水)	
9 (火)		9 (木)	
10 (水)		10 (金)	
11 (木)		11 (土)	ローターアクト地区協議会 (函館)
12 (金)		12 (日)	
13 (土)		13 (月)	
14 (日)		14 (火)	
15 (月)		15 (水)	
16 (火)		16 (木)	
17 (水)		17 (金)	
18 (木)		18 (土)	
19 (金)		19 (日)	
20 (土)		20 (月)	
21 (日)		21 (火)	
22 (月)		22 (水)	
23 (火)		23 (木)	
24 (水)		24 (金)	
25 (木)	ロータリー財団地域セミナー	25 (土)	
26 (金)	第2回ガバナー・エレクト研修セミナー 第2回ガバナー会	26 (日)	
		27 (月)	
27 (土)	第32回ロータリー研究会 (広島)	28 (火)	
28 (日)	第32回ロータリー研究会 (広島)	29 (水)	
29 (月)		30 (木)	
30 (火)		31 (金)	



[www.rotary.info](http://www.rotary.info)

# ROTARY

**Celebrating 100 years  
of community outreach**



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



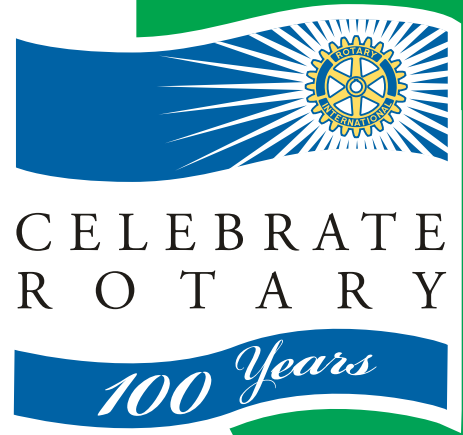
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F  
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512  
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー's LETTER .....	3
ガバナー日記 .....	4
地区大会特集 .....	6
地区委員会活動報告	
・ 第三回バヴェナ基金訪問記 .....	11
2004年9月末会員増強報告調査一覧 .....	12
第3350地区 GSEチームリーダー報告 .....	13
クラブ活動紹介	
・ 『めざせ！未来の発明王』 中学生のための燃料電池実験教室 .....	15
・ 第2370回例会 「井原正巳のサッカー教室2004」開催 .....	15
・ 『三角山の四阿でロータリーを祝おう』 .....	16
国際ロータリー日本事務局経理室からのお知らせ .....	17
RI100周年記念国際大会 .....	18
ハイライトよねやま57 .....	20
ロータリー財団へのご協力を感謝申し上げます 米山記念奨学会へのご協力を感謝申し上げます 重要なお知らせ .....	22
ロータリー文庫通信 アンケート調査へのご協力をお願い .....	23
会員投稿	
・ 銀山学園訪問記～プロジェクトX風～ .....	24
こんにちは！ 第11グループです .....	25
掲示板／ガバナー事務所からのお願い .....	26
10月会員増減数・出席率報告 .....	27
新入会員のご紹介／訃報 .....	28
12・1月地区カレンダー .....	29

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.6  
2004.12



年の瀬は、何かと多忙と思いますが  
北海道はこれから寒さ厳しくなります  
お身体を充分にお気を付け下さい。  
来年、2005年またお会いしましょう。

# Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

## ロータリー家族月間に思うこと

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



1995～96年度会長ハーバート・ブラウン氏は「家族への献身」を強調事項と定め、毎年2月第2週を「家族週間」としました。2003～04年度会長ジョナサン・マジリアベ氏はロータリー家族の推進を強調し、毎年12月を「ロータリー家族月間」とすることを宣言しました。それは、物故会員の配偶

者も含めた家族が参加できる活動を計画したり、家族の重要性を認識するように促すものであります。2004年2月国際協議会でRI会長エレクトのグレン・エステス氏は「テーマに関する講演」の中で、ジョナサン会長が「ロータリー家族」を強調されたのは、私にとって実に重要なことでした。それは、ロータリーはこれまでも、現在も、私の家族にとって大きな存在であるからです。それゆえ、私たちは来年度もロータリー家族として、財団学友、研究グループ交換、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLAも含めた家族を強調し続けます。そしてロータリー家族委員会は退会防止に重要な役割を担い続けます。ロータリーが会員を家族から引き離す義務だと思われれば困ります。クラブが配慮と思いやりに満ちた雰囲気奨励し、社交行事や奉仕プロジェクトに家族の参加を得れば、ロータリーは会員にとって生活を豊にする、満足のいく、現実的なものとなります。と述べています。一方、小林博パスト・ガバナーは「ロータリーの友」5月号の寄稿文の中で、ロータリー家族に

一定の理解を示しつつも、2510地区には、2002～03年度から始まった「家庭奉仕委員会」があり、自分の家族に対する奉仕が、ロータリーの四大奉仕の原点とも言うべきもので、「ロータリーは家庭から」という考えから「家庭奉仕」なのであり、平和で円満な家庭をつくっていく努力をしよう。これはロータリアンとしての人間的資質の向上の狙いがあります。と述べられ「家庭奉仕」と「ロータリー家族」の違いを求められています。

私は「ロータリー家族」の原点が家族への献身であるとするならば、両者の方向性としては同じ方を向いているのだと思います。木に例えるならば、苗木や若木を太い立派な幹に育てるのが「家庭奉仕」であり、やがて沢山の枝、葉がついて実をつけ、それが新芽を増やして林になり、森が育つのが「ロータリー家族」だと思います。2003～04年度ガバナー月信10月号に、家庭奉仕委員会の和田壬三委員長、高下泰三委員の記事の中に、日本教育研究所が高校生を対象とした意識調査の結果として「自分の両親を非常に尊敬しますか」との問いに「はい」と答えた割合が、韓国55%、アメリカ80%なのに、日本は10%しかいないと記載されています。お読みになった方はショックを受けられたと思います。国民性や歴史的背景によって「ロータリー家族」と「家庭奉仕」のいずれを選んでよいと思いますが、現在の我国では、ロータリアンが中心となって、若木を立派な木に育てる努力をすることが急務だと思います。やがて林になり、森になることを夢見ながら。

## ガバナー日記

10月11日(月) 臨時ガバナー会会議が高輪プリンスホテルで11:00~14:00開催された。議事進行はガバナー会議長の仲田順和氏(D.2750)が努めた。

### (1)ロータリー情報センター・ジャパン(仮称)構想案について

RJWが立ち上がっているがこれまで一時ガバナー会が支援、現在「ロータリーの友」が支援しているが、雑誌としてのアナログ情報、ウェブとしてのデジタル情報、情報を保管するアーカイブの三つの機能を体系的な組織としてロータリー情報センター構想が持ち上がっている。理解を求めてゆきたい。

### (2)100周年を記念して新聞紙上全国一斉広告に関しては見合わせる事となった。

### (3)モンゴル緑化運動支援について

モンゴル・南ゴビの植林による黄砂減少と砂漠化防止計画をRI100周年記念事業として、日本と韓国の全ロータリアンが参加して行いたいとの提案であった。韓国ゾーン9のガバナー調査チームが、8月にモンゴル調査に出向いた報告も行われた。日本のガバナー会ではこの話に乗るかどうかは未定。

### (4)ロータリー青少年交換研究会

ガバナー会から一部資金提供して2005年4月22日~23日パシフィックホテル東京で開催予定であるが、まだ具体的には決まっていない。

### (5)平和センター(ロータリーセンター)活動支援

ホストエリアが人的にも資金面でも負担が大きい、資金不足が生じて来ている。各地区のDDFの中から少しずつでも協賛して欲しい。平和奨学生はすぐに効果は表れないが、長い目で育てる必要がある(田中作次理事)。

### (6)青少年育成委員会について

地区子ども奉仕委員会で作成された、ロータリアン講師派遣、及び職場体験受入れ事業所のリストをガバナー会に提出してきた。リストはまとめて文部科学省に提出したい旨の話があった。

### (7)大阪国際大会記念切手特別通信販売

まだ在庫30万シートある。希望クラブは地区事務所に金額と共に申し込んでほしい。1シート(切手10枚)800円

### 報告事項

#### (1)次年度議長 D.2750地区ガバナー

(2)事務所移転問題、2004年3月24日付でabc会館の所有権が、朝日放送(株)から(株)ゴールドクレストに移ったため、賃貸契約の解約申し入れがあり、「ロータリーの友」、「ロータリー文庫」、「米山記念奨学会」と共に新しい移転先を探している。

(3)新潟・福井義援金募集報告 総金額62,201,012円、D.2510地区 1,927,792円、ありがとうございました。両地区に半額ずつ贈呈される事となった。

10月13日(火) 地区大会実行委員会が行われた。これまで何回会議が持たれたであろうか。戸塚委員長、和田幹事をはじめ登別RCのメンバーが中心となり、第9グループ各クラブからも大勢の委員を出していただき、計画が積み重ねられて来たが、私は公式訪問に追われ、余り出席出来なかった。今日が最終打ち合わせで、委員の皆さん、事務局、眼の色が変わっていた。ほぼ万全の体制であり、後は天候次第。

10月15日(金) お昼に韓国3700地区の皆さんが千歳着、伊奈代表幹事に出迎えてもらう。15時過ぎに石井 治RI会長代理御夫妻が千歳着、エイド役の岩城PG御夫妻と私達夫婦で御出迎え、あわただしくポロト湖アイヌ博物館を見学し、登別温泉にお送りする。今朝から行われた記念ゴルフ大会のことが気がかりであるが、好天に恵まれ、成功まちがいなし。

10月16日(土)~17日(日) RI第2510地区地区大会。今年は夏が長く例年より紅葉が遅れ、見頃にはまだ少し早い。昨日の記念ゴルフ大会に引き続き好天に恵まれた2日間であった。色々反省はあるが、進行も順調に運び、RI会長代理晩餐会と懇親会も和やかで、石井様のお人柄

No. 17

Date 04. 12. 1



もあり大変盛り上がり親睦がはかられたと思う。詳細については後日発刊される記録を御参照頂きたい。第3700地区との姉妹地区締結も無事終了しホッとしている。展示ブースやマッサージコーナーも大変盛況であった。

10月18日(月) 石井 治 R I 会長代理御夫妻と、第3700地区都総裁他の皆さんを、岩城 P G、伊奈代表幹事と御見送りをする。

10月25日(月) 函館ロータリークラブ創立70周年記念式典が、函館国際ホテルで盛大に行われた。近隣の R C はもとより、台湾澎湖扶輪社、京都洛中 R C から也大勢の会員が出席された。記念事業として植樹が行われ、市民や観光客にも楽しんでもらえそうである。また40年間続けて来たクラブ奨学制度の他に10名3年間の記念奨学生を募集されるとのことであった。記念祝賀会も大変楽しいものであった。伊奈代表幹事共々最期まで楽しめなかったのが残念であった。

10月29日(金) 今日(10月4日(月))に来日した R I 3350地区 G S E チームのさよならパーティが開かれた。ソンプンリーダー以下4名のメンバーは、G S E 山名委員長はじめ委員の協力で面密なスケジュールを作整、俱知安、上磯、留萌、札幌幌南各クラブが1週間ずつお世話し研修を行った。すべて順調に進んだが、メンバーの1人が途中水疱瘡となり、本人はもとより、留萌クラブは大変な思いをされたことであろう。しかし今日は元気にタイの民族舞踊を披露され安心をした。今日のパーティは札幌幌南クラブが移動夜間例会に切り替え、引き続き、さよならパーティを企画してくださったので盛大なパーティとなった。私は担当幹事の高橋恒夫氏と共に出席させて頂いた。ソンプンチームリーダーをはじめ5名のメンバーから口々に G S E 委員会、お世話になった各クラブの誠意と研修成果に感謝

の意を表し、タイと日本のかけ橋になりたいと国際理解を示されたことが大変嬉しかった。関係各位に心から感謝を申し上げる。そして来日したメンバーの皆さんの将来が楽しみである。

明年は土橋信夫チームリーダー以下4名のチームがタイ国3350地区を訪れることになる。どんな成果が得られるか今から楽しみにしている。



10月31日(日) G S E チームを千歳空港で見送る。過密なスケジュールを終了し、4週間振りに無事帰国の途についた。胸の中に沢山の思い出と貴重なお土産を持って。

11月7日(日) 米山奨学委員会による親睦交流会が札幌市北区民センターと札幌サンプラザで開かれた。12時~14時30分、料理作りと交流、15時~17時、懇親交流会の2部構成で私は後半の楽な方に出席をした。奨学生、学友、カウンセラー、ロータリアン、及びその家族を含め93名の盛大な会となった。料理はさすがに国際色豊かで、日本料理は手打ちそば、中国からは水餃子、イランからはシシカバブー、スリランカはカレー、韓国は韓国風海苔巻き、台湾は茶葉たまご等、お国自慢の品々が奨学生や学友、その家族の手で作られ地区委員、カウンセラーの皆さんのお手伝いを得て交流を深めながらの調理に満足された様であった。懇親会では皆で各国の料理を味わったが、どれも大変おいしかったし、交流の和が広がり、あっと言う間に閉会となった。初めての企画、準備、進行に活躍された、竹原委員長はじめ各委員の皆さん有難うございました。そして御苦労様でした。



## 国際ロータリー第2510地区大会

10月16日(土)17日(日)に登別の地で開催されました地区大会は石井 治 R I 会長代理ご夫妻をお迎えし、秋晴れのもと盛大に開催されました。

### 大会 1 日目

#### 会長・幹事会 祝いの宿登別グランドホテル

第2510地区各クラブの会長・幹事の皆様にご参集いただき、大会決議案等の御承認をいただきました。



### 本会議 1 日目

会長・幹事会に引き続き本会議が開催され、大会決議案上程、委員会報告等が実施されました。



### 記念フォーラム

「私たちの異文化体験と国際親善」をテーマに財団学友による基調報告・パネルディスカッション、タイの G S E チームメンバーの報告があり、フレッシュな内容に会員も刺激を受けると共に奉仕の意義を再確認いたしました。



## 第3700地区との姉妹地区締結式

大会第1日目の休憩時間を利用し、姉妹地区の締結が行われました。

遠藤ガバナーと都ガバナーの堅い握手と和やかな雰囲気の中無事終了いたしました。本大会2日目には署名の交換が行われました。



## R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

1日目のスケジュールを終え、和やかな雰囲気の中で晩餐会が開催されました。

石井治R I会長代理の本会議とは一変した大変楽しいご挨拶に参加されたみなさんも何度も笑いの渦に包まれました。



## 大会 2 日目

### 本会議 2 日目

1 日目から会場を移動し、日本工学院北海道専門学校にて本会議を開催されました。

物故者追悼、参加者紹介、R I 現況報告、表彰等の多彩なプログラムが挙行され、また「多くの人たちとの出会いの中で」と題し松島トモ子氏による記念講演が開催されました。





## 展示ブースコーナー

地区委員会及び各クラブより展示ブースに多数ご参加いただきました。

日頃の活動の成果などが展示され互いの活動の情報交換の場となりました。また、マッサージコーナーも設けられ大会の疲れを癒していただきました。



## 記念懇親会

またまた会場を移動し第一滝本館にて記念懇親会が開催されました。

2会場に分かれるというハンデは有りましたが、おいしい料理と楽しい雰囲気でおおいに盛り上がりを見せる中、大会のフィナーレを迎えました。



## 記念囲碁大会

10月11日（月）日本棋院北海道支部にて開催されました。地区内の30名が参加し熱戦が繰り広げられました。



## 記念ゴルフ大会

10月15日（金）登別カントリー倶楽部にて記念ゴルフ大会が開催されました。

80名余りの参加者を迎え幸い天気にも恵まれ、楽しいプレーとなりました。



## 大会実行委員会

今回の地区大会は、第9グループ6クラブが一致協力して大会運営にあたりました。不備な点は多々あったかと思いますが、何とか地域の特色を出しながら精一杯頑張りました。来年はまた札幌の地で皆様とお会いできることを楽しみにしております。改めてご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。





## 地区委員会

## 活動報告

### 第三回パヴェナ基金訪問記



家庭奉仕委員会

委員 和田 壬 三(札幌幌南)

ロータリアン有志で、タイ国バンコックのドンミアンRCのパヴェナさんが個人でしている虐待や差別で苦しんでいる子供と婦人を救うためのボランティア活動を続けて、今年で三年目になります。

新たに委員会に札幌真駒内RCの斉藤康嗣氏が加わり、ロータリアンではない1名の方を加え、真駒内RCの佐々木敦氏を団長に中山裕視氏(真駒内)、佐藤裕一(札幌西)、和田壬三(札幌幌南)の六名で、11月1日にドンミアンRCを訪れ、パヴェナさんに募金で集まった金額全額を寄付名簿と共にお渡しして参りました。

パヴェナさんはお忙しい政党活動の中、このボランティアを優先してされていて、連日のようにその活躍がマスコミに取り上げられています。

私共がお会いしたときにも、ご主人に財産分与と称して全部取られた気の毒なご婦人からの依頼で自らご主人と対面して、財産が売り飛ばされる寸前で、ご婦人固有の財産を取り戻して上げてきたばかりということでした。

下の新聞は日本語版のタイの新聞で、やはりパヴェナさんの日常活動が記事に取り上げられています。

私共はこのような活動を自らの労力と資金で、終局的には家庭に民主主義をもたらして、家庭の平和を実現する活動を行っているパヴェナさんを少しでも支援できればという趣旨で募金活動をしています。



関心のある方は、下記の住所にお問い合わせ下さい。又ご寄付を申し出られる方は、下記口座にご送金の上FAXにて英文でフルネームと住所をご連絡下さい。

060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目  
札幌毎日会館  
和田法律事務所  
TEL011-281-0909 FAX011-271-4336

北海道パヴェナ基金支援委員会  
北洋銀行道庁支店 普通預金 口座番号 3473580  
口座名義 パヴェナ基金預かり口 代表 和田壬三



## 2004年9月末会員増強報告調査一覽修正版 1・2・3・4Aゾーン

RI会員組織コーディネーター

高橋 文夫(山形北)

ZONE	地 区	04-7-1 (人頭分担金支払人数)	内女性会員数	当月迄の 入会数 (7月~9月)	当 月 入会数 (9月)	当月迄の 退会数 (7月~9月)	当 月 退会数 (9月)	当月末の 会 員 数 (9月末日)	内女性数 (9月末日)	現在迄の純増数 (7月~9月末)	内女性純増数 (7月~9月末)
1	2500	2,670	51	81	17	25	5	2,726	51	56	-
	2510	3,136	94	69	18	17	10	3,188	96	52	2
	2520	2,826	92	66	14	24	10	2,868	94	42	2
	2530	2,662	99	78	10	37	14	2,703	99	41	-
	2540	1,288	30	45	8	17	6	1,316	33	28	3
	2550	2,074	75	42	17	24	12	2,092	74	18	-1
	2560	2,196	89	51	7	22	12	2,225	95	29	6
	2790	3,190	105	65	13	24	10	3,231	111	41	6
	2800	2,112	58	41	11	16	6	2,137	64	25	6
	2820	2,377	66	74	12	19	7	2,432	68	55	2
	2830	1,297	39	40	9	12	5	1,325	41	58	2
2840	2,148	61	53	8	33	7	2,168	67	20	6	
1ゾーン合計		27,976	859	705	144	270	104	28,411	893	465	34
2	2570	2,121	53	42	6	16	4	2,147	56	26	3
	2580	3,646	88	104	22	40	13	3,710	92	64	4
	2590	2,718	109	60	17	23	9	2,755	113	37	4
	2600	2,420	55	49	13	29	8	2,440	57	20	2
	2610	3,057	134	54	7	32	12	3,079	138	22	4
	2620	3,719	106	92	20	41	23	3,770	108	51	2
	2750	4,740	234	88	26	31	9	4,797	237	57	3
	2770	2,923	112	80	25	16	8	2,987	119	64	7
	2780	2,547	80	51	7	20	9	2,578	82	31	2
2ゾーン合計		27,891	971	620	143	248	95	28,263	1,002	372	31
3	2630	3,854	59	101	22	28	12	3,903	64	49	5
	2640	2,764	135	57	15	19	9	2,802	137	38	2
	2650	5,304	68	116	26	47	21	5,373	72	69	4
	2660	4,261	176	81	27	23	4	4,319	177	58	1
	2680	3,351	51	57	17	15	9	3,393	51	42	-
	2690	3,579	121	103	14	31	8	3,636	126	57	5
	2760	5,313	126	144	37	33	12	5,424	130	111	4
3ゾーン合計		28,426	736	659	158	196	75	28,850	757	424	21
4 A	2670	3,346	69	102	35	51	19	3,397	72	51	3
	2700	3,342	42	99	27	50	30	3,391	45	49	3
	2710	3,647	69	118	25	49	19	3,716	72	69	3
	2720	2,823	116	86	25	46	19	2,863	119	40	3
	2730	2,646	62	79	21	46	15	2,679	64	33	2
	2740	2,630	61	69	18	49	20	2,650	60	20	-1
4-Aゾーン合計		18,434	419	553	151	291	122	18,696	432	262	13
総 合 計		102,727	2,985	2,537	596	1,005	396	104,220	3,084	1,523	99

## 第3350地区 GSEチームリーダー報告



第3350地区 GSEチーム  
チームリーダー Somboon Bunyasiri

### 歓迎レセプション

最初の日(2004年10月4日)そして私が千歳空港に到着したのは夜遅くであった。驚いた事に、何名かの日本のロータリークラブのメンバーが出迎えに来て下さったのに非常に感激しました。それは遠藤秀雄ガバナー、塚原ガバナー・エレクト、遠藤正之バスト・ガバナー、山名GSE委員長、岡崎GSE次期委員長、武藤副委員長、倶知安RCから来てくれた長尾コーディネーターをはじめ地区GSE関係者でありました。私と私のグループを空港に迎えてくれた暖かい歓迎は信じ難いほどの驚きで素晴らしい事でありました。こんなに遅い時間に空港で皆さんにお会い出来るなんて信じる事が出来ませんでした。

私と私のグループにとって言葉で言い表せない程の感謝の気持ちで深く感激を感じるの大きな名誉であります。

### 倶知安での第1週目

ホストファミリー：

中井宏治前ロータリークラブ会長と倶知安ロータリークラブでは私のために自宅の前にあるホテル第一会館を宿舎として取っておいて下さった。中井さんは社会的職務で非常に忙しい方でしたが、非常に親切で息子さんと同じ倶知安RCの会員である中井直樹さんに面倒を見るよう手配して下さい、私の滞在を満足のいくよう楽しくして下さいました。

全般的印象：

このGSEプログラムにかかわった全てのクラブメンバーはその最大の努力と注意を払って下さり、特に小川淳一会長、柴田洋一さん、鈴木保昭さん、矢吹さん、そして櫛引英雄さんは十分なそして効果的なプログラムを組んで下さり、又我々の銀行の手順の職業研修で

は専門語のために難しいにもかかわらず最後には我々が必要な事を十分身につくようにしてくれました。

### 上磯での第2週目

ホストファミリー：

上磯では親切にも私に二軒のホストファミリーで過ごすよう手配してくれました。

最初のホストファミリー：

非常に好意のある親切で楽しい人たちの竹内誠二さんの家族と過ごして、私は竹内さんのマンションで滞在中楽しく過ごす事が出来ました。

二軒目のホストファミリー：

森崎幹子さん家族と過ごして、彼女は非常に素晴らしい女性実業家で日々の業務が忙しいのに貴重な時間をさいて私に特別な食事を料理して下さいました。私は彼女が私の面倒を見ようとしてくれるのは負担でなかったかと感じました。私は暑い気候の所から来たので、多分未だ寒い天候に適應する事が出来ないために、暖房のない屋根の下の床に過ごして、私は夜は非常に寒く感じました。次に日本に来る時は、私はポータブルの投げ込み電熱器を間違いなく持参しなければならないと思います。



全般的な印象：

上磯RCの会員は36名ですが、手に手を取って強い友情の結束をしておりました。特に木下康昭会長、張江征司さん、竹内誠二さん、小椋利勝さん、谷内修さん、大場先生は素晴らしい有益なプログラムを作り出してくれました。私は不動産代理店の経営知識を大いに学び、それを適用して私の最新のデータにする事が出来ました。

#### 留萌での第3週目

ホストファミリー：

光風館石亭ホテルの道重幸社長は私のために素晴らしい典型的な日本風旅館を用意してくれました。私は快適な日本の生活様式でくつろぐ事が出来ました。私はこの旅館を経営している道さんと親戚の方が私を親しい友人のように扱ってくれたように感じて、それが私の滞在を快適にしてくれました。

全般的な印象：

留萌RCのコーディネーターである歯科医の田中公一先生は我々の滞在中我々ともっと時間を過ごすために、先生の大きくて忙しい歯科医院をしばらく休診しなければならぬ程素晴らしく努力をして下さいました。又先生はミスをする余地がない事を確かめるために先生の時間を献身的に捧げて下さいました。先生はクラブメンバー即ち、清水陸会長、河部勲次期会長、中川勝美さん、関野政人さん、二ノ宮清信さん、道重幸さん、そして地区委員会の中に立って最も効果的な調整役をしてくださいました。

更に、留萌では我々のメンバーの一人が水疱瘡に罹り、彼女は留萌RCの新井田先生とロータリアンの二ノ宮さんにためらわずにそして手厚く看病していただきました。

これに加えて、札幌からGSEの井上先生と武藤順副委員長（札幌西RC）が留萌に来て下さり、特に幾つかの業務で忙しい井上先生は札幌から車で来られて、留萌クラブの例会に出席の後直ぐに帰らねばなりませんでした。

井上先生は又、私がカイロでの世界社会奉仕サミットに出席の計画があるので、エジプトに関する情報を詳しく教えてくれるエジプトの学生を紹介してくれました。

私は全ての上記に述べた忘れがたい経験に非常に感動致しました。

それは皆さんが典型的な日本的好意ともてなしの心

で、特に問題で我々が困っている時に我々のために気遣って下さった事を明らかに示しております。

#### 札幌での第4週目

ホストファミリー：

札幌真駒内RCのガバナー補佐である丸山淳士先生が私のホストファミリーでした。先生のところは大家族で結婚している二家族（息子さんの荘史さんとお嬢さんの希さん）と寛史（1歳）という名前の一人の可愛い甥が住んでおられます。丸山先生はユーモアの素晴らしいセンスがあり、我々が先生の家庭で夕食を食べながら会話を楽しんでいる時に、私を気楽にさせてくれました。食べ物と飲み物に関する限り我々二人はたくさんの共通点がありました。私は夜は先生のマンションの近くのメルパルク会館に宿泊しました。

全般的な印象：

私はGSE次期委員長の岡崎芳明さんが住職の量徳寺の新会館落成法要に出席する機会があって非常に感動致しました。私も仏教徒の一人として、私の人生の中で確かに思い出の経験となる楽しい感情に満ちておりました。

札幌幌南RCでの例会：

外国にいるタイ人としてタイの国旗を見ながらタイの国歌を歌う事の出来たことは私のような人間にとっても感謝の気持ちで一杯でした。

Thank you very much.  
GSE Team from 3350

訳：武藤 順 委員  
（札幌西）





## クラブ活動 紹介

### 『めざせ！未来の発明王』 中学生のための燃料電池実験教室

滝川RC会長 篠島 弘  
新世代活動推進委員会委員長 竹田 行宏

昨今、日本はもとより世界中で注目や期待されている、自然環境に優しいエネルギー、燃料電池について学習する教室を11月6日開催させていただきました。



市内の中学生50人の生徒に参加いただきました。  
(財)新エネルギー財団の小俣富夫講師の指導のもと講話の中で燃料電池は水素と酸素を科学反応させ電気を作ることを学び、また石油などに比べて二酸化炭素の排出が少なく地球温暖化を防ぐクリーンなエネルギーであることを理解しました。その後実際に水の電気分解からの実験に入り1時間30分と短い時間ではあったが、この技術が環境負荷の軽減にもつながり、自分たちのこれからの生活の中の大切なエネルギーになることを学んでもらいました。



### 第2370回例会 「井原正巳のサッカー教室2004」開催

滝川RC社会奉仕委員会 山口 清悦

滝川市と周辺市町村にあるサッカースポーツ少年団員、中学校サッカー部員を対象に元全日本主将井原正巳選手に直接指導していただき、子ども達が「リーガーを目指すなど、より高い目標を掲げられるよう企画実施した。ロータリークラブのない地域の子ども達も対象にするなど広域的事業としたため、参加者は200名





と予定を越える申込みがありました。例会内容は井原氏のサッカーの練習に対する心構えをお話いただき、実技指導・ミニゲームを通し全員と触れあう中で子ども達の夢をかなえました。閉会式では優秀選手10名にサイン入りボール、そして参加者全員にサイン色紙と教室受講修了証のプレゼント、記念写真をして終了しました。



翌1997年 総工費150万円で四阿が完成し、札幌市に寄贈いたしました。

落成祝として クラブ会員の経営する山の手幼稚園児童と共に登山。連凧を揚げ20周年を祝いました。「四阿を守る会」を結成。以来毎年有志による登山が、当クラブの恒例となりました。家族同伴で登ったり、野球少年たちと登ったり楽しいひと時を過ごしております。

2000年 メモ帳を設置し、書かれた文を「あずまや日誌」として小冊子を発行。札幌市西区役所に寄贈、北海道新聞、読売新聞、毎日新聞等に掲載され好評を得て札幌西北ロータリークラブの広報活動にも貢献いたしております。

2001年 クラブ創立25周年記念事業の一つとして、屋根に銅板を葺きました。

今年、4本の柱が腐食して来ているのを改修しようと考えていた矢先、北海道を襲った台風18号。「四阿を守る会」会長は、直ぐに登山。至る所で大木が倒れていたが、四阿は無事との報告を受け、会員一同安堵いたしました。ロータリー100年を祝う行事の一つとして、9月25日(土)『三角山の四阿でロータリーを祝おう』と銘打った登山を行ないました。

参加者：札幌西北ロータリークラブ会員と家族

札幌山の手高校インターアクトクラブ会員と教師  
札幌西北ロータリークラブ元会員で四阿に関係した皆様

あずまや  
『三角山の四阿でロータリーを祝おう』

札幌西北RC 雑誌・広報委員会  
委員長 渡邊 葉子

『三角山の四阿』は、当クラブの宝物の一つなのです。これまでの経緯を、ご紹介いたします。

1996年 札幌西北ロータリークラブ創立20周年記念事業として、三角山頂上に四阿を建造し、札幌市に寄贈することを計画いたしました。

目的：登山口から頂上までの清掃

四阿の点検・清掃、補修計画立案、登山者記録帳設置

懇親会

札幌西北ロータリー  
クラブ 新世代委員  
会・社会奉仕委員会・  
親睦活動委員会そし  
て、四阿を守る会ク



ラブを挙げての行事となりました。有志一同倒れた木に圧倒されながら、登頂。しかし、柱3本はすでに札幌市が改修しておりました。チョット拍子抜け。持参した「登山者記録帳」を入れる引き出しの取り付けを会員子息が行い、総勢31名全員で、記帳いたしました。

今後も、多くの登山者に利用して頂きたいと思います。秋晴れの市内をさわやかな気持ちで見晴らし、下山いたしました。その後、会員の経営する銭湯に入れていただき懇親会。良い汗を流した一日でした。

これからも、この四阿を大切に守り続けたいと思います。



## 国際ロータリー日本事務局経理室からのお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、毎月のR I 為替レートをR I ウェブサイト上で確認できるようになりましたが、翌月のレートにつきましては、ホームページ上で日本語版よりも英語版の方が早く載るようですのでご連絡致します。

手順としては、以下のようになります。

<英語版>

R I ウェブサイト Downloads Club-District Support Exchange Rates Rotary International Exchange Rates  
<http://www.rotary.org/newsroom/downloadcenter/support/rates.html>

<日本語版>

R I ウェブサイト 日本語 ダウンロードセンター クラブ・地区支援 国際ロータリー為替レート  
<http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/index.html#support>

尚、12月から国際ロータリー為替レートは、104円に変更になります。

また、従来クラブへは葉書にてお知らせいたしておりましたが、一回のお知らせにつき国内総計10万円以上かかっておりました。経費節減・技術革新のあり、上記手順にて貴地区内クラブにおきましても確認いただくようご連絡の程お願い申し上げます。

以上、ご連絡申し上げます。

国際ロータリー日本事務局 経理室

Tel : 03 - 3903 - 3183 Fax : 03 - 3903 - 3781

年内の登録お忘れなく

## R I 100年記念国際大会

2005年6月18日(土)～22日(水)

オン・ツー・シカゴ委員会

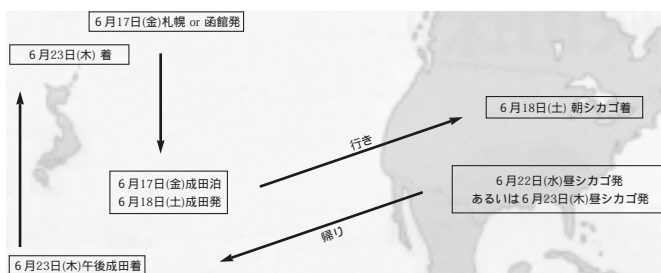
Tel 011 - 222 - 1506 Fax 011 - 222 - 1526

日本航空(JAL)でシカゴに行きましょう!!

地区として1本だけ下記のような行程表を作ってみました。飛行機のこともありますが、頭の痛いのは宿舎のことです。また会期中訪ねたいところもあり、オプションツアーを2つ用意してみました。

どのような行程で行かれても個々人全く自由であります。ただ、地区としての行程表ですと比較的安くすむかと考えております。

なお、大会登録、ホテル予約は申込書を参考にして記載して下さい。大会登録は参加者全員が直接RI宛に、飛行機・ホテル予約は出来ればJTBに行ってください。その他詳細は申込書の記載事項を参考して下さい。一括JTBに頼まれても良いですが、費用がかかります。



### 交通費

日本航空(往復)(旅程は19ページ)およそ12万円

### 宿泊費

ホテル名はいまのところ未定

成田	1泊(6月17日)	1万円
シカゴ	4泊(6月18,19,20,21日)	8万円～
	5泊(6月18,19,20,21,22日)	10万円～

交通・宿泊の合計 21万～23万円以上

### オプション

- (1) シカゴ市内一日観光(市内観光に次いでポール・ハリス足跡の旅として住家カムリバンク、墓地マウントホープなど)...6月20日予定  
この方面の詳細については、塚原GEよりご解説をいただく予定です。
- (2) 五大湖、ナイアガラ泊観光...6月21日、22日予定

### その他

- (1) 上記費用はすべておよその概算で、食費を含め詳細は年明け以降に確定。オプションの料金は申込人数によって確定します。
- (2) 大会登録はe-mailかFAXでRIに直接行って下さい。登録費は12月31日までロータリアン250ドル、夫婦で400ドルですがそれ以降は高くなります。登録方法など詳細は申込書式を参考下さい。JTBに登録を代行依頼のときは一人6,300円必要です。
- (3) 航空機ならびに宿泊の申し込みは出来ればJTB札幌三越前支店(担当 宮崎氏、柴田氏宛)に行ってください。RIの締切は12月15日ですので早目の決断がお得となります。詳細はホテル予約書式をご覧下さい。
- (4) 宿泊数は4泊、5泊の2案を用意しました。5泊の方は追加1泊分を除けば料金は4泊の方と同じです。5泊の方は閉会式の参加が可能です。
- (5) 登録申込書式、ホテル予約書式の必要な方はオン・ツー・シカゴ委員会(TEL:011-222-1506)にご連絡下さい。  
上記以外で不明なことはJTB札幌三越前支店(TEL:011-232-7878、011-232-4343 担当 宮崎氏、柴田氏)にお尋ね下さい。

国際ロータリー国際大会(シカゴ) 行程表

旅行期間 2005年6月17日(金)~2005年6月23日(木) 5泊7日(旅館・ホテル5泊)

日次	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	旅程	食事
1	2005年 6/17 (金)	新千歳空港発 あるいは 函館空港発 成田空港着	14:25 14:00 15:55 15:20	JL 3042 JL 1164	夜便にて東京へ(前泊) 成田前泊 約25分間接続時間が不足している為前泊必要 ...成田へ各自移動(リムジンバス代金3,000円)	<成田泊>
2	6/18 (土)	成田空港発 シカゴ着	11:45 09:05	JL 010	一路シカゴへ直行便利用 空港より車で約40分	<シカゴ泊>
3	6/19 (日)	シカゴ			別途オプション予定あり。	<シカゴ泊>
4	6/20 (月)	シカゴ			別途オプション(1)の予定あり。	<シカゴ泊>
5	6/21 (火)	シカゴ			別途オプション(2)の予定あり。	<シカゴ泊>
6	6/22 (水)	シカゴ発	11:35	JL 009	ホテルより空港へ 車で約40分 一路日本へ	
7	6/23 (木)	成田空港着 成田空港発 新千歳空港着	14:40 18:30 20:05	JL 3047	入国手続後国内線で北海道へ 無事到着おつかれ様でした。 函館発着希望の方 ...羽田へ各自移動(リムジンバス代金3,000円) 17:00頃羽田 航空機JAL 函館18:30頃 正式時間によっては接続が出来ない場合もございます。	

ご注意: 発着時間、交通機関などは変更になる場合がございます。復路現地 6月23日(木)希望の方は事前にご相談くださいませ。

シカゴ国際大会主な行事

大会会場: マコーミックプレイス (MCCRMICK PLACE)

6月17日(金)大会前行事

08:00~17:00	国際研究会の登録 ロータリーアクト会議の登録・青少年交換役員会議の登録
09:00~17:00	国際研究会、ロータリーアクト会議・青少年交換役員会議
12:00~14:00	国際研究会昼食会
19:00~22:00	青少年交換役員晩餐会

6月18日(土)大会初日

08:00~20:00	登録/券の販売/信任状の査証
08:00~17:00	国際研究会の登録・ロータリーアクト会議の登録・ 青少年交換役員会議の登録
09:00~20:00	友愛の家
09:00~17:00	国際研究会・ロータリーアクト会議・青少年交換役員会議
10:00~13:00	百周年記念パレード
12:00~14:00	国際研究会昼食会
12:00~18:00	ロータリー親睦活動グループの展示
14:00~16:00	会場監査研修セッション
15:00~18:00	ロータリー財団学友親睦会・セミナーおよびレセプション
18:00~24:00	ホスト組織主催もてなしの夕べ

6月19日(日)大会2日目

未定(午前中の早朝時)	「完走行事」競争/競歩
08:00~17:00	登録/券の販売/信任状の査証
09:00~16:00	友愛の家
12:00~14:00	ポール・ハリス・フェロー昼食会
15:30~16:00	本会議開始前の余興
16:00~18:00	開会本会議
20:00~22:00	開会本会議(第2回目)

6月20日(月)大会3日目

08:00~18:00	登録/券の販売/信任状の査証
09:00~18:00	友愛の家
09:00~09:30	前奏音楽
09:30~12:00	第二回本会議
12:30~14:30	会長主催認証昼食会
15:00~16:30	討論ワークショップ(テーマ関連議題)
19:00~23:00	百周年記念シカゴ祝賀祭

6月21日(火)大会4日目

08:00~18:00	登録/券の販売/信任状の査証
09:00~18:00	友愛の家
09:00~09:30	前奏音楽
09:30~12:00	第三回本会議
13:00~14:30	会長エレクト主催リーダーシップ昼食会
16:30~18:00	討論ワークショップ

6月22日(水)大会5日目

08:00~13:00	登録/券の販売/信任状の査証
09:00~18:00	友愛の家
09:00~09:30	前奏音楽
09:30~12:00	第四回本会議
未定	100周年記念本サイン会
12:00~14:00	将来/第2の百年を目指そう昼食会
19:00~19:30	前奏音楽
19:30~21:30	閉会式

このプログラムは2004年8月現在のものです。  
時間、場所など変更になる場合もあります。大会地にて登録バッジと共にお渡りする詳細プログラムが最終案内となります。

印は大会登録料とは別に事前に有料のチケット購入が必要です。



(財)ロータリー米山記念奨学会 2004年11月12日発行

# ハイライトよねやま 57

## 1. 新潟県中越地震のお見舞いと奨学生安否情報の報告

10月23日発生した新潟県中越地震では、被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。当会では、被害が大きいと見られる長岡市在住の米山奨学生8名に対し、Eメールなど可能な連絡手段を通じて安否の確認を取りました。食器の損害、アパートにヒビが入るなどの被害はあったものの8名全員が無事であることが確認されました。奨学生の在籍する大学では、11月8日より授業を再開しています。

5月にスタートしたカウンセラーメーリングリストにも、長岡東RCの杉本俊夫カウンセラーから奨学生との連絡手段、異国の地で災害に遭遇した心身への配慮など、さまざまな点について逐次情報が寄せられ、災害時の対応について、まさに生きた情報交換がなされました。

## 2. 寄付金速報～米山月間の成果は……

10月までの寄付金は、前年同期と比べ2.8%減、約1千5百万円の減少でした。普通寄付金が0.2%増、特別寄付金が5.0%減です。米山月間の成果がまだ表れていませんが、10月後半の米山関係者や奨学生の卓話により、これからご寄付いただくこともありますので、今月に期待したいところです。引き続き米山功労者、地区大会記念寄付などの推進に向けて、PR活動などご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 3. 2005学年度米山奨学金の申込状況～全国から1,221名が応募

今年是指定校371キャンパスへの計1,379名の推薦依頼に対し、315キャンパス(84.9%)から計1,221名(88.5%)の応募がありました。推薦枠10名を受けたある大学では、日本語ができる学生がいないとの理由から実際の推薦者が1名のみとなった例もあり、地区が指定校・推薦枠を決定する前に、大学とより密なコンタクトを図ることが望まれます。

国籍別では、中国742名、韓国155名、台湾93名、マレーシア・バングラデシュ各30名など、40の国籍・地域から申し込みがありました。また、課程別にみると、修士課程の留学生在が663名と過半数を占めており、博士課程は434名、学部課程は124名でした。

来年1月中旬～2月上旬にかけて、地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、3月末には新規採用者481名が決定されます。

## 4. 「留学交流」11月号にロータリー米山奨学金の事例紹介が掲載

月刊「留学交流」11月号【独立行政法人日本学生支援機構編集・(株)ぎょうせい発行】の特集『留学生の生活支援 - 奨学金の在り方』で、当会の宮崎事務局長による事例紹介「ロータリー米山奨学金における今後の留学生支援の展開」が4ページにわたって掲載されました。同誌は、留学生の派遣・受入や指導にあたる大学関係者・関連団体の多くが購読する専門誌です。詳しくは、こちらをご覧ください。

[http://www.gyousei.co.jp/book/g\\_zassi/ryuugaku/ryuugaku.htm](http://www.gyousei.co.jp/book/g_zassi/ryuugaku/ryuugaku.htm)





## 5. 今年の「米山月間」を振り返って

寄付金が低迷する中での月間でした。今年は、広報のターゲットを“まだ米山奨学会へ寄付をしていない人”、“米山奨学金制度をよく知らない人”に絞って準備を始めました。月間資料としてロータリアン全員に配布した小冊子「米山奨学事業豆辞典」も、米山奨学金が全地区共同事業であること、その使命と期待する奨学生像、そして寄付金はどのように使われているかなどを分かりやすく説明することを目的に作成しました（1部あたりの製作費は12円）

多くのクラブで、これを資料とし、奨学生をスピーカーとした卓話が進められました。手元に送られてくるアンケートの多くは、米山奨学事業の理解に役立ったと好評でしたが、現行の制度、国籍の比率、支給額などに対して改善が必要であるとの意見もありました。これらの貴重な意見を2006年の制度改編に役立てたいと思います。“日本のロータリーの誇り”、“留学生は未来からの大使”に恥じない奨学事業へと更なる努力を続ける所存です。



例会で母国について発表する奨学生（第2760地区豊田中RC）

（常務理事・事務局長 宮崎幸雄）

## 6. 2003年度個人平均寄付額上位クラブに聞きました

米山奨学会では、寄付増進の方策を探る一環として、9月から10月にかけて、昨年度の個人平均寄付額の上位クラブに対して、電話による寄付状況の聞き取り調査を行いました。ご協力いただいたクラブの皆さまに感謝申し上げます。主だった取り組み、意見をご紹介します。

委員長の苦勞を軽減するために、普通寄付金とは別に、会費に含めて年20,000円を納めてもらう方式にしている。

【2003年度個人平均寄付額全国第2位 D.2770吉川イブニングRC】

クラブの伝統として、毎年米山奨学会へ30,000円ずつ寄付をしている。寄付することが当たり前という感覚で、米山に対する意識が高いのだと思う。

【全国第6位 D.2640岸和田東RC】

世話クラブを引き受けることで、米山奨学生を身近に感じ、会員の方が気持ちよく寄付して下さるようだ。

【全国第7位D-2660 大阪イブニングRC / 全国第16位 D.2700久留米東RC】

寄付袋を4種類（米山/財団/ニコニコBOX/インターアクト）設けて、例会の受付テーブルに置いている。各々の会員が寄付したいときにその袋をもっていき、寄付金を入れたら記名して提出するシステムを取っている。寄付の強要はしないが、毎年米山委員長が積極的に呼びかけている。

【全国第19位 D.2650京都桂川RC】

また、同時に行った地区米山奨学委員長（前年度寄付の伸びた地区から任意に抜粋）への聞き取り調査では、「寄付は強制するものではなく、会員の理解があって初めて寄付をいただくもの」との点で、皆さんの意見が一致していました。「米山奨学事業の理念・意義を理解してもらうためには、米山奨学生との交流が一番」という考えも共通しており、奨学生を連れて卓話に回ったり、多少遠方のクラブにも世話クラブをお願いしたりと、積極的に事業理解への取り組みをされた結果が、寄付につながっているようです。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。  
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

（財）ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯・野津・大庭  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル 8階  
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281  
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

### ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー				ポール・ハリス・フェロー			
札幌北RC	片岡 是充	会員	9月7日	静内RC	農端 真史	会員	10月22日
札幌北RC	樋口 正明	会員	9月7日	札幌東RC	西村 孝治	会員	10月29日
札幌北RC	相沢 英束	会員	10月5日 (2)	砂川RC	神田 与吉	会員	10月29日
札幌東RC	藤井 英勝	会員	10月22日 (2)	砂川RC	高橋 秀明	会員	10月29日
札幌南RC	クリステン・トキ	会員	10月22日	砂川RC	畠山 豊	会員	10月29日
札幌南RC	中島 一郎	会員	10月22日				

### 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

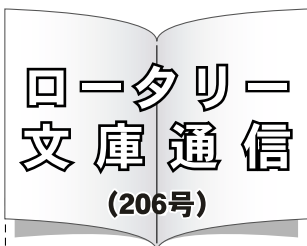
米山功労者				米山功労クラブ			
深川RC	佐々木 実	会員	10月27日 (2)	室蘭RC	前田 迪夫	会員	10月22日 (2)
札幌北RC	福田十太郎	会員	8月4日 (5)	室蘭RC	進藤 勝哉	会員	10月5日
札幌北RC	樋口 正明	会員	9月28日 (4)	室蘭RC	田所 邦夫	会員	10月5日 (2)
札幌北RC	長太 義雄	会員	9月28日	函館五稜郭RC	川畑 武裕	会員	10月8日 (2)
札幌北RC	竹原 巖	会員	10月5日 (5)	函館東RC	五十嵐 稔	会員	8月31日 (2)
札幌北RC	若狭 吉範	会員	10月26日 (2)	函館北RC	今井 定一	会員	9月14日 (3)
札幌西北RC	谷口 二郎	会員	10月29日 (24) (メジャードナー)	函館北RC	小笠原 孝	会員	7月7日 (7)
札幌東RC	小田切房之	会員	8月30日 (6)	苫小牧北RC	伊藤 長英	会員	8月30日 (18) (メジャードナー)
札幌東RC	須田 幸男	会員	9月28日 (2)	苫小牧北RC	石田 貢	会員	10月4日 (2)
札幌東RC	高橋 徹	会員	10月29日 (2)				
札幌真駒内RC	堀田 隆史	会員	10月22日 (2)				
札幌真駒内RC	神谷 英光	会員	10月22日 (9)				
札幌南RC	橋本 耕二	会員	9月15日 (2)				
札幌南RC	金川 一男	会員	9月15日 (3)				
札幌南RC	クリステン・トキ	会員	9月15日 (5)				
札幌南RC	佐藤源五郎	会員	9月15日				
札幌南RC	武田利兵衛	会員	9月15日 (3)				
札幌南RC	富樫 英樹	会員	9月15日 (4)				
岩内RC	梅庭 昭寛	会員	10月27日				
室蘭RC	佐藤 寿夫	会員	8月31日 (2)				
室蘭RC	菊入 剛	会員	10月22日 (3)				

## 重要なお知らせ

ロータリー米山記念奨学会への特別寄付金に対しては、税法上の優遇措置（寄付金控除）が受けられます。

1年間（1月～12月）に1万円以上の特別寄付をされた方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブにお送りいたします。

来年の確定申告は、12月30日（木）までに入金されたご寄付が対象となります。



ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp  
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫  
2003～2004年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	32,799	雇用保険料預り金	10,154
普通預金	2,676,458	社会保険料預り金	246,654
定期預金	10,000,000	負債合計	256,808
		正 味 財 産	
現金預金計	12,709,257	次期繰越剰余金	12,452,449
合 計	12,709,257	合 計	12,709,257

(収支計算書)

収 入		支 出	
会費収入	31,795,950	委員会費	1,467,118
雑収入	517,569	業 務 費	4,485,470
		賃貸管理費	9,191,880
		人 件 費	16,913,155
		予 備 費	552,100
当期合計	32,313,519	当期合計	32,609,723
前期繰越収支差額	12,748,653	当期収支差額	296,204
収入合計	45,062,172	次期繰越収支差額	12,452,449

アンケート調査へのご協力をお願い

家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三 (札幌幌南)

各クラブの家庭奉仕委員長若しくは、社会奉仕委員長さんには、半期を終えて、家庭奉仕に関する事業を実施戴き有難うございます。

さて、当委員会は、三年前に当地区に新設され、現在の社会的ニーズの重要な柱として位置づけられてまいりました。

このプログラムは、家庭生活を見直すと共に家庭生活の重要性を認識し、家庭生活における各人のあり方を問い直すという活動を各ロータリアンに求める処から始めるというものでした。

そこで年度の途中ではありますが、貴クラブにおいて、又貴クラブの各ロータリアンに於いて、家庭の問題についてこれまでにどの様に取り組んでこられたかに付き、別紙のアンケート調査を実施すべく各クラブに直接お送りいたしました。

年末の何かとご多用なところ恐縮ですが何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

家庭奉仕に関するアンケート用紙

クラブ名 \_\_\_\_\_

- 当クラブにおいて実施した事業  
(1)各ロータリアンが各自の家庭にどのような奉仕をされたか、模範的実例の紹介  
(2)各クラブとして実施した事業とその結果
- 当クラブ、あるいはロータリアンが今後実施を予定している事業、計画
- 家庭奉仕に関する事業への取り組みについて、どのような点に困難もしくは悩みを感じていますか？同時に将来に期待するものを挙げて下さい。
- 当委員会では、下半期にかけて下記の講師を軸に講演会もしくは、シンポジウムの開催を提唱していますが、貴クラブは、単独もしくは他クラブと共同で実施する意思はございますか。

( )ある ( )ない

絵本・児童文学研究センター所長 工藤左千夫(小樽南RC会長)  
「現在の児童の問題性と児童の発達段階に応じた絵本、教育の必要性」  
元北星大学社会福祉学部教授、元家庭裁判所調査官 相場幸子  
「児童を虐待する親のカウンセリングを通じてみる現在の親子関係」  
池上学園理事長 池上恒介(札幌モーニングRC会長)  
「不登校児の教育を通じて知る家庭教育のあり方へ」

会員投稿

銀山学園訪問記 ～プロジェクトX風～

星野恭亮(札幌東)

話は2000～01年のGSE派遣のときまでさかのぼる。2510地区からの派遣先は5050地区(アメリカのワシントン州とカナダのブリティッシュコロンビア州にまたがる地区)であった。4人の団員は偶然女性ばかりの活発なチームであった。そのうちのひとり河田珠美は余市郡仁木町にある知的障害者のための施設「銀山学園」で利用者の世話をしている。チームリーダーの星野恭亮(札幌東RC)は研修中、河田が“欧米先進国では障害を持つ人とそうではない人が日常生活でよく交わる機会をたくさんもって共生しているのに対して日本では障害者は隔離されたような状態で生活をしている。障害を持つ人も社会のいろいろな場面に参加しながら普通に生活することを望んでいるのですよ。”と語っていたのを印象深く覚えていた。

札幌東RCには16年前、会員婦人によるコーラスグループ「イーストハーモニー」が誕生した。誕生のきっかけはホームステイで預かっている留学生がホームシックにかかっているときに元気づけてあげようとの

思いであった。約30名の婦人とほぼ同数のRC会員たちが毎月2回の練習を重ねて年末家族会や各種行事で歌の成果を披露していたが、誰からともなく「銀山学園」訪問の話が持ち上がった。皆、大賛成であった。もちろん河田珠美も喜んだ。以来今年で3回目の訪問となった。今年は9月23日の秋分の日に行った。抜けるような秋晴れのもとで札幌からバスを走らせた。

まずイーストハーモニーが「里の秋」、「野菊」、「村祭り」などを演奏した後、利用者と一緒に7曲ほど合奏して楽しんだ。RC会員の中には若いころハーモニカを吹いていたものが多くコーラスの合間にハーモニカの演奏でも交流した。今年度札幌東RCではこの訪問を社会奉仕委員会の事業と位置づけて支援してくれた。また2510地区も「銀山学園」への楽器寄贈の補助も行ってくれた。

訪問を終えた後、余市のぶどう園でぶどう狩りとジンギスカンに舌鼓を打った。会員同士の親睦になったことは言うまでもない。



イーストハーモニー全員による合唱



銀山学園の前で



利用者の人たち



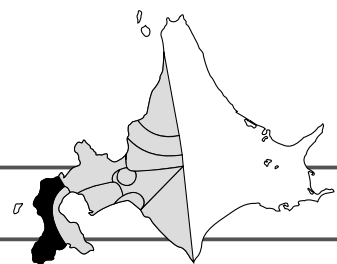
ハーモニカ同好会「イーストエコー」による演奏



ぶどう狩りでにっこり



# こんにちは！ 第11グループです



第11グループ ガバナー補佐 吉川 達也  
(函館東)

先の新潟県中越地震被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

第11グループは函館市内3、江差町、松前町、上磯町各1の計6クラブです。

江差RCは北前船交易により開けた地域であり、創立42年を経て地域にしっかりとその存在を誇示して地域と連帯感を高めながら奉仕活動を展開しております。8月に挙行される姥神神社大例祭は圧巻ですので一度は見ていただきたいと思ひます。

函館北RCは昨年創立40周年を終え今年度新たな奉仕活動への挑戦として地域発展委員会を新設、RCと地域との更なる奉仕活動を模索しております。又、クラブ会員で結成しております、ハワイアンバンドによる老人ホーム慰問等長期に渡って独自性を打ち出しながら奉仕活動を展開しております。地区大会において図書館整備事業の支援に対しガバナー特別表彰を受けました。

函館五稜郭RCは今年度創立35周年を迎えるクラブであります。会長さんの活動方針を会員各自が理解し、目的に向かって真撃に取り組んでおり、函館野外劇、五稜郭祭りへの参加、青少年の育成、国際社会への対応、職業奉仕への取り組みと四大奉仕に積極的に活動をしております。地区大会において函館野外劇への積極的取り組みがガバナー特別賞を受けました。



松前RCは少人数の会員で構成されておりますが、36年間で地域との連帯感を持って奉仕活動に従事しております。先人からの遺産であり町のシンボルでもあります「八重桜の里」を次世代に引き継ぐ為積極的に活動しております。桜の季節の松前は最高です。



上磯RCは創立8年目のクラブであります。会員数も29名の人数です。今年度クラブ丸となって青少年交換、GSEへの取り組みを展開し10月に無事GSE事業を終えました。10、11グループ会員の皆様の暖かい友情に心より感謝を申し上げる次第です。

函館東RCは2007年創立50周年を迎える歴史と伝統のあるクラブです。ロータリーの心を忘れないように目的に向かわなければなりません。今年度は10、11グループ初の女性会長であり、新会員7名が入会しました。又地区大会において家庭で眠っているピアノを贈る事業の取り組みに対しガバナー特別表彰を受けました。

以上11グループ6クラブを簡単に紹介させていただきました。

率先垂範の意気で更なる活動をしていきますので宜しくお願いします。





## 掲 示 板

### ロータリー・レートについて

12月のロータリー・レートは104円に変更になりますので、ご注意ください。

### 例会の変更について

#### 岩見沢 R C

12月3日(金) 「2500回例会記念懇親会」  
18:00～ 於：ホテル サンブラザ  
12月17日(金) 12月18日(土) 「家族忘年会」  
18:00～ 於：ホテル サンブラザ  
12月31日(金) 休会\*

#### 赤平 R C

12月7日(火) ゲスト卓話 12:30～  
滝川公共職業安定所 所長 森沢 護様  
12月14日(火) 年次総会  
12:30～ 於：炉辺(八千代寿司)  
12月21日(火) 夜間例会・家族忘年会  
18:30～ 於：八千代寿司  
12月28日(火) 休会

#### 当別 R C

12月14日(火) 「年忘れ家族例会」  
18:00～ 於：田西会館  
12月28日(火) 休会

#### 江別 R C

12月16日(木) 家族例会  
18:30～ 江別市民会館 小ホール  
12月23日(木) 法定休日の為休会  
12月30日(木) 休会\*  
平成17年  
1月6日(木) 休会\*

#### 江別西 R C

12月21日(火) 「夜間クリスマス例会」  
18:00～ 於：市民会館小ホール  
12月28日(火) 休会  
平成17年  
1月4日(火) 休会

#### 苫小牧北 R C

12月21日(火) 「30年出席率100%鈴木 隆会員祝う会」  
18:00～  
於：グランドホテルニュー王子  
12月28日(火) 夜間例会 昼例会 12:30～  
於：グランドホテルニュー王子

#### 室蘭東 R C

12月22日(水) 「家族同伴夜間例会 忘年会」  
18:30～ 於：蓬峯殿  
12月29日(水) 休会

#### 栗沢 R C

12月29日(水) 休会  
平成17年  
1月5日(水) 休会  
1月12日(水) 新年会 18:00～ 於：京寿し

#### 苫小牧 R C

12月31日(金) 休会\*

注) \*定款第5条第1節に基づく休会

### ガバナー事務所からのお知らせ

平成17年1月から事務局員が熊谷久美子に交替致します。また勤務時間は、平日9:00～17:00となりますので、宜しくお願い致します。

### ガバナー事務所の年末年始の業務について

12月29日(水)～平成17年1月5日(水)の間、お休みとさせていただきます。  
平成17年1月6日(木)より通常業務となります。

## ガバナー事務所からお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願致します。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

## 10月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率	
			04.7.1	04.10.30	増減	内女性		
1	深川	3	40	42	2	1	89.74	
	羽幌	4	47	47	0	1	84.78	
	妹背牛	4	10	10	0	0	87.50	
	小平	5	14	14	0	0	72.86	
	留萌	4	59	59	0	0	93.00	
	小計			170	172	2	2	85.58
2	赤平	3	34	33	-1	2	77.45	
	芦別	4	54	54	0	0	85.93	
	砂川	4	54	54	0	0	93.75	
	滝川	4	109	111	2	2	73.50	
	小計			251	252	1	4	82.66
3	美唄	4	42	41	-1	0	84.45	
	江別	4	43	42	-1	1	90.15	
	江別西	3	37	36	-1	3	87.96	
	岩見沢	4	94	97	3	0	91.54	
	岩見沢東	4	37	39	2	3	75.80	
	栗沢	4	26	26	0	1	94.03	
	栗山	4	29	30	1	2	93.65	
	当別	4	38	39	1	1	83.34	
	小計			346	350	4	11	87.62
	4	札幌	4	123	130	7	0	97.99
札幌あけぼの		5	16	17	1	1	100.00	
札幌はなます		4	24	24	0	4	78.26	
札幌北		3	49	49	0	5	94.44	
札幌モーニング		4	54	57	3	0	68.52	
札幌西		4	69	71	2	3	91.66	
札幌西北		4	48	50	2	2	93.22	
札幌手稲		4	39	42	3	1	100.00	
小計				422	440	18	16	90.51
5		札幌東	4	125	128	3	0	98.95
	札幌清田	4	26	27	1	5	100.00	
	札幌幌南	5	69	73	4	0	99.71	
	札幌真駒内	4	44	44	0	2	94.95	
	札幌南	3	91	94	3	0	96.20	
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	70.17	
	札幌セントラル	4	19	20	1	8	82.00	
	新札幌	4	36	35	-1	2	91.67	
	小計			429	440	11	21	91.71
	6	岩内	4	33	33	0	0	80.56
倶知安		4	54	54	0	3	73.00	
小樽		4	74	76	2	0	88.93	
小樽南		4	86	84	-2	0	82.69	
小樽銭函		4	23	25	2	2	88.00	
蘭越		4	14	14	0	0	64.20	
余市		4	43	43	0	4	92.95	
小計			327	329	2	9	81.48	

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,136人  
 当月末会員数(女性) 3,188(96)人  
 増加会員数 52人  
 当月平均出席率 83.86%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			04.7.1	04.10.30	増減	内女性	
7	千歳	4	65	67	2	2	83.60
	千歳セントラル	4	30	30	0	0	82.48
	恵庭	4	51	51	0	0	75.50
	北広島	3	19	19	0	2	90.74
	長沼	3	18	18	0	3	85.20
	由仁	4	15	15	0	0	70.00
	小計			198	200	2	7
8	えりも	4	24	23	-1	0	85.50
	三石	2	17	17	0	1	82.30
	様似	3	19	19	0	2	67.46
	静内	4	67	69	2	0	75.37
	浦河	4	40	40	0	1	79.38
	小計			167	168	1	4
9	伊達	4	56	59	3	0	76.20
	室蘭	4	51	53	2	0	92.31
	室蘭東	3	43	43	0	0	96.60
	室蘭北	4	37	37	0	2	100.00
	登別	4	39	40	1	2	85.00
	洞爺湖	5	10	10	0	0	100.00
	小計			236	242	6	4
10	函館	4	101	100	-1	0	86.42
	函館亀田	3	42	43	1	1	82.17
	森	4	43	42	-1	0	76.00
	七飯	4	24	24	0	0	80.20
	長万部	3	13	13	0	0	66.63
	小計			223	222	-1	1
11	江差	5	16	15	-1	0	83.50
	函館五稜郭	5	68	65	-3	0	89.88
	函館東	4	50	59	9	7	80.25
	函館北	4	37	38	1	0	81.25
	上磯	4	29	29	0	3	64.80
	松前	4	9	8	-1	1	62.50
小計			209	214	5	11	77.03
12	白老	4	29	28	-1	1	72.00
	苫小牧	5	56	59	3	0	81.78
	苫小牧東	4	32	32	0	3	83.59
	苫小牧北	4	41	40	-1	2	84.87
	小計			158	159	1	6
合計			3,136	3,188	52	96	83.86

## 新入会員のご紹介



武田 伸也  
千歳セントラルRC  
11月2日入会



## 訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、  
心からご冥福をお祈りいたします。

山藤 邦雄 会員(札幌RC)  
2004年10月27日ご逝去(享年74歳)

### 【ロータリー歴】

1965年3月30日入会  
1972~73年度 幹事  
1974~75年度 社会奉仕委員長  
1979~80年度 職業奉仕委員長  
2004~05年度 会計



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

山口 宏道 会員(岩見沢東RC)  
2004年10月28日ご逝去(享年64歳)

### 【ロータリー歴】

1983年6月入会(チャーターメンバー)  
1986~87年度 第4代幹事  
1990~91年度 第8代会長  
1995~96年度 第3分区代理  
2004~05年度 会計



会報、職業分類、ロータリー情報、ロータリー財団、  
会員増強、職業奉仕各委員会委員長を務められました。

ポール・ハリス・フェロー

松本 佳巳 会員(深川RC)  
2004年11月5日ご逝去(享年46歳)

### 【ロータリー歴】

2000年7月入会  
2001~02年度 国際奉仕委員長  
2002~03年度 クラブ会報委員長  
2003~04年度 副幹事  
2004~05年度 幹事



12月・1月 地区カレンダー

12 月 家族月間		1 月 ロータリー理解推進月間/追悼記念週間(1/27を含む1週間)	
1 (水)	地区ロータリーの友委員会 (18:00 札幌)	1 (土)	
2 (木)		2 (日)	
3 (金)		3 (月)	
4 (土)		4 (火)	
5 (日)	第2回全国青少年交換委員長会議 (東京)	5 (水)	
6 (月)		6 (木)	
7 (火)		7 (金)	
8 (水)		8 (土)	
9 (木)		9 (日)	
10 (金)		10 (月)	成人の日
11 (土)	青少年交換受入学生送別会& D2740受入学生交流会 15:00 札幌)	11 (火)	
12 (日)		12 (水)	
13 (月)		13 (木)	
14 (火)		14 (金)	
15 (水)		15 (土)	
16 (木)		16 (日)	
17 (金)		17 (月)	
18 (土)	GSEチームメンバー選考試験・選考委員会 13:30 ロイトン札幌)	18 (火)	
19 (日)		19 (水)	
20 (月)		20 (木)	
21 (火)		21 (金)	
22 (水)		22 (土)	札幌南RC創立40周年記念式典 17:00~、サッポロルネッサンスホテル)
23 (木)	天皇誕生日	23 (日)	第2回 ガバナー補佐会議 (11:00~、ホテルサンルート室蘭)
24 (金)		24 (月)	
25 (土)		25 (火)	
26 (日)		26 (水)	
27 (月)		27 (木)	
28 (火)		28 (金)	
29 (水)		29 (土)	
30 (木)		30 (日)	
31 (金)		31 (月)	



# ROTARY

Community Service  
100 Years

[www.rotary.info](http://www.rotary.info)



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



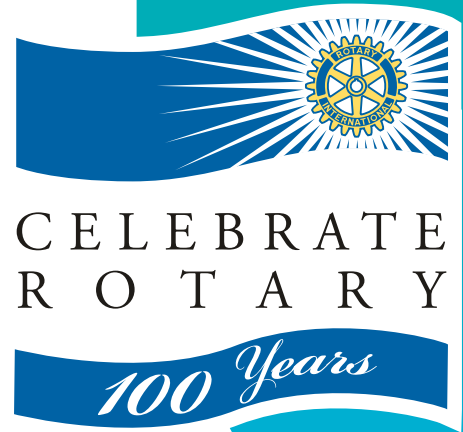
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F  
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512  
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー's LETTER .....	3
1月はロータリー理解推進月間です .....	4
第33回ロータリー・ゾーン研究会 .....	5
親業訓練入門講座への参加のお願い .....	15
地区委員会活動報告	
・地区大会“手作り展示”奮闘記 .....	16
・札幌西RCとフィリピン、マカティウエストRCとの 間で双子クラブ登録の調印式が終了 .....	17
クラブ活動紹介	
・タイの少年の家(ボーイズタウン)人道的援助を終えて .....	17
ハイライトよねやま58 .....	18
ロータリー財団へのご協力を感謝申し上げます 米山記念奨学会へのご協力を感謝申し上げます .....	19
こんにちは! 第4グループです .....	20
こんにちは! 第8グループです .....	21
わか街・我がRC 歴史散歩 .....	22
ロータリー100周年記念青少年剣道大会 フィリピン、カワド・カリンガ、プロジェクト事業報告書 .....	23
ロータリー文庫通信	
芦別ロータリークラブからのお知らせ .....	25
掲示板/ガバナー事務所からお願い 8,000万人のアフリカの子どものためにポリオキャンペーンを実施 .....	26
11月会員増減数・出席率報告 .....	27
新入会員のご紹介/訃報 .....	28
1・2月地区カレンダー .....	29

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.7  
2005. 1

第2510地区（北海道南西部）ロータリー財団国際親善奨学金委員会

## 国際親善奨学生募集

ロータリーの国際親善使節として、外国での語学・文化研修や学位取得を目的として留学するための奨学金を提供します

募集期間：2005年2月14日～4月15日（各ロータリークラブへの申請書提出期間）

出発時期：2006年7月～2007年6月

応募資格：（詳細については、申請書に添付されている募集要項、応募のしおりをご覧ください）

ロータリー活動の趣旨に賛同し、日本国籍（特別永住者を含む）を持ち、2006年7月に20歳以上であること  
北海道南西部（ロータリー第2510地区）に本籍か現住所、あるいは勤務先があること

### 【奨学金の種類】

ロータリーの国際親善使節として、外国での語学・文化研修や学位取得を目的として留学するための奨学金を提供します。

- ・3ヵ月文化研修奨学金..... \$ 12,000
- ・6ヵ月文化研修奨学金..... \$ 19,000
- ・1学年度奨学金..... \$ 26,000
- ・マルチイヤー奨学金（2年間）... \$ 26,000

募集人員：各若干名

【詳細については】2005年1月24日～3月31日迄に下記へ募集要項・応募申請書をご請求ください  
問い合わせは、ガバナー事務所へメールにてお願いします E-mail：keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2510地区ガバナー事務所

医療法人社団友愛会 恵愛病院内 TEL：(0143) 82-2510  
〒059-0034 登別市鷺別町2丁目31-1  
（送付先の住所、宛名を書き270円切手を貼ったA4判の封筒を同封ください）

## 短期交換プログラム 派遣学生募集

青少年交換プログラムはロータリアンの子女であるなしは問いません  
派遣学生が帰国する飛行機で、当地区派遣の日本人学生と一緒に出発。派遣学生は相手地区にて  
受入学生と一緒に相手地区を訪問するプログラム！

- ・6月末頃に相手地区より約1ヶ月受入、当地区より派遣する学生の家庭にてホームステイ。
- ・受入学生が帰国する飛行機で、当地区派遣の日本人学生と一緒に出発。派遣学生は相手地区にて約1ヶ月間受入学生の家庭にてホームステイするプログラム
- ・各RCさんに送付要項添付させて頂きました。

派遣期間 約4週間（2005年7月末～8月末頃）  
派遣地区 スイス アメリカ  
台湾 カナダ  
応募締切 2005年2月21日（月）  
選考日 2005年2月末予定

【問い合わせ先】 RI 2510地区青少年交換委員会事務局（土田 義也）  
\*TEL：090-8706-4847  
\*FAX：011-802-2512  
\*E-mail：yecd@khaki.plala.or.jp



# Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

## 新年の御挨拶

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



明けましておめでとうございます。

昨年は7月からの上半期、公式訪問や地区大会等、あわただしい6ヶ月でしたが、地区会員の皆様には大変お世話になり有難うございました。今年度はロータリー100周年にあたり、後半期には、4月29日～30日国際ロータリー会長主催会議が東京で、6月19日～22日国際大会がシカゴで開催されます。大勢の会員の御参加をお願いします。当地区でも2月23日の記念すべき日に各クラブ或は各グループが例会もしくは集会を持っていただく予定になっています。もし私の希望が叶えられるならば、ご家族や地域の方々にロータリーの日頃の活動の一端を紹介できる場であって欲しいと願っています。そして100周年に1回の機会を有意義に皆でロータリーを祝いたいと思います。

1月はロータリー理解推進月間で、1988年から実施されているロータリーの特別月間の1つであります。クラブ会員には、ロータリーについての知識と理解を深めてもらい、一般の市民には、我々の奉仕活動を理解してもらうためのプログラムを実施、推進することが主旨であります。ロータリアンは誰でも、ロー

タリーは職業を通して親睦と奉仕をする団体であることは知っています。エステスR I会長は職業奉仕が、奉仕活動の基本理念であることを強調しています。ラタクルR I元会長は職業倫理の重要性を説いています。企業の脱税、不正取引や官公庁にまで及ぶ不正経理等、職業意識の変容する今、我々ロータリアンにとって最も大切な課題だと思います。ロータリーには2つの公式標語があることを、すぐに思い出せないことがあります。1つは「超私の奉仕」であり、第2は「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」であります。ロータリー精神を端的に表現した標語であります。その由来や意義については職業奉仕地区カウンセラー石垣博美氏が月信10月号に詳しく解説しておられるので参照願います。

最も気遣いなことは、新入会員の減少と退会者の増加であります。特にロータリーが理解される前に、馴染めず去ってゆく会員が少くないように思います。ロータリーは出会いを大切にする場であり、思いやりを大切にする場ではありますが、同時に新入会員に早くロータリー精神を理解してもらえるプログラムが各クラブで用意されることが必要かと思えます。そして真のロータリアンがどんどん増えてゆくことが、これからの100年ロータリー活動に不可欠だと考えます。

## 1月はロータリー理解推進月間です



### ロータリー理解推進月間に想う

地区研修リーダー

伊藤 長 英 (苫小牧北PDG)

ロータリー100周年を記念して発刊された「奉仕の一世紀」に基づいて振り返ってみよう。1905年シカゴにおいてポール・ハリスを中心に4名で創立されたRCは、親睦とビジネスを推進するという構想から始まった。1906年1月に採択された綱領は、本クラブ会員の事業上の利益の増大 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進の2つだけである。1906年5月にドナルド・カーターが入会し、「利己的な団体は長続きしない。RCとして生き残り繁栄することを期待するなら、公共奉仕を実施しなければならない」といって1907年にシカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広めるという第3の綱領を草案した。これがロータリー史における大転換期となった。公衆便所を建て、恵まれない子供たちを助け、貧民街の住民に食べ物の詰まったバスケットを用意して届けるようになった。ロータリーの奉仕活動が世に広く知られると社会に歓迎され、全米各地にそして全世界にも拡大されていった。ロータリーの綱領はその後1910年、1921年、1935年の改定を経て1951年に最後の変更が行われた。ロータリーには「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成する」というただ1つの綱領があると決定され、この崇高な目的を強く前面に打ち出した後、ロータリアンが綱領を成就する4分野が次のように説明された。

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；  
(クラブ奉仕)

- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；(職業奉仕)
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；(社会奉仕)
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること；(国際奉仕)

その後1976年にRI理事会は、ロータリーの基本的な面に関する短い定義を作成した。「ロータリーは、人道的奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界中における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。」

日本最初のRCは、米山梅吉氏、福島喜三次氏などの協力で1920年10月に創立された東京RCで、1921年4月にRIに認証された。日本のRCは戦争の影響で1940年に国際ロータリーを脱退し、1949年に復帰した。その後目覚ましい発展を遂げたが、1996年をピークに会員が減少しているのは残念である。ロータリアン1人1人が思いやりと助け合いの精神をもって、親睦と奉仕を柱として行動するロータリーを深く理解すると共に今後も発展するように努力したいと思う。

## 第33回ロータリー・ゾーン研究会

11月27日(土)～28日(日)

### 出席された方からのご報告です

2004 - 05年度

第33回ロータリー・ゾーン研究会・付随行事プログラム

11月25日(木)

10:00～18:00 ロータリー財団地域セミナー

11月26日(金)

9:00～17:00 GETS/GETS 配偶者プログラム  
地区研修リーダーセミナー

11:00～15:30 地区会員増強委員長合同セミナー

11:30～13:00 メジャードナー午餐会

14:00～17:00 ガバナー会

14:00～15:30 恒久基金委員会

15:40～16:40 (特活)ロータリー日本財団理事会

16:00～17:00 分科会打ち合わせ会議

18:00～20:30 RI 会長夫妻・R 財団管理委員長夫妻  
歓迎晩餐会

プログラム

第1日 本会議 11月27日(土)

8:20～10:00

招集者挨拶 RI 理事 田中 作次(八 潮)

来賓紹介 RI 理事 南園 義一(防 府)

挨拶 RI 会長 グレン・E・エステス・シニア

挨拶 RI 財団管理委員会委員長

カルロ・ラビッツア

10:20～12:00 第1セッション(各種報告)

・RI 近況報告 田中 作次(八 潮)

・ロータリー財団近況報告及び2006 - 07年度

RI 会長指名委員会報告

玉村 文夫(東 京)

・ポリオ撲滅の現況と募金キャンペーンについて

千 宗室(京 都)

・国際問題研究のためのロータリー・センター報告

国際基督教大学ロータリー平和センター所長

高橋 一生

・国際ロータリーの長期計画について

伊藤 義郎(札 幌)

・ロータリーを祝おう

菅生 浩三(大阪北)

13:00～14:00 第2セッション 特別セッション

「ロータリアンの意識とロータリーの将来の展望」

山口大学 小谷典子教授

14:00～15:40 第3セッション 分科会テーマ説明

1. 新世紀の夢を語る(ロータリー100周年を記念して)

上野 孝(横 浜)

2. 会員増強と退会防止(現状と将来への取り組み)

小沢 一彦(横須賀)

3. 現代社会と職業倫理(社会の変化と職業倫理の在り方)

天野 肇(福 山)

4. 魅力あるクラブ(個性的で、未来を作るクラブ)

黒田 正宏(八戸南)

5. 水と保健・環境(水と感染症、疾病と環境)

宮崎 茂和(福 井)

16:00～17:30 第4セッション 分科会1～5

配偶者プログラム 11月27日(土) 14:30～16:00

第2日 本会議 2004年11月28日(日)

8:30～9:55 第5セッション 各種報告

・シカゴ国際大会推進について

・ロータリー米山記念奨学会報告

・ロータリー・センターについて

・ロータリー家族心づかい奨励グループ報告

・2004年規定審議会報告

10:15～11:30 第6セッション

リポーターによる分科会報告

1. 小船井修一(釧 路) 2. 岩崎 稔(福島東)

3. 片岡 信彦(土浦南) 4. 安部 直樹(佐世保)

5. 安平 和彦(姫 路)

11:30～12:10 第7セッション オープンフォーラム

司会 PDG 筒井 数三(北広島)

12:10～12:40 閉会式





## ロータリー・ゾーン研究会 報告

遠藤 秀雄(登別G)

第33回ロータリー・ゾーン研究会、付随行事が広島リーガロイヤルホテルで4日間行われた。どのようなプログラムで、どんなことが討議されているのかをご理解いただくためにプログラムの概要をお示しした。当地区から参加された方々からは各々の部門の印象記をお願いしたので、私は全体の流れに沿って書いてみたい。

### 11月25日(木) ロータリー財団地域セミナー

R I会長グレン・エステス氏は、18年間ポリオ・プラスに貢献して来たことに謝意を述べ、それと共に会員増強、特に退会防止の必要性に言及。入会2~3年の会員が財団に寄付しているからだと言われた。また、R財団はロータリアンによって作られたものであり、会員皆のものであると強調された。

財団管理委員長カルロ・ラビッツァ氏は、新しい事業展開として、管理委員を2名増員した。また「管理委員長は必ずしもR I会長経験者でなくとも管理能力によって決めたら良い。財団の資金は世界の貧しい人達のためのお金であるからだ」と述べられた。4年間で中止していた3Hプログラムが2005年1月から再開される。GSEも隔年ではなく毎年交互に行う。平和奨学生についても学生が2年間も現職を離れることは困難なことで短期間の留学、若しくはセンター講師を短期に地元大学に派遣する事も考えられると意見を述べられた。

### 11月26日(金) ガバナー会

R I理事挨拶 田中作次氏

カムリーバンク(ポール・ハリスの家)購入、維持計画は中止となった。4月29、30日のR I会長主催会議には大勢出席して欲しい。6月開催の国際大会(シカゴ)は100周年記念大会であり、日本から8,000人の出席希望をお願いしたい。

エステスR I会長はポリオ撲滅キャンペーン終結の年度であり、ナイジェリアでのワクチン投与がやっと軌道に乗り、インドでも解決の見通しが立った。

2005年にはポリオの最後のケースとなるであろう。その他の今年度の強調事項にも触れ、シカゴでの再会を楽しみにしていると挨拶された。

### 2003~04年度ガバナー会決算報告

収入合計	46,241,612
支出合計	35,954,580
次期繰越金	10,287,032

### R I 2004年国際大会暫定的決算報告

収入合計	1,500,844,908
支出合計	1,315,375,141
(今後の支出予定額)	41,500,000
予定残高	143,969,767
処分案	
日本財団基金	100,000,000
愛知万博	20,000,000
日本ガバナー会	23,000,000
精算予備費	969,767

### 平和センター支援金地区負担

平和センター設立3年を迎え、これまで関東6地区で人的にも経済的にも支援してきたが、負担が大きすぎる。支援金は会員皆で負担するべきである。会員1人当たり15円くらいの負担が必要になる。

### 台風23号、新潟県中越地震災害義援金報告

合計153,326,259円(D2510 3,438,210円)この分配についても多くの意見が出たが、中越地震災害のインパクトが大きかったこと、台風の被害が広範囲にわたったことから中越地区に約半分、残り半分を人的、物的被害の特に大きかった4地区に送金された。

この後懇談に入り、これまで国内各地区の連絡や協議の場がガバナー会しかなく、本来単年度で構成メンバーの替わるこの会に継続事業が入っているという違和感もあるため、ガバナー会の在り方について話し合う場が必要との意見が多く、改めて会を持つこととなった。

### カムリーバンクに関するR I会長グレン・エステス氏の見解

最近カムリーバンクと呼ばれているポール・ハリス夫妻の居宅の購入に関心が寄せられている。既にご寄付をされた方々もおられるし、同様の意向のある方々がおられると聞いている。いくつかの理由のために、カムリーバンクの購入は国際ロータリー及びロータリー財団の事業ではなくなったが、ロータリアンが個人的なご助力でロータリーの歴史的な建造物が購入され、歴史が保存され、大切に守られるということには敬意を払い感謝の言葉を申し上げたい。

11月27日(土) 第33回ロータリー・ゾーン研究会  
第1日目日本会議

第1セッション(各種報告)

RI近況報告 田中作次氏

RIは年間に2度、理事会と財務委員会によって更新、検討された5年間の財務予測を作成維持している。RIの目標は、1年間の運営経費に等しい水準で運営準備金を維持することである。理事会では地区大会の会長代理は、従来どおりRIから派遣され、旅費はRIが負担することになった。

ロータリー財団近況報告 玉村文夫氏

ロータリー財団の特徴として、ロータリー財団はロータリーの事業活動 寄付はすべて奉仕活動に利用されている 資金の流れが明確(検証可能)であること。

日本の財団寄付総額は米国について2番目、1人当りは香港、台湾について3番目である。

2006-07年度RI会長指名委員会報告 玉村文夫氏  
ウィリアム・B・ボイド氏 ニュージーランド・パ  
克蘭ガRC会員 1933生

ポリオ撲滅募金キャンペーン 千 宗室氏

日本は2002年から3年間で1,600万ドル(1人150ドル)の誓約を行った。これまで寄付額1人100ドル未満が10地区ある。残り少ない期間であるが150ドル達成に協力して欲しい。当地区は2004年10月末55.54ドル

ロータリーセンター報告 高橋一生氏(ロータリー  
平和センター所長)

セキュリティコミュニティは30数ヶ国しかない。これを拡大することが目標 100ヶ国以上が動乱の地域である。これをなくすことが21世紀の重大目標。

この2つが教育の重要な柱となっている。3年目に入りカリキュラムが徐々に充実してきた。この3年間に国際基督教大学ロータリー平和センターに7人、9人、7人を受け入れた。これからの課題として、国連大学と7つのロータリー平和センターが連携をする準備を進めている。

国際ロータリーの長期計画について 伊藤義郎氏

ロータリー戦略計画委員会はロータリー全体の在り方(構造)と目標を設定するものである。テーマを7つに絞り、7つのゴールという名称にした。ロータリーの未来像として、

ゴール1:ポリオの撲滅

ゴール2:諸活動・諸事業の商店をはっきりさせる  
-弾力的・創造的な参画の拡大

ゴール3:組織・構造の将来像-発展的・構造的な両面

ゴール4:ロータリーまたはロータリークラブに対する  
リーダーシップの確立

ゴール5:各レベルの教育の将来像

-ロータリーの教育の在り方の見直し

ゴール6:ロータリーの拡大・メンバーシップ会員の  
増強-地域社会への一層の浸透

ゴール7:ロータリーのイメージアップ

-社会評価のアップ

ロータリーの将来戦略として目的、構造、教育が大切な検討項目であった。

ロータリーを祝おう 菅生浩三氏

要旨はロータリー・ジャパン・ウェブをご覧いただきたい。

第2セッション(特別セッション)

ロータリーの意識とロータリーの将来の展望 山口  
大学 小谷典子教授

2002年7月、2710地区会員3,982名全員にアンケート調査、回収率72.4%、調査項目は活動経歴、活動参加実態、意識と評価で、調査結果からロータリアンの暮らし方の特徴 ロータリークラブ組織の現状 ロータリアンの意識と組織評価 ロータリーの魅力と誇りについて分析された。結果を以下のようにまとめられた。

ロータリーへの誇り意識を醸成することがクラブの将来を決定する。

- ・ロータリアンにとってロータリーとは?
- ・多様なロータリアンの存在の確認
- ・ニューカマーのロータリー活動への参加推進
- ・ロータリー世代間の交流の促進
- ・ロータリークラブ活動の魅力の再発見
- ・ロータリアンであることの誇り意識の醸成

第3セッション 分科会テーマの説明

5つの分科会リーダーから趣旨説明が行われた。いずれも各々関連はあり、これからのロータリーにとって重要な問題であったが、私は第4セクション分科会の水と保健・環境に参加した。この問題は国連でも21世紀の大きなテーマとなっている。

モデレーター宮崎茂和氏は「地球上の水のうち海水と氷以外は0.3%で、そのうち2/3は地下水、河川水

は0.1%に過ぎない。人口の無制限の増加は人類の死滅につながる」と警告。

水問題 淡水確保 植樹(砂漠化防止)  
水質汚染  
環境問題 森林伐採 企業の地域汚染  
人口問題

健康(感染症、疾病を含む) WCSの期待 エイズ問題 疾病と感染症 識字率の向上  
パネリスト成川守彦氏は、主にエイズ問題を取り上げ、先進国の中で日本だけがエイズ患者が増えている。その実体の説明から予防教育の重要性を強調。水問題ではアフリカの水使用量が日本の1/6以下で、餓死者より水汚染による死亡者がはるかに多い。アナン国連事務総長の「水なくして、平和はない」を引用された。

パネリスト関場慶博氏は、ガーナでの生活体験から水すなわち命を実感された。手洗い水がないため感染症が多発 マラリアの大流行 飲料水中のヒ素とフッ素の高濃度化 水汲みによる事故死 をあげ、宮古農林高校が海洋深層水で「水のノーベル賞」を受賞したことを紹介された。水と環境保全是人口問題とリンクしていて、識字率が向上すると人口は減少する。識字率を上げるためにロータリアンが出来ること  
ロータリアンが自己認識すること クラブで話し合うこと WCSに参加することを強調された。

11月28日(日)第2日日本会議

第5セクション(各種報告)

シカゴ国際大会について 板橋敏雄氏

クラブで話し合っ、ロータリーの原点を探る旅に出よう。シカゴ100周年記念国際大会の紹介。

ロータリー米山記念奨学会報告 宮崎幸雄氏

基礎調査の結果から、ロータリアンからは国際交流や親善を推進する人材や母国に限らず国際社会で活躍する人材を求める声が多く、留学生からは「日本との懸け橋になる」、「国際社会で活躍する」といった声が多かった。指定校と大学推薦については半数がプラス評価。25%で改善が必要と回答。検討課題としては「地域密着型大学や特徴のある大学を指定校とする」、「地区裁量枠の検討」が挙げられた。寄付金は1997年以降会員数の減少と平行して普通寄付金、特別寄付金ともに減少してきており、奨学金の減額や人数減で対応している。

ロータリー・センターについて 岩井 敏氏

発足当初はマイナスイメージが強く出ていたが、今回の評価は高くなった。日本語が出来る学生が増え、教員間の連携も良くなってきた。関東6地区がホームエリアとなって、人的・経済的に支援しているが、資金面でサポート体制が困難になってきている。



## 第2回 ガバナーエレクト 研修セミナー

塚原 房樹(札幌東GE)

11月25日の財団セミナー、26日のGETSに続き27・28日のゾーン研究会に出席しました。私はガバナーエレクトとしてGETSのご報告をいたします。GETSのプログラムはアナハイムの国際協議会の事前勉強会と位置づけられています。指導に当たるRI研修リーダーは、川尻、上野、黒田各PGの方々でした。研修セミナーの議事項目は8つのセッションから構成されています。地区ガバナーの役割と責務 効果的なクラブを支援する地区組織 ロータリークラブの活性化を促す会員増強と退会防止 効果的な指導力の開発 ロータリー財団プログラム 財団寄付増進とシェアシステム 国際ロータリーの運営条件 国際協議会の予備知識の8部門でした。また国際協議会でのグループ討論を想定したプログラムとして、16の項目について研修しました。主なものは、「強いクラブを作るには」、「会員増強と発展について」、「毎年すべてのロータリアンが100ドルを」などでした。

以上のプログラムを見てお気づきのように、やはりRIの重点課題は財団支援と会員増強がメインとなっております。朝9時から夕方5時過ぎまでのハードなスケジュールでした。研修を終えて感じたことは、RIのリーダーシッププランは、RIの目標達成のために実に用意周到に細部にわたり準備されていることでした。そして国際協議会はロータリー哲学を学ぶところではなく、あくまでもロータリーの組織維持と管理運営の方法を徹底研修する場であることを知らされました。また夜は国内34地区のガバナーエレクト夫妻の連帯感を高める目的で懇親会が開催されました。なおガバナーエレクト配偶者プログラムも終日行われました。有意義で効果のあるGETSですが、小春日和の広島で朝から晩まで缶詰の4日間でした。





## 地区研修リーダーセミナー に参加して

地区研修リーダー

伊藤 長 英 (苫小牧北・PDG)

ロータリー・ゾーン研究会の前日、2004年11月26日(金)に地区研修リーダーセミナーが開催された。昨年までは年1回であったがRIの方針で今年から年2回の開催となり、何れもGETS(ガバナー・エレクト研修会)と同日に行われた。第1回目は9月12日(日)で、午前中はガバナー・エレクトと同室で

セッション ; クラブの活性化を促す会員増強と退会防止

セッション ; ロータリー財団プログラム

についての講演を聞き、午後からはGEと別室で

セッション ; 地区研修リーダーの役割と責務

セッション ; 地区研修会の準備と方法

について討議された。

第2回目の今回は、全員集合による開会式の後、直ちにガバナー・エレクトとは別室で、9時より17時15分まで研修が行われた。

セッション ; (討議) 成功する「地区チーム研修セミナー」

セッション ; (講義) 研修の技術とテクニック

(講師はNHK放送研究センター日本語センター長 岩井正氏)

セッション ; (討議) 成功する「地区協議会」の進め方

セッション ; (討議) 成功する「地区指導者育成セミナー」の進め方

セッション ; 評価および協議

セッション は2組に別れ、リーダーは夫々前RI研修リーダーである神崎正陳氏と天野肇氏が務め、討議形式で90分づつ行われた。「地区協議会」の進め方については地区により特徴あるプログラムを組んでいるところがある。「地区指導者育成セミナー」は、未開催の地区が多く次年度に向けて準備段階の地区が多い。手引きによると、開催の日程は地区大会に付随して開催されるべきとなっている。参加者はクラブ会長を務めたロータリアンで、クラブの指導的役割を3年以上務めたことのあるロータリアンとなっている。

セッション の岩井正氏の講義は、「あなたの話は伝

わっていますか?」と題し、言葉のトレーニングを行った。実習課題にも取り組み、ユニークな講義であった。

尚、2004年6月のRI理事会において、地区には直ちに地区研修リーダーを委員長とする研修委員会を任命することが義務付けられた。



## クラブを壊すにゃ刃物はいらぬ 前年通りやればい

富原 薫 (札幌PG)

広島での、ロータリーゾーン研究会に出席された、国際ロータリー、グレン・E・エステス会長は、アメリカ人として胸中複雑な思いがあったのではなからうか。

11月25日夜、歓迎晩餐会は原田英代歓迎コンサートから始まった。その磨かれた宝石のような音色や重量感、約1時間に及ぶ旋律、会場は堰として声なく琴線に触れて来る音色は全員を魅了する。終わった瞬間会場一杯に感動のどよめき、会は一気に盛り上がった。

26日朝8時30分、点鐘、本会議恒例の一連のセレモニー、エステス会長の挨拶、私たちのクラブで、職業で、地域社会で、そして私たちの世界で、新たに奉仕に献身して「ロータリーを祝おう」としめくくった。

ポール・ハリスら4人の青年たちの立ち上がりから100年後の今日、このような発展を見るとは誰も想像はしなかったろう。これは、生きとせ生きるもの全くの願望の証である。以後、ロータリーとは?と問われたら、躊躇することなく100年の歴史を手短に答えればこと足りる、このことのためにも心から祝いたい。

組織が大きくなればそれに伴って色々な問題変化が増えて来る。人間関係、経済、そして会員の意識の変化など、内部ばかりではない外からの注目、関心も高まって来る。

それを外部から見て、ロータリアンの意識調査を複数の特定クラブを対象に、入、退会の理由、そして今日の心情などアンケート方式で調べた人がいる。山口大学教授、小谷典子さん、その人。それが当日の本会議での主要テーマとして取り上げられた。画期的なこととして注目された。大変参考になる内容であった。中でも、新入会員の中から退会者が増えている、奉仕の理念に基くもの少なく、ステータス意識など自己メリットの計算が先行していること - 考えさせられる。

それでもロータリーに入ったことを誇りに思う点が35%あったこと。 - まだ救われる思い。

続いて午後の分科会“魅力あるクラブ”グループに参加、冒頭1人のパネリストから、「クラブ壊すにや刃物はいらぬ、前年通りやればいい」との発言、さらに氏は所属クラブの棚下しから始めること、「ロータリー見直し委員会」の設置など意欲を語る。パネリストグループは熱弁を、フロアーからは、二、三の質問があったが冷静、佳境に入らないまま分科会は終わった。



「広島ゾーン研究会2004」の意味するもの  
ロータリーの再生と未来

石垣博美(札幌セントラルPG)

1. 大いなる感動をよんだ「研究会」

11月26日から3泊4日の小旅行であったが、宮島、江田島と瀬戸内の温暖な地から雪の北国に帰ってくると、ひどく疲れを感じた。今回は<広島>で開催されたこともあり、大変重い、そして忘れがたい思い出になる旅であった。

RI会長のエステスさん、財団委員長のラビツアアさんを迎え歓迎晩餐会から始まる一連のプログラムには、今までにない張りつめた空気が流れているような感じがした。ベートーベンのピアノ曲「テンペスト(あらし)」の演奏で始まった晩餐会は、ひとときわ情趣をそえた。とうのも、解説によれば、あのシェクスピアの晩年の作品といわれる「テンペスト」は、人間の争いを融和に導く<友愛のこころ>、寛容の精神を願う宗教的な祈りを表現した名作という。ベートーベンもこの<友愛のこころ>に感動してピアノの調べにのせたのではないだろうか。ロータリーの希求する平和は、まさにこうした心情に通じるのだと思う。

しかも、この難曲を演奏する若きピアニストは、元財団奨学生原田英代さんだった。今はドイツに在住しているが、来年はバリトンのローマン・トレケル氏と来日し、シューベルトの「冬の旅」全曲の演奏会がある。

2. 「広島」は呼びかける

私どもは、会場を埋めたたくさんの先輩、同僚と

ともにこのピアノ演奏に聴き入った。そしてロータリーの100年を語り合った。確かにそれは嵐のような100年だった。私はこの6月、規定審議会でシカゴにいた。一タ、街に出てジョン・ハンコックビルの上階の展望台を訪れ、眼下に広がるミシガン湖の大きさに目を見張り、この30マイル北にポール・ハリスが生まれた町ラシーヌがあるのだなと思いにふけた。が同時に壁一面に広がるシカゴ大火災の展示絵に見入った。その廃墟と化したシカゴの風景は、ふとわたしたちに「グランド・ゼロ」という言葉と風景を思いおこさせた。

晩餐会のわたしたちの語らひは、いつしか広島の60年前の体験生活世界であった。そして、そこから出てくる「再生」へのエネルギーは世界的メッセージだという話に移った。ロータリー100年を祝う場所として広島は最適の街かもしれない。

古代ギリシャの人々はロードス島に理想郷があると信じ、この島にたどり着いたとき「ここがロードスだ。ここで踊れ」と叫んだ。広島の街もまたロータリアンに呼びかけているようだった。「ここが広島だ。ここで踊れ」と。われわれは、ここを出発点として未来にむけて前進したいものである。

3. 画期的な「ロータリー精神分析」

今回のゾーン研究会でもう一つの忘れられない楽しさは、日本のロータリー史では始めて社会科学的方法が導入され、田中・南園両理事、川妻実行委員長(広島南)のプログラム企画への関心と努力が実を結んだことである。研究会第1日目の第2特別セッションで、山口大学の小谷典子教授による「ロータリアンの意識とロータリーの将来」と題する基調講演があった。それはわが国における「ロータリー学」の出発といってもよいのではないか。アメリカでは知られるとおり、シカゴ大学の社会学者たちが、いわば「ロータリー現象」の分析を行っている。田中 毅さん(神戸 芦屋)はそれらの研究の紹介につとめておられる。日本では、ロータリーは今まで科学的に社会思想史上のテーマとして取り上げられることはなかった。これからは大いなる未開拓の分野として取り上げられていくのではと、私どもは胸をふくらませる思いだ。

「広島ゾーン研究会」本会議の第4セッションは、この基調講演をもとにして5つの分科会が開催され



た。新世紀の夢 会員増強 職業奉仕 魅力あるクラブづくり 世界の水。これらのトピックをめぐって熱い議論がなされた。詳細は近く配布されるゾーン研究会レポートをご参照いただきたい。

総じて今回の「広島ゾーン研究会」は明るく楽しく、集ったパストガバナーたちを奮起させる会議であった。役員やパネリストの方々の話もよかった。それに、明るい話題もあった。日本やインドでの会員減少のペースが落ちてきたとか、イタリア、ドイツ、ロシアでは逆に増加の傾向にあるという。また、韓国、東南アジアでも増加している。ポリオ・プラスのプロジェクトも撲滅宣言ができる条件が整いつつあるらしい。平和奨学生プロジェクトも着実に進んでいる。私の同期のパストガバナーの地区では、新しいクラブづくりに成功しているとか、明るい話題が多く楽しかった。

ひとえに、いくつかの新機軸が会議を有意義なものとした。それはあたかも広島市の街が、訪れる人に呼びかける「エートス（社会的雰囲気）」だったかもしれない。それがわれわれロータリアンにも「グラウンド・ゼロ」の原点に立ち返り、立ち上がれと呼びかけていたような気がする。前述した小谷教授の人文科学的分析の接近手法を取り入れ、「ロータリー学」への出発を試みたプログラムが光った。この輝きにひかれて、これからは多様な視点からの「ロータリー論」が出てくるのではないだろうか。そうした方向に動いていけば、日本の論壇の一角にロータリー学ともいべき議論が定着するの夢ではない。多様な人文科学的の接近方法がもたらす現実的な効用は今後期待できるのではないか。例えて言えば、前述の5つの分科会で問われている「ロータリーの問題」の解決に少なからず資するのではないかと思う。

#### 4. 「武士道資本主義」を排す

その一つの例として、最後に前述した第3セッションにおける議論の一場面を紹介しよう。

この分科会のテーマは「職業倫理と現代社会」である。パネリストの一人、藤川亨胤（鶴岡）さんは、アナハイムでの経験を背景に、日本文化、＜武士道＞を基調とする企業社会を目指すべきだと説いた。職業倫理という言葉は西洋のキリスト教からきており、その原理もそこに由来する。武士道には

雄・仁・義・礼などの徳目を含む道德体系があり、これは西洋のそれと相通じるものがあり、遜色は全くない。しかも、この日本の道德体系は、日本だけでなく国際的にも理解されている。それが証拠に、アナハイムで話しあったアメリカ人たちは、「ラストサムライ」（アメリカ映画）をひきあいにして、日本社会の「高圧倫理社会」性に感嘆しているのだという。そして、渡辺謙が扮する西郷隆盛が死地に赴くとき、「さらば」とトム・クルーズ扮するアメリカ人お雇い士官に別れる場面はアメリカ人にとっては感動なのであった。日本人のよい死に方を教えているのである。

藤川さんは、大変説得力のある話し方で聴衆は大いに感動し喝采した。国の内外を問わずこのところ企業の不祥事が続いている現状から、まことにタイムリーな発言であった。しかし、日本のアカデミズム、特に文化人類学関連の論壇では、文明論的視点から、武士道を軸とする日本人論は国際的に比較分析する研究が進んでいる。そうした議論の基本的方向は、武士道的要素の本質的側面は見失われ、競争的かつ攻撃的側面がナショナリズム（軍国主義や戦後の一國資本主義）のための手段とされている。

アメリカでは戦争中から「菊と刀」（ルース・ベネディクト）とする日本理解は現在まで続いているとみられる。

日本人の道德体系というのは、結局のところ仏教・儒教・神道などのハイブリットとして形成されてきており、私どもが家庭教育の中で自然に体得するすこぶる健全なる「常識」なのではないか。山口大学の小谷典子教授がはからずも述べておられた「世のため、人のため」という「世間」に迷惑をかけない倫理的正義が成立しているのである。これが日本社会を世界的にもっとも目立つところの「高圧倫理社会」を作り上げているのだ、と私は考えている。

藤川さんには失礼な発言があったらお詫びしたい。私はロータリー議論のなかにこうした議論がもっと出てくることを願っている。

皆さんはどうお思いでしょうか。



## ロータリー財団地区セミナー

地区R財団委員長

遠藤 正之(札幌南PG)

ロータリー財団地区セミナー(Zone 1.2.3.4)は去る11月25日、第33回ロータリーゾーン研究会の前日に約220名の出席者で行われた。

当日はグレンエステスRI会長、TRF管理委員長カルロラピッツァ(1999-2000RI会長)寄付増進部長ラリー・ショーヴァー氏が出席され、広島リーガロイヤルホテルで行われました。

当地区からは、遠藤秀雄ガバナー、塚原房樹ガバナーエレクトと、地区財団委員長の私が出席しました。

このセミナーはRRFC(ロータリー財団地区コーディネーター)今回は宮崎茂和D-2650パストガバナーが主催者となり各地のシニヤリーダーに最近の財団の現況とその問題点、改正事項について各関係者から説明をし、財団についての理解を得、合せて財団寄付の重要性、又ロータリー財団のプログラムについての現況説明を地区に戻り各地区の現況にあった計画実行、又会員に対して正しい説明も出来るようにするセミナーでもあります。

今回は最初にRI会長が財団に対しての高い認識を深め、今後のお願いと過去に対する感謝をし、ロータリーの未来を祝うという趣旨の挨拶にはじまり、ラピッツァTRF管理委員長が財団プログラムの変更点と財団の現況についての説明がありました。次いで寄付増進部長のラリー・ショーヴァー氏のEvery Rotary Every Yearの説明が通訳を通して平易に説明されました。又午前中最後のプログラムは2002~2003年度の国際親善奨学生の中山智子さん(広島市 甘日市クラブ推薦)が自分の奨学生としてフランス滞在中の生活と帰国してからのロータリーとの関係、又今後のロータリーとのかわりについての感銘深い報告がありました。

午後からは、恒久基金委員会の報告が恒久基金委員長の岡村俊一氏、ロータリー日本財団についての報告が(特活)ロータリー日本財団理事長の岩井 敏氏から、寄付の重要性については宮崎茂和氏よりのレクチャーを受けました。

最後に日本事務局財団室長の片岡暁子さんからロー

タリー財団の改正事項について説明をうけました。

一日目とはいえ非常にタイトなスケジュールでした。

皆様にお伝えしたいこと

1. 04~05の財団寄付の目標は1億ドルですので、Every Rotary Every Yearで
2. ポリオ・プラスが最終年になっているので御協力を
3. 恒久基金の目標に協力を  
05年末 5億ドル  
25年末 10億ドル にしたい  
現在(9月30日)予測額は4億1,720万ドルです
4. ロータリーカードに参加  
オリコカードの使用者が10,000名に達すると、使用額の0.3%がロイヤリティとしてロータリー財団に還元されるのです。  
年会費、入会費は無料です。
5. 2005年4月28日ロータリー100年を記念して80円切手が発行されます。大いに利用して下さい。  
財団委員長はいつもお願いごとばかりで申し訳ありません。



## ロータリー・ゾーン 研究会報告

第2510地区100周年記念

委員長 岩城 秀晴(札幌南PG)

今回の研究会も「ロータリーの100年を祝い新世紀の夢を語ろう」でありました。私は仕事の関係で11月26日(金)の新千歳発伊丹行の最終に乗り新幹線で広島へ行ったので辿り着いたのは夜中であった。これを克服して翌日の第一日本会議に参加しました。私はこの研究会も100年を祝うことがテーマであり、その100年をスタートとした今後のロータリーの夢を語ったのであります。その中で印象に残った事柄を抽出して記録としたいと思います。その一つとして直前RI理事である菅生氏は、ロータリーを祝おうとして、1905年2月に善意の奉仕団体が誕生し、100年も継続したことは歴史的には考えられない出来事であるから、その原因を掘下げてみました。その原因としては

1. サービスの基盤が確立している。
2. 職業活動は、社会のニーズを満たすため集積であり、他人のために盡す、サービスを基本において奉仕する。

- 3、地域社会への活動奉仕が100年に亘った実績がある。
  - 4、親睦が奉仕活動と人間活動をするために大きな原因となった。
  - 5、クラブの奉仕が原点となった。
  - 6、ロータリー財団が、国際奉仕活動のための資金の構築となった。
  - 7、ロータリーの人事、流れ、豊富な人材の発掘となった。この資源が、永久に発展させるものと確信。
- 以上の項目が100年間支えてくれたものであり、これからも21世紀を経過し、更に新しい世紀に継げるものである。

このように菅生氏は述べられておりましたが、別なセッションでは「新世紀の夢を語る」の中に、ロータリーの各委員会は勉強のテーマを考えて行き、その奉仕委員会において内容を研究すべきと考えて行くことが我々ロータリアンの生き方でありロータリーの夢が展開されることではないか、と上野孝氏は熱く論じておられた。私は思うにロータリーを知ることによりその奉仕への理解を得られるものであって、クラブの例会出席に始まり人間関係が生まれてその感動を共有することが出来るものではないかと思えます。100周年の意義の理解を深めることによるロータリー-の理念が各自に理解ができるものと思われます。ただ100年を祝うことのみにとらわれて真実の理解を得られた奉仕活動を望みたいと考えております。どうか各位と共にロータリーを楽しみましょう。



### ロータリー・ゾーン研究会に 参加して

-ロータリーは世間ばなれしているか？

小 林 博(札幌北PG)

ロータリーって何ですか？

「ロータリーって何ですか」と聞かれても明快な回答は難しい。ロータリーの綱領そのものがわかりにくいだけでなく、ロータリーで使われる言葉自体も難しくわかりにくい。ロータリーの「綱領」というのも要はロータリーの「目的」といった方がわかりよいのに、徒らにわかりにくい言葉を使っているようだ。

一般市民の目から見るロータリーは「自ら高い塀を作って世の中から見えにくくしている、そして自分たちは偉いと思っている」という外部の指摘も紹介され

た。ロータリーそのものが既に社会から遊離した存在になっているのかも知れない。

四つのテストも簡単に言えば、「真実かどうか」は「嘘をつくな」ということである。「みんなに公平か」ということは「みんなにフェアにやっているか」であり、ともにロータリアンの倫理の問題である。3、4の項目は「好意と友情を深めるか」、「みんなのためになるかどうか」は言葉どおりであるが、礼節とか信義がその前提にあることは言うまでもない。

会員減少はみんなの気になるところである。我が国では1992年から2004年までに会員数はライオンズは25%、ロータリーは20%減少している。減少の傾向は世の中に共通の宿命であって、ここで無理して増員・増強を叫ぶことはむしろ滑稽なことかも知れない。各クラブが自らの身の丈にあった適正なサイズを考え、そのサイズのなかでいかに質を上げていくかを考えていくべきとの意見は印象的であった。

新しいクラブ誕生の紹介もあった。ローターアクトやGSEのOBなどだけで作ったのである。このクラブの年会費は半期3万5千円であるから年に7万円。例会時の食事はパン、チーズ、ワインで500円の実費のみという(但しビジターフィーは2,000円だからチャッカリしている)

企業のトップではない平社員がロータリアンになることの是非の討論もあったが、エステス現会長の意見で平社員も「ロータリー家族」の一員との理解でロータリアンになっていただいたとのこと。

Iかweか？

「I serve」か「we serve」か、オープンフォーラムで興味ある討論があった。この「Iかweか」は、ロータリーでの議論は絶えないが、本来二者択一すべきことではなく、ともに大切なものであり、欧米ではもはや議論の対象にもなっていないという。

ロータリー標語の1つはシエルドンのHe profits who serves the bestである。だが、冒頭のHeはTheyに変わった。そうすると英語もThey profit who serve the bestで共に三人称単数のsは消えることになる。ところがTheyはおかしいという意見も絶えないようだ。HeがTheyに変わってホツとしたのも束の間である。以前はHeの代わりにOneにしようという意見が優勢であったが、結局このOneに両性を考慮してTheyに置き換わったのであった。



だが、財団トラスティの玉村文夫さん（東京RC）のご意見によれば、英語を母国語とする欧米人も英語を知らないという。Heというのはもともと古典語では男女の両性を含めて使われていたものであるから、最初のHe profits who serves the bestでいいというのである。ロータリーの論議はどうも世間離れしているようだ。

ロータリー財団の改革は進むか？

カルロ・ラビツア ロータリー財団管理委員会委員長は1999 - 2000年度国際ロータリーの会長ながら改革派の一人として評価が高い。

今回のロータリー・ゾーン研究会の挨拶の中でも大胆な改革の試案を紹介していた。提案の1つは、ロータリー財団委員会委員長の立場の者は毎年変わるべきではないというのである。その理由は毎年顔（社長）の変わるような会社は誰からも信頼されないように、ロータリー財団も管理委員長が毎年変わるようでは世の中から信頼されない。そうすれば外部からの寄附も期待できないというのである。

もう1つの提案は、財団の管理委員長はRI会長経験者が順送りになっている現状についてである。RI会長はこれを楽しみにしているが、これでは名誉職となってしまう、結局事務局が強大になってしまうだけである。だから財団の管理委員長はRI会長経験者でなくともなれるように変えるべきだというのである。

既に財団改革の一旦としてDDF予算の20%以内であれば地区内で自由に使えるとした改革案が実施されている。久し振りラビツア会長の歯切れのいい改革案の具体化に期待したいものだ。

ある人曰く、「ロータリーを潰そうと思えば簡単である。新しいことをやらずに前年と同じことをやっていけばいいだけだ」と。社会が変わる以上の早いスピードで変革して行かなければ、ロータリーも、ロータリー財団も世間から忘れられていくだけなのかも知れない。



## 会員増強と退会防止の 分科会報告

佐藤 秀雄(千歳PG)

私は、第3セッション分科会の第2会員増強と退会防止に参加したので報告します。第33回ロータリー・ゾーン研究会は原爆の都広島市で11月26日から28日まで、暖かい日差しの中で開催され白熱した論議が戦わされた。（この報告の中には26日に開催された地区会員増強委員長合同セミナーの分も含まれているのでご了承願います。）モジレーターに小沢一彦氏（横須賀RC）が、パネリストに2名がついて会議が開始された。パネリストから世界の会員は減少傾向にある。特に日本、米国、インドの会員減少が激しい。そんな中において世界の会員が1年間に退会する9千人弱の約半数を日本が占めていることを報告された。日本においては1996年をピークに減少傾向にあったが、前年度から下げ止まりの現象が見え始めた。（しかし、北海道はその傾向が未だ見えない、報告者の観察。）しかし、状況は非常に厳しい。以前に菅生直前理事は、会員増強について「任意の団体において会員の増強は死活問題に関する重要な問題であります。日本の会員数は12万人を超えたが、現在10万人台に減ってきていますが、その背景には、ロータリーの価値観、世代意識の希薄化という現象が顕在化した事によるものでしょう。今現実の問題点は、社会で活躍している女性に対する意識改革が大切でありましょう。」とっておられる。又、大阪中央RCの会員が、RIエステス会長エレクトに質問した紹介があった。「アメリカでは女性会員が全体の10%を超えています。日本ではまだ2~2.5%です。会長エレクトの豊富な経験から、女性会員増強の秘訣をお教えいただきたい。」との質問に会長エレクトは「女性会員を増強するには、女性が話をするほかにありません。会員増強には、会員みんなが意欲を持って当たらなければならないでしょう、会員増強には魔法の杖は有りません。」と明快に答えられたとあります。又、論議の中で「かながわ湘南RC」が今年度創立された。会員の構成は学友、GSE、そして青少年交換の人達で総勢23名をもって発足した。平均年齢39歳、年会費は前期3万5千円、後期3万5

千円の計7万円で運営しているとの報告があった。会員から他の多くのクラブは食事をし、その後例会を開催している事に奇異の念を抱いている。このクラブは、毎回例会を夜の7時とし終了後にフランスパン、チーズ、ワインの食事をとるとのこと。

総論として、エステスR I会長が言うように会員増強に魔法の杖はない。特段の努力を持って女性会員を入会させ活性化を図ることが大切だ。特に、ときのクラブ会長が、理事・役員を中心にいかに増強に取り組むかにかかっている。会員増強は一会員だけで達成できるものではない。全会員が一丸となってこそ達成されるものであり、その熱意を創るのがクラブ会長の仕

事だ、という内容だった。思うに、如何にしてクラブの活性化に取り組むべきか。クラブが活性化されれば退会防止はついてくる。手続要覧、諸規定などを理解するだけでなくロータリー運動の真髓を理解させ楽しさを知ってもらう事が大切ではないかと思う。クラブ運営には創意工夫が大切である。女性会員を入会させるのは勿論の事、実施しているクラブも既にあるかもしれないが、例えばクラブ会員にひとつのテーマを与え3分間スピーチを全員にってもらう。それが終われば次に5分間に進む。これはほんの一例だが、クラブが創意工夫を凝らせばいろんな活性化案は出てくるだろう。

## 親業訓練入門講座への参加のお願い

札幌北RC 会長 深浦 信吾  
地区家庭奉仕委員会 委員長 和田 壬三

子どもを育てることができない母親や結婚しない男女の若者の数が近年急増しています。また離婚率の増加も著しいものがあります。我が国は両親を尊敬しない子どもの数がどの国よりも多いことや、我が家が一番幸せという子の数が、どの国よりも圧倒的に少ないという調査結果が、我が国の現状を反映していると思います。

その反映が、100万人以上存在するという引きこもり青年(男女)の数や、児童虐待の著しい増加、不登校児の増加などといった社会現象になっているものと思います。これらのことは、残念ながら、我が国の家庭が円満に機能していない現状を反映していると思わざるを得ません。

このたび札幌北ロータリークラブが主催して、崩壊した家庭関係を回復するにはどうしたらよいかについての講座を下記の要領で3回に亘って開催することになりました。

関心のある方は、是非ご参加いただくようお願い申し上げます。

= 記 =

1. 日 時 平成17年2月1日(火) 8日(火) 15日(火) 午前10時~12時(各2時間)
2. 場 所 北海道クリスチャンセンター(札幌市北区北7西6) 電話 011(736)3388  
地図 必要により“縮尺の切り替え”をお使いください。  
<http://map.yahoo.co.jp/print?mode=1&key=a11cb0d251b690491690362&pass=ed247efd5189337f>
3. 受講料 4,200円(3回分、ただし全会参加しなくても返還しません)
4. 定 員 30名(先着順)
5. 連絡先 札幌北RC(札幌市北区北7条西5ストークマンション札幌906)  
電 話 011(700)4511 F A X 011(700)4512  
和田法律事務所(札幌市中央区北4西6毎日札幌会館)  
電 話 011(281)0909 F A X 011(271)4336
6. 締め切り 平成17年1月20日



## 地区委員会

## 活動報告

### 地区大会“手作り展示”奮闘記



子ども奉仕委員会  
委員 三澤 龍子(札幌清田)



子ども奉仕委員会  
委員 酒井 宏(千歳)

去る9月4日子ども奉仕委員会で、本委員会も地区大会の展示ブースへ出展することが決まった。本委員会は、(1)ロータリアンによる小中学校での授業と、(2)ロータリアンの職場での小中学生の職業体験、この二つの活動の促進を目指している。出展は、本委員会の活動のPRと協力会員の増加を期待してのことである。私達が担当することになった。

ロータリーの財政難を考えれば、手作り以外にはない。会議中に出展資料とレイアウトの素案を作り、米山委員長の賛同も得て、早速準備に取り掛かった。その後、委員長と私達とで2回、打合せ会議を開き、タイトルを「平成の語り部 - ロータリアンの知恵と経験を - 」とした。趣旨、歩み、会員の登録数、授業の実践活動、小中学生の感想文、これからの活動、などを簡潔に表示することとし、アンケートも集めることにした。

大会1週間前に掲示文の原稿を委員長に送ったり、3日前に家族旅行中の伊勢神宮で三澤委員から電話を受けたりと、大会が近づくにつれ不安が増大していった。

大会第1日午後、展示会場に行って、他のブースの立派さに圧倒された。「手作りだから素晴らしいものがあるのよ」と三澤委員に慰められ、意を強くした。委員長も加わり、喧々諤々、議論をしながらの作業となった。

第2日の展示当日、早期から作業を続けた。多くのロータリアンから「お手伝いしますよ」と声を掛けていただき感激した。いよいよ開場となり、三澤委員と期待を込めてロータリアンを待ち受けた。三澤委員の情熱と、気迫がブースに来たすべての人達を魅了したかに思えた。本委員会の石黒直文(札幌西)、近藤浩(札幌幌南)、石田勉(函館)、石黒安雅(滝川)の各委員も駆けつけて、PRに汗を流していただいた。

韓国のロータリアンも「私達も活動の一つとしてやっていますよ」と流暢な日本語で話された。立ち寄った多くのロータリアンは協力的な姿勢で、アンケートに答えたりその場で登録をして下さるなどした。ただ、知らない会員もあり、PR不足を感じた。

本委員会は、近々、協力会員名簿を発行する予定である。その先に、これを如何に有効に活用していただけるか、の問題がある。協力会員ゼロのクラブ解消と共に、有効活用への会員諸兄姉の御協力をお願いする次第である。(酒井記)



札幌西RCとフィリピン、マカティウエストRC  
との間で双子クラブ登録の調印式が終了



世界社会奉仕委員会

委員長 齋藤 修 弥(室 蘭)

去る11月18日2510地区札幌西RCと3830地区マカティウエストRCとの間で双子クラブの登録に合意し、それを記念するフィリピン、ガワド・カリンガ・プロジェクトに関する調印式が盛大に開催されました。

当世界社会奉仕委員会としては本年度最初の事業ですので、札幌西RCにお願いし詳細な報告書と写真の提供をいただきましたので、23ページの2004～2005年度 国際奉仕事業フィリピン、ガワド・カリンガ・プロジェクト事業報告書に掲載させていただきます。

この他にも現在3つの事業が夫々のRCの熱意により進行しております。予算の関係もありますので、他のRCにおかれても出来るだけ早期に当委員会の事業申請書を用いて事業に応募されますようお願いいたします。



## クラブ活動 紹介

タイ・コンケン地区RI3340  
タイの少年の家(ボーイズタウン)  
人道的援助を終えて

千歳セントラルRC 高塚 信 和

04.11.20～26の日程でWCS事業プロジェクト・DMG0451098(2ヶ国以上にあるRCが協力しあうて行う人道的プロジェクト)により、2510地区千歳セントラルRCと2620地区長泉RCの共同作業により受領国タイ・コンケンRCの仲介によって、ボーイズタウンが完成し開所式が行われ、15名の会員(千歳セントラルRC3名、長泉RC12名)が参加し、地区RCとの友好の輪を拓げ国際貢献の援助をなしとげた。



(財)ロータリー米山記念奨学会 2004年12月10日発行

# ハイライトよねやま 58

## 1. 寄付金速報～今年も残り1ヵ月を切りました……

11月までの寄付金は、前年同期と比べ3.7%減、約2千4百万円の減少でした。普通寄付金が2.4%減、特別寄付金が4.3%減です。今年度も5ヵ月を過ぎましたが、このままの寄付状況が続きますと、2005年6月末の寄付金総額15億円達成が危ぶまれます。事務局でも、寄付金減少の原因を分析し、今後の寄付増進のための方策を思案しております。今後の米山奨学事業を縮小させないためにも、ロータリー会員の皆様に当会の事業内容をご理解いただけるよう、広報へのご協力をよろしくお願いいたします。

## 2. ロータリーゾーン研究会に参加して

ロータリーゾーン研究会のプログラムに「ロータリー米山奨学事業」が加えられて、今年で3年目となります。これは、米山奨学事業への認知が十分に高まったこと以上に、ロータリー全体の危機感が叫ばれる中で、日本のロータリーの発展のために、今後いかなる努力が必要かを共に考える時期に来たからだと言えるでしょう。

今回の研究会に参加して、現在、米山奨学事業が直面している問題と課題への取り組みの糸口が見えてきました。米山奨学事業が日本のロータリーの「多地区合同事業」である認識の欠如、奨学金への寄付と事業の維持はロータリー会員の義務と責任であることの理解不足、日本のロータリー独自の事業とする自負と同時に、社会的責任を伴っていることへの自覚を深めること……これらの重大な課題に、われわれは今後取り組んでいかなければなりません。

また、山口大学小谷典子教授の基調講演『ロータリアンの意識調査』での現状分析について、各報告者から入念な準備に基づく報告と問題提起がなされ、分科会・全体討議の議論は一段と盛り上がりました。ロータリー運動の根源への回帰 世代間の溝を埋めるツールとしての“情報”のあり方 会員相互の信頼関係を深める“四つのテスト”の今日的な理解 魅力あるリーダーとなるために 変化する時代への積極的取り組みなど、これからの日本のロータリーの方向・目標を見定める示唆に富んだ研究会でした。  
(事務局長・宮崎幸雄)

## 3. ネパールとの交流を米山学友がお手伝いします！



「ロータリーの友」12月号のよねやまだより(P.40 - 41)で紹介した米山学友のラム・チャンドラ・ブサルさん【ネパール/愛媛大学大学院/1999 - 2000年/第2670地区北条RC】から、嬉しい申し出がありました。

ブサルさんは、日本留学中に愛媛県から任命されて日本・ネパール親善大使を5年間務め、ネパール農業担当省の研究職にある現在でも、両国の国際交流推進のために、数々のボランティア活動に積極的に携わっています。

「私も、私の家族も、日本の方々との友情や交流を深めることに関心をもっています。ここ、カトマンズから日本のロータリアンの皆さんのお役に立つことができれば、とても嬉しく思います」とブサルさん。

「ネパールを訪れる方、ネパールに関する情報が必要な方は、どうぞいつでもご連絡ください」とのことです。

Dr. Ram Chandra Bhusal : P.O.Box 10741, Tahachal, Kathmandu, Nepal

E-mail bhusalrc@hotmail.com (メールは英語でお願いいたします)

Tel&Fax 米山奨学会事務局へお問合せください。

## 4. 米山学友から陶芸作品が寄贈されました



和歌山県龍神村を拠点に、新進陶芸家として、また中学・高校の陶芸講師として活躍する張 義明さん【台湾/和歌山大学大学院/1997 - 99年/第2640地区和歌山城南RC】 「ロータリーの友」2004年3月号のよねやまだよりで紹介した彼の奮闘記録を覚えている方も多いでしょう。不慮の事故から立ち直り、懸命に陶芸に打ち込むその姿は、多くの人に感動を与えました。

このたび、その張さんから米山記念奨学会に陶芸のオブジェが寄贈されました。『米山奨学事業への感謝を込めて、奉仕の心を表現したい』と語ったその作品は、一對のオブジェを寄り添うように並べると、不思議な温かみを醸しだします。張さんは、今年、龍神村に念願のアトリエをオープンし、秋には2度目の個展を開きました。



5. 米山奨学会理事中原勇治氏（2500地区）および元常務理事濱野堅照氏逝去

国際ロータリー第2500地区の理事中原勇治氏（留辺蘂RC）が10月14日にご逝去されました。享年81歳でした。中原氏は、1985 - 86年度の同地区パストガバナーで、1999年8月から当会理事となられ、任期は2005年8月までの予定でした。2001年から2003年の2年間は、常務理事としてもお務めいただきました。

また、元常務理事濱野堅照氏（東京江北RC）が11月18日にご逝去されました。享年78歳でした。濱野氏は1987年から4年間当会理事（第2580地区）として、また1991年から2001年8月までの10年間は常務理事としてお務めいただきました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、両氏のご冥福をお祈りいたします。

《重要なお知らせ》

ロータリー米山記念奨学会への特別寄付金に対しては、税法上の優遇措置（寄付金控除）が受けられます。1年間（1月～12月）に1万円以上の特別寄付をされた方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブにお送りいたします。来年の確定申告は、12月30日（木）までに入金されたご寄付が対象となります。

《年末年始の休業について》

米山奨学会事務局は、年末年始は12月28日（火）～1月5日（水）の間休業となります。1月6日（木）より通常業務となりますので、よろしくお祈りいたします。

今年も1年間、ありがとうございました。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。  
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯・野津・大庭  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281  
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

深川RC 大西 道祥 会員 11月12日  
苫小牧北RC 山本 秀子 会員 11月30日

ポール・ハリス・フェロー

函館北RC 柴崎 晃 会員 10月22日

ベネファクター

札幌北RC 高橋 麗秋 会員 11月29日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

深川RC 大西 道祥 会員 11月10日 ( 6 )  
深川RC 渋谷 賢治 会員 11月10日  
砂川RC 杉本 勉 会員 11月12日  
砂川RC 内野 司 会員 11月12日  
砂川RC 吉野 繁夫 会員 11月12日 ( 4 )  
札幌手稲RC 針谷 龍宜 会員 11月2日 ( 8 )  
札幌東RC 坂東 宗一 会員 11月19日 ( 8 )  
札幌幌南RC 遠藤 正之 会員 11月16日 ( 4 )  
札幌幌南RC 北山 誠 会員 11月16日  
恵庭RC 村上 利雄 会員 11月19日  
恵庭RC 新川 進 会員 11月19日  
恵庭RC 鈴木伊佐男 会員 11月19日  
室蘭東RC 天谷 富雄 会員 11月12日

室蘭東RC 芝垣 美男 会員 11月12日 ( 2 )  
室蘭東RC 鈴木 久雄 会員 11月12日 ( 5 )  
室蘭東RC 矢萩富士雄 会員 11月12日  
函館RC 黒崎 敏雄 会員 11月16日  
函館五稜郭RC 中村 喜憲 会員 11月19日  
函館五稜郭RC 鈴木 良二 会員 11月19日  
函館北RC 小笠原 孝 会員 11月24日 ( 8 )

米山功労クラブ

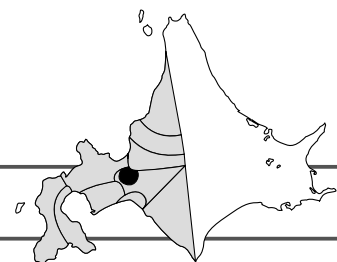
室蘭東RC 11月12日  
函館北RC 11月24日

米山功労法人

医療法人社団熊谷医院 (室蘭北RC) 11月16日



# こんにちは！ 第4グループです



第4グループ ガバナー補佐 小山 秀昭  
(札幌手稲)

第4グループには8つのクラブがあります。

札幌、札幌あけぼの、札幌はまなす、札幌北、札幌モーニング、札幌西、札幌西北、札幌手稲のクラブで構成されております。

各クラブの特長と活動をお知らせいたします。

## 札幌クラブ

創立71年目を迎える道内で最も歴史的な当クラブは会員数も最大で豊富な人材を有する。今年度も会員増強の目標数にほぼ達しており、「職業奉仕委員会」が30年間続いている「若い人と語ろう会」や「資料委員会」の設置などユニークな活動をしております。

## 札幌あけぼのクラブ

札幌手稲クラブをスポンサークラブとして創立して14年を迎える当クラブは少人数ながら青少年に関する活動を地域と共に行っています。

## 札幌はまなすクラブ

札幌北クラブをスポンサーとして設立された当クラブは13年目を迎え、4名の女性会員を含め「アットホーム」的な和やかなクラブ運営を進め、会員全員が社会福祉協議会の「ボランティア証」を所持するなど地域の社会活動に積極的に参画しています。

## 札幌北クラブ

次年度35周年を迎える当クラブは深浦信吾会長のもと「和をもって貴しとす・力ある楽しいクラブで超我の奉仕を！」をモットーにクラブの改革を進めております。

## 札幌モーニングクラブ

札幌市内唯一朝の例会を行っている創立16年目の当クラブの平均年齢は57.5歳と若く、「カミネッコン」による「植樹」や「同好会活動」など互いに知恵を出し合い明るく楽しいクラブ運営を行っています。

## 札幌西クラブ

1960年創立の伝統ある当クラブは70名の会員を有し、例会のロータリーソングの故事来歴の説明やバースディソングの女性会員による独唱など、例会は厳粛な雰囲気と風格を感じます。

## 札幌西北クラブ

インターアクトクラブを有する当クラブは札幌手稲・札幌あけぼのクラブとの共同事業である、「西区・手稲区中学校スポーツ大会」など青少年活動をはじめ、地元の「三角山」山頂に設置した東屋の清掃や登山者名簿を備えるなど地域活動を行っております。

## 札幌手稲クラブ

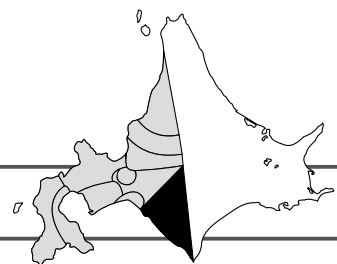
創立35周年を迎える当クラブは創立以来ほぼ毎年続けている「交換留学生」や十数年来続けていて毎月支給される「高校生奨学金制度」、そして札幌西北・札幌あけぼのクラブとの共同事業「西区・手稲区中学校スポーツ大会」など青少年に関する活動を行っています。特に本年23回目を迎え、5種目・参加選手1,600名を超える「西区・手稲区中学校スポーツ大会」は毎回行政とともに、地域から大きく期待される事業に成長いたしました。





# こんにちは！

## 第8グループです



第8グループ ガバナー補佐 蘇田又栄  
(浦河)

第8グループはえりも岬を突端に雄大な太平洋の潮騒と、自然豊かな日高山脈に囲まれ北海道でも降雪量が少なく温暖なところです。

この気候条件を生かし明治の頃より馬産が盛んで、現在ではサラブレッド生産日本一、国内の約80%占め幾多の名馬を産出し、全国にその名を轟かせております。

このような産業構造から各クラブには多くの競走馬関連の会員が所属し、他クラブにない会員構成となっております。

我がグループには、静内・三石・浦河・様似・えりもの5クラブがあり、それぞれ特異な奉仕活動を展開しておりますので、紹介します。

静内RCは昭和46年創立。グループの会員数を誇り、桜の町にふさわしく桜舞サッカーフェスティバルを毎年開催し青少年育成に取り組んでおります。また本年8月には100周年を記念し「交通安全塔」の設置をし多くの町民に喜ばれております。



三石RCは昭和45年創立。49年から町立図書館に「ロータリー文庫」を開設、昨年迄26回145万円の寄付を続け、本年は100周年を記念増額寄付を予定、長年の地道な活動に高い評価を受けております。

また、当クラブは家族との絆を大切にし、家族同伴のパークゴルフ・新年会を開催、親睦を図っております。

浦河RCは昭和36年創立。平成13年に40周年を終え意気軒昂、今後の活動に期待されます。昭和50年代より南米・パラグアイの「浦河文庫」に町民とともに図書寄贈を続け、台湾・中歴RCとの交流とともに国際奉仕にも取り組んでおります。

また、昨年社会奉仕活動の一環として、町内外の障害者の乗馬療養を取入れ広く活動しているボランティ

ア団体「クローバ」に乗馬用馬匹一頭を寄贈、この業績にはガバナー表彰を受けております。

様似RCは昭和43年創立。高山植物・カンラン岩で世界的に有名なアポイ山麓周辺への植樹、老人施設への慰問と地域に密着した活動を長年にわたり続け喜ばれております。

また、韓国・馬山RCとの家族ぐるみの国際交流にも取り組んでおります。

えりもRCは昭和47年創立。地域密着型の活動に徹し、小学生からお年寄り迄多くの町民とともに町内の街路・公園等の清掃を年2回実施、今では町民総ぐるみの恒例行事となっております。

また、地域の模範となる勤労青少年の表彰・新入児童への「交通安全ランドセルカバー」の寄贈・町内各企業へ給料袋の配布と幅広い活動をしております。

本年はロータリー創立100周年の節目の年、心新たにロータリー第二世紀へ向け前進しようではありませんか。



100周年にちなんだ地域・クラブ紹介

## わが街・我がRC

# 歴史散歩

～地域と共に歩んで～



フォーラムの風景

### 札幌南ロータリークラブ



参加者の様子



ボウリング大会(1)



ボウリング大会(2)

我がクラブは札幌市内豊平地区を中心に1964年から活動していますが、親クラブは札幌東クラブです。その後恵庭クラブ・札幌真駒内クラブ・北広島クラブ・札幌清田クラブ・札幌大通公園クラブ等枝葉を張っていておりますが、国際ロータリー100周年と同時に我がクラブも創立40周年の節目を迎え、二重の記念すべき年度を迎えています。

記念事業と致しまして、関正明実行委員長のもと40周年記念ゴルフ大会、記念囲碁大会を実施。11月27日には記念事業として、札幌コンベンションセンターで「児童養護施設の子どもの現状認識と将来支援について」と題し、札幌市内5施設の代表と北星学園大学林浩康助教授のコーディネートで記念フォーラムを開催しました。当クラブ会員以外にも地区委員や他クラブの皆様にも参加を大勢いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。施設側からもこのようなフォーラムで一般公開の中で開催したのは初めてのことだそうです。終了後参加された方々から、子ども虐待の実態や施設の子どもの現状が日々どんな気持ちで生活しているか、初めて知った旨の感想が寄せられました。昨年はタイ国より地区主催でタイの子どもの虐待実態・人身売買のフォーラムを現地国会議員のパヴェナさんが来札されて講演をされましたが、奉仕団体である当クラブとして現状に光をあて問題提起できたことに、新たな責任を感じています。今後当クラブだけではなく、できましたら2510地区でも取り上げられることを切に希望するものです。

2005年1月22日に40周年記念式典・祝賀会を開催します。その後第4・5グループ合同の国際ロータリー100周年記念事業にも参加します。現在会員数72名にて、毎週金曜日、ルネッサンスサッポロホテルにて例会を行っております。是非お立ち寄り下さい。

札幌南RACも創立30周年を迎え、記念事業として去る12月4日には南区藻岩の知的障害者施設「この実寮」の入所者を招待し、チャリティボウリング大会を実施。4月には記念式典を計画しています。RAC会員には財団学友・来年留学を予定しております財団奨学生と、ロータリーに関わりを持ちながら活動しております。

## 第一グループ ロータリー100周年記念青少年剣道大会

新世代委員会

委員長 吉田清治(留萌)

ロータリー100周年記念を迎え青少年剣道大会を開催し、大会委員長にガバナー補佐山本三次郎、実行委員長に留萌RC会長清水陸、留萌RC新世代委員会が運営企画し、11月14日(日)午前9時より留萌中学校体育館で留萌、羽幌、小平、深川、妹背牛、の5クラブの協力で、それぞれのマチから120名の小中学生が日頃の練習成果をおおいに発揮し、7部門に分かれてトーナメント戦で順位を戦い大人顔負けの迫力で面や小手など、果敢に打ち込んでいた。午後1時半から行われた表彰式では、羽幌RC松橋守会長が各部門の優勝から3位までの子供達に表彰状とトロフィーを手渡し健闘をたたえ、又参加賞として全員にディズニーキャラクターひざ掛けをプレゼントし、2005年に100周年を迎えるにあたり青少年剣道大会を通じて地域にロータリー活動の認知度をたかめ、盛会で終了した。



## 2004～2005年度 国際奉仕事業 フィリピン、ガワド・カリंगा・プロジェクト 事業報告書

札幌西RC 石丸修太郎

プロジェクトの趣旨：

2005年2月23日はロータリークラブ誕生100周年の記念日であり、この100周年を祝おうというのが、本年度の国際ロータリーの標語となっています。国際ロータリーが企画した100周年の記念事業の一つに、国際双子クラブの登録という活動があり、当クラブとしては、1982年に姉妹協定に調印している、3830地区のマカティウエストRCとこの双子クラブの登録に合意しました。

ただし、この登録の要件として、合同事業の遂行がありますが、マカティウエストRCとの検討の結果、現在フィリピン全土で活躍しているNGOガワドカリंगाの事業への支援を行うことで合意しました。

今回、合意したのは、ガワドカリंगाが現在取り組んでいるいろいろな事業の中で、マカティ市における貧民層への住宅供給事業であります。これは単に住宅を建設するだけではなく、建設を通じて住民の社会的経済能力の向上を同時に図るものです。

プロジェクトの内容：

現在、マカティ市で進行しているプロジェクト名は「マニラの宝石」と呼ばれる地区で、総体で316戸の住宅の建設が計画されていますが、そのうち163戸はすでに着工もしくは完成しています。残りの153戸について現在、民間の寄付および援助を募っている状況です。

現在進行しているこの地域の再開発は、5つの区画に分割されており、マカティウエストRCは、その中の1区画(エメラルド地区)総住宅建設予定戸数70戸のうち、現在のところ16戸の住宅建設を申し出ています。現在までに70戸のうち33戸について既に他のスポンサーが出ており、マカティウエストRCの16戸を含めると49戸となり全体の70%が2005年夏までに完成する予定です。

この地区での一戸の住宅は、平均で約10㎡の土地に2階もしくは3階建てで、平均して一戸あたりの建築



資材の費用は15～16万円となっています。

このためマカティウエストRCが申し出ている16戸の住宅建設に必要な資金は、約250万円強が見込まれていますが、現在までにマカティウエストRCが約60万円の資金を集めています。また、対象となる住民（受益者）の選定作業もマカティウエストRCが中心となってこれから行なわれるとのことですが、このプロジェクトでは、選ばれた住民が自らの手でスポンサーとなった者の指導のもと住宅を建設するため、社会交流も行われ、住民の今後の社会活動の大きな支援の一環として考えられています。

このため、当クラブとしても住民との交流事業も将来における可能性として位置づけております。

合同事業に対する札幌西RCの関与：

当クラブとしては、今回の双子クラブとしての合同事業という性格を鑑みると、原則として、費用の半分を負担すべきであると考えられます。しかしながらクラブの会員の数などを考慮して、札幌西RCの負担を40%として、マカティウエストRCの負担は60%として今回の合同事業を提案しました。

この40%の負担額は、約100万円であり、このうち、2510地区にWCSとして申請させていただきましたところ40万円を本事業に対して配分を受け、札幌西RCとして負担すべき資金60万円については、繰越金からの40万円と、有志による拠出金として20万円としました。

2004年11月18日にマカティウエストRCの35周年記念パーティーが開催されましたが、その当日、建設現場のコミュニティーホールにおいて、当クラブからの会長幹事を含め有志6名が参加して、この合同プロジェクトの調印式を行いました。

また、帰国後時期的に為替相場の変動が見込まれたため、マカティウエストに対する送金は12月2日に行いました。

事業の検証について：

マカティウエストRCとこれまでの討議の内容から、16戸の完成時には、その地区に「マカティウエストRC&札幌西RC 合同プロジェクト」のサインが掲示される予定です。

実際のプロジェクトの管理はマカティウエストRCに委託しなければなりません。合同事業という性格上、その報告は適宜受領できる予定です。個々の住宅建設に掛かる期間は3ヶ月から5ヶ月と見込まれるため、2005年6月までの完了は問題ないと見込まれます。

以下、当日の調印式等の写真です。



調印式の様子 左から、ガワドカリンガのこの地区の責任者セルテッサ氏、RCマカティウエスト会長オカンボ氏、RC札幌西会長矢橋温朗、幹事石丸修太郎、現場責任者ロドリゴ氏



記念プレートの除幕式の様子



夜の記念パーティーで、RC札幌西国際奉仕委員長佐藤哲哉と会長矢橋温朗

ロータリー  
文庫通信  
(207号)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館 = 午前10時 ~ 午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報の資料として

「再・ロータリー随想」 菅生浩三（直前R I 理事）  
2004 246p

[ 申込先：出版文化社 TEL(03)5821-5300 ]

「心に残るロータリアンの言葉」 中井義尚  
岸和田東RC 2004 70p

[ 申込先：岸和田東RC FAX(0724)23-2530 ]

「遥かなる道 ロータリーを共に」 吳 在璦（元R I 理事）  
2004 3p (D.2520 ガバナー月信)

[ 申込先：ロータリー文庫（コピー） ]

「R I 現況報告」 上野 孝 2004 5p

(D.2830 地区大会)[ 申込先：ロータリー文庫（コピー） ]

「ロータリーの魅力と楽しさ ロータリーの未来を語ろう」  
本山新三 他 2004 18p

(D.2680 地区大会ロータリー・トーク)

[ 申込先：ロータリー文庫（コピー） ]

「職業奉仕セミナー『その基本原理について』」

深川純一 2004 11p (D.2780 ガバナー月信)

[ 申込先：ロータリー文庫（コピー） ]

「純ちゃんのコーナー（ロータリー3分間情報）Part 1」

深川 純一 伊丹RC 2004 32p

[ 申込先：伊丹RC FAX(0727)75-1223 ]

「社会奉仕セミナー『21世紀の社会奉仕活動』」

田中 毅 (D.2780 ガバナー月信) 2004 8p

[ 申込先：ロータリー文庫（コピー） ]

「職業倫理のつれづれ - 職業奉仕かわら版 - 」

D.2650 2003 8p

[ 申込先：ロータリー文庫（コピー） ]

「目に関することわざ「ロータリー情報」」

宇部西RC 2004 35p [ 申込先：ロータリー文庫 ]

芦別ロータリークラブからの

お知らせ

会長 坪坂周二会員が一身上の都合により退会致し、  
後任会長に土山久男会員が就任致しました。

プロフィール



会長 土山 久男

生年月日  
1939年2月14日生（65歳）

職業分類  
土山歯科医院 院長

ロータリー歴

1979年8月17日入会  
1981～1982年 親睦活動委員長  
1982～1983年 クラブ会報委員長  
1985～1986年 幹事  
1986～1987年 理事・プログラム委員長  
1987～1988年 理事  
1988～1989年 雑誌委員長  
1990～1991年 理事・国際奉仕委員長  
1991～1992年 理事・青少年委員長  
1992～1993年 理事・職業奉仕委員長  
1993～1994年 会長エレクト・理事  
1994～1995年 会長  
1995～1996年 ロータリー情報委員長  
1997～1998年 ロータリー財団委員長  
1999～2000年 監査  
2000～2001年 会員増強委員長  
2003～2004年 第2グループ ガバナー補佐  
2004年12月1日 会長就任



## 掲 示 板

### 例会の変更について

白老 R C

1月4日(火) 休会\*

1月11日(火) 夜間移動例会 新年家族例会 18:00~  
於: しらおい創造空間 蔵(白老町本町)

室蘭東 R C

1月5日(水) 夜間例会 新年会  
18:30~ 於: 蓬峯殿

岩見沢 R C

1月7日(金)例会 11日(火)「両クラブ合同新年交歓会」  
18:00~ 於: 平安閣 会費5,000円

\* 12月28日(火)~平成17年1月6日(木)まで年末年始  
の為事務所を休業致します。御用の方は会長・幹事  
までお願い致します。

苫小牧 R C

1月7日(金) 休会\*

1月14日(金) 夜間例会 「新年家族会」 18:00~  
於: グランドホテルニュー王子 芙蓉の間

江別西 R C

1月11日(火) 夜間例会 18:00~ 於: 遠州寿し

砂川 R C

1月12日(水)夜間例会 13日(木)砂川ロータリークラブ  
創立35周年記念祝賀パーティー

江別 R C

1月13日(木) 12:30~ 於: 勤労者研修センター

えりも R C

1月13日(木) 夜間例会 100周年記念例会  
18:00~ 於: いさみ寿し

苫小牧東 R C

1月13日(木) 夜間例会 ~新年会~  
18:00~ 於: グランドホテルニュー王子

注) \* 定款第5条第1節に基づく休会

### 重要

平成17年1月31日は半期報告(下期)の期限です。  
期日厳守にて書類作成・送付及びご送金をお願いいた  
します。

平成17年1月1日の会員数が基礎になります。毎回、  
人数や送金額の間違いが発生しておりますので、よくご  
確認の上ご報告願います。

【提出書類】 R Iへ: 半期報告書、会員リスト、  
国際ロータリー取扱分送金明細書  
地区へ: 地区資金送金明細書

## 8,000万人のアフリカの子どもたちのためにポリオキャンペーンを実施

11月下旬、アフリカ中部・西部の23か国で、8,000万人の子どもたちを対象に全国予防接種日が開催されました。特にアフリカ最大の人口を抱えるナイジェリアでは、4,000万人を対象としてワクチン投与が実施され、伝統・宗教から派生したボイコットを克服して、再び2005年末までにポリオを撲滅するという軌道に戻りました。キャンペーンには、第9110地区(ナイジェリア)から1,000人以上、さらにヨーロッパ、北米からも100人以上と、これまでにない人数のロータリアンが参加しました。

このキャンペーンに際し、世界保健機関(WHO)のデイビッド・ハイマン感染症部門長も、ポリオ撲滅に対するR Iのリーダーシップを称賛。資金、資材、そして人員を兼ね備えたロータリーの重要性は世界的に高まっています。

## ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願います。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

## 11月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			04.7.1	04.11.30	増減	内女性		
1	深川	4	40	41	1	1	90.20	
	羽幌	4	47	47	0	1	68.80	
	妹背牛	3	10	10	0	0	80.00	
	小平	4	14	14	0	0	71.42	
	留萌	3	59	59	0	0	87.77	
	小計			170	171	1	2	79.64
2	赤平	4	34	33	-1	2	88.23	
	芦別	4	54	53	-1	0	86.93	
	砂川	3	54	54	0	0	95.15	
	滝川	4	109	111	2	2	74.75	
	小計			251	251	0	4	86.27
3	美唄	3	42	41	-1	0	89.18	
	江別	4	43	42	-1	1	91.87	
	江別西	4	37	36	-1	3	90.27	
	岩見沢	4	94	96	2	0	86.94	
	岩見沢東	4	37	39	2	3	75.70	
	栗沢	3	26	26	0	1	93.59	
	栗山	4	29	30	1	2	94.58	
	当別	4	38	39	1	1	85.26	
	小計			346	349	3	11	88.42
	4	札幌	3	123	129	6	0	98.21
札幌あけぼの		4	16	17	1	1	100.00	
札幌はなます		4	24	24	0	4	72.83	
札幌北		4	49	49	0	5	95.74	
札幌モーニング		3	54	58	4	0	67.47	
札幌西		4	69	73	4	3	92.25	
札幌西北		4	48	50	2	2	89.92	
札幌手稲		4	39	42	3	1	100.00	
小計				422	442	20	16	89.55
5		札幌東	3	125	128	3	0	98.89
	札幌清田	4	26	27	1	5	100.00	
	札幌幌南	4	69	72	3	0	99.63	
	札幌真駒内	3	44	47	3	3	91.47	
	札幌南	4	91	94	3	0	94.91	
	札幌大通公園	4	19	19	0	4	80.25	
	札幌セントラル	4	19	20	1	8	88.00	
	新札幌	3	36	35	-1	1	95.44	
	小計			429	442	13	21	93.57
	6	岩内	4	33	33	0	0	77.78
倶知安		3	54	54	0	3	70.00	
小樽		4	74	77	3	0	83.10	
小樽南		4	86	84	-2	0	83.98	
小樽銭函		4	23	25	2	3	88.00	
蘭越		4	14	14	0	0	71.80	
余市		3	43	43	0	4	96.10	
小計				327	330	3	10	81.54

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,136人  
 当月末会員数(女性) 3,188(97)人  
 増加会員数 52人  
 当月平均出席率 83.10%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			04.7.1	04.11.30	増減	内女性		
7	千歳	4	65	66	1	2	78.20	
	千歳セントラル	3	30	31	1	0	84.70	
	恵庭	3	51	51	0	0	82.63	
	北広島	3	19	19	0	2	83.34	
	長沼	5	18	18	0	3	82.30	
	由仁	4	15	15	0	0	85.00	
	小計			198	200	2	7	82.70
8	えりも	4	24	23	-1	0	78.26	
	三石	5	17	17	0	1	83.50	
	様似	4	19	19	0	2	64.49	
	静内	3	67	69	2	0	85.07	
	浦河	4	40	40	0	1	91.88	
	小計			167	168	1	4	80.64
	9	伊達	4	56	58	2	0	77.12
室蘭		4	51	53	2	0	83.66	
室蘭東		4	43	43	0	0	90.00	
室蘭北		4	37	37	0	2	100.00	
登別		4	39	40	1	2	82.50	
洞爺湖		4	10	10	0	0	82.50	
小計				236	241	5	4	85.96
10	函館	4	101	100	-1	0	82.10	
	函館亀田	4	42	43	1	1	78.49	
	森	4	43	43	0	0	80.00	
	七飯	4	24	24	0	0	78.10	
	長万部	4	13	13	0	0	59.57	
	小計			223	223	0	1	75.65
	11	江差	4	16	15	-1	0	77.80
函館五稜郭		4	68	64	-4	0	90.18	
函館東		4	50	58	8	7	82.14	
函館北		3	37	38	1	0	84.26	
上磯		4	29	29	0	3	50.90	
松前		4	9	8	-1	1	62.50	
小計				209	212	3	11	74.63
12	白老	4	29	28	-1	1	72.70	
	苫小牧	4	56	59	3	0	78.81	
	苫小牧東	4	32	32	0	3	81.87	
	苫小牧北	4	41	40	-1	2	81.09	
	小計			158	159	1	6	78.62
合計			3,136	3,188	52	97	83.10	

## 新入会員のご紹介



下沢 英二  
栗山RC  
平成16年7月20日入会



北村 利雄  
栗山RC  
平成16年9月7日入会

## 訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、  
心からご冥福をお祈りいたします。

浅利 作造 会員(千歳RC)  
2004年10月2日ご逝去(享年78歳)

### 【ロータリー歴】

1968年入会(チャーターメンバー)  
1969~1970年度 幹事  
1978~1979年度 会長  
1991~1992年度 第7分区代理  
2003~2004年度 第2510地区  
地区大会実行委員会委員長



小西 迪夫 会員(岩見沢RC)  
2004年10月26日ご逝去(享年71歳)

### 【ロータリー歴】

1980年7月入会  
1985~1986年度 幹事  
1987~1988年度 親睦委員長  
1988~1989年度 社会奉仕委員長  
1989~1990年度 出席委員長  
1992~1993年度 職業分類委員長

15年間100%出席  
ポール・ハリス・フェロー



五本日出夫 会員(岩見沢RC)  
2004年11月4日ご逝去(享年81歳)

### 【ロータリー歴】

1967年7月入会  
1968~1969年度 プログラム委員長  
1969~1970年度 親睦委員長  
1970~1971年度 幹事  
1971~1972年度 職業奉仕委員長  
1975~1976年度 国際奉仕委員長  
1978~1979年度 会長  
1979~1980年度 情報委員長  
1981~1982年度 会員選考委員長  
1986~1987年度 社会奉仕委員長  
1989~1990年度 会員選考委員長  
1985年 地区大会幹事  
「小さな親切運動」独立結成

12年間100%出席  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(1)  
米山功労者(2)



中本 陽三 会員(千歳RC)  
2004年11月16日ご逝去(享年74歳)

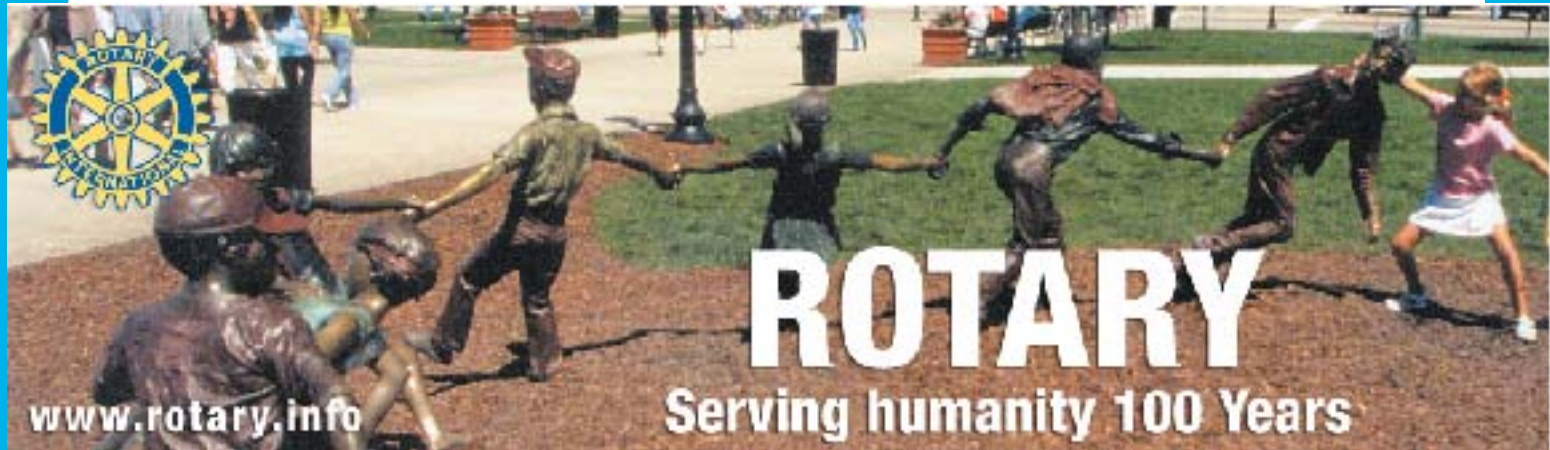
### 【ロータリー歴】

1985年入会  
1989~1990年度 雑誌委員会委員長  
1999~2000年度 環境保全委員会委員長  
2000~2001年度 //  
2001~2002年度 //



1月・2月 地区カレンダー

1 月 ロータリー理解推進月間/追悼記念週間(1/27を含む1週間)		2 月 世界理解月間/家族週間(第2週)/ロータリー創立記念日、世界理解と平和の日(2/23) 世界理解と平和週間(2/23~3/1)	
1(土)		1(火)	
2(日)		2(水)	
3(月)		3(木)	
4(火)		4(金)	
5(水)		5(土)	小樽南RC創立45周年記念式典(18:00~,小樽グランドホテル)
6(木)		6(日)	
7(金)		7(月)	
8(土)		8(火)	
9(日)		9(水)	
10(月)	成人の日	10(木)	
11(火)		11(金)	建国記念日
12(水)		12(土)	
13(木)		13(日)	
14(金)		14(月)	
15(土)		15(火)	
16(日)		16(水)	
17(月)		17(木)	
18(火)		18(金)	国際協議会(アナハイム,塚原GE出席)
19(水)		19(土)	
20(木)		20(日)	
21(金)		21(月)	
22(土)	札幌幌南RC創立40周年記念式典 17:00~,サッポロルネッサンスホテル)	22(火)	
23(日)	第2回 ガバナー補佐会議(11:00~,ホテルサンルート室蘭)	23(水)	
24(月)		24(木)	
25(火)		25(金)	▼
26(水)		26(土)	
27(木)		27(日)	
28(金)		28(月)	
29(土)			
30(日)			
31(月)			



[www.rotary.info](http://www.rotary.info)

# ROTARY

Serving humanity 100 Years



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



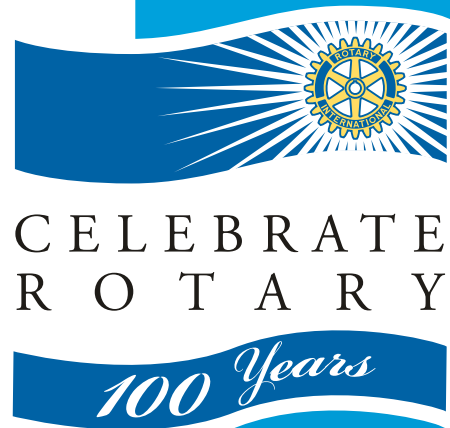
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 患愛病院2F  
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512  
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナーs LETTER .....	3
ガバナー日記 .....	4
2月は世界理解月間です .....	5
ガバナー補佐会議報告 ～グループ別各クラブの活動報告・計画～ .....	6
地区委員会活動報告 ・ロータリー市民講座開催報告 .....	17
クラブ活動紹介 ・スリランカへの中古自転車贈呈完了!! .....	17
2006-07年度 ロータリー財団国際親善奨学生募集要項 .....	18
グレン・エステスRI会長主催祝賀会議へのご案内 親睦活動委員会ニュース RI100周年記念国際大会 .....	19
ハイライトよねやま59 .....	20
米山記念奨学会へのご協力を感謝申し上げます ロータリー誕生100年記念植栽事業 .....	22
こんにちは! 第3グループです .....	23
こんにちは! 第6グループです .....	24
ロータリー文庫通信 掲示板/ガバナー事務所からのお願い .....	25
12月会員増減数・出席率報告 .....	26
2・3月地区カレンダー .....	27

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.8  
2005.2

国際ロータリー第2510地区 2004～2005年度

ガバナー補佐会議報告

本年度第2回目のガバナー補佐会議が、2005年1月23日(日)に室蘭のホテルサンルートにて開催されました。

議題は上期活動報告及び下期活動計画について、そしてガバナー要請案件(会員増強、会員数、ロータリー財団寄付及び米山寄付の現況、ポリオ・プラスについて、ロータリー財団のマッチング・グラント、その他)でした。

各ガバナー補佐からの発言要旨及び、提出原稿を6頁から16頁に掲載しています。極力多くお伝えするため、本誌2月号と3月号に分けお載せします。



参加者 /

遠藤ガバナー、塚原ガバナー・エレクト、各グループガバナー補佐(山本、鈴木、土谷、小山、丸山、関、大谷、蘇田、鈴木、加藤、吉川、藤澤)、事務局全員

# Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

## - 世界でいま -

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



暮れも押し寄せた12月26日にスマトラ沖大地震が発生しました。M9.0で阪神大震災の1,600倍のエネルギーと言われています。更に不幸なことにインド洋大津波を巻き起こし、過去に類を見ない大惨事となりました。東南アジア、インドは

言うに及ばず6,000kmも離れたアフリカ東岸にまで被害が及んでいます。10ヶ国以上、150万人が一瞬にして被害を受けています。2週間を経過した今でも、まだ被害の全容は不明であり、死者、行方不明者数もさだかではありません。運び込まれた救急支援物資も全く被災者の手に渡っていない所もあると言います。普段防災の備えのない、しかも観光地で旅行者が多かったことも、混乱に拍車をかけた原因となっています。

それにしても被災地域が余りにも広範囲であり、情報不足から救援の手を誰がどこから、何を、どのような方法で行ったらよいのか、迅速に動けなかった事情は想像にかたくありません。各国や団体、個人が救援の意思表示を次々にあげていますが、バラバラでは手の打ちようがありません。国連主導がようやく決まったので、これから組織的な支援活動が展開されることになりましたが、まず早急に必要なのは食糧と十分な水でありましょう。飢餓と感染症の二次災害の拡大を防ぐことが大切であります。

国際ロータリーも救援活動をどのように行うか迷ったようであるが、1月4日に国際ロータリーが主体となることを各クラブに呼びかけました。勿論、友好関係にあるクラブや知人が被害にあわれた会員がクラブとして、個人として支援活動をされることは吝かでは

ありません。しかし、各ロータリアン全員が、国際ロータリーの一員として一人でも多くの被災者の支援に協力することは是非必要なことだと思います。

2月は世界理解月間であり、その主旨にかなう奉仕活動と考えています。肉親を失い、家や財産や公共施設までを失った大勢の人達の支援は途方もない金額と時間を要することが考えられますが、世界の平和と人道的支援活動を1つの柱としている我々ロータリアンにとって心しなければならぬ事だと思います。

昨年は日本でも自然災害の多い年でありました。台風が10コも列島縦断をしたし、新潟・中越地方に大震災をもたらし、各地に大きな被害を与えました。被災者の皆さんには一日も早く立ち直っていただきたいと願っています。地殻変動の多い日本列島にあってはいつ、どこで大惨事が起きるかわからないと警告する学者も多いので、各自が常日頃備えをしておく事が肝心でありましょう。

話は変わりますが1905年2月23日はシカゴで初めてロータリーの例会が持たれた記念すべき日でありませぬ。かねてお願いしてあるように、各クラブで或は各グループで相応しい例会や集会を開いて欲しいと思います。今年は丁度ロータリー100周年に当たります。過去の歴史を築いてきた先人に感謝し、輝かしい将来に向かって祝う心が今求められています。昨今、日本では身近なロータリアンが退会されたり、新入会員が減少して淋しい思いもありますが、世界には120万人以上の我々の仲間がいることを忘れてはならないと思います。6月には100周年記念国際大会がロータリー発祥の地シカゴで開催されます。この節目の時にロータリアンで居られる幸せ感じながら大勢の地区会員と一緒に参加したいと願っています。そして世界の仲間達と一緒にロータリーを祝いたいと思います。

## ガバナー日記

12月1日(水) ロータリーの友委員会

木下委員長が体調を崩しておられるが「友」4月号に第2510地区の「地区のたより」の掲載が決まっており、その内容を決めることが急務のため佐藤、坂井、斉藤委員と協議、色々な考え方が示されたが、各クラブの地道な活動で、しかも話題性に富んだ活動を報告することに集約された。これも様々な、甲乙つけ難い活動報告の中から、千歳セントラルRCの「米山詣」と、室蘭東RCの「あれこれなんでも相談室」に決定する。2月10日までにロータリーの友事務所に原稿を送ることになっている。

地区内の各クラブで委員会の名称がどのようになっているか調べてみたが、「ロータリーの友」を名乗っているクラブ数は15、雑誌委員会が30、情報・会報・広報と雑誌委員会を統合しているクラブ数が25であった。

12月11日(土) ローターアクト地区協議会が函館で、地区青少年委員会によるオーストラリア受入学生送別会と第2740地区受入学生交流会が札幌で開催された。他の会合にも出席しなければならない関係上、後者に出席し、御挨拶を申し上げた。オーストラリアからはジェンマ、ヒュー、エバン君とアリサさんが1年間、新札幌、札幌手稲、由仁と札幌北RCのホストで勉強されてきたが、日本語も達者になり、教員やホストファミリーとうちとけ、大勢の友達が出来て、十分にその役割を果たしていただいたのが印象的であった。また2740地区(九州)から10名の交換学生がスキー旅行で当地を訪れ、まだ十分に整備されていないスキー場でも、初めて見る雪に感動しておられた。私は中途退席せざるを得なかったが、良い思い出と楽しい交流が出来たものと信じている。

12月18日(土) G S E 派遣団員選考会がロイトン札幌で行われた。今年度は10月にタイD・3350からソンプー

ンリーダーと4名のメンバーが当地区で研修されたが次年度は土橋信夫リーダーと4名のメンバーを4週間タイに派遣することになる。今回は書類審査で不備のなかった4名が受験。レポート、英語力試験と日本語による面接試験が行われたが、120点満点で4名共100点前後得点され、山名委員長の今年は皆優秀であるとの言に納得をした。これから1年間土橋リーダーを中心にG S E 委員のトレーニングを受けて出発することになるので、素晴らしい成果が期待できると思う。

12月21日(火) 地区事務所忘年会を行う。登別RCは40名の小さなクラブであり第9グループと云う共同体に支えられ、地区の仕事をしてきたが地区幹事、財務委員、事務員の努力に負うところが大きい。特に事務を担当した阿部智子さんは小林年度に引き続き、エレクト時代を含め1年2ヶ月間熱心に手際よく支えてくれたが、今月一ぱいで退任、後任には熊谷久美子さんが引き受けてくれており2人の歓送迎会をかねて行われた。

1月7日(金) 第3回指名委員会

10月3日までに各クラブからの推薦がなく、その後、遠藤正之指名委員長を中心に指名委員会が候補者を当たってこられたが、これまで決定をみるに至らなかったが、やっと本日、札幌真駒内RCの丸山淳士会員について審議され、出席された指名委員10名の一致した賛同を得て推薦された。それを受けて指名委員長とガバナーが丸山会員邸を訪問、指名結果をお伝えし、同意が得られた。

1月8日(土) 札幌真駒内RC会長、藤井久弥氏に指名結果を報告、クラブ総会で了解して頂くようお願いする。ガバナーとして人事の一区切りの目処がつきホッとすると共に指名委員会のご努力に感謝申し上げる。

## 2月是世界理解月間です

### 国際奉仕委員会活動報告



#### 国際奉仕委員会

委員長 橋本 信夫 (札幌西)

#### 世界社会奉仕委員会

委員長 斎藤 修弥 (室蘭)

#### 国際親睦活動委員会

委員長 雲津 忠宣 (伊達)

当委員会は地区における国際外交の窓口として外国との親善交流を企画・調整するとともにWCSプロジェクトを通じて国際理解と国際貢献に努めている。

現在当委員会では主に以下の事業を企画・推進している。

#### 1. 地区国際奉仕委員会

地区100周年記念委員会によりRI3700地区(韓国大邱市(テグ市))との姉妹提携が図られ、地区大会で調印式が挙行された。今後両地区において国際理解、文化交流、友好親善と国際平和を謳った親善交流が期待されている。これにより今年4月に開催予定のRI3700地区大会に向けた親善訪問プログラムが準備されている。

#### 2. 世界社会奉仕(WCS)委員会

発展途上国の人道的支援に向けて各クラブから様々な案件が寄せられ、それぞれの調査と実際計画が進展している。

滝川RC ノンカイRC(タイ): 中古救急車寄贈: 過去のノンカイ地区支援プログラムの経験を生かし、円滑に供与計画が進められている。

札幌西RC マカテー・ウエストRC(フィリ

ピン): スラム街再開発のための住宅建設事業支援計画が両RCで合意され、プロジェクトが本格的に開始された。

千歳RC・千歳セントラルRC プエルト・プリンセスRC(フィリピン): 前年度、人道的支援のために回収され、千歳RCで保管されていた中古自転車(約400台)の供与先が会員の調査によって絞られ、計画の具体化が図られている。

江別RC タバリRC(ネパール): ネパール・日本友情学校支援のための建設・整備資金援助について調査と企画が行われている。

#### 3. 国際親睦活動委員会

国内外のRI関連親睦ゴルフ大会(国内:JGE、国際:IGFR)への参加プログラムを準備している。

4. スマトラ沖大震災復興支援のため全クラブ・会員を対象に「書き損じはがきと未使用テレカの回収キャンペーン」を実施し、資金調達に努めている。

今年度から当委員会は国際奉仕活動を効果的に推進するために情報ネットによるPRを強化し、広く人道的プログラム支援への会員の理解と参加が得られるよう活動している。



## ガバナー補佐会議報告

～グループ別各クラブの活動報告・計画～

2005年1月23日 ホテルサンルート室蘭にて開催

### 第1グループ



ガバナー補佐  
山本 三三郎  
(羽幌)

#### 上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会の開催について

開催日 開催地 議題質疑等について

6月19日 羽幌町 12名

2004～2005年度、第1グループ  
(仮称)ワークショップの開催、日・  
時等について

ロータリー100周年を祝う例会開  
催要請について

ガバナー公式訪問例会、日・時の確  
認及び会長・幹事会の開催について  
ガバナー補佐例会訪問予定、日・時  
について

8月3日 深川市 5名

遠藤秀雄ガバナー公式訪問例会(深  
川RC・妹背牛RC合同例会)

ロータリー100周年記念、第1グ  
ループ合同青少年剣道大会の開催に  
ついて

8月6日 羽幌町 7名

遠藤秀雄ガバナー公式訪問例会(留  
萌RC・小平RC・羽幌RC合同例会)

ロータリー100周年記念、第1グ  
ループ合同青少年剣道大会の開催に  
ついて

11月14日 留萌市 11名

2005～2006年度、第1グループガ  
バナー補佐の推薦について

担当グループ特記事項

クラブ活動について

第1グループ全てのクラブに於て、  
活動計画に基づいてロータリー活動は  
活発で情熱を以て取り組んでいる。

会員数について

各クラブ共、会員数の減少傾向にあ

るが、夫々のクラブが緊迫感を持ち現  
状維持に最大の努力をしている状況で  
ある。

基本的には、過疎化による人口減少、  
長期的に景気低迷が続き、企業倒産・  
撤退等による地域経済の低下による職  
業の減少が要因である。

当、第1グループでは5クラブの協  
力により、ロータリー100周年を記念  
して11月14日留萌市に於て、第1グ  
ループ合同のガバナー主催の青少年剣  
道大会を開催した、これは第1グルー  
プ5クラブの結束と友情の証である。

#### 下期ガバナー補佐活動計画書

クラブ訪問・グループ内行事予定

クラブ訪問

平成17年2月中：グループ内5ク  
ラブを訪問予定

平成17年6月中：グループ内5ク  
ラブを訪問予定

会長・幹事会

平成17年4月中：留萌市に於て開  
催予定

(仮称)ワークショップ開催

平成17年5月22日(日)：羽幌町に  
於て開催

以上が下期クラブ訪問及びグループ  
内行事予定ですが必要に応じ随時訪問  
する。

深川RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

7月6日の本年度第1回例会に於  
て、元青年会議所・理事長経験者と北  
空知信用金庫の交替メンバーの2名  
の入会で上期の会員数は42名で、下  
期も2名の会員増強を目標達成に努力し  
ている現況です。

R財団・米山奨学会への寄付について  
財団寄付：

当初目標額4,200ドル(会員一人

100ドル)に上期終了時点5,200ドル  
達成。

米山奨学会：

当初目標額63万円(普通寄付・特  
別寄付会員一人15,000円)に上期終  
了時点81万3千円と大巾達成。尚、  
大西道祥会員はマルチプル・ボール・  
ハリス・フェロー、4回目(4,000ドル)  
で地区より表彰。

又、地区より米山功労クラブ(11  
回目)として感謝状、並びに佐々木実  
会員が第2回目の米山功労者、渋谷賢  
治会員が第1回目の米山功労者となり  
ました。

クラブの特徴・問題点等について

11月30日の例会(クラブフォーラ  
ム)に於て。

『深川RCの未来を考える』と云う  
テーマでグループ討議を開催した。

討議1：例会の持ち方について。

討議2：会員増強について。

討議3：会費について。

結論、不景気の長期化から会員数の  
減少並びに予算規模の縮小が加速傾向  
にあるが、ロータリーは組織の拡大と  
共に自己研鑽の場であることを忘れず  
に、今後も新しい人材育成に努めるべ  
きである。クラブ予算についても、大  
局的見地から検討し、効率化を計る余  
地が残されていると云う結論であった。  
奉仕プロジェクトについて

社会奉仕部門

8月5日、石狩川緑地クリーンア  
ップ作戦に参加。毎年8月に開催される、  
深川・滝川・砂川・旭川と云う『川』  
の文字を市名にもつ石狩川流域の四市  
が同時に行なう清掃作業に当クラブも  
参加した。

9月7日、青少年主張大会報告会の  
開催。十数年間にわたり当クラブと深  
川市教育委員会主催の市内、中学・高  
校生による青少年主張大会上位入賞者  
による発表例会を開催した。

9月12日、『遊びと子供の発達』をテーマとして、深川市内の小学生以下を対象とした冒険遊び場「プレーパーク」を深川市の協力のもとに、緑地公園に於て開催。200名に近い子供達が生き生きとプレーパークの楽しさを体験し好評であった。

11月14日、ロータリー100周年記念事業に参加。留萌市で開催の第1グループ、ガバナー補佐主催の青少年剣道大会へ深川剣道連盟の協力を得て23名の豆剣士を募り参加した。

#### 職業奉仕部門

10月12日、職場訪問(アニスティ深川)会員の施設となった、老人ケアハウスに移動例会として訪問。未来の老人医療・介護等の現場を視察体験することが出来た。

10月26日、グループトークの開催。ラブフォーラムに於て、職業奉仕への取組や考え方をロータリー歴の浅い会員にも理解をいただく為に夫々の会員の立場から多くの有意義な討論がなされ今後の職業奉仕活動に役立つ例会であった。

『ロータリー財団親善留学生』帰国報告会(8月31日於：プラザホテル板倉)。4年前に深川RCがR財団の留学生として審査・推薦した伊オベラ声楽家、小橋麻美氏が本場イタリア、トリノ市に於て、地元RCのホームスティの協力を得て一年間の留学生生活を終え、例会に於て帰国報告会を行ないました。当日は深川市長をお招きし、R財団委員長の挨拶に続き、本人のイタリアでの声楽の研修成果がビデオ上映により紹介され、ロータリアンとの交流を通じた留学体験談等が紹介された。又、9月には深川RCの後援の元で全国的に著名なピアニスト羽田健太郎氏とのジョイントコンサートが開催され約1,000人の観衆が本場のイタリアオベラの歌声を満喫した。17年1月8日には、札幌きたらホールに於てソロコンサートが開催される。深川RCとしては、R財団の有益性を内外に示す有意義な活動であったと思う。

#### 羽幌RC活動報告書 ガバナー補佐 訪問回数毎回 会員増強について

前年下期に転勤者1名、退職者1名合計2名の退会者があったが、被選理事会・被選会員増強委員会で新年度上期には47名のスタートを目標にロータリアンに相応しい人材発掘に奔走し、新年度第1回例会に2名の入会式を行った。下期についても、大変困難な状況ながら2名の会員増強に努力中である。

R財団・米山奨学会への寄付について  
財団寄付：2,750ドル(297,000円)  
米山奨学会普通寄付：47,000円  
米山奨学会特別寄付：100,000円  
クラブの特徴・問題点等について

特徴は、時の流れと共に、クラブ創立会員が年々退会して、クラブが若返りRCの良い意味の厳しさ・威厳が薄れてきているような感じがするが、一方では独創的で活発な意見・発言もこれからのロータリーの活性化には不可欠と思われる、又色々な愛好家を通じ親睦を深めております。

問題点は、当羽幌町は、人口約9千人少々の過疎化の町ながら、RCとライオンズクラブ夫々同数(47名)のクラブがあり、人口の割には特筆とも云える状況なのかも知れませんが、にも関わらず双方夫々に会員増強に奔走しなければなりません。合わせて景気低迷の続く中至難の状況です。会員増強は重点目標ながら会員退会者阻止現状維持に最も努力しなければならないと思われる。

#### 奉仕プロジェクトについて

##### 社会奉仕委員会

羽幌町へ交通安全旗贈呈。  
羽幌町交通安全町民大会パレードに参加。

年間4回(1回3日間)実施の日赤献血に全会員班割りて上期2回参加協力。

地域交通安全総決起大会に参加。  
羽幌町へ歳末助け合いチャリティー益金を贈呈。

##### 国際奉仕委員会

留萌RC受入の、タイ第3340地区からのGSEメンバー5名を10月21日~22日の2日間ホーム

スティとして受入、例会に於て交流会を開催し親睦を深め羽幌町を表敬訪問、海鳥センター等を案内視察した。

#### 新世代推進活動委員会

ロータリー100周年記念として、羽幌RC杯青少年野球大会を8月14日~15日の2日間管内・外より10チーム250名の選手参加で開催した。

ロータリー100周年記念として、第1グループガバナー補佐主催の第1グループ青少年剣道大会を留萌RC及び留萌剣道連盟の協力のもと、11月14日留萌市に於て、120名の選手の参加により盛會に開催された。

#### プログラム・情報委員会

プログラム委員会と情報委員会主幹で、ポール・ハリスの生い立ち、ロータリー100周年に因んで、プログラムと3分間情報で提供された。

#### 妹背牛RC活動報告書

##### ガバナー補佐 訪問回数2回

##### 会員増強について

上期に退会者1名あり、新会員の加入推進を計るが、新加入者は1名に留まり、会員増強とはならず、現状維持の会員数であるが、下期には引き続き会員増強に努めたい。

R財団・米山奨学会への寄付について  
ロータリー財団寄付金：56,000円  
R I 人頭分担金：20,720円  
米山奨学会寄付金：20,000円  
クラブの特徴・問題点等について

少数会員クラブのことから会員相互の絆が深く、事業活動等の参加には全員意欲的である。しかしながら、一方では少数会員の為に、財政的には非常に厳しい状況である。

##### 奉仕プロジェクトについて

1. 上期から下期にかけての奉仕事業予算協議

年間予算を上期で到達のことから、11月24日開催の理事会に於て下期の奉仕事業年間予算を補正し、計画予算の230%で決定する。

2. 事業実績について

ロータリーの友を全会員が購読する。

7月1日、ペベル温泉に於て新・旧役員引き継ぎ、会員観送迎会の開催。

10月16日、登別温泉に於て会員親睦歡楓会を開催。

12月8日、ペベル温泉に於て家族同伴クリスマス会を開催。

台風23号及び新潟等地震災害義援金の贈呈。

世界身体障害者芸術協会作品に協力。会員慶事に記念品の贈呈。

例会に於てロータリー情報を提供し理解を深める。

#### 小平RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

現会員数は14名であるが、年度中に退会申し出があり年度末には減員の見込みとなっている状況なので、現会員数確保の為最低1名の新会員加入に努めている。

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団寄付金：1会員当り80ドル

上期分62,720円寄付

米山奨学会寄付：1会員当り3,000円

上期分21,000円寄付

クラブの特徴・問題点等について

小平町は人口4,300人足らずの小さな町で、農業・漁業を中心とした基幹産業の中で、クラブ会員の増強には限界があり、第一線を退いた現会員の残留に努めながらクラブ維持をしている状況であり、又市町村合併や景気の低迷等により現状維持が精一杯の状況である。

奉仕プロジェクトについて

当クラブは、創立30周年を迎え、10月3日に会員相互の友情を深め、ロータリー精神の更なる研鑽と家族への感謝と理解を深める為に、30周年記念事業を実施した。

記念事業

1. 車椅子の贈呈

小平町特別養護老人ホーム愛生園に車椅子3台贈呈

2. 家族同伴パークゴルフ大会

3. 家族同伴親睦交流会

総事業費 470,000円

#### 留萌RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

会員増強委員会が中心になり新会員2名を入会に推薦し、説得中です。又、退会申告会員に退会しないように説得中であり、会員増強には大変苦労している現状です。

R財団・米山奨学会への寄付について

財団寄付：5,000ドル

米山奨学会寄付：170,000円

(特別寄付)

クラブの特徴・問題点等について

7つの愛好会を通じて親睦を深めてクラブの活性化に役立っている。退会者の申し出が多く、退会しないように説得しておりますが大変苦労致しております。退会の理由は、不景気による会費納入の困難や、その他の理由として仕事が忙しいことや、地方に出る機会が多く例会に出席する時間がなくクラブ奉仕が出来ない等である。

奉仕プロジェクトについて

上期活動計画の100%を消化して、現在に至っております。

社会奉仕委員会

海水浴クリーン作戦と、交通安全活動に参加

留萌あんどん祭りに、ロータリー大あんどんで会員全員参加。

留萌特殊学級、合同学習会への助成と協力。

国際奉仕委員会

韓国、論山RCとの交流で大建高校の男子生徒4名と付き添い2名を受入、留萌高校の協力で授業参観や、クラブ活動に参加、交流と親睦を深めた。

10月17日～23日の7日間、タイ第3340地区からGSEメンバー5名を受入、ホームステイ(羽幌RC1泊)や羽幌RC・小平RCの例会に出席、親睦と交流を深め無事終了する事が出来た。

新世代委員会

「わくわくふるさと塾」暑寒編として登山を計画いたしましたが残念ながら台風の為中止致しました。

ロータリー 100周年記念関係

ロータリー情報委員会では、ポール・ハリスの生い立ちを4ヶ月、3

分間情報として提供致しました。

100周年記念植樹を留萌開発建設部と協力して、高規格道路に100本植樹致しました。

100周年記念として、ガバナー補佐主催第1グループ青少年剣道大会を5クラブ合同で120名の選手の参加により開催した。

## 第2グループ



ガバナー補佐  
鈴木 忠 男  
(滝川)

#### 上期ガバナー補佐活動報告

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

3月13日 7名 ガバナー公式訪問、

補佐クラブ訪問、クラブ協議会など

4月17日 9名 ガバナー公式訪問、

地区親睦野球大会、4クラブ合同例会

5月9日 9名 年度事業計画の検討

9月3日 9名 地区親睦野球大会、

地区大会登録の増進など

10月17日 9名 次期ガバナー補佐推

薦承認、財団寄付強調など

担当グループ特記事項

「クラブ訪問とクラブ協議会」

7月20日(火)赤平RC

7月21日(水)砂川RC

7月15日(木)滝川RC

7月23日(金)芦別RC

「ガバナー公式訪問」

8月5日(木)滝川・砂川RC

(滝川ホテル・スエヒロ)

8月10日(火)赤平・芦別RC

(赤平交流センター未来)

「地区親睦野球大会」(ホストクラブ：滝川RC)

9月3日(金)前夜祭

9月4日(土)地区親睦野球大会・滝

川市営球場・滝の川球場

\*地区親睦野球大会については、「ガ

バナー月信10月号」に投稿させて戴

きました。

ガバナー補佐通信

各クラブ会長・幹事さんへ、Eメールにて、第1号(1月19日)より第11



号(12月17日)まで。

下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について  
平成17年2月23日 18名

次期(ガバナー補佐・会長・幹事)との懇親、下期活動計画グループ活動計画予定

2月23日「国際ロータリー創立100周年記念 第2グループ合同例会」砂川パークホテル(ホストクラブ:砂川RC)

- ・会員増強と退会防止に努める。
- ・楽しい例会に努め、出席率を高める。
- ・ポリオ・プラスに協力し、3年間で150ドル達成に努力する。
- ・R財団および米山記念奨学会への協力をお願いする。

「国際ロータリー創立100周年の国際大会」(2005年6月、米国、シカゴ)への参加をすすめる。

各クラブ活動計画予定

\*赤平RC

社会奉仕:

(3月)市内幼稚園児と共に、養護老人施設を訪問し、「楽しいひな祭りの会」を開催する。

青少年、ローターアクト:

赤平駅にクリスマス・イルミネーションを設置。

財団、米山への寄付および会員増強に積極的に取り組む。

\*芦別RC

社会奉仕:

小さな親切運動表彰(6月)

ロータリーの森の整備(6月)

R財団の年次寄付:

1人100ドルを年度内に達成する。

ポリオ・プラス寄付:

5,000×50名=25万円

(1月中に達成予定)

米山奨学会への寄付:

2,000×50名、年度内に納付する。

会員数(54 50名):

新会員勧誘に努力する。

\*砂川RC

1月13日、砂川RC創立35周年記念祝賀会(内輪にて開催)

2月23日、「国際ロータリークラブ100周年記念、第2グループ合同例会」

社会奉仕:

ごみ分別の検証・啓発運動は下期も継続実施中。

ポリオ・プラスは3年間で150ドル達成し、街頭募金した浄財も送金済。12月最終例会で2名退会。会員増強が下期最大の目標です。

\*滝川RC

第2グループ合同の「ロータリー100周年を祝う」例会および3回の夜間親睦例会を含む22回の例会を企画。移動例会やミュージシャンなどによる「楽しい」例会、「パリエティに富んだ」例会企画により、「出席率の向上」を目指したい。

赤平RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

会員数 2004年6月30日 34名

7月1日 34名

12月1日現在 34名

今後の予定 現在1名の推薦者あり

上期中に決定予定。

R財団への寄附状況について

上期中は、財団寄附への寄附金額は0円ですが下期には、目標金額クラブで3,000ドル、会員100ドルに向けて努力いたします。

米山奨学会への寄附状況について

下期に集中し各会員に対して協力要請を。

クラブの特徴・問題点について

現在、非常に運営は円滑に行われているように思っています。

縦・横のコミュニケーションがここに来て生かされ、出席率の向上も見られ、下期に期待が持てる。

奉仕プロジェクトについて

従来通り、障がいを持つ方々、老人施設入居者等に対するのプログラムを予定し、今後は、青少年の育成にも目を向けて行きたい。

芦別RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

会員数 2004年6月30日 54名

7月1日 54名

12月1日 53名

12月24日現在 51名の予定です。

(12月24日2名 退会します)

R財団への寄付状況について

1.R財団の年次プログラム基金100\$は寄付する予定です。

2.ポリオ・プラス納金済

米山奨学会への寄付状況について

R財団学友会賛助金納金済

米山梅吉記念館募金納金済

クラブの特徴、問題点について

- 1.高齢化と退会者が増えている
- 2.新会員勧誘に努力しています

奉仕プロジェクト

1.クリスマス家族親睦会の時に歳末助け合いチャリティーオークションを行い、益金を芦別市社会福祉協議会へ贈呈しています。

2.薬物乱用防止キャンペーンに参加しています。

3.国際奉仕委員会  
芦別国際交流協会主催の中学生カナダ派遣事業へ支援しています。

4.新世代活動推進委員会  
全市親子ドッチボール大会に支援しています。

5.ロータリーの森委員会  
ロータリーの森整備に会員も参加するとともに、芦別市への助成金を贈呈しています。

砂川RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

会員数 2004年6月30日 55名

7月1日 54名

12月1日 54名

計画:純増2名

今後の予定:

候補者のリストアップはできていません、今後影響を与える会員と共に粘り強く入会を求めます。

R財団への寄付状況について

広く浅く100ドルから財団寄付を募っております。今期砂川RCの目標とし3850\$です。先月の財団月間で、国際親善奨学金委員会の瀧川委員長様はじめ、お二人のロシアの奨学生のゲスト卓話をいただき、12月現在では4000\$の寄付をいただきました。また、ポール・ハリス・フェローは4人の会員が登録されました。

#### 米山奨学会への寄付状況について

広く浅く10,000円から寄付募っています。今期砂川RCの目標として、600,000円です。10月の米山月間では米山奨学会の竹原委員長様と奨学生のイ・ヨンエ様のゲスト卓話をいただきました。12月現在では400,000円の寄付をいただきました。また、米山功労者には、3名の方が登録となりました。

#### クラブの特徴・問題点等について

砂川RCでは、会長経験者が全会員の3分の1を締めておりますが、それぞれの委員会活動に対しても、積極的に参加を頂き、和気藹々と活動しております。厳しい経済環境の中、どこのクラブも同じとは思いますが、新入会員の獲得が急務であり、一番の課題と認識しております。

#### 奉仕プロジェクトについて

##### 職業奉仕委員会

10月に職場訪問例会として砂川自動車学校を訪問、とくに高齢者免許更新講習の一端に触れることができました。来春は三谷果樹園での職場訪問例会を企画

##### 社会奉仕委員会

9月 ポリオ撲滅街頭募金 砂川市買い物駐車場 25名(婦人、ボランティア含む) 募金額85,630円(財団ポリオプラス クラブ寄付)

10月 赤い羽根共同募金街頭募金、循環型リサイクル環境事業分別ごみの検証:不燃ごみ検証(全体の約10%が分別されていなかった)

ノーマライゼーション事業ふれあい体験学習「りんご狩り」市内の知的障害学習教室の児童・先生・父母とりんご狩り、各種ゲームを通じて、ふれあい体験学習をしました。

##### 国際奉仕委員会

7月 国際ふれあい委員会との共催事業「国際交流ふれあいin砂川」開催、松原会員宅に「ホームステイ」の受け入れをしていただいた。

##### 新世代委員会

砂川子どもセンター共催事業、共同体験交流農業体験2回(種植え、収穫)市内学童保育への援助、石狩川川下りへの参加(市内の小中学生との共同体験)

#### 滝川RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 5回

##### 会員増強について

会員数	2004年6月30日	105名
	7月1日	109名
	12月1日	111名

##### 今後の計画:

下半期最低1名以上の増強を目指したい。

##### 今後の予定:

新入会員向けのオリエンテーションとは別個に、情報委員長を座長とし新入会員だけの懇親会を開催することで仲間意識を早期に培って頂くと共に、クラブに対する不安・不満の解消に努めることで早期の退会を防止したい。

##### R財団への寄付状況について

12月2日現在 \$12,962 ¥1,362,936

##### 米山記念奨学会への寄付状況について

12月2日現在 ¥1,238,000

##### クラブの特徴・問題点等について

・地方の小都市にも拘わらず111名の会員数を持っており、会員の増強にも努めてはいるがこれ以上の大幅な増強は難しく、併せて経済環境の更なる悪化の状況ではやむを得ないことではあるが、2年前より出席率が70%前半と低迷し、色々と工夫してはいるがアップさせる事が出来ないのが悩みです。

・出席率向上の新たな試みとしてはプログラム委員会によりこれまで上期と下期の2回しか配布していなかったプログラム表を、次月のプログラム案内として毎月配布しています。

・9月3日・4日の両日地区親睦野球大会の前夜祭及び大会を主管し、ホストクラブとして盛会裏に無事終了させることが出来ました。(ガバナー月信 4/10月号/26P参照)

##### 奉仕プロジェクトについて

・9月12日 社会奉仕委員会担当により、「井原正巳のサッカー教室2004」と題して近隣のサッカー少年団とその指導者を集めての実技講習会を、参加者・スタッフ・参観父母計300名弱の参加を得、盛会裏に開催しました。

井原氏は元全日本の代表選手でもありNHKの現役解説者でもあることから、子供達以上に大勢の母親から

の握手やサイン攻め・スナップ写真攻勢にあい、人気の高さや母親方の行動力(あるいは厚かましさを)を証明するという一幕もありました。

・11月6日 新世代活動推進委員会担当により、「目指せ!未来の発明王」と題し 新エネルギー財団燃料電池部長 小俣富男氏を講師にお招きし、中学生を対象とした燃料電池の仕組みや必要性、及び小グループに分かれての組み立てキットの製作と実験を実施しました。

中学生にはやや難しい製作課題であったことに加え時間的に多少の不足があり、本当に理解できたかどうかは分かりませんが、高額なキットを使った製作実験は学校教育の場ではなし得ないことであり、大変意義の深い事業であったと自負しています。

・「赤ちゃんにキスを」と題し、高校生と乳幼児とのふれあい交流事業を5年前に当クラブの提唱で滝川市、滝川市保健センター・滝川西高校の協力の下実施したが、滝川市エンゼルプランとも相まって、「ふれあい体験学習」と名称を変えながらクラブ抜きで現在も継続されています。

・ロータリー100年ということもあり今年度は特に広報活動にも力点を置き、地元FM局を使って広報活動を行っています。

・クラブ内に於いては親睦を重点テーマとし、例会そのものも単純に過去をなぞるのではなく、委員長自身が興味を持てる内容の例会企画を奨励しており、会員からは例年になく変化に富んだ例会が多いと好評を得ています。

## 第3グループ



ガバナー補佐  
土谷 茂樹  
(江別西)

### ガバナー補佐活動報告書・計画書

会長・幹事会開催について  
開催日 出席人数 議題・質疑等について  
10月17日 19人 ガバナー公式訪問に



ついて

もう少し総論的なことでなく、具体的なことにアドバイスをし欲しかったという意見が多かった

2月19日～20日

今回は近くの温泉に一泊して、ロータリーについて語り合いたい

グループ活動計画予定

会長、幹事会は次回

近くの温泉に一泊して大いにロータリーを語り合いたい

クラブ運営について良いアイデアが浮かぶと思う。(19日、20日美唄にて決定)(ピバの湯)

第3グループ親睦麻雀大会

(岩見沢RC担当) 3月12日

第3グループ親睦ボーリング大会

(岩見沢東RC担当)

第3グループ親睦パークゴルフ大会

(美唄RC担当) 5月1日

ロータリー創立100年記念の集い

(各RCの自主性にまかせる) 2月23日

栗山RC、創立35周年記念式典

5月20日

## 第4グループ



ガバナー補佐  
小山 秀昭  
(札幌手稲)

### 上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

4月12日 16名 公式訪問・クラブ

アッセンブリーについて

8月26日 16名 会員増強・RI100

周年記念行事について

10月13日 29名 第4・5グループ合

同会長・会議、ロータリー100周年記

念事業について

11月25日 14名 次年度地区ガバナー

補佐選出について

担当グループ特記事項

ロータリー100周年記念事業について。2005年2月23日(水)の各クラブの取り組み。

札幌RC.....夜間移動例会18時～

(札幌グランドホテル)

札幌北・モーニング・はまなす・当別  
(4クラブ合同)夜間移動例会18時～

ロイヤルセンチュリーホテル

札幌西・西北・手稲・あけぼの

(4クラブ合同)夜間移動例会18時～

後楽園ホテル

### 下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

平成17年2月中旬 ロータリー100周

年記念事業について、上半期の報告

平成17年4月下旬 ロータリー100周

年記念事業について

平成17年6月上旬 新旧会長・幹事会

担当グループ特記事項

ロータリー100周年記念事業について

\*第4・5グループ合同事業

「ロータリー100年・子供音楽祭」

日 時 2005年5月1日(日)

場 所 「札幌コンサートホール」

「さっぽろ・子どもミュージカル」

「札幌交響楽団」

入場料 「無料」

\*各クラブ新世代委員長を中心に実行

委員会を編成

実行委員長 丸山 淳士

(第5グループ補佐)

副実行委員長 小山 秀昭

(第4グループ補佐)

札幌RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

135名の目標に対して:

7月1日現在 123名

新入会員 11名

退会会員 4名(内1名逝去)

12月28日現在 130名

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団

年次寄付・恒久寄付

12月未現在 0ドル(1月より

ロータリーレートが102円になるた

め)

ポリオ・プラス寄付

1月に会員一人当たり50ドルを

送金予定。

米山記念奨学会

普通寄付

会員一人=1,500円送金

特別寄付

軽食会差額 225,000円送金

クラブの特徴・問題点等について

72年におよぶ歴史と、会員層の厚

みが強固な運営基盤を維持している。

歴代の会長及び会員が長い歴史のなか

で工夫を凝らしながら育んできた奉仕

活動を継承し、和を第一とした例会運

営を通じて会員の親睦を深めている。

奉仕プロジェクトについて

職業奉仕委員会

伝統の「若い人と語る会」を開催。

会員企業の20代の社員と時事問題な

どを話し合い当世若者事情を把握する

とともに、職業を通じて語り合うこと

による啓蒙活動をおこなっている。

社会奉仕委員会

ロータリー創立60周年を記念して

当クラブが千歳市に『ロータリーの

森』としてトドマツ600本を植樹した。

台風18号でその6割が倒れ、その修

復を100周年記念事業の一つとして計

画・立案中。

小学生を対象とした五色百人一首札

幌大会に協賛し、150名の小学生が参加

し日本の伝統文化に親しんだ。

国際奉仕委員会

札幌市と姉妹都市であるポートラン

ド市の日本庭園関連施設の改修に対し

て、ポートランドRCと協議して「ロ

ータリー広場」をつくることを計画中。

札幌あけぼのRC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

中々計画通りには推移していない。

会員16名。増強4名目標でスタート。

当初2年ぶりで1名入会して17名と

なり幸先の良い始まりであったが、こ

の12月病気で長期欠席であった会員

が平癒しないという退会。現在16名

で振り出しに戻った。何とか増強しな

ければと決意を新たにしている。

R財団・米山奨学会への寄付について

いずれも目標一人100ドルで設定。

財団委員長のアイデアで各自の納入

袋を作成。毎月それぞれ1,000円を積

立、期の終りでは目標を達成する予定。

クラブの特徴・問題点等について

少人数であるが家族的で和気あいあ

いとした雰囲気があり、少数精悦と云

っても過言ではないと自負している。しかし仲間意識が強くて新入会員が入りづらい状態にならないよう気配りすることも肝腎。

・会員減少 現在16名。

・財政危機 財政的にレッドゾーン。

当会運営の(損益)分岐点は20名。

現状では危機的状況。しかし生きるための会員増強では困りもの。

奉仕プロジェクトについて

財政逼迫、少人数では費用の問題、奉仕委員長の負担過多となり、どうしても活動は萎縮してしまう。これらを考慮すると強かに押し進めることは出来かねる。前年度の事業を踏襲している状況。下期は100周年の会合事業が控えているので新たな奉仕活動は難しいように思われる。今年度は「出会いを大切に」ということで地元地域に目を向け小学校校長や区役所、消防署などの人たちに卓話を要請、その出会いを通じて当クラブのPRと地域社会への奉仕のあり方や必要性を探り次への奉仕活動につなげて行きたい。

・上期実施事業：施設慰問、手稲夏あかり参加、作成

・下期実施事業：植樹

札幌はまなすRC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数1回

会員増強について

2004年7月1日会員数24名でスタートしました。残念ながら、12月31日付けにて1名の会員の退会届けを受理しておりますので下期からは23名となります。新入会員を迎えるのは大変なことですので、なるべく退会会員を作らないよう皆で強力しています。会員増強委員長はじめ全会員が、候補者に声をかけたり、夜間例会などに招待したり試みています。

R財団・米山奨学会への寄付について  
R財団寄付状況...

\* R財団のポリオ撲滅寄付に全会員が年間6,000円(500\$)の寄付を個人名でクラブでまとめて送金している。(全会員が年会費の支払いと同時にやっている)

\* 年次寄付にも1人6,000円以上を個人名でクラブでまとめて送金を行っている。今期のR財団寄付の2,900

\$を目標に努力してところです。

R財団(12月27日現在)

年次寄付 平成17年1月送金予定  
1,300\$ 132,600円

ポリオ・プラス基金 平成17年1月  
送金予定 720\$ 73,440円

合計 2,020\$ 206,040円

米山奨学会寄付状況...

\* 普通寄付は、会員数×3,000円(年間)で行っている

\* 特別寄付の米山功労者の表彰が10万円からとなり、積み立てをする会員が増えてきました。

\* 12月までに坂田会長が、米山功労者3回目(30万円)を寄付しました。

米山奨学会(12月27日現在)

普通寄付 平成16年7月 36,000円

特別寄付 平成16年11月 10,000円

特別寄付 平成16年12月 285,000円

合計 331,000円

奉仕プロジェクトについて

奉仕というと毎年行っている、清掃奉仕やボランティアは今期も行って参りました。また、多々ありました災害基金や、記念碑建立基金、心の障害者のオリンピックの協力金等にも出来るだけの寄付も行って参りました。下期には、チャリティーピアノコンサートなどを例会で行い、その時の浄財を国際奉仕プロジェクト・国内寄付などにあてられるように考えている。今年は、ロータリーの100年を祝おう-という年のため、全RCで協力する、子どもミュージカルにも会員は積極的に参加する予定であります。その他に、当クラブの親クラブである札幌北RCと札幌モーニングRCと当別RCの4クラブでの合同例会を行う予定です。現在数回の会議を重ね、記念すべき100周年になるよう計画中であります。

札幌北RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

9月-新入会員 東野雅司氏入会

9月-廿日岩重春会員 退会

上期会員数 49名

\* 現在、新入会員1名審査中

R財団・米山奨学会への寄付について  
R財団

8月4日 深浦 信吾

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1  
小林 俊之

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1  
8月26日 樋口 正明

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1  
片岡 是充

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 1  
9月14日 相沢 芙束

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 2  
11月5日 高橋 麗秋 恒久基金

ベネファクター

11月25日 チャリティ 会員17名、  
クラブ総額 ¥107,250-

米山奨学会

8月4日 福田十太郎 米山功労者5

9月28日 長太 義雄 米山功労者1

" 樋口 正明 米山功労者4

10月5日 竹原 巖 米山功労者5

10月26日 若狭 吉範 米山功労者2

11月25日 チャリティ 会員16名、

クラブ総額 ¥107,250-

12月22日 大田すみ子 米山功労者1

" 大西 忠男 米山功労者1

" 木村 芳江 米山功労者1

" 谷口 良一 米山功労者2

クラブの特徴・問題点について

・「札幌北RC改善研究会」について  
当クラブは現在会員減少傾向にあり、現在49名となっている。このような状況に鑑み、札幌北RCの将来に向けてのあり方を検討し改善策を提案しようというのが本委員会の目的です。理事会の諮問機関として設置されました。

~分科会~

\* 委員会統合(委員会の統合など・委員会構成の見直し)

\* 会計(会計・会費などの見直し)

\* ローターアクト(存在意義、活動状況、支援についてなど)

\* 定款・細則関連(改善に伴う細則との関わり)

2005年より実施を目指す。

奉仕プロジェクトについて

社会奉仕委員会の活動方針

本年度は、ロータリー創設100周年記念を迎える記念すべき年度に当たり、RIのテーマである「ロータリーを祝おう」にちなんで、具体的計画の第1項として記念日の2005年2月23日に、ロータリー100周年記念4ク

ラブ合同例会実行委員会（札幌北、札幌モーニング、札幌はまなす、当別）を作り、毎月打合会をこれまで3回開き大勢をかためております。

～プログラム～

\*第1部 例会

\*第2部 記念講演

\*第3部 記念懇親会

出席者 会員、家族、元会員遺族、元会員（退会会員）、ローターアクト、交換留学生、米山奨学生など。

その他

ロータリー100周年を記念して4クラブ合同の事業企画を計画中。

各種救済募金に協力実績

\*新潟・福井災害義援金の募集

\*スペシャルオリンピックスの協賛

\*「虹と雪のパラード」の詩碑建立支援

\*麻薬・覚醒剤乱用防止の支援募金

\*台風23号新潟県中越地震義援金募集

\*歳末たすけあい運動

札幌モーニングRC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

(含ガバナー訪問)

会員増強について

今年度の会員増強目標人数は3名、期末純増3名を目標としております。上期入会者は4名（前年度選考2名）、退会防止に力を入れたいと思います。

R財団・米山奨学会への寄付について

今期はR財団・米山BOXに「会員1人、1ヶ月1,000円の募金」とを呼掛け、11月10日例会「R財団月間に因んで」でさらにご理解とご協力を呼掛けました。12月15日「年末親睦家族会」に於いてR財団オークションを催しました。上半期R財団BOXには331,665円が貯蓄されており、ほぼ半期の目標が達成されました。

クラブの特徴・問題点などについて

地域内唯一早朝例会をもつクラブです。出席率が悪い事が危惧されます。

奉仕プロジェクトについて

社会奉仕・環境保全各委員会を主に、クラブ全体で協力し今年度も「カミネッコン植樹」を行ないます。日程は5月～7月ですが、まだ確定していません。お手伝いをいただきます「森づくりサークル」との第1回目の打ち合わ

せが11月29日に終了しております。

また、札幌市へ「カミネッコン」820セットを寄贈しました。

札幌西RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

順調に入会活動を行い、上期の目標である4名増を達成した。

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団、米山奨学会共に粗餐会寄付、募金等実施していますが、ポール・ハリス・フェロー、米山功労者については未だ実績がありませんので下期に報告できるものと思います。

クラブの特徴・問題点などについて

古い会員と新しい会員が非常にうまく混ざり合い、例会のムードはとても和やかである。ゴルフ会を始め親睦活動や、各種の奉仕活動も活発で、現在、クラブの状況は非常に恵まれている。問題と呼ぶべき事象は見当たらない。

奉仕プロジェクトについて

職業奉仕：職場見学1回開催

社会奉仕：札幌育児園園児招待

(継続事業)

東札幌病院音楽会開催

(継続事業)

国際奉仕：交換派遣学生の決定

(受入れも同時に決定)

地区WCSとのフィリピン、マカティウエストRC

との合同事業

(100周年記念)

札幌西北RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

新入会員2名

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団 目標額5,400ドル

12月現在3,200ドル寄付

米山奨学会 目標額50万円

12月現在40万円寄付

クラブの特徴・問題点等について

会員増強がなかなか難しく会員増強のフォーラムを行うなどで各会員に増強協力をお願いしている。

奉仕プロジェクトについて

9月25日(土)「三角山の四阿でロータリーを祝おう」プロジェクト

新世代委員会・社会奉仕委員会・親睦活動委員会の協同事業

参加者：

札幌西北RC会員と家族、札幌山の手高校インターアクトクラブ会員と教師、札幌西北RC元会員で四阿に関係した人々

目的：

登山口から頂上までの清掃、四阿の点検・清掃、登山者記録帳設置、登山者記録帳収納引出し設置、懇親会

10月27日(水)「ロータリー創立100周年記念植栽事業」

社会奉仕委員会の事業

参加者：

札幌西北RC会員と手稲鉄北小学校

生徒・教師

植栽地区：手稲鉄北小学校敷地内

目的：

ロータリー創立100周年にあたり、当クラブの記念事業として地域社会に貢献してゆく活動の一環として小学校の敷地内に樹木の苗木を学校の子供達とロータリー会員が共同で植栽事業を行った。手稲鉄北小学校は今年開校40周年にあたり、その記念行事の一翼を担った。

10月28日(木)桑園自動車学校職場訪問移動例会

職業奉仕委員会の事業

森田信義社長の卓話ならびに自動車学校内の施設の見学

札幌手稲RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

今期7名の目標を掲げており、現在のところ2名。後期に向けて残り5名の増強を達成すべく努力しているところである。

R財団・米山奨学会への寄付について R財団については

個人寄付 3,100ドル

ポリオ・プラス 2,000ドル

米山奨学会への寄付は クラブ寄付

2,000円×42名=78,000円

個人特別寄付は 80,000円

クラブの特徴・問題点などについて

会員が最多時の約半数という状況だが、出席率は100%に近い状況が続いている。総会、クリスマス例会、イン



フォーマルミーティング等の会にもこれまででない出席率を示している。

その意味では会員同士の親睦がより強まり、またクラブへの結集の度合いも強まっていると思われる。こうした会員の力を総合し、何としても実現したい。

奉仕プロジェクトについて

今年で23年目を迎える西区・手稲区中学生スポーツ大会を準備している。本大会は我がクラブと西北・あけぼので共催しており、両区合わせて19校が参加する。

中学スポーツ大会の冬期一大イベントとして地域に定着している。

当クラブ創立35周年記念として環境保全事業と新世代向けのフォーラムを企画している。

国際奉仕委員会の関係では会員数が半減する中でも、交換留学生2名の受け入れを実施している。

## 第5グループ



ガバナー補佐  
丸山 淳士  
(札幌真駒内)

### 上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会開催について  
開催日 出席人数 議題・質疑等について  
9月27日 14名 各クラブの100周年記念行事・活動計画

第4グループとの合同記念行事

次期ガバナー補佐選出について

その他、GSEタイからの訪問団についてRI規定審議会項目のうち、e-クラブ、及び人頭分担金に対する質疑があった。

10月13日 29名 第4グループとの合同会長・幹事会

合同100周年記念行事について

5月1日、札幌コンサートホール「キタラ」にて、子供音楽祭を開催する。

11月5日 14名 今年度各クラブ活動計画について100周年記念行事の確認  
100周年記念行事についての第4、第5グループ合同実行委員会を組織した。

これに伴い、実行委員会を3回開催

した。現在進行中。

### 下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会開催について

平成17年1月26日 16名

活動計画進行状況の把握

グループ活動計画予定

第5グループとしての活動計画はない。

第4グループと合同での100周年記念行事は具体的に進行中である。

各クラブ活動計画予定

\*札幌南RC

今年度のテーマでもある家族との絆を考慮し、2月23日に100周年記念行事に因み例会を家族会として開催する。

\*札幌東RC

5月、キタラ小ホールにてチャリティコンサートを開催する。

\*札幌南RC

今年度40周年に当たるので、100周年記念行事と併せ、1月22日に祝賀会を開催する。11月に養護施設5団体に援助を考えフォーラムを開催した。

\*新札幌RC

昨年度20周年で、今年度は21年目の人間で言えば成人に達した時期であり、会員増強、財政の安定を求めて計画を立てたい。100周年記念行事としては、例会のプログラム上で考えていく。

\*札幌清田RC

ふれあい委員会でチャリティコンペを開催し、収益で児童施設の支援を考えている。2月23日には合同例会などを検討している。

\*札幌大通公園RC

例会を100周年記念したものにした。

\*札幌セントラルRC

100周年に当たり、新しいクラブなので、これを機にロータリーについての理解を求め、会員増強に力を入れたい。

\*札幌真駒内RC

2月23日が丁度クラブの例会日に当たっているため、この日に記念行事を催す予定である。

## 第6グループ



ガバナー補佐  
関 幸吉  
(倶知安)

### 上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

4月17日 15名 新年度の基本方針と活動計画について

ガバナー公式訪問の実施について(室蘭市)

5月28日 22名 ガバナー公式訪問についての打合わせ

各クラブの今後の活動計画について  
クラブ協議会の訪問について(倶知安町)

8月2日 7名 小樽地区クラブとの懇談会(小樽市)

9月24日 17名 次年度ガバナー補佐選出について

GSE、交換留学生の補助金について  
ロータリー創立記念日の行事について(倶知安町)

担当グループ特記事項

今年度第6グループは、会員増強を重点目標と致しました。

会員増強および拡大月間(8月)には、各クラブにアンケート調査を実施し、会員増強を強力に要請致しました。下期も更に会員増強の活動を続けて参ります。

本年度は第6グループ内にて、タイ王国第3350地区より、GSEメンバー5名を受け入れました。倶知安RCがホストクラブとなり、お世話を致しました。岩内RCさまにもお世話に成りました。

### 下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について  
平成17年3月

平成17年6月

グループ活動計画予定

1月23日(日) 第2回ガバナー補佐会議(室蘭市)

2月5日(土) 小樽南RC創立45

## 周年記念式典の開催

2月23日(水) 小樽地区3クラブ  
合同ロータリー100周年記念事業、  
100周年記念3クラブ合同例会の開催  
(小樽市)

2月23日(水) 後志地区4クラブ  
合同ロータリー100周年記念事業、  
100周年記念4クラブ合同例会の開催  
(岩内町)

6月4日(土) 倶知安RC創立40  
周年記念式典の開催

第6グループ会長・幹事会の開催  
(3月、6月)  
グループ内各クラブ訪問  
(3月、5月)

## 各クラブ活動計画予定

## \*小樽RC

小樽3クラブ合同、ロータリー創立  
100周年記念事業と、記念合同例  
会の実施について主管として推進

## \*小樽南RC

クラブ創立45周年記念講演会の  
実施と、記念式典の開催  
ブックスタート事業の布袋1,000枚  
の寄贈、小樽3クラブ合同創立100  
周年記念事業の協賛

## \*小樽銭函RC

小樽西部地区少年野球大会の開催  
と支援、小樽3クラブ合同ロータ  
リー創立100周年記念行事への協賛

## \*余市RC

後志4クラブ合同ロータリー創立  
100周年記念事業、合同例会への協賛

## \*岩内RC

会員増強拡大プログラムの実施  
後志4クラブ合同ロータリー創立  
100周年記念講演会と記念例会の開催  
主管

## \*倶知安RC

町のイベントである雪トピア、  
じゃが祭り等への積極的な参加と協  
力、特別養護老人ホームへの慰問、  
庭園の整備、建物の清掃奉仕活動、  
町営どんぐり広場公園の、清掃整備  
の奉仕活動、交通安全運動他、各種  
啓蒙運動への参加協力、後志4ク  
ラブ合同ロータリー創立100周年記  
念事業、記念例会への参加協力、ク  
ラブ創立40周年記念事業の推進と、  
記念式典の開催

## \*蘭越RC

後志4クラブ合同ロータリー創立  
100周年記念事業、記念例会への参  
加協力

## 岩内RC活動報告書

ガバナー補佐、訪問回数3回

## 会員増強について

今年度の当クラブ委員長が積極的に  
取り組んでいる問題でもあります。先  
頃、会員増強拡大委員会を設け、10  
人のスタッフから成り、アンケートを  
全会員に配布し、奮闘しております。  
会議は3回開催され、3~5名の新会  
員も目指して居ります。

R財団・米山奨学会への寄付について  
上期において前ガバナー補佐の梅庭  
会員が協力していただきました。

## クラブの特徴・問題点等について

今年度は、会員増強をはじめとして  
全会員一丸と成り、新入会員に力を入  
れ、底辺の普及に努め近來になく、意  
識の高揚が見られます。自分達の出来  
る事からと云う事で、会報の手作りにも  
今取り組んでおります。又、日本ロータ  
リー事務局より、ロータリーのPR紙  
を送付していただき広く皆さんに知っ  
てもらおう努力にも力を入れています。

## 倶知安RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数例会開催日回  
会員増強について

会員を下期に3名程入会させるべ  
く、目下入会をすすめてるところです。  
入会させることも大事ですが、会員の  
退会も経済不況下にあって防止に努め  
なければならないと思っています。

R財団・米山奨学会への寄付について  
R財団への寄付については、目標  
を上期と下期で達成するように致しま  
す。米山奨学会への寄付については、  
上期は会員一人2,000円を納金しまし  
た。下期で会員個人より寄付を募りた  
いと思います。

## クラブの特徴・問題点等について

会員は50名以上いるのですが、3  
年後からの会長、幹事候補者に今から  
心配な点があります。例会は和気藹々  
の楽しい時間なのですが、会員同志の  
席が固定してしまい、同じ席の人が、  
同年齢になりがちです。もっと世代を

越えた交流があればと思います。主要  
委員会以外は不活発になっています。  
会長の指導力にも限界があり、どのよ  
うにすれば、年配者も活発な行動をし  
て頂けるか苦慮しています。下期に  
40周年を予定していますが、実行委  
員会が何々進んでいません。

奉仕プロジェクトについて

## 社会奉仕委員会

・交通安全運動街頭啓発運営に協力し  
ました。

・赤い羽募金の街頭募金に協力しました。

## 国際奉仕委員会

・タイよりのGSEチーム5人を受  
け入れ、多様なプログラムを組み  
チームが、有意義な研修になり、会  
員との交流も出来ました。

・JAZZフェスティバルへの参加協力

・アースフェスタ行事への参加協力を  
しました。

## 新世代委員会

・新世代の事業にお手伝い下さった生  
徒を招待して(年忘れ家族会に)感  
謝の意を表しました。

## その他

・近年ニセコにオーストラリア人が来  
て事業を展開していますが将来につ  
いて考える講演会への協賛と参加。

## 小樽RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回  
会員増強について

前期末に多くの年輩者(会長経験者  
含む)が退会した為、74名(正会員)  
と厳しいスタートになりました。現在  
交代会員の入会などがあり、77名で  
す。しかし、12月に1名退会が決定  
し、明年1月は76名になります。増  
強にはなかなか厳しい年になっており  
ます。

R財団・米山奨学会への寄付について  
R財団

現在4人の方の協力と2期にわたり  
マルチブルの1名で合計490,000円を  
実施した処です。今後軽食デー等で目  
標を達成したいと思っております。

## 米山奨学会

普通寄付金として会員1名当たり  
年間3,000円の予算を組んでいると  
ころ、軽食デーの例会を1回設け、財源  
を確保した。特別寄付金については、



現在のところ10万円を募った。

クラブの特徴・問題点等について

当クラブは昨年創立70年と古いクラブです。その為、それなりの伝統が引き継がれておりますが、若い会員が多くなってきて、薄れていく傾向にあります。その兼ね合いが難しい所です。奉仕プロジェクトについて

職業奉仕委員会

10月第1例会にメディカルグループによる血圧測定を例会前に行った。10月第4例会には職場例会を行った。事業および専門職務の道德水準を高めること、および小樽RCの伝統に沿って活動して行きたい。

社会奉仕委員会

8月24日の例会で㈱文化総研稲村嘉三氏に「まちの再生」と題して講演をしていただいた。

地区子ども委員会については、7名の講義協力者が2510地区に登録が整い次第、教育委員会と小中学校への広報活動を行う。

国際奉仕委員会

8月17日の例会で、ポロヴィタ札幌フレンドシップスクール松村操氏をゲストスピーカーとしてお迎えした際、パングラディッシュポロヴィタ村の子供達に文房具を贈呈募金を行い、委員会事業費と合わせて寄付した。

10月26日の例会ではタイ3350地区GSEメンバー5名の表敬訪問を受けた。

11月30日の例会で小樽市役所 貞原正夫氏に「小樽市の国際交流の現状」と題して講演をいただいた。

小樽3クラブ合同ロータリー100周年記念事業委員会は小樽RC、クラブ奉仕委員長(副会長)西條文雪会員を委員長として進行中である。

小樽南RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

上期は入会が1名で、退会会員4名となりました。下期については、4名の入会を予定しています。計画では通年2人増を目標にしています。

R財団・米山奨学会への寄付について  
・米山奨学への普通寄付は、これまで会員1名当たり2,000円/年でした

が、今年は3,000円/年に増額しました。

・上期のR財団ではクラブとして1,000ドルを寄付しました。下期に向け個人寄付をつりポール・ハリス・フェロー3名を年度内目標としています。

クラブの特徴・問題点等について

上期は早朝例会4回、夜間例会4回と会員相互の親睦活動が大いに盛んで、例会は和気あいあいと楽しい雰囲気が進められている。このエネルギーを下期の創立45周年記念事業(奉仕プロジェクトに記載)や市内高校優秀卒業生の表彰など地域社会支援活動へとつなげてゆくことを計画しています。奉仕プロジェクトについて  
プロジェクトの内容、実施時期、場所および主旨

当クラブ創立45周年を記念してブックスタート事業の啓蒙をはかる為、市民対象の講演会を開催します。

日時 平成17年2月5日(土)

場所 量徳寺会館ホール

演題 子どもの本の必要性 - なぜ

今ブックスタートなのか -

講師 松居 直氏

会費 入場無料

・ブックスタート事業として絵本や哺乳ビン、雑貨等を入れて持ち歩く布袋を今年も1,000枚寄贈します。

地域社会への役割

毎年約1,000人の親子が読書の喜びを知り、親子のふれあいや会話が増え、子供の心の成長に寄与。家族や社会にやすらぎと平和をもたらします。又、保育等に関わる人達のレベルアップがはかれます。

小樽銭函RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

現在12月20日未まで新会員2名  
新宮商工の工場長のひきつぎがわるく新工場長の未加入で1月1日で、1名の新会員で25名で人数的には±0であります。新宮の工場長の会員になってもらうべき1月から活動

R財団・米山奨学会への寄付について  
昨年と同様で変わらず

クラブの特徴・問題点等について

現在の所、たいした問題はありませぬ。奉仕プロジェクトについて

ロータリー100周年記念プロジェクトは、現在2月23日に向けて進行中。青少年委員会の少年野球は次第終了。ホテルに関しては2005年10月まで河川工事の為、来年度プロジェクトをたてるつもりです。

蘭越RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

なかなか難しい。声はかけていますが、頑張ります。

R財団・米山奨学会への寄付について  
例年と同じく寄付しました。

クラブの特徴・問題点等について

・少人数の為出来る活動を行っている。  
・会長・幹事を何回もする為、あきてきています。

余市RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

今年度2名入会しましたが、退会者が2名ありました。下期で1名の入会者の発掘をしております。

R財団・米山奨学会への寄付について  
今年度は1月より委員会活動が始まりますので、まだ進んでいません。

奉仕プロジェクトについて

・上期では、新世代委員会活動として短期交換留学生の受入、派遣事業を致しました。また、地区事業のライラに高校生6名、先生1名とシニア部門に1名参加を致しました。

・社会奉仕では、学童水泳大会を主催致しました。また、身障者の「はまなす学園」の園生を例会に招待して会員との交流事業を致しました。下期では、高齢者福祉事業を展開したいと思っております。

## 地区委員会 活動報告

### ロータリー市民講座開催報告



職業奉仕委員会  
委員長 富岡 公治(札幌西北)

地区職業奉仕委員会主催の第4回ロータリー市民講座を次の要領にて開催致しました。

1. 日時 平成16年11月30日(火)  
午後1時30分～3時30分
2. 場所 札幌市中央区南1条西22丁目1番1号  
北方圏学術情報センター  
(電話618-7711)
3. 講師 弁護士 芝垣 美男(室蘭東RC会長)
4. 演題 「面白く役立つ市民に身近な法律知識」  
離婚、親子関係、相続等の法律問題
5. 講師の紹介

北海道新聞の法律相談の回答者であり、面白くかつ判りやすく、テレビ各団体等の各種講演会において講演する講師として著名な芝垣美男弁護士が約2時間熱心に講話をされ、聴衆のロータリアン及び市民の人達は絶妙な芝垣美男講師の話に熱心に耳を傾けており、大変有意義なロータリー市民講座となりました。



## クラブ活動 紹介

### スリランカへの 中古自転車贈呈完了!!

千歳RC会長 服部 隆志  
千歳セントラルRC会長 汲田 信夫

佐藤ガバナー年度、スリランカに中古自転車を贈ろうと地区内72クラブの支援を受けて2003年11月、12月に贈った自転車は、スリランカ側の関税等の都合によりのびのびとなっていたが、今般、漸く政府との話し合いがつき地域の小中学生に配分の運びとなり完了しました。

地区内クラブの皆様には深甚なる謝意を表します。スリランカ キャンディRC皆様方の贈呈式の写真を添えてご報告とします。



第2510地区（北海道南西部）ロータリー財団国際親善奨学金委員会

2006-07年度 ロータリー財団国際親善奨学生募集要項

[種類]

奨学金の種類と募集人数は以下の通り（状況により、各奨学金の人数枠を変更することがある）。

各奨学金の支給額上限は次の通り。

1. 3ヵ月文化研修奨学金（3ヵ月の語学・文化研修費用の援助）  
\$ 12,000 若干名
2. 6ヵ月文化研修奨学金（6ヵ月の語学・文化研修費用の援助）  
\$ 19,000 若干名
3. 1学年度奨学金（1学年度間の留学費用の援助）  
\$ 26,000 若干名
4. マルチイヤー奨学金（学位取得を目的とした留学費用の援助 - 2年間）  
\$ 26,000 若干名

[応募資格]

1. 本奨学金の趣旨（申請書類参照）に賛同する人
2. 日本国籍（特別永住者を含む）を持ち、2006年7月に20歳以上であること
3. 応募時に、第2510地区（北海道南西部）内に、本籍が現住所、あるいは勤務先、通学先があること
4. ロータリークラブ会員（退会後3年以内を含む）、その家族（2親等以内）、クラブ被雇用者でないこと
5. 文化研修奨学金の場合、2006年7月までに大学2年の課程（短大を含む）を修了しているか、または高卒後2年以上の職業経験を持っていること。また研修予定言語について、大学初年次程度の勉学を修了していること
6. 応募時に日本国内に居住していること
7. 1学年およびマルチイヤー奨学金応募者で、英語圏希望者はTOEFL・PBT換算で550点以上（600点以上が望ましい）を取得していること。他の言語の場合は、それぞれの検定試験の上位級（TOEFLで550点以上に該当する級）に合格していること。具体的には「応募のしおり」をご覧ください。

[応募期間]

2005年2月14日 - 4月15日（各ロータリークラブへの申請書提出期間）

[申請の手続]

2005年1月24日 - 3月31日の期間内に、下記ガバナー事務所に、自分の宛名を書き、270円切手を貼ったA4版の封筒を同封して、申請書ならびに「応募のしおり」を請求すること。

・申請書請求先：国際ロータリー第2510地区ガバナー事務所  
〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1  
医療法人社団友愛会 恵愛病院内  
TEL：(0143) 82-2510  
FAX：(0143) 82-2512  
Email：keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

・申請書の提出先は地区内のいずれかのロータリークラブになります。申請はどれか一つの奨学金についてのみ応募可能です。なお、提出された申請書類は合否にかかわらず返却しません。

・「応募のしおり」にあるロータリークラブ一覧表の中から最寄りのクラブを探して申請してください。最寄りのクラブがわからない場合は、ガバナー事務所に相談してください。

・提出先のクラブで、応募者の面接をおこないます。面接で推薦が決まった場合は、クラブから申請者を地区の選考委員会（当地区国際親善奨学金委員会主催）に推薦し、申請書を転送します。

[選考：書類審査および面接審査]

・地区選考委員会で書類審査を行い、合格者（合否結果は5月中旬に通知）にのみ面接審査を行います。

・面接審査日は2005年6月4日（土）です。場所（札幌市内）と時間は、書類審査合格者に通知します。

[最終合格者発表とその後の手続]

・面接審査結果は6月中旬に通知します。その後、合格者は奨学生候補者として米国ロータリー財団に推薦され、米国ロータリー財団本部による審査の後、正式に奨学生として決定されます。（2006年1月頃）

[留学時期]

2006年7月 - 2007年6月のロータリー年度内に出発します。

[奨学金受給の条件]

本奨学金の受給は、ロータリークラブが派遣する国際親善使節としての責務を全うすることを条件としており、オリエンテーションをはじめとして、留学前、留学中、留学後のロータリー活動への参加が求められます。

[問い合わせ先]

ガバナー事務所（申請書請求先）に、できるだけメールでお願いします。

## グレン・エステスR I 会長主催祝賀会議へのご案内

実行委員長 R I 理事 田 中 作 次  
副実行委員長 R I 理事 南 園 義 一

すでにご案内申し上げております今回の祝賀会議は、ロータリーの100周年を記念して、2004 - 05年度に世界8か国で開催されるR I 会長主催会議の一つです。グレン・エステスR I 会長と共に100周年を祝い、ロータリーの夢を語り合い、その夢の具現化に向けて討論し、ロータリーの2世紀の進むべき道を見いだしていただくことを目的としています。参加資格はすべてのロータリアンと配偶者の皆様で、新会員を含む多くのロータリアンのご参加を歓迎いたします。

1月8日現在、全国の各地区から頂いたご登録数は4月29日夜に開催されるR I 会長ご夫妻歓迎晩餐会が554名様でした。翌30日の祝賀会議は1,500名の予定に対し921名(1地区の約束数含む)でした。つきましては誠に恐縮ではございますが4月30日のR I 会長主催祝賀会議に是非共、あと580名の追加ご登録を賜りR I 会長ご夫妻を皆様とともに温かくお迎えしたいと存じます。

祝賀会議実行委員会では、グレン・エステスR I 会長の基調講演のほか、職業倫理、ロータリーのイメージアップ、ロータリー情報の徹底、会員退会防止と増強、魅力あるクラブづくりの5つのテーマによる分科討論会を予定しております。またそれぞれの5つのテーマに対するご意見を各地区5名のシニア・リーダーにお願いし寄稿文を当日、分科会別に配布させていただきます。

### 本 会 議

と き 2005年4月30日(土) 10:00~17:00  
と こ ろ 新高輪プリンス・ホテル  
登 録 料 10,000円(昼食、休憩時のコーヒー代含む)  
アトラクション 午後のひと時をマリンバ・ポニーズで(14:30~15:05)

3歳から12歳までの子どもたちが各種楽器で交互に演奏する、その明るく、はじけるような楽しい音楽は、日本はもとより、世界中で愛されています。ニューヨークのカーネギーホール、ウイーン楽友協会大ホールなど世界の名ホールでコンサートを開催し、成功を収めています。国内では「NHK金曜オンステージ」、「題名のない音楽会」、「たけしの誰でもピカソ」、などにも出演しています。「八木節」、「星条旗よ永遠なれ」、「ラ・クンパルシータ」など広いレパートリーが特徴です。

また2月14日の建国記念日式典にはNHK大ホールで、4月29日には九段会館での昭和天皇聖徳式典で記念演奏をします。

### R I 会長ご夫妻歓迎晩餐会

と き 2005年4月29日(金) 18:00~20:30  
と こ ろ 新高輪プリンス・ホテル  
会 費 18,000円(お一人様)参加者 ロータリアンおよびご家族の皆様

最終締切日を2005年2月25日とさせていただきます。お申し込みは従来通りクラブを通じて貴地区ガバナー事務所にてお願い申し上げます。ご不明な点はガバナー事務所まで宜しくお問い合わせいたします。

## 親睦活動委員会ニュース

### J G F R 国内大会

第16回 J G F R 沖縄大会  
日 時：平成17年3月14日(月)  
コース：琉球ゴルフ倶楽部  
第3回 J G F R お花見東京大会  
日 時：平成17年4月4日(月)  
コース：小金井カントリー倶楽部  
第15回 J G F R 北海道大会(予定)  
日 時：平成17年6月27日(月)  
コース：ブルックス  
カントリークラブ

### I G F R 世界大会

42th大会(ゴールドコースト)  
日 時：6月13日~17日  
43th大会(トルコ) 2006年  
44th大会(マニラ) 2007年  
45th大会(ジャマイカ) 2008年

親睦委員会委員長  
雲津 忠宣  
携帯 090 - 2696 - 1407

## R I 100年記念国際大会

オン・ツー・シカゴ委員会

### シカゴ国際大会参加状況

2510地区として用意しましたスケジュールで参加された方は現在42名となりました。

これから申込みされる方はJTB三越前支店(担当宮崎氏、柴田氏宛)にお問い合わせ下さい。詳細は月信No.5、6(2004年11月、12月号)に掲載されていますのでご覧下さい。



(財)ロータリー米山記念奨学会 2005年1月14日発行

# ハイライトよねやま 59

## 1. 寄付金速報～2005年もよろしくお願ひいたします

12月までの寄付金は、前年同期と比べ4.7%減、約4千百万円の減少でした。普通寄付金が2.6%減、特別寄付金が5.4%減です。明らかに、いまだ厳しい状況が続いています。12月27日付で「2004年度下期普通寄付金のお願い」を各ロータリークラブ宛にお送りいたしました。普通寄付金は当会活動の安定的な財源となっています。奨学事業を運営していく上での重要な寄付となりますので、お早めにご納入いただきますよう本年もよろしくお願ひ申し上げます。

## 2. スマトラ沖地震およびインド洋津波被災国出身の米山奨学生は今 ...

12月26日に発生したスマトラ沖地震と津波の被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

津波の主な被災国(インドネシア、スリランカ、インド、タイ、マレーシア)出身の現役米山奨学生は82人に上ります。これらの奨学生に家族の安否を確認したところ、「祖母が行方不明になっている」「おじが怪我をした」「故郷の友人・知人が多数死亡、行方不明」という報告がありましたが、幸いにも、ほかに家族に被害があったという人は今のところ出ていません。中には、「来月の奨学金から少しでも義援金を出したい」「同国人の留学生会で、募金活動や被災孤児の支援活動を推進している」などの報告もありました。

学友については、地区や世話クラブのご協力も仰ぎたいと思います。各地区・クラブで学友の被災者に関する情報が入りましたら、米山奨学会事務局にもお知らせいただければ幸いです。

## 3. 第3回米山奨学事業フォーラム開催報告～地区の声を2006年度制度改編に!

12月11日(土)東京・新高輪プリンスホテルにて、第3回米山奨学事業フォーラムが開催されました。全国34地区からガバナー・エレクトをはじめとする各地区3人の代表者にお集まりいただき、地区の声をもとに、今後の米山奨学事業の方向性や制度について、熱心な議論が展開されました。後半の全体討議では、次々に発言を求め手が挙がり、「時間が足りない」とのコメントが聞かれるほどでした。報告書は、2月上旬に参加者、各地区の米山役員・委員および希望者の皆さまにお送りいたします。また、ダイジェスト版を「ロータリーの友」2月号・3月号のよねやまだより誌上で報告いたしますので、ぜひご一読ください。



フォーラムでの活発な質疑応答

## 4. 2005学年度新規採用奨学生の面接試験始まる!

米山奨学金応募者1,221人に対する面接試験が、1月15日から、全国34地区で実施されます。昨年の地区へのアンケート結果によると、1人あたりの面接時間は平均「10～14分」と、ここ数年延びる傾向にあります。選考基準として特に重視されるのは、「日本語が話せ、コミュニケーションをはかる意欲が高いこと」「異なる文化に対する認識を深め、理解しようとする姿勢があること」ですが、「学業成績が優秀な学生」を選んだ7地区は、すべてこれを最優先としています。面接で積極的に意志疎通をはかり、異文化理解をアピールできること、そして学業優秀であることが選考の2大ポイントといえるでしょう。最終合否は、「採点順位」「国籍割合」を重視しつつ、各地区とも合議によって決定しています。

今年も厳しい選考を経て、481人の新規米山奨学生が誕生する予定です。



## 5. 台湾学友会総会出席報告～台湾学友会から新潟県中越地震に義援金

社団法人の認可を得て8年目となる中華民國扶輪米山会（台湾学友会）の総会が、12月19日に台北市のシェラトンホテル台北で開かれました。台湾4都市に設立された本部・支部の米山学友とその家族150人が集まり、旧交を温め合いました。来賓の1人で、事実上の駐台大使である日本交流協会台北事務所・内田勝久所長の特別講演「日中台の政局舞台裏」では、ユーモアあふれるエピソードの中に、日本と台湾との絆の深さを改めて知らされました。

こうした学友の集まりで良く耳にする言葉があります。それは「日本のロータリアンと出会い、米山梅吉翁の精神を学んだ」と「ご恩返しをしなくてはならない」です。

総会の席上、新潟県中越地震への見舞い金30万円の贈呈がありました。これは中越地震の被害をテレビで見た学友の呼びかけで始められた募金です。地震の惨状と復興に汗を流すボランティアの姿を見て、“今こそご恩返しをしなくては”と扶輪米山会の陳 思乾理事長に電話で訴えたそうです。陳理事長は幹事を集めて相談をし、募金の実施を決めました。

同時に陳理事長は、被災地に留学した学友に対し、お世話になったロータリアンに電話して無事を確認するよう呼びかけました。ある学友は、「カウンセラーに何度も電話をかけてやっと夜中に通じ、ご家族の安否を尋ねたら、“元気ややっているか、子どもさんは元気か”と優しい声をかけられて逆に励まされた」と目を潤ませて話してくれました。困難な状況にあっても温かい気配りをしてくれるロータリアンに、“米山梅吉翁の精神”を見いだしたのではないのでしょうか。

(事務局長・宮崎幸雄)



陳理事長（右）に義援金の感謝状贈呈

## 6. カウンセラー研修会実施状況【中間報告】

カウンセラー研修会の推進が始まったのは2002年度。全地区開催を呼びかけた昨年は、24地区で実施され、約800人のカウンセラーが参加するまでに広がりました。3年目を迎えた今年度は、上半期中に14地区で実施されました。その中間報告をここに紹介いたします。

7割の地区で、カウンセラー同士の連帯と情報交換を目的に、グループディスカッションが行われています。「懇談会に参加して気づくことが多かった」「奨学生から逆に教えられた」「大人である奨学生との関係づくりへのヒントを得られた」「カウンセラーだけでなくクラブ全員で奨学生に声をかけることの大切さを知った」などの感想が寄せられ、普段カウンセラーとして感じていることを共有し、不安を解消できる効果が見られます。

また、地域の大学で教授となって活躍する学友を招くケースもあります。山形大学留学生センター助教授として留学生ケアを含めた活動をしているユウ ミンホアンさん（世話クラブ：第2760地区・津島RC）や、岡山大学で法学部教授として活躍する張 紅さん（世話クラブ：第2710地区・広島RC）です。元奨学生としての体験談を含め、カウンセラーとの関係づくりに奨学生がいかに戸惑いをもっているか、などの実感を伴った話は共感を呼ぶようです。主催する地区では、巣立った奨学生を講師として迎え入れることの喜びもあるようです。

年度末までの6カ月、各地区での工夫を凝らした研修会がこれからも繰り広げられます。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。  
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯 野津・大庭  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階  
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281  
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

七飯 R C	宮村 拓郎	会員	12月 6 日
小樽南 R C	廣瀬 保男	会員	12月 7 日
苫小牧北 R C	田辺 信夫	会員	12月15日
札幌南 R C	平野 秋廣	会員	12月20日
札幌南 R C	松家 治道	会員	12月20日
札幌南 R C	鈴木 宏行	会員	12月20日
札幌南 R C	横田 昭	会員	12月20日
岩見沢 R C	竹内 友康	会員	12月22日
札幌東 R C	佐藤 芳郎	会員	12月22日
札幌東 R C	大 公一郎	会員	12月22日
札幌北 R C	木村 芳江	会員	12月22日
札幌北 R C	太田すみ子	会員	12月22日
札幌北 R C	大西 忠男	会員	12月22日
登別 R C	時田 捷司	会員	12月29日
小樽 R C	金久保兵士郎	会員	12月30日
小樽 R C	菰田 尚正	会員	12月30日

米山功労クラブ

美唄 R C	12月30日
伊達 R C	12月 7 日
岩見沢 R C	12月22日
札幌北 R C	12月22日

札幌南 R C	12月20日
滝川 R C	12月21日

米山功労者 (マルチプル)

札幌はまなす R C	坂田 文正	会員	12月 1 日	(3)
伊達 R C	守谷 保夫	会員	12月 7 日	(3)
羽幌 R C	成澤 卓爾	会員	12月14日	(3)
滝川 R C	近藤良四郎	会員	12月21日	(5)
滝川 R C	松橋 和博	会員	12月21日	(2)
滝川 R C	篠島 弘	会員	12月21日	(4)
滝川 R C	鈴木 忠弘	会員	12月21日	(4)
美唄 R C	大竹 繁夫	会員	12月30日	(3)
岩見沢 R C	北市 宗三	会員	12月22日	(3)
岩見沢 R C	小林 弘明	会員	12月22日	(4)
岩見沢 R C	倉増 秀昭	会員	12月22日	(4)
岩見沢 R C	西村 芳徳	会員	12月22日	(2)
岩見沢 R C	山本 公彦	会員	12月22日	(3)
札幌東 R C	菊地 弘嗣	会員	12月22日	(2)
札幌東 R C	名塩良一郎	会員	12月22日	(7)
札幌東 R C	南部 晴生	会員	12月22日	(4)
札幌南 R C	川井 一男	会員	12月20日	(2)
札幌北 R C	谷口 良一	会員	12月22日	(2)
苫小牧北 R C	中山 佳孝	会員	12月29日	(2)
苫小牧北 R C	谷岡 裕司	会員	12月15日	(3)

ロータリー誕生100年記念植栽事業

札幌西北 R C 社会奉仕委員 藤 居 貢

本年度は国際ロータリーが100年を迎え、当クラブの記念事業として、地域社会に貢献してゆく活動計画の一環で、2004年10月27日(水曜日)手稲鉄北小学校に、学校の子供達とロータリー会員が共同で樹木の苗木の植栽事業を行いました。

この記念事業は、ロータリークラブの活動をよりよく理解していただくと共に、樹木の大切さと、苗木の生長を身近で見守っていける機会にできたらと考えて行ないました。

手稲鉄北小学校は、今年開校40周年にあたります。その記念事業の一翼を担うことになり、樹木の選定は学校と P T A をつなぐ広報誌の名称になっている、栴檀(センダン)の苗木10本を中心に、北海道の代表的樹木のアカエゾマツ5株、野球のバットの材料でおなじみのアオダモ5株を、悪天候の中ではありましたが、スコップで1本ずつ丁寧に植えることができ、学校や児童から大変喜んでもらうことが出来ました。



# こんにちは！ 第3グループです



第3グループ ガバナー補佐 土谷茂樹  
(江別西)

第3グループは道央圏の中央である美唄、栗沢、栗山、岩見沢、岩見沢東、江別、当別、江別西の8クラブから成っています。

岩見沢RCは会員数94名と最も多く、さすが柿本、望月(両人とも故人)の2人のガバナーを輩出しただけあって第3グループ内ではなにかにつけ一番重きを示しています。

栗沢RCは、28年前、私が分区代理の折に故青木一男ガバナーと最初に訪問したクラブでその土くさいあたたかさが忘れられなかったです。会員数26名では、クラブ運営も大変と思いますが、昨年は創立40周年記念式をきちんと行い、立派な記念誌も発行されました。

栗山RCは、会員数29名、会場のためか栗沢RCより明るい雰囲気がします。会長が若い女性ということもあるでしょう。長く会員であった方が死亡や退会をしてさびしいが、このクラブは捲土重来の力を見せてくれるものを持っておられます。更に次年度以降に期待するところ大です。

岩見沢東RCは、ベテランが多いクラブです。10月2日に体育の日記念として、岩見沢東ロータリークラブ杯争奪少年サッカー大会(写真1)を実施しました。大勢の会員も出席されましたが、少年の心にロータリーの文学がしみついていくでしょう。今年で7年目になると申します。



平成16年10月2日 体育の日記念第19回少年サッカー大会  
「第7回岩見沢東ロータリークラブ杯争奪少年サッカー大会」(写真1)

当別RCは、北海道では珍しい城下町のロータリークラブです。島会長さん以下38名のまとまりも良く、ロータリー100周年を地元の人々と楽しもうと計画をなさっております。

美唄RCもベテランの多いクラブです。それだけに今一度ロータリー活動に新機軸を出して欲しいと思います。

江別RCは、加藤会長が常日頃申されておりますが、「家族ぐるみのロータリー」これは大変大切なことですが、果たしてどうなったことでしょうか。もう少し見守りたいと思います。

江別西RCは、会員数37名、なかなか会員が増加せず困っておりました。むしろ退会防止に力を入れております。そんなことで奉仕活動もなかなか思うようになりません。もう少し頭をやわらかくすることが必要でしょう。毎年2月にスノーフェスティバルで市民と交流(写真2)、フィンランドからきた留学生エーバ嬢とバナーの交換(写真3)やはり若い人は良いですね。



スノーフェスティバル会場で(写真2)



交換学生エーバさんとバナーの交換(増山会長エレクトと)  
江別RCとの合同例会(写真3)

こんにちは！  
第6グループです



第6グループ ガバナー補佐 関 幸吉  
(倶知安)

我が第6グループは北海道有数の観光エリアである後志地域の小樽、小樽南、小樽銭函、余市、岩内、倶知安、蘭越の7クラブで構成されています。

道内2番目、全国10番目の歴史香る小樽RCでは、例会のゲスト(松村操さん)が縁で、貧村ポロヴィタ村への学校建設、運営資金などの支援活動を3年前より行っております。今年はチャリティーパーティの益金と会員募金を寄付し彼女の地道な活動を支援しています。



歴史と観光、古さと新しさが交差する街、小樽南RCは今年45周年を迎えます。創立以来

続く市内高校優秀卒業生の表彰や未来を担う子供たちの為に一昨年から始まったTブックスタートの事業など地域に密着した奉仕活動を積極的に行っています。

鯨御殿を望む小樽銭函RCは、銭函RC杯少年野球大会を開催して21回になります。小樽市



の東地区の10チームが参加し、2日間行いました。過去2名の甲子園出場者がおります。また、父兄から優勝旗を寄贈してもらい、年々盛大になりスポーツを通じ地域に貢献しております。

林檎の香り漂う余市RCは、豊富な魚介類が水揚げされる海の幸、林檎や葡萄などに代表される山の幸、ウイスキーを育てる温暖な気候に恵まれた余市の地で、創立以来44年、会員43名内女性4名と共に明るく楽

しいクラブ作りを目指し、青少年の交換留学生によって未来を担う青少年育成プログラムに力を入れ、奉仕活動に邁進しております。

北緯43度にある岩内RCは、近隣町村に、ロータリーを積極的にPRし、会員増強(特に女性会員)クラブ事務のOA化、IT化の推進などに力を入れております。今年はGSEにも協力いたしました。

豪雪の町、そして今年創立40周年を迎える倶知安RCは、年間70万人のスキー客が訪れ「スキーの町」を宣言している倶知安町ですが近年オーストラリアを中心とした外国人客にも注目の地となり、北海道遺産「スキーとニセコ連峰」として選定され、当クラブは今後何らかの形で、ロータリーとして関わりをもっていきたいと考えております。



温泉の香る蘭越RCは、会員数14名と少ないクラブですが、会員同士仲良く力を合わせて奉仕活動を行っています。今年は1人でも多く入会してもらう事を目標に頑張りたいと思います。

今年度、6グループではGSE受け入れ(倶知安RC)小樽3クラブは100周年記念事業「あなたの元気支援します」で、2月23日に受賞団体へ支援金を贈るなどアクティブな活動をしています。





## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### IMの記念講演・シンポジウムから

- |  |   |
|--|---|
| 「超我の奉仕 - ネパール支援の現状と展望」 島田輝男<br>2002 24p (D.2540秋田北区IM記念講演)                     | 「ポリオ撲滅運動に参加して：西太平洋地域ではポリオ撲滅できたのか」 高橋権也 2004 3p<br>(D.2650第3組IM特別講演)           |
| 「ネパール支援の現状と展望 - みんなで生きる為に」<br>小林 茂 (コーディネーター) 2002 15p<br>(D.2540秋田北区IMシンポジウム) | 「生命の話をしましょう」 清水 哲 2004 2p<br>(D.2650第3組IM特別講演)                                |
| 「経営と家族」 安田昭夫 2004 11p<br>(D.2830南分区IM基調講演)                                     | 「ロータリーに何ができるか」 宮崎茂和 (リーダー)<br>2003 9p (D.2650第5組IMパネルディスカッション)                |
| 「私とロータリー」 小堀憲助 2004 13p<br>(D.2670高知1,2分区IM記念講演)                               | 「これからのロータリーは如何にあるべきか」 伊与暁洋<br>(コーディネーター) 2003 10p<br>(D.2650第5組IMパネルディスカッション) |
| 「ロータリー 100年に向かって」 千 玄室 2004 5p<br>(D.2650第3組IM基調講演)                            | [上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]   |

## 掲示板

### 例会の変更について

#### 室蘭東RC

- 2月16日(水) 振替休会(2月19日)  
2月19日(土) あれこれなんでも無料相談室  
於：室蘭市民会館  
2月23日(水) 100周年記念 第9グループ統一合同  
夜間例会 於：蓬峯殿 18:30～

#### 江別RC

- 2月24日(木) 23日(水)ロータリー 100周年記念例会  
18:00～ 於：江別市民会館1階小ホール  
江別・江別西合同例会

### 新潟・福井災害義援金報告の訂正

ガバナー月信11月号に掲載致しました内容に訂正がございますのでご報告申し上げます。

ご協力戴いたクラブ (記載もれ分)

芦別RC、札幌はまなすRC、札幌西RC、美唄RC  
上記4クラブ名の掲載もれがございましたことを、謹んでお詫び申し上げます。

## ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内  
にお願い致します。(FAXもしくはE-mail)

### 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例  
会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場  
合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、  
入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった  
場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の  
上、至急ご報告願います。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂く  
ため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、ま  
とめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活  
動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真  
1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切  
日は毎月10日を予定しています。



## 12月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	04.12.31	増減内	内女性	
1	深 川	3	40	40	0	1	84.21
	羽 幌	3	47	47	0	1	78.78
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	80.00
	小 平	4	14	14	0	0	78.57
	留 萌	4	59	54	- 5	0	90.80
小 計			170	165	- 5	2	82.47
2	赤 平	3	34	33	- 1	2	86.53
	芦 別	4	54	53	- 1	0	89.06
	砂 川	4	54	52	- 2	0	96.67
	滝 川	3	109	111	2	2	80.60
小 計			251	249	- 2	4	88.22
3	美 唄	4	42	42	0	0	88.51
	江 別	3	43	40	- 3	1	90.83
	江 別 西	3	37	35	- 2	3	87.03
	岩 見 沢	4	94	96	2	0	88.71
	岩 見 沢 東	3	37	39	2	3	87.40
	栗 沢	4	26	26	0	1	89.42
	栗 山	3	29	30	1	2	91.72
	当 別	3	38	39	1	1	87.18
	小 計			346	347	1	11
4	札 幌	4	123	129	6	0	97.35
	札幌あけぼの	4	16	16	0	1	100.00
	札幌はなます	3	24	24	0	4	82.61
	札 幌 北	3	49	49	0	5	90.78
	札幌モーニング	4	54	56	2	0	65.47
	札 幌 西	4	69	73	4	3	92.58
	札 幌 西 北	3	48	50	2	2	92.60
	札 幌 手 稲	4	39	42	3	1	99.41
小 計			422	439	17	16	90.10
5	札 幌 東	4	125	127	2	0	98.54
	札 幌 清 田	3	26	27	1	5	100.00
	札 幌 幌 南	4	69	70	1	0	100.00
	札幌真駒内	4	44	45	1	2	95.06
	札 幌 南	3	91	94	3	0	96.99
	札幌大通公園	3	19	20	1	4	73.33
	札幌セントラル	3	19	20	1	8	85.00
	新 札 幌	4	36	34	- 2	2	89.17
小 計			429	437	8	21	92.26
6	岩 内	3	33	33	0	0	85.00
	倶 知 安	5	54	54	0	3	78.00
	小 樽	3	74	76	2	0	83.57
	小 樽 南	4	86	84	- 2	0	83.66
	小 樽 銭 函	3	23	25	2	2	88.00
	蘭 越	4	14	13	- 1	0	78.50
	余 市	4	43	43	0	4	94.50
小 計			327	328	1	9	84.46

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,136人  
 当月末会員数(女性) 3,146(93)人  
 増加会員数 10人  
 当月平均出席率 83.92%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	04.12.31	増減内	内女性	
7	千 歳	4	65	62	- 3	2	79.50
	千歳セントラル	3	30	28	- 2	0	82.80
	恵 庭	4	51	51	0	0	78.07
	北 広 島	3	19	19	0	2	90.74
	長 沼	3	18	18	0	3	85.26
	由 仁	3	15	15	0	0	88.89
小 計			198	193	- 5	7	84.21
8	え り も	3	24	23	- 1	0	76.81
	三 石	4	17	17	0	1	82.35
	様 似	3	19	19	0	2	59.65
	静 内	4	67	69	2	0	79.10
	浦 河	3	40	40	0	1	92.50
	小 計			167	168	1	4
9	伊 達	3	56	58	2	0	78.03
	室 蘭	3	51	53	2	0	93.59
	室 蘭 東	4	43	43	0	0	91.25
	室 蘭 北	4	37	37	0	2	100.00
	登 別	3	39	40	1	2	82.50
	洞 爺 湖	4	10	10	0	0	72.50
小 計			236	241	5	4	86.31
10	函 館	4	101	100	- 1	0	79.85
	函 館 亀 田	4	42	43	1	1	75.00
	森	3	43	43	0	0	79.00
	七 飯	3	24	23	- 1	0	79.70
	長 万 部	4	13	13	0	0	71.10
	小 計			223	222	- 1	1
11	江 差	4	16	14	- 2	0	75.50
	函館五稜郭	4	68	64	- 4	0	90.45
	函 館 東	4	50	47	- 3	5	68.18
	函 館 北	4	37	37	0	0	82.02
	上 磯	3	29	29	0	3	63.20
	松 前	4	9	9	0	1	66.67
小 計			209	200	- 9	9	74.34
12	白 老	2	29	26	- 3	0	75.80
	苫 小 牧	4	56	59	3	0	78.65
	苫 小 牧 東	3	32	32	0	3	83.33
	苫 小 牧 北	4	41	40	- 1	2	85.53
小 計			158	157	- 1	5	80.83
合 計			3,136	3,146	10	93	83.92

2月・3月 地区カレンダー

2 月		3 月	
世界理解月間/家族週間(第2週)/ロータリー創立記念日、世界理解と平和の日(2/23) 世界理解と平和週間(2/23~3/1)		世界ローターアクト週間(3/13を含む1週間)	
1(火)		1(火)	
2(水)		2(水)	
3(木)		3(木)	
4(金)		4(金)	
5(土)	小樽南RC創立45周年記念式典(18:00~,小樽グランドホテル)	5(土)	
6(日)		6(日)	地区研修セミナー(ロイヤルホテル)
7(月)		7(月)	
8(火)		8(火)	
9(水)		9(水)	
10(木)		10(木)	
11(金)	建国記念日	11(金)	
12(土)		12(土)	函館五稜郭35周年記念式典(函館ロイヤル)
13(日)		13(日)	
14(月)		14(月)	
15(火)		15(火)	
16(水)		16(水)	
17(木)		17(木)	
18(金)	国際協議会(アナハイム,塚原GE出席)	18(金)	
19(土)	国際親善奨学生第3回オリエンテーション(14:00~)	19(土)	
20(日)		20(日)	春分の日
21(月)		21(月)	
22(火)		22(火)	
23(水)	ロータリー創立記念日	23(水)	
24(木)		24(木)	恵庭RC35周年記念式典(恵庭市民会館)
25(金)	↓	25(金)	
26(土)		26(土)	財団米山セミナー(ロイヤルホテル)
27(日)		27(日)	会長エレクト研修セミナー(ロイヤルホテル)
28(月)		28(月)	
		29(火)	
		30(水)	
		31(木)	

# ROTARY

International Service  
100 Years



[www.rotary.info](http://www.rotary.info)



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2510地区  
2004-2005年度

# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F  
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512  
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナーs LETTER .....	3
ガバナー日記 .....	4
ガバナーノミニー決定宣言 .....	7
3月は世界ローターアクト週間です .....	8
ガバナー補佐会議報告 ～グループ別各クラブの活動報告・計画～ .....	9
地区委員会活動報告 ・ローターアクト海外研修報告書 .....	19
新しい手続要覧と推奨クラブ細則 .....	21
「スマトラ沖大地震支援」書き損じハガキ未使用テレカ 回収事業第1回集計報告 .....	22
ロータリー文庫通信 2005シカゴ大会プロモーション委員会からのお知らせ ..	23
ハイライトよねやま60 .....	24
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます ガバナー事務所からのお願い .....	26
1月会員増減数・出席率報告 .....	27
掲示板／新入会員のご紹介 .....	28
3・4月地区カレンダー .....	29

## 新たな100年の始まり

第9グループ(室蘭、伊達、室蘭東、室蘭北、登別、洞爺湖の6クラブ)合同で、会員と家族を中心とした同伴夜間例会が首題をテーマに、2005年2月23日(水) 室蘭中嶋神社蓬岨殿で開催された。

ガバナー夫妻を始め、ご招待の交換留学生、室蘭大谷インターアクト、登別大谷インターアクト、室蘭北クラブローターアクト、米山奨学生、財団学友会の皆さんと、会員家族のお子さんなど250名以上参加されました。

遠藤ガバナーは、ロータリー100年の歴史と現在の状況を詳しくお話され、奉仕の原点を改めて認識する場でありました。後半は、各クラブごと多種多彩な出し物のイベントを催して、まさしく「ロータリーを祝おう」の趣旨に相應しい一時を、皆さんといっしょに共有しました。



登別RC・いい湯だな!



ガバナーのお話



米山奨学生の皆さん



家族と  
お子さんへの余興



遠藤ガバナー、鈴木ガバナー補佐、伊奈代表幹事と各会長の鏡割り

各グループ、各RCでの「ロータリー誕生100年を祝おう」に因んだ思い出に残る行事や、活動の記事をお寄せ下さい。4月号より本文に掲載します。



# Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

## - 奉仕と感謝 -

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



この原稿を書いている昨今、予想するしかありませんが、記念すべき2月23日には地区内のすべてのクラブが何らかのアクションを起こし、盛大なロータリーを祝って頂けたと思います。ロータリー100周年の節

目の年にロータリアンでいられる機会を幸せに思うと共にロータリーの将来を考えると身の引き締まる思いがいたします。

2月23日は丁度国際大会の最中であり、既に次年度カール・ウイヘルム・ステンハマーRI会長エレクトからテーマが発表されていることと思います。3月からは今年度の事業遂行と平行して次年度の研修行事が行われ、地区にとっても、クラブにとっても緊張の走る時期でもあります。しかし考えてみるとこの一連の行事は100年近く毎年くり返されているのでありますが、常に新鮮に思えるのは不思議なことであり、ロータリーの魅力でしょうか。

グレン・E・エステスRI会長は、当たり前のこととして、長く取りあげられなかった職業奉仕を強調しておられます。今、世の中で段々希薄になりつつあるが、感謝の気持ちではないでしょうか。ロータリアンにとっても親睦にせよ、奉仕にせよ、その行為によって自分も満足する、そして幸せになれる気持ちが大切だと思います。ロータリーの2つの標語や4つのテーマが絵空事になっては大変です。100周年にあたり、

次ぎのステップに向かって今一度全員がこころして頂く課題だと思います

同じ奉仕活動でも汗をかく活動は目に見えて判り易いのですが、財団への寄附となると相手が見ず知らずの場合が多く、躊躇しがちですが、間違いなく我々が想像を絶するような困窮にあえいでいる人達が対象です。地球上のどこかで手を合わせている人達を想像すれば、素直に協力する気になるかもしれません。寄附も大小ではなくすべてのロータリアンの心がこもったものこそ、その価値があるのだと思います。目に見える奉仕活動といえば、公式訪問で各クラブが地域社会に対して、特に青少年を対象に活発な活動をしておられることを知り大変意を強くいたしました。各クラブの日頃の奉仕活動に感謝いたします。ロータリーは単年制でありながら継続した活動が各々の地域社会の中に刻み込まれていることにロータリークラブの存在価値を再認識致しました。

今年度も残り4ヶ月となりましたが、やり残しの無いよう頑張ってお参りたいものです。

津波の義援金(ロータリーあつかい方)の1月28日付け集計が日本事務局財団室から届きました。1ヶ月弱で43,728,500円とDDF50,000ドルでD・2510地区は2,582,300円でした。ご協力有り難うございました。復興支援はこれからが本番ですから今後とも御協力をお願い致します。

## ガバナー日記

1月14日(金)第9回地区幹事会

1月23日開催のガバナー補佐会議の最終打ち合わせ。

4月29日・30日開催のR I会長御夫妻歓迎晩餐会と本会議への登録お願いを2月号の月信に再掲載する。

4月15日・16日開催の韓国3700地区年次大会の参加については別紙で各クラブをお願いをする。

新旧ガバナー補佐及び各委員会の引継会議の日程案、2005年6月12日(日)札幌グランドホテルで行うことで了解。

6月19日～22日シカゴで開催の100周年記念国際大会参加については3月号月信で再度よびかける。

ロータリー平和センターは関東6地区がホストエリア地区として支えてきたが資金面で困難となり今年度から各会員1人15円の負担となる。当地区として47,040円なので地区資金から出す。

1月22日(土)補助金委員会、15:00～16:30 札幌ルネッサンスホテル

2003～04年度後期8プロジェクトが完了した。04～05年度分6プロジェクトが実施されている。

小口マッチング・グラント(2,000ドル以下)のプロジェクトとしてトルコ・タクシンRCから識字率向上の為に語学講座を9コース開設し135～180人が学習する計画がある。D.2510からの参加クラブを希望している。両クラブ1,000ドルずつとR財団から1,000ドルの合計3,000ドルのプロジェクトである。ガバナー補佐会議で御説明、手をあげてくれるクラブに協力をしていただく予定。

札幌南RC40周年記念式典が17:00からルネッサンスホテルで開催された。札幌市副市長の田中賢龍様の祝辞もあり、札幌在住のバスター・ガバナーの大勢の御出席や第5グループは勿論のこと、第4グループからも、小山ガバナー補佐をはじめ各クラブ会長や幹事

の方々の御出席があり大変盛大であった。祝賀会にはシンガーソングライター吉田佳代さんの歌でなごみ、お楽しみ抽選会ではガバナーの私まで当たり“八百長臭い”の声もあったが、ご愛嬌とおゆるし戴きたい。本日に先立ち記念ゴルフ大会、囲碁大会も行われたが、昨年11月に記念フォーラム“恵まれない子供達(特に児童虐待)への理解と支援”がコンベンションセンターで盛大に開かれ市民の関心を呼んだことはロータリー100周年にとっても意義ある事業であったと思う。

1月23日(日)第2回ガバナー補佐会議が11:00～15:00 ホテルサンルート室蘭で開催。

12名のガバナー補佐の皆さんから04～05年度上期活動報告と下期活動計画について詳細に御意見を頂いた。内容は2月号、3月号の月信に掲載される。

ガバナー要請案件はロータリー財団年次寄附で上期1人40.99ドルであり、6月末に100ドル達成に努力して欲しいこと ポリオ・プラス寄附は上期1人11.71ドル、2年半集計で1人60.74ドルであり、既に150ドル達成しているクラブが5クラブあるのに対し、全く寄付金が届いていないクラブが14。1人50ドル未満のクラブは16ある。一歩でも二歩でも目標額に近づけて欲しい。

米山奨学資金についても1人あたり6,020円で34地区中、24番目であること。トルコ・タクシンRCとのマッチング・グラントに協力してくれるクラブの要請をお願いした。4月30日東京で行われるR I会長主催会議及び6月18日～22日開催100周年記念国際大会への参加について各クラブに働きかけて頂くようお願いをした。

No. 20

Date 05. 3. 1

1月25日(火)ガバナー諮問委員会及びガバナー・エレクト壮行会

ガバナー・ノミニー決定について

指名委員会で推挙頂いた丸山淳士会員(札幌真駒内RC)は数日中にクラブ総会で了解頂き、地区内クラブに決定宣言をする予定であることを報告。

1月23日にガバナー補佐会議を行い、全クラブの活動報告及び活動計画を示していただいたことを報告。韓国3700地区・地区大会が4月15日・16日テグ(大邱)で開催予定、参加者を募っている。

シカゴ国際大会参加状況として、地区スケジュールによる参加者42名

RI会長主催祝賀会議参加のお願い

その後、塚原房樹ガバナー・エレクト御夫妻が国際協議会参加の壮行会が行なわれた。伊藤義郎氏、佐藤秀雄氏は欠席されたが、参加されたパスト・ガバナーから各々激励の言葉が述べられた。

1月28日(金)～1月29日(土)第2590地区・地区大会が横浜みなとみらい・パシフィコ横浜で開催され、夫婦で参加した。10月の当地区大会に藤林ガバナー御夫妻で出席頂いたので返礼の目的もあったが時期と場所が丁度良かったのか同期のガバナーが大勢見えられていた。RI会



長代理は重田政信RI理事エレクト御夫妻が努められた。特別講演は当地区と全く同じく松島トモ子氏であった。

大会運営は都会らしくスマートにまとめられておられ、2日目午前中は横浜中華街の散策後、おいしい中華料理をご馳走になった。

1月30日(日)オーストラリア受入交換学生歓迎会がNTTセミナーセンターで行われた。午前中から青少年交換委員会により委員会、受入学生オリエンテーション、派遣学生オリエンテーション、受入関係者懇談会等が開催されていた。オーストラリア留学生は1月から1年間モリーさん(札幌はまなすRC)、ブリーさん(札幌手稲RC)、リアンさん(札幌西RC)、レベッカさん(札幌南RC)が来道され、学業と国際親善に専念されることになる。ホストファミリーも気遣いが大変だと思われるが、お互いにエンジョイして頂きたい。現在受入れているステーシィさん、セニアさん、イアンさん、エバさんは日本語も上手になり友達もできたようで、明るい雰囲気であった。8月に帰国予定である。



05～06年度長期派遣候補学生8人も出席しておられた。歓迎会は地区委員、受入関係者、ローテックス4名の参加もあり、全員の紹介からパフォーマンス、北海盆踊り、最後は「手に手つないで」で締めくくる大変楽しい会であった。これからの若い世代の人達の活躍が楽しみである。



2月5日(土)小樽南RC創立45周年記念式典祝賀会が小樽グランドホテルで行われた。参加者は全員ロータリアンで第6グループ関ガバナー補佐をはじめ各クラブ会長、幹事さん、姉妹クラブ酒田RC、横浜中RCの会員も出席しておられた。記念事業はブックスタート事業への参加協力であり、記念講演会では、「子どもの本の必要性 なぜ今ブックスタートなのか」が開催された。幼児期から図書に親しみ、心ゆたかな育成を願った思いがこめられている。祝賀会は琴アンサンブルのなつかしい音色の流れる中大変なごやかな雰囲気です時を忘れた。

2月8日(火)第10回地区幹事会

ガバナー・エレクト事務所費とガバナー事務所費の上半期の収支が示された。これまでも節約を重ねてきたが、下期についても気の抜けない状態が続きそうである。これが

らは次期研修会が次々に開かれ、今年度事業と平行して行われることになる。そろそろ地区要覧の発刊に向けて、準備に入る必要がある。財務委員会も年度末の地区大会収支報告に向けて、チェック体制に入る必要がある事が話し合われた。

2月13日(日)第25回札幌国際スキーマラソン

札幌ドームに集合、9時から距離の長い方からスタート。ロータリー組は9時30分に5kmコースに挑戦、留学生、帰国学生が大勢参加したが、オーストラリアからの留学生の中には初めてスキーを履く人もいて、少し不安をおぼえたが、野澤さんや前新世代委員長の奥貫さんも元気にスタートして行かれたので安心して堀田さんや宮崎さんと一緒にお見送り。小雪の舞うあまり良いコンディションではなかったが、無事完走するとジンギスカン・パーティーが待っているの自国の国旗を背負ったり、リラックスモードで賑やかにスタートして行かれた。札幌ドームとスタート地点が遠いには閉口した。



## ガバナー・ノミネー決定宣言

2005年1月28日

国際ロータリー第2510地区  
各ロータリークラブ会長 様

国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 遠藤 秀雄

2006～2007年度国際ロータリー第2510地区ガバナー・ノミネーの選出については、地区ガバナー指名委員によって、丸山淳士君（札幌真駒内RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第13条第2節（13.020.）に基づき、丸山淳士君を2006～2007年度第2510地区ガバナー・ノミネーとすることを決定し、ここに宣言致します。



2006～2007年度 国際ロータリー第2510地区  
ガバナー・ノミネー

会 員 名 丸 山 淳 士（札幌真駒内RC）

生 年 月 日 昭和13（1938）年3月26日生まれ

住 所 札幌市中央区南2条西28丁目3番15号

職 業 分 類 病院

事 業 所 名 医療法人社団 五輪橋産科婦人科小児科病院

住 所 札幌市南区川沿2条1丁目2番55号

入会年月日 1995年7月5日

### 【学歴】

1964年3月 札幌医科大学医学部医学科 卒業

1965年4月 医師免許取得

日本産科婦人科学会専門医

1972年 札幌医科大学学位取得 医学博士

### 【職歴】

1972年7月 道立江差病院産婦人科勤務

1978年5月 国家公務員共済組合連合会

斗南病院勤務

1980年12月 五輪橋産科婦人科小児科病院開業

1998年10月 医療法人設立 理事長就任

### 【主な公職】

北海道医師会代議員

母体保護法指定医師審査委員

札幌市医師会医事紛争処理委員会委員

日本産科婦人科学会代議員

北海道地方部会理事

専門医制度委員会委員

日本産婦人科理事

### 【ロータリー歴】

1995年7月 札幌真駒内RC入会

1999年～2000年 札幌真駒内RC会長

2002年～2003年 地区広報委員会委員

2003年～2004年 地区広報委員会委員長

2004年～2005年 第5グループガバナー補佐  
ポール・ハリス・フェロー 米山功労者



## 3月是世界ローターアクト週間です



### ローターアクト週間に因んで

ローターアクト委員会

委員長 柳 孝 一（札幌幌南）

3月13日は「世界ローターアクトデー」でその週の月曜日から日曜日まで「世界ローターアクト週間」です。今年は3月7日から13日までの一週間です。

2004年1月のローターアクトニュースから抜粋です。

「世界ローターアクト週間」を祝う機会を逃がさないでください。世界中のローターアクトクラブは、提唱ロータリークラブと共に、最初に結成されたローターアクトクラブを祝うよう奨励されます。ローターアクターは、このプログラムに対する地域社会の認識を高めるため、下記の活動に参加するとよいでしょう。

ローターアクトクラブを提唱していないロータリークラブに、ローターアクトに関する卓話をする

ローターアクトクラブの会合にロータリアンを招く  
ロータリークラブの会合にローターアクターを招いてもらう

ロータリーとローターアクトの共同プロジェクトを実施する  
とあります。

「ローターアクトクラブとロータリークラブの皆さんは、このプログラムを是非実行してください。」というお願いで、地区委員会の職務は全うできますが、地区内の現状を紹介しながら、RA週間に因みたいと

思います。

世界のロータリアン約122万人、2510地区約3,200人。世界のローターアクター約176,000人、2510地区のローターアクター約100人（10クラブ）です。世界基準でアクターの人数を算出すると440人でなければなりません。人数だけみると2510地区は世界水準ではないということが言えます。

ロータリークラブとローターアクトクラブの関係をわかりやすく表現すると「親」と「子」です。「子」を増やすのは「親」の仕事です。少子化が進んでいますが、ロータリーだけは歯止めをかけたいところです。

今年度、地区委員会の活動計画にローターアクトを地区内ロータリアンに知ってもらおうということを掲げました。まだまだPR活動は足りません。この機会にローターアクトのホームページをご覧いただき、提唱クラブの会員の皆さんはもちろんですが、提唱クラブ以外のロータリアンにも是非アクト新会員を推薦下さるようお願いいたします。

ホームページは地区ホームページのリンクからアクセス下さい。

## ガバナー補佐会議報告

～グループ別各クラブの活動報告・計画～

2005年1月23日 ホテルサンルート室蘭にて開催

### 第7グループ



ガバナー補佐  
大谷 恵一  
(北広島)

#### 上期地区ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会の開催について  
開催日 出席人数 議題・質疑等について  
平成16年6月30日 13人 100周年  
記念事業、クラブ訪問、活動計画書  
etc  
平成16年9月22日 13人 ガバナー  
公式訪問、地区大会、人頭分担金、次  
期ガバナー補佐  
担当グループ特記事項

どのクラブも会員数の減少には苦慮  
している。第7グループとしては会  
長・幹事会において、グループ単位  
での会員増強案を討議していきたい。  
クラブ訪問して感じた事

良く言えば、各クラブはそれぞれ  
特徴ある活動・例会を行なってい  
る。悪く言えば、各クラブのレベル  
に差がある。レベルの底上げにはガ  
バナー補佐の力量が必要と思われ  
る。となれば、伊藤長英地区研修リー  
ダーが言われた様に、ガバナー補佐  
の選考にはもっと厳しさが要るか？

#### 下期地区ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会開催について  
開催日 出席人数 議題・質疑等について  
平成17年2月 13名 合同例会の打  
合わせ、ポリオ・プラス寄付の要請  
平成17年5月 26名 新旧引継ぎ  
グループ活動計画予定  
平成17年2月23日 ローターリー 100  
周年記念合同例会

各クラブ活動計画予定

- \*千歳RC  
ローターアクトクラブの地区大会  
(平成17年5月28～29日)
- \*恵庭RC  
当クラブ創立35周年記念式典  
(平成17年3月24日)
- \*北広島RC  
当クラブ創立25周年記念、  
青少年コンサート(平成17年6月4日)
- \*長沼RC  
新世代会議 (平成17年2～3月)  
国際交流フェスティバル  
(平成17年5月21日)
- \*由仁RC  
未定
- \*千歳セントラルRC  
後日報告

千歳RC活動報告書

- 会員増強について  
会員：2004～05年度当初 65名  
増強：上期新規会員 4名=69名  
退会：転勤者 2名  
会員死去 2名  
健康上の理由 2名  
現在(12月末)=63名
- R財団・米山奨学金への寄付について  
R財団：目標\$5,500に対し、  
12月末実績=\$5,650  
米山奨学会：目標240,000円に対し、  
12月末実績=306,500円
- クラブの特徴・問題点等について  
会員の減少がクラブ運営に支障をき  
たしている。  
今後の考え方、活性化の必要性(会  
費の見直し・例会のあり方等)
- 奉仕プロジェクトについて  
新世代委員会  
第9回小学生写生大会開催(参加者  
108名)・市内の景勝地である「サケ  
のふるさと館」優秀作品の表彰  
(平成16年9月11日)

社会奉仕委員会

- 千歳地区交通安全協会に「交通安  
全看板」1基 寄贈  
国際ロータリー 100周年記念事業  
として、地域社会との共生を目指して  
交通安全運動を積極的に推進する。  
(平成16年12月9日)  
クリスマス家族会開催(参加者170  
名)。ご家族並びに関係団体をご招待  
盛大に開催された。  
(平成16年12月16日)

環境保全委員会

- 分収造林事業の継続的維持管理  
下期の主なクラブ活動  
国際ロータリー 100周年記念例会  
第7グループ合同例会  
(平成17年2月23日)  
ローターアクトクラブの地区大会  
千歳ローターアクトクラブ主管で開催  
「平成17年5月28日(土)～29日  
(日)」親クラブとして全面的支援  
をします。

千歳セントラルRC活動報告書

- 会員増強について  
新会員 1名増  
R財団・米山奨学金への寄付について  
R財団 1名 100ドル寄付達成。  
米山については普通寄付  
クラブの特徴・問題点等について  
会員増強、会員の退会防止について  
取り組まなければならない。  
奉仕プロジェクトについて  
クラブ事業としてフォトコンテスト  
(秋の部)を開催。タイ(コンケン)  
へ前年度実施事業の結果視察にクラブ  
より3名出かけた。  
下期の主なクラブ計画  
フォトコンテストの冬・春・夏の部  
実施へ向けて取り組む  
15周年記念に向けて取り組む

#### 恵庭RC活動報告書

##### 会員増強について

会員数51名(12月末現在)上期中に1名の入会者がありましたが、残念ながら上半期をもって1名の退会届けが有り、年度当初の同数であります。R財団・米山奨学金への寄付についてR財団

11月の財団月間に、毎年一人当たり100ドル以上の寄付、「財団の友」となる事を働きかけました。下期に集計して送金します。

##### 米山奨学金

会員一人当たり3,000円を目途に働きかけました。下期に集計して送金します。

##### クラブの特徴・問題点等について クラブの特徴

近年は、社会奉仕、新世代部門で青少年健全育成活動に重点を置いて活動しております。

##### 問題点

会員が高齢化してしまい、奉仕活動も継続事業のみ続けて居る状況であります。永年実施していた、交換留学生派遣も受入れホームスティ先が難しくなって休止しております。

##### 奉仕プロジェクトについて

平成17年7月、青少年健全育成資金造成バザー実施、中学生対象・少年野球大会の実施

平成17年9月、小学生対象・子ども相撲大会の実施、献血運動実施、日本赤十字社支援

平成17年11月、木の実園に、リンゴの木を植樹

##### 下期の主なクラブ計画

平成17年3月24日、当クラブ創立35周年記念の式典及び祝賀会を開催いたします。現在、地域に貢献する記念事業を検討中であります。

下期は、会員増強及び財団・米山寄金協力活動を推進して行きます。

#### 北広島RC活動報告書

##### 会員増強について

残念ながら増強は出来なかった。

R財団・米山奨学金への寄付についてR財団については年度末に寄付する予定。

米山奨学金へは普通寄付一人1,000

円を行った。

##### クラブの特徴・問題点等について

やはり会員増強に繋がらなかったことが残念である。下期には何とか今年度の目標を達成したいと思っている。奉仕プロジェクトについて

下期の活動と重複するが創立25周年の記念事業として青少年のためのコンサートの開催を実施する。

##### 下期の主なクラブ計画

25周年記念事業として青少年の為の記念コンサートの実施。

#### 長沼RC活動報告書

##### 会員増強について

18±0 増減なし

R財団・米山奨学金への寄付についてR財団寄付

目標額に達しました。\$2,000 - 米山奨学会

現在寄付を募っている最中です。昨年度に近づく様に努力しております。ポリオ・プラス

50\$/人×18人分で平成16年12月15日に振り込みました。

##### 下期の主なクラブ計画

平成17年2~3月 新世代会議予定

平成17年5月21日(土)

国際交流フェスティバル実施

#### 由仁RC活動報告書

##### 会員増強について

努力するが結果がでない。

R財団・米山奨学金への寄付について平成16年11月30日送金済です。併せてポリオ・プラスについても送金済です。

##### クラブの特徴・問題点等について

小クラブながら社会奉仕に一生懸命取り組み、まとまりのあるクラブである。問題点については、会員不足にある。

##### 奉仕プロジェクトについて

1. 軽費老人ホーム緑豊苑そば慰問

2. イルミネーション設置

##### 下期の主なクラブ計画

会員増強と地域奉仕について

## 第8グループ



ガバナー補佐

蘇田 又 栄

(浦河)

#### 上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について  
平成16年4月10日 22名

現・次期会長幹事

2003~04年度 活動報告について

2004~05年度 地区及びグループの取組について

平成16年7月24日 14名

会長・幹事

地区及びグループのスケジュールについて

ガバナー公式訪問・合同例会について

第8グループ運営特別会計について

「おじゃましまーす」例会について

ロータリー創立100周年記念事業について

##### 担当グループ特記事項

平成16年5月15日 ガバナー補佐

の任務遂行に協力することを目的に、浦河RC内にガバナー補佐委員会(5名)を設ける。

平成16年7月7~15日 各クラブ訪問(静内RC・三石RC・様似RC・えりもRC)

平成16年7月24日開催の会長・幹事会議において、第8グループとしての奉仕活動等に活用することを目的に、共有財源として特別会計を

昨年に引き続き保有することを決定、グループ内ロータリアン一人当たり1,000円徴収運営。

また、昨年に引き続き「おじゃましまーす」例会の開催決定

グループ内5クラブの会長・幹事が各クラブの夜間例会に出席し、親睦・交流を深める。(1~3月)

平成16年7月17日「社会・家庭・子ども奉仕活動に関する合同意見交換会」(苫小牧、第7・8・9・12グループ)に出席、第8グループから8名参加。

ガバナー公式訪問・合同例会の開催

9月28日 浦河ウェリントンホテル(様似RC・えりもRC・浦河RC)  
9月29日 静内ウェリントンホテル(三石RC・静内RC)  
10月5日 2005～06年度ガバナー補佐推薦 出口弘史氏(三石RC)  
10月17日 地区年次大会 登別市第8グループ登録 87名

#### 下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について  
平成17年1月29日 12名 会長・幹事  
2004～05年度上期活動報告について  
2004～05年度下期活動計画について  
ロータリー創立100周年記念事業について

平成17年5月24日 22名

現・次期会長幹事

2004～05年度活動報告について  
2005～06年度地区及びグループの取組について

グループ活動計画予定

「おじゃましまーす」夜間例会の開催  
三石RC 1月17日 味処「友」  
静内RC 2月23日  
静内ウェリントンホテル  
浦河RC 3月15日  
優駿ピレッジ「アエル」  
様似RC・えりもRC未定  
「ガバナー補佐だより」の発行  
1月下旬

各クラブ訪問 6月下旬

各クラブ活動計画予定

\* 静内RC

2月 町の友好都市アメリカ・レキシントン訪問町内中高生による報告会  
3月 養護学校静内ベテカリの園分校慰問  
5月 桜舞サッカーフェスティバル(少年サッカー全道大会)地区インターアクト年次大会

\* 三石RC

2月 町立図書館への図書購入資金の贈呈。「ロータリー文庫」として管理。昭和49年から継続現在までの累積額145万円、本年は100周年記念として増額の予定  
5月 特別養護老人施設「蓬萊荘」

への植樹。桜・ツツジを主に町内施設に毎年実施

\* 浦河RC

4月 南米パラグアイ「浦河文庫」への図書寄贈  
5月 障害者乗馬療育活動をするボランティア団体「クロパー」への、乗用馬匹の寄贈(1頭約80万円、今回で2頭目)

\* 様似RC

2月 ロータリー100周年記念コンサート開催  
5月 保養施設「アポイ山荘」周辺への植樹

\* えりもRC

4月 町内新入児童へ「交通安全ランドセルカバー」の寄贈  
4月 「ゴミ一掃クリーン作戦」町内の少年団・女性団体・企業の協力を得て実施  
5月 模範となる勤労青年および高校生に対する表彰

えりもRC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

上期現在増減なし

会員増強については会員増強委員会中心に有望な会員候補リスト等を作成し、目標を設定し取組むべく計画したが、まだ効果が出ていない。2名を目標に努力中。

R財団・米山奨学会への寄付について  
現在までは実績なし

会員の中で趣旨を理解し寄付を考えている会員もいるが、実現迄には至っていない。

クラブの特徴・問題点等について

小規模クラブではあるが地域に密着した社会奉仕活動を、長年に亘り実施し広く町民から喜ばれている。

春、秋のクリーン作戦  
町内各企業への給料袋の配布  
模範となる勤労青年及び高校生への表彰

新入児童へ交通安全ランドセルカバーを贈呈

問題点としては、少数クラブであり会員増強・寄付等には苦労が多い。

奉仕プロジェクトについて

グループ内のロータリー所在の少年

野球チームを招待しクラブ主催の、野球大会を開催8チーム参加。

女性団体・スポーツ少年団・職場の仲間など約100名の参加を得て、町内の街路公園等の清掃を実施。「ゴミ一掃クリーン作戦」

「風の館プレスト・イン・ミュージック」コンサートへの協賛。

約120名の町民が楽しい一時を過ごしました。

三石RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

上期現在増減なし

8月の会員増強月間に会員増強委員会より、全会員に新規加入の呼掛けをし2～3名の推薦が提出されたが、1名が現在加入を検討中。当面は退会防止に努めたい。

R財団・米山奨学会への寄付について

10・11月の米山及びR財団月間に委員会より、全会員に地区の現況報告をし、特別寄付の要請をしたが成果がでない。現在の経済情勢の中、難しさはあるが引き続き努力したい。

クラブの特徴・問題点等について

小親模クラブなので親睦等では纏りやすいが、それぞれの担当部門に対する意欲と責任体制が兼務等のため不十分である。

様似RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

上期現在増減なし

会員増強については会員増強委員会では勿論、クラブ活性化委員会を設け積極的に取組んでいるが、現況の情勢からなかなか難しい。取りあえずは退会防止に重点をおき、現状維持をしたい。

R財団・米山奨学会への寄付について  
経済情勢厳しい中、大変ではあるが会員の理解を得ながら推進したい。

チャリティオークション等による収益金を寄付することを検討中。

クラブの特徴・問題点等について

上期は月一回ペースで移動例会を実施(美術館探訪・「森に遊ぶ」樹木園・ウォーキングコース清掃・ソバ打ち体験・様似山道探査)



出席率の低迷が最大の課題。(業種及び小規模企業等が要因か)  
奉仕プロジェクトについて  
町立保育所の遊具施設の塗装及び小修理。(継続奉仕)

#### 静内RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

上期で2名入会。1月1名入会決定。現在2名の推薦あり選考中。12月未で1名退会予定。

会員増強委員会を中心に会員に推薦依頼を要請中

R財団・米山奨学会への寄付について

ポール・ハリス・フェロー1名認証済今後引続き目標達成に向け努力する。クラブの特徴・問題点等について

年令を越えた厚い友情に支えられ、和気あいあいとしたクラブ運営が続いている。競走馬関連の会員が多く、レース優勝のニコニコボックスへの貢献大。

会員増強にあたりライオンズとの兼合いが難しい。

奉仕プロジェクトについて

国際奉仕

タイに人身売買され強制送還された、カンボジアの子供たちの受入施設への建設費の拠出(苦小牧市の市民団体「子供たちの笑顔を守会」への協力)社会奉仕

交通安全塔の設置。新築された特老施設にテレビ寄贈。市街地中心部にある河川及び周辺の清掃奉仕

新世代活動

青少年の健全育成に向け、日胆地区小学生バレーボール大会・青少年サッカー大会の開催並びにインターアクトクラブの支援。

#### 浦河RC活動報告書

会員増強について

上期現在増減なし

会員増強については理事会等で度々検討され、会員に新規加入の積極的な勧誘を促し現在2名の推薦が提出されたが、まだ入会には至っていない。

会員増強並びに退会防止等を目的とした委員会を設置し推進を図ることを検討したい。

R財団・米山奨学会への寄付について

経済情勢厳しい中大変ではあるが、現在ポール・ハリス・フェロー、米山各1名の寄付決定。今後委員会を中心に未寄付会員に対する理解を促し、グループによる少額からの寄付等の取組みを推進したい。

クラブの特徴・問題点等について

会員の親睦と融和を図ることを目的に、夜間例会の開催・ゴルフ同好会の結成、また馬産地の特徴を生かし乗馬研修の企画を検討中。企業等の引き揚げ・産業団体の不振による退会に苦慮している。

奉仕プロジェクトについて

国際奉仕委員会

台湾中歴RCとの第9次姉妹クラブ締結を、11月台湾で盛大に挙行。双方の益々の交流発展を確認。

社会・職業・新世代各委員会合同による奉仕活動を、下記のとおり実施

浦河第一中学校サッカー部全国大会出場の栄誉を讃え表彰、引き続き選手と会員と一緒に町内道路の清掃活動の実施。終了後全員で会食をし、交流を図った。

## 第9グループ



ガバナー補佐  
鈴木 久雄  
(室蘭東)

#### ガバナー補佐活動報告書・計画書

会長・幹事会開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について  
平成16年8月20日 24名 ガバナー公式訪問に関する件、地区大会について、ポリオ・プラス

平成16年11月19日 30名 国際奉仕 社会奉仕 職業奉仕について  
ロータリー 100年祝賀会打合せ

平成17年1月21日

平成17年4月末予定

平成17年6月末予定

グループ活動計画予定

平成17年2月23日RC100周年家族同伴祝賀会の開催。ロータリー活動の内容を知って貰うために、R財団奨学生、GSE、米山奨学生から

実際の経験談を話して貰って支援の必要性を実感して貰う。その後は各クラブ合同してお互いの理解を深め、会員・家族間の親睦を図る。

R財団、ポリオ・プラスに対する支援。今年度は特に地区内の財団寄附とポリオ・プラスに対する支援を重大目的としたい。

会員数の増強。各クラブにおいて会員増強に力を入れ、クラブ活動の活性化を図りたい。

各クラブ活動計画予定

\*室蘭RC

測量山ライトアップを支援

室蘭育英会への協力

駅前花壇の整備

防災ボランティアリストの整備

子供奉仕活動の協力リストの整備

\*伊達RC

会員増強。今年度の増強目標5名に対し、入会者数3名、更に1名の増強を行いたい。

\*室蘭東RC

全会員の参加によって、100周年記念「あれこれなんでも相談室」の開催。今年度で3回目になるが、多数の相談者が訪れ、非常に好評である。

\*登別RC

1名の会員増強が出来たが、更に努力したい。ポリオ・プラスに対する寄附1人150\$があと僅かで達成される。

世界食糧デーに対する支援

\*室蘭北RC

学生中心のR.A.C.の会員減少に対して存続問題があり、会員の強い要望もあって社会人を中心にしたものに組織を変更し、活動を行ってゆく

青少年の野球同好会及びジュニアヨットレースを助成し、育成を図る

\*洞爺湖RC

児童・生徒に対し声掛運動の実施  
新入学児童の交通安全街頭指導に参加

防犯パトロール腕章を使用して、不審者の発見に協力する

噴火で消失したままになっているロータリー文庫湖読書の家に対して50万円寄贈

観光案内板の設置



## 伊達RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 2回

会員増強について

今年度会員増強目標人数は5名

今年度入会済会員数は4名

(2004年7月20日3名入会式  
2004年12月7日1名入会式)R財団・米山奨学会への寄付について  
米山功労者として3口送金済 30万円

## 室蘭RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 1回

会員増強について

今年度上期における会員増強は、7月に2名 9月に1名、又、前年からの継続した入会勧誘により、12月に1名の入会を達成できた。

また、退会者も委員会活動、同好会活動等活発にする事により会員相互の親睦を図れ、退会者0名となっている。R財団・米山奨学会への寄付についてR財団寄付

9月に1人50\$ 計2600\$の財団寄付  
米山奨学会普通寄付 上期期首に2,000円/人で  
102,000円

特別寄付 5名の会員により

計¥700,000の寄付

2004年10月時点で累計5,444,688円  
5回目の功労クラブ表彰を受彰し

ました。

クラブの特徴・問題点等について

RC全般的な問題点であると思われる、会員数の減少に伴い、1RCの活動だけでなく、他RCとの協力により広域的な事業等(例、最近では3RCでの作文コンクール主催)を今後活動していく事が必要と思われる。

奉仕プロジェクトについて

前期の活動報告

・子ども奉仕活動の一環として「小中学校での授業」と「職場での小中学生の研修」を会員登録に協力を呼びかけ、12月2日現在で、延べ22名の登録が出来、市教育委員会への協力会員一覧を提出しました。各小中学校の要請により、4件の各小中学校での授業が実現している。

・測量山ライトアップへの支援

平成17年7月以降、社会奉仕委員会・広報委員会の相互協力のもと、

測量山ライトアップを支援し、事業開催日、RCの活動のアピール等市民皆様への周知、あいさつ等を掲載している。

・NHK歳末助け合い 市歳末たすけあいへの寄付

・室蘭育英会への協力

・会報「はぐるま」で、例会のコンパクトで分かりやすい再録と今後のクラブ活動、委員会、同好会活動の予告と経過の掲載

・WCS委員会よりの書損じハガキ・未使用テレカの収集依頼への協力(ハガキ200枚程 テレカ30枚程)

下期の活動計画

・駅前花壇の整備 市図書館へのロータリー文庫への寄付

・防災ボランティアリストの整備、子ども奉仕活動の協力リストの整備。

又、新規事業を考慮中(平成17年4月にオープンする旧駅舎広場のオープニングセレモニーに室蘭RCとして参画する)

会員増強状況

平成16年7月1日に1名の新入会員を迎え51名でスタートし、7月に他の1名の計2名、9月に1名、12月に1名で計4名の新入会員12月末日会員数は54名

## 室蘭東RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 2回

会員増強について

今年度は2名の増強を目標としているが、上期は未達成。入会勧誘は会員からの情報提供の都度実施している。数件の情報があり、下期での目標達成を目指している。親睦重視の活動方針で退会者は0に止まっている。

R財団・米山奨学会への寄付についてR財団

下期に1人100ドル(内訳 ポリオ・プラス50ドル。ポール・ハリス・フェロー 50ドル)予定

ポリオ・プラスはこれにより目標の150ドルを達成することになる

米山奨学会

普通寄付 上・下期併せて1人4,200円  
特別寄付 445,000円

4回目の功労クラブ表彰受彰

会員数 43名

クラブの特徴・問題点等について

・親睦を第一とし、楽しく和やかな伝統が引き継がれている

・ロータリー共通の悩みとして会員減少が当クラブにもある。

奉仕プロジェクトについて

上期の予定

100周年に関する事業

・新世代「100年後のムロラン・私の夢」作文コンクールを室蘭市内3RC合同で実施

・国際 100周年記念韓国家族同伴海外野外例会を実施(平成16年9月)

・職業 室蘭工業大学への出前講座実施

その他の事業

・社会、インターアクト イタンキ浜海水浴場清掃奉仕

室蘭大谷高校、室蘭工業大学留学生も参加

・社会 室蘭市の「まちパートナー事業」を支援

歳末助け合いへの寄付

・新世代「金属を溶かしてものづくり」を実施

ロータリー財団地区補助事業

下期の予定

・100周年記念第9グループ合同家族同伴例会の開催(平成17年2月)

・職業 100周年記念「あれこれなんでも相談室」の開催(平成17年2月)

## 室蘭北RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 1回

会員増強について

今年度上期において、当クラブは、平成16年7月末に1名の退会、8月に1名入会その為、純増員はなかった。今年度の目標として3名の入会を掲げているが、下期に頑張りたいと思う。

R財団・米山奨学会への寄付についてR財団

平成17年9月及び12月合計2,400\$の寄付をする。

米山奨学会

普通寄付 上期期首に 1,500円/人  
¥55,500

特別寄付 1法人(米山功労法人となる)1個人(ファンドフェロー2)計 ¥130,000

クラブの特徴・問題点等について

当クラブの特徴としては女性会員が

2名いますが、2人ともにロータリー活動に対して積極的で、第9Gの中で初めての女性幹事が生まれました。当クラブも会員の減少に伴い、室工大や文化女子短大の会員がいなくなり、ロータアクトクラブの存続問題が在りましたが、RAC会員の強い要望もあり、一般の社会人を中心とした組織に変えて活動していく事にしました。

奉仕プロジェクトについて

上期活動報告

社会奉仕委員会 加藤栄吉委員長

・平成16年9月4日 ボーイスカウトと中島地区の清掃奉仕活動と植樹を行う

・平成16年11月31日 ボーイスカウト50周年記念祝典に参加する

新世代委員会 斉藤 崇委員長

・少年野球に50,000円助成

・ジュニアヨットに50,000円助成

・3クラブ合同で作文コンクールを行い11月30日審査発表会を行った

ロータアクト委員会

斉藤 崇委員長

・平成16年8月24日 特別委員会をつくり、ロータアクトについて検討する。

国際奉仕委員会 高橋保史委員長

・書き損じハガキ、使用済みテレカの収集を行う

・室工大留学生と交流会を行う

ロータリー財団委員会・米山記念奨学委員会

斉藤義寛委員長

・一人あたり100\$を目標額とする

・クラブとして4,000\$を目標とする

クラブ奉仕委員会 神島 章委員長

・平成16年8月31日クラブフォーラムを行う

主題は 積立金について

R.A.C.について

内容は平成16年9月7日号の会報に掲っています。

クラブ会報委員会 松島 茂委員長

・通常の会報記事以外の話題の提供していただきたい。

広報委員会・雑誌委員会

及川 力委員長

・ロータリーの友への投稿をお願いしたい

会員増強委員会・会員選考委員会

矢澤光男委員長

・実質増員目標を3名とする

・5人で1名の新会員計画を発表

ロータリー情報委員会

村井幺乙委員長

・平成16年9月にインフォーマルミーティングを行いました、ロータリーがおもしろくないと思う人はただのロータリーの会員であるがロータリーをおもしろくしているのがロータリアンである。

I・C委員会 笹谷豊明委員長

・当クラブのホームページを見てもらいたい

・「米山だより」、「ロータリーの友」を地区のメールマガジンのアドレスにアクセスして内容をくわしく知ってもらいたい

S.A.A. 斉藤泰成委員長

・私語、退席者は少なかった

・指定席にならないようにしたい

・例会出席時にエンブレム(パッチ)をつけてもらいたい

下期活動計画

新世代委員会を中心に以前から活動していた蘭東少年野球同好会25周年記念を迎える事になりその式典に参加し、これからもその様子を見届ける事とする。平成17年6月には、ジュニア・ヨットレースの助成並びに大会に参加する。社会奉仕委員会の継続事業の1つとして平成17年4月から5月をめぐりに献血運動を行っていく予定。

会員増強状況

8月に1名の会員が入会しましたが、その後、まだ入会者はなく、現在37名です。これからも会員全員で、増強に力を入れて行く予定です。

登別RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数1回

会員増強について

1名会員増強を果たしたが、まだ本格的な増強活動ができておらず、下期には尚一層の会員増強を図りたい。

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団寄付金

1名当たり100ドルは達成予定

米山寄付金

順調。ただし送金の関係で遅れており早急に手続きを完了したい。

また、ポリオ3年間で1名あたり

150\$もあと僅かで達成予定。こちらからも送金関係の手続きを早急に行いたいと考えております。

クラブの特徴・問題点等について

本年度は、遠藤ガバナーをはじめ地区の運営に当たっておりますが、今後地区に対して継続的な貢献が必要と考えられますのでその体制づくりが今後の検討課題と思われま。

クラブ活動は、例会の卓話中心でそれ以外の事業、プロジェクトがどちらかといえば活発でないため、今後も予算を考えながら持続可能な事業の立ち上げが必要と思われま。

奉仕プロジェクトについて

本年度は、地区大会他地区事業のサポートのため、上期については、それほど報告するような事業はできておりませんが、毎年継続している世界食糧デーに対する支援を実施致しました。

洞爺湖RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

洞爺湖温泉街の人口が噴火後、激減したため、会員の増強をはかりたいが、非常に困難な状態にある。現会員10名だったが1月14日1名の退会者が出た。今年度中に1名の会員増強を行いたい。

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団に対して積極的に参加したい。ポリオ・プラス3ヶ年の最終年に当り、1人150\$の目標に近づけるように頑張りたい。

クラブの特徴・問題点等について

会員の増強がないと会の運営もさまたげられる。

奉仕プロジェクトについて

僻地校、花和小学校との交流を実施収穫祭にロータリアンも参加する。児童、教職員と親睦パークゴルフ大会児童、生徒に対し声掛運動の実施新入学児童の交通安全街頭指導参加防犯パトロール腕章を使用して不審者の発見に協力

噴火で消失したままになっているロータリー文庫、湖読書の家に対して50万円寄付

観光案内板の設置

## 第10グループ



ガバナー補佐  
加藤 直樹  
(七飯)

### 上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について  
平成16年8月23日 19人 人頭分担金について、100周年事業について、GSE

平成16年10月29日 17人 100周年事業について、GSE決算報告

平成16年12月10日 16人 100周年事業について

担当グループ特記事項

函館RC 70周年記念事業

七飯RC 合同観月会

亀田RC サッカー大会

### 下期ガバナー補佐活動計画書

グループ活動計画予定

平成17年2月23日、森RC・上磯RC・亀田RC・七飯RC合同例会  
函館RC家族例会、森RC家族例会、長万部RC家族例会

平成17年5月11日、森RC合同観桜会第10グループ

各クラブ活動計画予定(平成17年度)

函館RC 2月23日 家族例会

亀田RC 2月23日 合同例会

森RC 2月23日 家族例会

5月11日 合同観桜会

七飯RC 2月23日 合同例会

長万部RC 2月23日 家族例会

函館RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

新入会員が何人か入会するが退会するので現状維持である

R財団・米山奨学会への寄付について  
ほぼ目標どおり

奉仕プロジェクトについて

現在奨学生が9名で創立70周年事業として10名ほど追加しました。過去に150名程奨学金を頂いた生徒がいます。その中で当クラブの会員もい

るので追跡調査も必要かと思えます。

亀田RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

現在純増1名

R財団・米山奨学会への寄付について

ほぼ目標どおり

奉仕プロジェクトについて

少年サッカー大会の開催

森RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

鋭利努力中

R財団・米山奨学会への寄付について

ほぼ目標どおり

七飯RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

鋭利努力中

R財団・米山奨学会への寄付について

ほぼ目標どおり

長万部RC活動報告書

会員増強について

鋭利努力中

R財団・米山奨学会への寄付について

ほぼ目標どおり

## 第11グループ



ガバナー補佐  
吉川 達也  
(函館東)

### 上期ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について  
平成16年6月14日 24人 支援学生について、GSEについて、その他

平成16年8月23日 24人 ガバナー公式訪問について、GSEについて、函館RC70周年

平成16年10月29日 22人 100周年例会について、その他

平成16年12月17日 22人 五稜郭RC35周年について、その他

担当グループ特記事項

\*函館北RC

新設委員会である地域発展委員会を中心に会員全員参加での社会奉仕に取り組んでいる。

\*函館五稜郭RC

奉仕プロジェクトも順調に推校しており、下期には数名の増強も計る予定

\*江差RC

会員増強等においても全員で取り組んでおり危機感の脱却を計っている

\*上磯RC

青少年支援、GSEと少ない会員数で努力しております。

\*松前RC

負担金等の人頭割合がアップになるので苦慮しているようです。

### 下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について  
平成17年2月 函館五稜郭RC35年

平成17年4月 未定

平成17年6月 未定

グループ活動計画予定

11グループ全体として、函館五稜郭RC創立35周年記念式典への積極的参加要請。

創立100周年記念例会について各クラブの対応について。

各クラブ事業についての協力等の要請について。

各クラブ活動計画予定

\*函館北RC

ソロプチミストゾンタとの交流例会

ロータリー100周年七飯RC合同例会

インターアクト年次大会への参加事業計画に対するチェック

\*函館五稜郭RC

創立35周年記念式典3月12日

五稜郭祭パレード参加

ロータリー100周年例会の実施

事業計画に対するチェック

\*江差RC

国際交流及び歴史交流の取組(江差追分を媒体として)

江差RCの森勸奨交流会の開催

創立100周年例会の実施



\* 松前 R C

桜の木保存事業（天狗巣病除去作業等）

創立100周年例会の実施

\* 上磯 R C

社会奉仕委員会によるおしまココロ  
ニ一花壇整備

交換留学生への取組

創立100周年記念例会の実施

\* 函館東 R C

長崎東 R C 創立35周年式典参加  
（平成17年1月21日）

横岡東 R C 創立50周年式典参加  
（平成17年2月21日）

事業計画に対するチェック

江差 R C 活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 2 回

会員増強について

今期（2004～2005）7月1日（現）では、16名の会員でスタートしましたが、8月に死亡退会1名、9月に今期上期で退会申込者1名、下期は14名会員と暗い状況に向かえ、危機感を一層募らせ、例会毎に会員確保議題を続けました。その効果と思いますが、下期（1月1日現）予定会員数16名に復活できる見込みとなりました。只その数で満足することなく目標20名にむけまして取り組んでいる現状です。R財団・米山奨学会への寄付について  
深見会長の基本とする江差 R C の奉仕事業を、自らの行動（江差 R C 及びその仲間）で、R I が求める社会奉仕事業を進めることは、小クラブの江差 R C では限界があるという考え方から、R財団・米山奨学会に対する寄付行為は積極的に取り組まねばならないとしています。只、会員が少ないための財源事情があります。現在は、R I が提唱している額の確認を得てはいないが、従来よりは前向きな「額」が期待できると感触しております。

クラブの特徴・問題点等について

江差の人口は約10,000人強のなかに、ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト、青年会議所と小さな町ながら奉仕活動団体が多いことが上げられますが、その構成員が所属する地元企業等は弱小化の規模が支配しております。従って、各奉仕団体の組織規模も

小さく組織確立のことで共通した悩みをもっていると推測しております。それらの地域事情のなかにある江差 R C では、国際 R I 理念を柱として会員相互及びその家族との友愛、同志感を強めた運営に努めている実態です。自らの地域奉仕事業に当たっては、財源、運営力等を勘案して継続性を求めながら、少数精鋭主義で実施している実態です。

奉仕プロジェクトについて

先ず、国際ロータリーとは何をもち奉仕活動と言っているのか。など地域社会に対して周知することや理解を求める事業が必要ではないかと、例えば、町広報、新聞（特に道新）に取り上げられそうな情報を発信するとか。また、社会福祉団体、学校（小、中、高）PTAなどとの共催、後援を通して、国際ロータリー及び江差 R C が取組んできた100年の奉仕事業実績（江差 R C にあっては43年）を紹介するなどのことに取組んでおります。特に江差追分を媒体とした国際交流や歴史交流などにも取組んでおります。

江差 R C 奉仕事業の43年間詩を纏めることにも取組んでおります。

函館五稜郭 R C 活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 2 回

会員増強について

7月1日現在会員 68名

12月1日現在会員 64名 4名減少

今後の増強見通 1月1名、2月1名の入会予定です。

なお、下半期については退会防止に全力をあげ、年度内に当初会員数まで増強を計りたいと考えております。

R財団・米山奨学会への寄付について

現在 6,766\$

現在 570,000円

奉仕プロジェクトについて

職業奉仕委員会

10月2日に市教委主催で行われました「まなびとフェア」に体験学習コーナーをクラブ、会社、職業奉仕委員会合同で出展し「ブリキのちりとり・風車づくり」を通して、もの作りと職業理解さらには R C を理解してもらおうと実施しました。当日は R C のポスターやチラシを配布しました。

社会奉仕委員会

今年度も地域交流委員会を中心に「函館野外劇」公演に延べ40人の会員が参加。100名の観劇を行いました。また、運営スタッフとして、阿彦会員が5～6年にわたって奉仕活動を続けております。

クラブ奉仕委員会

2回の情報委員会を開催しました。入会1年未満の会員との懇談会及び会食を通して、理解と定着を計っております。

函館東 R C 活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数所属クラブ

会員増強について

7月に7名が入会し、下期には退会者が増加しそうです。

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団は目標6,000ドルに対して1,600ドルです。

米山奨学金の寄付は、10万円です。

目標達成は、難しい状況です。

クラブの特徴・問題点等について

平成16年12月7日に会長が退任

奉仕プロジェクトについて

新世代委員会

社会福祉法人かいせい（重度知的障害者施設）への支援事業として、11月30日にカレンダー巻きの支援と、器具備品を寄贈し、2005年度用カレンダーと手帳の収集活動を行う。

国際奉仕委員会

東南アジア諸国において恵まれない子供達への学用品等の寄贈又は身体不自由な人達へ車椅子の寄贈を計画し、11月20～25日の期間委員長他6名の会員がベトナム社会主義共和国を訪問し、日本より持参した車椅子や学用品・衣類・おもちゃなどを寄贈した。

函館北 R C 活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数 2 回

会員増強について

例会におきまして、ビデオ放映、フォーラム等による会員一人一人意識改革を求め、委員長を中心に会員増強を進めておりますが、現在迄の入会は2名、退会が1名と実質的には、1名の増員となっており、計画の5名増には達していません。

R財団・米山奨学会への寄付について  
今年度より任意積立を実施することを決定し、会員が、ポール・ハリス・フェローあるいは米山功労者の受賞者になることを目標としております。

現在迄の状況は

財団寄付 1,000ドル

米山寄付 380,400円

となっております。

クラブの特徴・問題点等について

少数精鋭と申しますか、人数的に少ないクラブながら会長経験者が会員の半数近くおり、経験豊富なロータリアンが多く、大変まとまりあるクラブです。問題点は、やはり第一番が会員の減少です。少数会員クラブのため、財政的に苦しく十分な奉仕活動予算が計上できないのが現状です。

奉仕プロジェクトについて

今年度より地域発展委員会を新設し、会員が参加し一致協力し、地域に根ざした社会奉仕活動を進めるべく活動しています。現在は、イルミネーションコンテストの期間中で個人住宅で飾り付けた作品を自薦・他薦を問わず、ホームページで募集するとともに、会員自ら訪問し募集しております。尚、例年の奉仕活動については、計画通り進んでおります。

上磯RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数3回

会員増強について

7月1日会員数29名は現状維持のまま、鋭意努力しておりますが、会員数増加には至りません。

R財団・米山奨学会への寄付について  
ロータリー米山記念奨学会へ

普通寄付 8月6日 29万円

クラブの特徴・問題点等について

会員の出席率が低下の傾向にあり、これは当クラブの会員構成が40代の会員が多くどうしても仕事優先であり、毎年の課題であります。対策として定期的な夜間例会の開催を模索しております。

奉仕プロジェクトについて

青少年交換委員会

(1年間、青少年交換留学)

平成16年8月15日 5360地区(カルガリー・カナダ)よりイアン・スコッ

ト・ホワイト君来日

平成16年8月18日 5360地区(カルガリー・カナダ)へ大場菜桜子さん出発  
国際奉仕委員会

平成16年10月10日より10月16日まで3350地区(バンコク・タイ)よりGSEメンバー受入  
新世代奉仕委員会

平成16年10月23日 薬物乱用防止街頭募金奉仕活動(上磯)

参加人数 高校21名、中学92名、会員11名

平成16年11月1日 薬物乱用防止街頭募金奉仕活動(木古内)

参加人数 中学36名、会員1名

国際奉仕委員会

平成16年11月11日より13日まで5010地区奨学生(ロシア文化研修生)アンナ・シュミロアさん、マリア・ベトロバさんを迎え夜間例会、翌日は極東ロシア大学訪問。函館とロシアにまつわる歴史的建造物等見学

地域ボランティア推進委員会

平成16年11月18日

上磯町身体障害者協会へ10万円寄付

松前RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

会員増強について

7月30日1名退会(現在8名)

R財団・米山奨学会への寄付について

R財団年次寄付

9名×\$50×104円=46,800円

米山奨学会普通寄付

9名×2,000円=18,000円

## 第12グループ



ガバナー補佐  
藤澤 正昭  
(苫小牧)

上期地区ガバナー補佐活動報告書

会長・幹事会の開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

7月29日 9人 ロータリー創立

100周年記念行事に関する件 会員

増強の件 R財団の件

8月25日 9人 ロータリー100周

年記念行事について

9月22日 9人 ロータリー100

周年記念行事 地区大会

12月7日 8人 第12グループ(4

クラブ合同例会)100周年行事

担当グループ特記事項

ロータリー創設100周年記念行事に関する件。

第1回会長、幹事会において、4クラブそれぞれの案を提出して頂き検討を行なった。少年スポーツ大会市民参加の講演会など多数の提案があった。平成16年全国高校野球優勝校である駒沢高校監督の講演が予定された。請事情により中止になった。最終的には4クラブ合同で、ロータリー創設100周年祝賀の新聞広告を行なうことに決定した。平成17年2月23日に、4クラブ合同の100周年記念例会を実施することが決った。

会員増強に関する件

退会者防止、新会員、再入会などについて検討。

下期ガバナー補佐活動計画書

会長・幹事会開催について

開催日 出席人数 議題・質疑等について

平成17年1月 9名 100周年記念

行事の打合せ。会員増強

平成17年2月 9名 100周年記念

行事の準備。実施

平成17年4月 9名 ポリオ・プラス

平成17年5月 9名 活動計画のま

とめの反省

グループ活動計画予定

「ロータリーを祝おう」

市町民にロータリーをPR、奉仕活動を理解していただく、会員の親睦と友情を深める。

平成17年2月：新聞広告(4クラブ各会長100周年祝辞)

平成17年2月23日 4クラブ合同

例会(白老RCを主軸として)

12グループ全体で100周年記念

例会および懇親会を開催。

以下の三大目標に出来るかぎり協力

する。

会員増強：新会員の発掘につとめる。

ポリオ撲滅募金キャンペーン：目



標達成に努力。

財団支援

家庭奉仕、家族奉仕を積極的にすすめていく。

#### 白老RC活動計画書

祭り等の行事に出店

財団や奨学会への寄付金を全メンバーと家族総出で楽しくコミュニケーションを計りながら汗を流し、資金を稼ぎ全額寄付へ割りふりする事業。これは年間活動方針のに記載されておりますが、これは少ないメンバーでも出来る大きな事業であります。この事業を定着的、定期的におこなう事が出来ればメンバー減少問題防止にもなると思うので是非これを実施したい。

ロータリー誕生100周年記念4クラブ合同例会が白老RC主管で2月23日、白老で開催されます。これを成功裡に終了させる事。

会員減少の問題について

- ・減少(退会)防止
- ・減少によるクラブ運営の諸問題

これらの問題についてクラブ例会におきまして時間をかけ、徹底的に協議を全員でおこないたい。

会員増強について

この事については机上で協議しても解決出来ないと考えるので時間をきめ、何名かずつでチームを作り、直接訪問し、勧誘する事を考えたい。

#### 白老RC活動方針

ロータリー誕生100周年記念植樹構想(記念植樹いたしました。)

地域の皆さんの憩いの場所としての公園化構想

地域の皆さんの散歩道としての並木構想

地域の皆さんと共に広げていく「ロータリーの森」構想

以上のような考え方で立地、地域の希望などを調査の上、いづれかに決め検討に入ります。

パークゴルフ大会(サッカー大会に変更し実施致しました。)

クラブメンバーの2名がパークゴルフ場を経営されております。これを利用し、小学生と老人を対象に検討しており、これを、ロータリー誕

生100周年記念大会として、継続事業としての検討もしております。

祭り等の行事に出店(現在迄は未実施)

財団や奨学会の寄付金を全メンバーと家族総出で、楽しくコミュニケーションを図りながら、汗を流し、資金を稼ぎ全額寄付へ割りふりする事業も検討しております。

夜間例会を月1回開催(実施しております)他クラブでも実行されている月の最終例会日を夜間にする事により出席率向上になり、楽しい例会になるか検討しております

RCを地域にもっと知ってもらう為の周知(2月23日に4クラブ合同で実施予定)25年の歴史を持ちながら、意外に地域内知名度が低い為、ロータリーを広報、周知し、期待されるRCとしての位置づけを検討する。

RCの立看板及び玄関先の看板設置(作成いたしました)

当クラブは、年間数十万人と云われる入込客がある、ポトコタン施設の玄関先に、事務局を構えながら所在を示す看板がない為、遠来のクラブロータリアンが入館しても、この町にRCがある事を知ってもらえない事と、地域の皆さんに存在を知ってもらえない原因になっているので検討する。

#### 苦小牧RC活動計画書

本年度はロータリー創立100周年に当たります。グレンE.エステス・シニアRI会長が掲げた『CELEBRATE ROTARY ロータリーを祝おう』のスローガンの下、上期同様当クラブ会長のクラブ運営方針と活動目標に従って活動を継続してまいります。

ロータリアンとしての資質を高める努力をしましょう。ロータリーに関する情報に目を通しましょう。

クラブ運営に協力しましょう。

クラブ活動を広く地域社会に知ってもらい、会員増強に努めましょう。

クラブの活性化に努めましょう。

出席率を高め、親睦を大切にし、楽しい例会にしましょう。

地区活動に協力しましょう。

R財団及び米山記念奨学会へ協力し

ましよう。

又、記念事業として第12グループ4クラブ合同例会を予定しております。

#### 苦小牧東RC活動計画書

平成17年1月13日

新年家族会(グランドホテルニュー王子)留学生との交流 7名 招待

平成17年2月17日

苦小牧工業高校卒業生(3年270名)交通安全講話会

平成17年3月10日

家族・留学生・親睦ポーリング大会

#### 苦小牧北RC活動計画書

2004年~2005年度RIグレンE.エステス会長のテーマは“CELEBRATE ROTARY”「ロータリーを祝おう」です。又、国際ロータリー第2510地区遠藤秀雄ガバナーは、4つの地区目標をたてられました。それに沿って今年度の会長方針および目標をたてさせていただきました。あまり多くのことはできませんので次の3つにしぼりました。

1. ロータリーの100周年を祝おう
2. 継続事業の見直し
3. 会員増強と退会防止

下期もこの目標に向かって頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

## 地区委員会

## 活動報告

## ローターアクト海外研修報告書

ローターアクト委員会

委員長 柳 孝一（札幌幌南）

過去ほとんど東南アジア中心で行ってきた海外研修でしたが、一昨年から要望が高かった、オーストラリアでの海外研修になりました。

斎藤地区代表（千歳RAC）が、ROTEXで派遣先がオーストラリアだったこともあり、現地とメール等でコンタクトを取り、オーストラリア国内の都市でいろいろ候補がありましたが、予算の関係もあり、ケアンズに。ケアンズサンライズRCにお世話いただくことになりました。サンライズRCは、新札幌RCの青少年交換留学生である杉本光さんのスポンサークラブということもあり、スケジュール等の打ち合わせもスムーズに行われたようです。

さて、1月22日15時半千歳空港集合、名古屋経由で翌23日早朝ケアンズ着、すぐにケアンズサンライズRCのロータリアンの案内で、車いすバスケットの練習を見学させていただけることになり、会場へ。車いすバスケットのチームは全員が障害を持った人というわけではなく、家族や知人などの健常者もメンバーで、車いす利用者だけでなく、健常者もそれに加わり同じフィールドでそのスポーツを楽しむことが当たり前なのが、新鮮でした。アクトもチームにそれぞれ加わり、車いすバスケットを体験しました。予想以上にかなりハードだったようで、筋肉痛になったアクトもいました。初めての貴重な体験をさせて頂きました。

24日各自でフリータイム。ケアンズの海や山の観

光ポイントを散策しましたが、とうてい一日では廻りきれなかったようです。国際観光都市ということもあり、街並み整備はかなりいいレベルにあり、またフレンドリーな環境は、観光都市札幌、北海道にも見習う点は多いように思いました。

25日はケアンズサンライズRCの例会に出席しました。サンライズという名称通り、朝7時からの例会です。我々一行は、緊張の中、まず自己紹介をするまもなく、飲み物や軽食を勧められ、例会前の時間を過ごしました。点鐘が鳴り、いよいよ例会です。（連打した点鐘は始まりの合図であり、静粛にさせる意を持っていることを知りました）ロータリーソングの斉唱はなく、綱領を全員で宣誓していたようです。その後それぞれ自己紹介を英語でしました、ROTEX（派遣先オーストラリア）でもある斎藤地区代表が地区内ローターアクトクラブの活動の紹介、メンバーの詳しい紹介などし、私はホームクラブ（札幌幌南RC）のパナーを交換しました。また、アクトクラブのそれぞれの地酒と北海道の銘菓をお土産にプレゼント、大変喜んで頂きました。北海道の観光パンフ英語版も重宝しました。お返しにサンライズRCから、パナーとクラブオリジナルのマグカップを頂きました。最後にアクト全員でローターアクトソングをアカペラで合唱しました。（アクトソングはロータリーソングと同じ役割で、毎例会ほか地区行事などで歌われます。）私も数十回合唱を聴いていますが、今回ほどの熱唱を聞いたのは初めてで、感動しました。やれば出来る、何故普段も今日のように歌はないのか、複雑な気持ちにもなりましたが、その感動は、サンライズRCのロータリアンにも通じ、俺たち、私たちも「歌う、歌いたい」と例会のプログラムにない国歌の返歌がありました。感動的な時間でした。

例会終了後、サンライズRCに用意して頂いたバスで幼年から高校までの一貫教育をしている「Trinity Anglican School」を見学。この学校は今回海外研修のパイプ役で青少年交換留学生の杉本光さん（スポンサー新札幌RC）が通う学校でもあります。続いてサンライズRCの会長でもあるGraham Kochさんの保険会社へ職場訪問、息子さんの奥さんは日

本人で、お孫さんが生まれたばかりでした。そして、「Endeavour Foundation Workshop」知的障害者作業所を見学しました、ダウン症や自閉症などの障害をもつ方々が自宅やグループホームから、作業所へ通ってきています。航空機内で使うヘッドホンを検品、梱包作業や古着の再生、書類のシュレッター処理等の作業をしているそうです。担当者の方から、長時間にわたり詳しい話をお聞きしました。その後、観光名所等をして頂きました。

26日最終日です。当日はオーストラリアデーという祝日で朝からイベントが始まります。ケアンズRCの皆さんがマチの中心のイベント会場でホットドッ

クとドリンクのチャリティ販売を見学、朝食がわりにホットドックをいただきました。金額も安く市民の皆さんが気軽に買って行きます。もちろんクラブ旗とそろいのユニホームです。(チャリティはスマトラ沖地震)飛行機が12時発のため、早々に会場をあとに帰路に着きました。

今回の海外研修でロータリーという世界共通の理念の再確認と友愛、奉仕、親睦というロータリーの根本をローターアクトが体感できた。またローターアクト間の親睦も深まった有意義な海外研修であったことを報告いたします。



車いすバスケットの試合に参加



サンライズRC例会の斎藤地区代表



Trinity Anglican Schoolで説明を受けてます



Endeavour Foundation Workshopの皆さん



作業所で広報の方に真剣に質問するアクト



ケアンズRCの皆さんのチャリティBBQ



## 新しい手続要覧と推奨クラブ細則



情報・IC委員会

委員長 山田 信夫(苫小牧北)

### 手続要覧 2004

2004年度版「手続要覧」日本語版が発行されました。近年の手続要覧の表紙は紺色や黄色といった単色でしたが、今回は白い雲が浮かんだ青空の絵が使われています。

世界中のロータリークラブはこの青空のもと一つになり、100年の歴史を刻み大きな成果を上げてきました。手続要覧はその活動を支える象徴的な存在だと思えます。この新しい手続要覧を手に共通の認識で奉仕の実践を進めていただきたいと思えます。

この手続要覧は昨年6月開催された規定審議会の決議を受けて大小様々な改訂が含まれています。特筆すべき点は、人頭分担当金が値上げされたことです。(手続要覧2004 - P56)今年度から3年間にわたり、年4ドルづつ値上げされることが明記されています。

また、「感謝の意の表明」というRI会長とRI会長エレクトへの謝礼の項目が削除され、事務総長が報酬を受ける唯一の役員とすることが明記されました。(同 - P185) ロータリーの友でも「感謝の意の表明」には批判的な投稿がいくつか見られた注目の一件です。

他には、相互参加型のクラブのウェブサイトに参加することでメークアップとする方法が加えられました。(同 - P234) 具体的



な方法は示されていないので、どのように相互参加型を実現するかが鍵となるでしょう。

注意すべき点は、この手続要覧にある「推奨ロータリー・クラブ細則」(同 - P243)が既に、2005年1月改訂されていることです。次に、この点について解説します。

### 推奨ロータリー・クラブ細則の改訂

手続要覧の中には国際ロータリー定款、国際ロータリー細則、標準ロータリー・クラブ定款、推奨ロータリー・クラブ細則、ロータリー財団細則などが含まれていますが、この「推奨ロータリー・クラブ細則」が手続要覧の見本配布開始とほぼ同時期の2005年1月に新しい「推奨ロータリー・クラブ細則」日本語版が公開されました。(改訂は2004年11月のRI理事会ハイライトで発表)

よって、2004年度版「手続要覧」にある「推奨ロータリー・クラブ細則」は既に古いものとなりました。

大きく変更された部分は委員会構成に関する部分で、これは、先に発表された「クラブ・リーダーシップ・プラン」にある新しく示された効果的なクラブ運営の枠組みに基づいています。

委員会構成はこれまでの、社会奉仕委員会、親睦活動委員会という表記はなくなり、会員増強委員会、クラブ広報委員会、クラブ管理運営委員会、奉仕プロジェクト委員会、ロータリー財団委員会の5つの委員会とし、必要によっては他の委員会を組織できるとあります。

この改訂によって、クラブの実状にあった委員会構成が可能となる利点があります。特に会員数が少ないクラブにおいては新しいクラブ細則の採用で無理のない委員会構成が可能になるだけでなく、刻々と変化していく地域社会の実状に、クラブ細則の変更なしに対応できる柔軟性も出てくるでしょう。

「推奨ロータリー・クラブ細則」はクラブ定款、国際ロータリー定款・細則と矛盾しない範囲で各クラブが独自のものを作ることが可能なので、新しいクラブ細則を理解し積極的に導入する意味は大きいと思われます。

### 入手方法

#### 手続要覧 2004年

新しい「手続要覧」は、2004 - 05年度カタログ[019 - JA]にある注文用紙で日本事務局に申込み、請求された代金を前払いします。または、手続要覧専用注文書が当地区のホームページからダウンロード可能です。

番号：035 - JA / 品名：手続要覧 2004年 / 単価：\$7.00

#### 推奨ロータリー・クラブ細則

新しい「推奨ロータリー・クラブ細則」は、現在RIの日本語ウェブサイトからのみ入手可能です。

RIウェブサイト <http://www.rotary.org/> から 日本語(ページ右上) ダウンロード(ページ右上) クラブ・地区支援(ページのメニュー右側) 右列の上から5つ目

## 「スマトラ沖大地震支援」書き損じハガキ未使用テレカ 回収事業第1回集計報告



世界社会奉仕委員会  
委員長 齋藤修弥(室蘭)

会員の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃、世界社会奉仕委員会事業につき大変お世話になっておりますこと、厚くお礼申し上げます。さて、この度の「スマトラ沖大地震支援」書き損じハガキ未使用テレカ回収事業につき、多

大なご協力をいただき誠に有難うございました。別表のとおり29RC、2個人合計31件の暖かい申し出があり、換金の結果書き損じハガキ235,102円、未使用テレカ146,820円両者合わせた合計金額は381,922円となりました。早速2510地区ガバナ―事務所を経由して国際ロータリーに送金いたしました。その後の現地の報道を見るにつけ、支援活動は長期間にわたって行う必要性を痛感しております。従って今後とも引き続き回収事業にご協力のほど宜しくお願い申し上げます。尚、第2回の締め切りは本年6月末を予定しております。この度のご協力本当に有難うございました。

### 書き損じハガキ / 未使用テレカ回収状況

2月8日現在

	月日	ロータリー名	官製ハガキ	往復ハガキ	500円テレカ	1,000円テレカ	合計	その他
1	1月4日	江 差	80	2	71	4	157	34
2	1月4日	個 人 1	82				82	
3	1月25日	江 別		13	2		15	
4	1月26日	滝 川	234	4			238	
5	1月27日	様 似	108				108	
6	1月27日	留 萌	303		21	1	325	
7	1月27日	長 沼	408	19			427	
8	1月27日	室 蘭	592	54	130	2	776	66
9	1月28日	長万部(1回目)	201				201	
10	1月28日	余 市	192	1	23	1	217	
11	1月28日	登 別	178	1			179	
12	1月30日	苫 小 牧	66		24	2	92	2
13	1月30日	白 老	153		1		154	
14	1月30日	小 樽 南	164			1	165	3
15	1月31日	当 別			2	2	4	1
16	1月31日	個 人 2	171	1	3		175	
17	2月1日	函 館	510		26	1	537	
18	2月1日	函 館 五 稜 郭	275		6		281	
19	2月1日	函 館 北	109		32	1	142	
20	2月1日	函 館 亀 田	21		20		41	
21	2月1日	札 幌 北	109		32	1	142	
22	2月1日	新 札 幌	138		7	5	150	6
23	2月1日	室 蘭 東	51	18	37		106	2
24	2月1日	苫 小 牧 東	219				219	
25	2月2日	小 樽	245		43		288	切手
26	2月2日	札 幌 南	191	1	40	4	236	32
27	2月2日	妹 背 牛	124				124	
28	2月3日	由 仁	87	26	3		116	
29	2月3日	上 磯	459				459	
30	2月3日	長万部(2回目)	90				90	
31	2月4日	札 幌 東	101		2		103	20
		合 計	5,661	139	525	24	6,349	166





## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 地区大会記録講演から

- |   |   |
|---|---|
| 「宇宙から見た人類の未来」 畚野信義<br>2004 10p (D.2650)       | 「変わる日本」 唐津 一 2004 11P (D.2720)                  |
| 「5坪のラーメン屋から上場企業への物語」 神田 正<br>2004 4p (D.2570) | 「最近思うこと」 山東昭子 2004 5P (D.2830)                  |
| 「エネルギーの窓から」 近藤耕二<br>2004 12p (D.2670)         | 「日本文化とグローバル化」 河合隼雄<br>2004 20p (D.2680)         |
| 「切に生きる」 瀬戸内寂聴 2004 11p (D.2670)               | 「神奈川からスポーツルネサンスを」 春口 廣<br>2004 5p (D.2590)      |
| 「心の健康とロータリー」 佐藤忠広<br>2004 11P (D.2540)        | 「歴史の使い方～日本の明日を歴史に見る～」 堺屋太一<br>2004 14p (D.2590) |

[上記申込先：ロータリー文庫 コピー]

## 2005シカゴ大会プロモーション委員会からのお知らせ

2005シカゴ大会プロモーション委員会  
国際ロータリー元理事 板橋 敏雄

プロモーション委員会では、全世界のRCの会長・会長エレクトのためのタイムカプセルを用意しておりますので、是非ともクラブ会長・会長エレクト様のご参加を期待いたしております。

そのシカゴ大会の締め切り3月31日が迫って参りますので、各クラブへの参加奨励をガバナーより再度お願い申上げる次第であります。

プロモーション委員会からの速報によりますと、2月10日締めの登録数は、全世界で32,000名その内日本からは、1,660名と成っています。日本の場合、3月31日が勝負の時と存じますので、是非とも各クラブへご要請賜り、出来ましたなら、各クラブの登録数について御掌握頂きたくお願い申し上げます。

登録料は、ロータリアンご夫婦は、お二人でUS \$ 450.00 ロータリアン単身にて、US \$ 275.00 です。登録は、登録用紙にご記入の上、クレジットカード(番号等記入)、現金の場合は日本事務局へ円貨でご送金頂くだけで、簡単に登録できますので、宜しくお願い申し上げます。

(財)ロータリー米山記念奨学会 2005年2月10日発行

# ハイライトよねやま 60

## 1. 寄付金速報 下期寄付情報

1月までの寄付金は、前年同期と比べ3.7%減、約4千万円の減少でした。普通寄付金が3.0%減、特別寄付金が4.1%減です。この現状を少しでも改善するために、今月および来月に寄付金増進タスクフォースが開催されます。寄付金減少の現状と原因を分析し、増進方策と今後の奨学事業について協議する予定です。寄付金・表彰制度に関するご意見などございましたら、事務局までお寄せください。2005年もより一層のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 2. 2005 - 06 年度ガバナー・エレクト/米山奨学委員長合同セミナー開催報告

2月3日、東京・品川の高輪プリンスホテルにて、ガバナー・エレクトと次期米山奨学委員長を対象とした合同セミナーが開催されました。昨年まで、ガバナー・エレクトセミナーは6月下旬の理事会・評議員会終了後に実施していましたが、参加者から「時期が遅い」との声が多く、今年は2月初旬に、初めて米山奨学委員長セミナーと合同で実施することとなりました。



### 【ガバナー・エレクトセミナー】

4グループに分かれてのグループディスカッションでは、米山奨学事業の目的、選考基準、寄付増進の方策など、多岐にわたるテーマが議論されました。発表では、「本来の米山奨学制度の目的からすると、少数精鋭で優秀な学生を選ぶべきではないか」「一カ国に集中するのではなく、より多くの国の学生を支援するよう配慮が必要」「理解促進のための資料は極力シンプルに」「寄付増進には税制の恩典をもっとアピールする」など、さまざまな意見が述べられましたが、現地募集採用型奨学金については、慎重な意見が目立ちました。

### 【次期米山奨学委員長セミナー】

3名の米山奨学委員長がパネリストとなって、地区での取り組みや現場の工夫が語られました。

山本和雄氏(2660/大阪なにわRC):「選考と学校訪問について」

地区委員全員での大学訪問、選考方法の改革によって「ロータリアンが本当に応援したい奨学生」の採用を実現した事例紹介。

林 和夫氏(2610/富山みらいRC):「前年度個人平均寄付額アップの工夫」

寄付金データなど米山奨学会から送られる情報を活用した実践的な寄付増進への取り組みを紹介。また、クイズ形式の「米山 x テスト」など独自の工夫も披露。

藤田鋡三氏(2630/岐阜城RC):「奨学生の卓話...反響を生むために」

地区米山奨学委員会で企画した「米山奨学生による二胡コンサート」が大変な人気を博し、卓話の申込みが殺到。ひたむきな姿が感動を呼び、寄付にもつながった理解推進事例を報告。



なお、出席者アンケートでは、ガバナー・エレクト、地区米山奨学委員長ともに、8割近くが「合同開催がよい」との回答でした。本セミナーの報告書は、3月に発行予定です。

### 3. 米山奨学事業新制度を考える 韓国の大学事情視察訪問記

昨年12月21日、台湾学友会総会出席（ハイライトよねやま59号参照）の帰途を利用し、現在検討中の2006年度制度改編の中でも注目度の高い「現地募集採用型奨学金制度」の調査のために、韓国を訪れました。米山奨学会は、台湾・韓国において、現地の米山奨学会学友会と共同で募集・選考を行い、上級研究者を日本に招聘する「SY-A（Alumni：同窓会）特別米山奨学金プログラム」を実施しています。韓国のSY-Aでは、採用がソウルなど大都市に偏っているといった批判もあり、今回は韓国地方都市の現状を確かめたいと、韓国学友会会長の安<sup>アン</sup>熙<sup>ヒドゥ</sup>道<sup>ド</sup>さんの協力を得て、江原道・江陵大学を訪問しました。

ソウルから東へ150キロ、非武装地帯をはさんだ北朝鮮に最も近い江陵市は、朝鮮半島の歴史と儒学伝統文化の街、豊かな自然に囲まれた観光地です。また、南北分断が続く中、“漢江の奇跡”の発展に取り残された地域でもあります。国立の総合大学である江陵大学では、一昨年にSY-Aで宮崎大学に留学した陳<sup>ジン</sup>徳<sup>トク</sup>姫<sup>ヒ</sup>教授（世話クラブ・延岡東RC）の出迎えを受け、日本学科の学生約40人に米山奨学事業と日本の留学事情についての説明を行いました。



韓国・江陵大学での米山奨学事業説明会

「地方大学に日本留学の情報が少ない」「現在の米山奨学制度では、ほとんどチャンスがない」「儒教文化の中心で育ったわれわれに日本で学ぶ夢をかなえて欲しい」と矢継ぎ早に質問が寄せられ、2時間の説明会もあっという間に終わりました。学生の輝く目、真剣な質問、礼儀正しい対応、大学キャンパスで久しく感じなかった学生の魂の躍動感、若者の夢と誇りを身近に感じる感動のひとつでした。

SY-Aで培ったノウハウを生かし、今後、実施が検討される新しい現地募集採用型奨学金制度。それを通じて構築を試みる“知的コラボレーション”のネットワークは、このような日本の大学（鹿児島・新潟・福井県立大学）と連携している海外の地方大学との協働の中で、根付いていくのかもしれませんが。

（事務局長・宮崎幸雄）

### 4. 被災した母国を支援するために スリランカ出身の米山奨学生・学友が津波復興支援

昨年12月のスマトラ沖地震に伴うインド洋大津波、その甚大な被害に苦しむ母国を支援するために立ち上がった米山奨学生・学友たちがいます。

その中の1人、スリランカ出身の米山学友、ナリン・ラトナヤケさん【2002 - 03年/北海道大学大学院/札幌西北RC】は、札幌の留学生で組織する日本スリランカ交流会の一員として街頭募金に立ち、ラジオ番組で支援を訴えるなど、津波で親を亡くした子どもたちのために活動しています。また、同じくスリランカ出身の米山学友、ナディーカ・エディリシンハさん【2002 - 04年/流通経済大学/龍ヶ崎中央RC】と、現役奨学生、ジャナカ・ジーワナさんは、世話クラブの龍ヶ崎中央RCとともに、母国の支援活動を始めています。

津波被害に関する奨学生・学友の活動情報は、3月初旬に米山奨学会ホームページ（<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>）に掲載予定です。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。  
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

（財）ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯<sup>みね</sup>・野津<sup>のづ</sup>・大庭<sup>おおば</sup>  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階  
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281  
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー				ポール・ハリス・フェロー			
深川 R C	成田 昭彦	会員	12月24日	栗沢 R C	黄瀬 和弘	会員	12月24日
栗沢 R C	小山 利雄	会員	12月24日	栗沢 R C	本庄 昭良	会員	12月24日
栗沢 R C	鈴木 正夫	会員	12月24日	栗沢 R C	石川 哲博	会員	12月24日
留萌 R C	中川 勝美	会員	12月24日	留萌 R C	明澤 正樹	会員	12月24日
留萌 R C	清水 陞	会員	12月24日	札幌東 R C	福澤 勝守	会員	12月24日
札幌東 R C	松宮 國彦	会員	12月24日	札幌西北 R C	鈴木 伸哉	会員	12月24日
札幌東 R C	須田 幸男	会員	12月24日	砂川 R C	藤田 諄	会員	12月17日
滝川 R C	川口 義弘	会員	12月24日	滝川 R C	深澤 和範	会員	12月24日
滝川 R C	中垣 陽一	会員	12月24日	滝川 R C	松橋 和博	会員	12月24日
滝川 R C	佐藤 佳朗	会員	12月24日	札幌幌南 R C	鎌田 洋	会員	12月31日
滝川 R C	鈴木 忠雄	会員	12月24日	札幌幌南 R C	福田 洋	会員	12月31日
滝川 R C	中島 誠一	会員	12月24日	札幌幌南 R C	五十嵐政三	会員	12月31日
滝川 R C	中島 健	会員	12月24日	札幌幌南 R C	熊坂 峻	会員	12月31日
滝川 R C	山根 英治	会員	12月24日	札幌幌南 R C	高橋 一雄	会員	12月31日
札幌幌南 R C	板橋 俊	会員	12月31日	芦別 R C	石岡 雅	会員	1月21日
札幌幌南 R C	土谷サトル	会員	12月31日	芦別 R C	大西 武一	会員	1月21日
札幌幌南 R C	中島 勉	会員	12月31日	芦別 R C	中本 良吉	会員	1月21日
				伊達 R C	荻野 秀二	会員	1月21日
				伊達 R C	辻田 郁哉	会員	1月21日
				栗山 R C	太田ヒロコ	会員	1月28日
				栗山 R C	関 吉一郎	会員	1月28日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者				米山功労クラブ			
美唄 R C	城野 裕好	会員	1月31日	新札幌 R C	中西 泰司	会員	1月31日
函館東 R C	菅原 徳夫	会員	1月18日 (8)	苫小牧 R C	圓谷 敏彦	会員	1月27日 (2)
函館東 R C	矢島 千穂	会員	1月25日 (3)	苫小牧東 R C	松原 寛	会員	1月31日
札幌東 R C	平 良一	会員	1月31日	苫小牧北 R C	伊藤 竹雄	会員	1月27日 (2)
札幌北 R C	深浦 信吾	会員	1月11日				
新札幌 R C	伊藤 豊	会員	1月31日	札幌 R C			1月13日
				札幌東 R C			1月31日

ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願ひます。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願ひればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

## 1月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	05.1.31	増減内	内女性	
1	深 川	3	40	40	0	1	85.59
	羽 幌	4	47	47	0	1	83.20
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	72.50
	小 平	4	14	14	0	0	71.43
	留 萌	3	59	54	- 5	0	90.52
小 計			170	165	- 5	2	80.65
2	赤 平	4	34	32	- 2	2	90.91
	芦 別	4	54	50	- 4	0	82.38
	砂 川	4	54	52	- 2	0	92.04
	滝 川	4	109	111	2	2	72.00
小 計			251	245	- 6	4	84.33
3	美 唄	4	42	43	1	0	89.47
	江 別	3	43	40	- 3	1	86.72
	江 別 西	3	37	36	- 1	3	87.96
	岩 見 沢	4	94	96	2	0	90.57
	岩 見 沢 東	3	37	39	2	3	83.80
	栗 沢	3	26	25	- 1	1	88.00
	栗 山	4	29	30	1	2	90.30
	当 別	4	38	38	0	1	84.21
	小 計			346	347	1	11
4	札 幌	3	123	130	7	0	98.23
	札幌あけぼの	4	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	3	24	23	- 1	4	84.85
	札 幌 北	4	49	46	- 3	5	89.53
	札幌モーニング	4	54	56	2	0	71.29
	札 幌 西	3	69	73	4	3	91.14
	札 幌 西 北	4	48	50	2	2	92.19
	札 幌 手 稲	4	39	42	3	1	100.00
	小 計			422	436	14	16
5	札 幌 東	4	125	125	0	0	97.64
	札 幌 清 田	3	26	28	2	6	100.00
	札 幌 幌 南	3	69	71	2	0	100.00
	札幌真駒内	4	44	45	1	2	89.04
	札 幌 南	3	91	96	5	0	98.75
	札幌大通公園	3	19	20	1	4	76.66
	札幌セントラル	3	19	16	- 3	4	86.30
	新 札 幌	4	36	33	- 3	1	86.02
	小 計			429	434	5	17
6	岩 内	4	33	33	0	0	78.70
	倶 知 安	3	54	54	0	3	70.00
	小 樽	3	74	76	2	0	84.29
	小 樽 南	4	86	84	- 2	0	83.65
	小 樽 銭 函	3	23	25	2	3	88.00
	蘭 越	3	14	13	- 1	0	78.50
	余 市	3	43	43	0	4	90.00
小 計			327	328	1	10	81.88

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,136人  
 当月末会員数(女性) 3,144(89)人  
 増加会員数 8人  
 当月平均出席率 83.88%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	05.1.31	増減内	内女性	
7	千 歳	4	65	63	- 2	2	75.30
	千歳セントラル	3	30	29	- 1	0	85.10
	恵 庭	3	51	51	0	0	77.80
	北 広 島	3	19	19	0	2	84.32
	長 沼	3	18	18	0	3	88.90
	由 仁	4	15	15	0	0	90.00
	小 計			198	195	- 3	7
8	え り も	4	24	23	- 1	0	90.22
	三 石	3	17	17	0	1	88.20
	様 似	3	19	18	- 1	1	67.54
	静 内	3	67	70	3	0	84.90
	浦 河	3	40	40	0	1	78.33
	小 計			167	168	1	3
9	伊 達	3	56	58	2	0	79.31
	室 蘭	4	51	53	2	0	81.73
	室 蘭 東	4	43	43	0	0	91.87
	室 蘭 北	3	37	37	0	2	100.00
	登 別	3	39	40	1	2	82.50
	洞 爺 湖	4	10	9	- 1	0	88.90
	小 計			236	240	4	4
10	函 館	4	101	100	- 1	0	79.94
	函 館 亀 田	3	42	48	6	1	79.86
	森	3	43	43	0	0	68.00
	七 飯	3	24	24	0	0	79.10
	長 万 部	3	13	13	0	0	76.90
小 計			223	228	5	1	76.76
11	江 差	4	16	17	1	0	76.70
	函 館 五 稜 郭	4	68	64	- 4	0	90.32
	函 館 東	3	50	46	- 4	7	80.74
	函 館 北	4	37	37	0	0	77.86
	上 磯	4	29	29	0	3	65.60
	松 前	4	9	9	0	1	66.67
小 計			209	202	- 7	11	76.32
12	白 老	3	29	26	- 3	0	78.00
	苫 小 牧	3	56	59	3	0	76.81
	苫 小 牧 東	3	32	32	0	3	89.58
	苫 小 牧 北	3	41	39	- 2	2	89.47
	小 計			158	156	- 2	5
合 計			3,136	3,144	8	89	83.88



## 掲 示 板

### 例会の変更について

#### 栗山 R C

- 3月1日(火) 月間テーマにちなんで(通常例会)  
3月8日(火) 夜間例会、磯野会員指導による  
会員有志の「そば打ち」試食会  
18:00～ 於:パラダイスヒルズ  
3月15日(火) 会員卓話(通常例会)  
土谷ガバナー補佐卓話  
3月19日(土) R I 100周年にちなんで  
栗山近隣在住の外国の人々との食事懇談  
会 18:00～ 於:パラダイスヒルズ  
22日の例会を19日に繰り上げて22日  
は休会  
3月29日(火) 特別休会

#### 苫小牧東 R C

- 3月10日(木) 夜間移動例会 18:00～ 於:「鳥亭」  
3月31日(木) 休会日変更・4月7日に変更  
4月1日(金) 例会日変更 3月31日(木)の例会変更  
～苫小牧 R C と合同例会～  
12:30～ 於:グランドホテルニュー王子  
4月7日(木) 休会・3月31日振替分

#### 当別 R C

- 3月22日(火) 休会\*  
3月29日(火) 夜間例会 「新入会員歓迎会」  
18:00～ 於:田西会館

#### 室蘭東 R C

- 3月23日(水) 夜間例会 18:30～ 於:芝楽寿司  
3月30日(水) 休会

注)\*定款第5条第1節に基づく休会

### ガバナー 2月号の記載について

p11 「ガバナー補佐会議報告、第3グループガバナー  
補佐活動報告書・計画書」中の栗山 R C、創立  
35周年記念式典について、当方の手違いにより  
平成17年5月20日と掲載しましたが、正しくは  
平成17年5月21日(土)です。お詫びして訂正致  
します。

### ガバナー事務所からのお知らせ

勝手ながら3月4日(金)は事務所を休みとさせていただきます。よろしく願い致します。

## 新入会員のご紹介



今井 章夫  
千歳セントラル R C  
1月11日入会



支部 英孝  
江別西 R C  
1月11日入会



小西 昌洋  
岩見沢 R C  
1月14日入会

3月・4月 地区カレンダー

3 月 世界ローターアクト週間(3/13を含む1週間)		4 月 ロータリー雑誌月間	
1(火)		1(金)	
2(水)		2(土)	
3(木)		3(日)	
4(金)		4(月)	
5(土)		5(火)	
6(日)	地区研修セミナー(ロイヤルホテル)	6(水)	
7(月)		7(木)	
8(火)		8(金)	
9(水)		9(土)	
10(木)		10(日)	地区協議会(札幌パークホテル)
11(金)		11(月)	
12(土)	函館五稜郭35周年記念式典(函館ロイヤル)	12(火)	
13(日)		13(水)	
14(月)		14(木)	
15(火)		15(金)	
16(水)		16(土)	
17(木)		17(日)	
18(金)		18(月)	
19(土)		19(火)	
20(日)	春分の日	20(水)	
21(月)		21(木)	
22(火)		22(金)	
23(水)		23(土)	
24(木)	恵庭RC35周年記念式典(恵庭市民会館)	24(日)	
25(金)		25(月)	
26(土)	財団米山セミナー(ロイヤルホテル)	26(火)	
27(日)	会長エレクト研修セミナー(ロイヤルホテル)	27(水)	
28(月)		28(木)	
29(火)		29(金)	みどりの日
30(水)		30(土)	
31(木)			



# ROTARY

Vocational Service  
100 Years

[www.rotary.info](http://www.rotary.info)



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

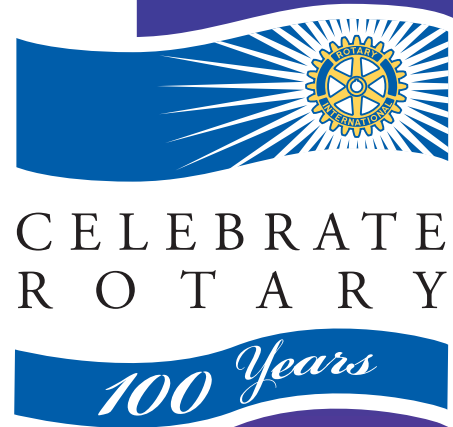
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F  
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512  
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナーs LETTER .....	3
ガバナー日記 .....	4
2005年国際協議会に出席して .....	7
地区チーム研修セミナーの報告 .....	8
国際ロータリーのテーマ“超我の奉仕” .....	9
4月はロータリー雑誌月間です .....	10
ロータリーの友をさらにEnjoyしましょう .....	11
地区ロータリーの友委員会の存在意義 .....	12
ロータリー100周年記念事業特集 .....	13
RJW (ロータリー・ジャパン・ウェブ ニュース) ／ロータリー文庫通信 .....	22
国際ロータリー第2510地区 ローターアクト 2004-2005年度第3回会長・幹事会開催 .....	23
2005-2006年度 会長エレクト研修セミナー 地区ロータリー財団セミナー・地区米山セミナー .....	24
地区委員会活動報告 ・親業訓練入門開催報告 .....	25
・地区ロータリーの友委員会報告 .....	25
・2004-2005年度第2回 地区クラブ奉仕委員会報告書 .....	26
・ノンカイRCキティサック元会長、キティボン会長 インタビューレポート .....	27
ハイライトよねやま61 .....	28
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます 掲示板／ガバナー事務所からのお願い .....	30
2月会員増減数・出席率報告 .....	31
新入会員のご紹介／訃報 .....	32
4・5月地区カレンダー .....	33

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.10  
2005.4



## ガバナー・ノミネーの選出手続きの変更

「手続き要覧2004年」のR I細則第13条 ガバナーの指名と選挙【R I細則13.010.ガバナー・ノミネーの選出】によると、「地区はノミネーを、ガバナーとして就任する日の直前24ヶ月以上30ヶ月以内に選出するものとする」とあります。

つまり、R I第2510地区においても、2005年6月30日までにガバナー・ノミネーの選出を行わなければなりません。

2007～2008年度

● ● ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い ● ●

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄

次期地区ガバナー指名委員会

委員長 岩城 秀晴

2007～2008年度地区ガバナー・ノミネー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区クラブは6月15日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもって推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミネー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1頁～6頁及び第8節の資格条件に適していることを要します。

# Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

## 雑誌月間に思う

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



今年度の地区目標の一番目に、ロータリアンとしての資質を高める努力を奨励しました。少なくとも月に一度はロータリーに関する情報に目を通して頂きたいとお願いを致しました。

R Iの機関雑誌は「ザ・ロータリアン」でありますし、R I理事会が承認した雑誌は「ロータリーの友」であります。これは我々ロータリアンにとっては購買義務が課せられています。日本のロータリアンの大多数が「ザ・ロータリアン」でなく、「ロータリーの友」(「友誌」)を購入しておられると思います。私は最近「友誌」が読み易くなったと思っている一人であります。指定記事で会長の考え方や国際的な動きが判ります。写真や地区のたより、わがまちわが地区、友愛の広場等で他地区の情報が入ります。云いたい、聞きたいコーナーで会員のロータリーに対する思いが伝わって参ります。風紋ではロータリアンの奉仕に対する考え方を学ぶことが出来ます。また基本の樹は新入会員にとっても、復習してみたい会員にとっても大変重宝な記事だと思えます。

2003 - 2004年2510地区ロータリーの友委員会年報に「友誌」に関するアンケート結果が記載されています。対象は地区内各クラブの雑誌(ロータリーの友)委員長さんで回収率97.2%です。その中に委員長さんが友誌をどのように読んでいるのだろうか。毎号楽しみにしている割合は24.6%、一通り目を通して

る割合は71%で殆どの方が読んでいました。しかし毎月友誌の内容を簡潔に会員に紹介しているクラブは39%で半数に満たない現状であります。委員長宛には会員より早く届くことが原則になっていますので是非ご活用をお願いいたします。友誌についてのご意見としてはカラー写真が多く目を引く、読み易くなった、毎号良く工夫されている、満足している等、肯定的な意見の多い中、奉仕活動の実践例や全く新しい取り組みをしているクラブの内容を紹介して欲しい、ロータリアン以外の方が読んでも興味を引く内容が欲しい、総じて人生の教科書的硬いイメージ、目立つ目次案内が必要等、建設的なものも多く参考になりました。

友誌が国内のロータリーの情報源だとすれば、第2510地区・月信は地区内の情報に役立つものかと思えます。特に今年度はロータリー100周年に因んで表紙に細工がしてあり、13冊まとめると背表紙が虹のようなイメージに工夫されています。目に止まった時に再度読み返して頂けると参考になると思えます。

雑誌ばかりでなく、ロータリー100周年記念に発表された「奉仕の一世紀」則題にロータリー物語とついておりますが日本語訳も読み易く、ロータリーの歴史を知る上では貴重な一冊だと思えます。まだお読みでない方には是非お勧めしたいと思っております。いずれにしろ、どんな立派な雑誌や書籍でも良いと思われる記事もあれば気にいらぬ部分も含まれていると思いますが、関心を持って読めば自分の血になり肉になると考えます。

## ガバナー日記

2月19日(土) ロータリー財団国際親善奨学生総合オリエンテーション

今回は奨学生の留学先が決まったので、留学に対する最後の心構えや手続き、特にロータリーの国際親善使節としての意義を考えてもらう目的で開かれた。奨学生9名は3ヶ月~2年間、アメリカ、カナダ、英国、イタリア、オーストリア、インドネシアに分かれて留学をする。瀧川哲夫委員長の司会でプログラムが進められたが奨学生諸君は自己紹介で留学の目的、その後の進路、奨学生に選ばれたことへの感謝等、どうどうとアピールし、大変心強く感じた。私は奨学生の意義と義務について再確認の目的で話をさせて頂いた。

校友会からも自分の体験や留意点についてお話があった。夕食後はケーススタデーが行われる事になっている。残された期間を更に万全の体制を整え、有意義な留学を楽しんでもらいたいと思う。

2月23日(水) RI創立100周年記念日

今日は100周年の中でも最も重要な日である。今年度の始めからこの日に地区内一斉に行事を行い、ロータリーを祝って頂くようお願いをしてきたが、第9グループでは6クラブのロータリー家族が一堂に集い「ロータリーを祝う会」を開いて頂いた。例会は私からのロータリーの組織が出来上がるまでと、ロータリーの現状、特に世界に対する貢献について地区内各クラブがそれぞれの地域に奉仕活動を行っていることについて、お話をさせて頂いた。最後に登別クラブは元よりグループ全員が地区運営に協力していただいていることに謝辞を申し上げた。懇親会は各クラブ、各々余興がでて爆笑のうちに楽しい会を終えた。鈴木久雄ガバナー補佐、室蘭東クラブの皆さんに御礼を申し上げる。

2月24日(木) 第3回ガバナー会会議 11:00~15:00 高輪プリンスホテル

仲田議長の進行役で進められた。

1. 台風23号・新潟中越地震災害義援金報告

総額及び当地区の義援金額については月信No7、6頁に記載しているが今回は34地区、各クラブの寄付金一覧が資料として示された。当地区は60クラブから3,647,579円であった。

新潟・横山ガバナーから謝辞と水害による三市の学校備品購入と地震災害に対しては委員会をもうけて各RCに配分を行った。(各クラブに同額援助、奨学補助等)

2. 2004年大阪国際大会剰余金の受け取りと使途

ガバナー会に2,300万円が配分された。100周年記念大阪大会を記して34地区旗を作る案が決まった。また情報センター・ジャパンの立ち上げ資金としても使用される。

3. ロータリー・情報センター・ジャパン

現在ロータリーの友とロータリー文庫が運営されている。これから重要視されているロータリージャパン・ウェブ(RJW)が宙に浮いた状態になっているが、この3者の管理・運営を一元化することで、経済的にも効率化が図られる。軌道に乗るまでは各会員、年200円の負担増となるが、効率化が図られれば当然負担は軽くなる。ガバナー会は賛成の立場。

4. ガバナー会規則について

ガバナー会は地区ガバナーを会員として組織されているので任期は1年であるが、ガバナー会の中に多年度に亘る委員会が4つある。本来のガバナー会のあるべき姿に戻すべきではないか、との意見があり、規約改定案が検討されている。

5. スマトラ沖地震と津波災害義援金協力

RIが募金を支援することになっており日本事務局財団室を通じて集められており、ガバナー会では詳細は把握出来ていないが3月31日迄なので各クラブに協力をお願いする。UNISEF、姉妹クラブ、双子クラブに送金した分も調べてみる。

6. モンゴル緑化運動協力

韓国からの要請で日本と韓国の全ロータリアンが参

No. 23

Date 05. 4. 1

加して、100周年記念事業として南戈壁砂漠に植林をして黄砂減少と砂漠化防止を計画するものである。仲田議長がモンゴルに調査目的で訪問予定。

#### 7. ガバナー会青少年交換委員会

4月22日～23日研究会「東京会議」開催、8分科会で討論予定。国際的に問題になっている「セクハラ」の対応が急がれる。

#### 8. ガバナー会青少年育成委員会

各地区のプログラムリストを3月15日までに集め、文科省に提出する。文科省では「キャリア教育実践プロジェクト」を立ち上げ中学校2年生に5日間以上の職場体験等を実施し、生きる力を身につける目的で調査研究を行う。

#### 9. 平和奨学生支援金と使途

34地区102,758人から15円を集め1,541,370円が入金になっている。当地区は47,040円を地区資金の中から負担している。これまではホストエリア6地区各10万円、ガバナー会から100万円の資金でまかなわれていたが、これがなくなる。使途は奨学生の広島と沖縄の修学旅行費とホストエリアのセミナーに支出されている。現在奨学生は国際キリスト教大学で就学しているが1期生7名は卒業、2期生9名、3期生7名で今年6名が入る予定である。

#### 10. ロータリー 100周年記念切手発行

80円切手が4月28日、郵便局から全国一斉に発売される。RIの「ロータリー 100周年記念運営委員会」よりの要請に基づき、特活ロータリー日本財団が申請者となり、外務省の推薦を得て発行が決定された。会員はこの切手を活用し、ロータリーの奉仕活動を広く世界に知ってもらうように尽力いただきたい。全国の郵便局で購入可能とのこと。(裏表紙にイメージ写真掲載)

#### 11. 全日本RYLA大会及びRYLAワークショップについて

D・2640、D・2650、D・2660、D・2680共同主催で2005年3月11日～13日、大阪市で開催され

る。本来は国際大会 関西 での開催予定で準備されていましたが許可されず、今回開催の運びとなった。大変意義のある大会、ワークショップであるが、当地区では既にRYLAは終了し予算も取れないのでクラブ単位での自費参加をお願いしたところである。2月23日現在まだ申込みはない。

#### 12. スペシャルオリンピック寄付状況

2月26日～3月5日、知的発達障害の冬期世界大会が長野で開催されているが世界86地域から82選手団が集い友情をはかっている。皆さんからの寄付を頂いたが34地区合計20,616,408円で当地区は22クラブから854,900円であった。御協力有り難うございました。

次回のガバナー会は5月に開催予定。またガバナー会の引継は7月9日の予定である。

3月4日(金) ロータリーの友委員会 18:00 ロイトン札幌

木下委員長の体調が戻られて初めての委員会となった。これまでの活動報告が行われた。

わがまち、わが地区への掲載、地区のたよりへの投稿が終了している。4月は雑誌月間であり、委員の方からの寄稿を依頼した。次年度は地区の財政問題からロータリーの友委員会がなくなる予定で、淋しさが語られた。

3月6日(日) 地区研修セミナー 10:30～15:30  
札幌ロイヤルホテル

塚原ガバナー・エレクトが2月18日～25日アナハイム国際協議会で研修を受けてこられた成果を表明される緊張のセミナーである。ステンハマーRI会長エレクトのテーマは“超我の奉仕”である。国際ロータリーがこれまでに造り出した最高の標語でありながら、これまでテーマとして一度も選ばれなかったものを選んだと述べておられる。またロータリーに継続性を求めておられる立場から強調事項も識字率の向上、水保全(保健と健康の改善を含む)、地域社会の奉仕、超我の奉仕の理解をあげられた。



塚原ガバナー・エレクトは地区目標を5つ掲げておられるが新しい世紀に向けていずれも大切なテーマであり、各RCの発展につながるものと考えられる。

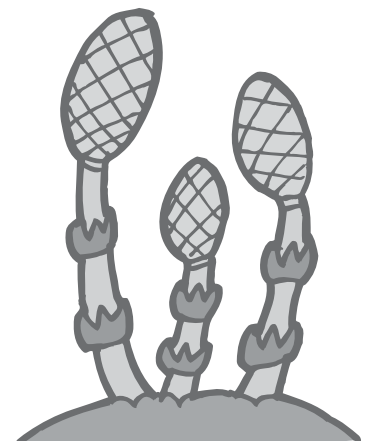
伊藤長英・地区研修リーダーは地区リーダーシッププランの説明の中で、クラブ・リーダーシッププランの考え方についても触れ、RCの強化を図る目的であると述べられた。遠藤正之・ロータリー財団委員長はロータリー財団地区セミナーハンドブック(2004年11月25日)の要点について説明されロータリーカードの申込み、利用を呼び掛けた。地区組織については地区予算と関連して質を落とさず簡素化をはかられた。地区予算についても会員数3,200人としているので厳しい執行となる。また公式訪問は4年ぶりに各クラブごとに行われる事となった。午後からは地区委員会委員長の自己紹介と活動計画が行われ閉会となった。

昼休みに伊藤・研修リーダーから2004年手続要覧でガバナー・ノミニーの選出時期の変更が指摘された。私は気づいていたが今年度は間に合わないのではないかと考えていたが、当日ご出席の塚原G.E、丸山G.N、次期指名委員長の岩城P.G、佐藤P.Gと御相談、4月号、5月号月信でクラブからの推薦をしてもらい、6月の指名委員会で選出の予定で手続きに入ることにした。今回は過渡期であり4月の諮問委員会に事後承諾をお願いする方法を取らせて頂く。

3月12日(土) 函館五稜郭クラブ35周年記念式典及び祝賀会17:00 函館ロイヤルホテル

ロータリー100周年の記念すべき年に重ね重ねお目出たいことである。函館市長、井上博司様、教育長金山正智様ご臨席の式典では光銭会長から記念事業として新設の私立図書館に立派な展示棚を寄贈、また在籍30年以上の会員11名の表彰が行われた。祝賀会は第10・第11グループから大勢のご参加があり友好クラブの東京日野RC、東京飛大野RCからもご出席があり盛大であった。函館白百

合学園高校の吹奏楽部の演奏で開幕、花をそえていただいた。光銭会長を中心に纏まりがあり、なごやかで、思いやりのある楽しい雰囲気であった。



## 2005年国際協議会に出席して



ガバナー・エレクト 塚原 房 樹 (札幌 東)

2月19日大会第一日目、アナハイムのヒルトンホテルの大会議室カリフォルニア・ボールルーム、世界166カ国からのガバナーエレクト529人、配偶者合わせて1,000名を超える午前の本会議で、RI会長エレクト、カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏より次のような2005 - 2006年度テーマに関する演説がありました。

『私はモダンであることを好みます。私はリサイクル(再生)を利用し、また継続性を推進したいと考えます。従って、私が選んだテーマは国際ロータリーがこれまでに創り出した最高の標語であるサービス アバブ セルフ「超私の奉仕」です。ロゴも必要です。私はここでもリサイクル利用し、国際ロータリーがこれまで創造した最高のロゴを選びました。私たちのトレードマークである「ロータリーの歯車」です』

これを聞いた瞬間、会場はいったん静粛に、次いで地鳴りのような感動の声が沸きあがりました。皆立ち上がり拍手が沸き起こり、止みませんでした。まさかロータリアンなら誰でも知っているロータリーの標語の一つ、サービス アバブ セルフ「超私の奉仕」がテーマに選ばれようとは。私も目頭が熱くなるのを覚えました。なおRIの強調事項には「識字率」と「水」問題が継続されました。

今回の国際協議会でロータリーの潮流が若干変わったように感じました。「職業奉仕」が見直されるようになりました。また財団主体の人的国際ボランティア

活動は、新世紀のロータリー運動においても大きな柱ですが、その一方地域社会への奉仕も強調されています。ロータリー財団は「毎年あなたも100ドルを」というキャンペーンを開始しました。ポリオ・プラスはまだ絶滅宣言は出来ません。しかし世界のロータリアンの多大な協力(6億ドルの寄付)に謝意が表明されました。

国際協議会では多くのことを学びました。しかし一番大きな収穫は言葉も、肌の色もロータリー観も違う世界166カ国から集まった529人のガバナーエレクト達と毎日3度の食事を共にし、共にロータリーを学んだことです。ロータリーは世界的な組織だということをつくづく実感しました。国際間の理解と親善の大切さを改めて学んだアナハイムの7日間でした。



国際ロータリー第2510地区 2005 - 2006年度

## 地区チーム研修セミナーの報告

と き：2005年3月6日(日)

10：30～16：00

と ころ：札幌ロイヤルホテル

ホストRC：札幌東RC

ホストクラブである札幌東RC小田切房之会長の歓迎挨拶と、遠藤秀雄ガバナーの点鐘によりセミナーが開始されました。

地区チーム研修セミナーの目的は「地区内の各クラブを支援するために地区内の指導者が結合力のあるチームを組むこと」とありますが、本セミナーもその主旨に基づいた内容で進行いたしました。

塚原房樹ガバナー・エレクトは挨拶に続いて、次年度RIテーマ「超我の奉仕」と次年度地区運営基本方針それぞれの発表とその内容についての報告を行いました。

伊藤長英(PG)地区研修リーダーは手続要覧2004による新地区リーダーシッププラン(DLP)の解説をされ、ガバナー補佐・地区委員会にその任務の重要性を示されました。次年度地区幹事、次年度ガバナー補佐と紹介が続き午前の部を終え、午後からは次年度地区委員会委員長の自己紹介・活動計画報告があり、それぞれが次年度に向け士気を向上させる実りある一日となったようです。





# 超我の奉仕

2005～2006年度 国際ロータリーのテーマ

1911年、ロータリアンは「超我の奉仕」という標語を熱意をもって採択しました。それは、この標語が、生まれたばかりの組織が発展の途上にある中、その理想を巧みに言い表していたからです。それから95年間、この標語は、私たちが人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和のために活動する上で、根底をなす動機となってきました。私たちの生活に内在するあらゆる事象と同じように、この標語を私たちは自然に受け入れることができます。来たる年度、すべてのロータリアンに「超我の奉仕」の真の意味をじっくりと考えていただく機会が与えられます。そして、この思いやりと寛容の精神に満ちた普遍的メッセージに、新たな思いを抱かれることになると思います。

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー  
2005～06年度 国際ロータリー会長

## 2005～2006年度 R I 強調事項

- ・識字率向上
- ・水保全
- ・地域社会への奉仕
- ・超我の奉仕の理解

国際ロータリー第2510地区  
2005～2006年度 ガバナー 塚原 房樹

## 地区の目標

1. 「毎年あなたも100ドルを」  
ロータリー財団にご協力ください。100ドルの寄付で次のことが可能となります。
  - ・ジンバブエの農村に四つの新しい井戸を掘り、数百人の村人を救えます。
  - ・インドで3人の白内障手術を行う。  
世界に誇る日本の米山記念奨学会もお忘れなくご協力ください。
2. 「充実したクラブを作ろう」
  - ・出席率の向上。ロータリーは参加することから始まります。
  - ・会員増強。1名かそれ以上の純増を計画してください。ただし会員の選考はクラブ細則に従い厳しく。悪貨は良貨を駆逐します。
3. 「R I テーマ “超我の奉仕” の実践」  
ロータリーの会員は皆選ばれた人たちです。その代わり当然『高貴の義務』が付いています。ロータリアンは選り抜かれたエリートです。したがって地域社会に“超我の奉仕”を実践しましょう。
4. 「職業奉仕の再構築」  
ロータリーの金看板は職業奉仕です。職業を通じた奉仕はロータリアンにも地域社会にも利益を与えます。職業奉仕の理解を深めましょう。
5. 「奉仕の新2世紀を迎えて」  
栄光あるロータリー100年の歴史を支えてきたものは邂逅と友情です。初心を忘れずに奉仕の源となる親睦を大切にしましょう。

## 4月はロータリー雑誌月間です



### 雑誌月間に寄せて

RI2510地区ロータリーの友委員会

委員長 木下 博(室蘭)

2005年3月14日 ロータリーの友常任委員・地区委員合同会議に参加した。

この会議は4月の雑誌月間をひかえて、永田農地区委員の『ロータリーの友委員会の改革と「ロータリーの友」編集改善の提案』をめぐる会議となった。

高野孫左衛門特別顧問

発議として、ロータリーの友誌発刊の歴史、役割など格調高く話された。

#### 1)歴史

1953年1月発刊、2003年1月創刊50周年、1980年7月公式地域雑誌。

#### 2)性格

「友」誌はロータリーの情報誌ではあるが、広報誌ではないロータリアンのテキストの意味付けがある

他のメディア、ガバナー月信、R J Wなどとのコラボレーションを考える

ロータリアンとの情報交流は、公式雑誌としての枠の中にある

会員の多様性(年齢、在籍年数、役職、職業、理解度など)を考える

ロータリー情報とは、綱領、モットー、四つのテストに基づく

#### 3)友委員会と地区委員

ガバナーが「友」誌作りをするべきだが、委任を受けた代行者が行う。

地区委員は「友」誌の広報並びに利用促進活動、加えて友事務所の出版物の利用促進活動をする

将来リーダーシップをとる人材として育成する。

永田 農地区委員

「ロータリーの友」はいい雑誌だが、よく読まれない。取り組みに問題。

#### 1)委員会組織は、正・副委員長、常任委員(編集経験者)、編集長のみ。

地区委員は不要、必要なら性格を明確にし、レポートや合

同会議を減ずる。

- 2)編集誌面改善は 毎号の主要記事が読み取れるような編集のメリハリ、Rotarian誌との連携強化、表紙のメッセージ機能の強化、縦書き横書き区分の明確化、ページ数の削減が挙げられる。グループ討議。5グループにわかれて永田委員の提案、雑誌月間での取り組み、地区での地区委員の位置、「友」誌の渡し方、R I記事の日本語訳などを討議。

星野和央常任委員

- 1)R Iの公式雑誌The Rotarian誌と対比して、「友」誌はR Iならびに「R」誌の意思、情報の伝達と日本におけるロータリー活動の情報提供、ロータリアンの交流をはかる役割があり、両者は100%の一卵性双生児ではない。
- 2)表紙のメッセージ機能について、表紙のスペースに配置する文字はシンプルでも内容をアピールする言葉に工夫したい。
- 3)次年度からの誌面構成の変更予定  
7月号に掲載する「ガバナー紹介」は1地区1ページから、2地区1ページに変更する。「ガバナー座談会」をテーマに応じたロータリアンによる座談会に変更する。ガバナーの誌面登場については新企画を検討中である。  
「Rotary at work」と「Rotary report」を一本化する。  
「わがまち わが地区」を廃止する。  
タテ組、ヨコ組の特徴ある誌面作りを、よりわかりやすく徹底したい。  
各地区、個別クラブ、ロータリアンからの投稿欄は、多様な受け皿を設け柔軟な対応で投稿者と読者との交流を図るため、統廃合は考えていない。  
ページ数はゆとりを持ちたい。
- 4)「読まれる友誌」「活用される友誌」  
編集発行者からみれば、ロータリアンの多様性からみて、企画や記事に対する興味や関心も微妙に異なっている。それぞれの立場で「友」誌の記事と出会い、ロータリー活動あるいは仕事や人生のなかで活用していただければよい。「友」誌のページをめくる中で、ロータリー活動とジャストフィットする記事を提供できれば、この雑誌の使命は果たされると思う。



## ロータリーの友をさらにEnjoyしましょう

ロータリーの友委員会

委員 齋藤元護（札幌南）

私は2001～2002年度岩城秀晴ガバナーのお誘いを頂いて、ロータリーの友委員会の地区委員を勤めさせて頂きました。

- ・毎月のロータリーの友を通読してレポートを提出
- ・年間6回、全国の地区委員会会合に出席
- ・「地区のたより」の企画と「わがまちわが地区」の原稿作成
- ・クラブ会長・雑誌委員長会議開催のお世話
- ・4月の雑誌月間には依頼を受けたクラブにて、ロータリーの友に関する卓話

以上、みなさまのご指導ご支援のもとに実行させて頂きました。

任期の終わりに当り、地区委員として最も大切なことはわが地区の会員みなさまにロータリーの友をより良く読んで頂き、その記事の中にその人なりの発見・共感そして感動を少しでも多く味わって頂くことですが、その為に私がどれだけ役立ったかを反省すると誠に不十分であったと心残りがありました。

幸いにして2002～2003年度小林博ガバナーのご英断に依り「ロータリーの友地区委員会」が発足し、私もその一員として3年間に亘り、いささかの奉仕をさせて頂いたことは有難いことと感謝しております。

次年度は残念ながら休止の止むなきに至りましたが、他日、ロータリーの友委員会地区委員の活動を支援するための組織として再開し、強力な活動を展開することを希望致します。

縁あってRCに入会した我々はロータリーの友に学び、また楽しみ、ロータリアンとしてより深い喜びを味わうようにありたいものと思う次第であります。



## 地区ロータリーの友委員会の存在意義



ロータリーの友委員会

委員 佐藤 公（札幌北）

2510地区にロータリーの友委員会が発足して3年目になる。国内34地区で雑誌委員会という委員会を設置しているのは当地区だけという。ましてや『雑誌』を『ロータリーの友』に置き換え委員会としたのも初のようなものである。このことをどう受け止めるか。斬新で革新的であると考えるのが、今まで例がないからまた存在価値がないから設置しない方がよいとするのか。

2005年2月23日にロータリー100周年祝う例会が行われた。わずか4人で始めたRCが120万人を越える会員の組織にまで拡大発展した。

20世紀という時代はロータリーのみならず政治も経済も「成長と力と拡大の時代」であった。しかし、21世紀は「心と感性と存在感」、つまり「人間性の開花が求められる時代」と大手経済研究所では予測している。

ロータリーも200周年（新世紀）に向かって変容しなければ発展は難しいと言えよう。RIのグレン・E・エステス会長は“100周年は未来を見つめ、新しい目標を決めて、新しい挑戦と向かい合うときでもあるのです”そして“新たな一步を踏み出す”ことが必要と語っています。さらに、“奉仕の2世紀に入るにあたって、私たちは組織として変革し、成長し続けなければなりません。私はロータリアンの歯車の新しい物語をつくるよう奨励します”とも言い切っている。（ロータリーの友2月号）

会員が雑誌「ロータリーの友」を購読することは3つの義務の一つとして挙げられている。“購読して読む”ということの意味することは重要である。企業であれば、社内報というものがあられ、社員に「配布される」が必ずしも全社員に読まれているとは限らない。しか

し、ロータリーの友は自動的に配布されるのではなく「会員の意志で購読し読む」ことなのである。この違いを理解しなければならない。

会員の3つの義務を体の栄養素で言うならば3大栄養素の一つだ。だから、生きるのに（会員であること、つまり、ロータリーが存続すること）不可欠な栄養素なのである。私はこれからのロータリーが組織として量、質とも発展するには組織の変革もさることながら、雑誌ロータリーの友やウェブなどを媒体とした「コミュニケーション」の在り方が左右すると思う。だから、ロータリーの友の「編集方針や編集委員の能力」が大きなカギを持っていると考えている。

話を地区の「ロータリーの友委員会」に戻そう。地区にはガバナーの直轄国内委員会として「ロータリーの友地区委員」が1名配属されている。地区委員は全国の合同会議出席やロータリーの友誌への寄稿が主な任務で、一人だけでは地区のロータリーの友または雑誌委員会への支援（雑誌月間の講演など）、ロータリーの友誌購読の利用促進などの支援活動は大変である。地区に委員会があれば委員が分担して活動できるキャパシティとアビリティがある。

ロータリーに大切な雑誌「ロータリーの友」が3大栄養素と理解しているならば、大義名分でなく会員に購読の必要性、メリットを分かりやすく、懇切丁寧に、根気よく継続して理解を図ることが大切である。その意味で、会員の、クラブのコミュニケーション・コミッティーとして地区のロータリーの友委員会の存在は大きな意義があると言えよう。

「誰もやらないからやる」は奉仕の「ロータリー精神」にも通じるものだ。



## ロータリー 100周年記念事業特集

2005年2月23日開催 地区一斉祝賀プログラム

2005年2月23日に開催された、「ロータリー100周年記念事業」の各クラブ及び各グループの祝賀会プログラム一覧表です。

多種多彩な事業についてご連絡・ご報告を頂いたクラブを順次掲載しましたが、締め切り後に届いた事業は次回号以降にも掲載致します。

### 合同祝賀例会・事業

クラブ名	記念事業	開催場所
赤平・芦別・砂川・滝川	記念合同祝賀例会	砂川パークホテル
江別・江別西	記念合同祝賀例会	江別市民会館
当別・札幌はまなす・札幌モーニング・札幌北	記念合同祝賀例会	ロイトン札幌
札幌西・札幌西北・札幌		
手稲・札幌あけぼの	記念合同祝賀例会	
札幌幌南・札幌真駒内	記念合同祝賀例会	ホテルライフオート札幌
岩内・倶知安・蘭越・余市	記念合同祝賀例会	
小樽・小樽南・小樽銭函	記念合同祝賀例会	
千歳・千歳セントラル・		
恵庭・北広島・長沼・由仁	記念合同祝賀例会	北広島プリンスホテル
伊達・室蘭・室蘭東・室蘭北・登別・洞爺湖	記念合同祝賀例会	蓬峯殿
函館亀田・七飯・函館北・上磯	記念合同祝賀例会	国際ホテル
白老・苫小牧・苫小牧東・苫小牧北	記念合同祝賀例会	

### 単独祝賀例会・事業

クラブ名	記念事業	開催場所
深川	記念祝賀例会	
羽幌	記念祝賀例会	
妹背牛	記念祝賀例会	
小平	通常例会	
留萌	記念祝賀例会・創立記念例会	風光館 石亭
美唄	記念祝賀例会	
岩見沢	記念祝賀例会	ホテルサンブラザ
岩見沢東	記念祝賀例会	
栗沢	記念祝賀例会	
栗山	通常例会 (記念事業開催予定)	
札幌	記念祝賀例会	
札幌東	記念祝賀例会	札幌東ロイヤルホテル
札幌清田	記念祝賀例会	ルネッサンスホテル
札幌南	記念祝賀例会・家族例会	

クラブ名	記念事業	開催場所
札幌大通公園	記念祝賀例会	
札幌セントラル	記念祝賀例会	
えりも	5月、記念オークション開催予定	
三石	新年会開催の際、オークション開催	
様似	3月11日に記念コンサート開催	
静内	記念祝賀例会	
浦河	記念祝賀例会・家族例会開催済み	
函館	記念祝賀例会・70周年記念例会	
森	記念祝賀例会	グリーンピア大沼
長万部	記念祝賀例会	
江差	記念祝賀例会	
函館五稜郭	記念祝賀例会	ホテル函館ロイヤル柏木
函館東	記念祝賀例会	
松前	記念祝賀例会	

ロータリー 100周年記念事業特集

妹背牛 R C



私共の創立記念日に夜間例会を開催しました。開会に当たり会長より100周年記念の想いが伝えられ、次いで幹事より、第2510地区遠藤ガバナ - の「ロータリー創立記念メッセージ」を代読し、先人の偉業に思いを寄せました。創立記念研修会として、世界で初めて R C を創設したポ - ル・ハリスを偲び「ビデオ：ポ - ル・ハリスの生い立ちと信念」(地区資料室より借用)で研修を致しました。歴史的時代の背景を偲び、時代の流れと現代にいろいろの想いを馳せて語り合いました。意義のある例会日となりました。

岩見沢 R C

事業名 国際ロータリー 100周年記念事業  
岩見沢「まち・元気ファンド」

国際ロータリーの100年を記念して特別事業、岩見沢「まち・元気ファンド」を開催致しました。

趣旨は、岩見沢のまちをもっと元気になりたいとの思いを持って芸術・文化・教育・地域づくり・人材育成・地域起こしなどの取り組みを実践している団体や、ボランティア活動・サークル活動をしている団体・グループで、活動資金が不足していたり、新たな活動の為に助成を希望している市内の団体に、資金を助成するという取り組みです。

助成する金額は、100年を記念し総額100万円とさせていただきました。平成17年1月10日から2月10日まで1ヶ月間募集した結果、18団体にエントリーしていただきました。

創立記念である2月23日(水)PM. 4:00からホテルサンプラザに於きまして公開審査会を開催し、各団体より取り組み・今後の展開等をプレゼンテーションしていただき、岩見沢 R C の会員と参加団体代表者の投票によって各賞が決定しました。PM. 6:30より表彰式を行い、その後エントリーされました団体・グループの皆さんと会員との交流会を開催し、お互いの苦勞話を話し合ったり、励まし合いながら新たな岩見沢の元気づくりを誓い合いました。



国際ロータリー 100周年記念事業

あなたの夢 実現します

**「まち・元気ファンド」**

募集開始のお知らせ

まち・元気ファンドとは?

2008年、国際ロータリー100周年記念事業の一環として、岩見沢地区に「まち・元気ファンド」を創設し、地域活性化と社会貢献を目的として、芸術・文化・教育・地域づくり・人材育成などの分野で活動資金が不足している団体や、新たな活動の為に助成を希望している市内の団体に、資金を助成するという取り組みです。

募集期間

平成17年1月10日(水)～2月10日(水)

公開審査会(表彰式・交流会)

日 時 平成17年2月23日(水) PM. 4:00～9:00  
会 場 ホテルサンプラザ 5F サンプラザ

申込先

岩見沢ロータリークラブ

〒070-0001 岩見沢市南1-1-1  
TEL 011-842-1111 FAX 011-842-1112

ICN 番 00000000-00-0000 ICN 番 00000000-00-0000



 ロータリー100周年記念事業特集

留萌RC

1. この記念日を、ロータリーに対する関心を高め、ロータリーの活動を知ってもらう絶好の機会でもあります。クラブ100周年記念事業委員会の企画により次ぎの2点を行いました。
  - a. 日刊留萌新聞（地方紙）に100年記念と留萌RC創立44周年記念の広告を掲載。
  - b. FMもえる（ラジオ）に清水陸会長が生出演し、ロータリー100周年と国際ロータリーの活動や、留萌クラブの活動をお話ししました。（2月23日午後12時20分より12時40分まで）
2. ロータリー100周年記念・留萌RC創立44周年記念ロータリー合同慶祝夜間例会の開催。

国際ロータリー会長メッセージ DVD放映がされました。

100周年記念事業委員会 事業報告

平成16年10月13日「100周年記念植樹会」

留萌クラブと留萌開発建設部様のご協力です深川留萌自動車道の、のり面に100本植樹を行う。



函館東RC

ロータリー創立100周年を祝い100%例会を目指し2月22日2000～2001年ガバナー補佐の戸嶋会員に「奉仕活動とは.....サービスに正解なし」と題して講話をいただきました。ロータリーとは「寛容」をもって「入りて学び、出でて奉仕する」という感慨深い話しでした。

その後テーブルディスカッションに移りテーブル毎に各々の考えを出し合いました。

同時に100%例会を計画しておりましたが、お陰さまで会員の協力により無事達成することが出来ました。





ロータリー 100周年記念事業特集

函館 R C

2005年2月23日世界中一斉に行われましたロータリー創立100周年「ロータリーを祝おう」の佳き日に因んで、前日の北海道新聞を利用しロータリーを知らない多くの人達のための広報活動を行いました。

新聞社担当者によれば、地域内138,000世帯、読者数300,000人とのことです。

紙上は一日限りと考え、他にカラー印刷で会員各店社、高校・銀行ロビー・病院待合等に相当期間掲示出来るものと考えております。

ロータリアン用ではなく、ロータリーを知らない人達のために制作したつもりですが、永年染み付いたロタキチ色がでてしまい如何なものかと気遣っております。

“まずは行動から”と信じ、ロータリー発展の一助になればと念じております。厳寒の砌、御身專一に願い申し上げます。



江差 R C

国際ロータリー創立100周年を迎えた2月23日、100周年記念例会を開催しました。

会員26名が出席しゲストに江差町広報課、北海道新聞江差支局長様をお招きし改めてロータリーの社会奉仕、国際奉仕について再確認しさらに今後における課題として、子供達と家庭環境をめぐり全国的に深刻な問題として、児童育成や食生活を大事にする「食育」に積極的に取り組むことを確認しあった。



深川 R C

私共のクラブは夜間例会とし統一例会プログラムは「ポール・ハリスの足跡を訪ねて - 没50周年記念 - 」及び「グレン E・エステス R I 会長のメッセージ」の2本のビデオ（合わせて30分間）を放映し、ロータリー創立の背景や経緯を学びエステス会長のロータリー発展の次世代への期待と奉仕の実践を督励するメッセージ（このビデオは、地区の山田信夫 I C 委員長が C D から編集して下さったもの）を受けとめ、93才のチャーターメンバー越智丑次会員の乾杯の音頭で、ロータリー 100年の祝宴を開催、会員相互の親睦を図り記念すべきロータリー 100年を祝いました。



折しも財務大臣表彰を受けた会員をクラブで祝う（全国青色申告会員）



 ロータリー100周年記念事業特集

## 函館五稜郭RC

当クラブのロータリー創立100周年記念例会は2月23日午後6時30分よりホテル函館ロイヤル柏木において開催されました。通常例会と同様に点鐘、ロータリーソングの後、会長から今日一日世界各国の各地域の各RCで例会が開催されること、100年でロータリーをここまで拡大させた先輩ロータリアンに感謝し、親睦と奉仕の心を大切にして、次の100年に向かって今何が求められ、何をしなければならないのかをこの記念すべき日に皆様とともに考えたいというスピーチがありました。

その後、福德 勲会長（1970年入会）より、「4つのテスト」についてお話をいただき、続いて100周年記念委員会地区委員の酒井正人会長より国際ロータリー2790地区の地区大会で作成された「ロータリー生誕100周年：初期のロータリーを顧みて」のCDが会員にプレゼントされ例会を終了しました。理解しているよう理解しづらい「4つのテスト」についての話は、大変勉強になりました。

引き続き渡辺泰峰会長（1970年入会）の乾杯で祝宴に入りましたが、道端の石は100年経ってもただの石である、しかしここから何かを始めよう、何かを広げようとすれば、それは大きな意味を持つとお話された渡辺会員の挨拶には、大変心を打たれました。祝宴は大変な盛り上がりで終了したことは言うまでもありません。最後に出席者全員で集合写真を撮影して、大変有意義なロータリー創立100周年記念例会を終了しました。



## 千歳・千歳セントラル・恵庭・北広島・長沼・由仁RC

当日18:30よりロータリー100周年記念6クラブ合同例会を北広島プリンスホテルにて開催した。遠藤秀雄ガバナーのメッセージを披露した後、ガバナー補佐ならびに6クラブの会長よりロータリー100周年に対する感慨をこめた挨拶が行われた。続いてロータリー歴史と伝統を守る会・日本支部作製のビデオ「最初の一つだった」を上映後、フルートの生演奏を聞きながら楽しい懇親会へ移行した。

会員それぞれが、ロータリー100年の歴史を思い起こし、これからの100年に夢を見ることが出来る記念日になったと思っています。出席者110名





## ロータリー 100周年記念事業特集

### 札幌幌南・札幌真駒内 R C

2005年2月23日(水) ロータリー創立以来丁度100年目に当たる当日は札幌真駒内 R C の例会曜日であるため、真駒内 R C のホームホテルである、ホテルライフオー札幌において、定例の12時30分より、スポンサークラブ、札幌幌南 R C との親子水入らず? の記念合同例会を開催致しました。

当日は札幌真駒内 R C、キーマンで初代会長の船本達世名誉会員も久々に参加され、シャンペンで乾杯をしていただき、ロータリー誕生100歳のパースディケーキにキャンドルを灯して、お祝いしました。



例会は土谷亨・藤井久弥、両クラブ会長挨拶に始まり、札幌幌南 R C、遠藤正之パスト・ガバナーと札幌真駒内 R C 第5グループ・ガバナー補佐でガバナー・ノミニーの丸山淳士会員より「ロータリー 100年」によせる卓話をして戴いて、誕生100周年にふさわしい、楽しく内容の濃い例会となりました。

### 岩内・倶知安・蘭越・余市 R C

後志地区4 R C に於いても、ロータリー創立100周年記念後志4 R C 合同例会が開催され、その席上にて第2510地区財団学友委員会に、4 R C 合同で10万円の支援金を贈呈しました。その後記念講演として、財団学友の菅原桂子さんに依る「私の異文化交流」と言うテーマの記念基調講演が開催されました。

記念講演終了後、記念写真撮影が有り、100周年を祝う懇親会が開催され、参加会員和やかにロータリー創立100周年を祝いました。





 ロータリー100周年記念事業特集

小樽・小樽南・小樽銭函RC

2005年2月23日PM5:30より、小樽グランドホテルに於いて、小樽RC、小樽南RC、小樽銭函RC、3RC合同の「ロータリー100周年小樽3RC合同例会&祝賀会」を開催いたしました。

来賓として、山田小樽市長、山下総務部長に出席していただきました。記念事業として「貴方の元気、支援します。」をおこないました。

以下は、新聞に掲載された記事の一部です。

奉仕活動に支援金100万

ロータリー3RC 小樽の個人、団体対象、小樽市内の3RCは、市内で奉仕活動をしている個人や団体に総額100万円の支援金を贈る「あなたの元気、支援します」を行う。ロータリー100周年の記念事業として実施する。

応募条件は、営利を目的としないボランティアグループまたは個人で、小樽に居住もしくは活動拠点を持っていること。支援金は社会奉仕貢献賞30万円が2件、社会奉仕奨励賞10万円が4件。これに21件の応募がありました。選考委員は、小樽市総務部長、北海道新聞小樽支社長、3RCの副会長があたりました。

社会奉仕貢献賞には、小樽点訳友の会 小樽朗読友の会 ドレミの会（音楽療法研究会）を選考し、それぞれの団体の代表者にスピーチをいただきました。それぞれの団体の熱心な活動を聴き、会員一同感激し皆さんから、我々が元気を戴きました。



江別・江別西RC

江差RC・江別西RC合同で100周年を祝う親睦記念例会を実施しました。家族、留学生(フィンランド出身のエーバ嬢)等を招き、北海道に唯一人のマスターソムリエ澁谷昭氏を講師に各種のワインと食事を味わい、普段なかなか出来ない体験をし、皆さん満足した例会になりました。



ロータリー 100周年記念事業特集

函館亀田・七飯・函館北・上磯RC

2005年2月23日はR I 100周年ということで、04年7月からこの23日に合同例会としてR I 100周年を祝うと計画しておりました。

2月23日は、10グループの七飯RC、函館亀田RC、11グループの函館北RC、上磯RCと4RC合同例会を開催、ホストである函館北RCの例会場で、総勢81名の会員が参加してR I 100周年を祝った。

10グループ加藤直樹ガバナー補佐、11グループ吉川達也ガバナー補佐、5360地区交換学生のイワン・スコット・ホワイト君を向かえ、函館北RCの南木哲雄会長が2510地区遠藤秀雄ガバナーのメッセージを紹介。七飯RC会長はR I 50周年時と2004年6月30日現在のクラブ数と会員数、4つのテストの由来等を、函館亀田RC会長は1905年のこの日がシカゴから、ポールハリスとその3人から始まり、ロータリーの誕生とその成長を述べた。又、上磯RC会長は当クラブは創立8年という若いクラブであり、R I 100周年をこのように盛大に祝うことが出来たのは感無慮であると挨拶した。

懇親会中にポール・ハリスの足跡というビデオを放映、ここ数年IMが開催されなくなり、この様に4RCだけの合同例会であったが、大変意義深いものがあつた。そういう意味からいっても、グループ間を越えてR I 100周年を祝うことができた。

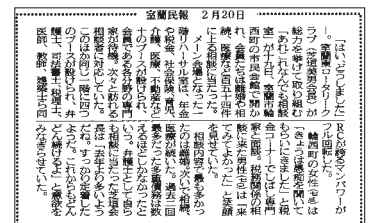


伊達・室蘭・室蘭東・室蘭北・登別・洞爺湖RC

1. ロータリー 100周年を記念して室蘭、室蘭東、室蘭北の3クラブの協同で「100年後のムロラン、私の夢」のテーマで市内の小学生4・5・6年生対象として作文コンクールを行った。335編の応募があつた。芥川賞受賞作家三浦清宏氏を選考委員長として最優秀賞1編、優秀賞3編を選考して、10月30日に受賞式を行った。

2. 「ロータリー誕生100周年を祝おう」家族同伴夜間合同例会を第9グループの6RC共同で2月23日(水)に蓬峽殿で行った。

ロータリー 100周年記念「あれこれなんでも相談室」を会員全員の出席のもとに行つた。





ロータリー100周年記念事業特集

ミュンヘンオリンピック男子バレーボール  
金メダリスト 嶋岡健治氏講演会開催

札幌西北RC プログラム委員長 秋山 秀雄

札幌西北RCでは札幌手稲RC、札幌あけぼのRCとの共催で国際ロータリー100周年を祝う行事として2月19日午後札幌市西区民センターにミュンヘンオリンピック（昭和47年）男子バレーボール金メダリストの嶋岡健治さん（現、JFE継手㈱取締役営業本部長）をお迎えして記念講演会を開催しました。

この3RCでは23年前から札幌市西区・手稲区中学校スポーツ大会（冬期のため種目はバレーボール、バスケットボール、パドミントン、卓球）を主催しており今回はその中学校のバレーボール部員を中心としてインターアクター、RC会員及び一般の方の参加も募り総計300人の聴衆が集まりました。

講演会のはじめに札幌西北RC新谷喜信会長から開会挨拶として国際ロータリー100周年の経緯、本講

演会の主旨等と嶋岡さんのご紹介が行われました。

嶋岡さんの講演テーマは「私とバレーボール」で自身が中学生のときバレーボールと出会って素晴らしい指導者に恵まれ、そしてバレーボールを通して「仲間への思いやり」と「我慢すること」という人生の大切な生き方を学び取ったことなどミュンヘンオリンピックでの試合の経験などを交えながらお話をいただきました。

講演の最後に中学生からの事前質問

60件の中から4問について回答をしていただきました。最後の4問目はトスの上げ方について、会場の女子中学生が嶋岡さんとトスを交換しながら実技を交えた指導があり、バレーボール部の生徒たちは大変興味を示していました。

講演会の終わりには国際ロータリー

第2510地区小山秀昭ガバナー補佐から嶋岡さんへの謝辞と締めくくりの挨拶がありました。

講演終了後、中学生、ロータリアンが嶋岡さんを囲んで記念撮影を行いさらに盛り上がりサイン会にまで発展し、国際ロータリー100周年記念にふさわしい楽しい催しとなりました。



中学校バレー部員にトスの上げ方の実技指導



ロータリアンと記念撮影



嶋岡健治さんの講演



中学生と記念撮影



中学生と記念撮影

## RJW(ロータリー・ジャパン・ウェブ)ニュース

### 【アメリカの上院、2月23日を国際ロータリー日に(2005年2月21日)】

アメリカの上院が、ロータリーの多大な貢献を称えて2月23日を「国際ロータリーの日」とすると決議しました。これはロータリー100周年を称えて2月17日に承認された決議です。

“国際ロータリーが100年間。地域と全世界を通じて、人類の向上の為の奉仕を認めて”と上院議事録に示してあり、詳細は上院議事録を御覧下さい。http://www.gpoaccess.gov/crecord/index.html

### 【最初のロータリークラブを称えて道標を除幕(2005年2月25日)】

100年目当日の2月23日にアメリカ、イリノイ州のシカゴ市が“シカゴロータリークラブ通り”(Rotary Club of Chicago Way)と謂う名称の道標をシカゴのダウントウンの北ディアボーン通りと西ランドルフ通りの南西角に立てました。この表示は100年前に、シカゴの3人のビジネスマンが最初のロータリークラブを創ったユニティビル(Unity Building)の在った一角に在ります。(現在このビルは無く、2004年に立てられた看板のみが歩道に在ります。)

### 【ロータリーの100年を祝し、エンパイア ステート ビルをライトアップ(2005年3月4日)】

2月23日に最も目に付いた催事の一つは、ニューヨークの最も高い建物、エンパイア ステート ビルに、2月23日の夜に、ロータリーの青と金色が点燈された事です。この建物の点燈スケジュールに割り込む事は非常に困難な事です。これはニューヨーク州、ポート ワシントン(Port Washington)クラブのマイケル プレイス(Michael Preis)会長の発案によるものです。

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

## ロータリー 文庫通信 (210号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 「ロータリーを考える」

「吾が内なる道徳律」 佐藤千壽 D.2580 2004 77p

- 2004年国際協議会講話：佐藤千壽訳 講話原文付 -

『来し方顧み・行く先見つめて』 ビチャイ・ラタクル

『統率の道 - 行く先見つめて』 ラジェンドラ・サブー

[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「ロータリー歴史探訪」 田中 毅 2004 131p

[申込先：田中 毅 FAX(0797)32-6888]

「ロータリー歴史探訪(日本編)」 田中 毅 2004 55p

[申込先：田中 毅 FAX(0797)32-6888]

「私の考えるこれからのロータリー」 上野 孝

2005 10p (D.2800 地区大会講演)

[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「ロータリーが、今、直面している問題 - 日本におけるロータリーを中心に」 川尻政輝 2005 9p (D.2730月信)

[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「ポール・ハリスの来日及びハリスと米山の胸像」

井口賢明 2004 2p

[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

## 国際ロータリー第2510地区 ローターアクト 2004-2005年度 第3回会長・幹事会開催

と き 2005年2月19日(土) 15:00~  
ところ 定山溪ビューホテル

### 議 案

#### 各クラブ会員状況

	男	女	合計
赤 平	11	7	18
岩 見 沢	3	3	6
室 蘭 北	6	4	10
札幌幌南	5	4	9
千 歳	8	7	15
札 幌 北	3	4	7
岩 内	8	2	10
函 館	2	8	10
留 萌	6	3	9
函館大学	連絡なし		

#### \* 地区の合計

男 52名 女 42名 合計94名

#### 次年度地区役員発表

地 区 代 表 川 下 和 光  
 地 区 代 表 補 佐 有 賀 佑 樹  
                     飯 塚 雅 樹  
 地 区 幹 事 畑 井 福 太 郎  
 地 区 副 幹 事 田 中 光  
 地 区 会 計 安 藤 由 香 里  
 地 区 広 報 2 名 未 定  
 地区代表ノミニー 未 定  
 直 前 代 表 斉 藤 心

#### 次年度地区行事計画について

8月 地区キャンプ  
 9月 地区協議会(室蘭北)  
 10月 ゾーン会議(札幌)  
 11月 北海道交流会(千歳)  
 2月 温泉交流会  
 5月 地区大会(幌南)  
 海外研修を1月に予定  
 (メーリングリストにてアンケート予定)  
 赤平30周年(日時未定)

#### 海外研修報告

1月22日~26日(3泊5日)  
 オーストラリア ケアンズ  
 海外研修の報告は各クラブ報告書にて掲示させていただきます。

勉強会(高橋 あゆ美さん)  
 インターアクトについて

#### アクト委員長柳様より

3月13日(アクトの日)にロータリーの方々とは何か活動できたら良いのではないかと、お言葉を頂きました。

2005-2006年度 会長エレクト研修セミナー  
地区ロータリー財団セミナー・地区米山セミナー

と き：2005年3月26～27日  
と ころ：札幌ロイヤルホテル  
ホストRC：札幌東RC

まだ雪深い豊平川河川敷横の札幌ロイヤルホテルを会場に、10時30分遠藤秀雄ガバナーの点鐘によりセミナーが開会されました。

塚原房樹ガバナー・エレクトの基調講演は、予定の時間をオーバーする熱の入った講話となり、各会長エレクトはRIテーマに提示されている概念を十分に理解できたこととおもいます。午後からは、各委員長によるR財団・米山とセミナーが続きました。米山奨学生の札幌医科大博士課程3年「尚 爾華さん」が、中国少数民族の衣装（これは普段着ですとの説明でし

たが、とても綺麗なものでした）を着て、米山奨学金への感謝の思いを熱くお話ししてくださいました。夜は懇親会です。

第2日目は、伊藤長英（PG）地区研修リーダーによる講演をお聞きした後、6グループに分かれそれぞれのテーマによる討論会です。次年度のガバナー補佐の皆様は、それぞれ進行と報告を担当され、若干緊張気味に初仕事を無事終わらせていらっしやいました。お世話してくださいました札幌東RCの担当の皆様、お疲れ様でした。





## 地区委員会

## 活動報告

## 親業訓練入門開催報告



家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三(札幌幌南)



委員 大田 すみ子(札幌北)

地区家庭奉仕委員会は、各クラブの家庭奉仕委員又は社会奉仕委員会と連携の上、「親業訓練入門講座」を次の要領で開催いたしました。

1. 日 時 平成17年2月1日(火)、2月8日(火)、  
2月15日(火) 午前10時~12時
2. 場 所 北海道クリスチャンセンター  
(札幌市北区北7条西6丁目)
3. 主 催 札幌北RC
4. テーマ 親業訓練入門講座  
- 心をつなぐコミュニケーション -
5. 講 師 土橋芳美(親業訓練インストラクター)
6. 参加者 2月1日(火) 14名(男性2名)  
8日(火) 18名(男性4名)  
15日(火) 16名(男性3名)

初日は緊張して集まった参加者は、講師の上手な導入によって、自己紹介やゲーム感覚の訓練コースに乗って、なごやかで心を開いた講座でした。

話の聴き方問方、人への接し方について実践し、密接な人間関係のあり方を体験的に学習し、従来の自分の対応から、相手を尊重した関係づくりへ脱却する機会になりました。

二回目は、主として相手方に自由に話させる能動的な聞き方を学びました。見ず知らずの他人に家庭の悩みを話すのは抵抗があるはずですが、講師の巧みな聞き方によって、自然に自分の悩みを伝えることができるのには驚きを感じます。

最後は自分自身の意思や希望を相手方に伝える方法について学びましたが、伝え方によってどれだけ相手方に影響を与えるか多くの人の例を聞きながら感じました。

今回の教室は、コミュニケーションの方法を学ぶことが目的でしたが、ほとんどの家庭が、家庭としては機能していない実体を垣間見ることができました。

このような講座に関心を寄せる人は、それなりであるにも拘わらず、このような実態ですから、現実にはもっとひどい状態ではないかと痛感しました。

家庭奉仕委員会の活動の必要性を強く感じました。

## 地区ロータリーの友委員会報告

ロータリーの友委員会

委員長 木 下 博(札幌幌南)

平成17年3月4日(金)札幌ロイトンホテルに於いて、第2回RI2510地区ロータリーの友委員会を遠藤秀雄ガバナーのご出席をたまわり、斎藤元護、佐藤公、坂井治委員の参加を得て開催した。

- 1) 挨拶：遠藤秀雄ガバナー
- 2) 報告事項：

「わがまち わが地区」：「国際観光レクリエーション都市 登別」(「友」誌11月号掲載)

「地区のたより」：「あれこれなんでも相談室」室蘭東RC、「縁を取り持つ米山梅吉記念館」千歳セントラルRC、ガバナー地区自慢「地域密着の奉仕活動」(「友」誌4月号掲載)



雑誌委員会からロータリーの友委員会への名称変更は13クラブ

『友』誌3月号までにR I 2510地区からの投稿で掲載された数と内容

地区委員のレポート：1月まで

3) 活動計画：

雑誌月間(4月)の活動 委員が手分けしてクラブ講話をする、現在札幌RCには坂井治委員が担当することが決定。申し込みがあり次第各委員の担当とする。

地区内のクラブのロータリーの友・雑誌委員長への招集は時期的に困難なので、雑誌月間に向けてのコメントを各クラブへ送る。

4) その他：

次年度地区ロータリーの友委員会・地区雑誌委員会の休止問題 塚原房雄ガバナーエレクトから組織・委員会の簡素化のためにと通告をうけた。

過去のガバナー方の先駆的な考えで、「友」地区委員ひとりではカバーしきれない、地区内の「友」誌の広報、利用促進活動などの役割を遂行するためにこの委員会が設置され、全国レベルのロータリーの友地区委員会でも評価を受けていることです。購読義務のある公式雑誌「友」誌の活用を推進するという目的を持つ委員会の活動をゼロにすることは、むしろ地区の組織の活性を落とし委縮させることと思われま

## 2004 - 2005年度 第2回 地区クラブ奉仕委員会報告書

日時：平成17年3月5日(土)午後6時開会

場所：おばんざい処車屋

参加者：富原P Gカウンセラー、堅田次年度副委員長、近藤委員、矢橋委員、戸部委員、山本委員、羽部

1) 本年度計画の見直しと次年度計画について

次年度は地区広報委員会をクラブ奉仕委員会と一緒に活動をお願いする。

公共におけるロータリーのイメージアップに努める(塚原エレクトから提案)

楽しい例会の持ち方とクラブ奉仕委員会の役割

2) 会員増強と退会防止

何故今退会者が多いのか?それも3年未満の新入会員が多く含まれている。

入会時のオリエンテーションに問題はないのか?ロータリー情報が不足か?

3) ホームページの更新について

情報を戴いたクラブの活動をホームページに紹介しては如何か?

4) その他

富原C:ロータリーの広報はロータリー以外(外向け)の人へのものと内側の広報を分けて考える必要がある。対外的なアピールとしてマスコミ対策を行う。これは従来ロータリーの奉仕は善意の奉仕で中には公表されることも憚るような感があった。その為かロータリーの奉仕は余り取り上げられなかった。何が取り上げられるか?それはニュースバリューのあるものがマスコミ受けする。この区別をはっきり行う事が大切である。内側に向けての取り組みとして退会者を分析してみると3年未満の新入会員が多いので、会員としてのメリット(特典)についてもう少し情報を提供する必要がある。会員増強と退会防止は一緒である。クラブ奉仕(親睦・楽しいプログラム・適切なロータリー情報)にウエイトを置いて、その延長線上に内側に向けた広報が必要である。情報の共有

各委員の会話から

T:どこに行っても多くのロータリアンに会った。何の為に会員になったか?それが最近問題になってきている。やはり会員の特典は何か?メリットは?

C:ポールハリスがロータリークラブ会員をどのような職業人をターゲットとして考えたか?それは事業家と知的職業人を中心にクラブを作る事を考えた。それには当時のシカゴの情勢があった。会員にエリート意識を与え、その会員は一業種一人制とすることを考えた。次に職業奉仕が考えられ、職業倫理訓が出来て、4つのテストが考案された。このロータリーの発祥における精神は将に「超我の奉仕」が原点である。次年度のR Iテーマでもある。

YM:石の上にも3年と言うが、何故入会したか確か

める必要がある。入会3年未満の会員を対象に。

Y H : 情報委員会に新入会員が参加しない

Y M : みんなが同じ土俵に上がって考えること、そこでこれは何かと勉強する。

C : 質の確保が増強に繋がる、従って量を言うのは難しい点がある。

K : 青年会議所の人脈を利用3年目に幹事として登用する。これによって担当者が勉強することになる。

C : 先日ゾーン研究会に参加してクラブ奉仕部門に参加した。この時「クラブを潰すには刃物はいらぬ、前年度通りにやれば良い」耳の痛い言葉だが、クラブの棚卸しとクラブの見直しをする、体質改善を行う。これは何度も出てきたテーマであった。臭いものに蓋をするでは駄目だ!

次回第3回委員会は4月2日12時にJ R ステラプレイス9階で開催する。

内容は4月10日の地区協議会に向けて役割の分担等を協議する。

## ノンカイRC キティサック元会長、 キティポン会長 インタビューレポート



WCS 副委員長 伊藤 知佳子

去る3月5日バンコクにて、ノンカイRCのキティサック元会長、キティポン会長とお会いする事ができました。前日たまたまシンガポールを訪れていた私は、滝川RCより寄贈頂いた救急車の到着確認の為、ノンカイRCのキティサック元会長へ電話をしました。そしてなんと、急遽バンコクで会いましょうという事になり、その日のうちにシンガポールを後にし、バンコクへと向かいました。バンコクにはたまたま、当委員会の若原委員、土倉前委員長のお二人も滞在中との事でしたので、一緒に懇談する事が出来ました。

今回、前回の救急車、消防車の寄贈についてインタ

ビューする事ができましたので御報告させていただきます。前回寄贈した、救急車、消防車は現在の状況はいかがですか？また、今回送りました救急車の到着状況はいかがですか？

K I T T Y : 救急車を頂いた事により、今までは行けなかった幅広い地域まで行くことができています。ノンカイ県の中でもノンカイという地域で使わせて頂いています。

レスキューにも使っていますし、介護にも役立っています。

日本のものは機材がとても充実しています。

いままでは、ピックアップトラックを使用していましたのでケガ人、病人の方は雨が降ると濡れていました。レスキューで処置が早くできる様になりましたし、車内での応急処置も出来る様になりました。

消防車はタイのものよりとても威力があり、給水にも使っています。

今回、滝川RCより寄贈いただいた救急車は、バンコク港を問題なく免税扱いで通過し、来週には陸路でノンカイへ移動します。(7時間、約700km)

こちらにつきましたら滝川RCより寄贈されたというタイ語のステッカーも貼らせて頂きます。ノンカイサイドでニーズの高いプロジェクトは何かありますか？

K I T T Y : ウォータークリーンプロジェクトがあります。水による病気を防ぐ事のできる有効なプロジェクトでニーズも高く、水を綺麗にする装置を設置するものですが、現在ノンカイRCにて1年に1機しか設置できていないのが現状です。



(財)ロータリー米山記念奨学会 2005年3月11日発行

# ハイライトよねやま 61

## 1. 寄付金速報～年度末に向けて

2月までの寄付金は、前年同期と比べ3.7%減、約4千3百万円の減少でした。普通寄付金が2.1%減、特別寄付金が4.6%減です。今年度の寄付金目標は15億1千万円ですが、2月までの時点で達成率は約75%といまだ大変厳しい状況です。地区の寄付金データや資料のご希望がありましたら、どうぞご用命ください。今年度も残りあと4ヵ月、引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 2. 寄付金増進タスクフォース開催報告

2月9日(水) 常務理事会の委嘱を受けた「寄付金増進タスクフォース(作業部会)」がスタートしました。伊藤長英常務理事(第2510地区:北海道西部)が座長を務め、現ガバナー、ガバナー・エレクト、地区米山奨学委員長など、米山関係者から選出された10名の委員が、寄付金減少の原因を分析し、増進方策と今後の奨学事業について検討します。

第1回会議では、「地区での米山奨学金・表彰制度に関する状況調査」、「普通・特別寄付金の現状、分析」について協議し、活発な意見交換と提案がなされました。

速報! ロータリーの友4月号のよねやまだよりは、  
「温かい寄付への感謝を表して」  
長らく寄付増進の原動力となってきた表彰制度と免税特典について  
特集いたします。ぜひご一読ください。

## 3. 2005年4月新規採用の米山奨学金合格者が決定!

2005学年度の米山奨学金の申込者は1,221名。その中から、全国の地区選考委員会による選考の結果、新規採用者486名の合格が決まり、3月3日に各大学担当者宛に合否通知を発送しました。

合格率を主な国籍別にみると、申込者数の多い中国は32.2%(申込者742名)で、韓国(49.7%:申込者155名)や台湾(44.1%:申込者93名)に比べて高い競争率でした。

今後、合格者には世話クラブとカウンセラーが選定され、5月に開催されるオリエンテーションを経て正式な米山奨学生となります。皆さまの地区・クラブでどうぞ温かくお迎えください。

## 4. 巣立つ奨学生に幸あれ!～各地区で米山奨学生歓送会開催～

2月中旬から、各地区で奨学期間を終了する米山奨学生の歓送会が実施されています。ガバナーやガバナー・エレクト、理事など役員の方の臨席のもと、カウンセラーや指導教員も招かれて、華やかな雰囲気の中、奨学生一人ひとりに終了証が手渡されます。各地区の米山奨学委員会では、それぞれ趣向を凝らしています。第2750地区(東京都西南部)では、人材ビジネス会社社長から『アジアの日系企業・最新人事情報』と題する記念講演が行われました。また、第2640地区(大阪府南部/和歌山県)では、ロータリアンと奨学生が壇上で混声合唱を披露しました。



## 5. 『2005学年度 米山奨学生ハンドブック』が発行されました



米山奨学生全員に配布する『奨学生ハンドブック』の2005学年度版ができ上がりました。米山奨学生として守るべき約束・知っておくべき情報はもちろん、奨学生からよく寄せられる疑問と回答をまとめたQ & A、米山奨学生バッジの由来などが掲載されています。

また、巻末には、これまでホームページからダウンロードする形式だった米山奨学生からの各種届出用紙を添付しました。地区で行うオリエンテーションやカウンセラー研修会の際には、当ハンドブックをぜひご活用ください。

\* 新規採用・継続者を含めて、奨学生には3月中に配布し、世話クラブ・カウンセラーにはクラブ事務所宛に4月末までにお送りします

## 6. 台湾に米山学友のガバナー誕生

第3490地区（台湾）の2005-06年度ガバナー・エレクトとして、元米山奨学生の許國文氏【1975-77年度奨学生/徳島大学医学部/世話クラブ:徳島RC】が選出されました。許氏は、台湾・羅東市にある羅東博愛病院の副理事長で、羅東西ロータリークラブに所属しています。2月下旬にアナハイムで行われたR I国際協議会では、日本人以外でただ一人、日本語セッションに参加。積極的に議論にも加わって、日本のガバナー・エレクトとの交流を大いに深めたとのこと。国際協議会でこのセッションのリーダーを務めた川尻政輝パストガバナー（第2750地区:東京都西南部/パシフィックベイシングループ）は、感動を込めて次のように語られました。

「日本人にとって、台湾はもともと親しみ深い国ですが、『台湾のガバナー・エレクトが元米山奨学生である』という事は、まったく質の異なった連帯感を生みます。巣立った奨学生が同じ仲間として、同じ目標をかかげて母国の地区の運営をするまでには、というのは、どれほど日本のロータリアンにとって事業の意義を身近に感じられることが。まさに、米山奨学事業の果たしてきた成果、事業の成長を実感できる大ニュースだと思います。

研修の最後に、私は参加者のガバナー・エレクトに次のようにエールを送りました。『101年目のガバナーであるあなた方は、先輩たちが支援したアジアの人たちと同期の仲間として強い連帯をもてる、とても恵まれた時代のガバナーなのです』と。

昨年、今年と2年続けて、リーダーとしてアナハイムの国際協議会に参加しましたが、元米山奨学生のガバナー・エレクトが自分のクラスに入って、研修を共にできたというのは、私にとって最も感動した出来事でした」

なお、元米山奨学生のガバナー誕生は、韓国の林隆義氏【ソウル市・恵聖総合病院院長（漢城RC所属）/1997-98年度第3650地区P.G.】に次ぐ2人目で、台湾では初の快挙です。

## 7. 米山奨学会理事 花岡和雄氏（2600地区）逝去

国際ロータリー第2600地区の米山理事 花岡和雄氏が、3月1日にご逝去されました。享年78歳でした。花岡理事は、1992-93年度の同地区パストガバナーで、2001年8月から当会理事となられ、任期は2005年8月までの予定でした。2003年7月からは、米山奨学委員長としてもご奉仕くださいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。  
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当: 峯<sup>みね</sup>・野津<sup>のづ</sup>・大庭<sup>おおば</sup>  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階  
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281  
E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー			
芦別 R C	中山 幸雄	会員	1月21日
函館北 R C	佐々木公和	会員	2月25日
岩見沢東 R C	田巻 敏行	会員	2月4日
札幌西 R C	八木 昌興	会員	2月18日
札幌真駒内 R C	中山 裕視	会員	2月18日

ポール・ハリス・フェロー			
札幌真駒内 R C	丸山 淳士	会員	2月4日
札幌南 R C	黒沢 勝昭	会員	2月25日
新札幌 R C	五十嵐 勉	会員	2月4日
新札幌 R C	望月 好明	会員	2月25日

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者			
千歳 R C	福田 武男	会員	2月22日 (8)
千歳 R C	佐藤 秀雄	会員	2月22日 (1)
江別 R C	野村 昌人	会員	2月3日 (2)
小樽南 R C	大淵 勝敏	会員	2月18日 (1)

札幌北 R C	井上 勝一	会員	2月16日 (3)
新札幌 R C	石黒 光男	会員	2月22日 (1)
新札幌 R C	高橋 雅行	会員	2月23日 (1)
苫小牧 R C	板谷 剛	会員	2月22日 (1)
浦河 R C	蘇田 又栄	会員	2月9日 (1)
小樽南 R C	佐藤甚兵衛	会員	2月18日 (1)

## 掲示板

### 例会の変更について

室蘭東 R C  
4月26日(火) 3 R C 合同夜間例会  
18:30~ 於: ホテルサンルート  
4月27日(水) 振替休会  
苫小牧 R C  
4月29日(金) 法定休日による休会

### スマトラ沖地震の寄付について

「スマトラ沖地震支援」第2510地区寄付集計・総計の報告を致します。  
第2510地区寄付合計は 3,952,772円 (38,752.68\$)  
総計は 97,765,018円 (958,480.49\$)  
2月25日現在  
この度のご協力本当にありがとうございました。今後とも引き続き、ご協力のほど宜しくお願い致します。

### ガバナー 3月号の記載について

p22 先月のガバナー月信3月号で報告しました「書き損じハガキ、未使用テレカ回収状況」につき、一部誤りがありましたので訂正いたします。江別 R C の集計で官製ハガキ410枚が欠落していました。江別クラブの皆様には大変ご迷惑おかけしました事、深くお詫び申し上げます。以後充分留意しますので今後とも御支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

## ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内  
にお願い致します。(FAXもしくはE-mail)

### 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願います。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。



## 2月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率	
			04.7.1	05.2.28	増減内	内女性		
1	深川	4	40	39	- 1	1	80.41	
	羽幌	4	47	47	0	1	68.45	
	妹背牛	4	10	10	0	0	87.50	
	小平	3	14	14	0	0	78.57	
	留萌	4	59	53	- 6	0	90.90	
小計			170	163	- 7	2	81.17	
2	赤平	4	34	34	0	2	87.88	
	芦別	3	54	50	- 4	0	87.87	
	砂川	4	54	52	- 2	0	97.50	
	滝川	4	109	111	2	2	70.50	
小計			251	247	- 4	4	85.94	
3	美唄	4	42	43	1	0	84.02	
	江別	4	43	40	- 3	1	93.24	
	江別西	4	37	36	- 1	3	87.49	
	岩見沢	3	94	96	2	0	95.29	
	岩見沢東	4	37	39	2	3	74.35	
	栗沢	4	26	24	- 2	1	96.95	
	栗山	4	29	30	1	2	92.87	
	当別	4	38	39	1	1	88.37	
	小計			346	347	1	11	89.07
	4	札幌	4	123	132	9	0	98.04
札幌あけぼの		3	16	16	0	1	100.00	
札幌はまなす		4	24	23	- 1	4	89.77	
札幌北		4	49	46	- 3	5	92.86	
札幌モーニング		3	54	56	2	0	67.92	
札幌西		4	69	73	4	3	90.38	
札幌西北		4	48	50	2	2	87.29	
札幌手稲		3	39	42	3	1	100.00	
小計			422	438	16	16	90.78	
5	札幌東	3	125	124	- 1	0	98.83	
	札幌清田	4	26	28	2	6	100.00	
	札幌幌南	3	69	69	0	0	100.00	
	札幌真駒内	4	44	45	1	2	92.86	
	札幌南	4	91	97	6	0	95.37	
	札幌大通公園	4	19	20	1	4	76.25	
	札幌セントラル	4	19	16	- 3	4	88.50	
	新札幌	4	36	33	- 3	1	91.97	
	小計			429	432	3	17	92.97
	6	岩内	4	33	33	0	0	85.00
倶知安		4	54	54	0	3	68.00	
小樽		4	74	76	2	0	85.20	
小樽南		3	86	84	- 2	0	92.89	
小樽銭函		4	23	25	2	3	89.00	
蘭越		4	14	13	- 1	0	78.65	
余市		4	43	43	0	4	82.78	
小計			327	328	1	10	83.07	

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,136人  
 当月末会員数(女性) 3,142(88)人  
 増加会員数 6人  
 当月平均出席率 83.57%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			04.7.1	05.2.28	増減内	内女性	
7	千歳	3	65	62	- 3	2	87.80
	千歳セントラル	4	30	29	- 1	0	76.75
	恵庭	4	51	51	0	0	78.76
	北広島	4	19	19	0	2	87.50
	長沼	3	18	18	0	3	88.90
	由仁	4	15	15	0	0	80.00
	小計			198	194	- 4	7
8	えりも	4	24	23	- 1	0	70.65
	三石	4	17	17	0	1	91.17
	様似	4	19	18	- 1	1	57.23
	静内	4	67	70	3	0	74.62
	浦河	4	40	40	0	1	68.75
	小計			167	168	1	3
9	伊達	4	56	59	3	0	77.58
	室蘭	4	51	53	2	0	79.34
	室蘭東	4	43	43	0	0	93.75
	室蘭北	4	37	37	0	2	90.99
	登別	4	39	40	1	2	82.50
	洞爺湖	3	10	9	- 1	0	100.00
	小計			236	241	5	4
10	函館	4	101	100	- 1	0	84.11
	函館亀田	4	42	47	5	1	77.13
	森	4	43	43	0	0	74.00
	七飯	4	24	24	0	0	81.20
	長万部	4	13	13	0	0	71.10
小計			223	227	4	1	77.51
11	江差	4	16	17	1	0	78.50
	函館五稜郭	3	68	64	- 4	0	83.95
	函館東	4	50	44	- 6	4	86.36
	函館北	4	37	37	0	0	77.26
	上磯	4	29	29	0	3	62.60
	松前	4	9	9	0	1	66.67
小計			209	200	- 9	8	75.89
12	白老	4	29	26	- 3	0	79.50
	苫小牧	3	56	60	4	0	85.65
	苫小牧東	4	32	32	0	3	82.81
	苫小牧北	4	41	39	- 2	2	85.37
	小計			158	157	- 1	5
合計			3,136	3,142	6	88	83.57

## 新入会員のご紹介



伊原 洋三  
美唄 R C  
平成16年12月2日



高田 正則  
美唄 R C  
1月6日入会



木村 麻美  
札幌清田 R C  
1月25日入会



永井 承郎  
苫小牧 R C  
2月18日入会



櫻田 泰清  
苫小牧 R C  
3月4日入会



木下 克彦  
苫小牧 R C  
3月11日入会

## 訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、  
心からご冥福をお祈りいたします。

藤井 章司 会員(札幌北 R C)  
2005年3月4日ご逝去(享年74歳)

### 【ロータリー歴】

1995年8月入会  
2003~04年度 出席委員長  
2004~05年度 社会奉仕委員長

ポール・ハリス・フェロー



西埜 善郎 会員(留萌 R C)  
2005年1月5日ご逝去(享年78歳)

### 【ロータリー歴】

1981年5月6日入会  
1984~85年度 増強委員長  
1987~88年度 理事国際奉仕委員長  
1992~93年度 親睦委員長  
1993~94年度 社会奉仕委員会  
(人間尊重委員長)  
1996~97年度 第36代会長



米山功労者マルチプル、ポール・ハリス・フェロー

4月・5月 地区カレンダー

4 月 ロータリー雑誌月間		5 月	
1 (金)		1 (日)	第4・5グループ ロータリー 100周年子ども音楽祭
2 (土)		2 (月)	
3 (日)	インターアクト委員会(17:00~,ホテルライフオート札幌)	3 (火)	憲法記念日
4 (月)		4 (水)	国民の休日
5 (火)		5 (木)	こどもの日
6 (水)		6 (金)	
7 (木)		7 (土)	
8 (金)		8 (日)	
9 (土)		9 (月)	
10 (日)	地区協議会(札幌パークホテル)	10 (火)	
11 (月)		11 (水)	
12 (火)		12 (木)	
13 (水)		13 (金)	
14 (木)		14 (土)	
15 (金)		15 (日)	
16 (土)		16 (月)	
17 (日)		17 (火)	
18 (月)		18 (水)	
19 (火)		19 (木)	
20 (水)		20 (金)	
21 (木)		21 (土)	栗山RC35周年式典(16:00~,ホテルパラダイスヒルズ)
22 (金)		22 (日)	
23 (土)		23 (月)	
24 (日)		24 (火)	
25 (月)		25 (水)	
26 (火)		26 (木)	
27 (水)		27 (金)	
28 (木)		28 (土)	
29 (金)	みどりの日	29 (日)	47歳ローターアクト地区大会(アネックホテル)
30 (土)		30 (月)	
		31 (火)	

# ROTARY



[www.rotary.info](http://www.rotary.info)

World Understanding  
100 Years



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

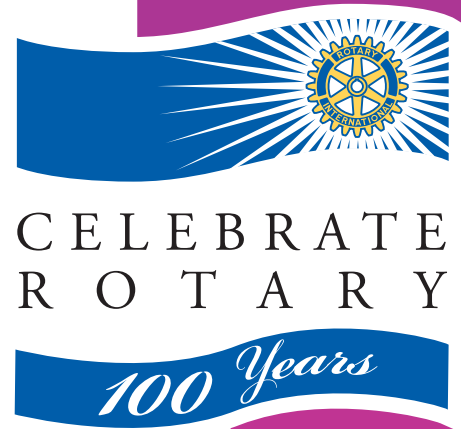
# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F

TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512

e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナーs LETTER .....	3
ガバナー日記 .....	4
ロータリー100周年記念事業特集 .....	7
R13700地区大会出席報告 .....	10
次年度タイ3350地区へ派遣するGSEメンバーが決まりました	12
地区委員会活動報告	
・家庭奉仕について思う .....	13
・第3回家庭奉仕委員会報告 .....	14
・滝川RCより救急車が届きました .....	15
・国際奉仕委員会報告 .....	16
クラブ活動紹介	
・栗山RC創立35周年を迎えて .....	17
ハイライトよねやま62 .....	18
親睦活動委員会ニュース	
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます	
米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます .....	20
ロータリー文庫通信	
2007~2008年度ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い	
ガバナー・ノミネーの選出手続きの変更 .....	21
掲示板/ガバナー事務所からのお願い .....	22
3月会員増減数・出席率報告 .....	23
新入会員のご紹介/訃報 .....	24
5・6月地区カレンダー .....	25

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.11 **5**  
2005.

## 2005年地区協議会

日 時：2005年4月10日(日)

ホストRC：札幌南RC

会 場：札幌パークホテル

外の肌寒さをよそに、熱気あふれる会場に500名を越える次年度各リーダーと、60名あまりの次年度地区役員の皆様が集まり、遠藤秀雄ガバナーの点鐘で地区協議会が始まりました。講演に先立ち、ホストRCの須田義雄会長の歓迎挨拶、遠藤ガバナーからの出席役員紹介と挨拶があり、竹山涼一元RI理事(PG)の講話と続きました。塚原房樹ガバナーエレクトの講演は、RIテーマの理解と地区の運営方針についての具体的なお話です。

伊藤長英地区研修リーダー(PG)の講演は、ロータリーにおける指導力のお話を主にされ、最後にロータリーの理解力を増すために、手続要覧やロータリーの友などをよく読むようにと締められていました。

午後からは、「会長」「幹事」「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「新世代奉仕」の7分科会が開会され、分科会終了後の全体会議のなかで、各担当ガバナー補佐による分科会の報告、遠藤秀雄ガバナーの所感のち、塚原房樹ガバナーエレクトより次年度のリーダー達に熱いエールを送られ、協議会が閉会となりました。



# Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

## 水と命

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



20年以上も前になりました。どうか、長雨のため登別にある室蘭市の貯水池が土砂崩れで埋まってしまったことがあります。私の病院は当時270名の入院患者さんをかかえ、給食や生活用水を求めて3日間あちこち走り廻った苦い経験があります。そ

のため、いまだに水に関しては敏感であり、強い関心を持っています。しかし日本ではこのような災害や長引く日照り以外で飲料水はおろか、生活用水にも困る話は聞こえて参りません。一時“水と空気はタダみたいなもの”と云われていましたが、目覚ましい工業化の影響で河川の汚染問題が深刻化し、その対策が急がれ安全な水が飲めるようになって来ました。しかし環境保全の遅れや、複雑な工業化学化によっては、水の安全性に監視の手をゆるめることは出来ないと思います。

グレン・E・エステス R I 会長は今年度の強調事項の1つに水問題を取りあげています。

安全な水を得られない人々が10~12億人います。この事実がもたらす残酷な結果の一つは、汚れた飲料水と衛生設備のため毎日6,000人(年間200万人以上)の子供たちが死亡しているのです、と述べています。地球上に水のうち海水と氷以外は0.3%であり地下水が0.2%で河川水は0.1%に過ぎません。無制限な人口増加は、やがて水不足による人類滅亡へとつながりかねません。水がGoldより高価なものになるかも知れないと言う警告が当たらないことを願うのみです。

ゾーン研究会の報告の一部でも述べましたように、アフリカ、中近東やアジアの一部の国や地域では安全

な水が飲めない人々が大勢います。アフリカの水使用量は日本の6分の1以下とされています。関場慶博 パスト・ガバナーはガーナでの生活体験でエアコン使用済みの水で何とかしのいだが、エアコンのない人は汚染された水を飲むので、抵抗力の弱い子供達は下痢症、コレラ、赤痢、腸チフス等の感染症で死んでしまう。抗生剤や点滴製剤が不足しているので助けようがない。また手洗いが無いので簡単に感染してしまう。もし、加熱消毒をしても飲料水中のヒ素とフッ素が高濃度に入っていることが多く、水俣病のように神経毒に冒されたり、骨を溶かし、死を招く。アフリカの辺地では水汲みは女性の仕事で10km以上を歩いて、時間をかけて、危険を犯して水を求めているのだそうです。

先日NHKテレビでシルクロードが放映されていました。1000年以上前にはタクラマカン砂漠の真中に河が流れ、交通の要所に街が栄えていたそうですが、その河が砂の中にもぐってしまい、街が廃墟と化し、やがてそれも砂の中に埋もれてしまったそうです。水と環境保全は密接な関係にあることは言うまでもありませんが、今や地球上も徐々に砂漠化が進んでいます。

これらの問題は人類の叡智を集めて考えてゆかねばならない課題ではありますが、今、ロータリアンとして出来ることは何かを考えてみると、1人1人が水問題に関心を持ち、WCSに参加することでしょう。ジンバブエの農村では100ドルで4本の井戸が掘れるそうです。それによって数百人の人達が安全な水が飲めるのです。ステンハマー R I 会長エレクトも次年度の強調事項に取りあげています。

## ガバナー日記

3月24日(木) 恵庭RC35周年記念式典

18:00~20:30 恵庭市民会館

式典には恵庭市長黒氏博実様や関係者、市内協力団体を始めスポンサークラブ札幌南RC土谷会長、鎌田幹事、第7グループ大谷ガバナー補佐をはじめ各RCから大勢の会員の皆さんの参加があった。三浦会長から恵庭市に対し記念事業として恵庭駅東口と西口に木製ベンチが贈呈された。また、第30代以降の会長、幹事に感謝状が贈呈された。祝賀会では札幌のアマチュアコーラスグループによる昔なつかしい歌が披露され楽しい一時をすごすことが出来た。

3月26日(土)・27(日) 会長エレクト研修セミナー  
札幌ロイヤルホテル



第1日目は午前中参加者の紹介及び塚原ガバナー・エレクトの基調講演でステンハマーRI会長エレクトの次年度テーマ“超我の奉仕”の紹介及び運営方針と地区運営について

詳細が述べられた。午後からはロータリー財団セミナー、米山セミナーが行われ各委員長から委員会の説明があった。最後に米山奨学生、尚爾華さん(札幌医科大博士課程3年・札幌セントラル)が中国少数民族衣装で登場、奨学生になったことでアルバイトの心配もなく学業に専念できること、カウンセラーのお陰で不安なく日本の習慣が理解出来たこと、ロータリーのすばらしさを発見出来たこと等、感謝の気持ちを率直に述べられた。17:00から懇親会で、新旧委員長、RC会長エレクトの皆さん達と情報交換があらこちらで行われ日中の緊張感からやや開放され和やかな友情の場であった。

第2日目地区研修リーダー伊藤長英PGの講演“ロータリーにおける指導力”の中でその必要性について具体的に説明された。その後、グループ別対話会(6テーマで6グループが討議)が行われた。2人ずつガバナー補佐が6グループの進行と報告を担当され、6グループに分かれた各クラブ会長エレクトの皆さんと討議をされた。テーマ

はA:クラブの活性化、B:地域社会の奉仕、C:新世代のロータリー、D:ロータリーの職業奉仕、E:ロータリーの親睦、F:会員増強の必要性であった。各グループとも色々な意見があり、集約は困難であるが次年度のクラブ計画の参考になったのではと思う。

4月2日(土) インターアクト地区委員会

17:00~19:00 札幌ライフオートで行われた。

堀田昌資委員長から1年間の経過報告が行われた。これはその都度、月信に写真入りで記事となっているが関心をお持ちの方のために継続的に事業を記してみる。

8月2日~6日 海外研修旅行 韓国木浦市「共生園」

8月17日~18日 第2800地区(山形県)インターアクトとの交流

8月21日 第1回委員会

9月18日~19日 RYLAジュニアクラス

10月16日~17日 ロータリー第2510地区・地区大会参加

2月13日 第25回札幌国際スキーマラソン

インターアクト年次大会が6月18日~19日、静内で開催される。私も是非参加したかったが100周年国際大会に出席のため断念。第8グループの蘇田又栄ガバナー補佐をお願いをしたい。各クラブのインターアクトの大勢の参加を期待したい。また次年度海外研修については今年と同様韓国を予定している。別室で新世代委員会も行われており、ご挨拶だけさせて頂いた。

4月5日(火) 第12回地区幹事会

18:30~ 地区事務所会議室

1. 地区ガバナーの選出手続きの変更について

2004年度手続要覧によるとガバナー・ノミネーとして就任する日の直前24ヶ月以上30ヶ月以内に選出しなければならないと変更された。丸山淳士ガバナー・ノミネーを選出して間もないが、その次ぎのノミネーを6月中に選出しなければならず、急いで各クラブから推薦願わねばならず、月信4月号と5月号に“お願い”文を掲載した。

2. 韓国3700地区・地区大会参加人数5名及び100周年記念国際大会地区ツアー参加人数を56名と紹介。

3. 全国骨髓バンク推進連絡協議会から支援・協賛依頼が



No. 26

Date 05. 5. 1

届いたがガバナー会は関知しておらず、ロータリーとの関わりが不明のため各RCには連絡しないこととする。

月日のたつのは早いもので、そろそろ地区要覧編集について打ち合わせを始めた。

4月7日(木)夕方に北九州市内のインターアクトクラブの顧問の先生から当地区ガバナー月信の拙文“新世代月間を祝おう”を読んだがインターアクトクラブの統計の出処を知りたいとお電話を頂戴した。「ロータリーの友」のRI指定記事のエバンストン便りである事をお伝えしたが、他地区のロータリーの関係者とは言え、ロータリアンでない方に私達の月信が読まれていることに大変驚いたし、関心を持たれていることが嬉しかった。

4月9日(土)地区諮問委員会

17:30～札幌グランドホテル

丸山淳士ガバナー・ノミネーが初登場、また久しぶりに伊藤義郎バスター・ガバナーも出席された。事後承諾ではあるが地区ガバナー・ノミネーの選出手続の変更について説明、承認された。これに伴い地区ガバナー指名規定第1条の変更についても承認をいただいた。これは地区大会の決議が必要のため今年の地区大会の決議案に上程することとした。

ガバナー・エレクト塚原さんから国際協議会についてご報告があった。またガバナー会のあり方についてご説明し、示唆に富んだご意見を頂戴した。

4月10日(日)2005～06年度地区協議会 ホストクラブ札幌南RC 9:15～16:10 札幌パークホテル



今年度公式の場でのご挨拶は最後になるので、ガバナーとして各RCの活発な奉仕活動と地区への御協力に感謝を申し上げ、次年度更なる発展を期待することを申し上げた。

塚原ガバナー・エレクトからはカール・ステンハマーRI会長エレクトのテーマ“超我の奉仕”とRIの方針、更に地区の方針が示された。次年度は地区リーダーシッププランを継続しつつも、公式訪問は各RC単位で行われるし、IMも実施されることになった。

地区研修リーダー講演で伊藤長英バスター・ガバナーは「ロータリーにおける指導力」についてロータリーとは何か、ロータリーの指導者として必要なことは何か、ロータリーを好きになろうと具体的に話された。

2004年度規定審議会について次期地区情報・IC委員亀井敏清さんから組織、審議事項等、その在り方について説明があり、規定審議会代表議員、石垣博美バスター・ガバナーからの審議内容について臨場感あふれるお話があった。昼食後は会長部門、幹事部門及び5大奉仕部門に分かれて分科会が行われ、次年度の奉仕活動について熱心に討議が行われた。

最後に「手に手つないで」を合唱し友情を確かめあって閉会となった。

4月14日(木)～4月17日(日)第3700地区大会参加

14:05発KE766便で塚原GE、岩城秀晴100周年記念委員会委員長、矢橋温郎札幌西RC会長の4名で出発した。仁川国際空港で乗り換え、大邱空港に20:00着であった。空港には呂朝淵PG、金昶洙PGや実行委員の皆さんのお出迎えをいただいた。大邱グランドホテルで遅い夕食会を催して頂いた。忙しい中、途中から都ガバナー御夫妻も加わってくださった。

大会は15日14:00からなので8:00～13:00慶州に足を延ばした。観光地としても有名で丁度、桜が満開であり、10km位の桜並木(途中トンネル状になっているところもある)が絶景であった。仏国寺(韓国遺産)を参拝し、すぐ近くにあるコーロンホテルの前庭に20年前に竹山元RI理事、矢橋温郎さん達が植樹された桜を見に行った。当時、建てられた標識はなかったが矢橋さんの記憶や20年前から務めているホテル従業員の証言から確認され安堵した。この数本の桜の木が今年3700地区と姉妹締結をする1つの大きなきっかけとなっている。



1次本会議 14:00 ~ 17:00 グランドホテル

R C会長、幹事、財団委員長会議であり、R I会長代理紹介、並びに来賓紹介、都総裁 挨拶、李興馥 R I 会長代理 挨拶、並びに R I 会長報告があり、奨学文化財団報告や財団表彰が行われた。

2次本会議 17:10 ~ 18:25 グランドホテル

R C会長、幹事会議で前年度決算報告、大会決議文審議等が行われたがこの間、大邱薬令市をのぞきに行ってきた。菓草の香りが町全体にただよっていた。R I 会長代理歓迎晩餐会に招待された。何人も祝杯をあげるのにびっくりしたが、突然私も指名され更に驚いた。我々のテーブルは韓国旗と日本国旗が飾られていた。100名位の和やかな会であった。

第2日目 7:00 ~ 8:00 財団有効者朝食会が行われ、財団寄付者に対する表彰が行われた。

本会議 9:40 ~ 18:00 大邱コンベンションセンター  
10人かけの円卓で1,500 ~ 2,000人は入れるかと言う広い会場に満席で行われた。第3700地区は88クラブで3,000人強の会員数だそうだ。各 R C 旗が壇上に登場、これが R C 紹介の代わりにスマートに感じた。来賓紹介では我々4名も紹介された。都総裁挨拶、李 R I 会長代理挨拶、祝辞はテグ市長と私からお祝いを申し上げた。会員遺族に対する表彰、100周年記念特別クラブ功労表彰、シルバー奉仕賞、職業奉仕賞、ロータリアン以外の社会奉仕賞等の表彰が行われチェ・ギンス教授(ソウルの先生で宗教家らしいが臨席のバスター・ガバナーは知らなかった)が愛について講演された様子であったが、身振り、手振り

を見ているだけで飽きなかった。4人共全く韓国語は理解できず、丁度帰省中の米山奨学生李 英愛さんの手助けで今、何が行われているか漠然と理解することが出来た。

午後からは土産でも見物に行こうと思っていたが、バスの運転手もガイドも釜山から派遣されているので観光には精通していてもデパートには道順不案内で、急きょ金 P G 御夫妻が同乗してくださった。咄嗟の判断で、しかも奥様はチョゴリ姿であり身に付いた親切心に敬服した。

17:00からのファッションショーには必ず戻って来るよう指示されて出かけたがお土産品は空振りであらうか、小物からテレビ、洗濯機、冷蔵庫等の大物まであり、小さな私は景品代を含めた大会費用が心配になった。

いずれにしても細かい気配りと心温まる歓迎に国際理解と親睦の意義を再確認させられた。





## ロータリー 100 周年記念事業特集

2005年2月23日開催 地区一斉祝賀プログラム

前号に引き続き、ロータリー 100周年記念事業特集を掲載いたします。

### 札幌清田 R C



#### ロータリー生誕100周年記念例会

2月23日(水)ロータリーの創立100周年を記念して、ルネッサンスホテル3F「美麗華」にて例会を開催し、「ポール・ハリスの生い立ちと信念」【内容~ロータリーの理念をポール・ハリスの生い立ち(少年時代、放浪時代、弁護士時代)を通じて、ロータリーが形成される様を描くロータリー入門書】のビデオを鑑賞致しました。

祝宴では、御祝いということで「桃」のお饅頭を頂き、最後はロータリーの100歳を御祝いして、「HAPPY BIRTHDAY」を斉唱致しました。

### 白老・苫小牧・苫小牧東・苫小牧北 R C

2005年2月23日 白老に於いて第12グループ国際ロータリー創立100周年記念4RC合同例会を開催し、100名の会員が集まり、皆で祝いました。この例会は企画段階からいろいろな案が出ていました。しかし、この歴史的な誕生100周年CELEBRATE ROTARYの本質を考えた時、今やらなければならない事は友情と親睦を新時代にむけ、更に強くすることであるという結論になり、白老RC会員の皆様に無理をいい、4RCが合同で例会を行うという事になりました。



また、遠藤秀雄ガバナーからのメッセージを皆様に発表し、その後、苫小牧RC板谷会長より「今日の例会は100年に一度しかない特別なものである。最初で最後の例会であり原点にかえり、ひざをつけあわせ仲間と楽しく話し合う炉辺談話のようなあつまりになることを期待します。」と話があり、4RC会員の親睦を更に深めロータリーの原点を再認識致しました。

白老RCの皆様、コーディネートありがとうございました。

ロータリー 100周年記念事業特集

赤平・芦別・砂川・滝川RC

第2グループでは、赤平・芦別・砂川・滝川RC合同の「国際ロータリー 100周年記念・第2グループ合同例会」を開催いたしました。

18:20より「グレン・エステス国際ロータリー会長の100周年記念メッセージ」を放映いたしました。18:45より「国際ロータリー 2510地区、遠藤秀雄ガバナーのロータリー創立記念メッセージ」を鈴木忠男第2グループガバナー補佐が披露いたしました。

2510地区の第2グループ芦別、滝川、赤平そして砂川の4RC合同例会は毎年順番に開催しておりますが、今年はこのロータリー 100周年の2月23日水曜日が砂川RCの例会日と重なると言う事で、砂川RCがこの記念すべき祝賀の合同例会を担当させていただきました。

記念例会は砂川RC杉本会長から当日出席の3RCの皆様への歓迎の挨拶に始まり、続いて滝川RCの第2グループ鈴木ガバナー補佐より遠藤秀雄ガバナーの『ロータリー創立記念メッセージ』の代読があり、引き続き同ガバナー補佐の『ロータリー誕生と拡大発展』と言うテーマで記念講演をいただきました。

講演はシカゴからのロータリー誕生に始まり、日本のRC誕生《1920年10月の東京RC、1922年3月の大阪RC、1932年12月札幌RCの誕生...》、そしてその後第2次世界大戦の波に洗われて国際RCからの脱会、又その後の復帰加盟等の歴史等が紹介されました。講演の後には同ガバナー補佐より次年度のガバナー補佐で当砂川RCの千葉清氏が紹介され、同氏より来年度に向けた力強い抱負を聞かせていただきました。記念式典の最後は千葉ガバナー補佐エレクトより4RCの次年度会長、副会長、幹事の紹介がありそのまま親睦会に移行しビンゴゲーム等楽しみながら、延べ2時間半に及ぶロータリー 100周年の記念例会は最高の盛り上げの内に『手に手つないで』の大合唱と共にロータリーの今後一層の発展を誓って散会いたしました。



当別・札幌はまなす・札幌モーニング・札幌北RC

2月23日(水) 18:00よりロイトン札幌3Fロイトンホールにて『ロータリー 100周年記念4RC合同例会』(札幌北RC、札幌モーニングRC、札幌はまなすRC、当別RC)

記念講演として、山中燐子先生による「激動の国際社会 日本に今問われる独自外交」と題して、お話を頂きました。記念懇親会では4RC会長によるくす玉割が行われ、ジャズ演奏を楽しみながら会食し、4RCの親睦を深めました。







## ロータリー 100周年記念事業特集

## 岩見沢東 R C

## 《スリランカに基金を》

スリランカ子ども基金北海道

岩見沢東 R C (渡辺博人会長) では R I 創立 100 周年記念事業として、スリランカに教育支援のための基金を設置することにした。

田巻敏行国際奉仕委員長兼 100 周年記念事業委員長は記念事業としてまずは、途上国への援助が優先されるべきと考えた。そこへ地球的規模の大災害、スマトラ沖地震があった。そこで、自分たちに何かできることはないかと考え、坂田知樹 100 周年記念事業副委員長と話し合い、スリランカに精通している札幌北 R C の小林博パストガバナーにアドバイスをいただいた。その結果、スリランカの子供達の教育支援をしてはどうかということになった。

当初、田巻委員長は、子供達のために学校を建ててはどうかとも考えたが、それでは後々の維持や管理が難しいことに気づいた。そこで、もしスリランカで教育のための基金を創設するなら、その利息で子供達を支援することができる。むしろそれをするべきではないか...、ということになった。小林パストガバナーは、その後、直接スリランカに渡って現状を視察している。

岩見沢東 R C としても、まさにこの活動こそ 100 周年記念事業にふさわしいとの結論に達し、いよいよこの計画を実行に移すこととなった。基金は、岩見沢東 R C と札幌北 R C 有志の寄付金 (およそ 150 万円) を原資とし基金を創設する。この基金は、今後増額することを念頭にいれ、毎年 1 回 - 定額利息を引き出し、スリランカの子供達の教育支援に無償で贈与される。受給対象の子供や施設の選考、ならびに金額の決定はスリランカと日本のロータリー・国際協力機構 ( J I C A ) 関係者などで構成される委員会によってなされる。



## R I 3700地区大会出席報告



100周年記念委員会

委員長 岩城秀晴（札幌南PG）

出席者	ガバナー	遠藤 秀雄
	ガバナー・エレクト	塚原 房樹
	100周年記念委員長	岩城 秀晴
	札幌西RC会長	矢橋 温郎

私ども4名は、昨年10月16日に実施され当2510地区大会において姉妹地区として承認されました、第3700地区の地区大会に御招待を受けて去る4月15日、16日に出席致しました。韓国は気候が温暖で札幌市とは気温のうえでも既に春でした。仁川空港経由でデグ空港に行ったのですが14日(木)の夜8時でしたが、第3700地区の役員の方達の暖い出迎えを受けて、感激と感謝を申し上げました。翌日は午後2時からの開会でしたので慶州の桜の樹を見に4名で行きました。その理由は去る20年位前にローターアクトが韓国と交流したことがあってその時に2510地区竹山ガバナーと矢橋さんとが慶州の地に記念として植樹をしたことがあって、この植樹場所の桜の樹を再確認をすることも一つの韓国を訪れた目的でもあったのです。その縁から私ども4名は現在の桜の樹を確認すると同時に今後とも元気で育ってほしいことを祈念致しました。

午後2時からの会長、幹事会そして午後7時からR I 会長代理晩餐会が開催されまして、第2510地区からの私どもも紹介されて盛會に終了致しました。翌16日(土)は7時から朝食会に出席し、その会合で表彰等も行われました。本会議は9時40分からセ

レモニーが始まりましたが、地区内88クラブの会長、幹事がクラブの旗を持って音楽を交えて紹介されて舞台を行進して大いに会合は盛り上げて参りましてその素晴らしさに魅了致しました。また姉妹地区の紹介もあり遠藤秀雄ガバナーからの御挨拶をする機会を与えて戴きましたので通訳に米山奨学生の李さんが仕事をされてその役割を果たして下さいましたので、本当に心から感謝を致す次第です。

さてガバナーは演台に立ち次のように講演されました。以下その内容は、「国際ロータリー100周年の記念すべき年に第3700地区と第2510地区の姉妹地区としての友情交換が結ばれたことを、意義深く、大変嬉しく存じます。2004年10月16～17日に第2510地区年次大会の開催に当り、第3700地区総裁、ド・ジェウク様、令夫人キム・ヨンヒ様はじめ11名の地区役員の皆様の臨席を戴き、無事に姉妹地区締結調印することが出来たことは御同慶のいたりであります。聞き及ぶところによりますと、1983 - 84年R I 理事、竹山さんがガバナーの時に貴地区と当時ローターアクト委員長の矢橋温郎さんとの話し合いでローターアクト交換をされていたこと、エゾ山桜を植樹されたことから20年に及ぶお互いの交流友情が続いたことが姉妹地区という実を結んだと思います。近年、国際ロータリーにあってもGSE、国際親善奨学生、交換留学生等、教育的なプログラムばかりでなく、ポリオ・プラス、識字率向上、保健問題、水保全等、国際協調による幅広い奉仕活動が求められています。これらの奉

仕活動の実践には国と国との理解とロータリアン同志の友情が不可欠であると思います。今長引く経済低迷の中であって、両地区が今後共に固い絆で結ばれて行く方法を考えてゆかねばならないと思います。今回の第3700地区の地区大会にご招待を頂き有難うございました。私達4名は喜んで参加させて頂きました。RI会長代理イ・フンボク様御夫妻のご臨席のもと総裁ド・ジェウク様をはじめご参加の皆様による地区大会が盛大に成功裡に終了することをお祈り致します。有難うございました。」

と講演され、場内からの拍手により終了致しました。今、韓国と日本とは領土の問題でギスギスしておりますが、ロータリーには友情と友情との結びつきによって成り立っているものであり、その結びつきには政治的は不介入によっているものであることが、この地区大会に出席したことによって証明されたことを御報告とします。

出席するまでは何か不安を抱いておりましたが、帰途に着いた私どもの顔には晴々とした、明るい表情になって千歳に無事帰国致しました。



**2004-2005  
Rotary International  
District 2510**

国際ロータリー2510地区 2004-2005年度ガバナーエレクト

遠藤 秀雄

F 059-0334  
北海道釧路市曙町1丁目31-1 医療法人社団医会会 毒聖病院2F  
TEL(0143)82-2510 FAX(0143)82-2512  
e-mail: keidai.hp.rc@tntn.ocn.ne.jp

国際ロータリー第3700地区

総裁 都 載旭 様

今回の第3700地区年次大会の参加に際し、大変心暖まるご接待を頂き誠に有難うございました。言葉が多少不自由でもお互いに触れあうことが出来ましたことが嬉しい思い出となりました。国際交流の視点からも継続をしていきたいと思ひます。

地区大会の運営も非常に素晴らしく意義深い大会であったと思ひます。ご準備に大変ご苦労があったと思ひますが、御成功、おめでとうございます。これからの貴地区の益々のご発展をお祈りいたします。

金玲希令夫人をはじめパスト・ガバナーの皆様及び会員の皆様に宜しくお伝え下さいますよう、お願い申し上げます。

2005年4月19日

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤秀雄



## 次年度タイ3350地区へ派遣するGSEメンバーが決まりました

### チームリーダー



氏 名：土橋 信男  
性 別：男  
年 齢：68歳  
婚 姻：既婚  
職 業：大学教員  
最終学歴：国際基督教大学、同大学院、シラ  
キウス大学大学院  
所属RC：札幌南RC

自己紹介：中国で生まれ、戦後引き揚げて山梨で育ち、東京の大学を卒業後米国の大学院で大学行政学の博士号を取得した後、札幌の北星学園大学へ就職。教職課程（教員養成）の担当者として同大学で助教授、教授として25年務めました。教職課程の役割以外には、国際交流委員会が主たるものでした。同委員会に17年所属し、委員長を15

年間務めていました。そして、最後の7年は学長の責任を負いました。同大学を退職後、札幌市教育長を1年3ヶ月務めました。そして今は函館大学、桜美林大学で教授をしています。

ロータリーには札幌南RCに1994年に入会、主たるロータリー活動は、地区では国際親善奨学金委員会で、同委員会に6年所属した後、GSE委員になりました。

この度、GSE派遣チームのリーダーに委嘱されましたが、幸いにして、優れたチームメンバーを選考していただいたので、力を合わせて事前の研修をして責任を果たしたいと思っています。

タイには一度訪問をしたのですが、米国の大学院時代に共に学んだ友人があり、親しみを感じている国です。また、昨年、今回訪問する予定の3350地区のGSEチームを受け入れお世話をしましたので、そのメンバーにタイで再会するのが楽しみです。



氏 名：田畑 美保  
性 別：女  
年 齢：35歳  
婚 姻：未婚  
職 業：准看護師  
最終学歴：小樽市医師会看護専門学校  
推薦RC：札幌北RC

自己紹介：看護師になり11年になりました。またICUで働くようになってから9年が経ちました。いつの間にか異国での生活や文化、また異国の看護師の仕事にも興味を持つようになり、海外旅行を楽しみながら、時折病院や医療施設を見学する経験をしてきました。そのうちに、それだけでは満足できずに数年前に思いきってオーストラリアに行き、英語を学び、医療施設で研修を受ける機会を与えられ、忘れられないような素晴らしい経験をしました。そのことが今でも忘れられず、同じような経験がまた出来ないだろうかと願っていました。

今回、RCでグループ交換研修というプログラムがあるということを知り、応募したところメンバーに選ばれ非常に喜んでます。

今までの経験を踏まえて、この与えられた機会を有効に生かしたいと思います。これから一年の研修を経てタイを訪問することになるのですが、きっと多くの新しい学びや経験がある事と思います。他の3人のメンバーと協力しあい喜びや悩みなども分かち合いたいと思います。



氏 名：後藤 敦  
性 別：男  
年 齢：32歳  
婚 姻：既婚  
職 業：財務（経理部所属）  
最終学歴：北海道大学大学院工学研究科  
推薦RC：札幌西RC

自己紹介：農業の道を目指して北海道にきた。学生時代に「よさこいソーラン」、「妻」という運命的な“出会い”があった。

最北の地を目指した農業の道から外れ、事業・イベントの仕事がしたくて、北海道新聞社に就職。

入社後、事業の道からかなり外れ、購買部門・印刷部門を経て経理部に在籍中。

今回のGSEプログラムが、私に更なる“出会い”のチャンスを与えてくれた。この経験が、今感じている不安を取り除き、私の人生をきっと豊かに、確かな自信になってくれると期待している。



氏 名：中内 健太  
性 別：男  
年 齢：24歳（今年誕生日で25歳）  
婚 姻：未婚  
職 業：臨床検査技師  
最終学歴：北海道立衛生学院  
推薦RC：札幌清田RC



氏 名：高倉美穂子  
性 別：女  
年 齢：29歳  
婚 姻：未婚  
職 業：介護員  
最終学歴：道都大学  
推薦RC：上磯RC



## 地区委員会

## 活動報告

### 家庭奉仕について思う



家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三(札幌幌南)

家庭は最小単位の社会であることについて、今回は考えてみたいと思います。

(家庭も社会と同じ営みが行われている)

家庭は、愛情で支えられている関係であって、他人によって構成される社会とは異なる側面があることは事実でしょう。

しかし、会話から始まって、挨拶などの礼儀作法や衣食住の習慣、役割の存在や共同作業、決まりごとや一定のルールがあることなど全ての面で社会と共通する営みが日々家庭で行われています。

どちらが鶏でどちらが卵かとの議論は別にして、家庭でも社会と同じ営みを行っている事は疑いの無い事実です。

その家庭内における人間関係が、最近の国際的な比較によると我国の場合は極めて異常な事態にあるといえるのですから、社会においても同様な関係が認められるのではないのでしょうか。

(国際比較から見た親子の関係)

日本青少年研究所が各国の2,000名の高校生を対象として行った意識調査の結果。

1996年 貴方は、自分の力で生きることが出来なくなった年離れた両親に最善を尽くして看護しますか?の問いに対して「はい」と答えた割合  
中国66%、米国46%、日本16%

1998年 貴方は貴方の両親を非常に尊敬していますか?の問いに対して、「はい」と答えた割合  
韓国55%、米国80%、日本10%

2002年 自分で自分のことを駄目な人間であると思う事があるか?の問いに対し、「ある」と答えた割合

中国38%、米国46%、日本73%

自分には何一つ誇れる事は無いと思うかの問いに対し、「思う」と答えた割合

中国23%、米国46%、日本53%

自分で立てた計画を自分で実行する自信はありますか?の問いに対し、「ある」と答えた割合

中国73%、米国86%、日本38%

2003年 多くの国の中高生を対象としたアンケート  
貴方は、自分の両親の下に生まれて非常に満足していますか?の問いに対し、「はい」と答えた割合

大半の国は、80%以上、50%以下の国は無い。日本だけは、25%

2002年 11月2日の道新の卓上四季に東洋大学の  
中里至生教授が、中高生とその両親を対象に  
日本3,400人、米国1,000人、トルコ1,400  
人からアンケート調査した結果。

子供が相談してくるかとの問いに対し、「来る」と答えた割合

米国、トルコの父母共に90%以上、日本父親17%、母親22%に過ぎない。

他人を思いやる大切さを大いに教えていると答えた日本の親は、32%、米国、トルコの親の半分以下であった。

というものであり、日本の家庭が、如何に親子の自然な情愛に欠け、家庭に於ける躾や情操教育などの役割を果たしていないかを示しています。

(原因について)

最大の原因は、家庭の核である夫婦に、協力し合っ  
て家庭生活を営むという意識が乏しい処にあるのでは  
ないでしょうか。即ち夫婦間に愛情に満ちた良好な関  
係が維持されていないからだと思います。

IT革命などのハイテク化の波が日常生活の隅々ま  
で及びその進行度合が速すぎて親が子から学ぶという  
逆転現象が認められ親の教育力が減少していること。

少子化の中で近所や家族に同世代の子供が少なく  
なり、子供同士が交わりの中で社会性を身につける機  
会が少なくなったこと。

過激化する受験競争に勝ち抜くために子供が塾や習  
い事などに追われ、放課後の大切な自由時間を奪わ  
れていること。

競争社会に飲み込まれて、家庭でも学校でも又地域  
でも子供の心の成長を疎かにしたこと。

といった子育てには厳しい環境があることも事実で  
すが、だからこそ現在の子育て世代には一段と両親の  
愛情に満ちた子育てへの努力が必要であるといえるの  
ではないでしょうか。その努力を怠った結果が統計上  
の不名誉な数値に現れているのです。

(家庭は社会の鏡)

子育てが上手に出来ていない家庭は、愛情に満ちた  
良好な関係が維持されていないということですから、  
社会にとっても有用な様々な技術 人を思いや  
る。対等に会話する。協調し合いながら何かを成し遂  
げる。人から学び合う。目上の人と上手につき合う。  
障害を克服したり紛争を上手に解決する等と言った能  
力を日々家庭で学ぶ事が出来ていないという証拠では  
ないでしょうか。

我国の将来を見据えた時、このような家庭環境がも  
たらす悪影響は無視し得ないものでしょう。

特に国際競争力が問われている21世紀の時代に、  
我国だけが他国に比して望ましくない家庭が異常に多  
いということは、単に個々の家庭内の問題では済ま  
されない事態ではないかと思われまます。

ロータリーの進化の歴史について、ロータリーの友  
の日本版編集長の二神さんが平成16年9月号で、ロー

タリーは先ずロータリアン個々人の相互扶助の精神か  
ら始まって、市民としての義務を果たすことから個人  
生活、事業生活、社会生活(人類や隣人などの他者へ  
の)(括弧は、私が解釈した)に常に奉仕の理想を適  
用するところまで発展したことを資料に基づき解説  
していますが、更にその先に足元にある家庭へ奉仕の  
理想を適用することがあっても良いのではないでしょ  
うか。

本年度は、残り少なくなりましたが、今一度、家庭  
奉仕活動を意識した活動に取り組んでいただけるよ  
う呼びかけたいと思います。

## 第3回家庭奉仕委員会報告

家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三(札幌幌南)

4月9日第3回家庭奉仕委員会を開催しました。

家庭奉仕に関するマニュアル作成の進行状況の確認  
及びその内容についての最終的な詰めを行いました。

内容的には、健康な家庭を対象とする家庭奉仕に関  
する活動であると意義付ける。

構成は、以下の通りにする。

連休明けまでに総ての原稿を集めて、2週間程度か  
けて編集作業をして最終的に6月4日の委員会で点検  
して年度内に発行する。ということになりました。(参  
加委員 小林博PG、大場公孝(上磯)松本純枝(深  
川)高下泰三(札幌西)大田すみ子(札幌北)長谷川  
美栄子(札幌大通)和田壬三(札幌幌南))

家庭奉仕実践の手引き(第1版)

目次

本手引き作成にあたって

国際ロータリー第2510地区

2004-05年度ガバナー 遠藤 秀雄

第1編

家庭奉仕とは何ぞや。

同2002-03年度ガバナー 小林 博

第2編

当地区内の家庭奉仕活動

1. 02 - 03年度 第4、第5グループIM

和田 壬三

講演とシンポジウム「慈愛の種を家庭から」

2. 同 ワークショップ

大場 公孝

「私のしている家庭奉仕、私のなすべき家庭奉仕」

3. 03 - 04年度 市民集会

今親として子として「心をつなぐコミュニケーション」

松原 富郎(江差)

北9条小学校「家庭って何だ!？」

小林 博PG

4. フォーラムの紹介

札幌北RC

小林 博PG

深川RC

松本 純枝

5. 4RC合同例会

高下 泰三

「家庭奉仕って?フォーラム」

6. インフォーマルミーティング

佐々木 敦(札幌真駒内)

第3編

一、企画内容

1. 家庭奉仕について会員同士で語り合う会

テーマの提案

大田すみ子

持続的にする必要性

和田 壬三

2. 読後感学会

長谷川美栄子

ふさわしい本の紹介

小林 博PG

3. ビデオ、テープの活用

和田 壬三

4. 講師の紹介

佐々木正美 大場 公孝

土橋 芳美 松本 純枝

池上 公介 和田 壬三

工藤左千夫 "

長尾 靖友 "

二、資金

1. 地区資金の活用

伏木 忠了(札幌西)

2. 資金集め

和田 壬三

三、参加者の募集

水野 正純、和田 壬三

滝川RCより救急車が届きました



世界社会奉仕委員会

委員長 斎藤 修弥(室蘭)

1. 滝川RCよりタイ、ノンカイRCへの中古救急車寄贈が無事終了し、ノンカイRCキテイ会長からお礼のメールと写真が送られて来ましたので報告します。当委員会としては本事業の検証も含め、その後の利用状況についても調査するべく、今秋ノンカイRCを訪問する予定です。



2. 「スマトラ沖大地震支援」書き損じハガキ、未使用テレカ回収運動に再びご協力を。

去る3月28日未明、インドネシアのスマトラ沖で再びマグニチュード8.7の大きな地震が発生し、特に震源地近くのニアス島では島全体に壊滅的被害が発生しています。世界各地から全面的かつ緊急の援助が必要な状況が発生していますので、再び「書

き損じハガキ、未使用テレカ回収運動」に全面的なご協力を宜しくお願い申し上げます。尚、今回の締め切りは6月30日迄といたします。

送り先

〒051 - 0011

室蘭市中央町2 - 7 - 17

斎藤外科医院内 地区世界社会奉仕委員会

TEL 0143 - 23 - 1411

FAX 0143 - 24 - 3599

## 国際奉仕委員会報告



国際奉仕委員会

委員長 橋本 信夫(札幌西)

1 4月10日の地区協議会で斎藤WCS委員長が次年度に向けた活動計画を発表されます。WCS委員会による書き損じはがき回収事業の成果が月信に掲載されました。

この事業は年度末まで継続することになっています。各位におかれてまして更なるPRと回収努力をお願いいたします。

2 地区補助金委員会の伏木委員長がスリランカに赴かれ、スマトラ沖震災の被害状況を視察するとともに、佐藤PG年度のWCS事業としてスリランカで実施されたベッドと自転車供与状況を現地で確認されました。

特に自転車の通関問題は関係筋との折衝で無事解決したとのこと。伏木委員長のご努力に感謝です。

3 千歳RCによって保管されている残りの自転車について早急に供与先を見つけなければなりません。

これまで供与先の一つとして交渉してきたフィリピン、マカテウエスト地区パラワン島のパラワン

RCが遠隔地なための確な情報が得難く、そのままに経過しています。災害地なども対象にして、もっと手広く供与先を探す必要がありそうです。

手がかりやアイデアがあればご連絡ください。

4 登別の地区大会の壇上で調印された韓国3700地区との姉妹提携プログラムの一環として、韓国テグ市で4月15日・16日に開催されるRI3700地区大会に当地区から遠藤ガバナーはじめ大勢が参加されます。日韓関係の微妙な今こそ最もロータリーの友好親善努力が必要と思われま。

5 両地区にとって実り多い親善大会でありますよう祈念いたします。

昨年7月、台湾RI3480地区台北北新RCからクラブ間友情交流の斡旋を要請され、各RCに紹介いたしました。

先週 札幌商工会議所を介して北海道台湾貿易協会より再度同RCと同規模のRCとの親善交流について依頼がありました。

名称：台北北新扶輪社

会長：王友増氏

設立：2002年5月

会員数：約30名

事務所：台北市中山北路2段26巷15号3F

TEL:(886)2-25813019

FAX:(886)2-25813286

お心当たりのRCがありましたらご連絡下さい。よろしく願いいたします。



## クラブ活動 紹介

### 栗山 R C 創立35周年を迎えて

栗山 R C 会長 太田 ヒロ子

栗山 R C の創立総会は、昭和45年1月16日金曜日午後5時より栗山産業会館において、国際ロータリー第350地区ガバナー秋山康之助氏、ガバナー・ノミニ河野通正氏の臨席を得て、更に栗沢 R C 会員15名、岩見沢 R C 会員25名の参加を得て、立川一雄特別代表の点鐘により、厳粛且つ盛大に創立総会が行われた。〔創立会員35名〕80名の参加者〕第1回例会は栗山 R C 創立総会の終了後、場所を変え(午後7時30分より)当日早速例会を開催した。参加者は栗山 R C 創立会員35名、スポンサークラブである岩見沢 R C 会員25名、近隣 R C である栗沢 R C 会15名の大勢であった。

栗山 R C の設立の経緯は「栗山 R C 創立20周年記念誌」によれば、...岩見沢 R C にとって最も懸案事項であった栗山 R C 結成が昭和33~45年の13年間に亘る努力により、ようやく実を結んだわけであります。その間特別代表を務められた4人(鎌田巖特別代表、橋本安太郎特別代表、牧進特別代表、立川一雄特別代表)の方々には誠にご苦勞をおかけしたのであります。

例えば結成の榮譽を得た立川特別代表の記録を拝見すると、栗山 R C 結成のために、栗山町を訪問或いは会合を開催する等が昭和43年から翌年昭和44年6月までに20回、引き続き昭和44年から創立総会までに27回という驚異的な数字に達している。誰も知らな

かった、立川特別代表のかかる初一念を貫く執念と努力が結成へ結びついたのではなからうか。兎に角めでたい窮みである。...とあります。

昭和38年頃に何を勘違いしたものが、札幌ライオンズクラブより創立年月日の入った点鐘とライオンズ旗が栗山商工会議所に届くというハプニングもあり、栗山の方も様々な意見があったようです。栗山も意見を集約し、スポンサークラブの岩見沢 R C の13年にわたる格別のご尽力により創立のはこびになったと思います。創立35周年を迎えて創立時の先輩の思いを新たにし、栗山 R C の将来を考える機会としたいと思います。

(文責 35周年実行委員会副幹事 今井 敏明)



(財)ロータリー米山記念奨学会 2005年4月11日発行



1. 寄付金速報 ~あと残り3カ月を切って

3月までの寄付金は、前年同期と比べ3.45%減、約4千3百万円の減少でした。普通寄付金が1.7%減、特別寄付金が4.4%減です。「2004 - 05年度 普通寄付金送金のお願い」を3月25日付で、約130のRC会長宛にお送りしました。普通寄付金をまだご送金されていないクラブは早急にお送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 第2回 寄付金増進タスクフォース報告

3月9日(水)に第2回寄付金増進タスクフォースが開催され、普通寄付・特別寄付の具体的な増進方策案について話し合われました。協議では、「最も重要なことは米山奨学事業を理解してもらうこと」という意見で一致し、米山奨学生を知ることで、事業についての理解が促進されるよう、奨学生の卓話の推進や、大学から離れた地域のクラブにも奨学生を短期間お世話いただくCO-HOST制度(世話“子”クラブ、ホームステイ制度)の実施などが提案されました。これらの意見は、3月23日(水)開催の常務理事会で報告されました。なお、このタスクフォースは今回をもって終了となります。ご協力いただいた理事・委員の皆さまに心より御礼申し上げます。

3. 米山奨学金の減額について

かねてお知らせしていたとおり、2005年4月支給分から奨学金が減額(\*)となりました。昨年からの継続奨学生に支給の際は特にご注意ください。なお昨年9月中旬に、継続奨学生の世話クラブ宛に継続奨学生とカウンセラーへの通知を発送しております。

(\*) YD(博士) YM(修士) CY(クラブ米山) 月額15万円 14万円へ変更  
YU(学部) SY-1(特別米山) 月額12万円 10万円へ変更

4. 2005学年度: 802名の米山奨学生が決定(2005年4月8日現在)

米山奨学金の全プログラムの採用数が決定しました。今年度の合格者と、昨年からの継続奨学生を合わせた802名(休学延長者3名を含む)が2005学年度の米山奨学生です。

新規奨学生の世話RC・カウンセラーもほぼ決定し、5月には各地区で奨学生を対象としたオリエンテーションが開催されます。その席上で確約書に署名をして、はじめて正式な米山奨学生となります。

米山奨学生 741名(新規 490名、継続 251名)  
クラブ米山奨学生 44名 特別米山奨学生 14名 休学延長者 3名  
計 802名 \*2005年4月8日現在

5. 米山奨学生の博士号取得状況

卒業のシーズンになり、奨学生や学友から博士号取得の報告が続々と届いています。この3月に博士号を取得したのは44名(4月8日現在)。その内、最も多いのが医学・歯学系の11名、続いて工学系が10名となっています。毎年100名前後の報告がありますが、報告を忘れてしまう奨学生もいます。博士の学位取得者には、米山奨学会よりお祝いの時計をお送りしていますので、世話クラブ・カウンセラーの皆様からも、ぜひご報告くださいますようお願い申し上げます。

6. ネパールに女性の職業訓練所を開設した米山学友アルチャナ・シュレスタさん

～現地RCとのツインクラブ締結を機に、世話クラブを含めた5クラブが支援を決定【第2630地区（岐阜県・三重県）】～

ネパール出身の米山学友、アルチャナ・シュレスタさん【2001-02 / 鈴鹿国際大学 / 鈴鹿西RC】は、大学卒業後に帰国し、女性の地位向上のための職業訓練所を開設しました。「ルーザー（日の出）・トレーニングセンター」と名づけたこの訓練所では、手に職をつけて自立を目指す多くの女性が、ミシンの縫製や刺繍、美容・理容技術を習得しています。

今なお社会に厳然とカースト制度の残るネパールでは、最も自立を必要とするカースト下層の女性は、貧しさ故に授業料が払えず、入所の希望が叶いません。そのためアルチャナさんは、バタン市のラリトプール・RCを通じて、このような女性たちが無償で学べるための支援を、彼女の学んだ地である鈴鹿に求めました。

この要請に応じて、第2630地区（岐阜県・三重県）の鈴鹿・鈴鹿西・鈴鹿ベイ・鈴鹿シテイ・亀山の5RCは各々が、土井賢一ガバナー補佐の提唱で、ロータリー100年記念ツインクラブの締結を期し、「ルーザー職業訓練所の支援事業」を計画しました。3月27日、ラリトプール・RCのB.Kシュレスタ会長も来日してツインクラブ締結調印式が行われ、日本側から向こう3年間継続し、合計140万円の支援が約束されました。



ルーザー・トレーニングセンターでの縫製訓練の様子

.....  
アルチャナ・シュレスタさんの談話：

「ネパールの女性の地位向上のために役立ちたい、これは私が日本留学を通じて得た夢です。留学中お世話になったいろいろな方に、『帰国したら人のために役立つことをするんだよ』と励まされ、いつしかそれが私自身の夢になりました。帰国後のニーズ調査で、ミシンによる縫製を仕事にしたいという希望が最も多いことが分かりました。また、少ない資本で開業でき、収入もよい美容師・理容師もそれに次ぐ人気でした。そこで、自立を目指す女性にこれらの技術を習得させる職業訓練所を開設したのです。日本語の通訳・翻訳業、そして日本語教師としての収入のほぼすべてをつぎ込んで、ルーザー・トレーニングセンターを開所することに親兄弟さえも反対しましたが、私は迷いませんでした。いろいろな困難を乗り越えてここまでやってきましたが、今回、世話RCの鈴鹿西RCをはじめ、鈴鹿・亀山の5RCからの温かいご支援をいただけることになり、本当に感謝しています。これから、いろいろなトレーニングを行って、女性の活動の場を広げていきたいと考えています。」



笑顔で抱負を語る  
アルチャナ・シュレスタさん

.....  
世話クラブ：鈴鹿西RCの松本裕夫氏の談話：

「アルチャナさんは、米山奨学生当時から日本のコミュニティーに溶け込み、その人柄で周囲の人から非常に愛されていました。私たちも、当時から彼女の夢を聞いていましたので、クラブとしても彼女を応援したいという機運が自然に高まったのだと思います。ロータリー100周年、そして当クラブの創立20周年にあたる今年、ラリトプールRCとのツインクラブ締結調印が整いましたので、同クラブと協力し、第2630地区世界社会奉仕資金の協力も頂き、5RCとして彼女の素晴らしい活動をサポートできることを嬉しく思います。」

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。  
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当：峯<sup>みね</sup>・野津<sup>のづ</sup>・大庭<sup>おおば</sup>  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階  
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281  
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp  
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

親睦活動委員会ニュース

第15回 J G F R北海道記念大会のご案内

開催日時：平成17年6月27日（月）

大会会場：苫小牧カントリー倶楽部 ブルックスコース

参加資格：全国のロータリアン並びに配偶者

（記念大会につき特別ゲストとして家族、友人の参加歓迎）

競技方法：18ホールストロークプレイ（新ペリア方式）

（スタート時間、組合せ等は後日参加者各位に送付）

参加登録費：お一人様 25,000円（プレイ代金を含む）

参加お申し込みは5月20日（金）までに下記事務局宛にお申し込みください。

（株）JALトラベル北海道 第2営業部第4GRP

J G F R北海道記念大会事務局

TEL 011-200-2504 FAX 011-200-2517

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江別RC	野村 昌人	会員	3月2日
小樽南RC	北野 明宣	会員	3月8日
岩見沢RC	本間 純	会員	3月11日
札幌西北RC	小川 真治	会員	3月18日
札幌幌南RC	増山三雅男	会員	3月18日
札幌幌南RC	山名 善久	会員	3月18日
札幌RC	松本 脩三	会員	3月25日
札幌RC	塚本 勲	会員	3月25日

札幌RC	市川 唯行	会員	3月25日
浦河RC	蘇田 又栄	会員	3月25日

ポール・ハリス・フェロー

札幌RC	鉄井 勝之	会員	3月25日
小樽南RC	高橋 哲夫	会員	3月11日
小樽南RC	村田 達哉	会員	3月11日
余市RC	目黒 幸隆	会員	3月4日
余市RC	中島 恒子	会員	3月4日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

留萌RC	澤田 茂	会員	3月9日 (2)
札幌はまなすRC	光川 眞量	会員	3月2日 (3)
札幌幌南RC	田澤 泰明	会員	3月28日 (1)
札幌幌南RC	内田 豊	会員	3月28日 (1)
岩内RC	木下 正義	会員	3月30日 (1)
小樽南RC	成瀬 桜男	会員	3月11日 (1)
余市RC	目黒 幸隆	会員	3月3日 (1)

余市RC	谷川 淑郎	会員	3月3日 (6)
函館北RC	小笠原 孝	会員	3月9日 (9)

米山功労クラブ

函館RC	3月10日
------	-------

米山功労法人

函館RC	(医)尚仁会竹田病院	3月10日
------	------------	-------





## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 新会員のための手引書

- |   |   |
|---|---|
| 「新会員へのオリエンテーション」 D.2650 2004 25p<br>[申込先: 洲上勝夫 FAX(0779)87-2560]              | 「英国のロータリー 米国のロータリー 日本のロータリー」<br>入江直祐 1981 8p (D.257地区大会特別講演)          |
| 「今さら人に聞けない...ロータリー情報マニュアル」<br>D.2650 2004 42p<br>[申込先: 洲上勝夫 FAX(0779)87-2560] | 「世界理解を強調する月間に思う」松宮 剛 2005 3p<br>(D.2780月信)                            |
| 「ロータリーについて(新入会員懇話会教材)」豊田R.C.<br>2004 41p<br>[申込先: 豊田R.C. FAX(0565)32-5559]    | 「ロータリーを生成発展させたもの」<br>中山義之 2005 1p (D.2590月信)<br>[上記申込先: ロータリー文庫(コピー)] |
| 「ロータリーの綱領とその変遷にみるロータリーの100年<br>(その1～3)」 D.2660 2004 15p(D.2660月信)             |   |

## 2007～2008年度 ガバナー・ノミニー候補者 推薦のお願い

国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 遠藤 秀雄  
次期地区ガバナー指名委員会  
委員長 岩城 秀晴

2007～2008年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区クラブは6月15日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもって推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1頁～6頁及び第8節の資格条件に適していることを要します。

## ガバナー・ノミニーの 選出手続きの変更

「手続き要覧2004年」のR I細則第13条 ガバナーの指名と選挙【R I細則13.010.ガバナー・ノミニーの選出】によると、「地区はノミニーを、ガバナーとして就任する日の直前24ヶ月以上30ヶ月以内に選出するものとする」とあります。

つまり、R I第2510地区においても、2005年6月30日までにガバナー・ノミニーの選出を行わなければなりません。

## 掲 示 板

### 例会の変更について

岩見沢 R C

5月3日(火) 法定休日のため休会

白老 R C

5月3日(火) 法定休日のため休会

5月10日(火) 夜間移動例会・家族例会「観桜会(雨天  
決行) 18:00~ 於:白老八幡神社

5月17日(火) 移動例会「桜の苗木」記念植樹(雨天決行)  
12:30~ 於:禅照寺(白老町竹浦)

苫小牧北 R C

5月3日(火) 法定休日のため休会

5月17日(火) 移動家族例会「肉まんづくり」 12:30~  
於:中華料理屋 三匠

余市 R C

5月4日(水) 法定休日のため休会

5月11日(水) 例会場・例会時刻変更 18:30~  
於:ホテル水明閣内リバーハウス

5月18日(水) 例会場変更 12:30~ 於:ホテル水明閣

5月25日(水) 例会場変更 12:30~  
於:余市経済センター

室蘭東 R C

5月4日(水) 法定休日のため休会

5月25日(水) 夜間例会 18:30~ 於:蓬峽殿

岩見沢 R C

5月6日(金) 休会\*

苫小牧東 R C

5月5日(木) 法定休日のため休会

5月12日(木) 夜間移動例会 18:00~ 於:鳥市

5月26日(木) 夜間例会~クラブ協議会~ 18:00~  
於:グランドホテルニュー王子

江別 R C

5月5日(木) 法定休日のため休会

5月12日(木) 夜間移動例会 観桜例会 18:30~  
於:レストラン原始林(原始林ポウル)

札幌大通公園 R C

5月23日(第4週)より、毎月第4週の月曜日は、例  
会開始時間を午後6時45分に変更を決定しましたので、  
ここに報告させていただきます。

芦別 R C

次年度2005年7月より新例会日 毎週木曜日に変更  
になります。(旧例会日は毎週金曜日でした。)

注)\*定款第5条第1節に基づく休会

### ガバナー事務所からのお知らせ

4月29日(金)~5月5日(木)まで休ませて頂きます。  
よろしくお願いいたします。

## ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、  
所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場  
合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願ひます。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1  
~2枚をご同封願ひればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

### 3月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			04.7.1	05.3.31	増減内	内女性		
1	深 川	4	40	39	- 1	1	86.11	
	羽 幌	4	47	47	0	1	73.81	
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	85.00	
	小 平	4	14	14	0	0	78.57	
	留 萌	4	59	53	- 6	0	86.31	
小 計			170	163	- 7	2	81.96	
2	赤 平	4	34	35	1	22	84.13	
	芦 別	4	54	50	- 4	0	88.06	
	砂 川	4	54	51	- 3	0	100.00	
	滝 川	5	109	109	0	2	74.00	
小 計			251	245	- 6	4	86.55	
3	美 唄	4	42	43	1	0	92.28	
	江 別	5	43	39	- 4	1	86.87	
	江 別 西	4	37	36	- 1	3	84.72	
	岩 見 沢	4	94	96	2	0	89.95	
	岩 見 沢 東	4	37	38	1	3	78.48	
	栗 沢	4	26	24	- 2	1	91.66	
	栗 山	4	29	30	1	2	94.58	
	当 別	4	38	38	0	0	82.05	
	小 計			346	344	- 2	10	87.57
	4	札 幌	4	123	124	1	0	98.48
札幌あけぼの		4	16	16	0	1	100.00	
札幌はまなす		4	24	23	- 1	4	80.68	
札 幌 北		3	49	45	- 4	5	94.31	
札幌モーニング		4	54	56	2	0	73.35	
札 幌 西		4	69	73	4	3	90.62	
札 幌 西 北		4	48	50	2	2	89.87	
札 幌 手 稲		3	39	43	4	1	99.22	
小 計			422	430	8	16	92.26	
5	札 幌 東	4	125	124	- 1	0	98.25	
	札 幌 清 田	4	26	28	2	6	100.00	
	札 幌 幌 南	4	69	68	- 1	0	100.00	
	札幌真駒内	4	44	45	1	2	90.42	
	札 幌 南	3	91	96	5	0	92.85	
	札幌大通公園	3	19	20	1	4	61.60	
	札幌セントラル	4	19	16	- 3	4	86.50	
	新 札 幌	5	36	33	- 3	1	95.00	
	小 計			429	430	1	17	90.58
6	岩 内	4	33	31	- 2	0	74.00	
	倶 知 安	5	54	54	0	3	65.00	
	小 樽	5	74	75	1	0	84.01	
	小 樽 南	4	86	84	- 2	0	80.00	
	小 樽 銭 函	5	23	25	2	3	82.00	
	蘭 越	5	14	13	- 1	0	75.70	
	余 市	4	43	43	0	4	87.62	
小 計			327	325	- 2	10	78.33	

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,136人  
 当月末会員数(女性) 3,117(87)人  
 増加会員数 - 19人  
 当月平均出席率 82.99%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	05.3.31	増減内	内女性	
7	千 歳	4	65	60	- 5	2	83.10
	千歳セントラル	4	30	28	- 2	0	81.10
	恵 庭	4	51	51	0	0	83.33
	北 広 島	3	19	19	0	2	88.89
	長 沼	3	18	18	0	3	83.40
	由 仁	4	15	15	0	0	81.67
	小 計			198	191	- 7	7
8	え り も	5	24	23	- 1	0	86.09
	三 石	3	17	17	0	1	90.19
	様 似	5	19	18	- 1	1	69.47
	静 内	5	67	70	3	0	78.21
	浦 河	5	40	39	- 1	1	75.39
	小 計			167	167	0	3
9	伊 達	4	56	59	3	0	79.66
	室 蘭	4	51	54	3	0	80.19
	室 蘭 東	4	43	43	0	0	86.88
	室 蘭 北	4	37	37	0	2	77.03
	登 別	5	39	39	0	2	80.00
	洞 爺 湖	4	10	9	- 1	0	100.00
	小 計			236	241	5	4
10	函 館	4	101	97	- 4	0	77.81
	函 館 亀 田	3	42	47	5	1	70.21
	森	4	43	43	0	0	72.00
	七 飯	4	24	24	0	0	79.10
	長 万 部	3	13	13	0	0	66.60
小 計			223	224	1	1	73.14
11	江 差	5	16	17	1	0	74.50
	函館五稜郭	4	68	63	- 5	0	93.79
	函 館 東	4	50	44	- 6	4	83.93
	函 館 北	4	37	36	- 1	0	77.14
	上 磯	4	29	29	0	3	62.10
	松 前	4	9	9	0	1	66.67
小 計			209	198	- 11	8	76.36
12	白 老	5	29	26	- 3	0	78.00
	苫 小 牧	4	56	62	6	0	83.86
	苫 小 牧 東	4	32	32	0	3	83.59
	苫 小 牧 北	4	41	39	- 2	2	81.58
	小 計			158	159	1	5
合 計			3,136	3,117	- 19	87	82.99

## 新入会員のご紹介



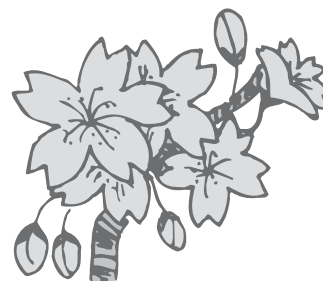
佐々木光治  
江別RC  
4月7日入会



澤田 秀二  
江別RC  
4月7日入会



大西 隆  
伊達RC  
4月12日入会



## 訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、  
心からご冥福をお祈りいたします。

大井 綱雄 会員(千歳セントラルRC)  
2005年3月31日ご逝去(享年61歳)

### 【ロータリー歴】

1990年11月19日入会(チャーターメンバー)

1992~93年度 会員増強委員長

1993~94年度 国際奉仕委員長

1996~97年度 第6代会長

1997~98年度 ロータリー情報委員長

2002~03年度 2510地区協議会

実行委員長

2003~04年度 ロータリー財団委員長

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー





5月・6月 地区カレンダー

5 月		6 月 ロータリー親睦活動月間	
1 (日)	第4・5グループ ロータリー 100周年記念こども音楽祭	1 (水)	
2 (月)		2 (木)	
3 (火)	憲法記念日	3 (金)	
4 (水)	国民の休日	4 (土)	
5 (木)	こどもの日	5 (日)	倶知安RC 40周年記念式典( ホテル第一会館,倶知安町) 国際親善奨学委員会,2006 - 2007選考
6 (金)		6 (月)	
7 (土)	第3グループ合同例会( 13:30 ~ ,北海道医療大学)	7 (火)	
8 (日)		8 (水)	
9 (月)	第4回ガバナー会( 11:00 ~ ,高輪プリンスホテル)	9 (木)	
10 (火)		10 (金)	
11 (水)		11 (土)	
12 (木)	意義ある業績選考委員会 (札幌パークホテル)	12 (日)	新旧引継ぎ会議 (札幌グランドホテル)
13 (金)	第13回地区幹事会 ( 18:30 ~ )	13 (月)	
14 (土)		14 (火)	
15 (日)		15 (水)	
16 (月)		16 (木)	
17 (火)		17 (金)	シカゴ国際大会地区ツアー出発
18 (水)		18 (土)	} インターアクト地区大会( ウェリントンホテル,ライディングヒルズ静内)
19 (木)		19 (日)	
20 (金)		20 (月)	} シカゴ国際大会
21 (土)	長沼RC「第13回長沼国際交流フェスティバル」( 13:00 ~ ,長沼町民会館) 栗山RC 35周年式典( 16:00 ~ ,ホテルパラダイスヒルズ)	21 (火)	
22 (日)	第1グループ合同「研修・交流会」( 13:00 ~ ,羽幌温泉サンセットプラザ)	22 (水)	
23 (月)		23 (木)	
24 (火)		24 (金)	
25 (水)		25 (土)	
26 (木)		26 (日)	青少年交換委員会,派遣生激励会 & 受入学生送別会
27 (金)		27 (月)	地区ゴルフ大会 (国際奉仕 - 親睦活動委員会)
28 (土)	} 75歳ローターアクト地区大会 (アネックホテル)	28 (火)	
29 (日)		29 (水)	
30 (月)		30 (木)	
31 (火)			

# ROTARY Four Avenues of Service 100 Years



[www.rotary.info](http://www.rotary.info)



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

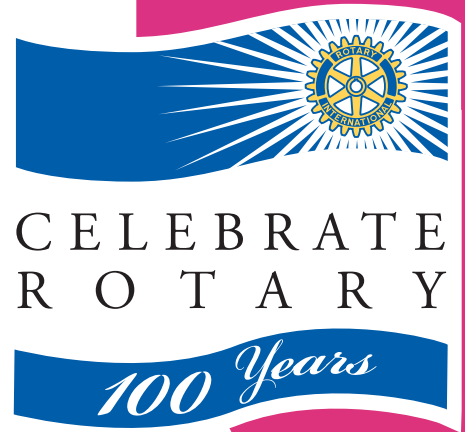
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

# ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F  
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512  
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー's LETTER .....	3
ガバナー日記 .....	4
地区委員会活動報告	
・意義ある業績賞選考委員会 .....	7
クラブ活動紹介	
・方位指示盤“引越し” .....	8
・栗山RC35周年記念式典 .....	8
ロータリー文庫通信 .....	9
新旧ガバナー補佐引継ぎ会議 及び新旧地区委員会委員長引継ぎ会議のご案内 .....	10
2004-05年度 国際ロータリー第2510地区インターアクト年次大会兼 静内インターアクトクラブ10周年記念ご案内 .....	11
ハイライトよねやま63 .....	12
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます .....	14
ロータリー100周年記念事業特集	
・「ロータリー100年・こども音楽祭」 .....	15
・RI創立100周年記念合同例会(友好を深めて) .....	16
・札幌大通公園RCのロータリー100周年記念事業 .....	17
新入会員の紹介 .....	17
創立35周年記念誌 「超我の人 米山梅吉の聲音」の発刊にあたって/訃報 .....	18
お誘い“歓送迎会” .....	19
4月会員増減数・出席率報告 .....	20
6月地区カレンダー 掲示板/ガバナー事務所からのお願い .....	21

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.12  
2005.6

## スリランカ子ども基金北海道 Sri Lanka Children's Fund of Hokkaido

岩見沢RC会長 渡辺博人

「スリランカ子ども基金北海道」は岩見沢東RC（渡辺博人会長）がRI創立100周年記念事業としてスリランカの学童達の教育支援の基金として創設されたものである（ガバナー月信5月号9頁）。

これは岩見沢東RCのイニシアティブで始まったものであるが、札幌北RC会員有志をはじめ一般市民からの寄附金凡そ150万円を原資として創設した。寄附金はスリランカのNations Trust BankのReinvestment Fund（年利率8.75%）として預け、その利息を1年後に引き出し、子ども達の教育支援に有効に使用しようとするものである。従って本事業は半永続的なものと理解している。

この事業趣旨に賛同される方はロータリアン・家族、一般市民のどなたであっても広くご芳志をお寄せいただければ有難い。下記銀行口座を介しスリランカの同銀行に随時追加預託することになっている。

### 記

募金振込先口座

銀行名：北洋銀行 岩見沢中央支店

口座名：スリランカ子ども基金北海道（岩見沢東RC）

口座番号：普通 3876463

資料提供・担当

岩見沢東RC国際奉仕委員長 田巻 敏行

## 地区青少年交換委員会

# 長期派遣学生募集

ロータリーの親善大使として.....

青少年交換プログラムはロータリアンの子女であるなしは問いません！  
年齢15歳から19歳未満の学生であればだれでも参加できます。

派遣期間 2006年7月～8月から1学年間

派遣地区  
アメリカ  
オーストラリア  
カナダ  
フィンランド

応募期日 2005年6月30日（木）

選考試験 2005年7月中旬予定

【問い合わせ先】RI2510地区青少年交換委員会事務局

\*TEL：090-8706-4847（土田）

\*FAX：011-802-2512





# Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

## ポリオ撲滅募金キャンペーンについて

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



私がガバナーに就任する前から気がかりであったのが、ポリオ撲滅募金キャンペーンであります。この3年間、余りご理解を頂けない会員が多いように思いますので、ポリオとロータリーの関わりについて述べてみたいと思います。

ポリオは20世紀を迎えるまでは、臨床的診断がつかず、小児麻痺として、ヨーロッパやアメリカで発生していました。1916年ニューヨークで発生したポリオの大流行が全米を襲い、麻痺患者27,000人、死者7,000人に及び、この病気の恐ろしさを思い知らされたのであります。これが、きっかけとなり、あちこちのRCが身体障害児のための事業として車椅子の寄贈、職業訓練、世帯扶助等のプログラムが組まれるようになりました。ポリオがウイルス性の疾患であり、口から体内に侵入し、喉や腸で繁殖し脊髄の神経を侵す病気であることが判るようになり、ポリオ・ワクチンが開発されるようになりました。1960年ソ連で7,700万人が経口ポリオ・ワクチンを予防接種され、ポリオの新規症例が姿を消し、鉄の肺に閉じこめられることもなくなりましたが、未接種の発展途上国では、身体障害児が増え続けてゆきます。日本でも1961年ポリオの大流行で当時のソ連から、生ワクチンを大量輸入して子供達を救っています。北海道もその恩恵に浴しています。これに対して、アルバート・セービン博士（経口ワクチンの開発者）はポリオの一斉予防接種を強く提唱していましたが、1970年代にはアメリカ防疫センター、WHO、国際ロータリーでも各々その方策を考えるようになりました。しかし、現実には一斉投与は非常に困難であります。

1979年ロータリーはフィリピンの100万人の子供

たちにポリオの予防接種を行う3-Hプログラムを実施しています。そして1982年RI理事会は「国際ロータリーが創設100周年を迎える2005年までに世界中の子供たち全員にポリオの予防接種を行うこと」を採択しています。この「ポリオ2005」プログラムは世界の新生児に5年間ワクチンを提供するために12,000万ドル必要であり、ワクチン投与のためロータリー・ボランティアを動員することをロータリー創設80周年記念日である1985年2月23日に正式発表し、募金キャンペーンを始めました。その結果21,900万ドルの募金結果で1988年5月に完了しています。1988年には125ヶ国35万件の新規発生者数が2002年7ヶ国1,919件と、99%の減少をみえています。しかし、戦争や内紛のため未接種の子供たちがいますし、その監視活動も困難を極めています。そのため、2002～03年に8,000万ドルの追加キャンペーンが行われました。これに対して日本では、この内1,600万ドルを1人毎年50ドルずつ3年間で1人150ドルを募金することを誓約いたしました。このRIポリオ撲滅募金キャンペーンの最後が2005年6月30日であります。2005年4月末現在日本34地区の1人平均が130ドルですが、当地区は80ドルで31位と低調であります。150ドルを越えているクラブは12クラブですが、この3年間全く協力頂けないか、10ドル以下が13クラブもあります。長すぎる不況による疲弊の状況は充分理解しておりますが、ポリオによる障害や死におびえる子供たちをなくすため、またロータリアンとしての誇りを全うするためにも、残すところわずか1ヶ月であります。全力を傾けて頂きたいと思っております。グレン・E・エステスRI会長は6月30日に間に合わなくても2005年中にはポリオ新規発生患者はいなくなるであろうと確信されています。

## ガバナー日記

4月29日(金)・30日(土) 2004 - 2005年度、R I 会長主催祝賀会議が新高輪プリンスホテルで開催された。

29日 18:00 ~ 20:30 グレンE・エステス・シニア R I 会長ご夫妻歓迎晩餐会が906名(当地区12名)の参加で開かれた。エステス会長は以前に手術された膝の痛みを押しながらの出席であった。挨拶の中で会長職が終わったらもう一方の膝の手術を予定していると申され、積極的にその役割を果たそうとする意欲に敬意の念をいただいた。

国際ロータリー 100周年記念切手初刷がエステス会長に贈呈された。歓迎コンサート「平和の祈り」がサカモト・ミュージック・スクールのメンバーにより美しく歌いあげられ懇親会に移った。久しぶりに顔を合わせる会員や御婦人があちこちで挨拶をかわされ賑やかであった。



30日10:00 ~ 17:00 本会議、参加者は1,516名と予定を超える出席者であった。

「ロータリー栄誉賞」がエステス会長から千玄室元 R I 理事に贈られた。年5名に与えられる賞で、選ばれる方は元首や王室が多く、今年はロータリアンは千さん1人だけとの事であった。基調講演でエステス会長は職業倫理の重

要性を強調されたが、その内容はロータリーの友・ホームページに掲載予定なので割愛する。講演「職業倫理」で深川純一 P G はロータリアンの職業倫理は法令遵守という範囲にとどまるものではなく、もっと高度で厳しいものであると会員の意識を喚起された。また2004年国際大会実行委員長から財団基金が贈呈された。昼食後テーマ別分科会が行われたが、それに先立って南園 R I 理事は、エステス会長からのテーマは「職業倫理」であり、その理念、目的及び方法が組合った分科会を考えたと説明され「職業倫理」「ロータリーのイメージアップ」「ロータリー情報の重要性」「会員退会防止と増強」「魅力あるクラブづくり」の5つの分科会ではパネリスト、フロアの双方からさまざまな意見交換が行われ、幅広い情報交換を行った。最後にマリンバ・ボニーズの可愛らしい演奏会で余韻を残し閉会となった。



5月1日(日) ロータリー 100周年記念「こども音楽祭」が第4・5クラブ合同主催で札幌コンサートホール Kitara 大ホールで開催された。実行委員長は丸山淳士第5グループガバナー補佐、副実行委員長は小山秀昭第4グループガバナー補佐、16クラブの絶大な協力により見事な運営がなされた。

昼の部 札幌こどもミュージカル

第一部 オペレッタ「ひとつのおわんでトゥミクミク」

第二部 オリジナルコンサート「北海道の四季」他

3才から高校生まで幅広いこども達が一糸乱れず、微笑ましく軽快なリズムと調和のとれた歌声で、さすがにサントリー賞を始め数々の受賞、海外公演の実績ある実力派

No. 29

Date 05. 6. 1

であり、感激をした。指揮者が岩城PGの御婦人と義姉細川真理子さんであり、そのご努力を高く評価したい。夜の部、札幌交響楽団公演 指揮者、高関健 曲目ドヴォルザーク序曲「謝肉祭」作品92他、南ヨーロッパの作曲家が北国の曲を、北の作曲家が南の曲と8曲を選曲され高関さんの解説を交えながら演奏で楽しく、美しい音色に酔いしれた。予約券はすべて無くなっているのに開演直前まで何とかならないかと申込みがあり実行委員長の皆さん走り回っておられ大変なご苦勞をされたが素晴らしい音楽祭は大成功で終了した。

#### 5月7日(土)第3グループ合同例会

100周年記念例会で北海道医療大学大講堂に於いて行われた。土谷茂樹ガバナー補佐から今回の合同例会の主旨についてご説明があり私は挨拶の中で4月に行われたRI会長主催会議の御報告を申し上げた。記念講演は北海道医療大学生薬学、堀田清助教授で東洋医学の「気」から始まり健康に役立つ薬草や生薬の話がされ中には適応や量を間違えると両刃の剣となるものもあり皆さん興味深く拝聴された。生憎の雨で薬用植物園を見学出来なかったのは残念であった。当別町田西会館に席を移して懇親会が催された。

講師も出席されご馳走をつつきながら薬草の話や各クラブの情報等楽しく親睦を深められた。

#### 5月9日(月)第4回ガバナー会

11:00~14:30 高輪プリンスホテル

3名の欠席があったが、5月ともなるとそろそろ閉めくりの時期に入り皆さん穏やかな表情が窺えた。案件ごとに要約することにした。

##### 1. ガバナー会規約案について

第3回ガバナー会に提示された規約の集約となるが、第2条目的を地区ガバナー間の連絡を緊密にし、親交を深めることにした。第8条委員会には、ただし原則として「当該年度限りのものでなければならぬ」を付け加えた。以上が了解された。

##### 2. ロータリー情報センター・ジャパンのその後の報告と

##### 討議

「ロータリーの友」、「ロータリー文庫」、「RJW(ロータリージャパンウエブ)」及びRIからの情報の翻訳を加え4つの組織を効率よく機能させることが目的であり、RI情報ばかりでなく、各地区の月信や各クラブ会報の検索が出来る等、利点も多く各方面に理解を求めながら進行中である。

##### 3. 大阪国際大会剰余金

2,200万円がガバナー会に分配されたが、地区旗とロータリー情報センター立ち上げの費用に当てている。

更に1億円の剰余金の受け皿がなく、一時的にガバナー会で預かることになった。

##### 4. モンゴル緑化運動協力について

韓国のガバナー会が活動し、100周年記念協同事業として呼びかけがあり、日本ガバナー会議長が現地を視察してきたが、問題点もあり今回は見送ることとなった。

##### 5. 新潟災害その他の報告

###### 中越地震義援金(中間報告)

受付状況 4 / 1 11,712万円

義援金の使途	復興支援事業額補助金	2,000万円
	ロータリー義援奨学金	3,860万円
	支援継続準備金	3,000万円
	使途指定	2,000万円
	その他予算	500万円

###### 新潟水害義援金

受付総額 38,285,725円

使途	第4分区	30,869,558円
	第5分区	7,412,807円
	振込手数料	3,360円

###### 福井豪雨義援金・台風23号義援金決算報告

義援金合計 38,602,266円

使途	福井県被災5都市	10,000,000円
	京都府	5,000,000円
	京都府被災8都市	8,000,000円
	京都府被災クラブ(7RC)	4,000,000円
	計	27,000,000円

R I 2650地区災害基金 11,602,266円  
計38,602,266円  
スマトラ沖地震・津波災害義援金情報(5月9日現在)  
使途先 R I J O 111,610,083円  
その他 44,386,214円  
計155,996,297円  
D.2510地区 3,965,534円  
2004年4月～2005年3月

ポリオ撲滅募金活動キャンペーン累計実績

34地区寄付総額 13,505,977ドル  
(1人当たり総額 130.38ドル)  
D.2510地区 3,965,534ドル  
(1人当たり総額 73.83ドル)  
(34 / 31位)

既に150ドル以上が7地区、150～100ドルが21地区、100ドル以下が6地区であり、残り3ヶ月に精一杯ご努力を頂きたいと思う。誓約はやはり守る必要があるのだから。

6. 例会メイクアップ期間について

1995年の規定審議会で採択された「例会メイクアップ期間を前後2週間以内に拡大された制定案」は出席率を向上させる目標であったが、その後出席率は大巾に落ち込んだばかりか、他の規範の絡みまで意起した事を憂慮し再び「前後7日間」に改訂する提案がD.2770地区から出された。2007年規定審議会で制定案として提出したいので各地区でも賛同して欲しいとの主旨であった。

5月12日(木) 意義ある業績選考委員会

16:00～18:00 札幌パークホテル

今年度100周年を記念して「奉仕への貢献に対する表彰」が創設された。R I会長から地区5名までの受賞者に表彰状が贈呈されることになるが、各クラブに応募をお願いしたところ条件に合った46名の候補者が推薦された。さすがに皆さん長年に亘り立派な業績を残され、甲乙つけ難く厳しい選考であったが委員会で慎重審議の結果5名の

方が選ばれその報告を受けた。額とささやかな記念品を添えて例会の席でガバナー補佐からお渡ししたいと考えている。

赤平RC 西沢良知君  
札幌モーニングRC 近藤良一君  
三石RC 佐々木初之助君  
函館RC 亀井敏清君  
苫小牧RC 山下正君

おめでとうございます。

18:30 ライフォートホテル

第4・第5グループ主催「こども音楽祭」反省会

実行委員の皆さんの大変な御苦労で企画、運営がなされ、予約券も早い期間に品切れになったにもかかわらず、実質参加者数 昼の部1,900名、夜の部1,500名とわずかに空席があったことがご不満の様子であったが、素晴らしいこどもミュージカル、札幌の美しい音色は参加された方々には大満足であったと思うし、第4・5グループのロータリアンの友情とロータリー広報に大きな貢献をされた事が大変嬉しかった。ご挨拶後中座せざるを得ず楽しい雰囲気をごわしたのではと恐れている。

5月13日(金) 第13回地区幹事会 18:30～

新旧ガバナー補佐・各地区委員長引継ぎ会議が6月12日(日)札幌グランドホテルで開催されるが前回に引き続いて準備状況を確認した。



## 地区委員会

## 活動報告

### 意義ある業績賞選考委員会



意義ある業績賞選考委員会  
委員長 岩城 秀晴(札幌南PG)

100周年度を祝うために、RIでは25年以上にわたりクラブに所属し、クラブとロータリーの理想に対して、確固たる支援を与え続けてこられたロータリアンを「奉仕への貢献に対する表彰」の制度を創設されましたので、当第2510地区から5名の該当者を選出するために、委員会を開催して、推薦考を致しました。

予め、地区72クラブの会長さん宛に、御推薦を御願い申し上げました。

その候補者の推薦基準は、

1. 一つまたは複数のRCで25年以上の会員歴を有していること。
2. 奉仕活動を通じて、ロータリーの理想を実践していること。
3. いくつかのRC委員会もしくは理事会における任務を経験していること。
4. 継続的にRCの奉仕活動に参加していること。
5. RCの親睦に貢献していること。
6. RCの新入会員や若年委員を快く迎えること。

この基準を条件に、RCから推薦された方は45名に達しました。その推薦された方の中には、ロータリー歴47年、45年の方がおられますし、会長を8期もされた方がおられますので、この中から特に顕著な奉仕

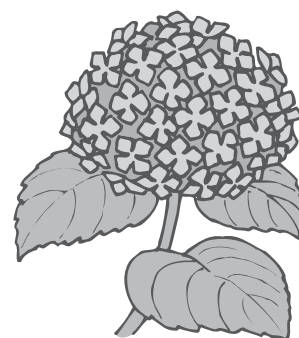
歴の方を1次、2次、3次選考の順に従って、選考させて戴きました。そして、最後に残られました方、7名の中から慎重審議致しまして、5名の方を表彰者に決定致しました。

なお、落選された方には、大変申し訳なく存じます。御了承下さい。

#### 【表彰者】

赤平RC	西沢良知氏
札幌モーニングRC	近藤良一氏
三石RC	佐々木初之助氏
函館RC	亀井敏清氏
苫小牧RC	山下正氏

以上の経過のもとに、私ども委員会の委員は、楽しい選考ではありましたが、汗を出した次第です。RCには、このような主派に奉仕された方々が、大勢いらっしゃることが今後のロータリーを支える大きな原動力となっているものと考えますと、大きな夢とロマンが沸いてくるのではないのでしょうか。



## クラブ活動 紹介

### 方位指示盤 “引越し”

洞爺湖 R C 会長 三 浦 昭 三

#### 方位指示盤の由来

洞爺湖 R C は、昭和44年2月24日国際ロータリー加盟承認を受け設立されました。

それを記念して、チャーターメンバー26名は、観光地に役立ち永久に残る事業を考え、旧国道230号線見晴台に設置されました。

昭和52年、有珠山山頂噴火により国道被害を受け、一時撤収致し再度当時のロータリアンによって、その近くに設立致し多くの人々に利用されました。

平成12年、23年ぶりに山麓噴火により、国道230号線は壊滅的な大被害を受け噴火口に近いこともあって、灰の下に埋没されてしまいました。

3年後に掘り起こし、旧消防署に保管、新町道の完成を待って一番の景勝地にこの度設置することに致しました。

今年は、奇しくもロータリー創立100周年を迎え、記念事業として装いも新たに会員一同の手によって、再度光が当たることとなります。



### 栗山 R C 35周年記念式典

栗山 R C 創立35周年実行委員会

記録委員長 北 村 利 雄

第2510地区栗山 R C は創立35周年を迎え5月21日ホテルパラダイスヒルズで記念式典、祝賀会を挙行了した。

今年は例年になく寒さが続いたため遅い桜の開花が式典に花を添えて盛大な開催であった。記念式典は桜沢忠彦 R C 会長エレクトの開会の言葉ではじまり、太田ヒロ子会長の式辞ご来賓として、第2510地区ガバナ―遠藤秀雄様、栗山町長川口孝太郎様、姉妹都市であり、姉妹 R C である宮城県角田 R C 会長毛利友一様方々からご祝辞をいただいた。

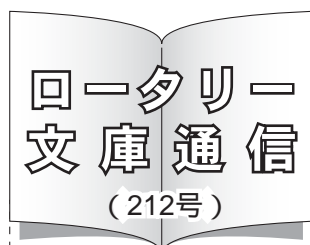
また、創立以来の会員であり永年会の運営と発展に寄与された篠原武、北野一義、松原東一郎の三会員に感謝状を贈呈した。

記念事業としては、地域医療の役に立てて欲しいと栗山赤十字病院に人工透析の医療器具の一部と車椅子用体重計を、栗山工業団地に桜の苗木135本を寄付させていただき「奉仕の理想」を全員で確認しました。桜の苗木は国際ロータリーの100年と栗山 R C の35年を合わせて135本とし満開の桜が咲くのを楽しみに

しています。祝賀会では佐藤清夫実行委員長の開会の挨拶に始まり、スポンサーRCである岩見沢RC会長千田一彦様の乾杯で祝宴が始まった。アトラクションとして空知管内で絶大な人気のある「SoRa」のお二人によるマリンバ演奏で会場の雰囲気は最高潮に達した。

途中飛び入りで栗山RC仲間がコンガやボンゴ、マラカス等でマリンバと競演する場面があり会場から大きな拍手が沸いて笑顔に包まれていた。最後には会場がひとつの大きな輪になってロータリーソング「手手つないで」を全員で合唱してロータリーの友情を誓い合って盛会裡に終わりました。

第2510地区 北海道栗山町



## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 第33回ロータリー・ゾーン研究会報告書より

- |   |  |
|---|--|
| 「RI近況報告」 田中作次 2005 3p                           | 「会員増強と退会防止(現状と将来への取り組み)」 小沢一彦 2005 3p    |
| 「ロータリー財団近況報告 2006-07年度RI会長指名委員会報告」 玉村文夫 2005 3p | 「現代社会と職業倫理(社会の変化と職業倫理の在り方)」 天野 肇 2005 3p |
| 「ポリオ撲滅の現況と募金キャンペーンについて」 千 玄室 2005 2p            | 「魅力あるクラブ(个性的で、未来を作るクラブ)」 黒田正宏 2005 6p    |
| 「国際問題研究のためのロータリー・センター報告」 高橋一生 2005 3p           | 「水と保健・環境(水と感染症、疾病と環境)」 宮崎茂和 2005 3p      |
| 「ロータリアンの意識とロータリーの将来の展望」 小谷典子 2005 14p           |  |
| 「新世紀の夢を語る」 上野 孝 2005 7p                         |  |

[ 上記申込先：ロータリー文庫(コピー) ]

## 新旧ガバナー補佐引継ぎ会議及び 新旧地区委員会委員長引継ぎ会議のご案内

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄  
ガバナー・エレクト 塚原 房樹

2004 - 2005年度も終盤にさしかかりました。来年度に向けて新旧ガバナー補佐引継ぎ会議と新旧地区委員会委員長引継ぎ会議を下記の要領で開催いたします。

何かとご多忙のおり恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

### 記

1. 日 時 2005年6月12日(日)  
10:00~12:00 新旧ガバナー補佐引継ぎ会議  
13:00~16:00 新旧地区委員会委員長引継ぎ会議  
(新旧ガバナー補佐もご出席ください)  
16:00~17:30 懇親会
2. 場 所 札幌グランドホテル 札幌市中央区北1条西4丁目 電話 011-261-3311
3. 議 題 今年度活動報告と次年度活動計画について

#### 新旧ガバナー補佐引継ぎ会議プログラム

- 9:45 受付開始  
10:00 開 会  
司 会 伊奈 昭夫  
10:00 開会の挨拶  
ガバナー 遠藤 秀雄  
10:05 配布資料の説明  
幹 事 齋藤 正史  
10:10 ガバナー補佐紹介(新旧)  
代表幹事 伊奈 昭夫  
10:15 新旧ガバナー補佐報告  
(新旧各ガバナー補佐3分程度)  
新旧各ガバナー補佐  
11:40 引継ぎ事項・質問等について  
11:55 閉会の挨拶  
ガバナー・エレクト 塚原 房樹  
12:00 閉 会

#### 新旧ガバナー補佐・地区委員会委員長 引継ぎ会議プログラム

- 12:30 受付開始  
13:00 開 会  
司 会 伊奈 昭夫  
13:00 開会の挨拶  
ガバナー・エレクト、  
ガバナー・ノミニー紹介  
ガバナー 遠藤 秀雄  
13:05 合同会議にあたり  
ガバナー・エレクト 塚原 房樹  
新旧委員長紹介  
代表幹事 伊奈 昭夫  
13:10 委員会活動報告  
当年度地区委員会委員長  
休 憩  
委員会活動計画報告  
次年度地区委員会委員長  
15:25 ガバナー事務所・  
エレクト事務所からの報告  
15:40 質疑応答  
15:55 閉会の挨拶  
ガバナー・ノミニー 丸山 淳士  
16:00 閉 会

#### 新旧役員合同懇親会プログラム

- 16:00 開 会  
司 会 関堂 勝幸  
16:00 開会の挨拶  
ガバナー 遠藤 秀雄  
16:05 乾 杯  
研修リーダー 伊藤 長英  
17:25 閉会の挨拶  
ガバナー・エレクト 塚原 房樹  
17:30 閉 会



## 2004-05年度 国際ロータリー第2510地区インターアクト年次大会兼 静内インターアクトクラブ10周年記念ご案内

R I 第2510地区 I A 委員長 堀 田 昌 資  
静内 R C 会長 中 山 弘三郎  
静内インターアクトクラブ

今年度の標記大会を静内 R C と静内インターアクトクラブ（静内高校・静内農業高校）のホストにより静内町において開催することとなりましたので、お繰り合わせご参加下さいますようご案内申し上げます。

### 記

1. 日 時 平成17年6月18日（土）・19日（日）
2. 会 場 静内ウエリントンホテル  
静内町吉野町3丁目1-1 電話 0146-42-3811
3. 登 録 料 3,000円（ロータリアン、顧問教師、インターアクター）
4. 宿 泊 料 顧問教師、インターアクター 無料  
ロータリアン（個人負担）の宿泊は各自ホテルの手配をお願いします。

### 2004 - 05年度 国際ロータリー第2510地区インターアクト年次大会 静内インターアクトクラブ10周年記念プログラム

第1日 6月18日（土）	第2日 6月19日（日）
14:30 登録受付	7:00 起床
15:30 点 鐘	7:30 朝食
開式の言葉	8:50 登録
国歌斉唱・インターアクトの歌斉唱	9:00 点 鐘
参加者紹介（来賓、地区委員、R C）	開式の言葉
I A C 紹介	来賓紹介
来賓挨拶	来賓挨拶
歓迎の言葉	講 評
閉式の言葉	次期開催地発表
16:00 点 鐘	閉式の言葉
16:10 活動報告 静内農業高等学校農業クラブ	点 鐘
17:00 記念講演 講師 修養団 久世郁夫先生	9:30 諸事連絡
18:30 夕 食	移 動 ライディングヒルズ静内へ
19:00 諸事連絡	10:00 乗馬体験
オリエンテーション	11:45 記念写真撮影
20:30 終 了	12:00 昼 食 シャクシャイン記念館
22:00 就 寝	13:00 解 散

(財)ロータリー米山記念奨学会 2005年5月12日発行

# ハイライトよねやま 63

## 1. 寄付金速報 ~ 普通寄付金のお願い

4月までの寄付金は、前年同期と比べ3.1%減、約4千万円の減少でした。普通寄付金が1.4%減、特別寄付金が3.9%減です。4月末時点で、普通寄付金の未納クラブが50数クラブあります。前年同期と比べると、今年度は早めにご納入いただいておりますが、2004-05年度も残り2カ月を切りましたので、ご送金されていないクラブに対しては、地区役員の皆さまからもバックアップくださいますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## 2. 米山記念奨学会「助成額は全体で3位、民間主導型財団では1位」に

(財)助成財団センター(東京都・新宿区)が4月に発表した「年間助成額上位100財団(2003年度)」によると、ロータリー米山記念奨学会は年間助成額17億円余りで、全体で3位(昨年は4位)、民間主導型財団としては首位をキープしています。ご興味のある方は、下記のホームページからご覧ください。

【資料提供:(財)助成財団センター <http://www.jfc.or.jp/>】

助成等事業費上位100財団リスト:[http://www.jfc.or.jp/bunseki/rank\\_grant.html](http://www.jfc.or.jp/bunseki/rank_grant.html)

## 3. 『2005学年度 米山カウンセラー・ハンドブック』発行!

『奨学生ハンドブック』につづき、カウンセラー必携の『カウンセラー・ハンドブック』ができました。今回は、奨学生の個人情報を取り扱う際の注意事項や、カウンセラー同士の情報交換ツールとして評価の高い「カウンセラーメーリングリスト」の紹介などが新しく盛り込まれています。

新規カウンセラーのみならず、前年に引き続きご担当いただくカウンセラーの方にもぜひ目を通していただきたい内容となっています。

カウンセラーの皆さまには、クラブ経由でお受け取りいただけるよう、4月下旬にクラブ宛にお送りしています。



## 4. 第2780地区米山学友会・国際ロータリー第2780地区共催

シンポジウム「新しい地域社会への提言 国際共生への道」のお知らせ

日時: 2005年6月5日(日) 13:30 開会

場所: 藤沢市民会館 小ホール

後援: 外務省・神奈川県・神奈川県教育委員会・藤沢市・藤沢市教育委員会

第2780地区米山学友会が国際ロータリー第2780地区(神奈川県)との共催で、公開シンポジウムを開催します。(詳細は、<http://www.rid2780.gr.jp/symposium.html>参照)

TVコメンテーターとしても著名な諸星<sup>もろほし</sup>裕<sup>ゆたか</sup>氏の基調講演『新しい地域社会への理解』、かながわ湘南RC会長の高木直之氏がコーディネーターを務め、米山学友と地域の中学校の教師・父兄がパネリストとして参加するパネルディスカッション『どうする?異文化間コミュニケーション』など、興味深い内容が満載です。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。お問い合わせは、国際ロータリー第2780地区ガバナー事務所(TEL: 0466-25-8855)まで。



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

ベネファクター			
上磯 R C	光銭 健三	会員	
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー			
赤 平 R C	田中 良一	会員	4 月 29 日
岩見沢 R C	江島 俊昭	会員	4 月 29 日
岩見沢 R C	牧 陽一	会員	4 月 29 日
岩見沢 R C	君島 義博	会員	4 月 29 日
岩見沢 R C	佐藤 紀征	会員	4 月 29 日
岩見沢 R C	高崎 幸夫	会員	4 月 29 日
札幌東 R C	谷口 博	会員	4 月 8 日
札幌モーニング R C	大熊 慧教	会員	4 月 8 日
札幌西 R C	矢橋 温郎	会員	4 月 29 日
札幌西 R C	宮越 陽一	会員	4 月 29 日
静内 R C	中山弘三朗	会員	4 月 29 日
当別 R C	福井 昭和	会員	4 月 1 日
当別 R C	川村 義雄	会員	4 月 1 日
当別 R C	前田 啓詞	会員	4 月 1 日
当別 R C	泉亨 祐司	会員	4 月 1 日
当別 R C	下段 寿之	会員	4 月 1 日
当別 R C	野口 和之	会員	4 月 1 日

ポール・ハリス・フェロー			
岩見沢 R C	林 秀徳	会員	4 月 29 日
上磯 R C	光銭 健三	会員	4 月 29 日
小樽 R C	足立 竹秀	会員	4 月 29 日
札幌西 R C	石丸修太郎	会員	4 月 29 日
札幌西 R C	佐藤 裕一	会員	4 月 29 日
札幌西 R C	佐藤 哲哉	会員	4 月 29 日
札幌南 R C	青木 健次	会員	4 月 22 日
札幌南 R C	河森 利行	会員	4 月 22 日
札幌南 R C	中村憲由樹	会員	4 月 22 日
札幌南 R C	平 昌夫	会員	4 月 22 日
札幌南 R C	田嶋 久嗣	会員	4 月 22 日
札幌南 R C	坪田 幸栄	会員	4 月 22 日
札幌南 R C	山下 準平	会員	4 月 22 日
静内 R C	渡辺 利春	会員	4 月 29 日
静内 R C	會澤 實	会員	4 月 29 日
静内 R C	杉田 清	会員	4 月 29 日
当別 R C	大畑 博行	会員	4 月 1 日
当別 R C	佐藤 順一	会員	4 月 1 日
当別 R C	島 義慈	会員	4 月 1 日
当別 R C	高谷 茂	会員	4 月 1 日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者			
岩見沢 R C	西川 昇	会員	4 月 26 日 ( 4 )
岩見沢 R C	竹内 守	会員	4 月 26 日 ( 4 )
小樽 R C	熊澤 隆樹	会員	4 月 28 日 ( 4 )
小樽 R C	坂田 道昭	会員	4 月 28 日 ( 2 )
札幌東 R C	谷口 博	会員	4 月 6 日 ( 4 )
札幌西 R C	石丸修太郎	会員	4 月 25 日 ( 1 )
札幌西 R C	上出 利光	会員	4 月 25 日 ( 1 )

札幌西 R C	矢橋 温郎	会員	4 月 25 日 ( 5 )
静内 R C	細川 好弘	会員	4 月 15 日 ( 3 )
静内 R C	澁井 郁夫	会員	4 月 15 日 ( 3 )
米山功労クラブ			
函館五稜郭 R C	札幌西 R C		
静内 R C	函館 R C		





## ロータリー 100 周年記念事業特集

2005年2月23日開催 地区一斉祝賀プログラム

4・5月号に引き続き、ロータリー 100周年記念事業特集を掲載いたします。

### 「ロータリー 100年・こども音楽祭」

5月1日の「ロータリー 100年・こども音楽祭」について「一期一会」として報告申し上げます。

国際ロータリー 100周年記念を祝う、第2510地区第4・第5グループは札幌市内クラブとして(16RC)共催で「ロータリー 100年・こども音楽祭」を開催しました。連休の最中の5月1日(日)札幌コンサートホール・キタラに於いて、普段なかなか訪れる機会の少ない子ども達に北海道を代表する音楽ホールの素晴らしさを知ってもらい、またミュージカルやクラシック音楽を身近に楽しむ機会を提供するために開催しました。

昼の部は子ども達のミュージカルグループ「札幌こどもミュージカル」(細川真理子会長)の3歳から高

校生までの約60名による、アイヌ文化を題材にしたオペレッタ(軽歌劇)『ひとつのおわんでトゥミクミク』を披露。透明感のある歌声とかわいらしい振り付けが観客を魅了し会場が一体となって合唱する場面もあり、親子づれ1,000組(1,813名)が舞台と一緒に楽しんでいました。

夜の部は高学年の子ども達とご家族、そしてロータリアンとご家族を対象に国際的にも活躍している「札幌交響楽団」のフルメンバーと正指揮者である、高関健氏の指揮とお話で、ドボルザークの『謝肉祭』序曲・ブラームスの『ハンガリー舞曲』など、クラシックの中でも親しみのある名曲の数々を演奏していただき、札幌独特の澄んで、やわらかく流れるような弦楽器や、力強い管楽器の響きに聞き入りました。最後はロータリーソング「手に手つないで」をフルオーケストラの伴奏で会場全体の大合唱となりました。(入場者1,338名)

またロビーに募金箱を設置し、来場者より寄付頂いた募金30万円はユニセフを通してスマトラ沖地震被災者へ寄贈いたしました。

「ロータリー 100年・こども音楽祭」実行委員長丸山淳士(第5グループ・ガバナー補佐)は昼の部・夜の部の2回に渡り、次のご挨拶されました。

『RCとは、自分たちに与えられた仕事を真心込めて行っている責任ある立場の人たちの友情で結ばれた団体です。未来を背負う皆さんに大きな希望と夢を叶えるために力添えをいたします。最初は4人の友情が



## ロータリー 100周年記念事業特集

ら出発しましたが、今では世界中に友情の輪が広がっているのです。一人でできる奉仕はとても小さいものですが、たくさんの方が集まるととても大きな奉仕活動ができるのです。地球上のあらゆるものはすべて「他」のために存在しています。私たちも他人の役に立つために生まれてきました。たくさんの方の役に立つためには、たくさんの方の知識と努力と友情が必要です。私たちはそのお手伝いをほんの少しだけさせていただくのです。今日の音楽会が皆さんの心に残り、将来誰かのお手伝いをすることのお役に立つことを願っております。』

ロータリー 100周年の節目にあたり、基本の基本に立ち返り、会員個々の友情の深まりがより大きな「超我の奉仕」へと発展してきた歴史の重みを改めてかみしめたいと思います。

第4・第5グループ「ロータリー 100年・子ども音楽祭」  
実行委員会 総務委員長 高坂 勝義  
(札幌真駒内RC)

### R I 創立100周年記念合同例会 (友好を深めて)

R I 第2510地区 第3グループ  
ガバナー補佐 土屋 茂樹

5月7日(土)当別町にある北海道医療大学にて、遠藤ガバナーをお迎えして第3グループ8クラブの合同例会を開催しました。

当日は、小雨降りしきる中ではありましたが100名を越す会員が集い、遠藤ガバナーのロータリー設立100周年を記念しての卓話をいただきました。あらためてロータリーのすばらしさに心打たれる思いがしました。その後、医療大学助教授 堀田 清様の薬草に関する講演をプロジェクターを使用しながらわかりやすく聞くことができ、会員の方々も有意義な時間を過ごす事ができ、良い評価を得る事ができました。

あいにくの雨で、屋外の薬用植物園は見学することが出来ませんでした。天気の良い日に、いつでも見学して良いとの許可をいただきました。講演の中で説明を受けた、花・薬草の美しさに感動し、薬用植物園を見学出来なかった事は大変残念でしたので、どうぞいつでも見学をしてください。その後、場所を当別RC会員でもある内海会員が経営する田西会館に懇親会場を移し、盛大に交流会が開催されました。

第3グループ・8クラブの会員が一同に会し、普段あまり会うことが出来ない旧友や会員とロータリー談話に花を咲かせて、大いに盛り上がった交流会でありました。特に公務多忙のあり、遠藤ガバナーに参加を頂いた事は8クラブ会員の全員が大変喜び感謝をしているところです。ロータリーの友情こそ最も大切な事であると実感させられた例会でありました。

最後に、この合同例会を主管して頂いた当別RCの島会長、六角幹事をはじめとする当別RC会員の皆様に感謝申し上げます。

 ロータリー 100周年記念事業特集札幌大通公園 R C の  
ロータリー 100周年記念事業

札幌大通公園 R C は 5 月 27 日 昼 12 時から 5 時まで大通西 9 丁目でロータリー 100 周年記念事業の一環としての献血活動を実施した。

きっかけは 2004 年 12 月 6 日の卓話であった。日赤大通血液センター所長の金子千浪氏から頂いたお話は献血の重要性を改めて認識させるものであった。献血することにはある意味で究極のボランティア活動である。そのことが会員の気持ちを動かし、今回の具体的な活動に発展した。事前に会員の職場や家族、友人知人に声をかけ、また、通りでは会員が手分けをして日赤から提供されたティッシュペーパーを配り、通行人に献血への協力をお願いした。その結果、献血者

は 94 人にも達した。日赤の担当者のお話では一日の活動で 100 人を超えることは大変に稀なことで、今回の 94 人は大きな成果であることが後で分かった。社会に貢献する R C が同じ趣旨をもつ日赤と一緒に活動ができたことは大変有意義であった。

ご協力をいただいた多くの関係者の皆様に御礼を申し上げる次第である。



## 新入会員のご紹介



栗生 猛  
札幌北 R C  
5 月 9 日入会



西村 昭男  
札幌北 R C  
5 月 9 日入会  
室蘭 R C から移籍

## 創立35周年記念誌

# 「超我の人 米山梅吉の聲音」の発刊にあたって

財団法人 米山梅吉記念館

理事長 内藤 成雄



米山梅吉記念館は、日本のロータリーの生みの親「米山梅吉翁」縁の地に昭和44年開館し、おかげさまで昨年35周年を迎えることができました。これも偏に全国のロータリアンをはじめ関係各位のご支援ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

つきましては、創立35周年記念事業として、記念誌「超我の人 米山梅吉の聲音」を発刊いたしました。

記念館ではこれを機に、米山梅吉翁および記念館を更に多くの方々を知っていただけるようこの記念誌を広く頒布いたしております。

申込書

平成 年 月 日

超我の人 米山梅吉の聲音  冊 申し込みます。

ご芳名	
ご住所	
お電話番号	
送付先	

※送料 300円 上製本 送料別 2,500円 (別途送料 500円) 両方共に以上一般の送料は送料別

※送料 300円 上製本 送料別 2,500円 (別途送料 500円) 両方共に以上一般の送料は送料別

申込書

平成 年 月 日

超我の人 米山梅吉の聲音  冊 申し込みます。

ご芳名	
ご住所	
お電話番号	
送付先	

※送料 300円 上製本 送料別 2,500円 (別途送料 500円) 両方共に以上一般の送料は送料別

## 訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

戸田 紀夫 名誉会員(当別RC)  
2005年5月7日ご逝去(享年80歳)

### 【ロータリー歴】

1976年4月6日入会(チャーターメンバー)  
1977~78年度 2代目会長  
1994~95年度 第3分区代理  
地区会員増強委員会



ポール・ハリス・フェロー

野村 昭松 会員(江別RC)  
2005年5月18日ご逝去(享年77歳)

### 【ロータリー歴】

1974年7月11日入会  
1989~90年度 会長  
各委員会委員長を務められました。



1976~77年度 PHF  
1989~90年度 MPH F  
1996~97年度 ベネファクター



# お誘い “ 歓送迎会 ”

長期派遣学生 “ 激 励 会 ”  
受入学生 “ 送 別 会 ”  
短期受入学生 “ 歓 迎 会 ”

\*日 時：平成17年6月26日（日）PM 3時～5時  
\*会 場：札幌グランドホテル 東館3F 「玉葉の間」  
\*会 費：2,000円

## \*\*\* 05-06年度「長期派遣候補生名簿」 \*\*\*

R C 国際親善大使として明るく！！元気よく！！健康1番！！

	氏 名	高 校	スポンサーRC	予定派遣国	予定派遣地区
1	篠原 涼子	札幌南高等学校	札幌南	オーストラリア	第9650地区
2	田中 佑衣	立命館慶祥高等学校	札幌モーニング	カナダ	第5360地区
3	本村 哲弥	大麻高等学校	江 別	アメリカ	第7170地区
4	佐藤 大樹	札幌南高等学校	札幌西	オーストラリア	第9550地区
5	浅井 賢	札幌国際情報高等学校	札幌はまなす	オーストラリア	第9640地区
6	堀北 かおり	北星学園女子高等学校	札幌東	アメリカ	第5100地区
7	西城 茉里	札幌日大高等学校	札幌手稲	オーストラリア	第9800地区
8	高崎 博史	東海大第四付属高等学校	札幌手稲	フィンランド	マルチ

## \*\*\* 帰国学生名簿 \*\*\*

Good Luck !! See you Again Someday.

学生氏名	国	帰国予定日	ホストRC
Kimbell Stacy	アメリカ	7月2日(土)	札幌東
Nemtsov Ksenia	アメリカ	8月13日(土)	札幌モーニング
White Ian	カナダ	7月19日(火)	上 磯
Impio Eeva	フィンランド	8月1日(月)	江 別

## \*\*\* 短期交換学生名簿 \*\*\*

学生氏名	国	来日予定日	帰国予定日	ホストRC
Rosanna Yen	台湾	8月1日(月)	9月初旬予定	札幌真駒内
Michael Hubscher	スイス	6月24日(金)	7月21日(木)	岩 内

\* 2006年1月迄オーストラリア受入学生

学生氏名	地 区	ホストRC
Molly Terese erner	第9640地区	札幌はまなす
Bree Leann Fitton	第9800地区	札幌手稲
Rhain Castelli	第9550地区	札幌西
RebeccaKate Stevens	第9650地区	札幌南



「歓送迎会」ご出席希望のロータリアンの方は下記までご連絡下さい。  
地区青少年交換委員会事務局 TEL: 090-8706-4847 (土田)

## 4月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	05.4.30	増減内	内女性	
1	深 川	4	40	39	- 1	1	81.25
	羽 幌	4	47	47	0	1	75.60
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	87.50
	小 平	4	14	14	0	0	73.21
	留 萌	4	59	52	- 7	0	88.00
小 計			170	162	- 8	2	81.11
2	赤 平	4	34	34	0	2	83.31
	芦 別	4	54	50	- 4	0	85.31
	砂 川	4	54	51	- 3	0	98.04
	滝 川	4	109	109	0	2	75.50
小 計			251	244	- 7	4	85.54
3	美 唄	4	42	43	1	0	87.14
	江 別	3	43	41	- 2	1	96.49
	江 別 西	4	37	36	- 1	3	87.50
	岩 見 沢	4	94	96	2	0	89.23
	岩 見 沢 東	4	37	38	1	3	79.28
	栗 沢	4	26	24	- 2	1	92.71
	栗 山	4	29	30	1	2	92.06
	当 別	4	38	38	0	0	84.21
	小 計			346	346	0	10
4	札 幌	4	123	124	1	0	97.02
	札幌あけぼの	3	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	24	23	- 1	4	75.00
	札 幌 北	4	49	45	- 4	5	95.73
	札幌モーニング	4	54	56	2	0	69.23
	札 幌 西	4	69	73	4	3	92.96
	札 幌 西 北	4	48	50	2	2	93.31
	札 幌 手 稲	4	39	42	3	1	100.00
小 計			422	429	7	16	90.41
5	札 幌 東	4	125	125	0	0	97.13
	札 幌 清 田	4	26	28	2	6	100.00
	札 幌 幌 南	4	69	68	- 1	0	100.00
	札幌真駒内	4	44	45	1	2	89.68
	札 幌 南	4	91	96	5	0	95.31
	札幌大通公園	4	19	20	1	4	75.00
	札幌セントラル	4	19	17	- 2	5	66.00
	新 札 幌	3	36	33	- 3	1	96.30
小 計			429	432	3	18	89.93
6	岩 内	3	33	31	- 2	0	83.00
	倶 知 安	4	54	54	0	3	68.00
	小 樽	4	74	76	2	0	81.79
	小 樽 南	4	86	84	- 2	0	77.33
	小 樽 銭 函	4	23	25	2	3	88.00
	蘭 越	4	14	12	- 2	0	78.50
	余 市	4	43	43	0	4	88.15
小 計			327	325	- 2	10	80.68

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,136人  
 当月末会員数(女性) 3,120(88)人  
 増加会員数 - 16人  
 当月平均出席率 83.48%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			04.7.1	05.4.30	増減内	内女性		
7	千 歳	4	65	63	- 2	2	78.00	
	千歳セントラル	4	30	28	- 2	0	87.50	
	恵 庭	4	51	51	0	0	83.33	
	北 広 島	4	19	19	0	2	86.11	
	長 沼	4	18	18	0	3	82.01	
	由 仁	4	15	15	0	0	76.67	
小 計			198	194	- 4	7	82.27	
8	え り も	4	24	23	- 1	0	98.91	
	三 石	4	17	17	0	1	82.30	
	様 似	3	19	18	- 1	1	80.55	
	静 内	4	67	70	3	0	79.24	
	浦 河	4	40	39	- 1	1	85.26	
	小 計			167	167	0	3	85.25
9	伊 達	4	56	59	3	0	77.97	
	室 蘭	4	51	53	2	0	100.00	
	室 蘭 東	4	43	43	0	0	90.62	
	室 蘭 北	4	37	37	0	2	83.11	
	登 別	4	39	39	0	2	82.05	
	洞 爺 湖	4	10	9	- 1	0	100.00	
	小 計			236	240	4	4	88.96
10	函 館	3	101	97	- 4	0	82.91	
	函 館 亀 田	4	42	47	5	1	75.53	
	森	4	43	43	0	0	68.00	
	七 飯	4	24	24	0	0	73.90	
	長 万 部	3	13	13	0	0	58.90	
小 計			223	224	1	1	71.85	
11	江 差	4	16	17	1	0	75.30	
	函館五稜郭	4	68	63	- 5	0	90.38	
	函 館 東	4	50	45	- 5	4	81.67	
	函 館 北	4	37	36	- 1	0	75.00	
	上 磯	4	29	29	0	3	62.20	
12	松 前	4	9	9	0	1	66.67	
	小 計			209	199	- 10	8	75.20
	白 老	4	29	26	- 3	0	79.00	
	苫 小 牧	4	56	62	6	0	76.56	
12	苫 小 牧 東	4	32	32	0	3	80.47	
	苫 小 牧 北	4	41	38	- 3	2	91.67	
	小 計			158	158	0	5	81.93
合 計			3,136	3,120	- 16	88	83.48	

6月 地区カレンダー

6 月 ロータリー親睦活動月間			
1 (水)		16 (木)	
2 (木)		17 (金)	シカゴ国際大会地区ツアー出発, 第9G 新旧引継
3 (金)		18 (土)	} インターアクト地区大会( ウェリントンホテル,ライディングヒルズ静内)  } シカゴ国際大会
4 (土)	倶知安RC40周年記念式典( ホテル第一会館,倶知安町) 国際親善奨学委員会,2006 - 2007選考	19 (日)	
5 (日)		20 (月)	
6 (月)	第14回地区幹事会	21 (火)	
7 (火)		22 (水)	
8 (水)		23 (木)	
9 (木)		24 (金)	札幌手稲RC35周年記念式典( 札幌グランドホテル)
10 (金)	第2回全国青少年育成委員会会議	25 (土)	
11 (土)	米山学友委員会 家族懇談会( 朝里クラッセホテル)	26 (日)	青少年交換委員会,派遣生激励会 & 受入学生送別会
12 (日)	新旧引継ぎ会議( 札幌グランドホテル)	27 (月)	地区ゴルフ大会( 国際奉仕 - 親睦活動委員会)
13 (月)		28 (火)	第4グループ新旧会長幹事引継ぎ会議
14 (火)	第1・2ゾーン 2005~2006会員増強合同セミナー( 高輪プリンスホテル)	29 (水)	
15 (水)	ガバナー・ノミニー候補者推薦締め切り	30 (木)	

掲示板

例会の変更について

苫小牧東RC  
6月23日(木) 年度最終例会(夜間移動例会) 18:00~  
於:「せきはら」  
6月30日(木) 休会\* 注)\*定款第5条第1節に基づく休会

岩見沢RC  
6月24日(金) 「さよなら例会」 18:00~  
於: ホテル サンプラザ

苫小牧RC  
6月24日(金) 夜間例会 18:00~  
於: グランドホテルニュー王子

津波寄付最終報告について

津波寄付について第2510地区寄付集計・総計の最終報告を致します。  
第2510地区寄付合計は 4,464,772円 (43,766.30\$)  
総計は 128,541,989円 (1,414,967.74\$)  
5月15日現在  
津波の寄付は5月15日で閉め切らせて頂きました。  
ご協力ありがとうございました。

ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願います。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願えればと考えています。原稿締め切り日は毎月10日を予定しています。



# ROTARY

Fellowship Activities 100 years

[www.rotary.info](http://www.rotary.info)



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



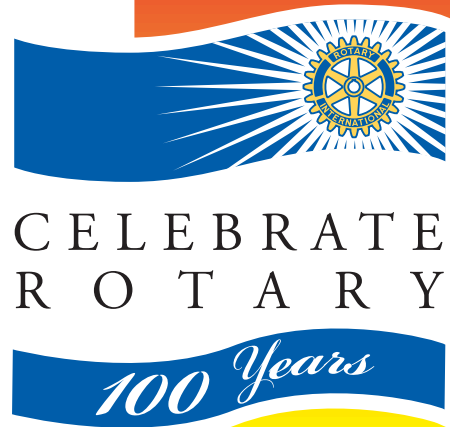
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

# ガバナー一月信

国際ロータリー第2510地区  
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F  
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512  
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナーs LETTER .....	3
ガバナー日記 .....	4
この1年間を振り返って～ガバナー補佐～ .....	8
この1年間を振り返って～地区委員会～ .....	13
地区委員会活動報告	
・第4回家庭奉仕委員会報告	
・「ネパール・日本友情学校が完成しました」	
・2004-2005国際ロータリー第2510地区 インターアクト年次大会(静内インターアクトクラブ10周年記念) .....	25
“会議は踊る”・“職業奉仕論議”心景・エステス100周年会議 .....	27
親睦活動委員会ニュース .....	29
クラブ活動紹介	
・チャリティコンサートを開催	
・プロ野球セバ交流戦に障害者100人招待 .....	30
・傷ついた子 笑顔戻った .....	31
・チャリティーパークゴルフ大会実施報告 .....	32
・当別の夏至祭にスウェーデンのロータリアンがやって来た .....	33
ロータリー財団へのご協力を感謝申し上げます	
米山記念奨学会へのご協力を感謝申し上げます .....	33
訃報/掲示板 .....	34
5月会員増減数・出席率報告 .....	35
6月会員増減数・出席率報告 .....	36
編集後記 .....	37

2004-2005 Governor  
**ENDO HIDEO**

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN  
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.13 **8**  
2005. **8**

---

2004～2005

**ガバナー月信最終号をお送りします**

当刊No. 13号をもちまして、2004～2005年度月信の終刊となりました。地区内各RC会員各位の温かいご支援とご協力に心からの感謝を申し上げます。各位の益々のご健勝とRCのご発展を祈念申し上げます。

---

# G GOVERNOR'S LETTER

## 年度を終るに当たって

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



私がガバナーに就任する前、即ちエレクトの時に悩んだことがいくつかあります。

1つは会員数が減少するなかで、地区組織をどうするかであります。RCの活性化を考慮した上で組織の簡素化を計る事を考えましたが、単年度で思い切ったことをするよりは継続して行う方がよりベターではと

思い、当時の塚原ノミニと相談の上、着手しました。限られた地区資金を有効に使うため地区委員会費もなるべく纏めて使ってもらう様にしました。

2つ目はロータリー100周年の記念すべき年度にあたります。皆の負担にならない事業が必要です。1905年2月23日に因んで、“2005年2月23日”に地区内すべてのロータリアン及び家族にロータリーを祝っていただく行事をグループ、あるいはRC単位でお願いをしました。また、これまで何度もお誘いのあった第3700地区との姉妹締結を100周年実行委員会の提案を受けて実行に移すことでした。これは今後、国際奉仕委員会に引き継がれて参ります。

3つ目は月信のあり方でありました。月信本来の姿に戻すべきか、地区内情報も盛り込むべきか迷いましたが、ロータリーの友誌がRIの情報ばかりでなく、他地区の情報も取り入れている以上、地区内の情報が必要となりますが、別に情報誌を出す程の余裕はなく、月信に2つの目的を持たせることを地区幹事会で決定しました。

4つ目は地区リーダーシッププランに沿いつつも、各RCからガバナーの顔が見えないようでは困ると考え、時間のゆるす限り、地区委員会活動やRCの記念行事に参加する事を決めました。予算の関係でなるべく単独で行動することにしました。年間15回の地区幹事会、財務委員会を開いてその都度細部を相談し決めてきました。一年を通してこの条件を誠実に実行したつもりですが、会員の皆様のお役に立てたかどうかは全く見当がつかみません。振り返って見ると公式訪問は24日で27回の合同例会と72RC会長・幹事・副会長さんと懇談会を持ち、

RIの方針、地区の方針、財団及びポリオへの協力や、RCの活動状況、悩み事等を伺いました。多くのRCで新入会員の減少、退会者の増加に悩みながらも、国際奉仕、社会奉仕や青少年の育成に活動を惜しまず立派だと思いました。この他国外は2回、韓国3700地区大会とシガゴ国際大会に出席、国内にはRI会長主催会議、ゾーン研究会、ガバナー会議等12回、地区内には地区委員会プログラムや会議、グループ研究会、RC記念行事等で78回も出席させて頂きました。確かに体力的には厳しい日程もありましたが、何よりもロータリアン同志の沢山の出会いがあり、親睦が深められたことは有り難い経験であったと思います。

お陰様で財団年次寄付は101.48ドルで、RIの目標である毎年1人100ドルを達成する事が出来ましたが、残念なのはポリオ撲滅募金キャンペーンであります。3年間で1人150ドルの最終年にあたり、何とか1人100ドルは越えて欲しいと念願していましたが、89.66ドルに終わってしまいました。ガバナーとしての力不足を痛感しております。

今年度はロータリー100周年の記念すべき年にガバナーの任に就くことが出来たことを大変光栄に存じます。私を支えてくださった伊奈昭夫代表幹事ははじめ地区幹事、若木財務委員長、財務委員、事務局の阿部さん、熊谷さん、各地区委員の皆様、また地区内の研修会や地方都市の特徴を表現し地区大会を成功させて頂いた登別RCをはじめ第9グループ鈴木久雄ガバナー補佐、各RCの皆様にも心から感謝を申し上げます。一年間を通して惜しまぬご協力を頂いたパスト・ガバナーの皆様、12名のガバナー補佐の皆様、72クラブの会員の皆様にも厚くお礼を申し上げます。最後に体調を崩すことなく活動に専念出来たことに対し、私の家内や職場の皆様にも感謝致します。



## ガバナー日記

5月21日(土) 第13回長沼国際交流フェスティバルに13時から出席した。

実は10時からTシャツサイン交流会や昼食会がおこなわれており、開会式も堅苦しい雰囲気はなく実行委員長・高木繁秀会員の開会宣言後は交換留学生や他の留学生達が各国別にブースを開いて子供達にスタンプを押したり、会話を楽しんでいた。会場の中央ではゲームをしたり、餅つきが行われすぐに美味しい餅菓子にしてください。16時から同じ長沼町民会館で懇親会が開かれる予定であるが、私は次の予定があり、途中で失礼をしたが、実に楽しい会であった。

栗山町に移り16時から栗山RC35周年記念式典に出席する。川口孝太郎・栗山町長をはじめ大勢のご来賓、第3グループは土谷茂樹ガバナー補佐をはじめ各RC会長、幹事、由仁RCからも会長、幹事、姉妹RCである第2520地区角田RCからは毛利友一会長他6名の皆さんが出席された。

記念事業としては、桜の木135本が地元企業22社に贈呈され、栗山赤十字病院の透析室増築に対して甦生器が贈呈された。太田ヒロ子会長から創立会員3名に感謝状が贈呈された。引き続いて祝賀会に移り和やいだ雰囲気の中でSoRaの美形のお二人によるマリンバ演奏を楽しんだ。翌日は羽幌の予定があるため滝川へ移動して宿泊する。

5月22日(日) 第1グループ合同研修・交流会「みつめようロータリークラブの過去と未来」と題して13時30分から「はほろ温泉サンセットプラザ」を会場として行われた。

山本三次郎ガバナー補佐の点鐘で開会、形通りのセレモニーの後、講演「現代世相を考える」。講師は北海道長寿社会振興財団講師の水戸均氏で小・中学校長を歴任退官された方で古典芸能を愛することから和服で座布団に座っての語り口で、過去と現代青少年像を比較しながら示唆に富んだお話であった。交流懇親会はご自慢の新鮮な海の幸がテーブル一杯に並べられ美味を堪能した。山本ガバナー補佐に代表されるように第1グループの皆さんの飾らない人柄に触れると癒される思いがする。

5月28日(土)～29日(日) ローターアクト地区大会が、千歳ローターアクトクラブをホストにして千歳エアポートホテルアネックスで行われた。

私は第1日目の開会式とメインプログラムに参加したが、今回はJRを利用したため、佐藤秀雄直前ガバナーと千歳RC服部隆志会長に南千歳駅までお迎え頂いたのは恐縮した。心から感謝を申し上げる。D. 2510ローターアクト代表、斎藤 心さんの点鐘で開会、地区内ローターアクトの他2760地区からも2名のローターアクトの参加があった。ロータリアンは地区委員長・柳孝一さんはじめ委員や恵庭RCからも大勢のご参加があった。メインプログラムは障害者支援で①車椅子介助、ホテルからいくつも横断歩道を渡ってボスフルまで往復し買い物の介助をする。②視覚障害者の食事の介助と両方を体験するプログラムで、実際に体験してみるとその大変さがよく解る。貴重な体験をさせてもらった。

6月4日(土) 倶知安RC40周年記念式典が14時からホテル第1会館で行われた。

生憎、国際親善奨学生の面接試験と重なってしまい、試験の方は丸山ガバナー・ノミニーをお願いをした。倶知安町長伊藤弘さんをはじめ12名の地元のご来賓があり、第6グループからも関幸吉ガバナー補佐以下各RCから大勢のご参加があった。このRCと因縁浅からぬ石垣博美バスト・ガバナーも出席され、記念品を贈られた。ついでに私も記念品を頂戴してしまった。記念事業は倶知安町子育て支援事業としてダイハツ・ミラセダンD1台が贈呈され、40周年記念誌を発刊されると聞いている。8人の物故会長の功績に対して記念品が贈呈され、クラブ表彰は46名に及んだ。さすがに伝統の重みを感じた。祝賀会は和やかで太鼓やギターと尺八の共演、歌謡ショーなど盛り沢山の大変楽しい一時を過ごすことができた。

6月6日(月) 第14回地区幹事会及び財務委員会

6月12日(日) 開催のガバナー補佐・地区委員長引継ぎ会議の最終チェック及び年度内予算の検討を行う。



No. 32

Date '05. 8. 1

#### 6月11日(土) 米山奨学家族懇親会

朝里クラッセホテルで一泊二日の楽しい会である。見延委員長の英断で、昨年の登別温泉に引き続き、運営はすべて米山奨学会のメンバーが取り仕切っているが、学友会(含家族)25名、奨学生(含家族)16名、ロータリアン他27名と大勢の参加があり、大変活気がある。今年は挨拶、24名の学友と奨学生の自己紹介の後、小樽商科大学長秋山義明先生に「小樽商科大学と国際交流」と題して講演を頂いた。開学当初から英語教育に力を入れ、優秀な企業人を大勢育てたことが今日多数の留学生を受け入れ、活発な国際交流につながっていると含蓄のあるお話であった。第3部の懇親会は大勢で賑やかにビンゴゲームを楽しんだ。この後、第4部があったが翌日の予定があり失礼した。

#### 6月12日(日) ガバナー補佐・地区委員長、引継ぎ会議が10時～17時札幌グランドホテルで行われた。

第1部は新・現ガバナー補佐引継ぎ会議で報告と計画が示された。

私からも最後のお願いとして財団寄付とポリオ撲滅募金キャンペーンの現状と協力についてお話をした。第2部はガバナー補佐と一緒に地区委員会委員長引継ぎ会議が行われた。塚原ガバナー・エレクトから改めて次年度のR I会長の考え方、及び地区方針が示され、委員会活動報告及び活動計画が各委員長から発表された。質疑ではやはりクラブリーダーシッププランと地区活動の整合性の問題であったが次年度は地区としては取り上げないこととなっている。第3部は合同懇親会で1日の緊張を癒し和やかなうちに伊藤長英研リーダーの乾杯で閉会となった。

#### 6月14日(火) 第1・2ゾーン地区会員増強合同セミナー新高輪プリンスホテルで11時～15時に行われた。

板橋敏雄 R I 会員増強・退会防止委員会委員(日本の会員増強の親玉)は R I は日本の各 R C の会員増強を期待している。R C 会長が会員増強に熱心な年度は会員が増える傾向があるし、ロータリーは人を育てる不思議な魅力がある。

1905年から23年間にロータリーは43ヶ国に広がったが多分全世界に更に広がるであろう。その時には地域を耕

す必要があり、その根源は倫理観であるとのポール・ハリスの言葉を引用された。高橋文男 R I 会員組織地域コーディネーター(第1ゾーンの親玉)より“かながわ湘南 R C”は財団学友を中心に設立され、安い入会金と年会費で運営されて奉仕活動が活発。“いわき桜 R C”は女性会員20名の新会員ばかりで設立された。2つのユニークな新 R C を紹介された。また退会防止のために①質の向上、②職業奉仕の真髄を理解する、③魅力ある R C を作る、④ R C の活性化の必要性を強調された。更にどんな組織も対人関係の難しさはあるが涵養と忍耐というポール・ハリスの言葉を引用された。

#### 6月16日(木) 第4回指名委員会及び第6回諮問委員会 18:00 札幌パークホテル。

07-08年度ガバナー候補者の R C 推薦が6月15日で締め切られたが、函館五稜郭 R C 光銭裕二会長から酒井正人会員の推薦があり、ご本人も承諾されていることから岩城・次期指名委員長より指名委委員会で決定された由ご報告を頂いた。R I 理事会でガバナー・ノミニー決定が半年早められたため指名委員長の任期がずれてしまった。次年度は半期ずつ努めていただく事になる。

諮問委員会では(仮称)函館セントラル R C 編成について報告し喜んでいただいた。ロータリー財団とポリオ寄付状況について報告をした。ガバナーとして一年間のご協力、ご指導に感謝を申し上げた。塚原ガバナー・エレクトから新年度に向けて決意表明とご協力のお願があった。

#### 6月18日(土) 2005年国際ロータリー年次大会(シカゴ)に出席のため羽田経由で出発。

生憎、6月18日～19日インターアクト地区大会が静内で開催されたが、蘇田又栄第8グループガバナー補佐に代理をお願いした。大変好評であったとのご報告を頂き安心した。今回の国際大会の参加者は42,000人と聞いているが2510地区からも80余名の参加があった。滞在日数により地区ツアーは2班に分かれ、私どものツアーは16名であった。日付変更線の関係上18日16時シカゴ着、ホテルに直行し、19時からの北海道ナイトに出席、2500

地区からの25名の参加があり105名となり盛大な懇親が深められた。

6月19日(日)7時30分からマコミックプレイスで日本人親善朝食会が行われた。

約1,000人の参加があり大変な盛況であったが、誰がどこにいるのか判らず戸惑ってしまう程であった。エステスR I会長も顔を見せられ歓迎の挨拶をされた。その後大会手続きはスムーズであったが、会場はとつともなく広く、その上案内掲示が少なく長い廊下で分散されているため、大会信任状の手続きをするのに歩き回り手間取ってしまった。斎藤修弥WCS委員長ご夫妻と私の家内でシカゴの街見たさにダウンタウンにくり出したが、余り歓迎ムードは感じられない。ウオータータワーに行ってみたが、日曜日の午前中でもありひっそりとしていた。

開会式は収客人員の関係上3回に分けて行われたが、我々は16時30分～18時30分の第2回目の割り当てであった。マコミックプレイスに少し早めに到着し本会議場に入ってみて驚いた。ガバナー席が指定されていて網で仕切られていたが、その一角は既に一般会員によって占領されている。その側に何人ものSAAがいるのである。昨年の大阪大会と比べると、さすがアメリカでの国際大会は実におおらかである。



本会議では国連アナン事務総長、アメリカ・ブッシュ大統領の映像が映し出され、R Iに対する国際的支援に謝意と更なる協調が述べられ、エステスR I会長からも国際奉仕への感謝の意が表された。アトラクションはジャズ、自転車曲乗り、タップダンス、コーラス等青少年中心で楽しかったが、これも大阪大会と比較してみると、日本文化、

日本の美を紹介するのと彼我の違いを感じてしまった。

6月20日(月)2510地区ツアー“ロータリー軌跡をめぐるツアー”に参加。

エバンストンのロータリー本部、ポール・ハリスのお墓、カムリーバンク(P・ハリスの住宅)を見学、ガイド役を塚原ガバナー・エレクトにお願いし詳細に説明して頂いた。帰路途中で下車。シカゴ美術館でルノアール、モネ、ゴーギャン等印象派の絵を堪能することができた。



6月21日(火)“シカゴ川・ミシガン湖遊覧ツアー”に参加。

500年以上も地震に見舞われたことのない街なので、著名な建築家が意をこらして美しい建築物が建ち並んでいる。それを船上から見ようと言う趣向で大変見ごたえのあるツアーであった。下船後は再びダウンタウンでのお土産探し。夕食は3日間とも斎藤ご夫妻とご一緒に地図を広げて店選び、予約を入れたが、どの店もロータリアンで満席であり、国際大会を実感出来た。いずれの店も美味で幸せを感じた。



No. 34

Date '05. 8. 1

6月22日(水) 8時にホテルを出発帰路へ。

23日19時無事千歳着、楽しい友情にあふれた貴重な旅であった。ご参加の皆さんお疲れ様でした。明年6月はマルメ・コペンハーゲンの旅が待っています。

6月24日(木) 17時より札幌手稲RC創立35周年記念式典に出席。

針谷龍宣実行委員長、山地庸夫会長のお話を伺うと、地域に対し、青少年に対して実に様々な奉仕活動をして来られた事に敬意を表したい。また白石欽一バスト・ガバナーに初めてお目にかかったが顔色もよくお元気そうであった。しかし下肢が弱って移動が大変なのだとのお話であった。まだまだロータリーに対する関心は旺盛のようにお見受けした。記念事業はユニークで中学生5分間スピーチコンテストが5月28日に行われ、西区、手稲区から12名が参加。父兄、学校関係者、市民、ロータリアンも感動をうけた。またロータリー財団米山奨学会に金一封が贈られた。

6月26日(日) 私の所属する日本精神神経学会北海道地方会が旭川で行われた。

総会の議長をしているので旭川を往復、地区青少年交換学生歓送迎会が15時～17時札幌グランドホテルで盛会に行われたがこれには間に合わず、伊奈代表幹事、上田担当幹事をお願いをした。5時30分から青少年交換委員会の皆様と「1年間お疲れ様懇親会」が金剛山で開かれ、これには間に合って委員の皆様にお礼を申し上げた。

6月27日(月) 日本ロータリー親睦ゴルフ第15回北海道記念大会が苫小牧カントリークラブ・ブルックスコースで行われた。

親睦活動委員会の長太さん、灰野さんが中心となって準備が進められ、長崎県壱岐、広島、大阪、東京から87名の参加でご夫人も15名参加され盛大であった。時折小雨のバラつく中、ダブルペリアー方式で争われたがHDCP+1.2が出るハイレベルな戦いであったが、プレーもスムーズで楽しい大会であった。私は70才以上の部でハンデ

ーに助けられ4位に入賞できた。約2年間のブランクをこれから埋めて行きたい。全国の同好の人達との懇親は実に楽しいものである。

6月28日(火) 第4グループ会長・幹事引継ぎ会議が京王プラザホテルで開かれた。

昨年同様懇親会にお誘いを受け参上。高橋敏雄ガバナー補佐幹事の司会で小山秀昭ガバナー補佐の開会の辞、私からは小山ガバナー補佐、8RCの会長・幹事さんへお礼と坂本勝彦次年度ガバナー補佐、各RC会長・幹事さんへ激励を申し上げた。塚原房樹ガバナー・エレクトの乾杯後各RC会長・幹事さんのユーモラスな自己紹介があり、安堵する人達、不安をかくせない人達の微妙なコントラストがほどよく親睦を深めていった。

6月29日(木) 地区GSE委員会一現・新引継ぎ会議  
18時 ロイトン札幌

山名善久・委員長からタイ・3350地区からチーム受入れ報告、次年度派遣チームの研修についての説明、武藤順・副委員長から次回GSEプログラム相手地区の交渉状況報告がありシンガポール等東南アジアを考えている。次年度活動について岡崎芳明・委員長から計画、予算、委員会構成の説明があった。次ぎに地区財政の厳しくなる中で受入の際の補助金について審議し世話RCに対しては補助額をアップするがホストファミリーに対する補助金はカットする事になった。次年度は3350地区に派遣するが、06-07年度は休んで07-08年度は受入と派遣を同時に行うことが申し合わされた。

6月は年度末であり行事が目白押しでいささか疲れたが、良い出会いと親交を暖めることが出来てガバナー冥利につきる。それにしても1年間駄文にお付き合い頂いたロータリアンの皆様心からお礼申し上げ終わりとしたい。



## この1年間を振り返って

### ～ガバナー補佐～



#### この1年を振りかえって

第1グループ ガバナー補佐

山本 三次郎 (羽 幌)

国際ロータリーも前年度で創立100周年を迎え、この記念すべき年度に重責な第1グループのガバナー補佐を仰せつかい以来ガバナー遠藤秀雄様を始め各RCの会長、幹事各位のご協力を賜り1年間を無事終了する事ができました。

創立100周年の歩みを記念し、グレンE・エステスsr. RI会長のテーマ「ロータリーを祝おう」を合い言葉に、第1グループ各RCに於いて種々な記念の事業が行なわれました。

第1グループ全体の事業と致しましては、昨年の11月14日に留萌市で開催されました青少年剣道大会を始め、今年5月22日に羽幌町に於いて開催致しました「第1グループ・合同研修・交流会」を盛会に開催致し、その節は公私共に大変ご多忙の中、遠藤ガバナーには遠方よりご臨席を頂きました事から感謝致しております。また、年度始め第1回目よりガバナー補佐公式訪問させて頂きました節にも、各RCの会長さんを始め会員の皆さんに温かく歓迎して頂き且、RCの奉仕活動につきましても充実した活動内容も確認致しました。この間、私も事業最盛期の上期後半で体調を崩し、遠藤ガバナーを始め、各RCの皆様方に大変ご迷惑をお掛け致しました事を誠に申し訳なく思っております。1年間、皆様方の温かいロータリーの友情に囲まれガバナー補佐の任期を終えましたが、今後は再度初心を忘れずロータリー活動に邁進致す所存でございますので変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

限りなく続くロータリー、記念すべく国際ロータリー創立100周年の節目の年度も終わり新たな年度が始まりました。

国際ロータリー・第2510地区・遠藤ガバナー所属RCの今後の益々のご発展と遠藤ガバナーのご健勝をご祈念しお礼の言葉にかえさせて頂きます。1年間誠に有難うございました。



#### 「この1年をふりかえって」

第2グループ ガバナー補佐

鈴木 忠男 (滝 川)

この1年、遠藤秀雄ガバナーのご指導を戴き、第2グループの会長・幹事さん、各RCの会員皆様の好意と友情を戴きながら、貴重なRCの仕事を楽しくさせて頂きました。

本年度はロータリー100周年の年に当り、私共第2グループでも100周年記念の奉仕活動や全国ロータリー野球大会地区予選、登別でのすばらしい地区大会、第2グループ合同例会と祝賀会、ロータリー100周年シカゴ国際大会など、グレン・E・エステスRI会長の掲げた「ロータリーを祝おう」のテーマに沿い、国際ロータリー、地区、グループ、RCで様々な行事が1年を通して開催されこれまで以上にRC会員や近隣RCとの親睦が深まった年となりました。

今後の問題点としてはやはり会員基盤を維持し会員増強すること。地域経済の低迷している現状では以前にも増してむずかしくなっておりますが、ロータリーは困難な時期にこそ誕生し発展してきましたので、今後の飛躍を期待します。

また、11人のガバナー補佐と沢山のすばらしいロータリアンとお会いでき、すばらしい思い出となりました。

この1年間、皆様のご指導・ご支援に心よりお礼申し上げます。



#### 「1年を振り返って」

第3グループ ガバナー補佐

土谷 茂樹 (江 別 西)

早いもので、6月30日でガバナー補佐を退任することとなりました。



光陰矢のごとしとはよく言ったもので、あっという間に過ぎ去りましたが、多くの新たな出会いがありました。ガバナー補佐に任命された時は、いろいろと計画をしておりましたが、不幸にも病魔に侵され、2週間程入院、クラブ訪問が遅れてしまいました。これからはロータリアンとして、第3グループ内のRCへ訪れてみたいと思いますが、「あれは、誰だ？」なんて囁かれないようお願いしたいと思います。

この1年は、論文等と違い文書を読むのにひと苦勞で、皆さんから「髪が薄くなったね、毛髪剤でも使ってみては？」と薦められましたが、未だ実行しないでおります。

第3グループガバナー補佐 円子 保さんが毛髪剤を使うようにならないよう宜しくお願い致します。

私の任務の最大行事は「ロータリー100周年合同例会」でした。当別の地で開催し、遠藤ガバナーをはじめ多くのロータリアンのご参加をいただきました。特に当別RCの皆さんが立派に役割を実行され、とてもロータリーらしい会になりました。

各RCの会長・幹事さんをはじめ皆さんに1年間大変お世話になりました。お礼申し上げます。

又、お逢いできることを楽しみにしています。



## 「ガバナー補佐の思い出」

第4グループ ガバナー補佐

小山 秀 昭 (札幌手稲)

ロータリー創立100周年の節目のときに第2510地区第4グループガバナー補佐をさせて頂いた事は私にとって大変いい思い出になりました。

当初はどうなる事かと不安のスタートでしたが、やるべきことや計画書が出来、各RCを訪問し始めてから徐々に先が見えてきました。しかしガバナーの方針をきちんと各RCの皆さんにお伝え出来たかどうか未だに自信がありません。

最大の思い出はやはり第4・第5グループ札幌市内のロータリアンが市民と共にロータリーの100周年を祝った「ロータリー100年子ども音楽祭」です。

各RCの新世代委員長さんを中心に実行委員会を編成し、多くのロータリアンの知恵とお力を頂きました。

「札幌子どもミュージカル」様や「札幌交響楽団」様には特別のご配慮をいただきました。お蔭さまで無事に大成功裡に終えることが出来たと自負しております。

久しぶりに第4・第5グループ札幌市内のロータリアンの共同事業でした。この行事をNHKや道新で事前に告知され、開催の翌朝にはNHKで放映されるなどロータリーの広報活動にも効果があったのではないかと思います。

この事業を成功裏に終えることが出来たのも実行委員皆様のご努力や企業や個人の特別寄付金など各RCを挙げ応援していただいた賜物です。心から深く感謝申し上げます。

第4グループは会員増強の当初目標に届かなかったものの地区全体が減少した中純増7名であったこと、クラブ出席率が2510地区内No.1であった事など、ポリオ・プラス、財団寄附等を含め各RCの努力が顕われていると思います。

私自身「ロータリー創立100周年」の記念の時にガバナー補佐をさせて頂き、たくさんの優秀なロータリアンの友達ができ、楽しい1年間でした。

浅学菲才な私に力強いご支援を賜りました沢山のロータリアンの「友情」に心から感謝申し上げます。



## 100年の重み (1年を振り返って)

第5グループ ガバナー補佐

丸山 淳 士 (札幌真駒内)

運がよいのか悪いのか、ちょうどロータリー100年の時期に当たり、各RCを始め第4、第5グループ合同での行事の計画、実施と100年に追い回されていた感じがする。そんなことを言い訳にして、グループ内のRC訪問も手抜き状態で終わってしまった。ガバナー補佐をやってみて、多くの友人に巡り会い、多くの友情に支えられ、大変よかったと思っている。

在籍RC内の出席だけではわからなかったいろいろな他RCの事情や苦勞も知る機会を得たことは大きな収穫であった。

多人数のRCは他から見るとうらやましいと思い、少人数のRCは消えゆくのではないかという思い上がった考えも消えた。

大所帯はそれなりの苦勞があり、少人数でも希望に燃えた会員の活動は輝いていた。

まさに、ロータリーモザイクの世界を実感し100年続いた実績と、これからも永遠不滅の存在たることを確信した1年であった。



## この1年をふりかえって

第6グループ ガバナー補佐

関 幸吉 (倶知安)

ガバナー補佐に任命されて間もなく1年、終局を迎えようとしています。

この1年をふりかえってみて、ガバナー補佐として、私なりに色々とロータリーについての知識、現在の状況、またロータリアンとしての使命感について研鑽させて頂きました。また第6グループ内に於きましても、ガバナー補佐としての職務として暗中模索では有りましたが、私なりに任務を遂行させて頂きました。ロータリーが創立されて100年と言う永い歴史、また更なる未来に向けての様々なプロジェクトの推進など、今後の活動に於いても大きな期待を望んでいる次第です。

またグループ内各RC活動に於きましても、先輩諸兄の業績を基に、その歴史を継承し、地域に密着した活動を展開されており、この事は非常に意義ある事と思います。しかし其の反面、各RCに於きましても、なにかと苦勞も有り、更に改善していかなければならない諸問題も挙げられます。

先ず大きな問題としては、RC会員の大幅な減少で有ります。この事は今後の大きな課題であり、如何にして会員の拡大を図るか、今後この事を真剣に考えなければならない重要課題で有ろうと思います。

私はグループ内各RCの会長様に、RC会員の増強に対して、大いに力を入れて頂く様お願い致しますと共に、グループでの最重要課題として提唱して参りました。

より多くの会員で、より大きい活動が出来る事を願望致している一人です。

現在の社会情勢は、非常に厳しい情勢下で有りますが、会員増強に付いては避けて通れない最優先課題で有ると痛感致して居ります。グループ内各RC様には、会員増強運動にはかなり力を入れ推進して頂きましたが、非常にご苦勞をお掛けした次第です。今後も更に会員増強に力を入れて頂き、更にRCの活

性を図って頂きたいと思います。この1年間第6グループに対しましてのご厚情、ご支援を賜りました事に厚くお礼申し上げます。本当にお世話になり有難う御座いました。



## この1年をふりかえって

第7グループ ガバナー補佐

大谷 恵一 (北広島)

一昨年の12月、ガバナー補佐の指命を受け、不安の内に2月から各種研修会議が始まりました。7月からは会長幹事会・クラブ訪問等、緊張の連続で地区大会が終った頃やっと落ち着いた様に思います。その後は多くの人に助けられながら、100周年事業等を行い、終ってみればあつという間の1年半でありました。今はホッとすると同時に、地区リーダーシッププランにおけるガバナー補佐として、ロータリーのお役に立てたのか反省しております。

しかし、私個人にとっては、またとない貴重な経験をさせて戴きました。特に各RCの例会や行事に参加したり、活動計画書や決算書を読み説明を受けた事は大変勉強になりました。それぞれの特徴あふれる活動はロータリーのすばらしさを教えてくれました。そしてもちろん一番楽しかった事は遠藤秀雄ガバナーを初め地区役員、第7グループの会長・幹事、そして同期のガバナー補佐の皆様に出会えた事です。奉仕の機会として知り合いを広めることの喜びを、十二分に感じました。

これからも、多くのロータリアンと出会い、ロータリーの道を歩んで行きたい。



## 1年をふりかえり 新たな一歩を

第8グループ ガバナー補佐

蘇田 又栄 (浦河)

光陰矢の如しと申しますが月日の過ぎるのは誠に早いもの、ガバナー補佐任命書を戴きその任務と立場を十分理解しないま

まのスタート、今改めて振り返ってみますとあっと言う間の1年でした。

この間、地区大会は勿論合同例会並びにグループ内各RCの親睦を深めることを目的とした、「おじゃましーす例会」の開催と、多くのロータリアンの協力を得ながら無事終わることが出来ました。また、本年は国際ロータリー創立100周年と言う意義ある年でもあり、各RCにお願ひしそれぞれの発想により、家族と祝う記念例会の開催、町民と共に祝う記念コンサートの開催、交通安全を願ひ交通安全啓蒙公告塔の設置、老健施設・図書館への特別寄付など、記念事業に相応しい行事を実施して戴くことが出来ました。

先人が幾多の苦難を乗り越え築き上げた100年の歴史の重みを大切に、いま我々はロータリー第2世紀に向け新たな一歩を踏み出します。

あるロータリアンがロータリーは理想を追いだけでは駄目、現実を見据え行動することが大切と言われておりました。私もそのとおりと思いますが現実はまだ課題が多いように感じます。

しかし、このままではロータリーのよりよい発展は望まれません。ロータリー第2世紀を機会にロータリアン一人一人の意義を高め「超我の奉仕」に取組もうではありませんか。



## ロータリー100年祝賀の年

第9グループ ガバナー補佐

鈴木久雄(室蘭東)

遠藤ガバナーから、グレン・E・エステスRI会長のテーマは「ロータリーを祝おう」であるとの報告を受け、胸に着用する『CELEBRATE ROTARY 100years』のバッチを頂き、1年間着用することになった。1905年2月23日にロータリーの最初の例会が持たれてから100年間の月日がたち、現在迄の歴史を振り返ってみる絶好の機会であり、RI100年記念国際大会が6月17日から22日迄シカゴで開催された。

ポール・ハリスの足跡を訪れて感銘を受けた会員も多いと思う。当第9グループでは、室蘭東RCの例会日が2月23日に当たっていたので、グループ内の6RCが家族同伴で当RCの

例会場に集まって祝賀会を行った。米山奨学生・インターアクト・ローターアクト・財団学友会の方々も参加されて話がはずみ、ロータリー活動の基本である奉仕の理想に結ばれた者同士の楽しい集まりであった。6RCの各会長さんの宴会での出し物は、100年に1回だからやると意気込んだもので、長く想い出に残るものであった。

7月に次期へのバトンタッチを終えて100周年記念のバッチを外し、次の100年に向けての第一歩を踏み出して心の重荷を下ろした気分になった。この特別の年度に出会えたことは、本当に幸運であったと思う。



## この1年をふりかえって

第10グループ ガバナー補佐

加藤直樹(七飯)

1年間ガバナー補佐を努めさせて頂きました。

術後すぐ、体調不良のまま新年度を向かえ、どうなるかと不安を感じながらのスタートでしたが、あっと言う間の1年でした。至らない点多々あったと思いますが皆様には大変ご迷惑をおかけしたことと思ひますがここでお詫び申し上げます。

今年度のRIテーマは「ロータリーを祝おう」。函館RCの70周年、国際ロータリーの100周年を函館北、上磯、函館亀田、七飯RCが合同例会でもてたと言うことは非常にうれしいことでした。

又、森RCの観桜会、七飯RCの観月会と第10・11グループは和気あいあいとすごさせていただきました。

あらためてロータリアンとしての自覚及びすばらしさを実感いたしました。

遠藤ガバナー、そして第10、11グループの会長、幹事、そして会員の皆さん大変お世話になりました。心より感謝を申し上げるしだいです。



## 今年度を振り返って

第11グループ ガバナー補佐

吉川達也 (函館東)

ようやく任期を終えホットしたと言うのが本音である。就任の挨拶文で「友愛の心を通してパイプ役に」と書いた、果たしてどうだったのか？複雑な心境である。

よくロータリーは人生の道場であると常々聞かされているが、まさか身をもって様々な問題を体験するとは夢にも思わなかった、しかし価値ある経験を同時にさせてもらいました。

ロータリークラブとは、ロータリアンとは、今一度原点に帰って見つめ直すことが自分にとって今後の課題ではないかと思えます。

第11グループは第10グループと連携をとり、なおかつ常に融和を計りながら行動をしており100周年の合同例会等まさにそれであり、第10グループ加藤ガバナー補佐には諸問題についてお世話になり感謝申し上げます。今後様々な問題等がおこった場合、地区とRCの距離はどうなるのだろうか？あまりに温度差があるのではと危惧するのは私だけだろうか。

多くの人との出会いそして会員減少に悩みつつ各RCそれぞれに真摯に計画に取り組み、切磋琢磨して地域に貢献しロータリーの灯を消さないように一生懸命活動しております。このような素晴らしいRCの協力のお陰でガバナー補佐の任を終える事に感謝と御礼を申し上げます。

最後に遠藤ガバナーにはいろいろご迷惑をおかけした事、心よりお詫びを申し上げます。また代表幹事はじめスタッフの皆様、ご苦勞様でした。

1年間ありがとうございました。

合掌



## 親睦と友情に感謝して

第12グループ ガバナー補佐

藤澤正昭 (苫小牧)

ほんの一滴の露から始まった奉仕の世界が100年の年月を経て、これほどの大河になろうとは何人も想像できなかったの

はないでしょうか。ひとつひとつの献身と努力の積み重ねがいかに大きなものになっていくことを強く教えられました。国際ロータリーは、いまや166ヶ国、120万の会員というとてもつもない組織となりただ驚くばかりであります。これだけの大きな奉仕団体が100年もの長期間、献身的な奉仕活動を続けてまいりました。この節目に巡りあいロータリーの会員として誇りを持って創立100周年を祝うことができましたことを幸いに思っております。

グレン・E・エステスRI会長の選んだテーマは「ロータリーを祝おう」であります。RCで、職場で、地域社会で、そして国境を越えてロータリーを祝うことを提唱いたしました。RI会長は100周年の三大目標をかかげ絶大な協力を求めました。①ポリオ・プラス、②会員増強、③財団支援の3つでした。

また、遠藤ガバナーは次の強調事項を示しました。①識字率の向上、②ロータリー家族、③保健、④水の4つの項目であります。

RI会長の三大目標、遠藤ガバナーの強調事項を実行するために会長・幹事会を開き目標達成に励みました。ここに、当第12グループの会長、幹事、会員の皆さんに満腔の感謝を申し上げます。2005年2月23日の100周年記念合同例会は忘れがたい思い出となりました。





# この1年間を振り返って

## ～地区委員会～



### この1年を振り返って

ロータリー 100周年記念委員会

委員長 岩城 秀晴 (札幌南PG)

02年の小林年度より100周年記念委員長を命ぜられ3年間に亘って100周年記念事業をどうすれば良いかを思考しその実践に至るまでに委員の方々には大変な御苦勞をおかけ致して行事内容を搾りこんで参りました。ロータリーは100周年を区切りとして2世紀に至る橋渡しの事業を進め、後世に残ることを地区にとって何が大事かを進展させることとして種々の仮設テーマを上げて委員会に図って参りました。その結果、当地区にはこの事業遂行に当っては予算づけはありませんでしたが、会員の減少を見ている今日的な問題はあってもこれを克服して実行するのも必要な事と考えました。それによりまして、次の項目を実施して見たいと思ひましてその実施を肅く肅くと計画をしました。以下のとおり。

**その1** 他地区との姉妹締結を致します。

これを10月16日の地区大会において韓国第3700地区と締結を致しました。

**その2** ロータリーの国際的奉仕活動として米山奨学生に札幌雪祭りに出動して自国の方々に通訳と云う奉仕活動をして国際奉仕に貢献して戴きました。

**その3** ロータリーの創立記念日である2月23日には地区のRCが一斉に例会を開催して100周年の意義を深めました。

**その4** 社会奉仕として青少年に文化的な行事を札幌市内全RCの主催による、子供音楽祭を札幌市の音楽堂であるキタラで、3,500名の参集を得て開催致し、新聞で大きく採り上げてロータリーの社会貢献の評価をして戴きました。

**その5** 最後は、国際ロータリーの国際大会において、北海道ナイトを実施して2500地区と当地区の参加人員107名が参

加して大いにシカゴにおいて懇親会を開いて楽しみ、明日への夢を語り合いました。又、ロータリーの本部であります、エバンストンに地区の方々と訪れたり、ハリスの墓地へ行きましてハリスの墓前でロータリーを大いにその精神を汲み取って参りました。最後にハリスが居住していた「カムリーバンク」を訪れてハリスの生活を深く忍び、われわれの精神にも分霊となって今後のロータリーに対する考えも大きく変化するのではないかと思われました。

### この1年を振り返って

意義有る業績選考委員会

委員長 岩城 秀晴 (札幌南PG)

100周年を祝うために、RIでは、25年以上にわたりRCに所属し、RCとロータリーの理想に対して、確固たる支援を与え続けてこられたロータリアンを「奉仕への貢献に対する表彰」の制度を創設されまして当地区から5名の方が表彰されました。この表彰された方々はガバナー補佐から伝達されたとは思いますが、今後とも益々御精進されますよう御願ひ申し上げます。

表彰された方々は

赤 平RC	西 沢 良 知氏
札幌モーニングRC	近 藤 良 一氏
三 石RC	佐々木 初之助氏
函 館RC	亀 井 敏 清氏
苫 小 牧RC	山 下 正氏



## オン・ツー・シカゴ委員会

オン・ツー・シカゴ委員会

委員長 小林 博 (札幌北PG)

オン・ツー・シカゴ委員会は出来るだけ沢山の地区ロータリアンがロータリーの国際大会に参加しようと呼びかけることを狙いとした委員会である。そのための委員会を2度開催したがほかに電話・メールなどで委員相互に連絡を密にしながら各RC会員の参加を要請した。

幸い今年はロータリー開基100年にあたり、しかもロータリー発祥の地シカゴにおける開催とあって、いつもより沢山の参加があった。個人の自由参加もあったので正確な参加人員は掴み得ないが、恐らく100名余の参加が2510地区からあったと考えられている(参考まで全世界から42,000人の参加があったとのこと)。

100年記念ということのほかにもオプションツアーを2セット設けたことも参加の促進に役立ったようだ。大会参加とは別にシカゴ郊外エバンストンのR Iセンター、ポール・ハリスの眠る Mount Hope Cemeteryの訪問、またポール・ハリスの長く住んだ住居 Comely Bank を訪問する機会もあったし、さらにシカゴ運河からシカゴ市内への代表的建築美を目の前に堪能したり、またミシガン湖遊覧などのオプションを楽しむことができた。

しかも多くの地区内ロータリアンが1つのホテルにまとまって宿泊できたのでお互いの交流、親睦を深める絶好の機会となった。ホテル自体も比較的快適で、大会会場のマコミックプレイスにはタクシーでの往復となったが比較的便利なところであったし、何より全員事故も無く無事に帰ってこられたのは最高の幸せであった。

なお、北海道ナイトは同一ホテル内にて2500地区との合同開催となったが、この企画、設営等は地区100周年記念委員会委員長の岩城秀晴PGのご尽力に拠るところが大きかった。またR I本部、Mount Hope Cemetery、Comely Bankの訪問には塚原房樹GEから懇切かつ詳細なご説明をいただいた。また遠藤秀雄ガバナーはじめ地区ロータリアン各位、並びにご家族にも絶大なご理解ご協力をいただいた。併せてご参加のみな様に心からの御礼を申し上げたい。



## 2004-2005年度R I第2510地区 文献資料室活動報告

文献資料室委員会

委員長 板橋 俊 (札幌幌南)

当委員会の主な任務は、ロータリーの情報源であります、貴重な資料・保管・収集をすることであり、年度当初の活動計画に基づき、実施することができました。

主な活動のひとつとして、国際ロータリー100周年を記念して、ビデオ『ポール・ハリスの足跡を訪ねて』および『最初は一つだった』を、地区内にて販売致しました。

また、各強調月間には、関連ビデオの貸し出し、新たな文献資料の調査と収集を行いました。

100周年記念ビデオ販売数	13本
貸し出しビデオ数	59本
新規ビデオ購入数	15本(7種類)

ビジュアルなビデオ等がRC例会やフォーラム、各種委員会でよく理解されますので、新しいものを各種15本購入致しました。各RCにご案内をして活用いただくようにしたいと考えております。

### 委員会開催状況

- 第1回 7月28日『新年度活動計画ほか』
- 第2回 9月13日『ビデオ販売・地区大会の件』
- 第3回 5月24日『活動状況報告・次年度に向けて』



## 2004-2005地区 クラブ奉仕委員会の1年間を振り返って

クラブ奉仕委員会

委員長 羽部 大仁 (札幌幌南)

本年度の活動計画に基づいて委員会活動を実施した。振り返ると反省点も多いが、次年度に引き継ぎたいと考えている。その中で地区のホームページにクラブ奉仕について掲載し、会員増強と親睦プログラムに関して紹介した。

1. 地区委員会では、第3分科会(クラブ奉仕部門)を担当し、次年度に向けてクラブ奉仕の重要性を強調した。

2. 委員会を適宜開催した。富原カウンセラー（PG）に参加戴き、各委員の質問には気軽にお答え頂きご指導を願った。
3. 地区のホームページにクラブ奉仕に関して、会員の退会が地区内各RCの悩みになっている昨今、会員増強に成功した事例を紹介し、又新しいプログラムで、楽しい例会も紹介できた。今後は更新について考えたい。
4. クラブ奉仕の重要性と題して、札幌モーニングRCの例会で卓話を行った。又長沼RC例会でロータリー100年を祝って卓話を行った。
5. 各委員には、急な案内にも笑顔で参加して頂き、熱心な意見交換に時間が足りなかった。次年度も是非このムードで充実した委員会活動を期待したい。



## ロータリー創立100周年を迎えた 職業奉仕について

職業奉仕委員会

委員長 富岡 公治（札幌西北）

- 1 ロータリー創立の原点であり基礎的根幹である職業奉仕  
ロータリーの創業者であるポール・ハリスのロータリー創立の動機は、異なる業種の実業家と職業人の交際と相互扶助の輪を形成することでした。
- 2 職業奉仕の理念の誕生  
「ロータリーは決して宗教でもなければその代用物でもない。それは古くから存在する一道德観念の現代生活におけることに実業職業生活における実践に他ならないのである」これはポール・ハリスの『ロータリーの理想と友愛』の一節であります。  
初期のロータリーは相互扶助という会員同士の知己の追及でありましたが、後にハリスは「相互扶助の観念は一般的奉仕の観念に世を譲った」と理念の止揚がなされました。  
しかし、この相互扶助の制度にロータリーの奉仕の原点、なかんずく、職業奉仕の原点であると考えます。
- 3 ロータリー創立100年を経ても、ポール・ハリスをはじめとするロータリー創始者の理念は確固として永遠に守り抜かなければならないと考えます。  
遠藤秀雄ガバナーは各RC公式訪問スピーチにおいて、本

年度のアナハイムのガバナー研修においてラタクルRI元会長とグレン・E・エステス現RI会長がロータリー創立100周年の今年こそロータリー創立の原点に立ち返り、職業奉仕の理念をロータリーの根幹として高く掲げなければならないと強調している旨を語られました。真に心強い限りです。

- 4 地区職業奉仕委員会は、地区協議会の席上及び10月職業奉仕月間において、職業奉仕がロータリーの根幹をなすものであり、これは100周年を迎えた現在全くの価値は不変である旨広報活動に努めました。

そして、地区職業奉仕委員会自体の活動として、平成16年11月30日室蘭東RCの芝垣美男会長に「市民に役立つ法律講座」として市民講座を開催致しました。



## 社会奉仕活動は地域と ロータリーを結びます

社会奉仕委員会

委員長 対木 正文（札幌西）

社会奉仕活動は、ロータリアンひとり一人が「超我の奉仕」を実証するすばらしい機会です。そして、地域のニーズに答えた奉仕活動は、RCが実施できる最もやりがいのある活動の一つでもあります。

年度始めに社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同の、RC社会奉仕委員長様を対象とした「社会奉仕に関する意見交換会」を地区内4ヵ所で開催しました。お世話いただいたRCに心から感謝申し上げます。

この意見交換会を通し、年度始めに他のRCの奉仕活動を知ることにより地域社会が真に求めている奉仕活動をより幅広く模索し、活動のマンネリ化を防ぐ助けとなりました。そして、RCが抱える諸問題について多様な意見や悩みなどが率直に話されました。私は会員減少の中で地域に密着した素晴らしい社会奉仕活動をしているRCに心から敬意を表すると共に、RCの目線に立って各RCが活動しやすいように情報を提供し、サポートすることの大切さを再認識いたしました。

今年度は、各RCのご協力得て2003-2004年度に実施された「社会奉仕活動一覧」を写真入りで作成いたしました。この冊子を活用することにより各RCがより地域に密着したプロジェ

クト選択に役立つと共に、ロータリー活動の一部を広く社会に知ってもらい、会員増強の一助になることを願ってやみません。

この1年間、ガバナーを始めガバナー事務所のスタッフの方々、ガバナー補佐の皆様、RC会長様、RC社会奉仕委員長様、そして、地区社会奉仕委員の皆様にご多大のお世話になりました。ありがとうございました。



## 地区家庭奉仕委員会 活動報告

家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三 (札幌南)

### 1. 地区の活動

#### 1. 家庭奉仕活動実践のマニュアルの作成

3年間の活動の経験を踏まえて、家庭奉仕に関する取り組みの指針になるマニュアルを作成しました。完成版とはいえないものの、現状で可能な家庭奉仕活動についての問題点について網羅したものです。

#### 2. アンケート調査の実施

昨年度に続き、各RCの取り組み状況についてアンケート調査を実施しました。

総じて各RCともに、家庭奉仕活動に今取り組まなければならないという問題性に対する理解がされていないという状況にあることが分かりました。

#### 3. 親業訓練入門講座実施の呼びかけ

札幌北RCが応えてくださり、2月1日から3週間にわたり、実施しました。参加者は、一般の方を含めて延べ約60名で大変有意義であったと好評でした。

### 2. 各RCの活動

#### 1. 札幌南RC創立40周年事業

児童養護施設の子供たち…現状理解と将来支援

現実には、崩壊した家庭の虐待児童を受け入れているのであり、子供たちの幸せの為に、家庭の機能の回復が必要である事を痛感した内容でした。

#### 2. 千歳RC創立35周年記念事業

夢、未来、子供に期待するもの  
子供を育むためのシンポジウム

### 3. 小樽南RC創立45周年記念事業

子供の本の必要性——今なぜブックスタートか



## 本委員会担当活動の 発展を祈る

子ども奉仕委員会

委員長 米 山 道 男 (札幌北)

本委員会は、「ロータリークラブの会員が小中学校に出向いて授業をする」、「小中学生を会員の職場に招いて職業体験をしてもらう」、この二つの活動を促進するために設けられました。

これは、経験豊かな会員が自らの職業を通して奉仕活動しようとするもので、会員に極めて相応しい活動です。また、子ども達にとっては新しい世界を知って将来への夢が膨らむかも知れませんが、会員にとっては子ども達の素晴らしい感性に触れて自分や社会を見つめ直す契機になるかも知れません。

本委員会は、小林ガバナー年度に企画され、佐藤ガバナー年度に正式に発足しました。以来、小林・佐藤・遠藤3ガバナーの温かい指導に励まされ、また委員の皆さんに協力していただきながら、今日まで活動してきました。

本委員会がこの間にしてきたことは、この活動を広く会員の皆さんに理解していただき、できるだけ多くの会員に協力していただくことでした。その「協力会員名簿」が難産の末ようやく出来上がろうとしています。また、一部の学校では、実際に会員による授業が実施され好評を博しました。

地区の方針変更により、本委員会は遠藤ガバナー年度を以って廃止されることになりましたが、本委員会の活動の重要性に鑑み、次年度は、親委員会である地区社会奉仕委員会の中に子ども奉仕担当委員（三澤龍子委員と石黒直文委員）が配置されています。今後は、「協力会員名簿」を有効に活用してこの活動が大きく発展することを、子ども達と会員諸兄姉のために心から願っています。





## 国際奉仕活動を巡って

国際奉仕委員会

委員長 橋本信夫 (札幌西)

最近の国際社会は経済危機、テロ事件、宗教・民族対立、貧富差、麻薬、エイズなどきわめて不安定な状況にある。しかし個人も地域も国境を越えた広い視点さえ持てれば日常生活を通して平和につながる様々な国際貢献を成し得るものである。

地区の国際奉仕事業には友好親善と人道支援の2つがある。今年度は地区100周年記念委員会によって韓国R I 3700地区と姉妹提携プログラムが締結され、ロータリアンの交流を通じて国際親善活動が推進されることとなった。これは親睦活動委員会から改組された国際友好委員会に引き継がれ、世界を結ぶ親善交流事業のモデルとして大きく進展するものと思われる。

また、WCS委員会はこれまでアジア諸国を対象に数々の人道的支援プログラムを実施してきた。今年度はRC申請によるフィリピンのスラム改造計画(札幌西RC)、タイへの中古救急車寄贈(滝川RC)、ネパールの学校整備(江別RC)、またWCSによる「スマトラ沖大震災救援」書き損じハガキ回収事業などが会員、RCや委員会の熱意で見事に結実した。

当委員会はこれらの国際奉仕事業に対する会員・RCの理解を深め、地区を挙げて国際貢献に取り組めるよう努力している。



## 「この1年をふりかえって」

世界社会奉仕委員会

委員長 斎藤修弥 (室蘭)

この原稿の執筆は小生にとって感慨深いものがある。WCSの何たるかを何も知らずに、無謀にも委員長をお受けしたツケの報いは、その翌日から始まったと言っても過言ではない。そんな小生でも兎にも角にも6つの事業を実施して年度末を迎えられたのは、偏に橋本信夫国際奉仕委員長、WCS委員会委員をはじめ、多くのロータリアンのご支援のお陰と心から感謝している。とりわけ滝川RCの中古救急車寄贈にあたって、対木

正文社会奉仕委員長に仲介の労をとっていただいたご好意は、お礼の言葉もないほど感激している。また、当委員会の出村知佳子副委員長には豊富な経験と、素晴らしい語学力を駆使して、困難な交渉を一手に引き受け事業を達成してくれた事に、心からお礼申し上げたい。

一方、年度の間でスマトラ沖大地震が発生した。そのため急遽支援の書き損じハガキ、未使用テレカの回収事業を展開したが、各地RCの全面的な協力により多大な成果を挙げられた事も印象深い。この場を借りて全RCの皆さんに心からお礼を申し上げたい。その反面、委員会事業としては反省すべき点も多々認められる。WCS事業の申請がまだ少数に止まっていることから、次年度はより積極的な啓蒙運動を心がけると共に、事業の検証も兼ねて現地調査を行いたいと計画している。次年度もより有意義な世界社会奉仕事業が、地区内RCの協力を得て数多く展開出来ることを期待している。



## クラブ奉仕に主体を置きすぎる、わが国の活動

親睦活動委員会

委員長 雲津忠宣 (伊達)

2002年からRIプログラムに加えられ、その活動は国際的に認められた活動として多くのロータリアンがクラブ奉仕とは別に、何らかの親睦活動に所属して、多くのロータリアンと交流を深めながら、幅広い活動を展開する事を期待した。

その為にロータリアンの「趣味親睦活動」や「職業別親睦活動」の充実を図りました。

2510地区に事務局を置く親睦活動の代表的な会である「ロータリーの歴史と伝統の会」と「囲碁同好会」について、委員会に代表者の参席をお願いして、現状の活動の把握を行ったが、広く地区内に参加者の幅を持たせる事は非常に困難な事でした。

「ゴルフ同好会」については、毎年北海道での開催をG月信などを通じてPRに努め側面からの支援をおこなった。

新設されるRIが承認する「親睦活動」はあいにく無かったが、地区大会に連動して「囲碁同好会」の主導により囲碁大会が開催された。「ロータリーの歴史と伝統の会」の活動内容の

ひとつに、最初の例会場所「711号室」の保存、P、Hの墓地整備などの活動の輪を今ひとつ広げられなかった。

地区大会当日、韓国R I 3700地区と2510地区が姉妹提携をして地区対地区の第一歩を踏み出したが、これに対して親睦委員会としては対応が地区対地区のケースから今後具体的な会員間の「親睦活動」が生じる事を期待したい。

R I 大阪大会には多くの「親睦活動」が出展し、会員の拡大を図っていたが、ロータリー活動のRC主体の活動とは別の活動がそこには存在しており、この委員会の重要性を感じるとともに、日本のロータリアンは今以上の国際性を追及し世界から信頼と敬愛される国民となる事を願いたい。



## この1年を振り返って

拡大委員会

委員長 遠藤正之(札幌南PG)

昨今ロータリーは極端にメンバーを減らしています。諸環境の変化の原因とでも云えるかも知れません。しかし会員増強・拡大はロータリーの重要な課題の一つなのです。

今回道南の函館地区が行政の市町村合併(一市三町一村)により中核都市になることが決定しました。

もしこの地区に新しいRCの設立が可能であれば…。諸事情を調査した結果、可能と判断し、新しいRCの結成の諸準備を整え過日遠藤秀雄ガバナーに「新RC結成調査書を提出致しました。新RCのメンバー(20数名)スポンサーRC(函館RC)特別代表亀井敏清(函館RC)も決り5月16日にR Iに書類が受理された」と聞いております。

新年度早くに塚原房樹ガバナーのもとに新2510地区73番目のRCとして新RC創立のチャーターナイトが開催されるものと思います。

今後は新しいRCとしてロータリーの仲間入りをする事になります。どうぞやさしくその豊かな成長を見守って頂きたいと思います。

## この1年を振り返って

ロータリー財団委員会

委員長 遠藤正之(札幌南PG)

ロータリー財団委員長という大変重い役を引きうけて本年度の任期を終えました。皆様の御協力に感謝申し上げます。

当地区の財団委員会は皆様御存知の通り「国際親善奨学金委員会」「GSE委員会」「財団学友委員会」「補助金委員会」の小委員会からなっております。各小委員会からは詳しい報告があると思いますが、小委員会は各委員長・委員の御努力と皆様の御協力と御理解により立派な実績を残された様です。

しかし、財団寄付についてはエステス会長のテーマ「あなたも毎年100ドルを」を機会ある毎に皆様にお願ひ致しましたが経済不況が影響したのか、私の努力がたりなかったのか、又財団に対する殊に寄付に対する認識不足なのか、地区全体でみると目標をクリア一致しましたが、個人RC別にみると不満足点があると思われまます。

地区の目標額314,000.00ドルに対して6月30日現在318,250.77ドルです(1人あたり101.48ドル)。残念なことに1人あたり0ドルのRCが1RC、50ドル以下3RCでした。しかし41RCで1人100ドル以上の寄付をいただけました。目標を達成し、多額の寄付をして下さった会員に敬意を表します。

明年は会員100ドルをお願いしたいと思います。

又ポリオ撲滅募金については、本年でその募金活動は終わりにりましたが、(02年6月~05年6月)3年間で目標1人150ドルに対して、当地区はDDFの5000ドルを加えても1人89.66ドルで非常に低調に終わりました。150ドルをお願い出来たクラブはわずか15RC。0ドルのRCは2RCでした。この募金の趣旨からして極めて残念なことと思っております。

又、ロータリーカードの発券もあまり進まず当地区では48枚のみです。

いずれにしても色々の御協力ありがとうございました。

力不足をおわびします。明年度もよろしくおねがいします。



## 活動報告

国際親善奨学金委員会

委員長 瀧川 哲夫 (札幌手稲)

04-05年度は地区委員と奨学生との交流を深め、特に派遣奨学生にロータリー活動を多く知ってもらい、留学先での親善活動に活かすように努力した。

**(目標) 04-05年度では、次の目標を掲げて事業をおこなった。**

1. 奨学生候補者に対するオリエンテーションの充実
2. 奨学生候補者と地区委員のためのメーリング・リスト開設による情報交換開始
3. 06-07年度募集における、応募時からの英文申請書提出開始
4. 奨学生候補者に対する地区行事への参加要請

**(成果) 以上の目標実現の努力によって、以下の成果があがった。**

1. オリエンテーションについては、留学に至るまでの手続きに関するQ&Aを作成するとともに、宿泊を含めた3回の研修をおこなった結果、ロータリー活動への理解、財団への申請書提出、渡航手続きへの理解が進んだ。
2. メーリング・リストを作成し、常時、奨学生候補者への連絡ならびに指導をおこなった結果、1年間で奨学生、委員から500件近いメールが投稿され、相互理解と親睦がおおいに深まった。
3. 06-07年度応募申請書類を応募時から英文で用意させた。これは応募者の意気込みをはかることであり、また、合格後の英文申請書記入が容易になるためである。その結果、高いレベルの応募者ばかりとなって、当初の目的は達成できたと言えるが、その一方で、応募者総数は05-06年度22名から12名に減少した。今後の課題である。なお、今回から、面接選考委員として地区委員の他に地区役員(ガバナー、財団委員長等)に参加を依頼して選考した。最終合格者は7名(文化研修生5名、1学年度奨学生2名)となった。
4. 地区行事として、RYLAセミナー等への参加を要請して、積極的な参加が実現できた。また、公式なオリエンテーションの他に、委員と奨学生との交流を深めるオリエンテーション・プラスを実施し、その中ではロシアからの奨学生との交流も実現した。

## (今後の課題)

上述の応募時の申請書類提出については、文化研修生応募には日本語で可とする方向で検討している。また、推薦RCによる事前面接がおこなわれていない場合があったことについては、今後、推薦する予定のRCに強く要請していく予定である。世界平和奨学金の募集については、05-06年度にあらためて検討する。



## この1年を振り返って

研究グループ交換委員会 (GSE)

委員長 山名 善久 (札幌幌南)

今年度は、当地区として2回目のアジア地区3350地区(タイ・バンコクを中心とした地区)からのGSEチームメンバーを2004年10月4日~31日までの28日間受け入れました。俱知安RC、上磯RC、留萌RC、札幌幌南RCの4RCが受け入れ世話RCとしてお世話していただきました。各グループのガバナー補佐の皆様、受け入れ世話RCの皆様、各コーディネーターの皆様には絶大なご協力をいただき、受け入れ事業は大成功に終わる事ができました。この事業に関わられた皆様方の献身的なご努力に深く敬意を表しますと共に厚くお礼申し上げます。このGSEプログラムは地区内多くの会員の皆様のご理解、ご協力により広く認知されてきたのではないかと思います。GSEプログラムは短期間で極めて大きな効果を地域に、地区に、若者に、そして私達に与えてくれます。

今後、GSEプログラムを通して若者の育成、国際親善、そして特にアジア地区に対しては日本に対する理解がより一層深まる事を期待します。私はGSEプログラムを手掛けたこの1年間、多くの方々と知り合い、友情を深める事ができました。GSEプログラムに感謝です。

1年間お世話になり、ありがとうございました。





## 「財団学友会を 再認識された1年」

財団学友委員会

委員長 山崎 晴嘉 (札幌西北)

財団学友会が発足5年をむかえ会員数300名に達しております。学友は多方面で活躍し、ロータリーに対し理解と積極的な協力を行っております。

- (1) 地区大会記念フォーラムの企画、実施を遠藤秀雄ガバナーから依頼され学友との連携で実施し、各ロータリアンからの評価は高いと自負しております。
- (2) 各RCからの学友の卓話依頼も増え、何れも好評を得、これにより理解の浸透が図られたと思われます。
- (3) 派遣予定国際親善奨学生へのオリエンテーションに参加し、体験等のアドバイスをした。
- (4) 学友会総会を開催し学友委員会全員が参加し、学友が再度ロータリーへの理解を深める支援を行うと共に、一層の交流を深めた。
- (5) 学友会ニューズレターを地区大会時に学友会ブースでロータリアンに配布した。

財団学友会の活動もロータリアン、地区関係者に加え学友委員会の支援、協力の下、活発になり各ロータリアンから再認識された1年であったと思われる。



## 1年を振り返って

補助金委員会

委員長 伏木 忠了 (札幌西)

前任者の転勤により、突然補助金委員長の任を与えられ、最初は補助金委員会の内容が複雑で理解に時間を要し、ガバナーや財団委員長のご指導に加え、補助金委員の皆さんのご協力でも何とか努める事が出来、大変感謝しております。

地区補助金、同額補助金、個人向け補助金、の申請から審査、承認、事業完了報告書の提出迄で苦勞をいたしました。その経験の中から感じた事を記したいと思います。

1. 申請基準やスケジュール、地区としてのルールもまとめる事が出来、これからはスムーズに作業が流れるようにと願っております。
2. ロータリー財団に寄付するだけでなく、奉仕活動に大いに補助金を活用して頂きたいのです。財団の寄付が、どのような奉仕事業に活用されるかを知って頂く事が財団寄付増進に繋がると思っています。
3. 地区社会奉仕委員会、地区世界社会奉仕委員会との連携、或いは、補助金委員会委員に加わって頂く事が望ましいと感じています。その事によってロータリーの原点である奉仕活動を行う際に、RCや地区で資金が足りない場合D.D.F (地区活動資金)、W.F (国際財団活動資金)を上手に活用する事で一層大きな奉仕活動が可能になると思っています。  
最後に地区委員に携わって、多くのロータリアンと交流を深められ、トルコ、スリランカ、フィリピン等訪問出来た事も良い経験となりました。ありがとうございました。



## 有効な補助金の活用を

補助金監督委員会

委員長 菅原 耕治 (札幌北)

当委員会は、補助金委員会への各RCからの申請書類をもとに、DSG (地区補助金) の監査・報告が責務ですが、地区補助金委員の「基準づくり」が明確となり、大変助かりました。今後も地区内各RCからの有意義なプログラムに、DSGが効果的で有効に活用される事と思っております。DSGに係る財団・補助金両委員会の熱心な審査や、RIへ提出する報告書の作成など、1年間大変ご苦勞されたことと実感しております。両委員会の皆様とガバナー事務局のご協力に感謝しております。





## 新世代は貴い ロータリーファミリーです。

新世代委員会

委員長 細川好弘 (静内)

「ロータリーの熱意」を新世代に届けられるよう、青少年交換委員会(野澤幸平委員長)、インターアクト委員会(堀田昌資委員長)、ローターアクト委員会(柳幸一委員長)、ライラ委員会(宮崎善昭委員長)を中心にロータリー100周年に相応しい新世代プログラムが推進されました事は、ホストRCはじめホストファミリー、関係各位、ロータリアンのご理解あるご支援のおかげと心より感謝をいたしております。

世界平和を目指すロータリーに、地域への奉仕、国際理解プログラムや各種交流、親善使節として実践されております青少年交換等を通じて、奉仕の楽しさや喜びを伝えてくれます。

地域社会にあって将来指導者となる素質を持ち、社会の発展に貢献しようと志向する若い仲間と共に、自ら考え体験されたことを広く地域に、世界に寄与されるであろうことを期待いたします。

遠藤ガバナーの率先新世代プログラムへの参画、ご指導を賜りました熱い新世代への視線は、ロータリーファミリーとしてのプログラムが不滅であることを印象づけてくれた年度でもありました。



## 思いやりと 奉仕の楽しさに感動

インターアクト委員会

委員長 堀田昌資 (札幌東)

区内11高校-10のインターアクトクラブの顧問教師の熱心な指導のもと、高校生に思いやりと奉仕の楽しさと感動を共有する支援プログラムを担当する1年間でした。

8月は第2800地区(山形県)のインターアクター14名が来道、北海高校(交流会場)インターアクター25名、札幌龍谷学園高校2名が受け入れ準備・運営。ボランティア活動の発表と情報交換・友情を深める素晴らしい機会となりました。8

/1~8/5韓国・木浦市『共生園』への訪問交流とソウル市内で文化・歴史資料館の見学。国際交流と親善推進のプログラムに9校17名、引率教師9名、ロータリアン2名参加。近くて遠い国、韓国の人々とのふれあいは、参加高校生にとって、心を豊かにする実り多い体験であったと思います。地区委員会・主要行事には、多忙なスケジュールのなか、遠藤ガバナーに出席を賜り、地区委員一人ひとりに声を掛けて下さり、心から感謝を申し上げる次第です。

ありがとうございました。



## 成長できた? 1年

ローターアクト委員会

委員長 柳孝一 (札幌南)

この1年間、アクトと一緒にちょっとは成長したかなという1年間でした。いつも問題の各RCの会員増強は、いろいろな場面で、アクトはもちろんロータリアンにもお話をさせていただき、ちょっとは理解をいただいたかなと思っています。

7月の提唱RC委員長会議(札幌)、地区交流キャンプ(岩内)、8月地区セミナー(留萌)、9月ライラセミナー(札幌)、10月ロータリー地区大会、11月ローターアクト北海道交流会(北見)、12月地区協議会(函館)、1月地区温泉交流会(定山溪)、海外研修(オーストラリア、ケアンズ)、3月ローターアクト全国研修会(広島)、4月札幌南RAC創立30周年(札幌)、5月ローターアクト地区大会(千歳)。キャンプ以外、ほぼ毎月ある行事に参加しました。その他岩見沢RCと札幌北RCで卓話をさせていただきました。

こんなに行事がたくさんあってもほぼ皆勤なのは、もちろん委員会の役目もありますが、ローターアクトのメンバーに会うことが楽しかったからです。それぞれの行事にはホストRCが実行委員会を組織し、「その会を成功させよう、出席者に楽しんでもらおう」と一生懸命準備します。その熱意を感じる事で「ローターアクト委員会で良かった」と思います。今年度のローターアクト地区代表は千歳RCの斎藤心さんでした。久しぶりの女性の地区代表でしたが、1年間本当に良くやっていただき、「社会のリーダーを育てる」ロータリーの目標は達成

できました。

ガバナーはじめ、地区委員会のメンバー、提唱RCのロータリアン、そして地区内全ローターアクターの1年間の活動に感謝いたします。



## 本年度を振り返って

青少年交換委員会

委員長 野澤 幸平 (岩内)

出船、入船、帰り船。今丁度、約1年間の留学を修了、受入生の派遣生の帰国。新たに出発する派遣生、後半の留学オーストラリア受入生そして次年度派遣生の選考と委員会が最盛期。

千歳空港での涙の旅立ち、笑顔での帰国。この日の為に関係者の努力と奉仕の精神が。

当地区として初めてホストRCへの負担軽減、オリエンテーション費用等06-07年度派遣生保護者より地区負担金として30,000円をお願いすることに決定。

派遣候補生への外国人講師による「英会話教育プログラム」、スピーチ等への対応。またパフォーマンス、書道・手品・茶道等を英語で紹介。

受入学生に好評であった余市、ぶどう狩りの秋季キャンプ、ニセコでのスキーキャンプ。

高校生の、未成年の留学交換プログラム。ホスト高校で、ホストファミリーで行き違いがあってもそれを克服するパワーを培うことまたロータリアンのサポートに素直に感謝出来ることがこのプログラムの財産ではないだろうか。

委員皆様方に協力に感謝して。



## ライラ委員会活動報告

ライラ委員会

委員長 宮崎 善昭 (札幌西)

今年度のライラセミナーは、2004年9月11~12日シニアク

ラス、9月18~19日にジュニアクラスセミナーを実施しました。テーマは、「人権について考える」として、日頃あまり身近ではないが人間にとって大切な人権とは何か、また、私たちはあまり気が付いていないが人権の問題は身近なところで色々な形で存在していることを知ることが大きな目標でした。

シニアクラスは、弁護士で札幌人権擁護委員会委員長の高橋剛先生にハンセン氏病患者の差別(人権侵害)について学びを深めました。また、ジュニアクラスは、交換学生との人間関係プログラムにより交流を深め、教育大学の戸田まり先生よりドメスティック・バイオレンスについて学ぶことができました。

人権は、私たちにとって普段は空気のような存在かも知れませんが、その当たり前のことが脅かされている多くの人たちがいることを知ったことは大きな収穫でした。

この3カ年間は、観念的なことではありますが、「共生」、「平和」など将来の社会の指導者になる新世代の人たちにとって重要な知識や考え方を学ぶ機会を創ってきました。参加した多くの新世代にとって更に深く考える機会となれば幸いと考えています。

札幌国際スキーマラソンは、インターアクトと交換留学生を中心に参加し、ガバナーも応援に駆けつけてくださり、2月13日に行われました。始めてスキーをする留学生もいましたが、さすがにフィンランドからの留学生は素晴らしい滑りを見せ、新聞にも掲載されました。昼食のジギスカンパーティーでは、お互いに健闘をたたえ合うことができました。

ライラ・プログラムを推進するに当たっては、地区新世代委員、ライラ委員を始め多くのロータリアンの励ましやご協力を頂きましたことを感謝申し上げます。



## 初めての試みで 理解が深まった

米山記念奨学委員会

委員長 竹原 巖 (札幌北)

年度当初の委員会の活動方針として「奨学事業の目的と意義を会員の方に理解していただき、そして、より多くの留学生に援助の手を差し伸べ、奨学生との交流や相互理解により、親善を深めていきたい」と掲げました。この方針のもと各種の活動

を積極的に取り組み、会員の理解を深めることが出来たと思っております。

各種の活動のなかに本年度初めて実施したのがあります。その一つに奨学生、奨学生OB、ロータリアン、家族の皆さんが参加して、お国料理を作りそして参加者全員で味わいました。この料理作りを通じた交流会は100名を越す人たちが参加し、大変な好評をいただきました。

二つ目は、奨学事業の成否を握る重要なカウンセラー制度に関して、カウンセラーの方々にお集まりいただき研修会を実施しました。その後の奨学生をお世話していただく上で大きな成果となって現れました。

また、奨学生もロータリーの各種の活動に積極的に協力してくれ、相互理解に貢献して頂きました。



## 米山学友委員会発足 3年目を終えて

米山学友委員会

委員長 見延 庄三郎 (小樽南)

2002年7月、米山学友会(北)の活動支援を目的として新設された当委員会も、米山記念奨学会の伊藤常務理事の御指導と歴代地区ガバナー始め地区役員や多くのロータリアンの御支援を頂きながら、どうやら達成出来たように思います。改めて関係の皆様へ心からお礼を申し上げます。

3年経過しますと活動内容も概ね形が出来上がり、年々深度が深まってきましたが、何と云っても学友会の活動主体である陳会長を中心とする学友自身が積極的に活動し、会員の意識を高めて下さった事が最大の成果でした。米山奨学事業が奨学期間だけの一過性のものではなく、奨学期間終了後の学友自身がロータリアンとの関係を保ちながら国際親善と交流そして世界の平和の維持増進に貢献すると言う大局観を忘れずに未永く活動して欲しいと願っています。

唯、学友委員長としてやり残したことは、学友会々員(学友及びロータリアン)から年間行事の参加費とは別に、年会費(学友2,000円、ロータリアン5,000円)を頂き、学友会の財政基盤の強化を図る事が必要であります。徹底を欠いた点課題を残しました。幸い第2代目委員長の米谷龍三氏(札幌東RC)

は非常な熱意をもって取組んでいますし、私達も積極的にバックアップし、米山記念奨学事業の本来目的達成に向け努力して参ります。



## 情報の共有を目指して!

情報・I.C.委員会

委員長 山田 信夫 (苫小牧北)

地区組織構築に当たり遠藤秀雄ガバナーから情報とI.C.を統合した委員会の委員長を委嘱したいとお話をいただきお受けしたわけですが、正直なところ大きなプレッシャーを感じながらスタートしました。

情報については、近年R.I.が率先垂範しているように多くの情報がインターネットを通じて入ってきます。特に3年に一度の2004年規定審議会の結果を踏まえて「手続要覧2004」を始めとする関連情報を速やかにお伝えすると共に、特筆すべき点は別に解説も加えお伝えしたわけですが、立場、経験などから様々な捕らえ方があることを知り、情報の扱い方の難しさを痛感しました。また、地区内RCからの質問も多数寄せられ回答に四苦八苦しましたが、たいへん勉強になりました。

I.C.については、地区目標の一つ「I.C.による情報をみんなで共有しましょう」を実現する手段の代表格はメールマガジンで、今年度は情報配信を委員で分担できるメーリングリスト\*を応用したシステムを導入しました。これは一個人の技量による特別な活動ではなく、電子メールを使う人であれば誰にでもできる活動であるという証明でもあり、継続性を考えると大きな進歩だと考えています。また、これは地区で、RCで導入可能なインターネットコミュニケーションの形であり、今後更に多くの皆さんの情報共有実現に向けた格好の手段として期待が持てます。

さて、地区内の電子メールによる情報交換は、単にメールマガジンを受信するだけでなく、テキスト(文字情報)や画像情報(図や写真)の受け渡しができるメリットを感じていただき、活発に利用されています。これが上手く伝承され更に活用が進むよう期待しています。

また、地区の情報拠点の一つとも言うべき地区ホームページ



では、ガバナー公式訪問やロータリー 100周年記念例会等に関するたくさんのご投稿をいただき充実した内容とすることができました。皆様のご協力に感謝いたします。

最後に次年度坂井新委員長にエールを送ると共に、活発なインターネットコミュニケーションをお願いします。

**\*特定のアドレスに電子メールを送信すると登録されたアドレスに一斉配信するシステム**



## この1年をふりかえって— 2510地区の更なる発展を祈って

ロータリーの友委員会

委員長 木下 博 (室 蘭)

2004-2005年度「友地区委員」に任ぜられましたが、今一歩の活動報告でした。遠藤秀雄ガバナーにはご寛容の程を。

前期は、日頃の健康管理の雑駁さから体調を崩し、入院治療を余儀なくされ、委員会活動はできませんでした。それでも、「友」誌の全体に眼を通す習慣をつけ、提出義務のあるレポートは毎月欠かさず出しました。委員の責務である、11月号の「わがまち わが地区」(次年度から無し)の執筆、4月号の「地区のたより」の編集も無事すませました。

友常任委員、地区委員合同会議は5月、7月、3月(11月は欠席)に月曜日休診として出席したが、土日、祭日開催に変わらないだろうか。ロータリー 100年という節目の年であり、友誌の内容も充実していた年度であったが、合同会議では雑誌作りのプロの委員などの提言もあって、次年度に向けて編集方針が改革されることになった。小生らの要請により、代理出席を認めない会議の議事録が、3月の会議後初めて本行輝雄所長から送られ、欠席者にとり有用であった。

地区友委員会は3回の開催、雑誌月間には「月信」に委員と共に投稿し、各RC宛に簡単なアンケートをお願いしたが、最大5回のFAXや電話で100%集計達成となりました。ご協力ありがとうございました。

最後に、新年度から塚原房雄ガバナーは組織の簡素化との理由で委員会を休止されました。ロータリーを知り、学び、実践するテキストである「友」誌の広報ならびに利用促進活動を努める委員会の消滅はいかかなものかと理解に苦みます。次年度、丸山淳士ガバナーエレクトでの復活を期待しております。



## 感謝・感謝の1年間

大会実行委員会

委員長 戸塚 守 夫 (登 別)

遠藤秀雄ガバナーの2004~2005年度は地区大会成功の期待と不安が渦巻くなかでスタートしました。そして残りの3ヶ月余りはまたたく間に過ぎて、大会当日を迎えることになりました。登別RC全会員が大会実行委員となり、さらにグループ内6RCから推薦された委員を加え、雪のなか、雨のなかを何度も会議に御足労をかけました。幸い地区幹事会との連携も円滑に進行し、大会当日は文字通り第9グループを挙げて各パートを分担していただきました。厚く御礼を申し上げます。

記念囲碁大会は札幌幌南RCのお世話になりました。すばらしい3日間の秋晴れに恵まれ、1,600余名の登録者が記念ゴルフ大会、会長・幹事会、本会議(2日間)、記念フォーラム、記念講演会など盛沢山のプログラムに参加しました。各会場では登別ならではのホスピタリティを発揮し、会場間の移動もすべてトラブルなく終わったことは、奇蹟としか思えませんでした。大会記念誌も年度末の6月に発行できて、2年間にわたる実行委員会の主な活動に区切りがつけました。

エステスRI会長のテーマ通りに地区会員と共にロータリー100周年を祝えたことは、まことに感慨無量のものがあります。石井 治RI会長代理の講評でエクセレントのお言葉をいただき、改めて地区会員の皆様に心から感謝を申し上げます。





## 地区委員会

## 活動報告

### 第4回 家庭奉仕委員会報告

家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三 (札幌幌南)

6月4日第4回家庭奉仕委員会を開催しました。

家庭奉仕に関するマニュアルの最終的な編集作業を行いました。午後4時から、午後7時30分まで3時間半に及ぶ長時間かけて各草稿につき点検作業や内容についての議論をしましたが、詰めきれず、再度今月中に最終的な草稿を作り上げる事といたしました。

最大の問題は、健全な家庭作りに対する社会奉仕活動を取り入れるかどうかです。即ち、恵まれない家庭の子に対する奉仕活動や、社会現象である児童虐待、引きこもり、ニート、家庭内暴力、離婚、非婚、老人介護、子育てに悩む親への支援と言った問題を克服するための積極的な活動を取り上げるべきかどうかの問題です。

本来は、社会奉仕活動の人間尊重分野の事業であろうと思いますが、内容的には、家庭奉仕の分野であり、間接的ではありますが、ロータリアンの意識改革にも結びつくものと思われるので改めてこの問題について取り上げて議論することにいたしました。

次回は、6月14日午後6時から和田法律事務所で開催する事に致しました。

(参加委員 小林 博 P G、松本純枝 (深川 R C)、高下泰三 (札幌西 R C)、太田すみ子 (札幌北 R C)、水野正純 (新札幌 R C)、和田壬三 (札幌幌南 R C)、ゲスト長尾靖友 (倶知安 R C))

## 「ネパール・日本友情学校」が 完成しました」

世界社会奉仕委員会

委員長 齋藤 修 弥 (室 蘭)

昨年末から進められていた江別 R C とネパールタパタリ R C 共同の「ネパール・日本友情学校」の建設と整備がようやく完成し、その写真が届いたので報告します。この事業は職員室兼事務室と2教室の建設ですが、長い年月を経て完成した学校に学ぶ子供たちの明るい笑顔が印象的です。当世界社会奉仕委員会としては、次年度も水資源の確保等を中心に積極的に事業を展開したいと思っておりますので、どしどし事業を申請されますようお願いしております



DONATION FROM ROTARY CLUB OF JAPAN, 2005.

### 2004-2005国際ロータリー第2510地区 インターアクト年次大会 (静内インターアクトクラブ10周年記念)

インターアクト委員会

副委員長 秋山 秀 雄 (札幌西北)

2004-2005年インターアクト年次大会は静内インターアクトクラブ発足10周年記念を兼ねて6月18、19日の両日に渡り、蘇田又栄第8グループガバナー補佐、佐竹哲雄静内高等学校長、小野武二三静内

農業高等学校長を来賓に迎え、静内ウエリントンホテルを会場として盛大に開催されました。参加したインターアクターは73名、顧問教師は12名でした。静内RC中山弘三郎会長はじめ役員、会員の皆さんが総出で準備・支援してくださり2日間とも終日楽しくそしてスムーズに大会を運営していただきました。

### << 第1日目 >>

#### ○活動報告：静内農業高等学校農業クラブ

##### 1. 「環境にやさしい畜産をめざして」(乳牛研究班)

家畜の糞尿を土壌菌で分解して活性水を作り、ミニトマトの栽培実験を行っている。今後農家で実際に使用していただく予定である。

静内農高の食品科学科では、乳製品等の製造から販売までを実習したり、生産科学科では軽種馬の生産を行い中央競馬会に「夢ロマン」号を排出しているとの紹介がありました。>

##### 2. 「さくら咲く5単科の花びら」(農業クラブ執行部)

静内町の「さくらまつり」の期間中「静内さくらの会」と連携して「桜基金」の募金活動を実施した。

#### ○意見発表(エキストラ出演)

##### 「馬が創る最高の笑顔」 柵木景子さん(畜産科3年)

南北海道地区大会で優勝した柵木(ませき)景子さんが、近く行われる全道大会出場を前に披露発表をしてくれました。障害者の方がリハビリのために乗馬をすることを通じて周囲の人びとと触れ合い、ありのままの姿で充実した生活を送る素晴らしさを体験されたという内容でした。

#### ○静内IAC10周年記念講演

##### 『夢に向かって』講師(財)修養団 久世 郁夫先生

「イヤイヤやっても自分の人生、喜んでやっても自分の人生、どうせやるなら喜んでやろう」というキャッチフレーズの下に、[受身ではなく前向きに][夢を持って足元から実行][一所懸命は美しい]ということばで表現される人間の生き方についてお話があり、若人の心の中に熱い感動を与える印象深い講演でした。

#### ○夕食

18:30頃から夕食となったが席上静内農業高校の生徒が学内工場「あぐり工房」で作ったアイスク

リーム『桜樹』がデザートとしてふるまわれた。このアイスクリームは乳脂肪分が高い牛乳を原料としてバニラビーンズを香料に使用し、卵を使わないアイスであり、食物アレルギーがある人でも安心して食べられるように工夫されている美味なものでした。

### << 第2日目 >>

#### ○乗馬体験

「ライディングヒルズ静内」にバスで移動して牧場のお姉さん、お兄さん達(ほとんどが道外出身)が引いてくれる馬にまたがって場内を一周した。乗馬は初めてという生徒も多く笑顔を見せつつも緊張気味であった。馬の背中の大きさと暖かさを肌で感じたことでしょう。

#### ○ジンギスカン昼食

シャクシャイン記念館においてご当地自慢のジンギスカン昼食となったが、肉は静内RC中山会長自ら熱い炭火の前で汗を一杯かきながら焼いて下さった。一同頭が下がる思いで感謝しながらとてもおいしくそしてお腹一杯ご馳走になりました。静内RCの会員の皆様、素晴らしい思い出を作ってください心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



## “会議は踊る”・“職業奉仕論議” 心景・エステス100周年会議



職業奉仕委員会

カウンセラー 石垣博美 (札幌セントラル, PG)

### (1) 信頼社会

さる4月29日、30日、ご案内のとおり、エステス R I 会長主催の晩餐会、100周年記念会議が開かれた。グレン・エステスさんは、車椅子に乗りながらも、力強く訴えたのである。ロータリーは「任意団体」(ノン・エンティティ)の思想運動が100年間も生きのびているケースは珍しい。ふりかえてみると、この100年は革命と戦争、民族・宗教間抗争など混乱の世紀であった。この試練の1世紀にロータリー運動を支えてきたものは何か。それは「社会的信頼」(public trust)だったとエステスは叫んだ。だが、社会から信頼を受けるためには、ロータリーという集団社会そのものが、まず「信頼社会」でなければならない。100年前、ロータリーは「相互信頼・相互扶助」の小さなサークルから出発した。この「信頼社会」をコミュニティー全体に普及させる運動を続けてきたのである。だからこそ、社会からの信頼を勝ち得たのだ、と叫んだ。

我々は、この「社会的信頼」という言葉に感動する。ロータリーはこれまで「信頼社会」(F・フクヤマ)を形成し、それを広めることを志してきたのである。具体的にはともかくも基本的に相互扶助の「信頼社会」の普及を目指してきたのである。リベラルな民主主義は、世界中どこでも、無法・無秩序な社会風潮を生み、道徳的頹廃をもたらす。これを防ぐためには、相互信頼の社会を望ましいとする社会的雰囲気、社会的倫理

感覚を育てなければならない。このような「エートス」(M・ウェーバー)の醸成がロータリーの大目標であったし、これからもそうだ。このことを確かめて我々は、前進しよう。とエステスさんは呼びかけたと思う。

### (2) ロータリーは「倫理運動」だ

エステス基調講演のあと、つづいて深川純一氏の講演がなされた。タイトルは「職業倫理」である。論旨明快、レトリックのうまさ、めったに聞けないほどの名スピーチであった。聴衆はうなった。私は、深川氏の話の秀逸さに強く印象づけられたが、ここにも「信頼社会」の大切さが詠われているように思われた。(同業者への信頼、友愛、そして確固たる自己の職業への天職的傾倒の心、それは「4つのテスト」に通ずるものである)さらにまた、第一分科会の議論にも一般会議でのメインテーマの熱気が伝わった。(エステスさんが主要テーマを職業奉仕に決めたといわれる)。

### (3) 交流から奉仕へ

パネリストの松宮 剛氏(茅ヶ崎)のスピーチは、深川氏同様、ロータリーの創草期の「道徳律」・「職業宣言」・「4つのテスト」・「天津宣言」などを強調した。そして、ロータリーは職業の意味を考える道場だということを強調した。すなわち、ロータリアンになると、人はクラブ内の社交を通して自ら、相互扶助・信頼・



互酬の礼儀・作法を学ぶ。幸いに日本の伝統社会には互酬の慣習が深く根付いている。

「お互いさま」・「どちらにか」という言葉によくあらわれている。そこには直接的な見返りを求めない他者への贈与の気持ち（＝奉仕）と、将来自分が困難に陥ったときには助けてくれるかも知れないという気持ちが込められている。いうまでもなく、こうした気分に基づく贈与行動は、当事者たちの間の友好・信頼の関係を前提としている。松宮さんはここで、「交流」を強調する。私はこの言葉に共鳴する。ロータリーの特徴は「異業者交流」や国際的な「異文化交流」・「GSE交流」などのプロジェクトに表れている。RC内の管理運営方式の「交替制」もそうだ。さて、我々ロータリアンはなぜこうした交流による信頼・互酬の人間同士の関係を強調するのだろうか。松宮氏によると、RC内の懇親を通して培った信頼・互酬の関係で自分の職業の現場に適用し、よってもっと職業の品位を高め、職業倫理の水準を高めるためだと説く。

#### **④ ロータリアンの理想とする社会像**

ところで、ロータリアンがRC生活の中から自然に学習する奉仕哲学は、職場において接触するほどのすべての人々の関係に影響力をもたずである。このようにして、形成される「人間の絆」がネットワークをつくり、コミュニティ全体に広がってゆくことが望ましい。なぜかといえば、社会とか経済とかの人間活動が盛んになるための主役は、結局のところ、人間であるからだ。人間同士の関係が一番大切である。社会のパフォーマンスもこれに左右される。という、そんなことは当たり前ではないと言われるかもしれない。確かに古今東西、当たり前のことである。しかし、この当たり前のことをロータリーは100年間実践し、職業奉仕理念を広めてきたのであった。

この会議には、あと二人のスピーカーが参加している。ひとり道下俊一PG（2500地区）である。あのバリトン・バスの低音で語られる言葉にひとつひとつ

つ重みがあり、聴衆を圧倒した。ただ我々は彼の発言の中に、毎回「社交クラブのロータリー」の句が出ていることに気付く。「社交」ということの中に含まれる礼儀作法の基本がロータリーの出発点だと道下さんは言い続けているように思う。私達はもっとこの事を考えなければならないのではないか。

もうひとり、司会を務めた菅生浩三である。菅生さんの司会で会場は熱気をはらみ、多くの参加者がマイクに向かった。甲論乙駁で談論が飛び散った。会議は踊ったのである。私どもは興奮した。しかしながら、最後に司会者が述べた言葉にさらに興奮した。

それはこうである。私自身の独断と偏見も入るが、深川さんの言うようにロータリーは倫理運動であるにしても、それには内向きと外向きがある。100周年を節目にして、ロータリーは、社会的に発信してゆく時期にきているのではないか。たぶん、これが菅生さんの主張ではないかと思う。私はこれをサポートしたい。例えば、ごく最近、経済学の学問分野では、「見えざる社会資本」(invisible social capital, 略してSC)という議論が提唱されてきた。経済とか社会とかのパフォーマンスは、結局のところ、これまでのように見える社会的インフラ（道路や空港のような）だけでなく、見えざる資本（さきに述べた信頼・互酬・奉仕・期待などの相互性）に左右されることが大きくなるというものである。そうすると、ロータリー活動はこうした行動科学的研究の恰好の調査現場のパイオニアの役割を果たすべきなのではないだろうか。そういう関連からいえば、ロータリーは外にむかって、発信する時期が今、まさに到来しているように思う。なぜなら、ポスト・モダンの成熟経済社会の問題解決には、ロータリーの目指す信頼社会形成のニーズが強まるに違いないからである。（具体的には、大学の公開講座や初等中等教育の総合講座への参画など）。

会議は大いに踊ったのであった。そしてロータリーは前進する。



# 親睦活動委員会ニュース

## ◇◇ 第15回 J G F R 北海道記念大会成績表 ◇◇

※ 6月27日（月） 第15回 J G F R 北海道記念ゴルフ大会が苫小牧カントリー倶楽部ブルックスコースにて全国より83名参加のもと開催

A 部門					
	氏名	所属RC	グロス	HC	NET
優勝	横山 悦朗	横 浜 東	90	19.2	70.8
2位	杵田 宣彌	大阪中之島	77	6.0	71.0
3位	前田 博憲	佐 賀 西	93	21.6	71.4
4位	嶋岡 邦雄	旭 川	85	13.2	71.8
5位	應原 立吉	東 広 島	85	13.2	71.8
6位	谷口 智治	東京世田谷	71	+1.2	72.2
7位	大城 俊夫	東京中央	82	9.6	72.4
8位	尼子 直喜	香 岐 中央	82	9.6	72.4
9位	小野 朝康	豊 田 中	88	15.6	72.4
10位	日野岡信太郎	茨 木	81	8.4	72.6

### － グロス賞 －

#### A部門

1位	谷口 智治 (東京世田谷)	71
2位	金子 賢一 (岩見沢東)	76
3位	杵田 宣彌 (大阪中之島)	77

#### B部門 (70歳以上)

1位	小島 久雄 (長 泉)	81
----	-------------	----

#### C部門 (女性)

1位	松崎 範子 (高知東)	96
----	-------------	----

### － ベストペア賞 －

#### ネット 計

1位	大城 俊夫・大城 誼子 (東京中央)	72.4 73.2 145.6
2位	杵田 宣彌・杵田真佐子 (大阪中之島)	71.0 77.8 148.8
3位	松崎 郷輔・松崎 範子 (高知東)	76.2 73.2 149.4

B 部門 (70歳以上)					
	氏名	所属RC	グロス	HC	NET
優勝	村田 茂	四 日 市	87	15.6	71.4
2位	今井賢二郎	大阪城南	82	8.4	73.6
3位	小島 久雄	長 泉	81	7.2	73.8
4位	遠藤 秀雄	2510地区G	96	21.6	74.4
5位	林 輝信	東京浅草	94	19.2	74.8

C 部門 (女性全員)					
	氏名	所属RC	グロス	HC	NET
優勝	松崎 範子	高知東	96	22.8	73.2
2位	大城 誼子	東京中央	96	22.8	73.2
3位	河野美佐子	東京浅草	107	30.0	77.0
4位	田中 公子	総 社	97	19.2	77.8
5位	杵田真佐子	大阪中之島	109	31.2	77.8

※ 2005年 I G F R 世界大会が6月16日～19日オーストラリア (ローヤルパインリゾートコース) にて開催され当地区より、灰野 篁さん (札幌北RC)、佐藤 馨さん (札幌RC)、金子賢一さん (岩見沢東RC) の3名が参加され、グロス1位に佐藤馨さん、ネット1位に金子賢一さんと大変な活躍でした。

## クラブ活動 紹介

### チャリティコンサートを開催

札幌東RC 社会奉仕委員会、音楽委員会

当RC社会奉仕委員会、音楽委員会合同によるチェロ奏者金木博幸氏のチャリティコンサートが4月21日に札幌コンサートホールにて開催されました。当日は身体に障害のある方が多数招待され、コンサートを楽しみました。

当日収益金と札幌インナーホイールクラブからの募金を、代表して小田切房之会長より社会福祉法人「北海道いのちの電話」の桂信雄理事長へ贈呈されました。

コンサートは、チェロとピアノだけとは思えない迫力ある演奏で、2度のアンコールを含め、無事に終了しました。



### プロ野球セパ交流戦に 障害者100人招待

札幌東RC 社会奉仕委員会

5月14日、札幌の養護施設に通う知的障害者100人が札幌ドームでのセパ交流戦、日本ハム対横浜ベイスターズの試合に招待され野球観戦を楽しみました。

社会奉仕委員会主催のこの催しは、昨秋に予定されていたものでしたが、あいにくの選手会のストで中止になった経緯があります。

招待を受けた障害者の方たちは、ススキノ日ハム会会長藤井英勝会員から差し入れられたお弁当をいただき、メガホンを持って応援していました。

結果は息詰まる投手戦となりましたが、みんなの応援の甲斐があり、日ハム江尻投手がプロ入り初の2安打完封、1-0でファイターズが勝利をおさめました。



## 傷ついた子 笑顔戻った

静内 R C

国際奉仕委員会委員長 平野井 繁

静内 R C では別紙の北海道新聞にもある様にカンボジアで活動している (NPO 法人) 「子供たちの笑顔を守る会」に以前より参加させて頂き、2001年にポンプを4基作ってあげました。又、今日は施設の生活棟は出来ませんが少々不足している所があるとの話を聞き、当 R C の国際奉仕委員会及び理事会に計り100周年記念事業の一つとして、その他の建物をと言う事でトイレ、シャワー室、物入れ室1棟16平方メートルを支援する事を決め2004年11月に20万円を送ったのであります。

それが4月に完成して別紙の建物が出来ました。

委員会として完成式に参列する事にしておりましたが、日時の都合で、参列出来ませんでした。今年は施設の子供達の使う学用品等を持参したいと考えております。



### << 「SCSA」センターの概要 >>

1. センターの名称 「正法学園」
2. センターの所在地
  - ・ Doun Teav Rolous village Bakong commune Siem Reap province
3. センターの設立及び運営者
  - NPO 法人「子供たちの笑顔を守る会」
4. 会の責任者
  - 「子供たちの笑顔を守る会」代表 新井 繁
5. センターの組織
  - ・ センターの責任者 新井 繁
  - ・ アドバイザー Hout Sothy
  - ・ アドバイザー Riem Sunsoley
  - ・ 日本語通訳 Chhoun Sophath
  - ・ 調理師 村長夫人
6. センター運営の目的
  - カンボジアの人身売買された子及び、人身売買される可能性のある子を救出・養育し自立させる活動に関する事業を行い、国際貢献のための人道支援に寄与することを目的とする。
7. センターの施設設備
  - (1) 生活棟
    - ・ 木造2階建、床総面積 420平方メートル
  - (2) その他の建物
    - ・ トイレ・シャワー室、物入れ室1棟 16平方メートル
    - ・ 屋外洗濯場
  - (3) その他
    - ・ 駐車場 ・ 井戸2基 ・ 供水タンク
8. 子供の収容人数
  - 14名 (6歳から15歳までの男女)
9. 子供の収容期間
  - 子供が自立できるまで収容する。
10. センターの運営費用
  - ・ 子供の養育費 年額 3,360ドル (1月20ドル 14名)
  - ・ 施設運営費 年額 2,400ドル (1ヶ月200ドル)
11. センター事務所の所在地と連絡先
  - No.0114 Sankeat 111, Village Phoum Trag Khum Slakram Siem Reap
  - ・ 責任者 新井 繁  
Tel 063-760-802 携帯 012-356-022
  - ・ アドバイザー Hout Sothy  
Tel 012-920-546
  - ・ アドバイザー Riem Sunsoley  
Tel 012-858-015

## チャリティー パークゴルフ大会実施報告

江差RC会長 深見 秀治

1. 実施日時 2005年6月19日(日)
2. 実施場所 桧山郡厚沢部町パークゴルフ場
3. 主催 国際ロータリー 2510地区 江差RC
4. 参加者 合計115名  
一般男子 65名(厚沢部町15名、江差町24名、乙部町6名、上の国町10名、江差RC10名)  
一般女子 50名(厚沢部町19名、江差町10名、乙部町6名、上の国町6名、江差RC9名)
5. 総括

過疎地域の小さな田舎のRCの当RC(現在16名会員)は、財政的、組織的から存在位置すら危ぶまれている現状にあって、国際RI第2510地区、同地区第10、11グループRCの支えを受けながら辛うじてRIの義務をはたしているところです。それでも何とか43年の歴史を有する当RCを地域から火を消さない努力を日々葛藤している現状ですが、職業を通しての社会奉仕を原点にしている国際ロータリー思想に照らし、当地域内の企業規模が零細化している等の実情から組織強化の基礎になります会員確保が中々スムーズにいけない現実に直面しているところです。

そのような背景にありながら、ロータリー創立100年の歩みに敬意を表し、地域内に国際ロータリーを周知すること。そして国際ロータリーを身近な存在にすること、などの方針を立てながら2004-2005年度の100周年事業に取り組み、その一つとして国際ロータリー理念の再確認や当RCの43年に及ぶ社会奉仕事業実績の語りを主題にした会員、家族間での2月23日記念例会の実施、また、地域還元型、地域周知事業として、江差町を中心とした近隣町を対象にしたチャリティーパークゴルフ開催に至った次第です。この大会の特色として大会当日は、当RCは黒子に徹することとし、大会運営の全てを江差と厚沢部町のパークゴルフ協会にお願いして、正規なルールとマナーを厳守させ、その一方で4町交流、親睦型の大会に終始しました。

大会当日は厚沢部町の山間パークゴルフ場にやさしく初夏の日差しが注ぐなか、開会式では、深見会長か

ら国際ロータリーの組織、活動などを判り易く説明しながらの挨拶となり、一般参加者から共感を受けながらの和気藹々とした競技大会になりました。

競技終了後、成績集計までの間の約1時間、一般参加者と当RC会員、家族のなかで昼食を取りながらの雑談、交流が各所で輪ができてたり、想像以上のロータリー親睦が図られたのではないかと実施した喜びを共有することができました。

成績結果は、優勝、上位入賞者共、地元厚沢部町選手が圧倒し、江差RCの参加会員、家族は下位に名を並べ悲惨な成績になりましたが、精一杯プレーした満足感に浸った時を得ました。表彰式では、男女別優勝者、上位入賞者、各賞の商品にロータリーマークが刻まれた品々が配られました。和気藹々とした閉会式にあって115名の参加者の声として、国際ロータリーパークゴルフ杯の継続化が叫ばれるまでに発展し、江差RCはその熱気を無駄にしないよう意を強くさせられる一瞬でした。

その日の反省会、慰労会のなかでも継続大会のことに集中し、次期会長、次期社会奉仕委員会員も前向きな本音を明かし、6月21日の例会、理事会において、具体的要領については新年度において検討することとした内容で、江差RC主催のパークゴルフ杯実施に対して一定の方向を決めた次第です。

また、参加者からの浄財及び会員、家族からの特別寄付金1,000 \$の有効な用途について、ロータリー財団寄付(ポリオ・プラス)とした次第です。





## 当別の夏至祭にスウェーデンの ロータリアンがやって来た

当別RC幹事 六角 英一

6月20日当別RCの例会にスウェーデンからお客様がやってきました。それはケイコ・マクナマラさん（第2410地区ノーショッピング市ノーラクラブ）と、ホーカン・ポリエソンさん（第2410地区ノーショッピング市ビッグボランテッドクラブ）ご夫妻です。

当別町とスウェーデンのレクスンド市は姉妹都市として、交流を深めています。このレクスンド市でもっとも盛んであるスウェーデンの伝統行事を取り入れた当別町の夏のイベント「夏至祭」の前夜祭に、お二人はジャズコンサートを開催。新曲「夢の国・当別」を同町にプレゼントして下さいました。

そして、お忙しい合間をぬって是非例会に出席したいとのうれしいご希望があり、実現しました。例会では気さくにアカペラでご夫婦の歌声を披露して下さい

り、ロータリアンであることの素晴らしさと、これからは子どもたちのために何かしていきたいと夢を語っていただきました。

明るくパワフルなケイコさんとやさしいホーカンさんとの楽しい例会のひと時を過ごしました。



## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

室蘭北RC	澤山 豊	会員	5月27日
室蘭北RC	廣瀬 禎	会員	5月27日
江別RC	山崎 一夫	会員	4月5日
恵庭RC	中里 邦治	会員	6月24日
岩見沢東RC	渡辺 博人	会員	6月3日
岩見沢東RC	坂口 堅一	会員	6月3日
岩見沢東RC	坂田 知樹	会員	6月10日
札幌西RC	高下 泰三	会員	6月24日

札幌手稲RC	網干 要	会員	6月24日
札幌手稲RC	肘井 博行	会員	6月24日

### ポール・ハリス・フェロー

室蘭北RC	高橋 保史	会員	5月27日
室蘭北RC	松島 茂	会員	5月27日
室蘭東RC	遊佐 潤	会員	6月17日
札幌手稲RC	阿部 光行	会員	6月24日

## 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

### 米山功労者

江別西RC	上光 一博	会員	5月9日 (1)
倶知安RC	関 幸吉	会員	5月2日 (1)
札幌南RC	掛隅 晴雄	会員	5月31日 (2) (マルチプル)
苫小牧東RC	三小田吉邦	会員	5月25日 (1)
赤平RC	藤永 貞治	会員	6月29日 (3) (マルチプル)
赤平RC	岡田 知治	会員	6月29日 (3) (マルチプル)
函館五稜郭RC	福德 勲	会員	6月10日 (3) (マルチプル)

室蘭北RC	日笠 正順	会員	6月27日 (2) (マルチプル)
小樽銭函RC	河崎 義章	会員	6月30日 (1)
札幌東RC	奥村 義夫	会員	6月28日 (4) (マルチプル)
札幌南RC	小林 昌志	会員	6月1日 (5) (マルチプル)
札幌モーニングRC	宮澤 功行	会員	6月27日 (2) (マルチプル)
札幌手稲RC	肘井 博行	会員	6月20日 (1)
白老RC	杉村 孝	会員	6月23日 (1)

## 訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、  
心からご冥福をお祈りいたします。

**小山 利雄 会員** (栗沢RC)  
2005年2月14日ご逝去 (享年80歳)

【ロータリー歴】  
1964年6月1日入会 (チャーターメンバー)  
1973~74年度 会長  
1985~86年度 第3分区代理  
2004年10月 40年永年100%表彰



職業分類・ロータリー情報・ロータリー財団・会員増強・職業奉仕等各委員長を務められました。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー・米山功労者

**山下 眞 会員** (留萌RC)  
2005年2月28日ご逝去 (享年77歳)

【ロータリー歴】  
1982年8月11日入会  
1988~89年度 副SAA  
1992~93年度 情報委員長  
2000~02年度 資料管理委員長  
2004~05年度 雑誌・広報・  
資料管理委員長



**平井 勉 会員** (岩見沢東RC)  
2005年5月9日ご逝去 (享年70歳)

【ロータリー歴】  
1990年6月入会  
1996~97年度 第14代会長  
2004~05年度 社会奉仕委員長



出席・会員増強・ロータリー情報・  
ロータリー財団・SAA各委員会委員  
長を務められました。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

**藤岡 和男 会員** (白老RC)  
2005年6月23日ご逝去 (享年76歳)

【ロータリー歴】  
1979年6月羽幌RC入会 (チャーターメンバー)  
1982~83年度 会長  
1989年1月白老RC入会  
1991~92年度 会長



ロータリー情報委員長、会員増強・  
選考・職業分類委員長、雑誌・広報・会報委員長、就職  
相談・職業活動表彰委員長、会計、SAAを歴任

ポール・ハリス・フェロー (2)

## 掲示板

### ◆ガバナー月信6月号の記載について

○p14「ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます」  
「ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます」中、  
“河村 佳男会員”“泉亭 俊徳会員”と掲載するところ  
を誤って“川村 義雄会員”“泉亭 祐司会員”と掲  
載致しました。お詫びして訂正致します。

○裏表紙の標語について  
裏表紙の標語について、「Fellowship Activities」と  
掲載するところを誤って「Fellowip Actinities」と掲  
載致しました。お詫びして訂正致します。



## 5月会員増減数・出席率報告

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	05.5.31	増減内	内女性	
1	深 川	4	40	39	-1	1	87.50
	羽 幌	3	47	47	0	1	88.89
	妹 背 牛	3	10	10	0	0	80.00
	小 平	4	14	13	-1	0	87.27
	留 萌	3	59	52	-7	0	87.29
	小 計		170	161	-9	2	86.19
2	赤 平	4	34	34	0	2	80.55
	芦 別	3	54	50	-4	0	81.33
	砂 川	3	54	51	-3	0	98.04
	滝 川	3	109	109	0	2	77.00
小 計		251	244	-7	4	84.23	
3	美 唄	2	42	43	1	0	95.71
	江 別	3	43	40	-3	1	91.01
	江 別 西	4	37	36	-1	3	88.18
	岩 見 沢	3	94	95	1	0	91.30
	岩 見 沢 東	4	37	36	-1	3	79.88
	栗 沢	3	26	24	-2	1	97.22
	栗 山	4	29	30	1	2	100.00
	当 別	4	38	39	1	1	83.86
	小 計		346	343	-3	11	90.90
	4	札 幌	3	123	128	5	0
札幌あけぼの		3	16	16	0	1	100.00
札幌はまなす		4	24	23	-1	4	77.28
札 幌 北		3	49	46	-3	5	96.60
札幌モーニング		3	54	56	2	0	72.33
札 幌 西		4	69	73	4	3	91.40
札 幌 西 北		3	48	50	2	2	83.76
札 幌 手 稲		4	39	42	3	1	99.41
小 計			422	434	12	16	89.83
5	札 幌 東	3	125	124	-1	0	99.11
	札 幌 清 田	4	26	28	2	6	100.00
	札 幌 幌 南	3	69	69	0	0	99.49
	札幌真駒内	3	44	46	2	2	92.01
	札 幌 南	3	91	96	5	0	97.08
	札幌大通公園	4	19	21	2	4	65.25
	札幌セントラル	4	19	17	-2	5	84.00
	新 札 幌	3	36	33	-3	1	87.28
	小 計		429	434	5	18	90.53
	6	岩 内	3	33	31	-2	0
倶 知 安		4	54	53	-1	3	72.00
小 樽		4	74	74	0	0	88.21
小 樽 南		3	86	84	-2	0	81.83
小 樽 銭 函		3	23	25	2	3	88.00
蘭 越		4	14	12	-2	0	73.50
余 市		3	43	43	0	4	80.23
小 計		327	322	-5	10	78.40	

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,136人  
 当月末会員数(女性) 3,120(89)人  
 増加会員数 -16人  
 当月平均出席率 83.24%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	05.5.31	増減内	内女性	
7	千 歳	3	65	62	-3	2	84.10
	千歳セントラル	3	30	28	-2	0	85.70
	恵 庭	3	51	51	0	0	79.16
	北 広 島	4	19	19	0	2	86.11
	長 沼	4	18	18	0	3	86.16
	由 仁	3	15	15	0	0	93.33
	小 計		198	193	-5	7	85.76
8	え り も	3	24	23	-1	0	81.16
	三 石	4	17	17	0	1	83.80
	様 似	4	19	18	-1	1	77.77
	静 内	3	67	69	2	0	80.41
	浦 河	4	40	39	-1	1	86.54
	小 計		167	166	-1	3	81.94
9	伊 達	4	56	59	3	0	76.27
	室 蘭	3	51	53	2	0	100.00
	室 蘭 東	3	43	44	1	0	91.60
	室 蘭 北	4	37	37	0	2	92.57
	登 別	3	39	39	0	2	82.05
	洞 爺 湖	3	10	9	-1	0	81.48
	小 計		236	241	5	4	87.33
10	函 館	3	101	99	-2	0	80.61
	函 館 亀 田	4	42	46	4	1	76.09
	森	4	43	43	0	0	69.00
	七 飯	4	24	24	0	0	71.80
	長 万 部	4	13	13	0	0	64.55
小 計		223	225	2	1	72.41	
11	江 差	4	16	17	1	0	73.20
	函 館 五 稜 郭	3	68	63	-5	0	94.39
	函 館 東	4	50	45	-5	4	79.07
	函 館 北	3	37	36	-1	0	71.30
	上 磯	3	29	29	0	3	52.40
	松 前	4	9	9	0	1	66.67
小 計		209	199	-10	8	72.84	
12	白 老	4	29	26	-3	0	82.00
	苫 小 牧	3	56	62	6	0	62.00
	苫 小 牧 東	3	32	32	0	3	86.45
	苫 小 牧 北	4	41	38	-3	2	83.84
	小 計		158	158	0	5	78.57
合 計		3,136	3,120	-16	89	83.24	

## 6月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	05.6.30	増減内	内女性	
1	深川	4	40	38	-2	1	86.11
	羽幌	4	47	47	0	1	82.14
	妹背牛	4	10	10	0	0	82.50
	小平	4	14	11	-3	0	76.92
	留萌	5	59	49	-10	0	87.13
小計			170	155	-15	2	82.96
2	赤平	3	34	33	-1	2	92.31
	芦別	4	54	49	-5	0	79.00
	砂川	4	54	51	-3	0	96.08
	滝川	2	109	106	-3	2	82.00
	小計		251	239	-12	4	87.35
3	美唄	5	42	43	1	0	92.40
	江別	5	43	36	-7	1	87.59
	江別西	4	37	35	-2	3	91.66
	岩見沢	4	94	96	2	0	90.34
	岩見沢東	4	37	35	-2	3	78.95
	栗沢	5	26	24	-2	1	94.99
	栗山	4	29	30	1	2	92.86
	当別	4	38	38	0	1	84.68
	小計		346	337	-9	11	89.18
	4	札幌	5	123	123	0	0
札幌あけぼの		4	16	16	0	1	100.00
札幌はまなす		4	24	23	-1	4	73.87
札幌北		4	49	43	-6	5	94.19
札幌モーニング		5	54	53	-1	0	67.92
札幌西		4	69	73	4	3	91.43
札幌西北		4	48	49	1	2	93.45
札幌手稲		4	39	42	3	1	98.81
小計			422	422	0	16	89.78
5	札幌東	5	125	122	-3	0	97.77
	札幌清田	4	26	28	2	6	100.00
	札幌幌南	4	69	69	0	0	100.00
	札幌真駒内	5	44	46	2	3	90.69
	札幌南	4	91	89	-2	0	96.30
	札幌大通公園	4	19	21	2	4	66.66
	札幌セントラル	4	19	17	-2	5	80.00
	新札幌	5	36	32	-4	1	93.05
	小計		429	424	-5	19	90.56
6	岩内	5	33	28	-5	0	78.00
	倶知安	4	54	53	-1	3	82.00
	小樽	3	74	64	-10	0	85.78
	小樽南	4	86	80	-6	0	88.85
	小樽銭函	5	23	25	2	3	92.00
	蘭越	4	14	12	-2	0	87.46
	余市	5	43	43	0	4	90.23
小計		327	305	-22	10	86.33	

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,136人  
 当月末会員数(女性) 3,016(90)人  
 増加会員数 -120人  
 当月平均出席率 84.09%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			04.7.1	05.6.30	増減内	内女性	
7	千歳	4	65	61	-4	2	90.70
	千歳セントラル	4	30	27	-3	0	82.80
	恵庭	5	51	49	-2	0	81.23
	北広島	4	19	19	0	2	87.50
	長沼	4	18	18	0	3	87.55
	由仁	4	15	13	-2	0	70.00
小計		198	187	-11	7	83.30	
8	えりも	5	24	23	-1	0	93.04
	三石	4	17	17	0	1	89.70
	様似	4	19	18	-1	1	75.00
	静内	5	67	68	1	0	77.98
	浦河	4	40	39	-1	1	82.10
	小計		167	165	-2	3	83.56
9	伊達	4	56	55	-1	0	79.31
	室蘭	4	51	52	1	0	90.02
	室蘭東	4	43	45	2	0	90.60
	室蘭北	4	37	37	0	2	94.60
	登別	5	39	36	-3	2	84.02
	洞爺湖	4	10	9	-1	0	88.89
小計		236	234	-2	4	87.91	
10	函館	5	101	91	-10	0	80.82
	函館亀田	4	42	43	1	1	75.00
	森	4	43	43	0	0	79.00
	七飯	3	24	20	-4	0	73.60
	長万部	4	13	13	0	0	54.10
	小計		223	210	-13	1	72.50
11	江差	4	16	15	-1	0	78.40
	函館五稜郭	4	68	61	-7	0	93.87
	函館東	4	50	43	-7	4	78.73
	函館北	4	37	32	-5	0	76.39
	上磯	4	29	29	0	3	55.20
	松前	4	9	9	0	1	66.67
小計		209	189	-20	8	74.88	
12	白老	4	29	25	-4	0	80.00
	苫小牧	4	56	55	-1	0	72.51
	苫小牧東	4	32	32	0	3	83.59
	苫小牧北	4	41	37	-4	2	87.04
	小計		158	149	-9	5	80.79
合計		3,136	3,016	-120	90	84.09	





## 編集後記

月信発行の準備を始めてから今日の最終校正まで、早いもので約1年半を経過致しました。この間、地区のガバナー補佐・委員会委員長の皆様や、地区内RCの会長・幹事の皆様には大変にお忙しい中、多くの記事投稿にご協力をいただきましたこと、担当者一同、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

地区幹事を担当することになった時期、「ロータリーの友」に作家堺屋太一さんの記念講演要旨が掲載されていました。強調されていたことの一つに、「補佐役と参謀は違う」ということがありました。参謀というのは知恵袋で、何かをしたがる。ゆえに、なにもしなくなったら参謀の値打ちはない。対して補佐役とは、みんなが成長しているときには成長を抑え、皆が退嬰的になっているときは新しい仕事をつくりだす。そういうバランス感覚が必要である。また、自分で手柄をたてないことが補佐役として重要である。ガバナーを支えるスタッフの一員として何度も読み返した文章でした。

「河海不択細流＝黄河や海は小川だからと言って選り好みせず、併せ入れるからこのように大きくなる。」ということばにあるように、黄河に限らず大きい川というのははじめから大きいのではなくて、いろいろな小さな川を併せていって、その結果大河になっていくのです。

ロータリーは、100年の時の流れを得て大河になりました。ロータリーの新2世紀でもその河は澱むことなく流れ続けると信じています。

ロータリアン同士、心を広くもって色々な意見を交わすことはとても大切なことであります。小さな川や汚れた川もロータリー大河は受け入れなければなりません。時には耳に逆らうような意見もあるかも知れませんが、自分のため、組織のため謙虚に受け入れる姿勢が大事なこともあると思います。ガバナー月信は、それを担える地区唯一の掲示板ともいえるでしょう

ガバナー月信が、手続要覧に記されている一方的な連絡ツールとしてのみ利用されるのは、あまりにも勿体無いものと考えます。

新年度の月信編集担当の皆様への健闘に期待致します。



# ROTARY

Club Service 100 years

[www.rotary.info](http://www.rotary.info)



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL  
2004-2005  
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER